



フルカラー版

機動戦士ガンダム

9

# THE ORIGIN

—シャア・セイラ編・前—

## 安彦良和

原案

矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン

大河原邦男

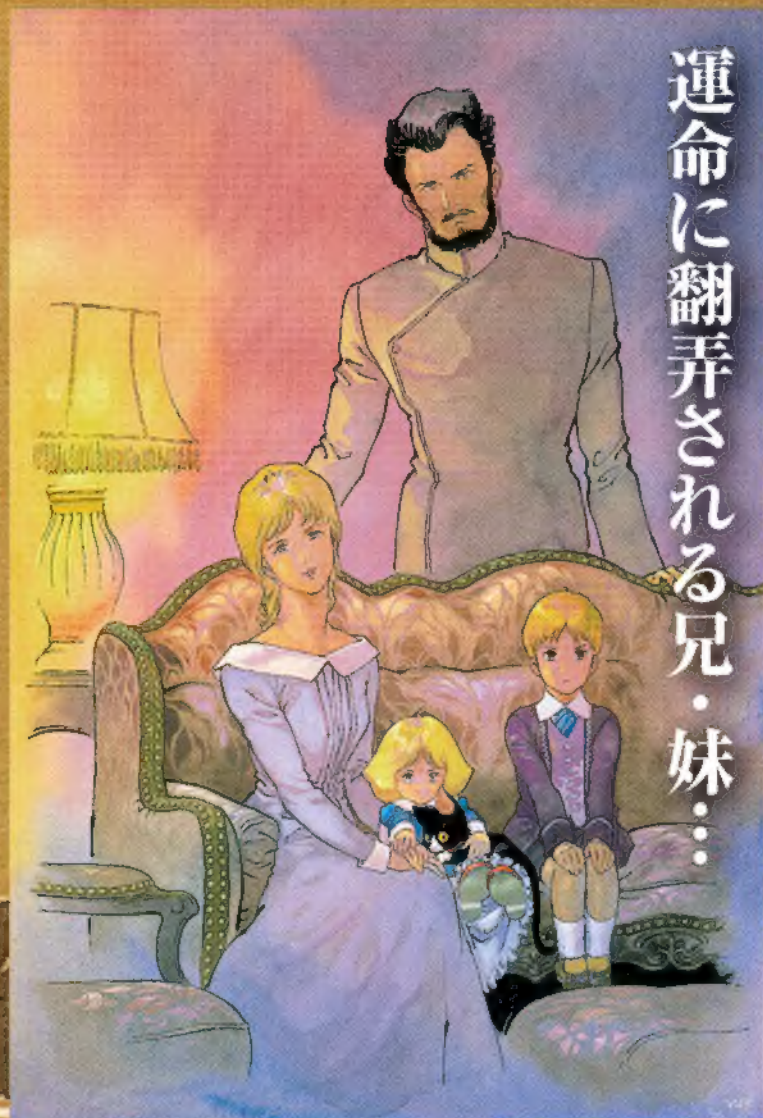




シャア・セイラ編  
ILLUSTRATION  
GALLERY



未曾有の悲劇へと  
突き進んでいく。



運命に翻弄される兄・妹…



人類の歴史は  
宇宙へと拡がりを得た



その中でくりひろげられる  
闘い。愛憎の劇。



一年戦争に先立つガンダム前史の物語が  
今、ここから始まる。





機動戦士ガンダム THE ORIGIN 2

—シャア・セイラ編・前—

C O N T E N T S

SECTION I ————— 005

SECTION II ————— 057

SECTION III ————— 105

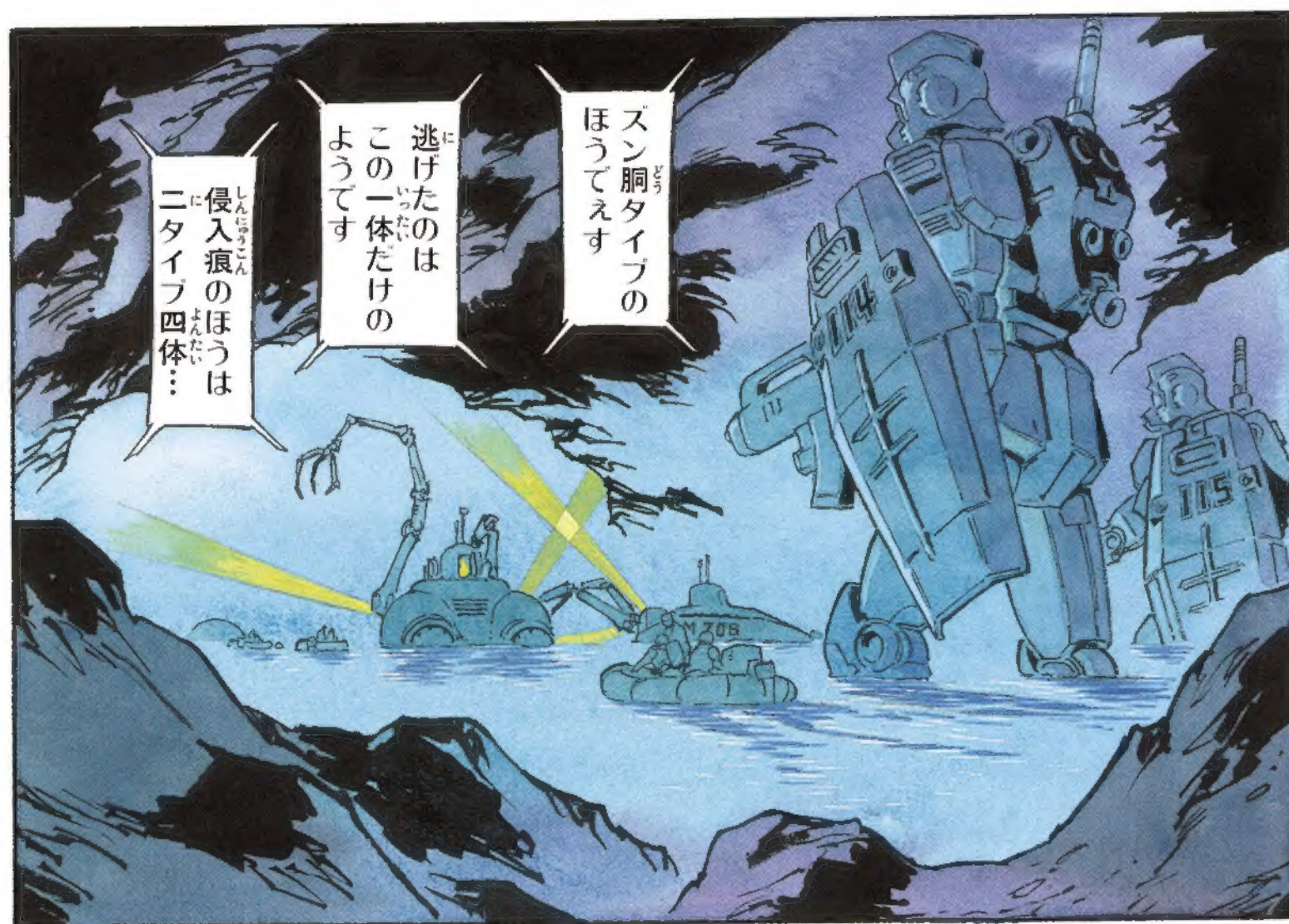
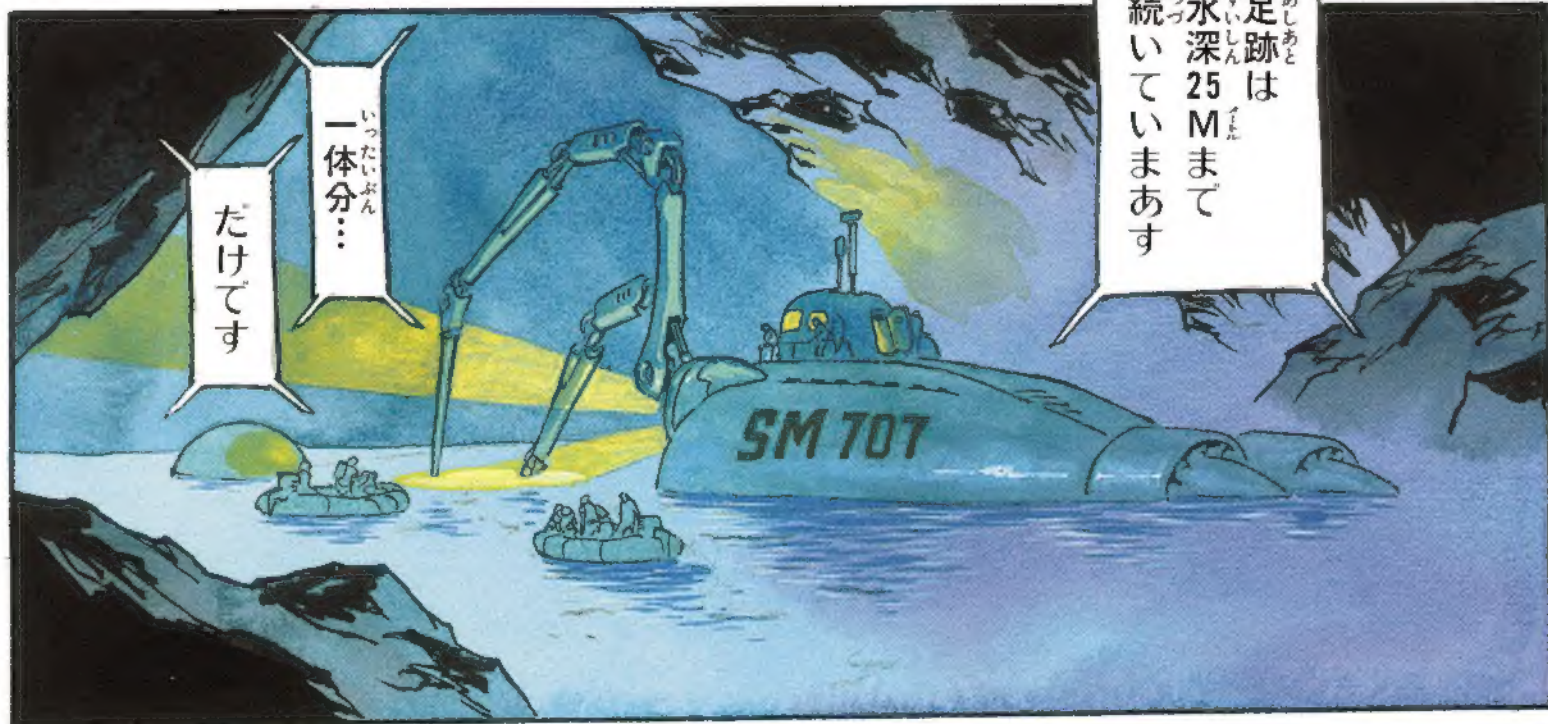
SECTION IV ————— 157



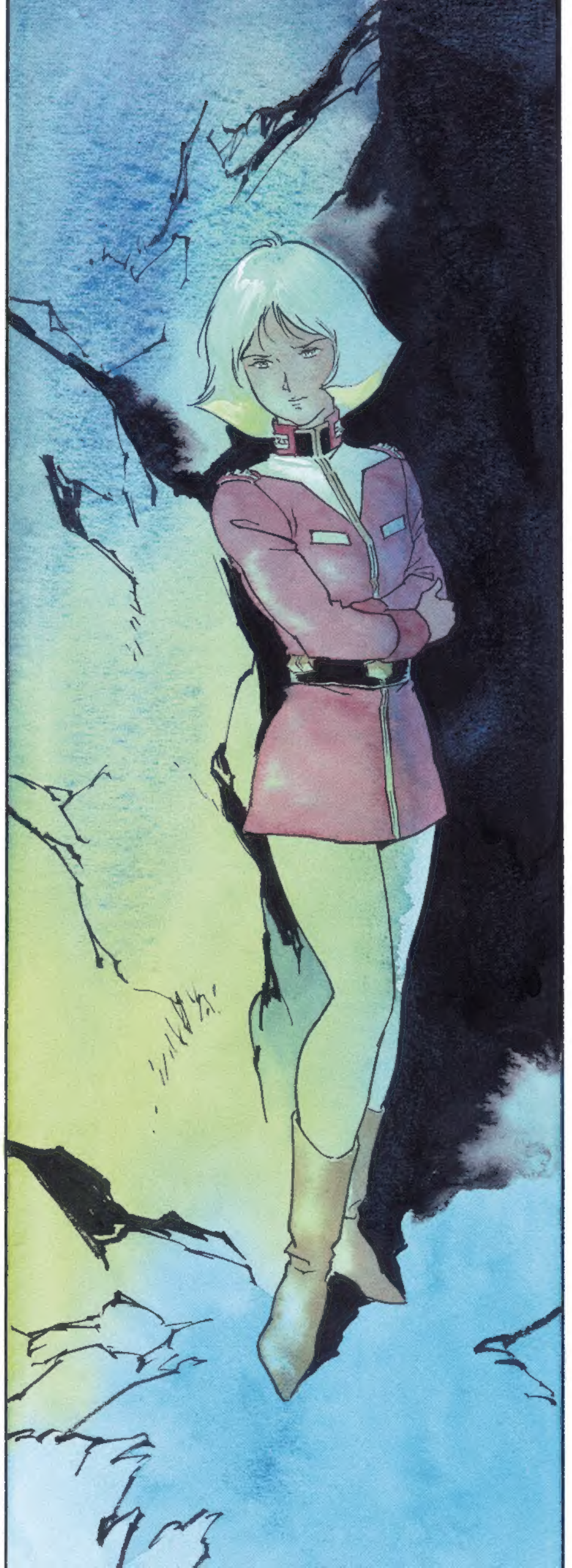
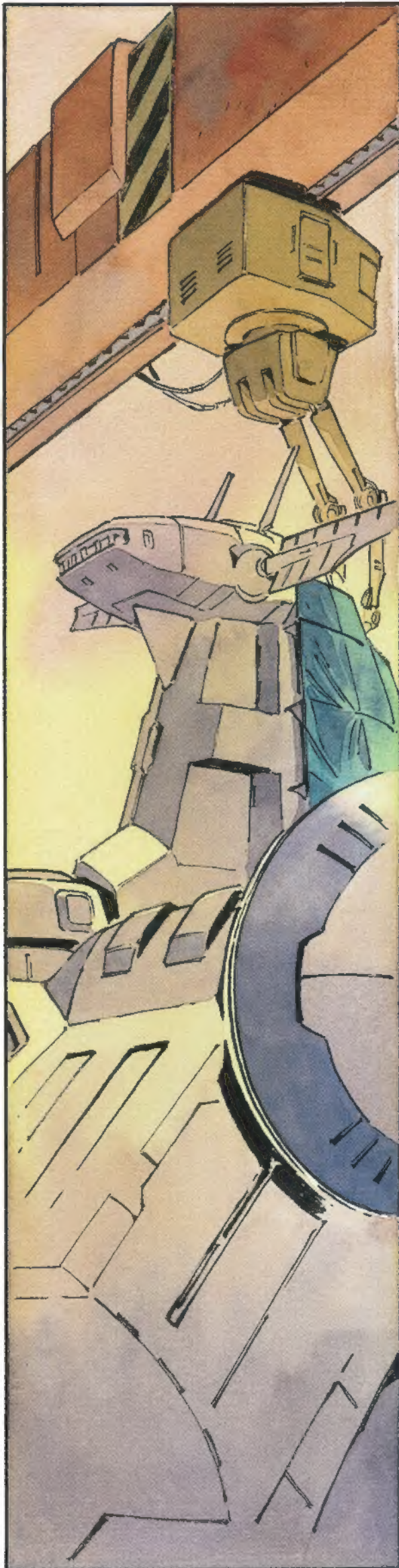
—シャア・セイラ編・前—

SECTION  
I













制めようと  
したけど  
ダメだったん  
です

改修の指揮に  
加えて 最後には  
体をはって護って  
くれたなんて...



ホワイトベースの被害が  
最小限でよかった

それもこれも  
ウツデイ大尉の  
おかげだな



判るわあ

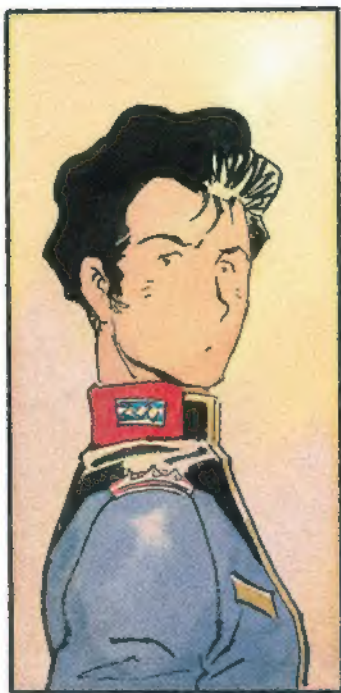
そんな気が  
します

マチルダさんの  
こともあって  
僕ら以上にホワイト  
ベースに愛着が  
あったようです



そう  
なのか?

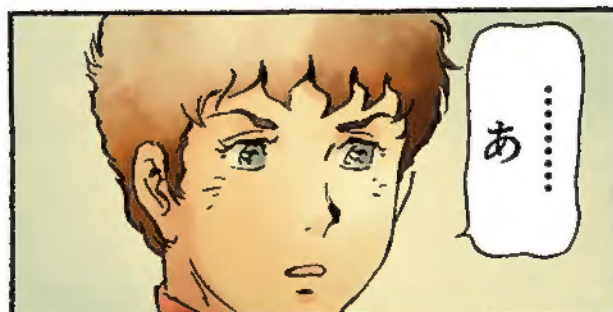
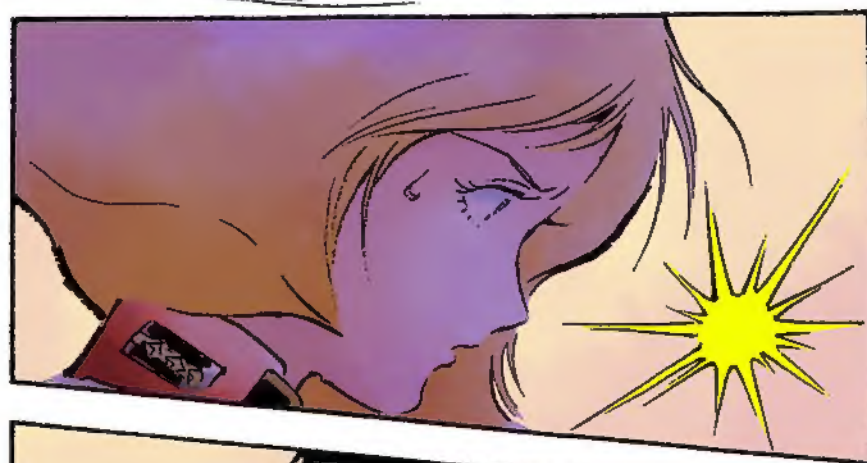
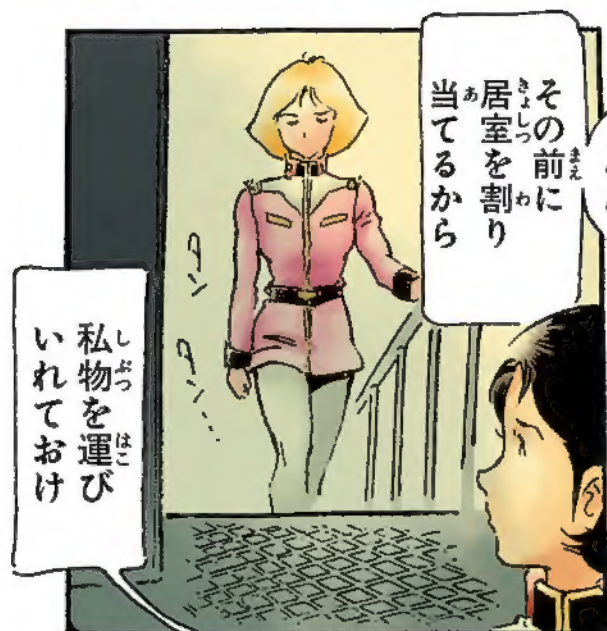
さああ



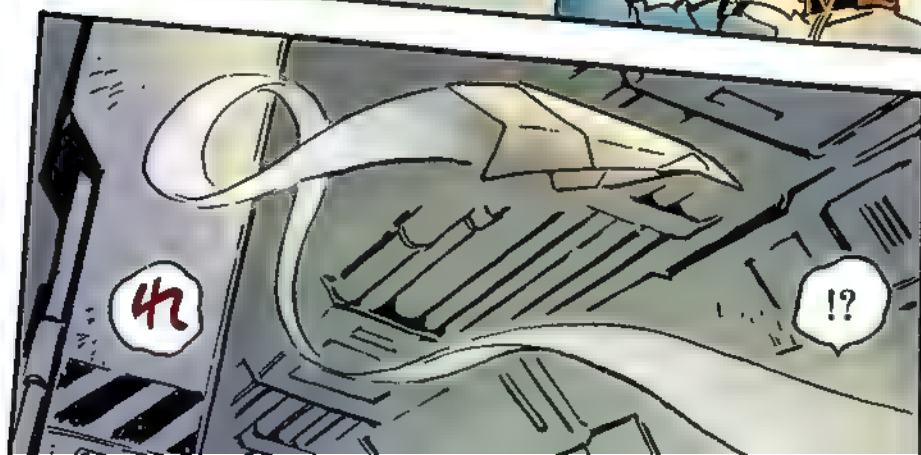
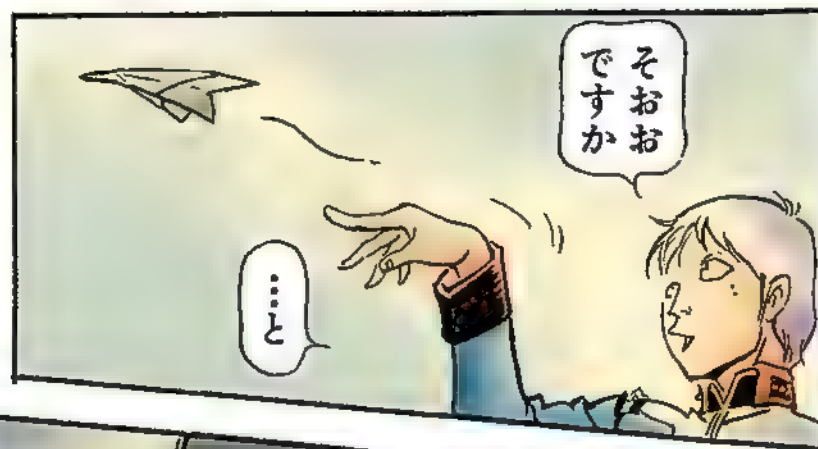
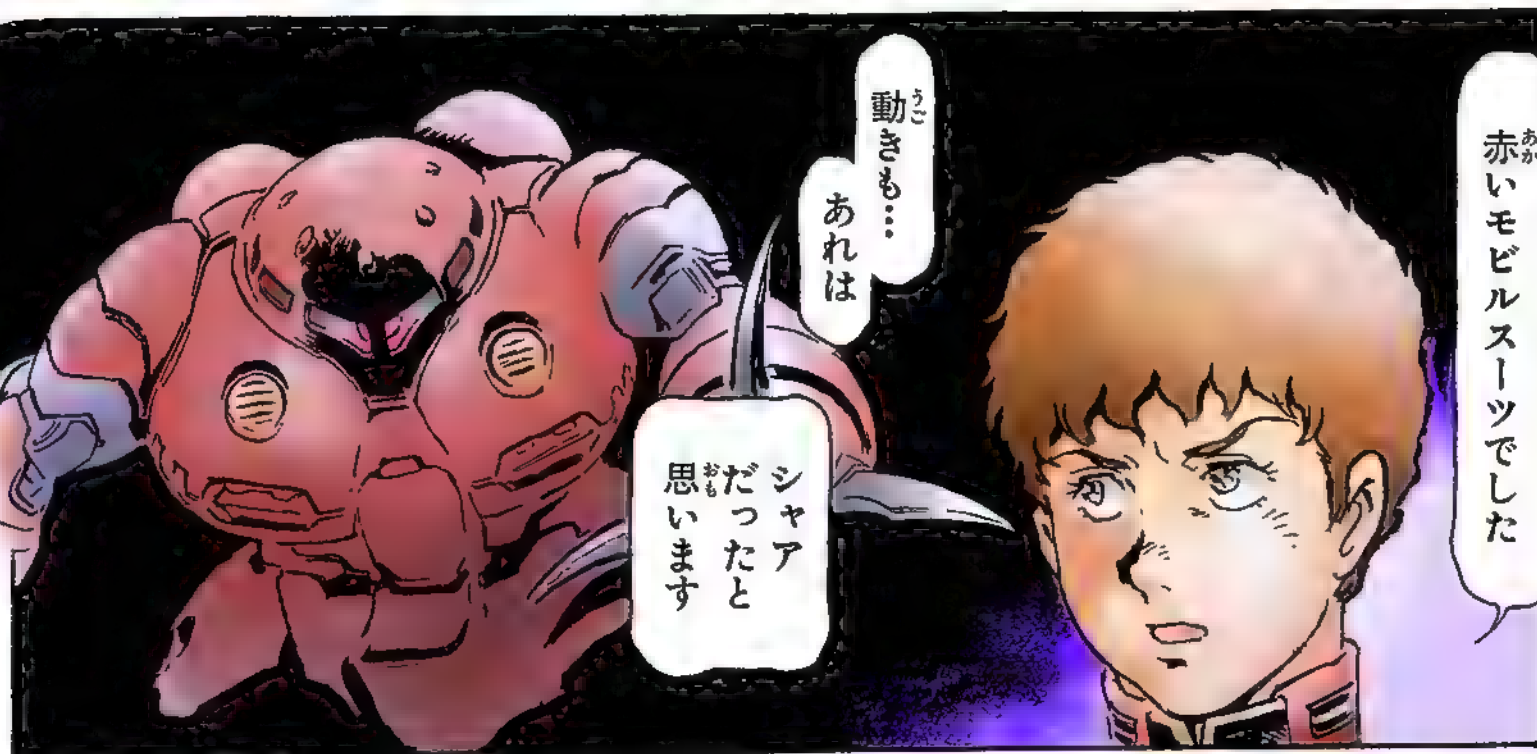
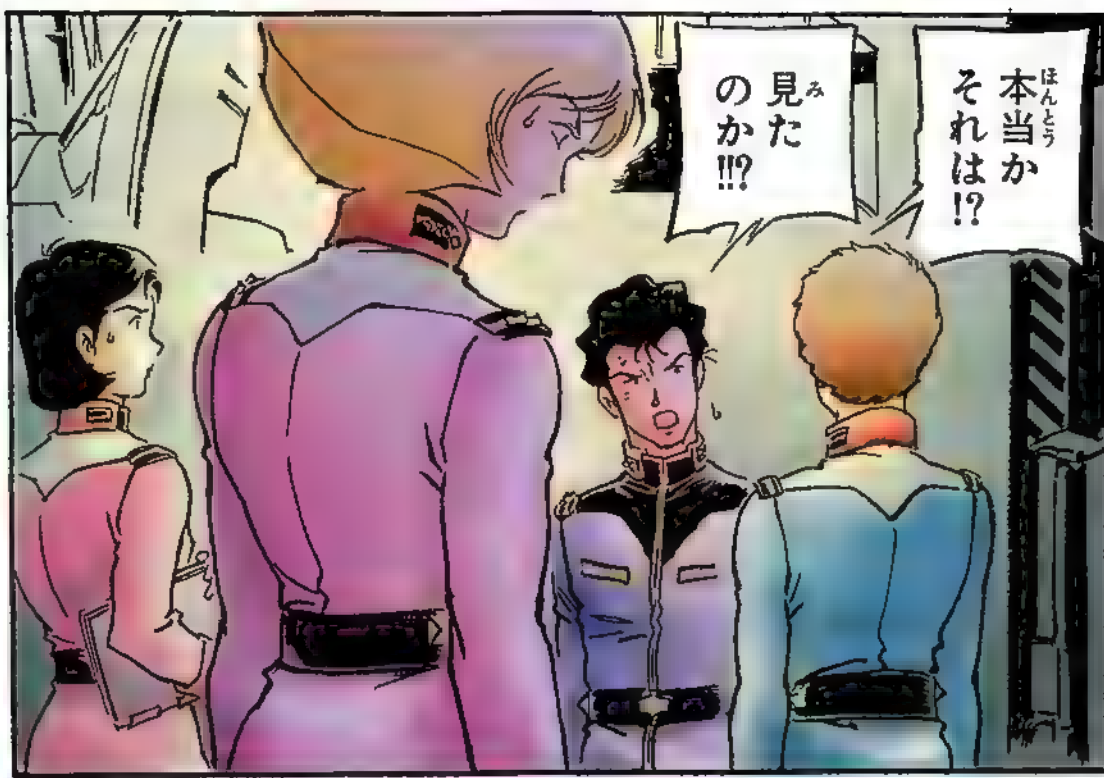
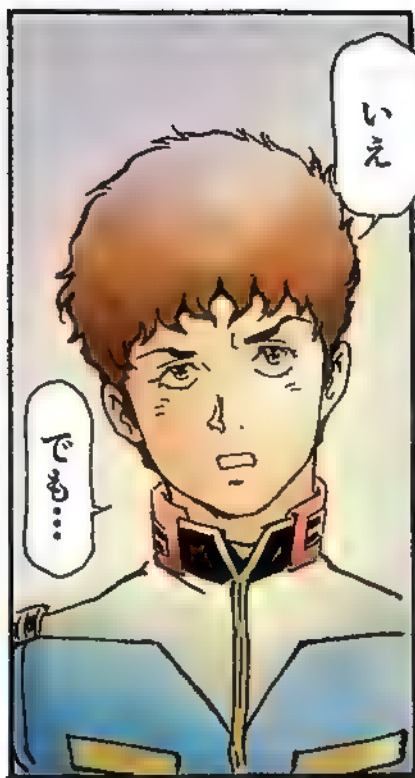
...するのよね

男の人って  
そんな感じかた

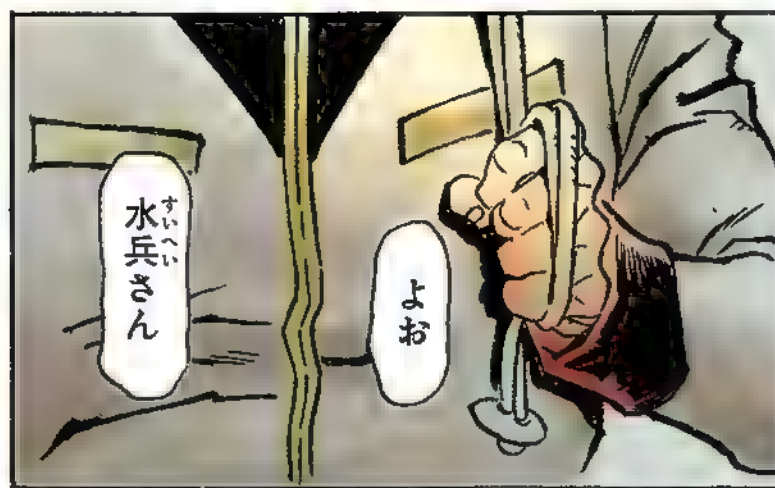
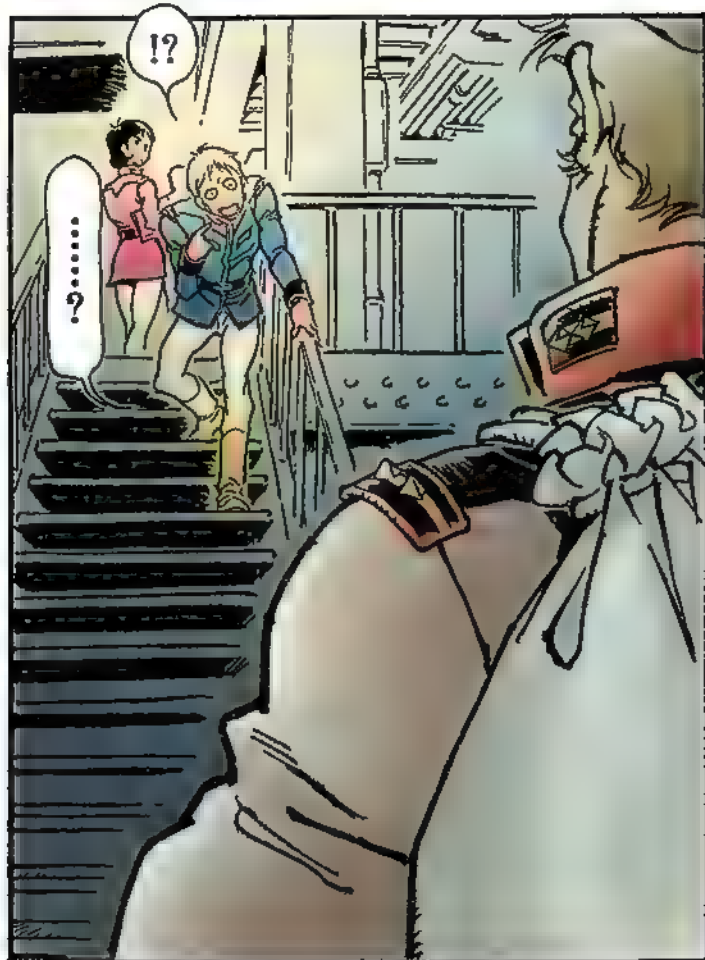
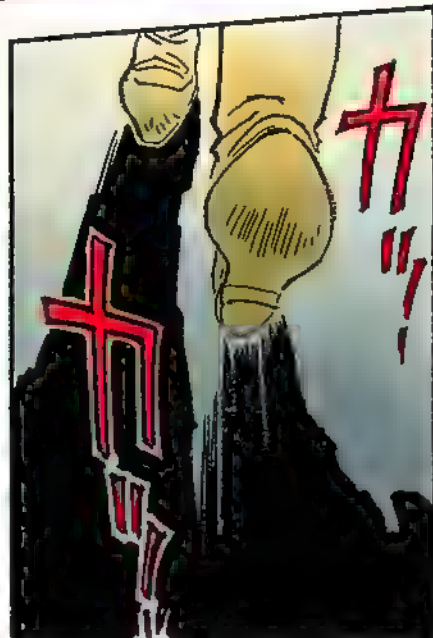
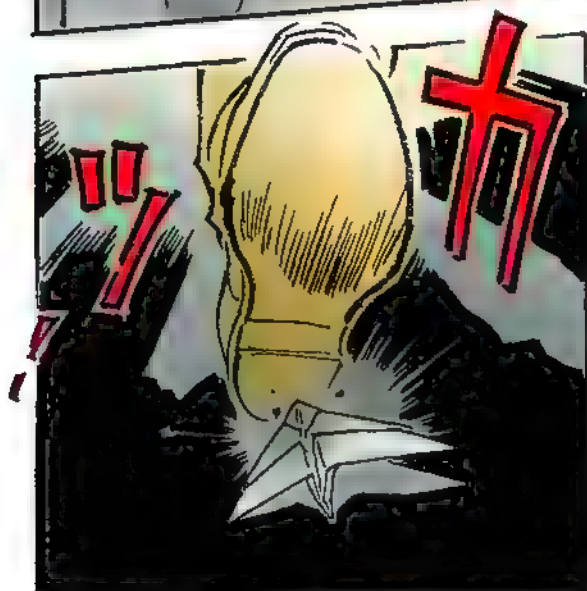
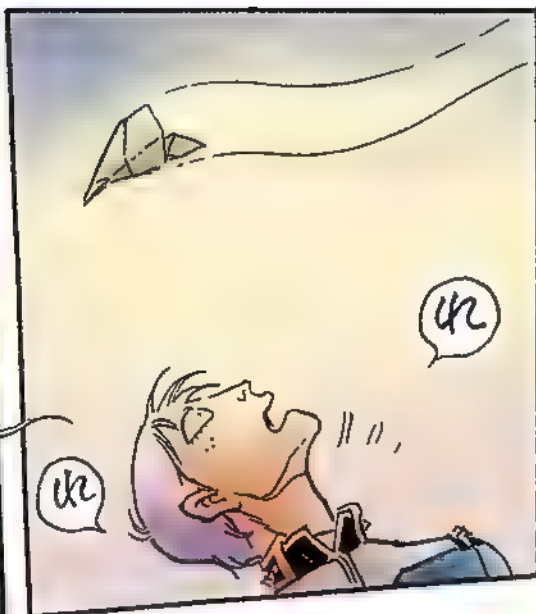




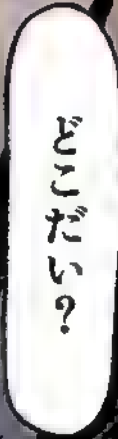
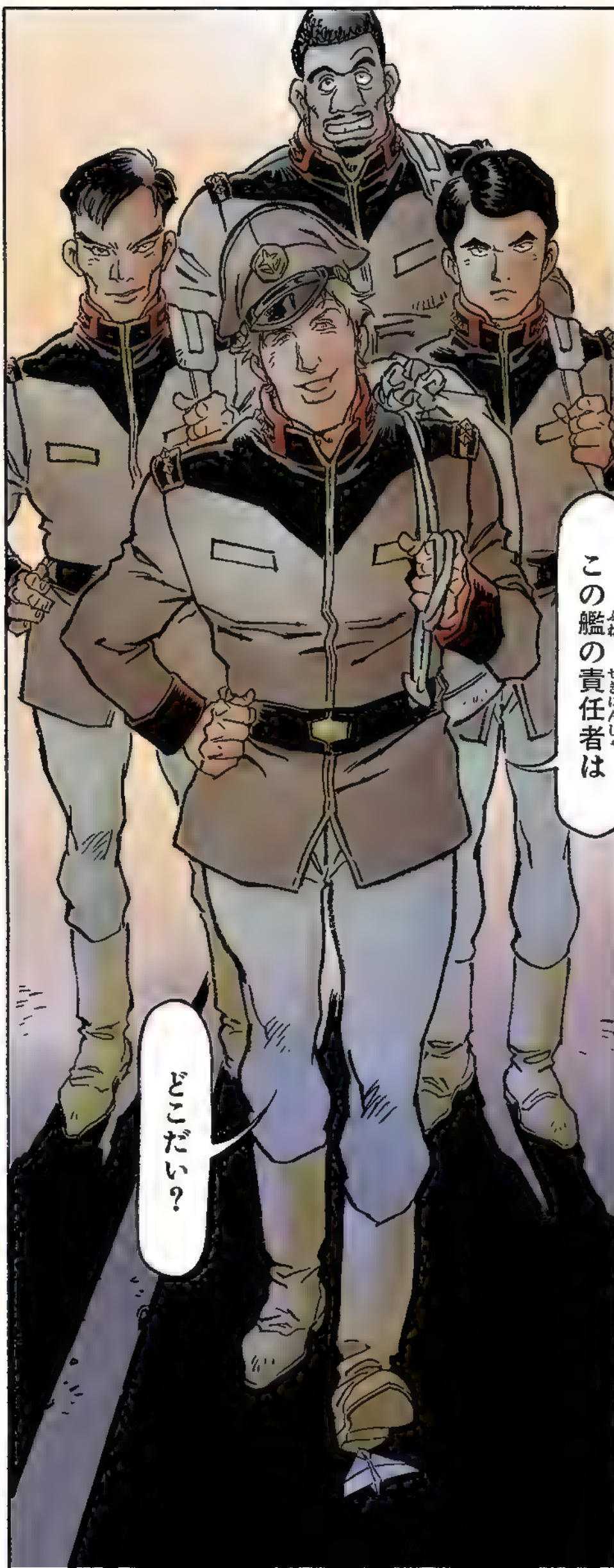
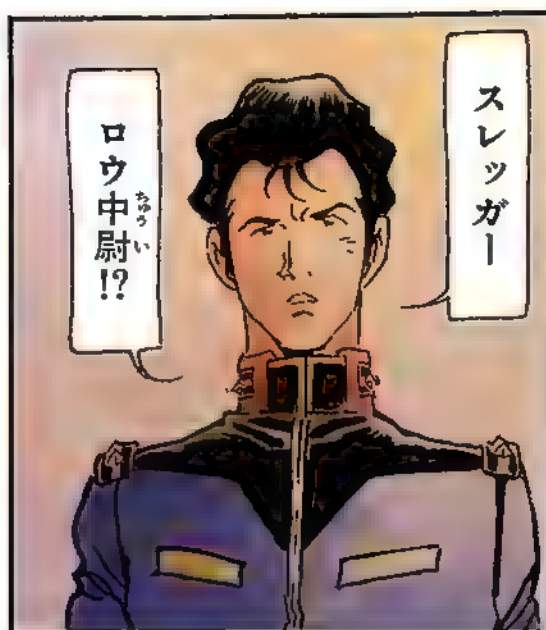
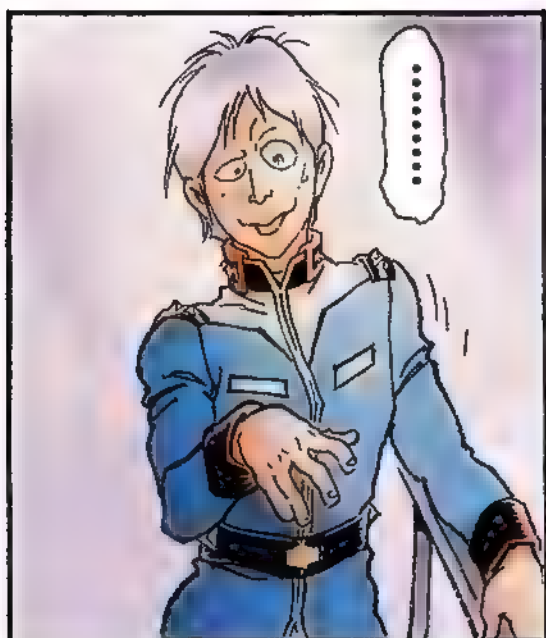




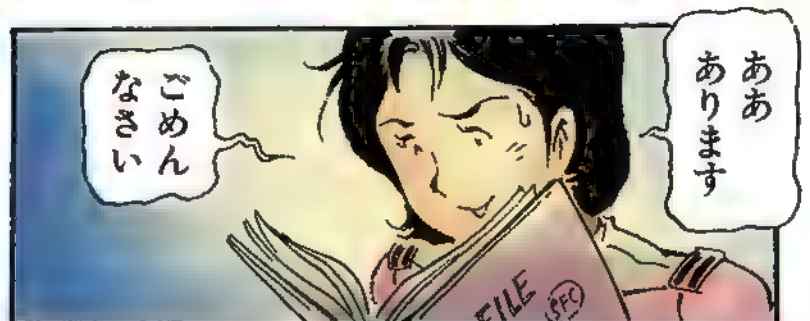
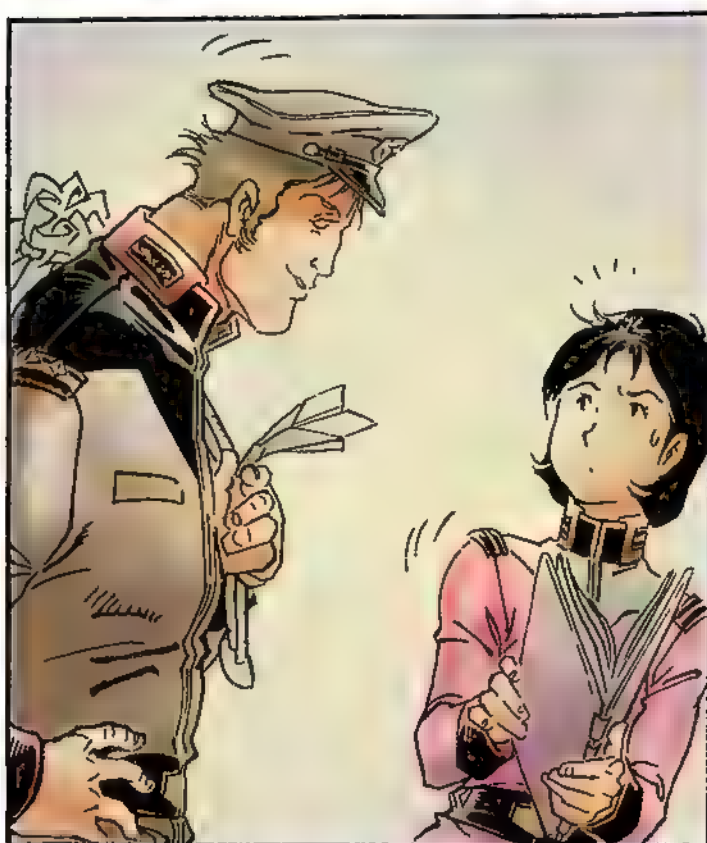
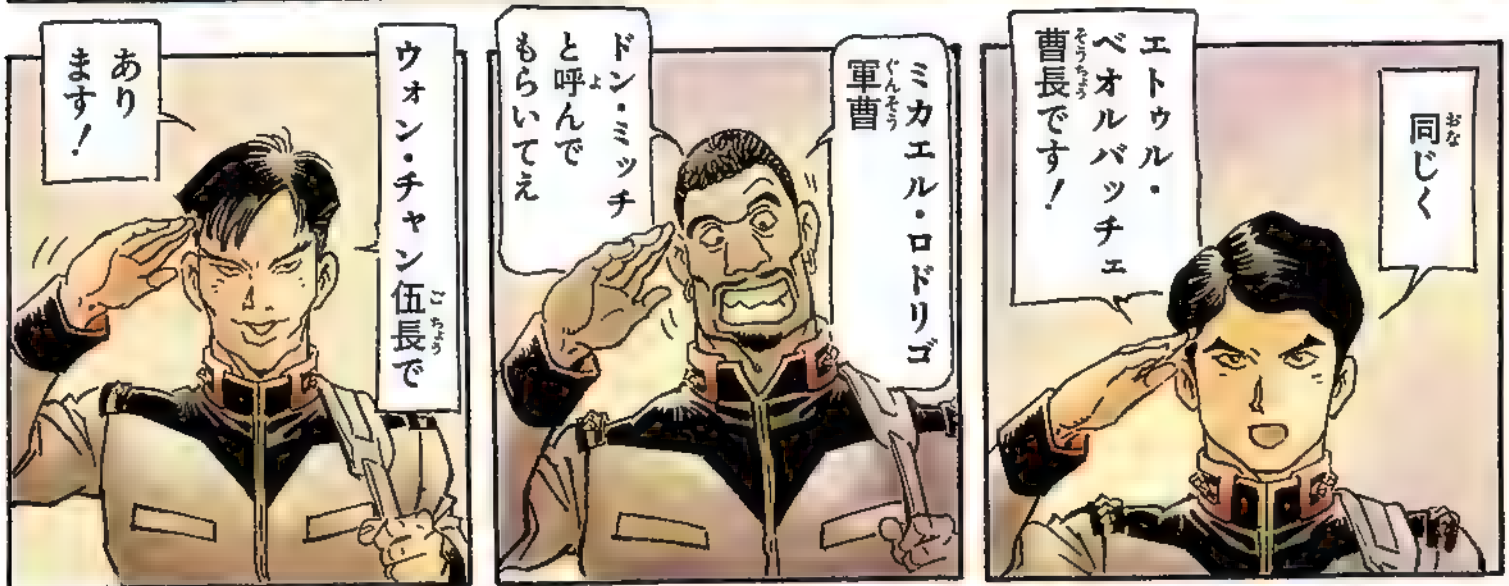




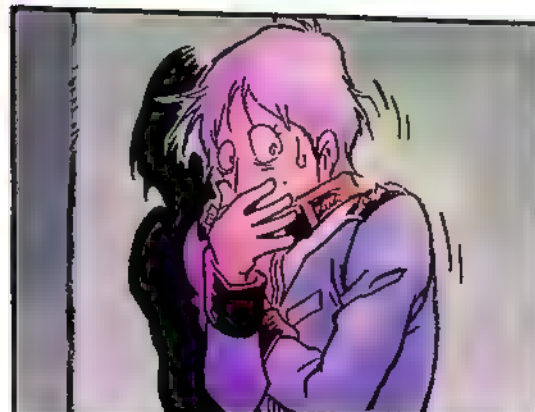
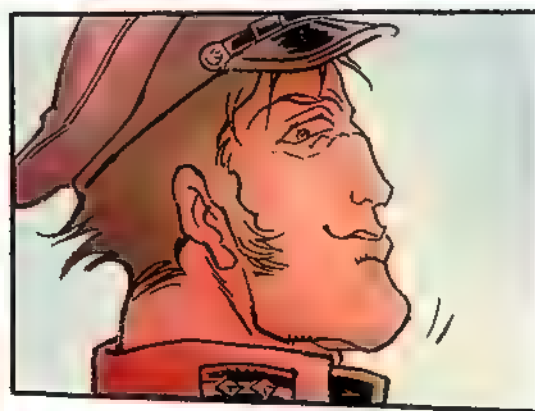
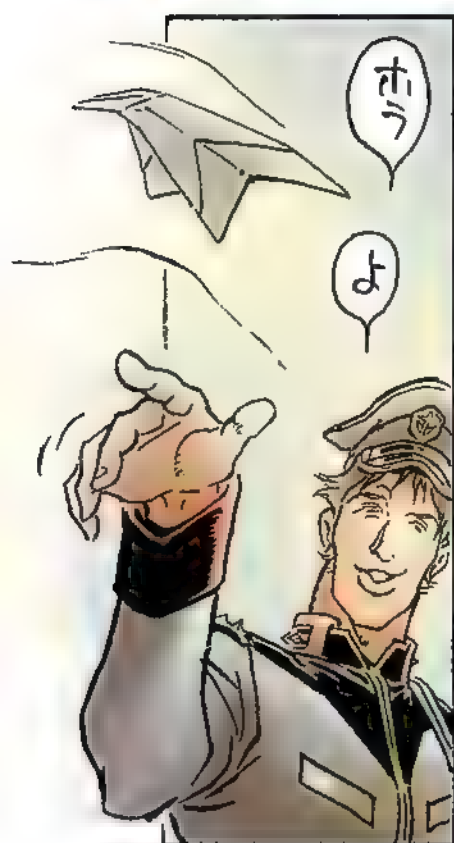
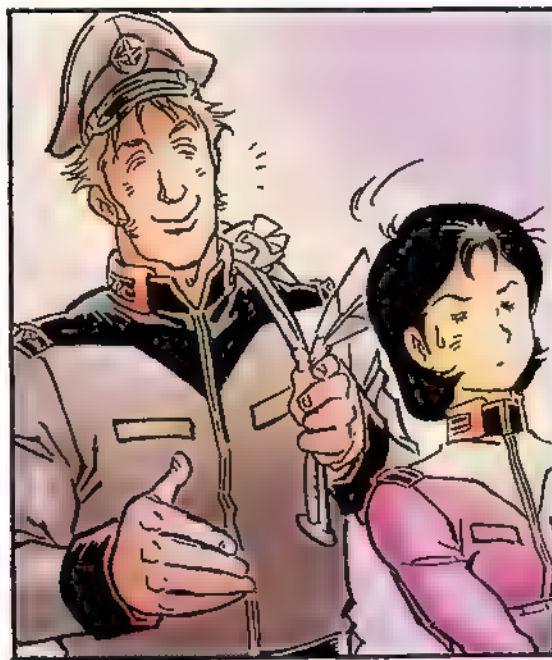
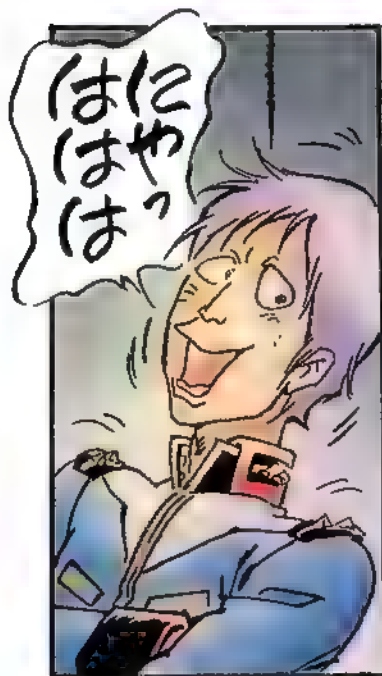




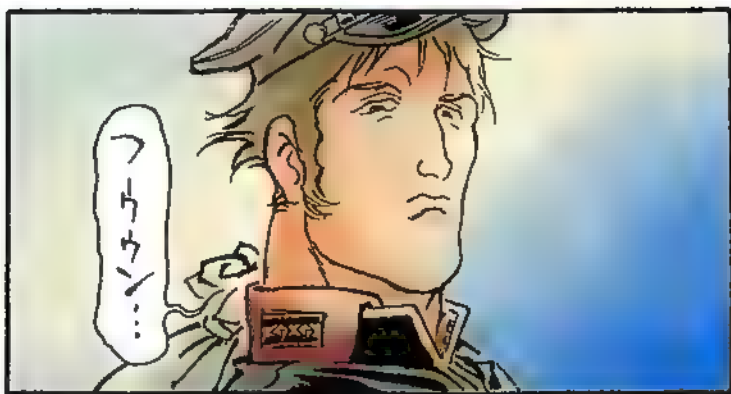
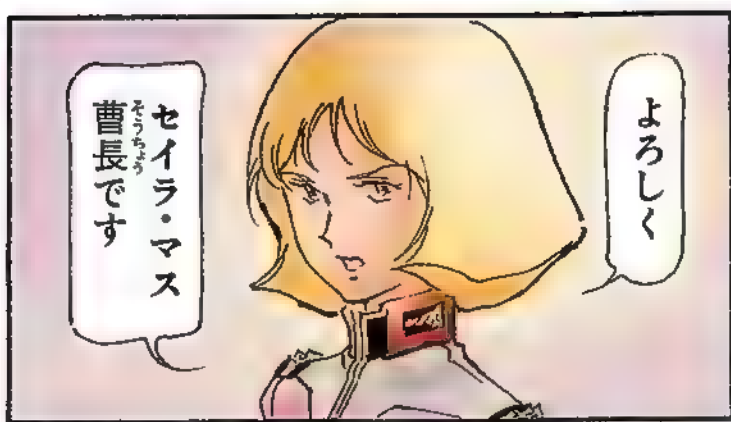
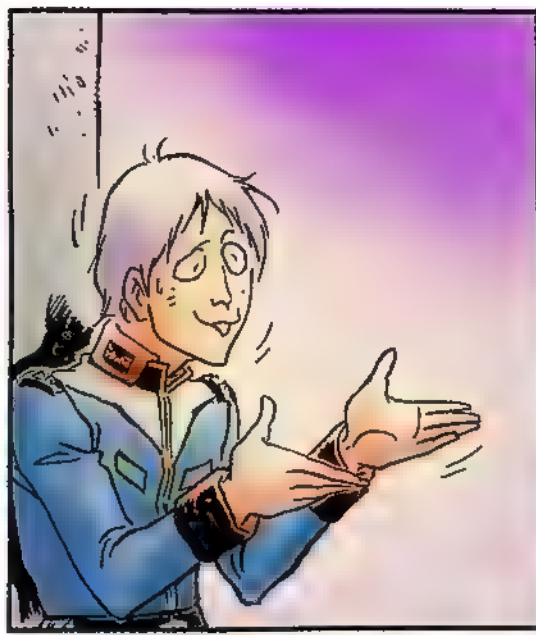
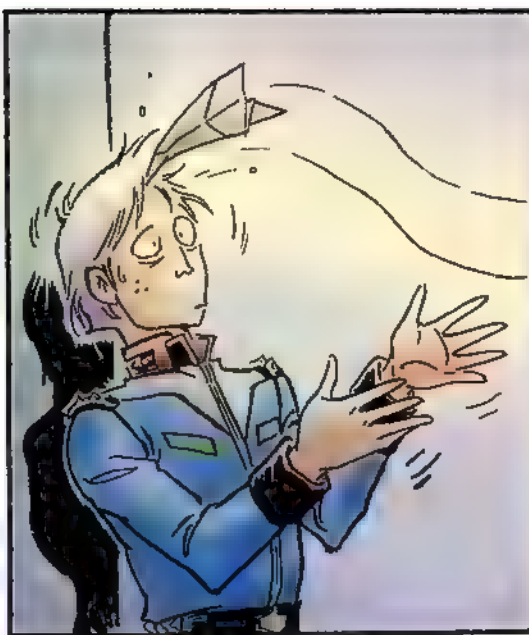
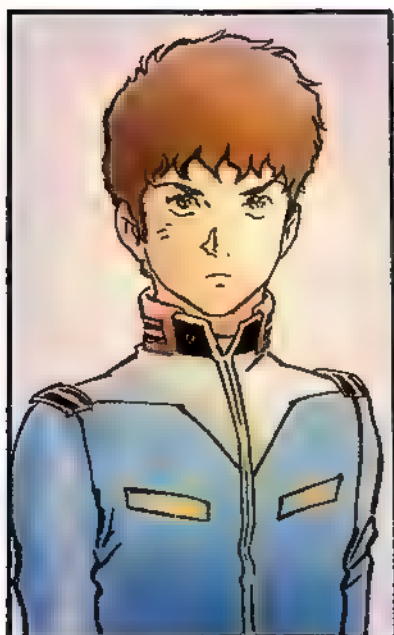




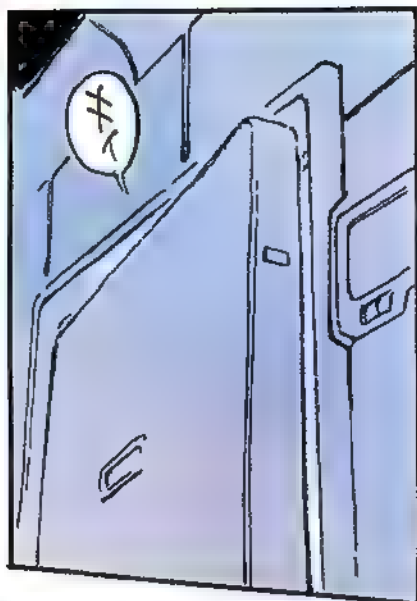
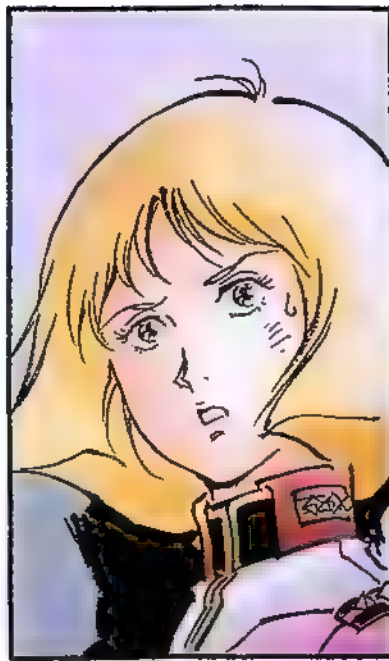












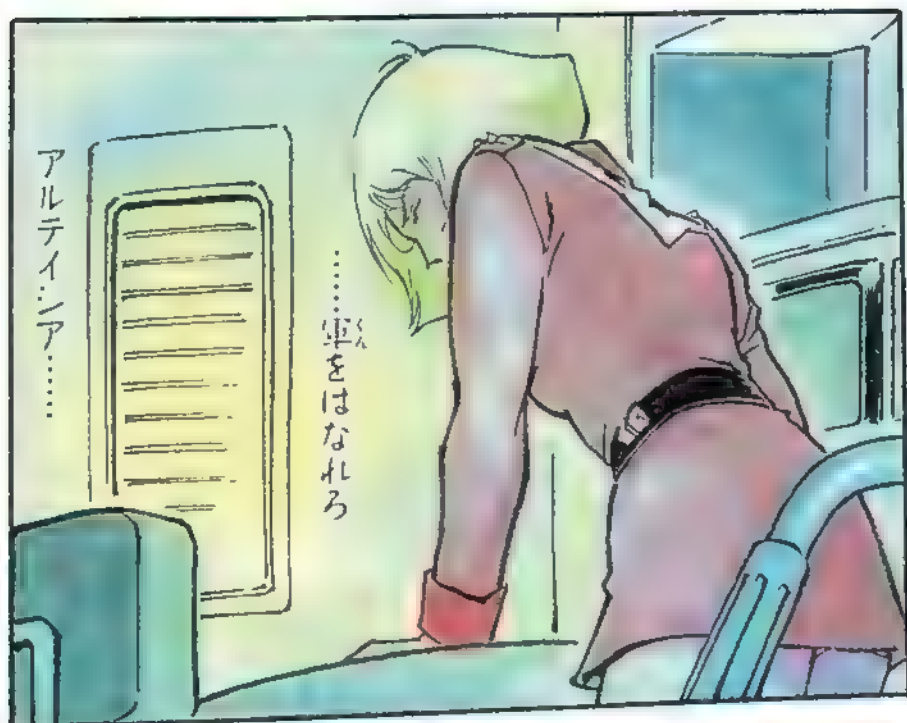
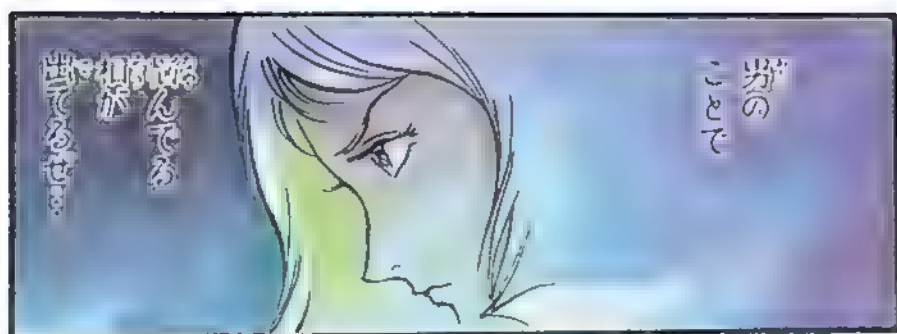
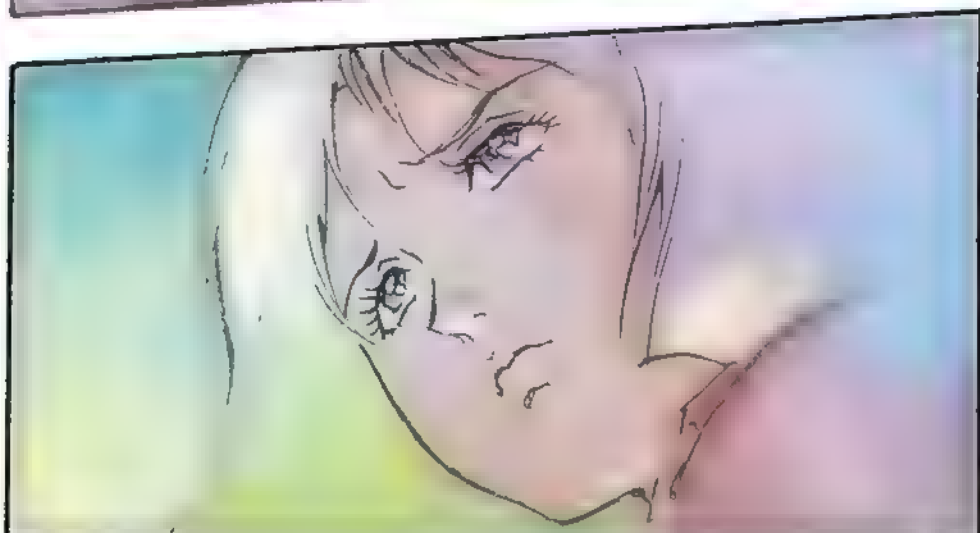
俺達の  
寝ぐら

よおっ

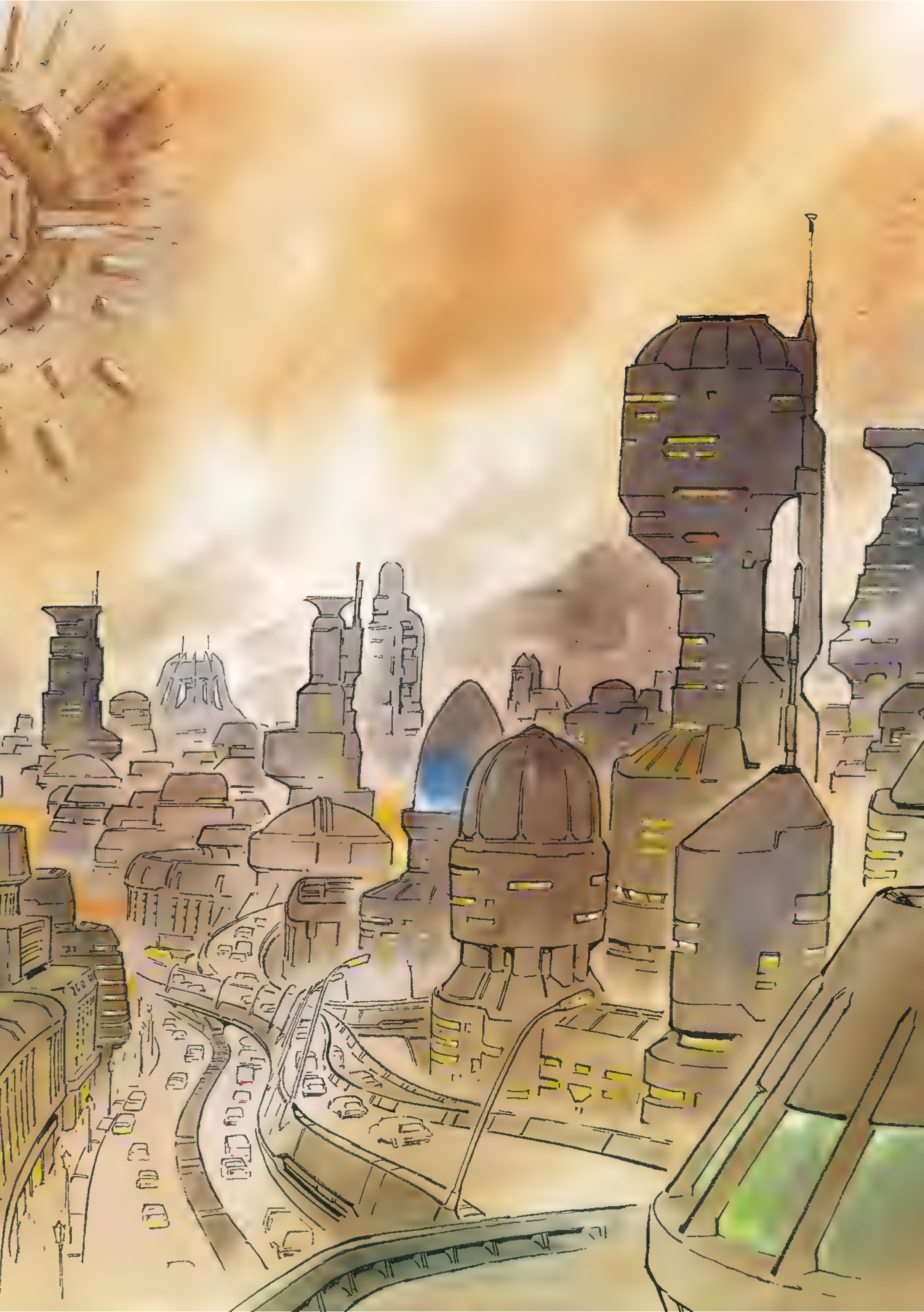
GO!













宇宙世紀

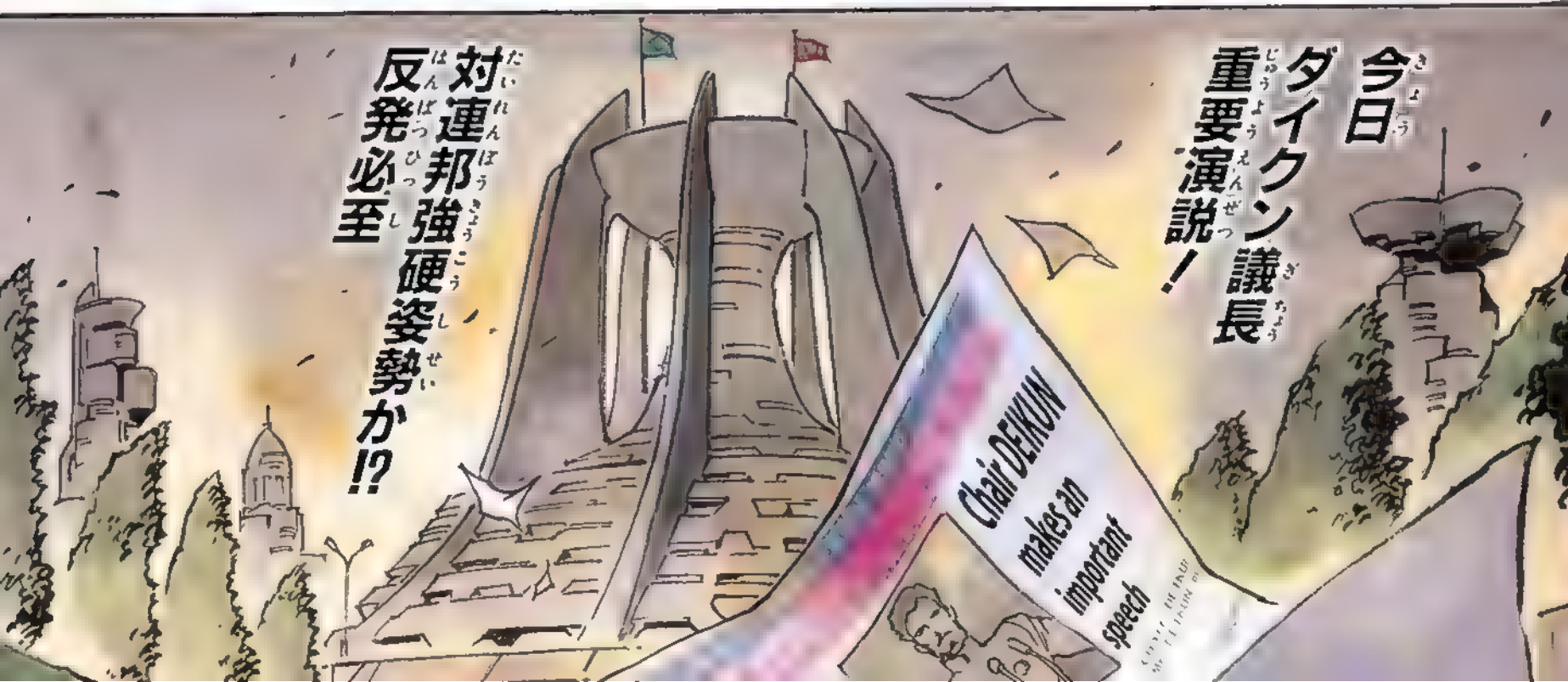
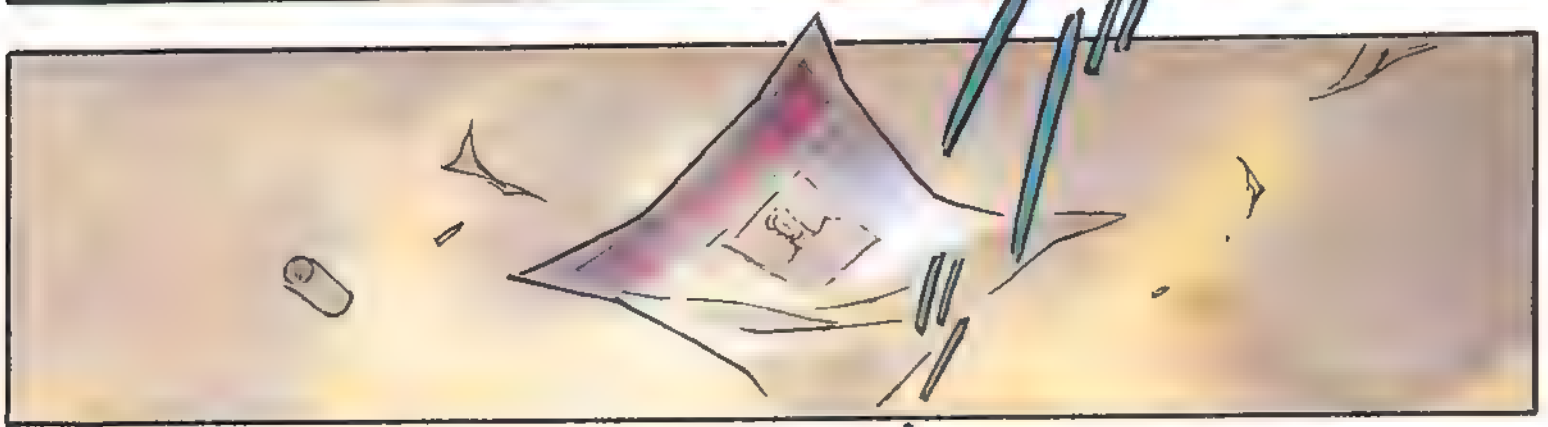
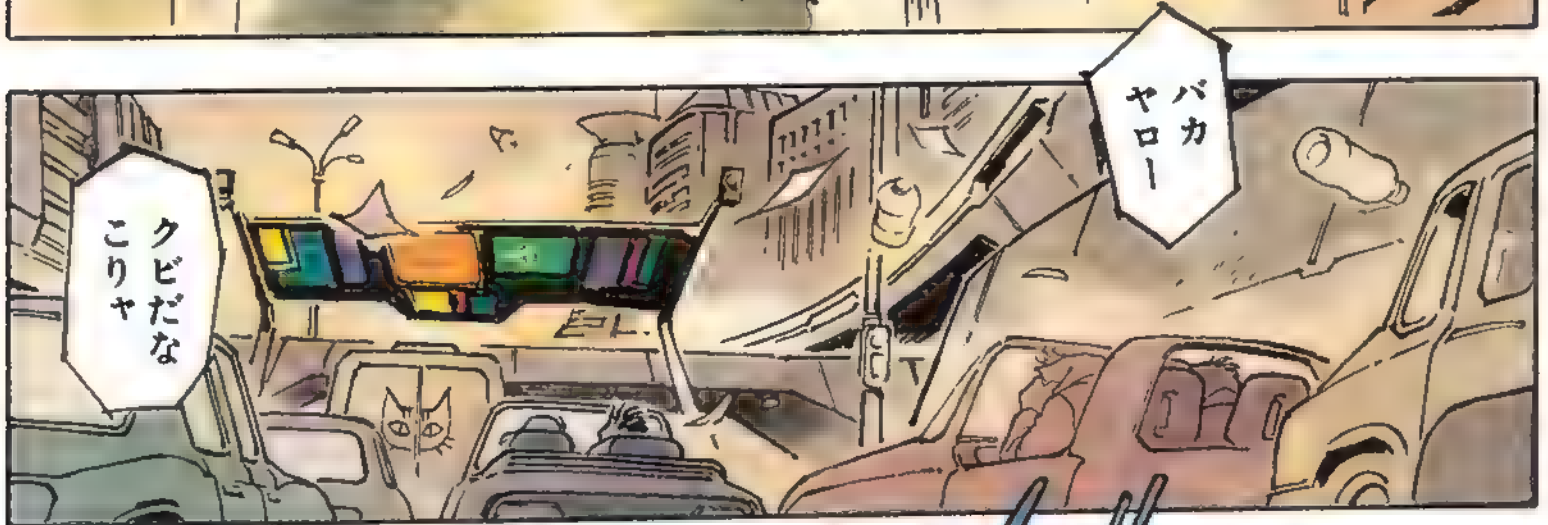
U.C.0068

サイド3

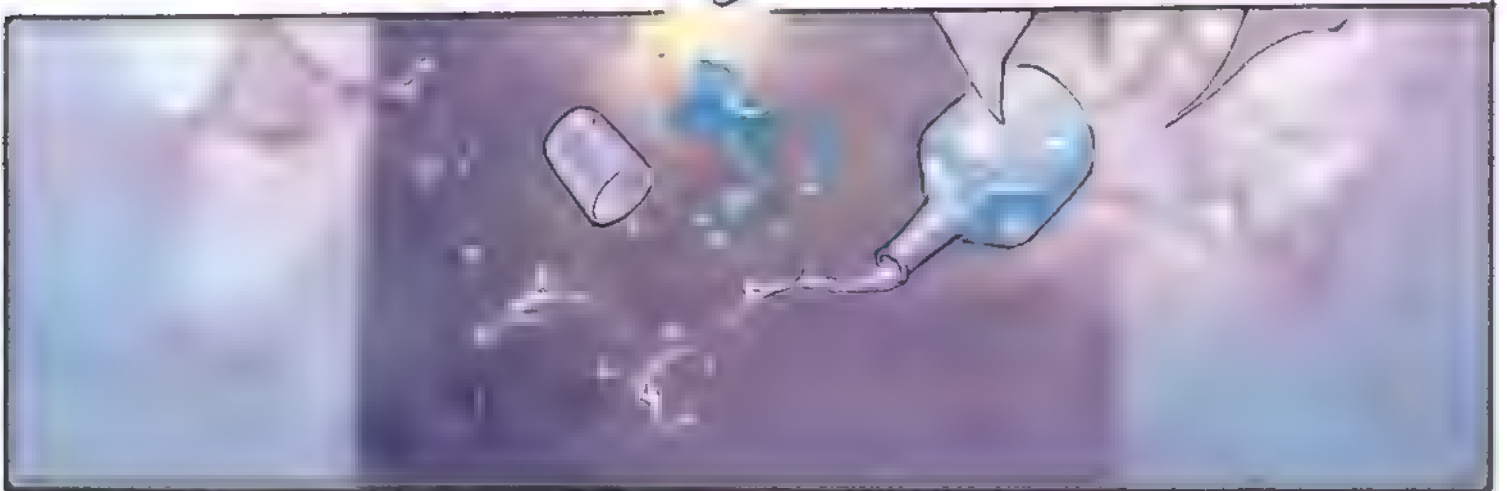
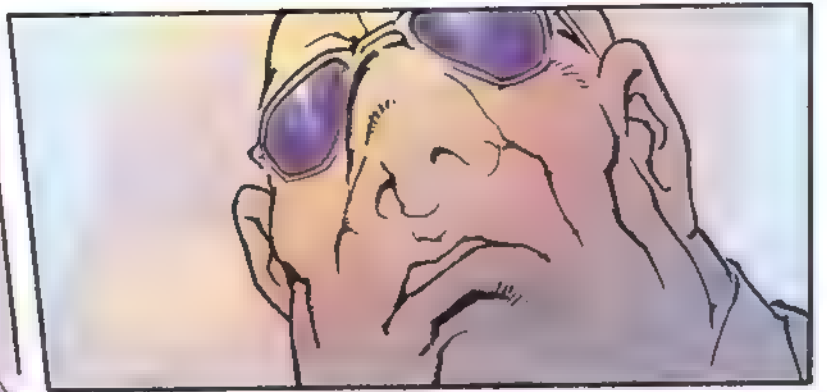
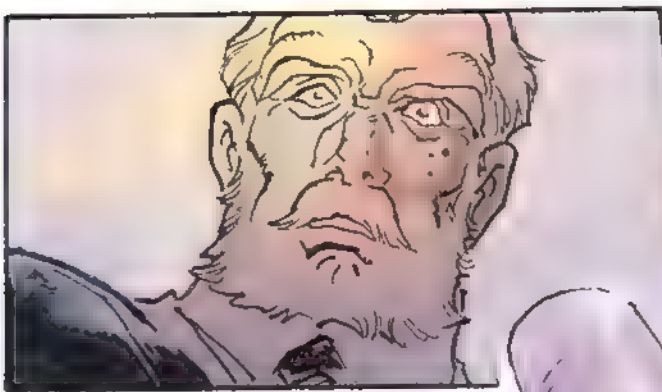
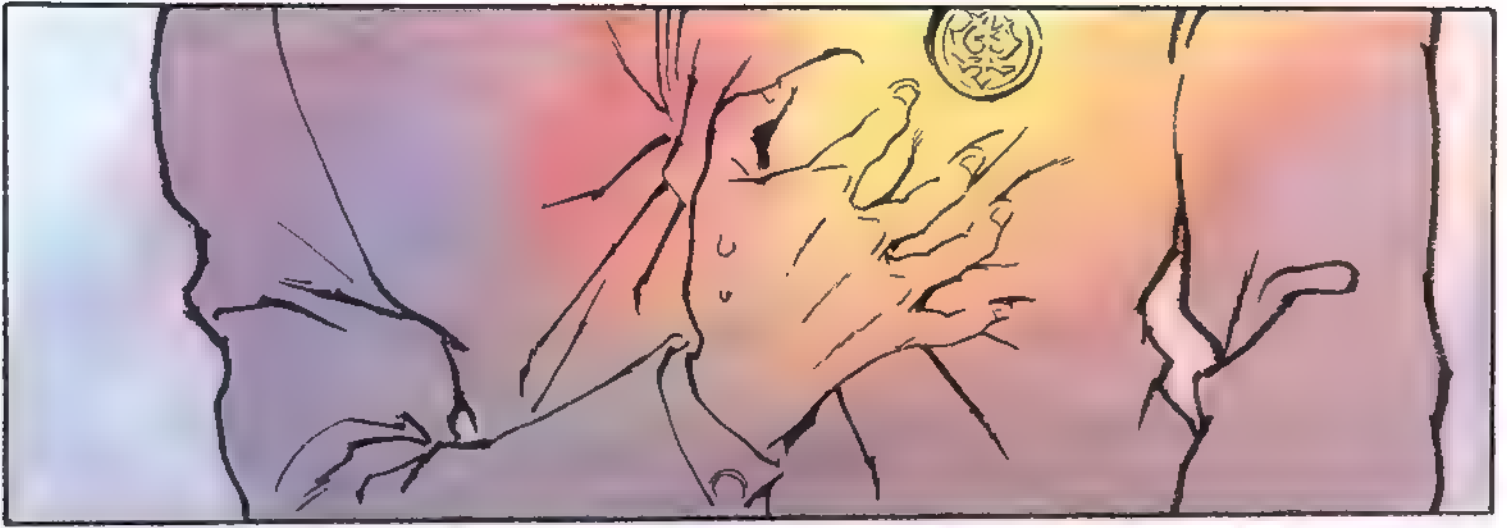
ムンゾ自治共和国







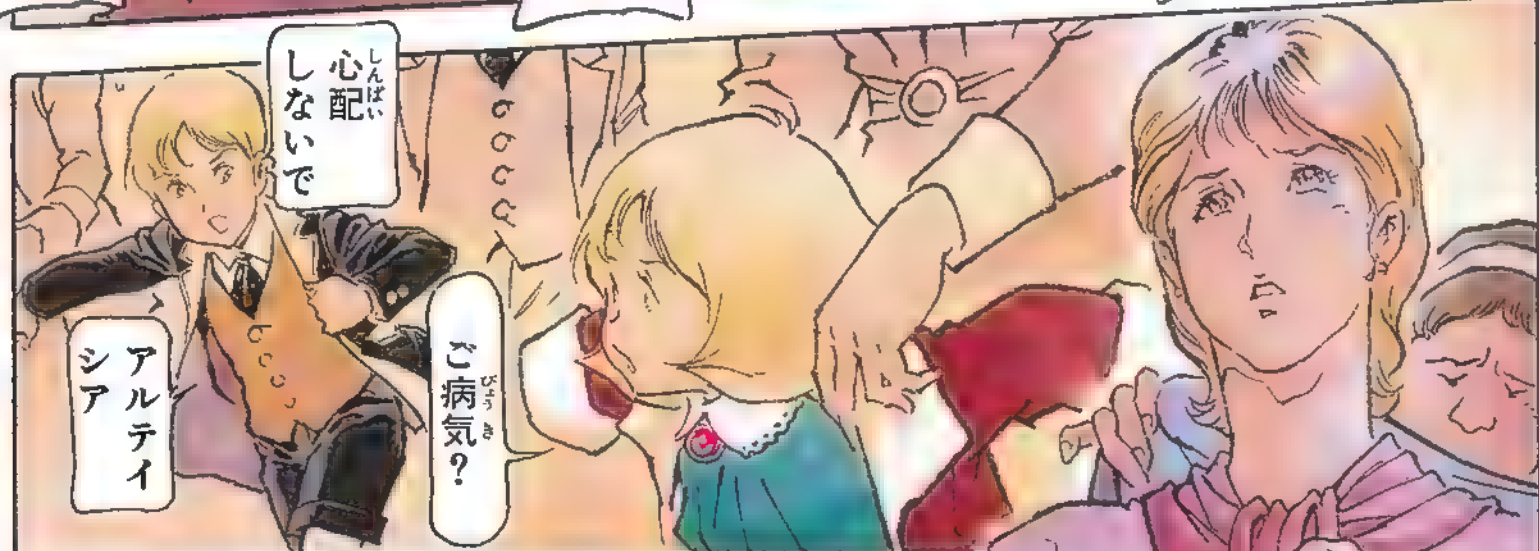
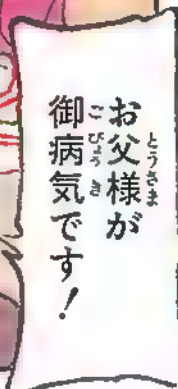
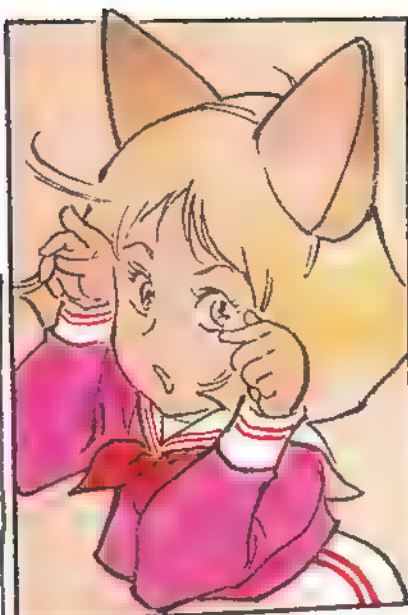






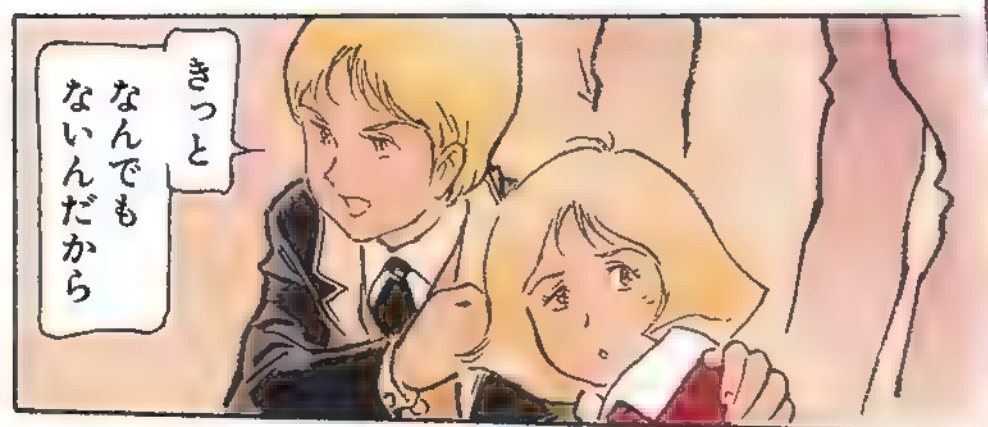




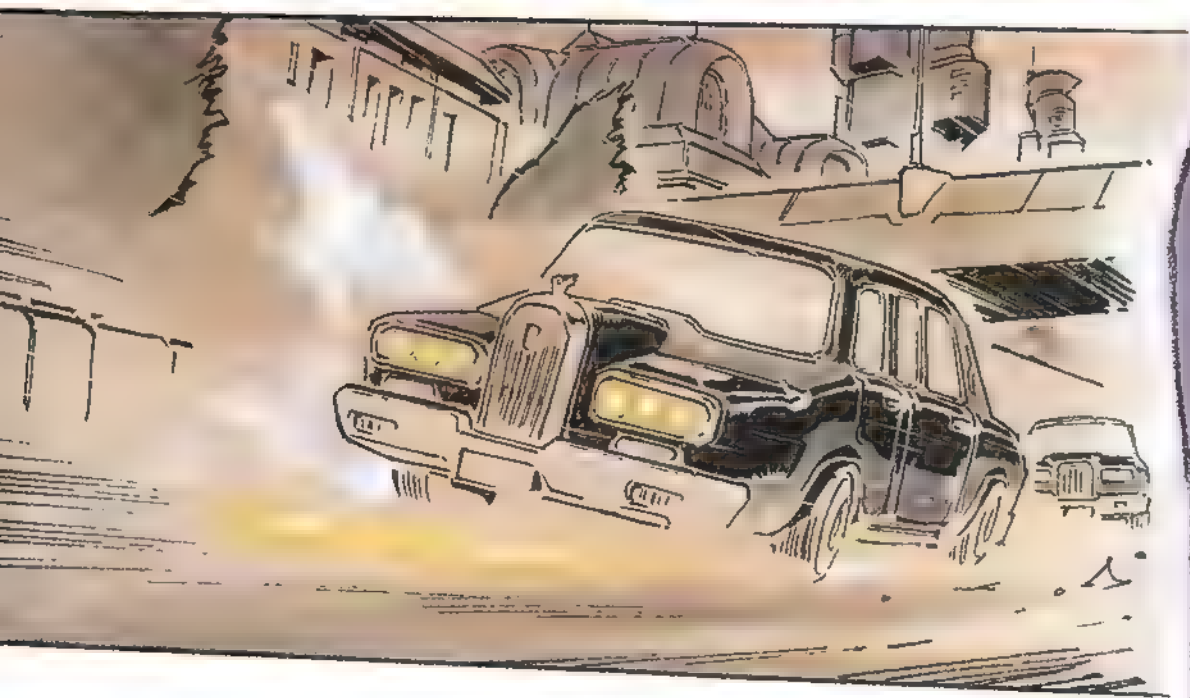


アルティ  
シア

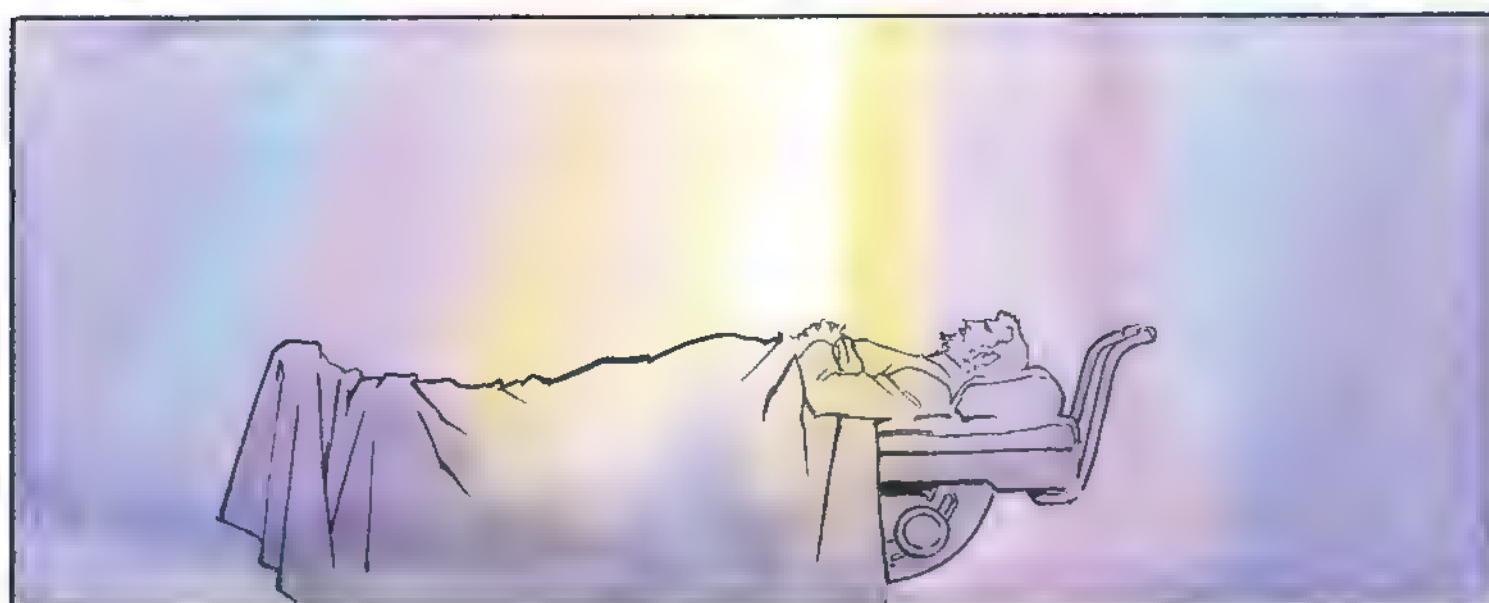
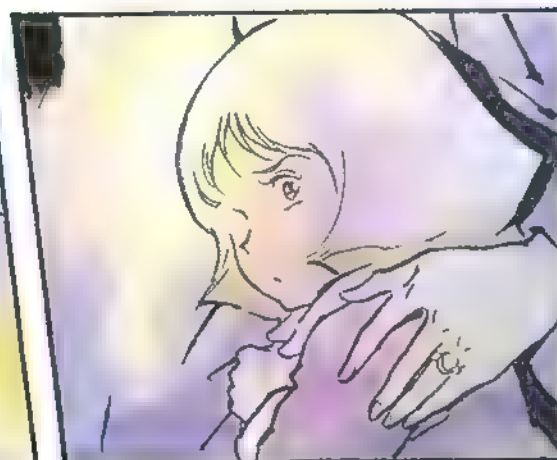
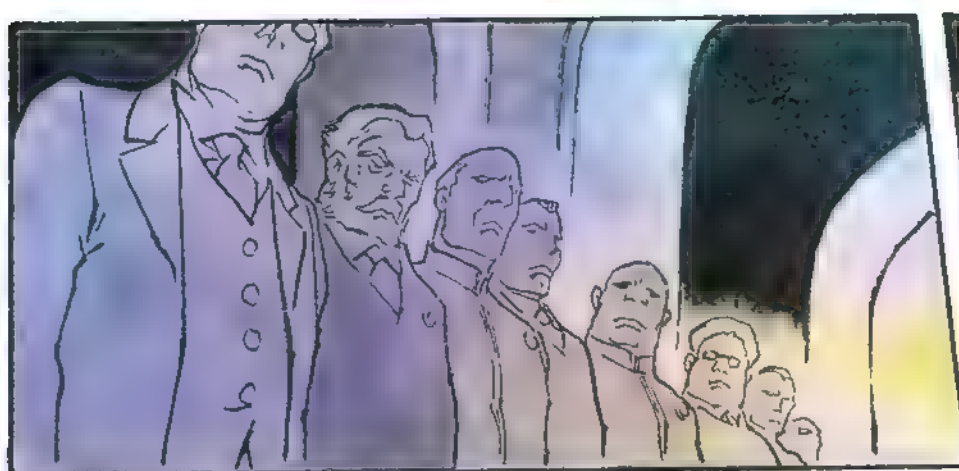
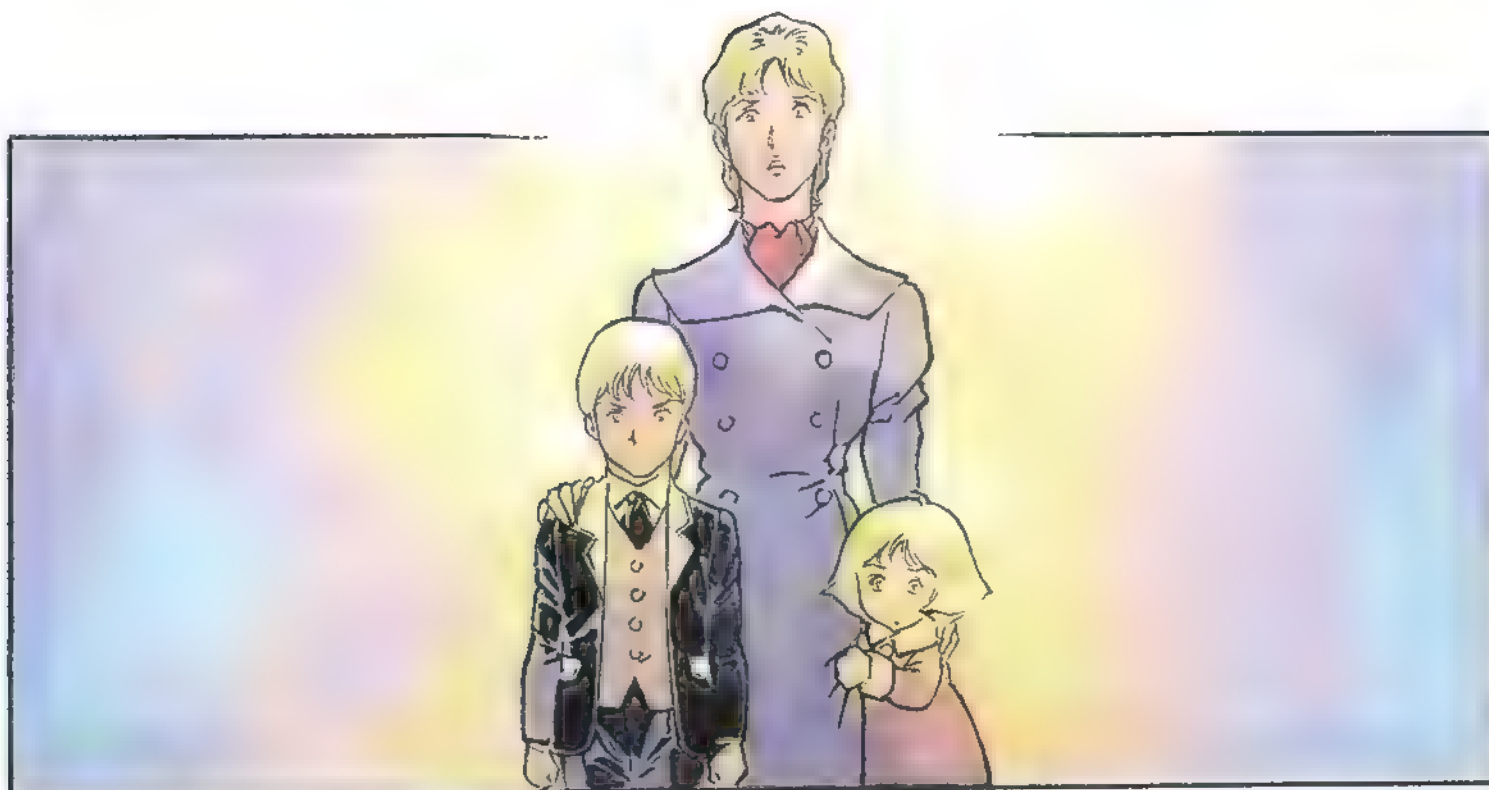
ご病氣?



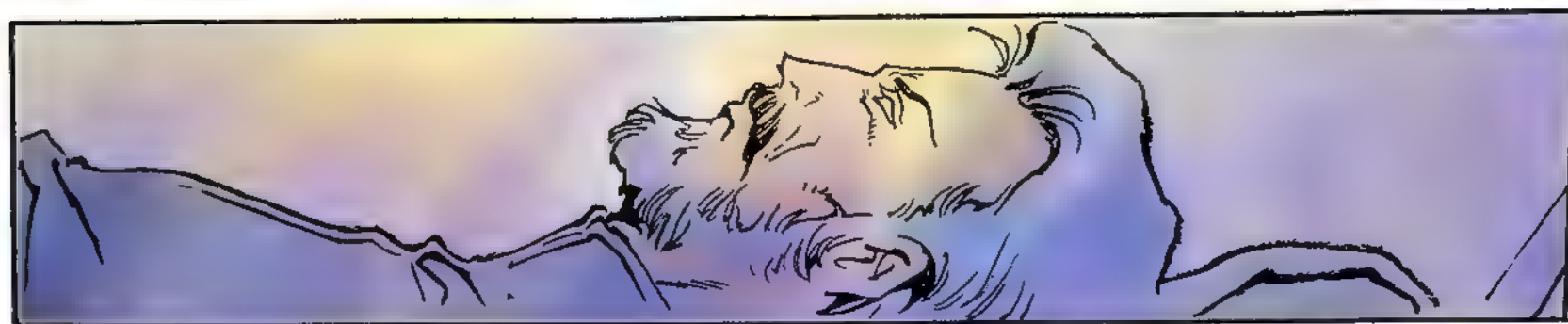
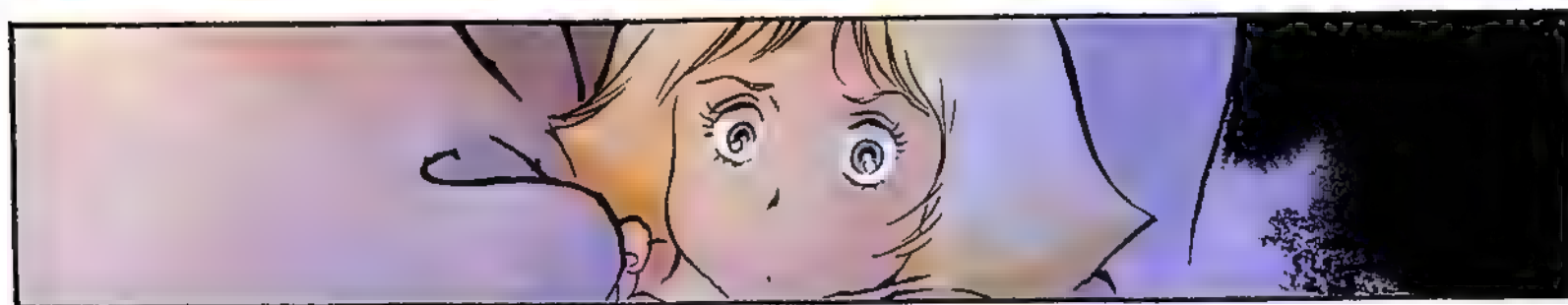
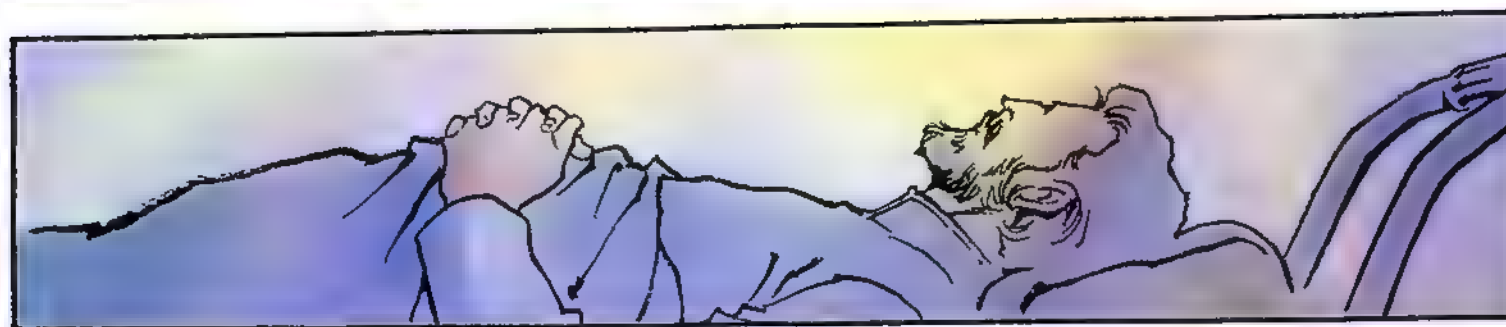
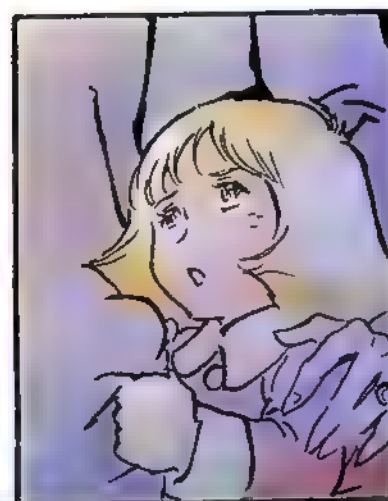
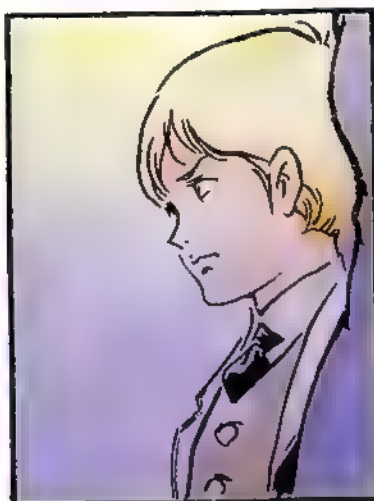
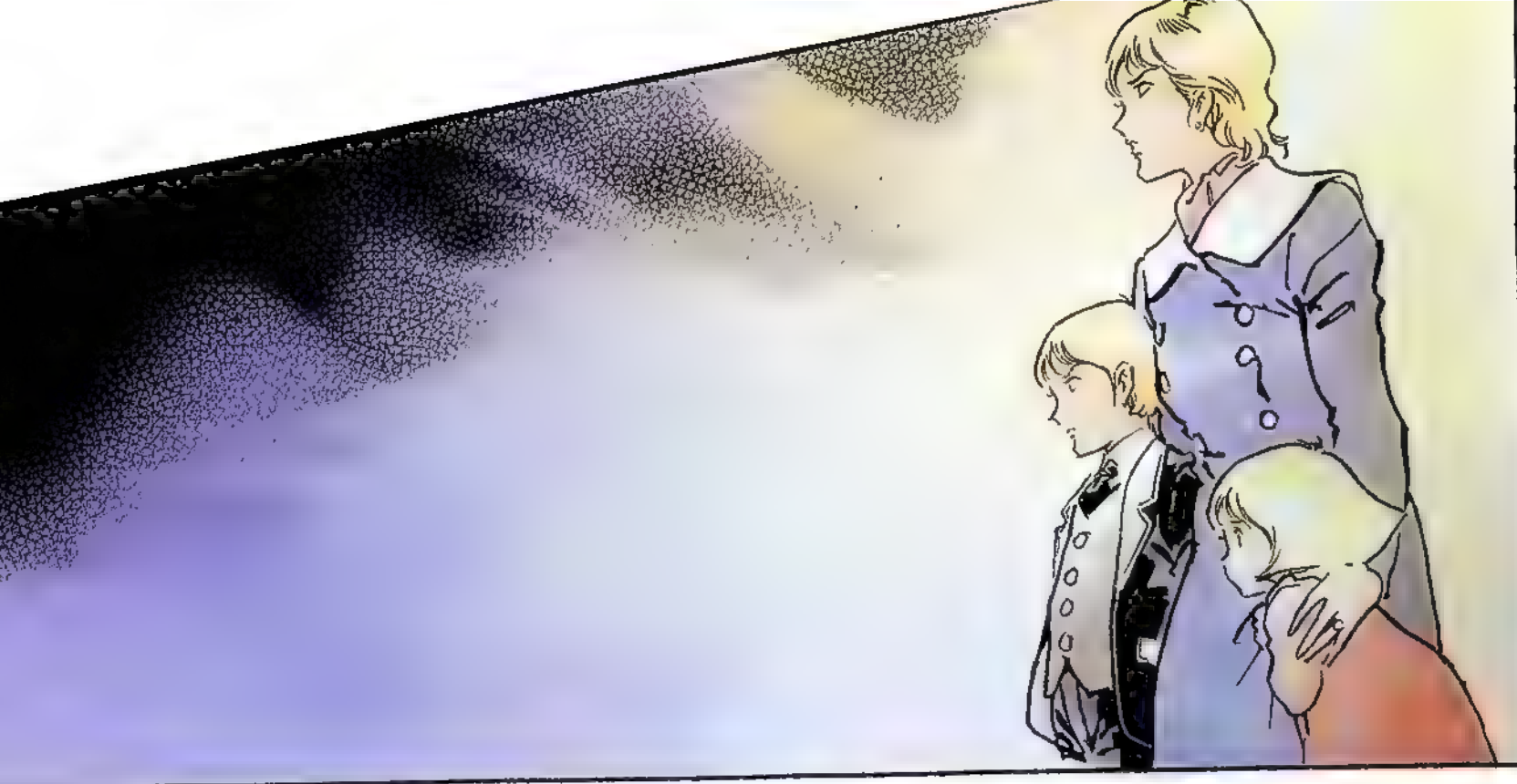
なんでも  
ないんだから



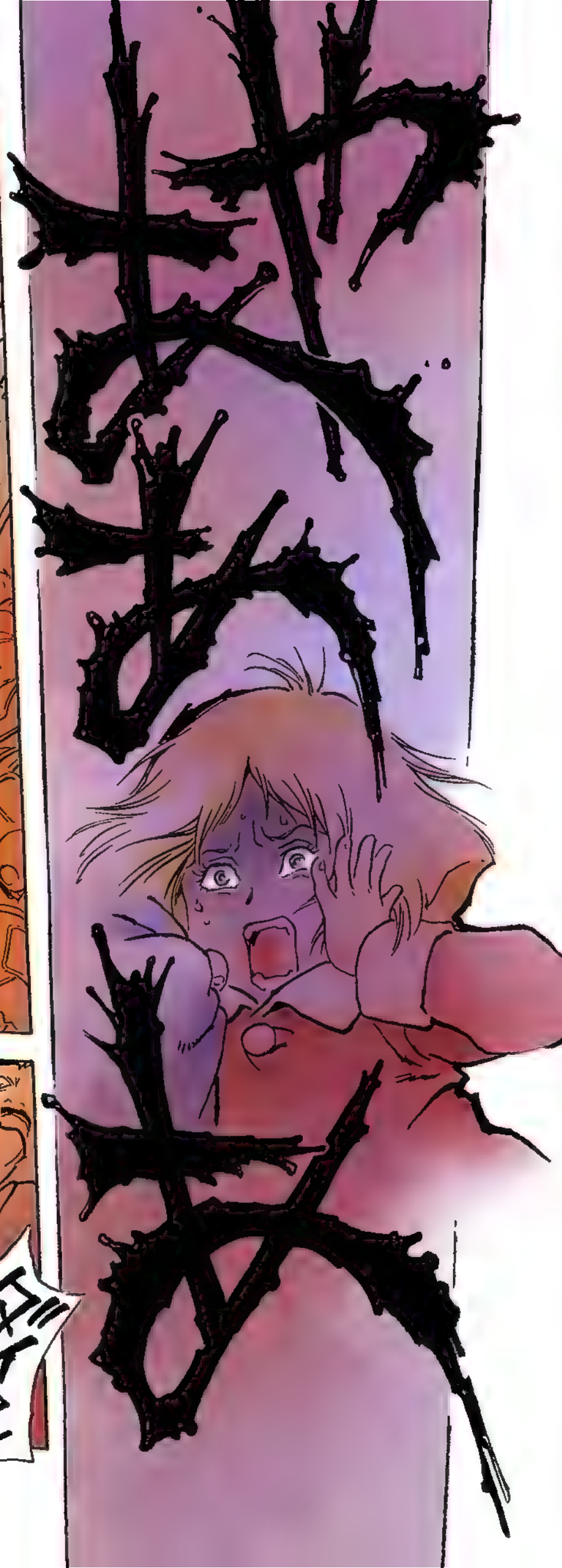
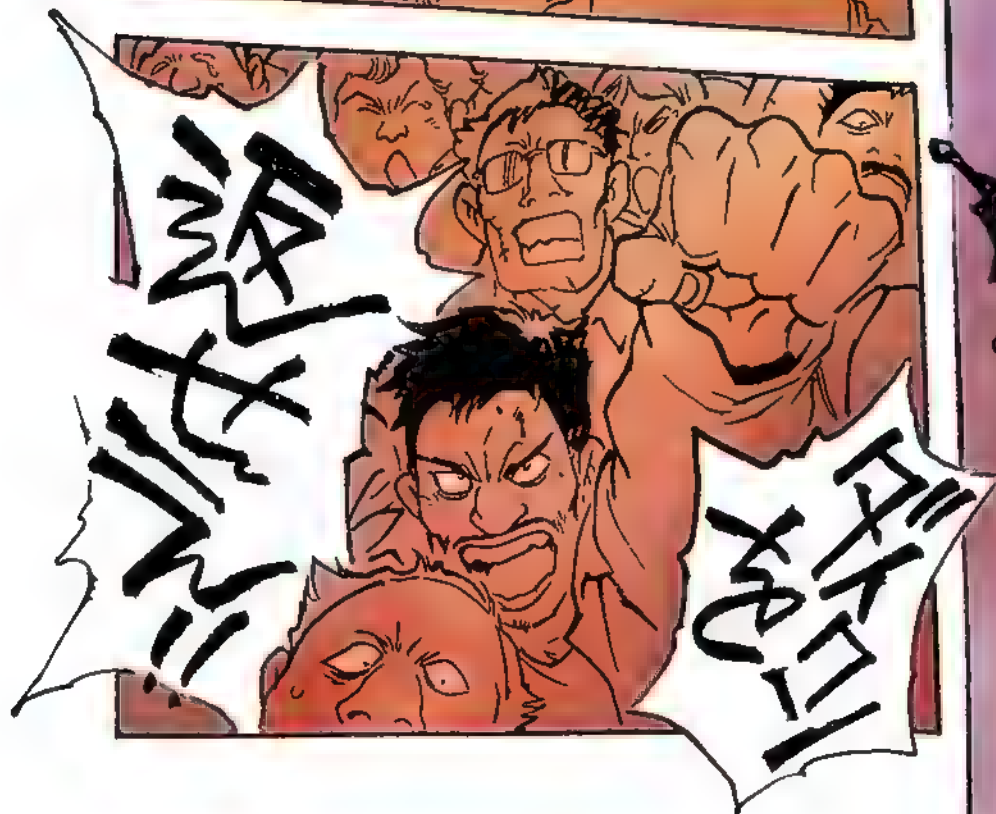




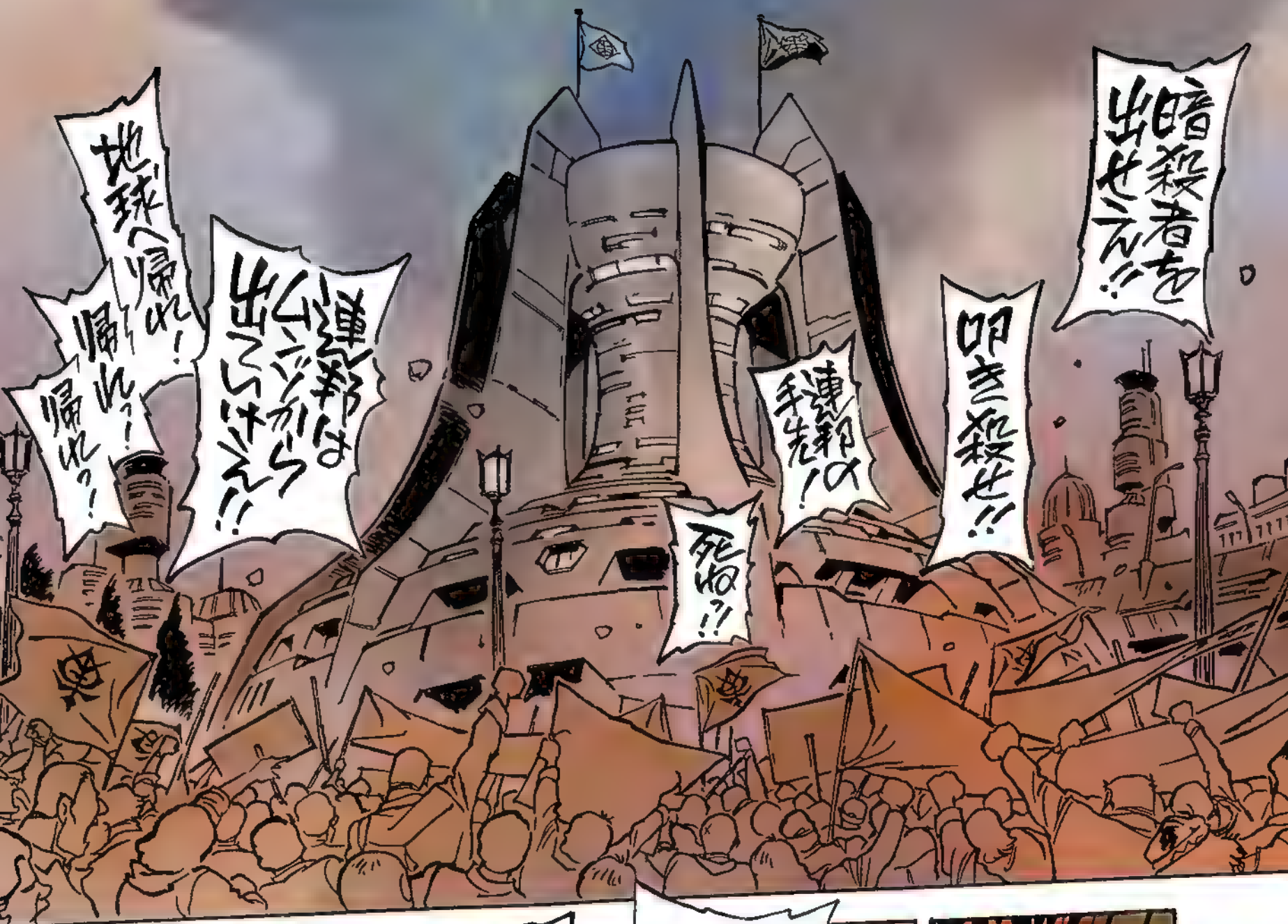




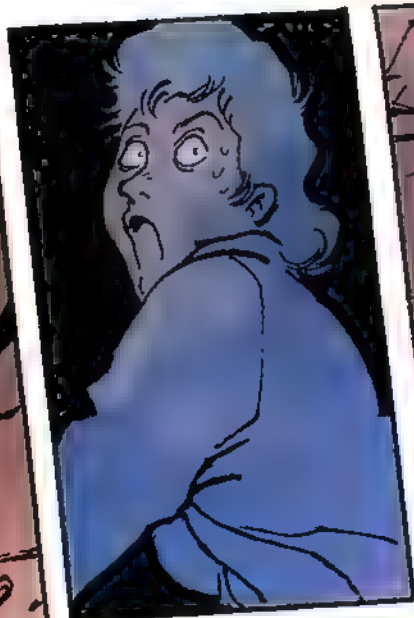
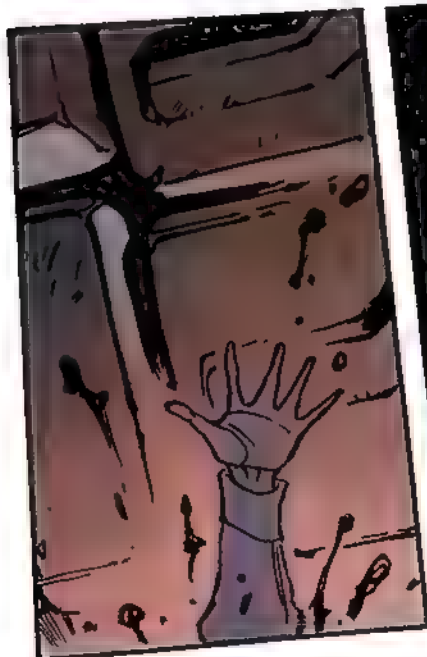
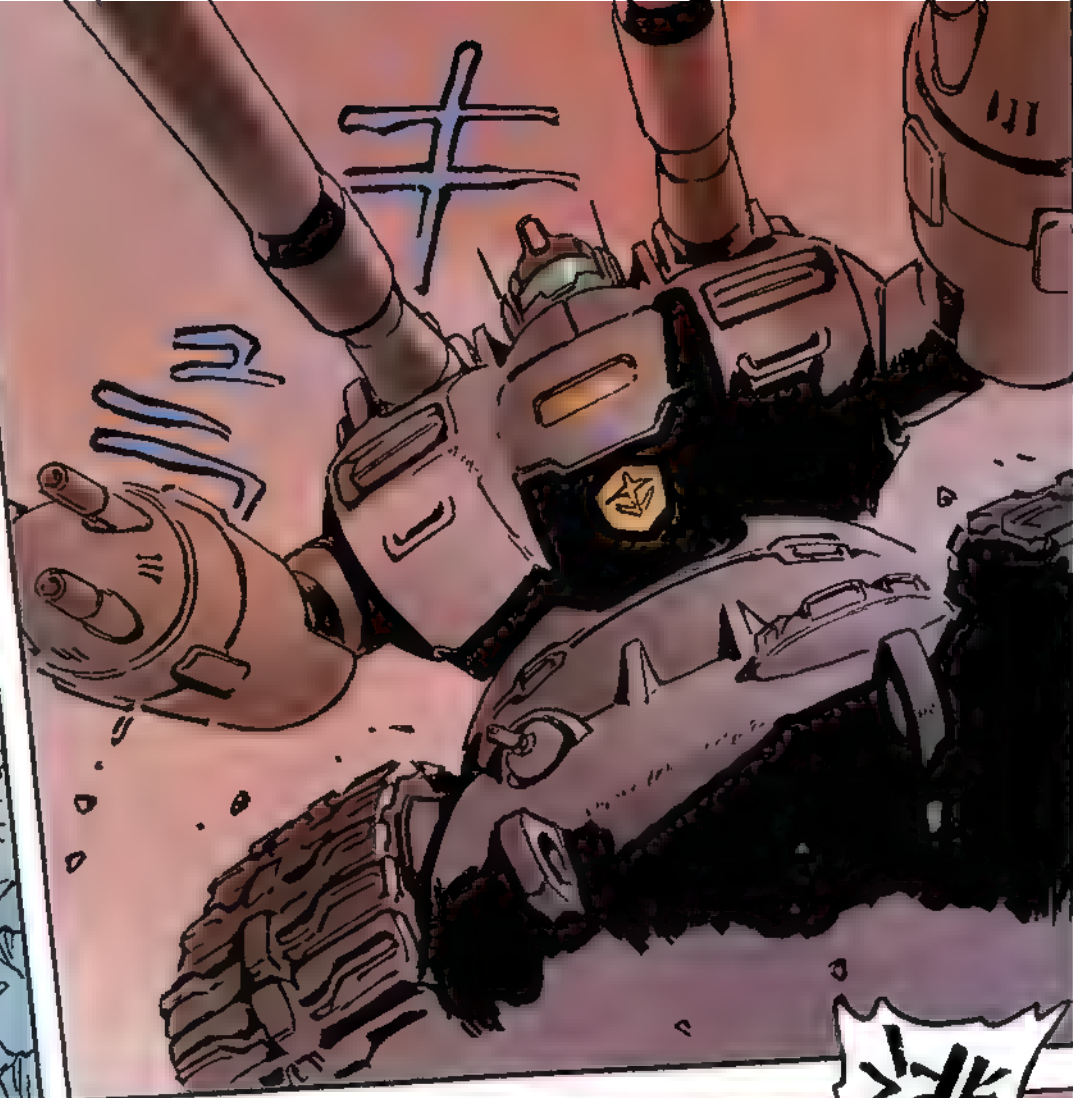




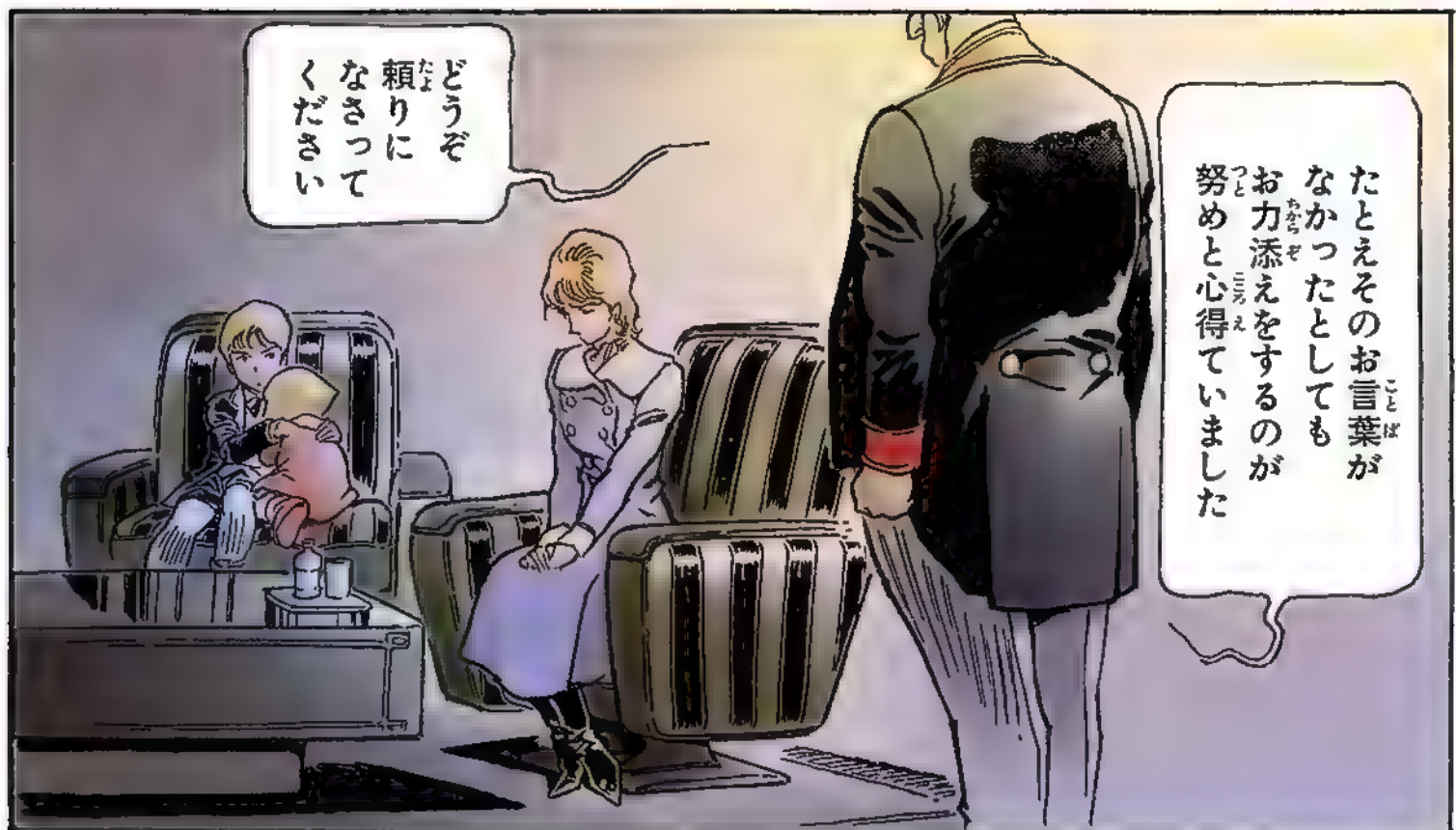
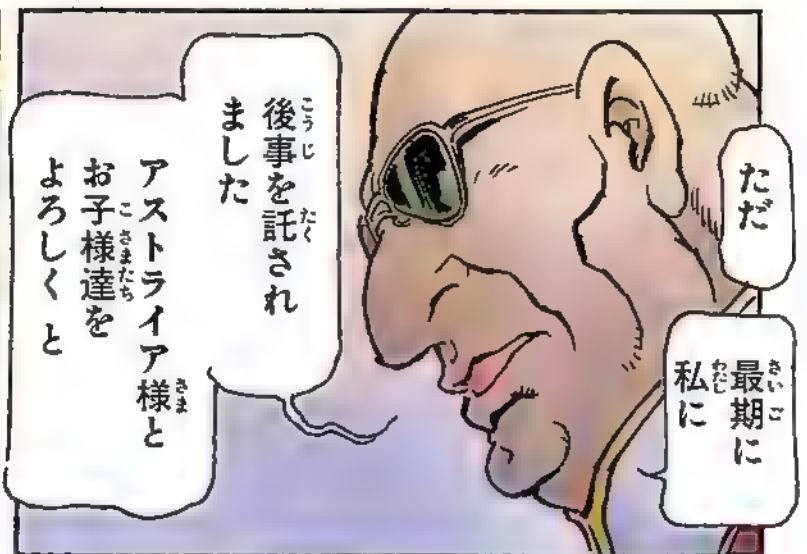
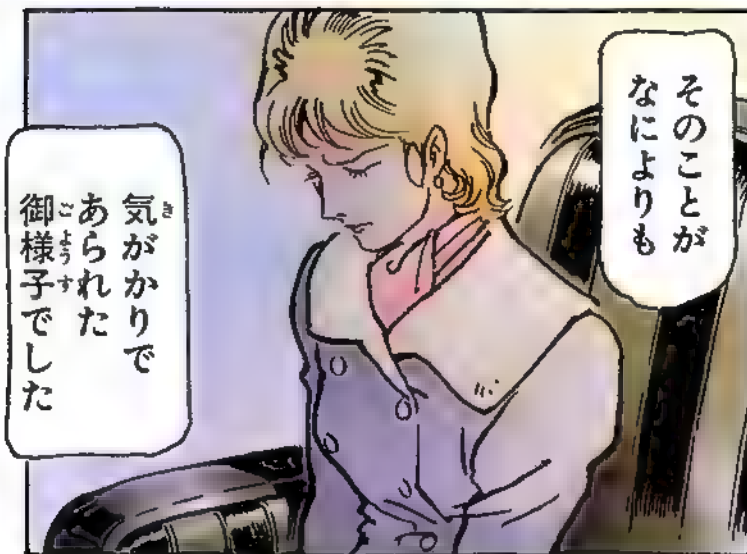
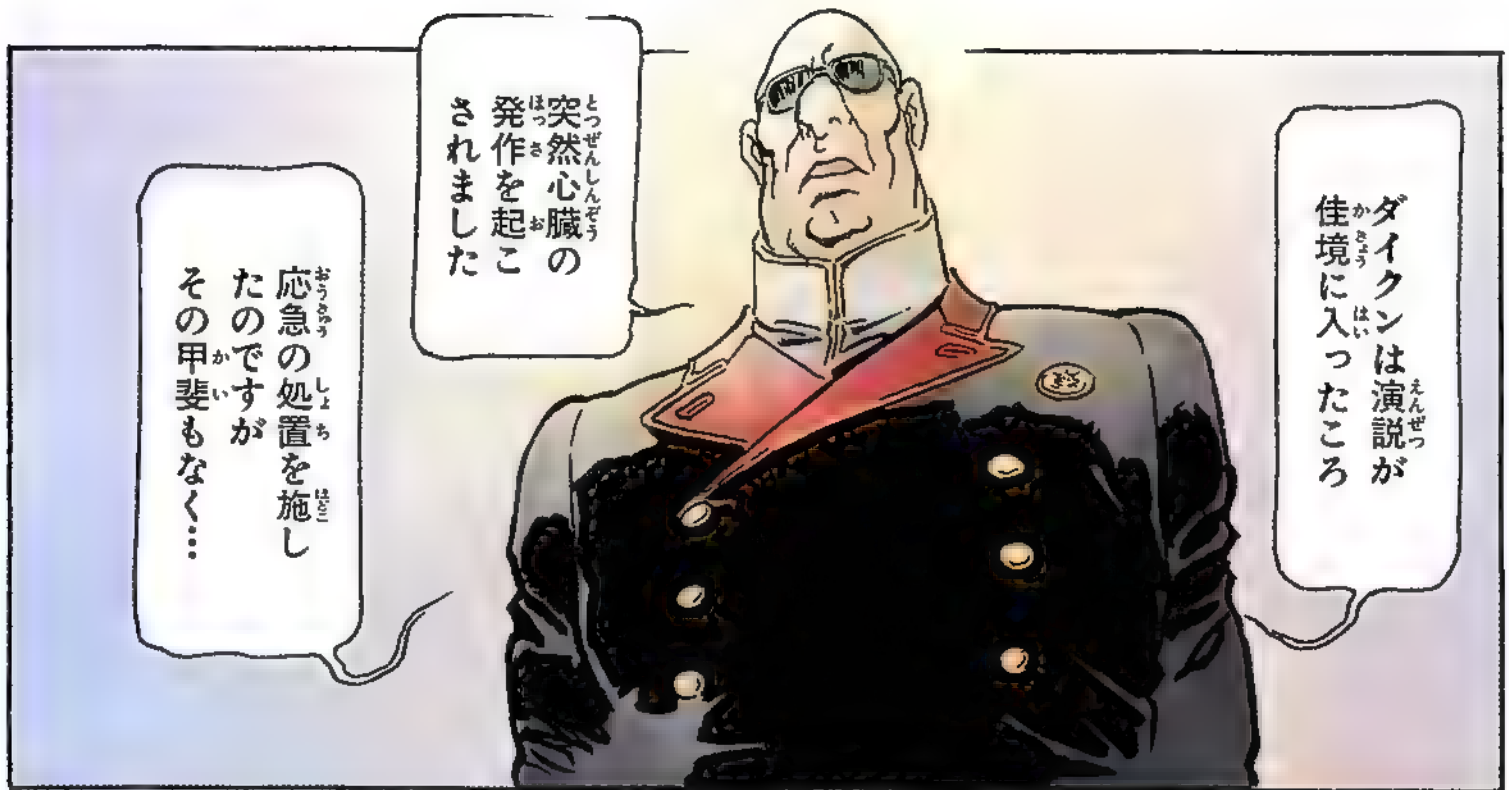




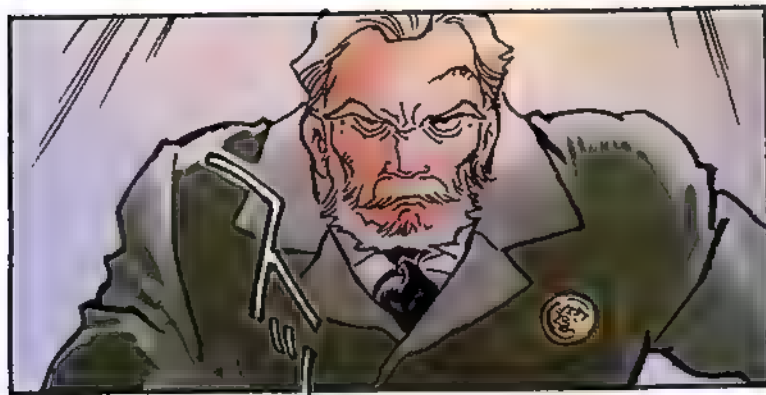
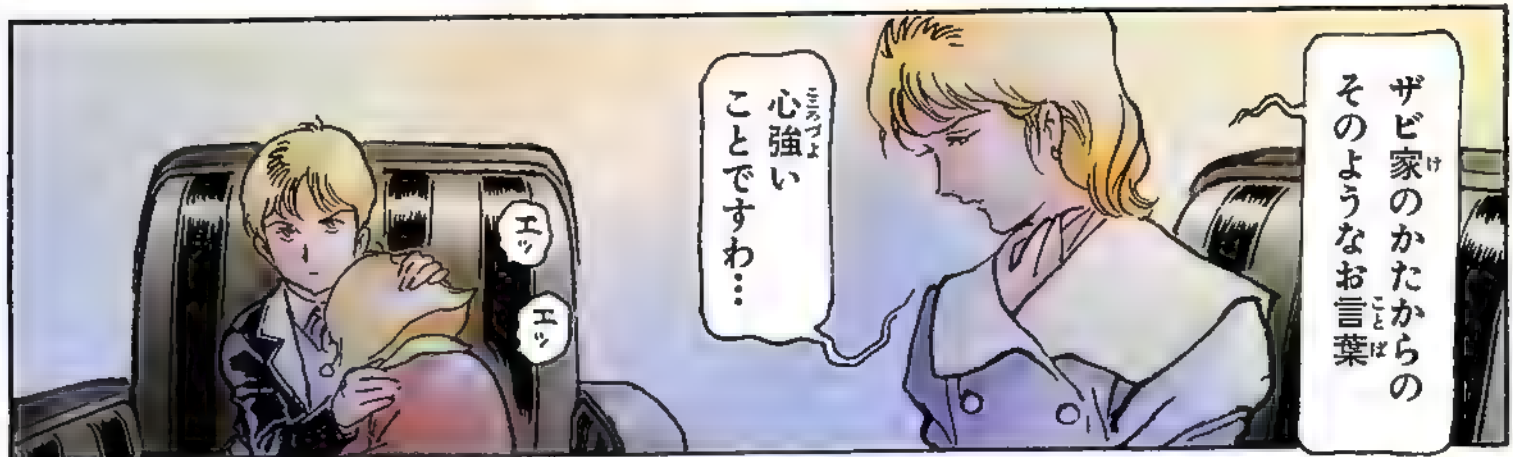
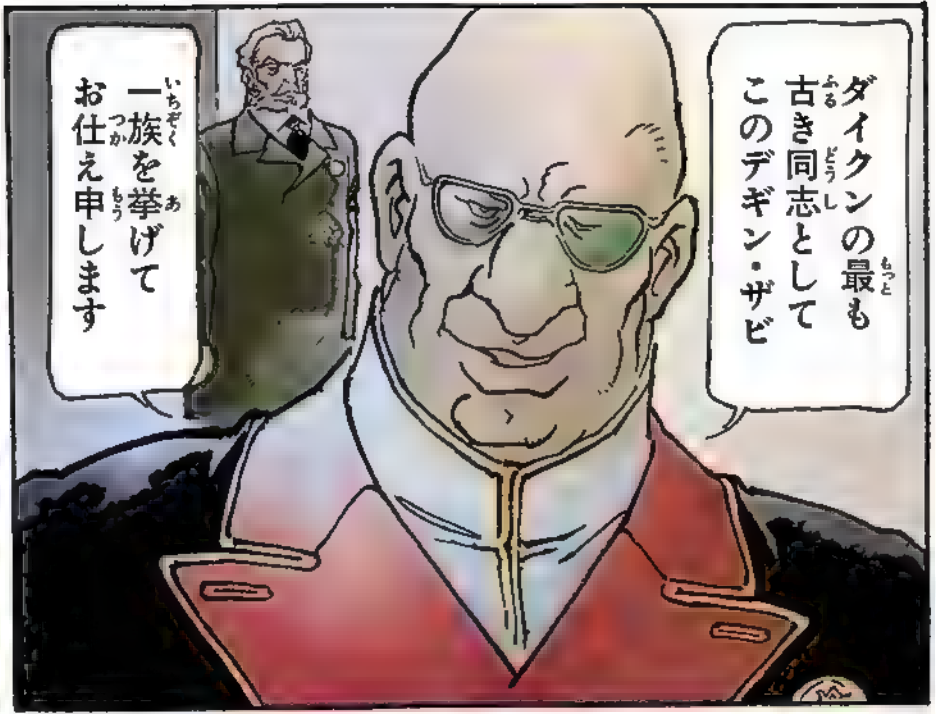














デギンの言うことなど  
信用してはなりません！

ザビ家一党こそ  
ダイクン暗殺の下手人かも  
しれんですぞ！

いや

!!

そんな...

かもしれん  
などではなく

まちがいでなく  
そうなのです！

外では暗殺に抗議する  
反連邦のデモが荒れ  
狂っておる

なぜ  
です!?

ダイクンの変事は  
議員全員への緘口令で  
秘密になっているはずなのに！

外部に言いふらした  
者がいるのです

しかも

ダイクンの急死は  
暗殺でそれも  
連邦の手によるもの  
であるという  
尾ヒレをつけて！

ザビ家の作為としか  
思えません！

たぶんメディアを  
牛耳っている次男  
サスロ・ザビあたりが  
手を回したのでしょう

デギン・ザビはかねてから  
ダイクンを除いて自分が  
実権を握ろうと  
画策しておった！

それで

毒をもったのです!!

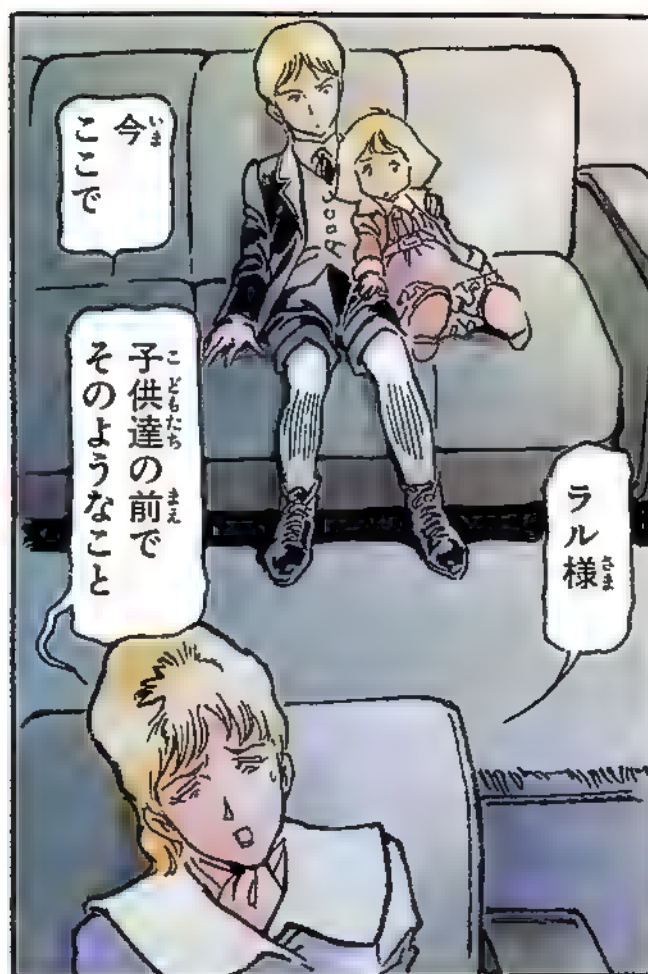




知<sup>し</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>て</sup>  
も<sup>ら</sup>わ<sup>ね</sup>ば  
な<sup>ら</sup>ん!

御<sup>お</sup>子<sup>こ</sup>達<sup>たち</sup>  
に<sup>こ</sup>そ

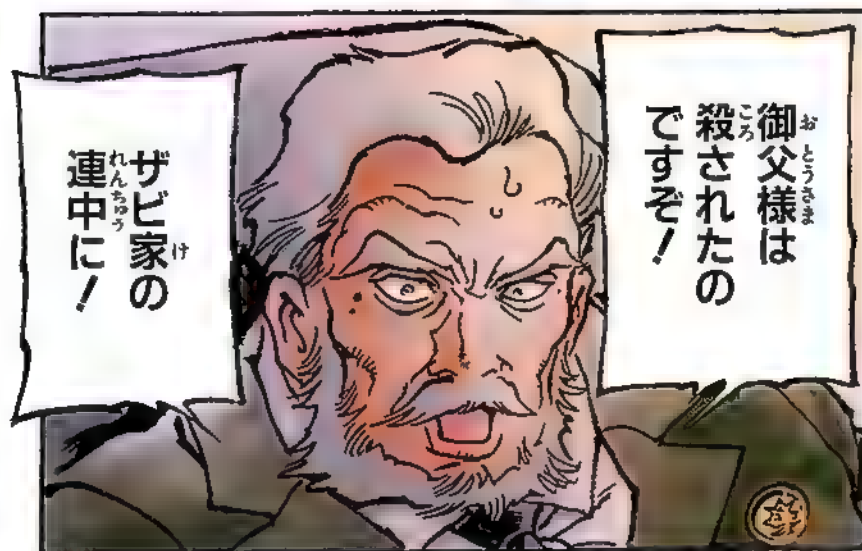
い<sup>や</sup>っ!



今<sup>いま</sup>  
こ<sup>こ</sup>で

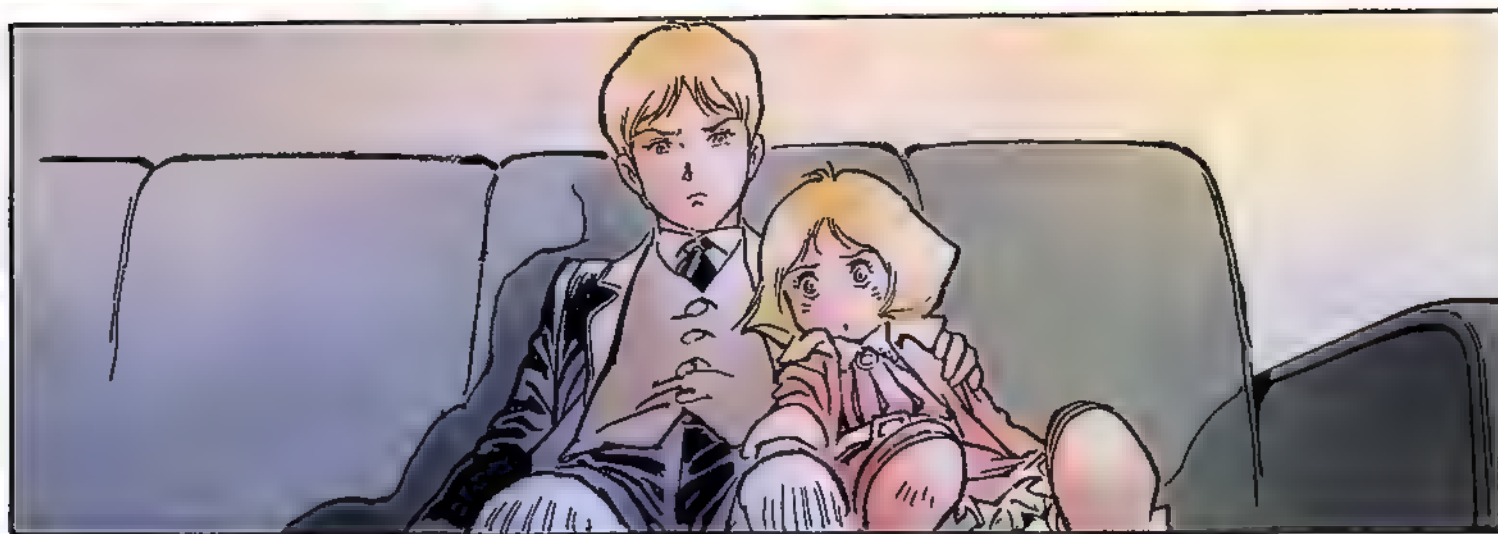
子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>達<sup>たち</sup>の<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>  
そ<sup>の</sup>よ<sup>う</sup>な<sup>な</sup>こ<sup>と</sup>

ラ<sup>ら</sup>ル<sup>る</sup>様<sup>さま</sup>



ザ<sup>ざ</sup>ビ<sup>び</sup>家<sup>け</sup>の<sup>れんちゆう</sup>  
連<sup>れん</sup>中<sup>ちゆう</sup>に!

御<sup>お</sup>父<sup>とう</sup>様<sup>さま</sup>は  
殺<sup>ころ</sup>さ<sup>れ</sup>た<sup>の</sup>  
で<sup>す</sup>ぞ!

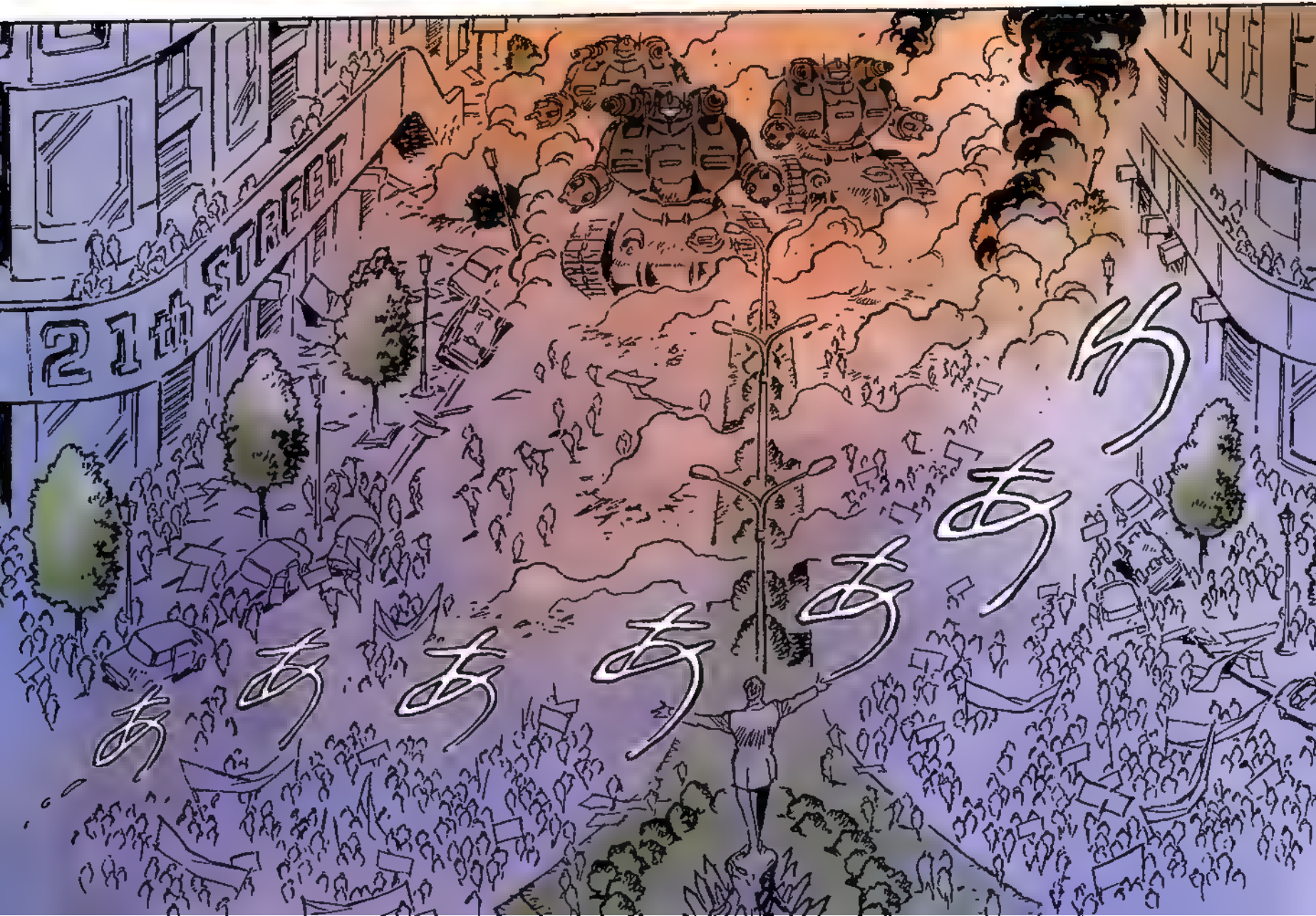
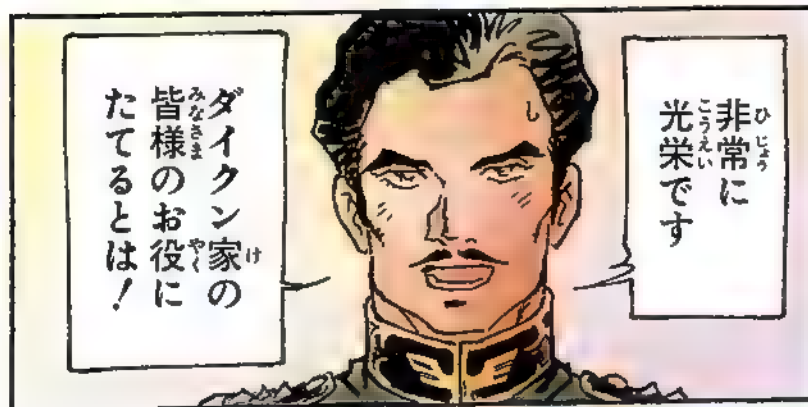
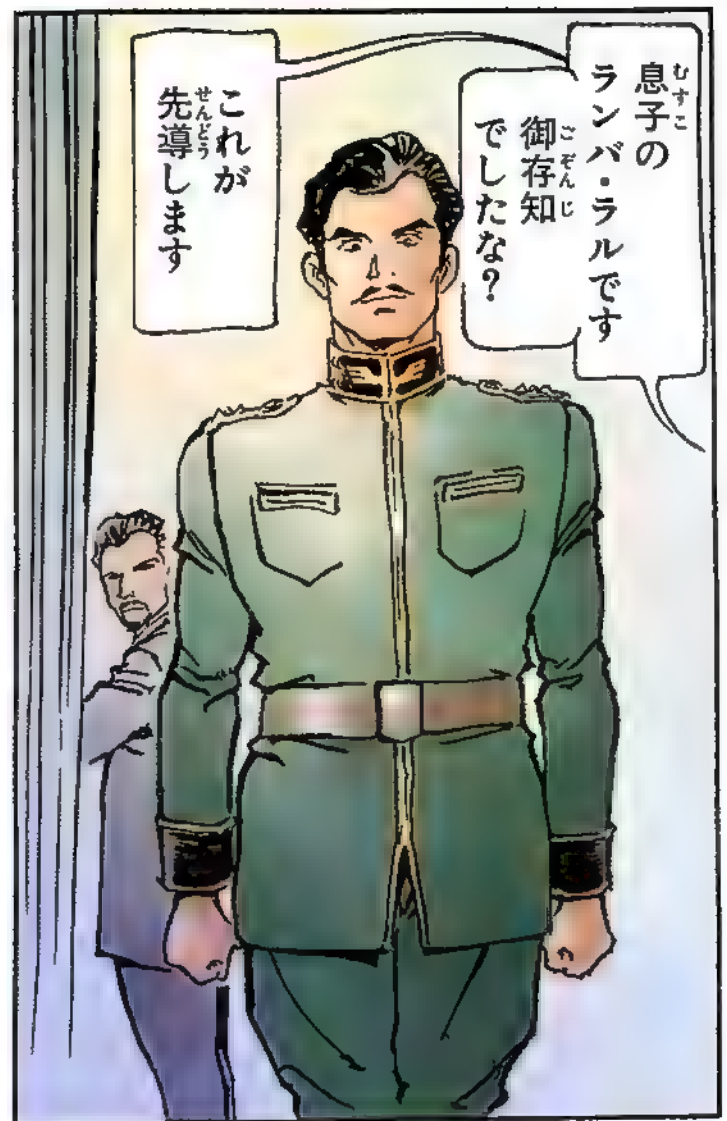
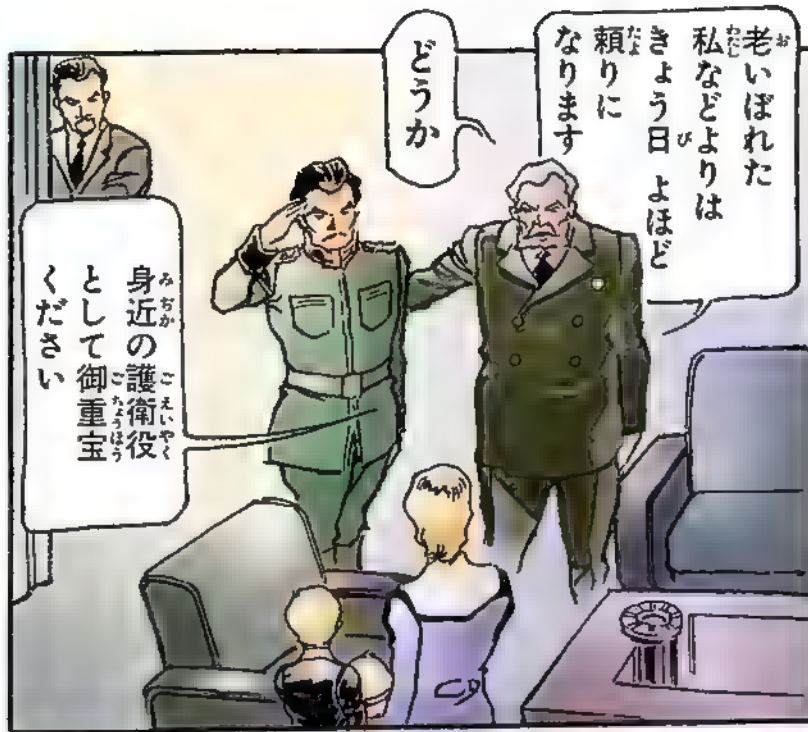


迂<sup>う</sup>闊<sup>かつ</sup>に<sup>うご</sup>動<sup>どう</sup>い<sup>て</sup>は  
政<sup>せい</sup>争<sup>そう</sup>の<sup>ぐ</sup>具<sup>ぐ</sup>に  
供<sup>きょう</sup>さ<sup>れ</sup>ま<sup>す</sup>!

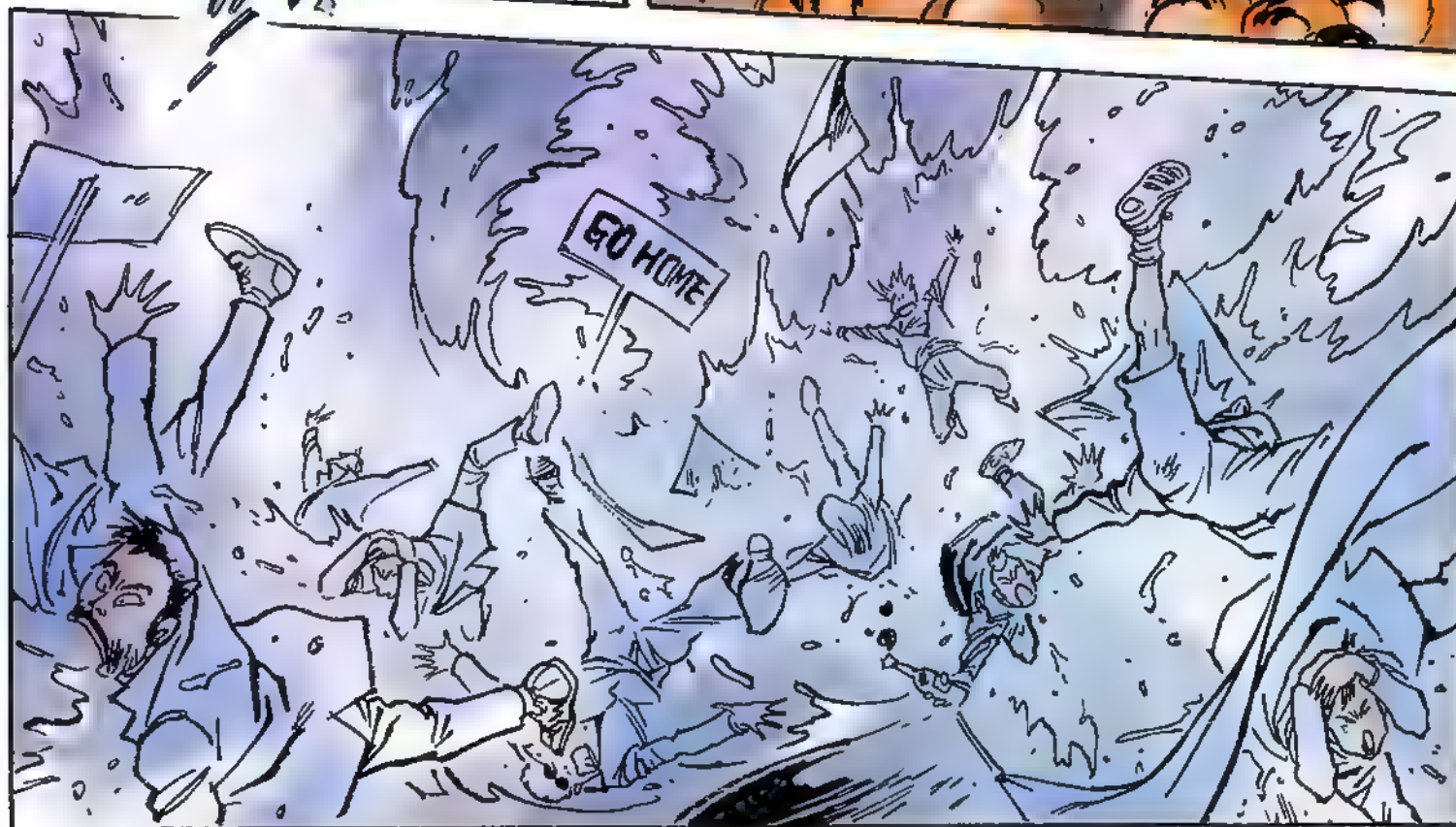
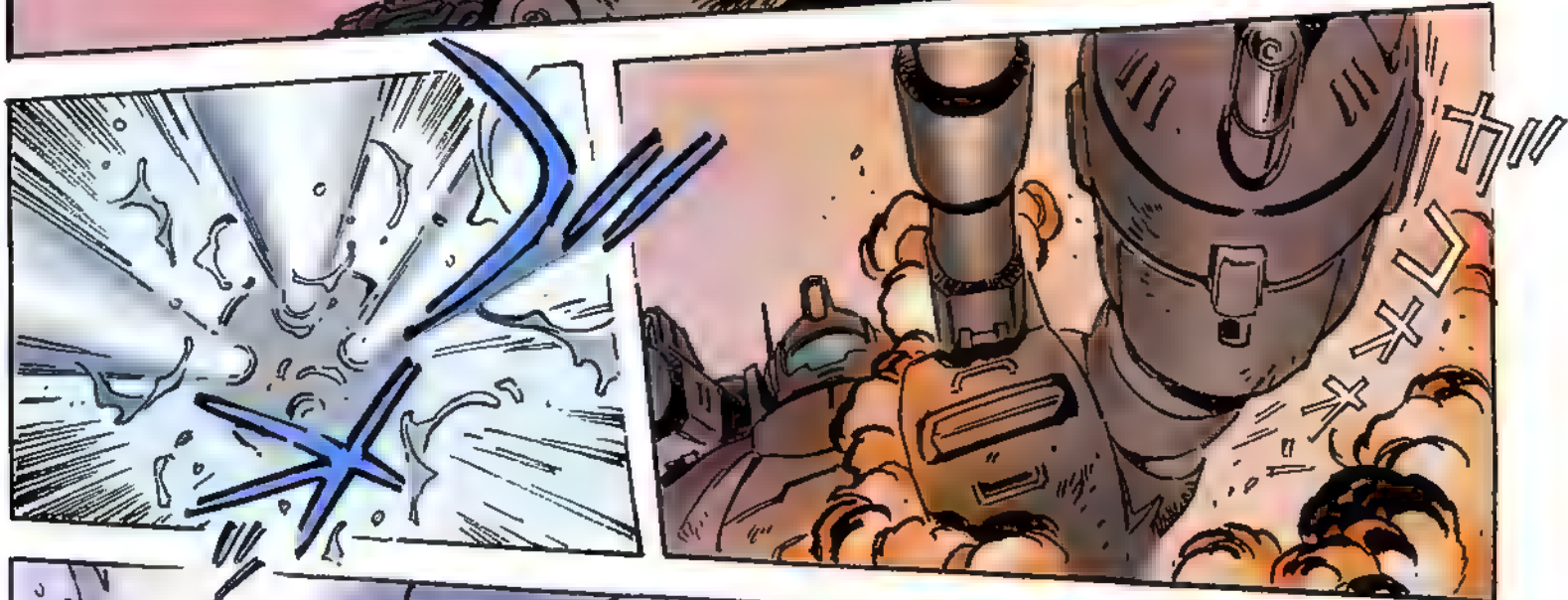
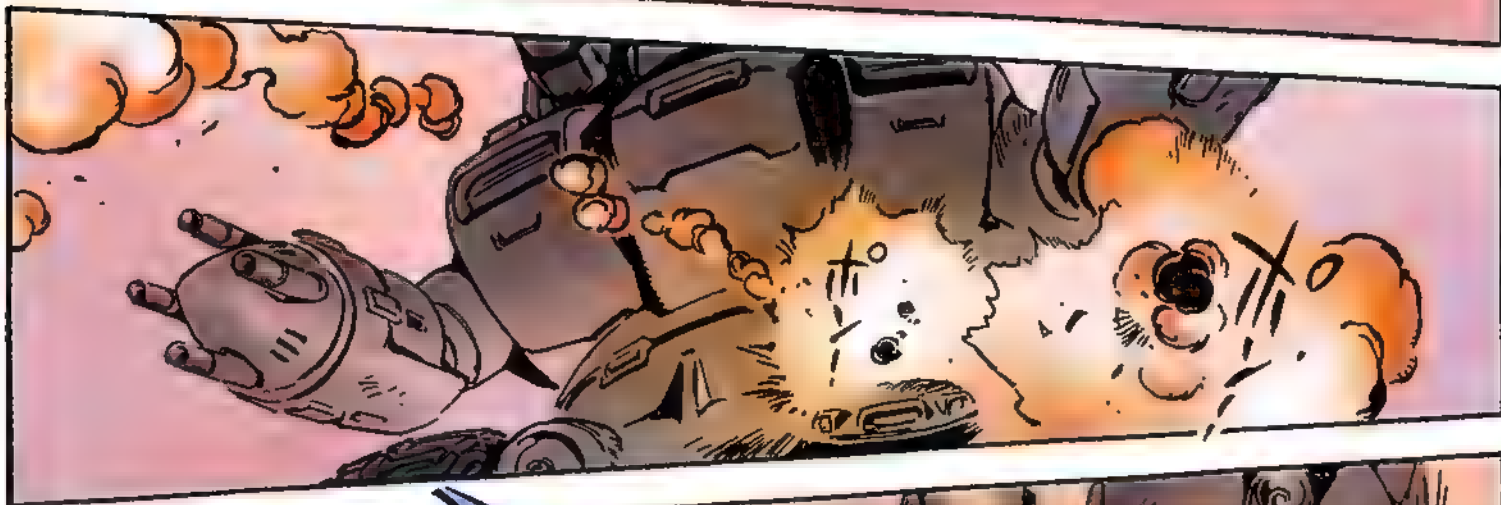
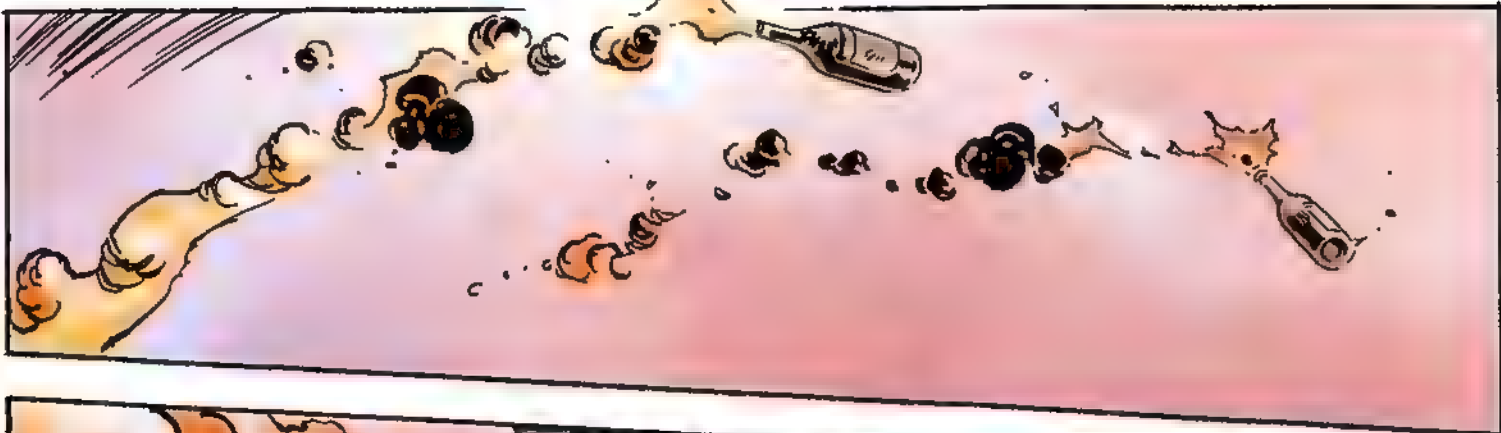
御<sup>ご</sup>自<sup>じ</sup>宅<sup>たく</sup>に<sup>は</sup>  
暴<sup>ぼう</sup>徒<sup>と</sup>が<sup>い</sup>て  
帰<sup>かえ</sup>れ<sup>そ</sup>う<sup>に</sup>  
あ<sup>り</sup>ま<sup>せ</sup>ん<sup>か</sup>ら

と<sup>り</sup>あ<sup>え</sup>ず  
こ<sup>こ</sup>は<sup>わ</sup>私<sup>わたし</sup>の<sup>いえ</sup>家<sup>いえ</sup>に  
難<sup>なん</sup>を<sup>の</sup>お<sup>の</sup>逃<sup>のが</sup>れ<sup>れ</sup>  
く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>!

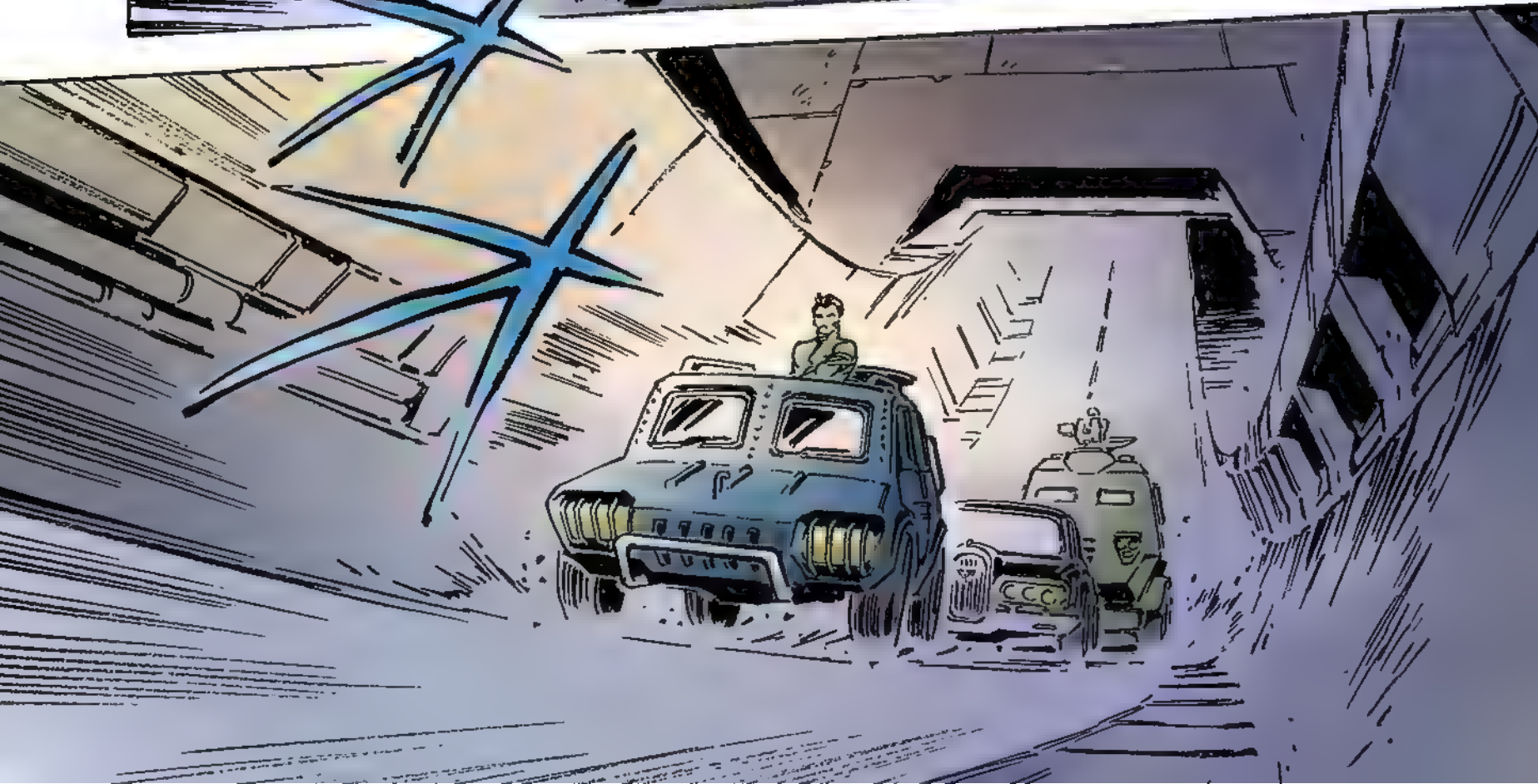
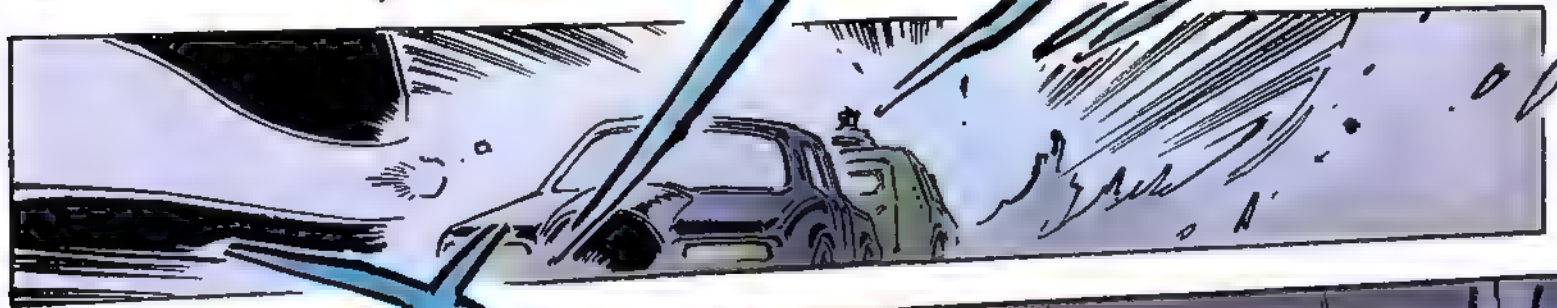
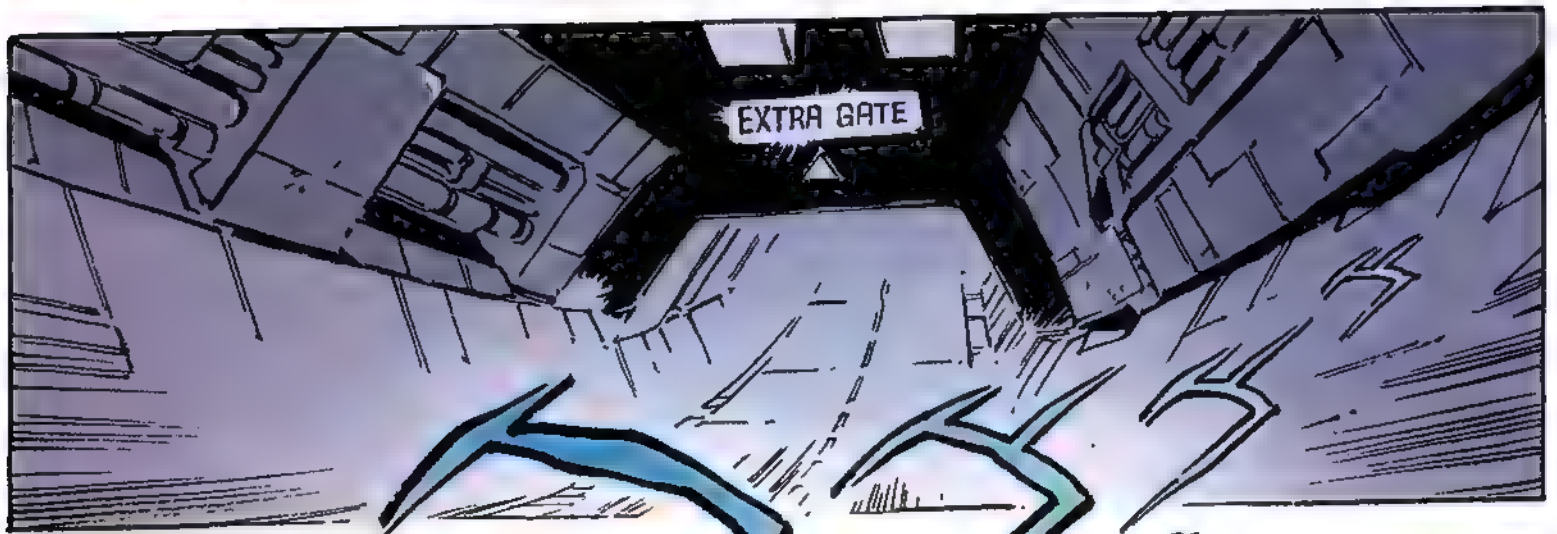
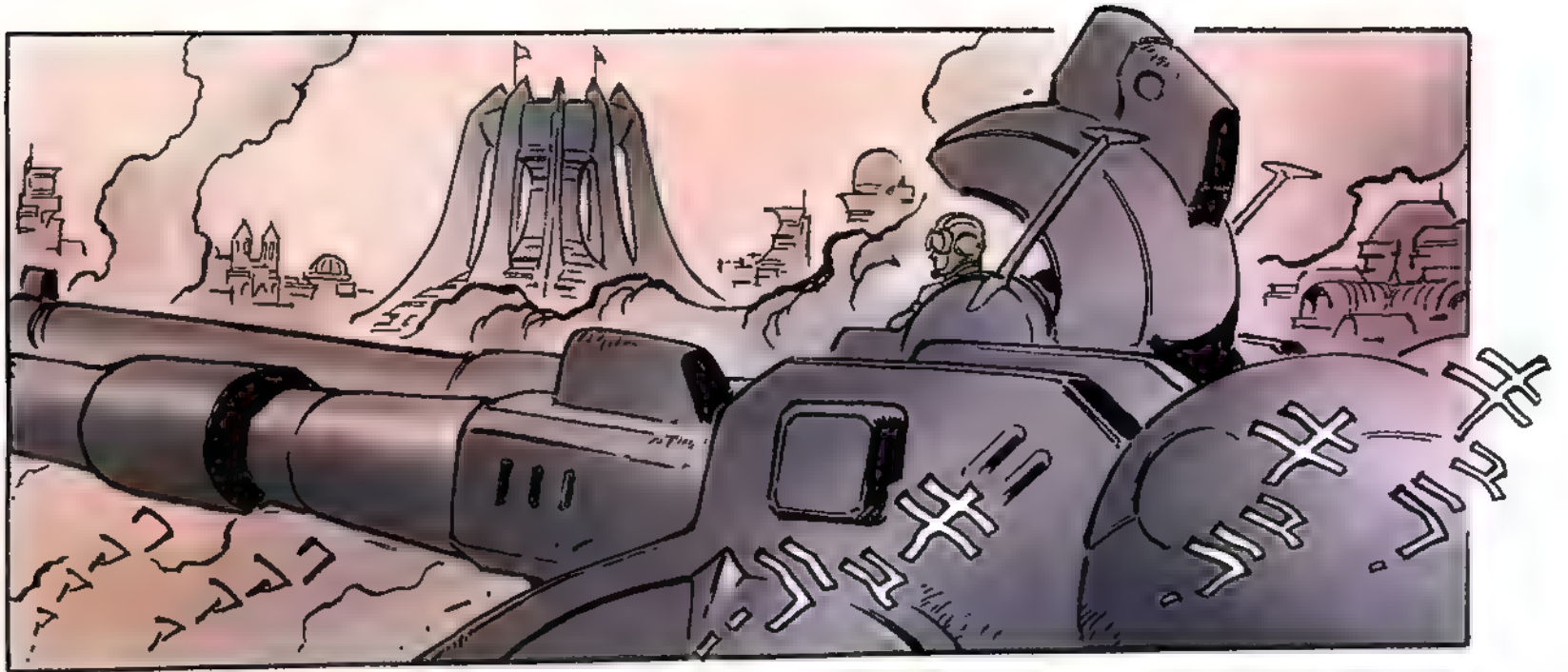




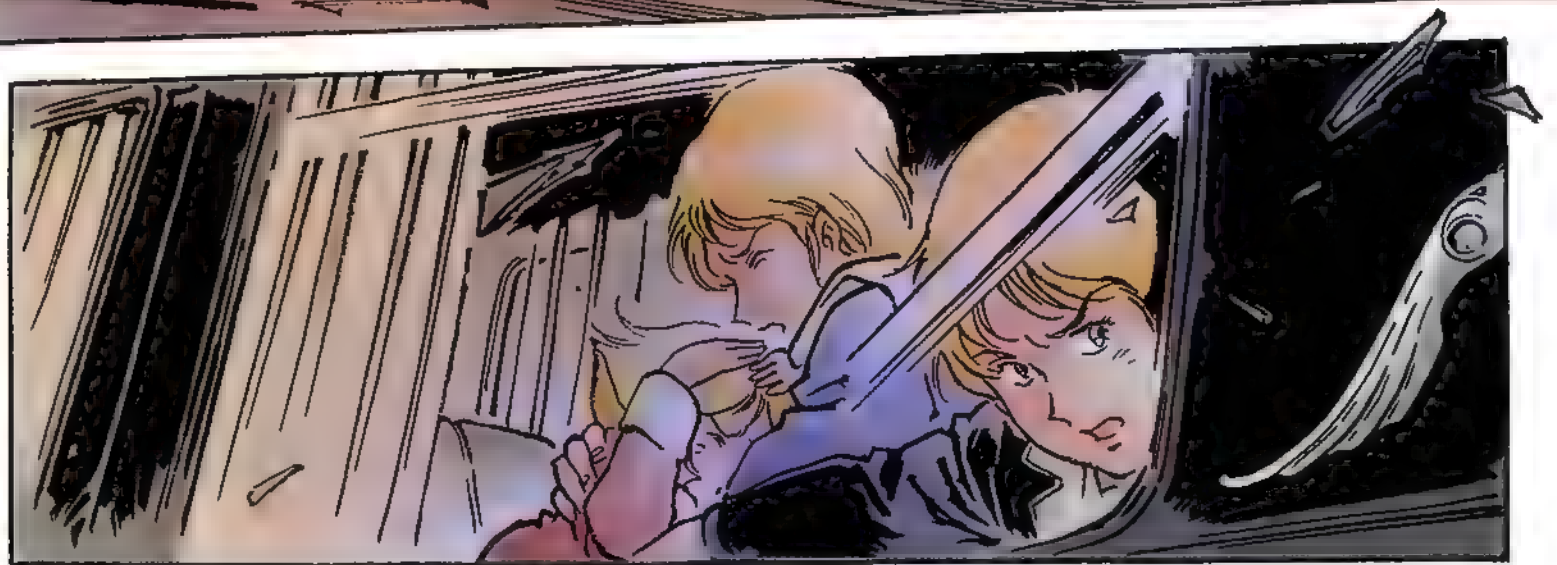
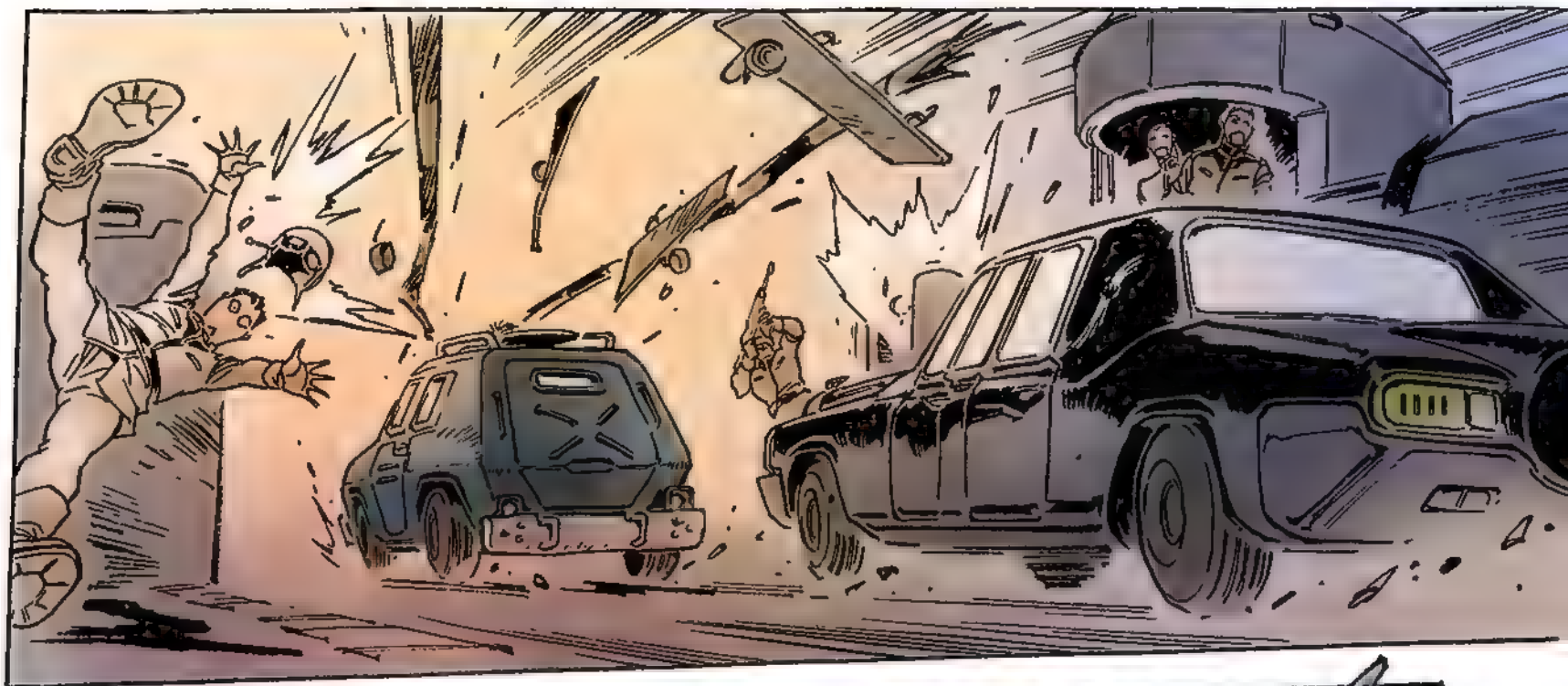
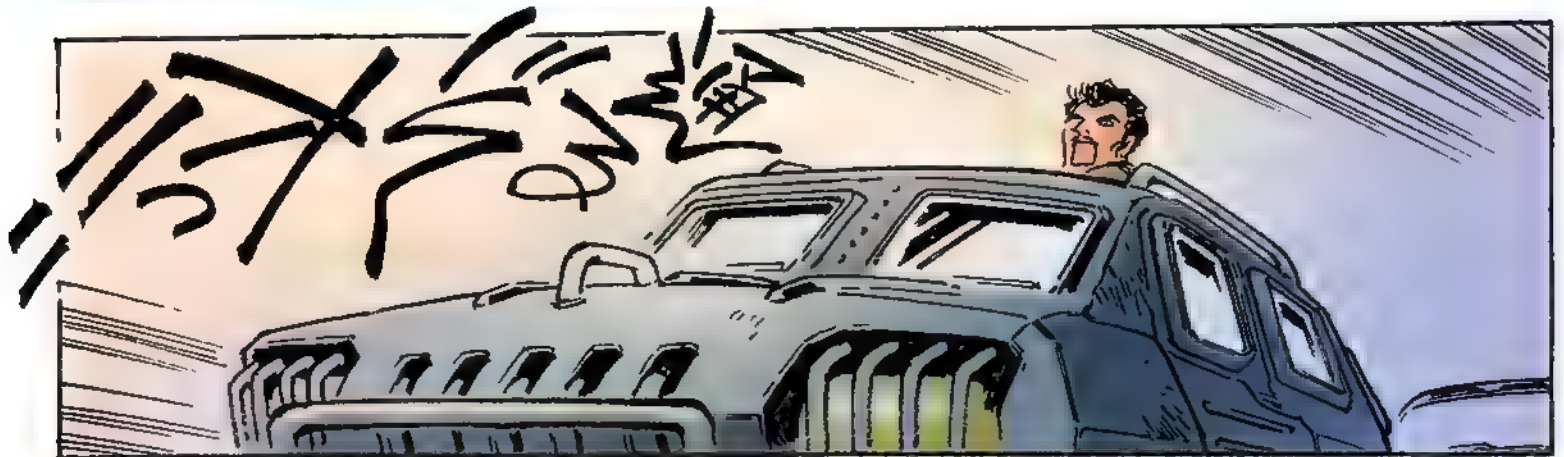
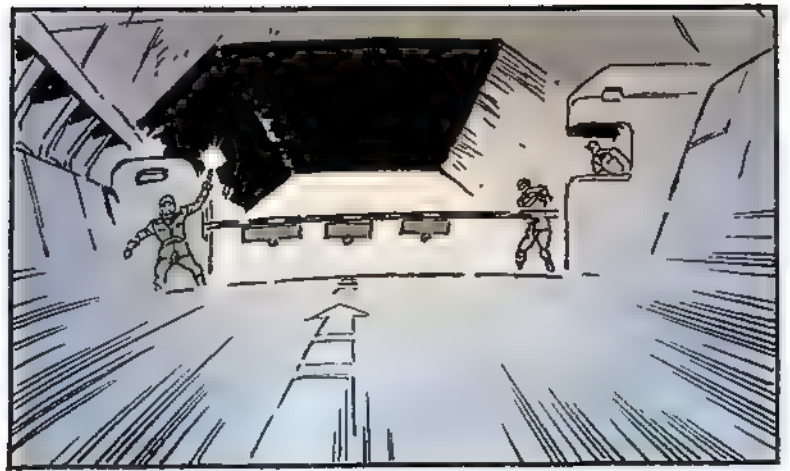
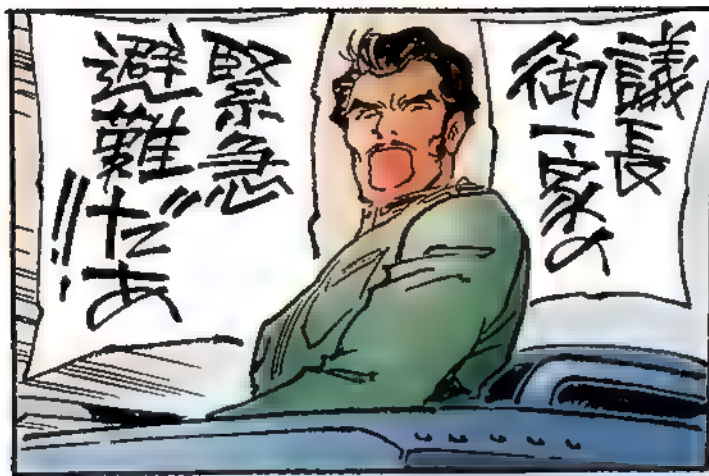




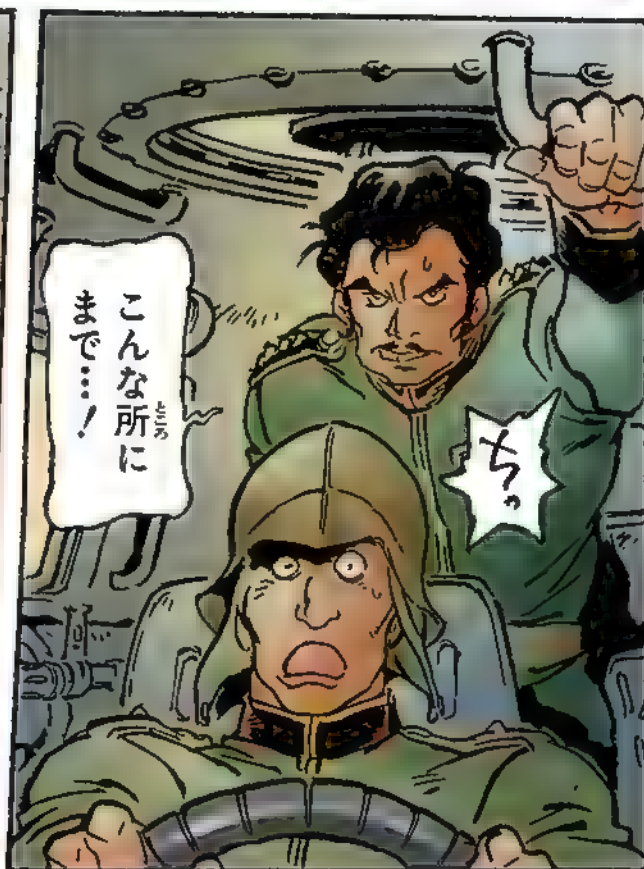
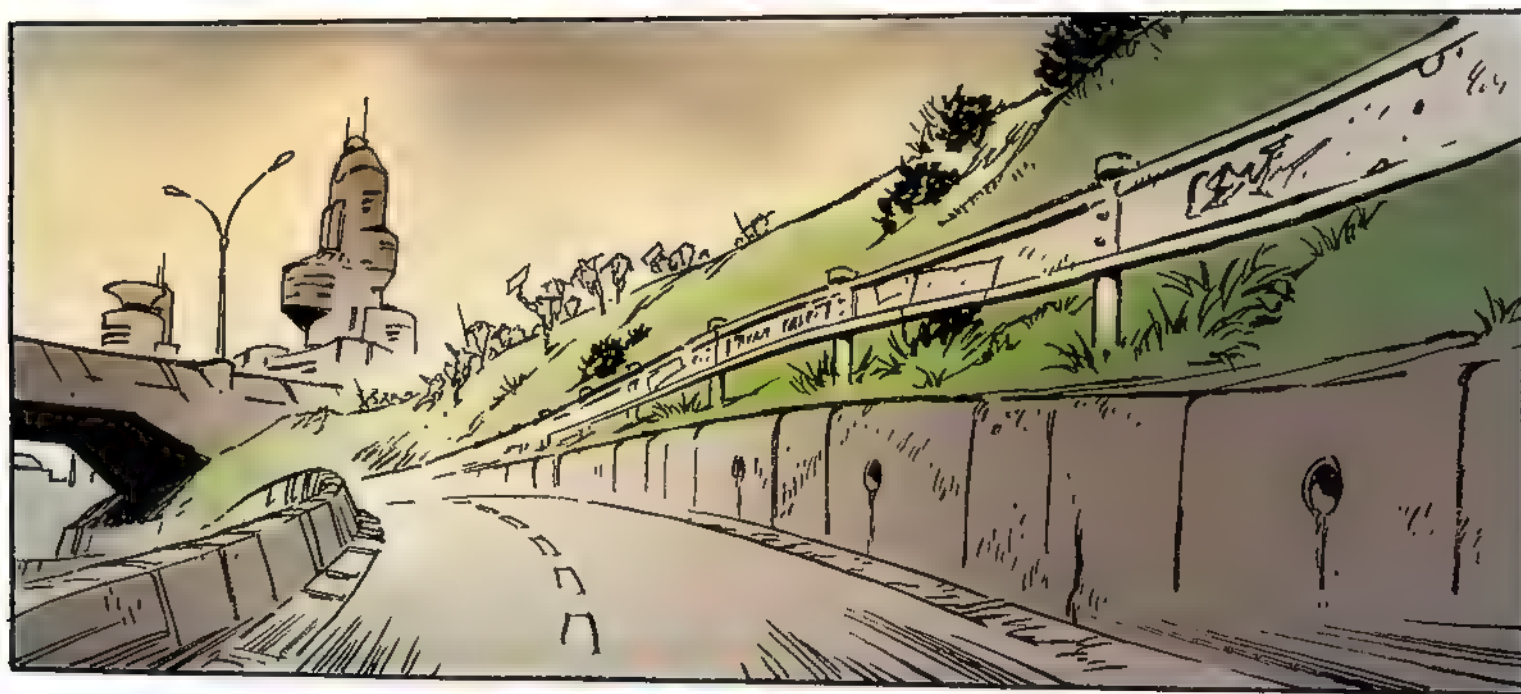
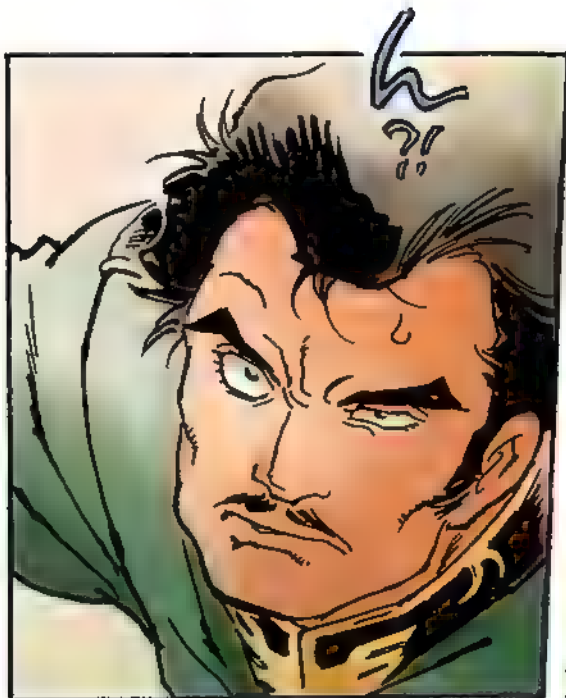




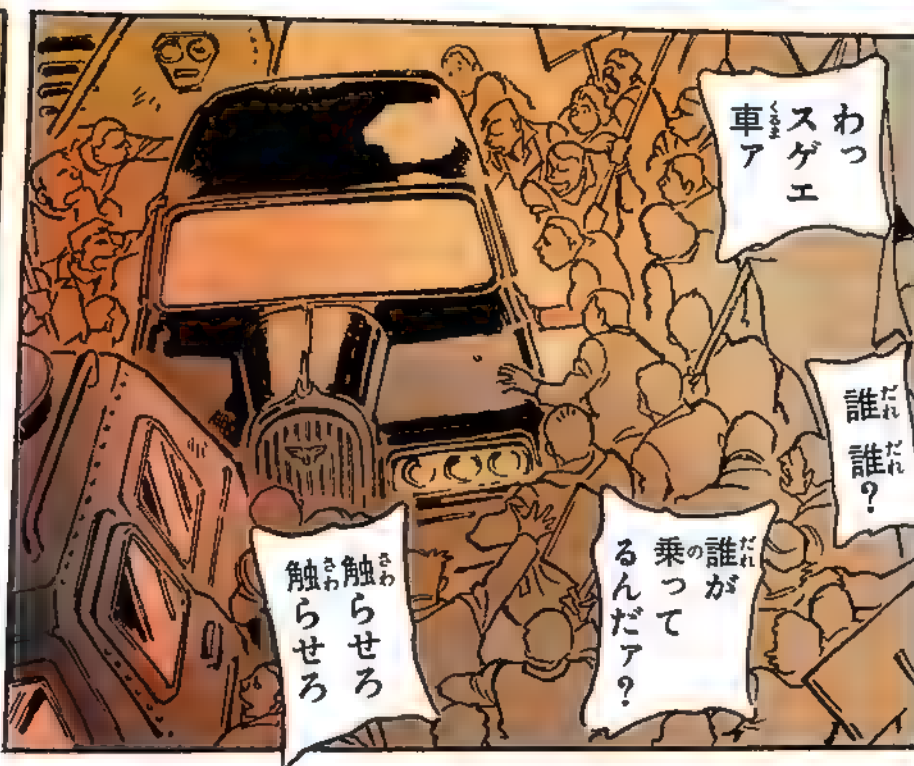
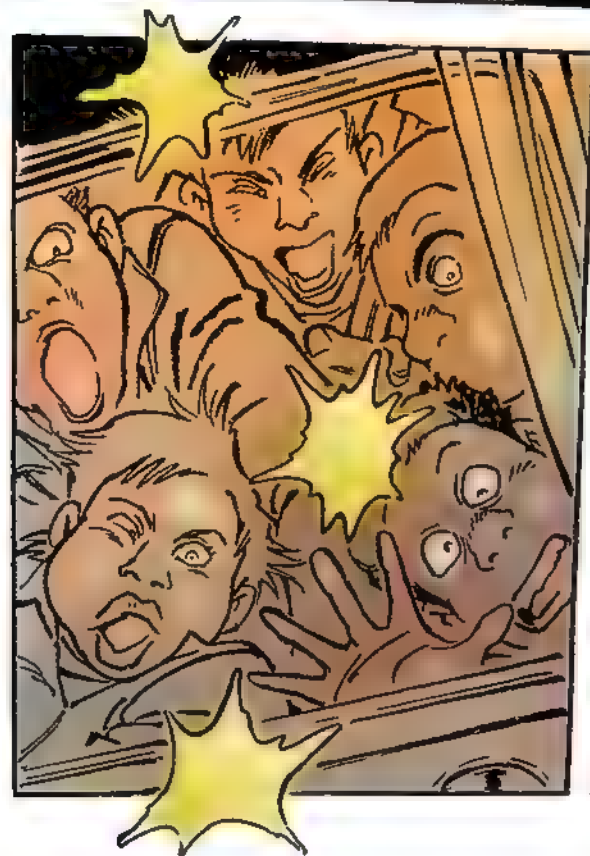
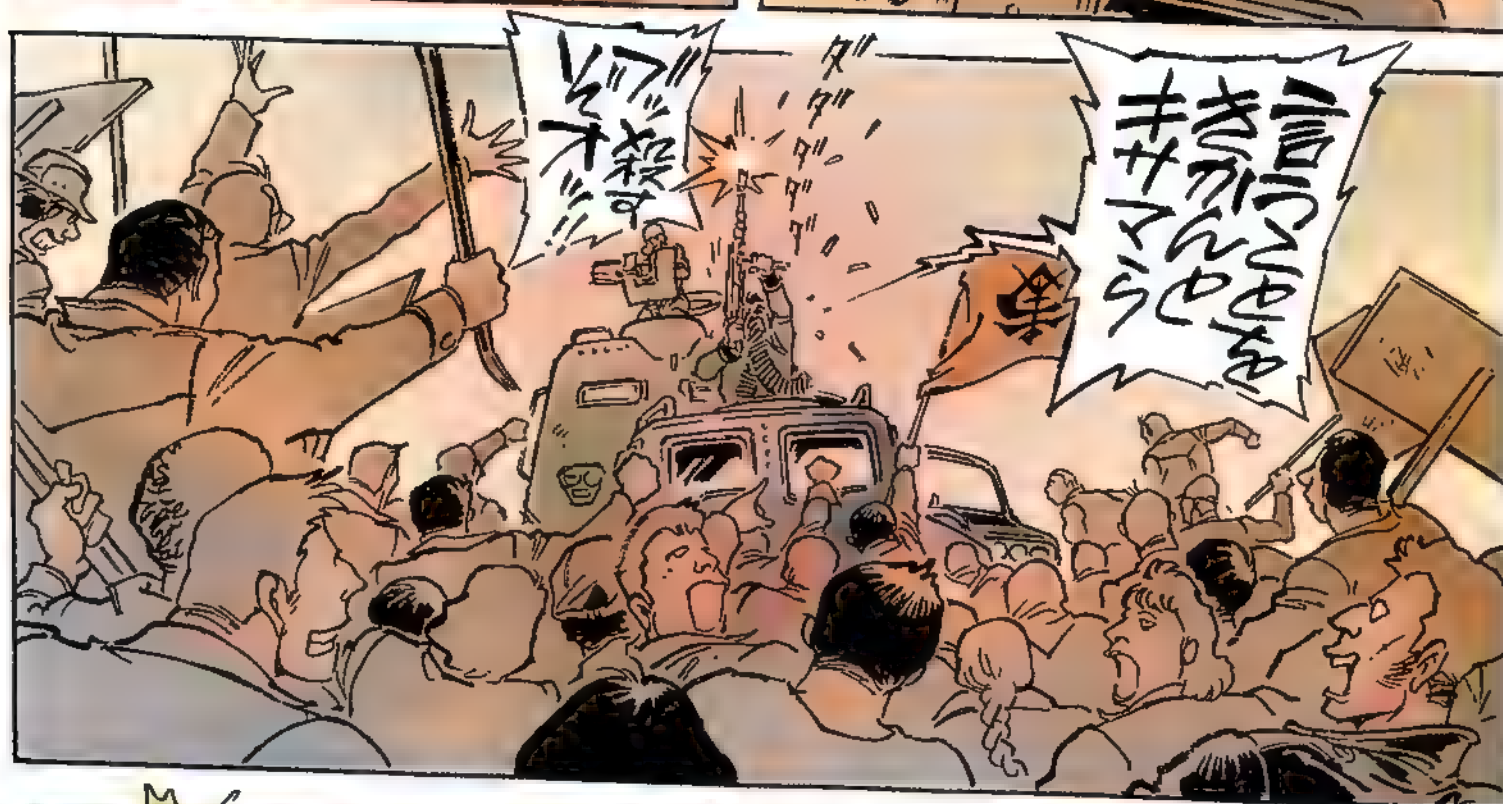
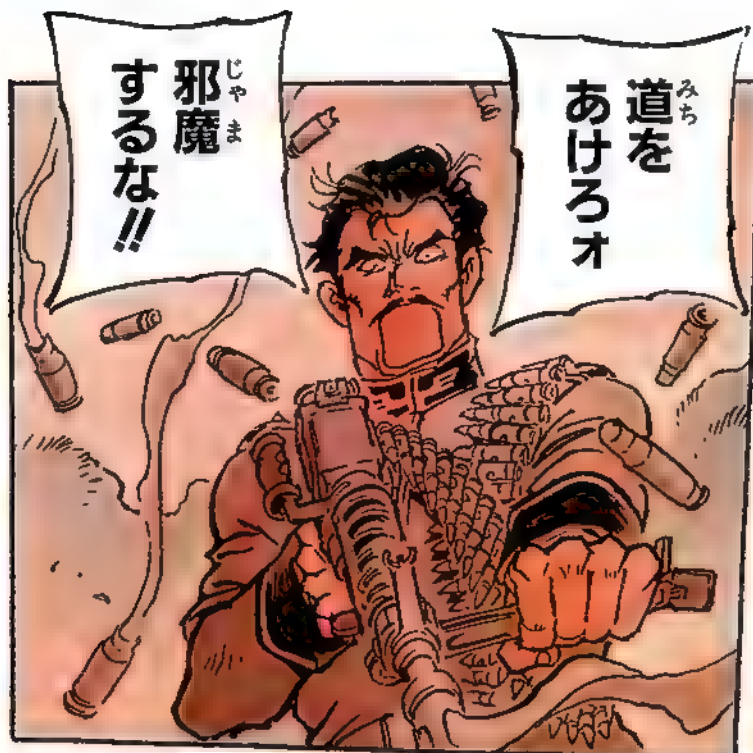




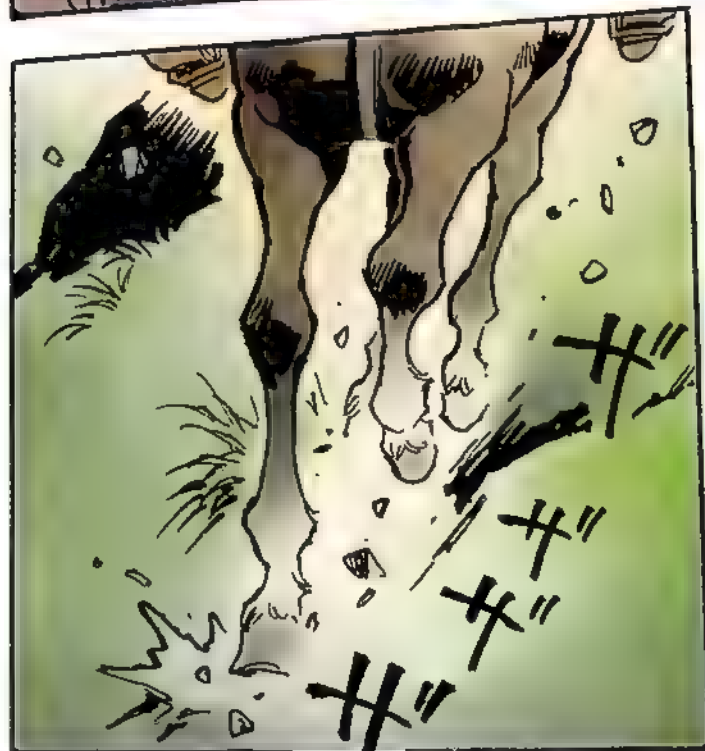
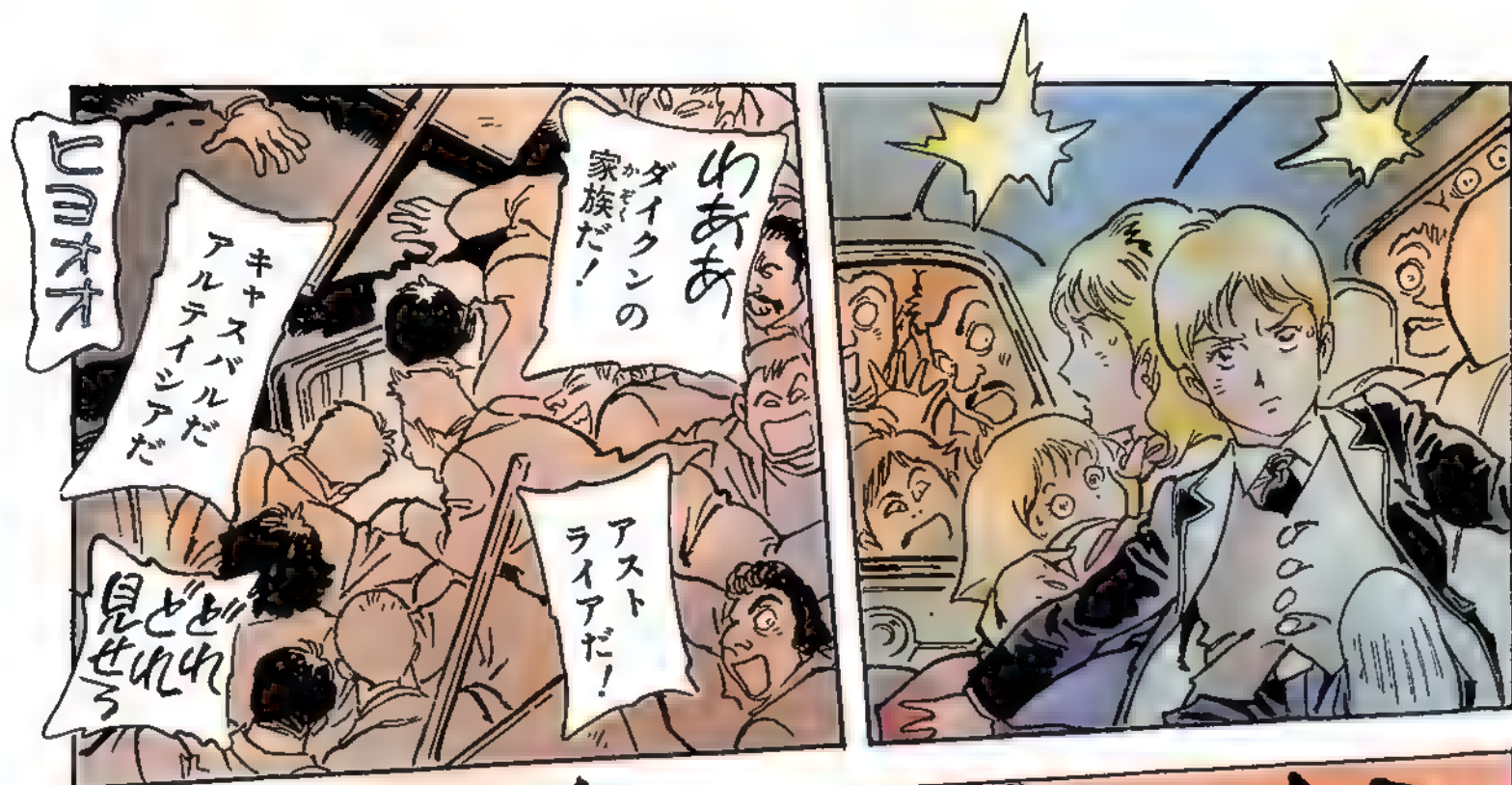




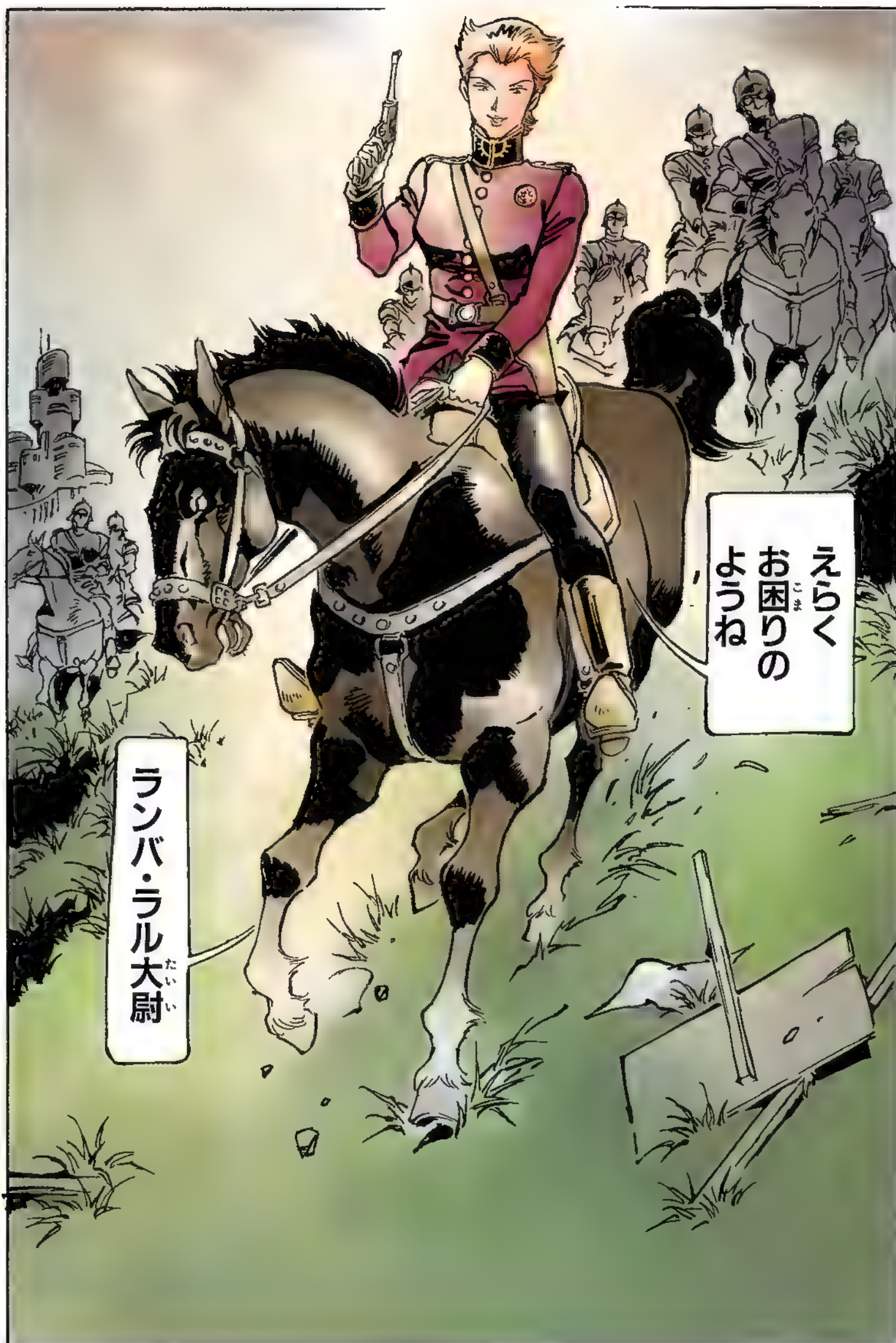








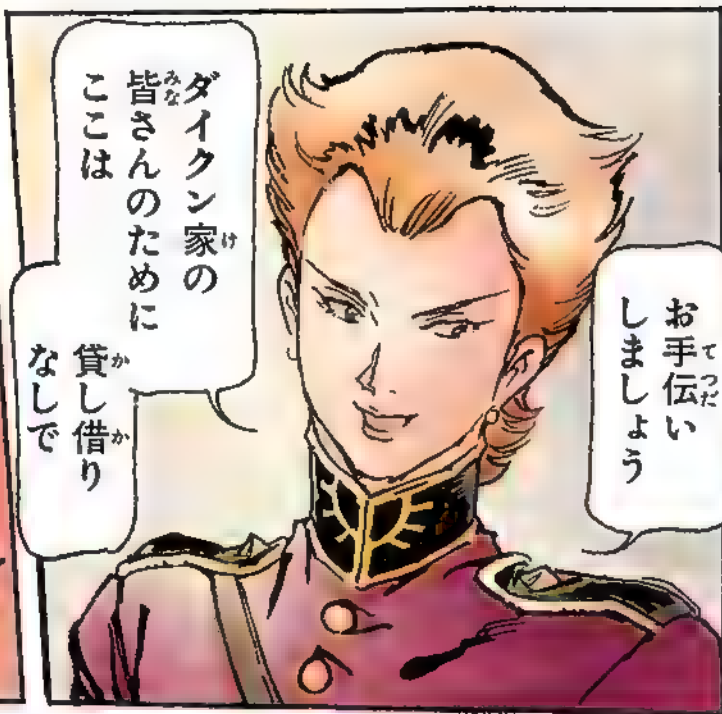
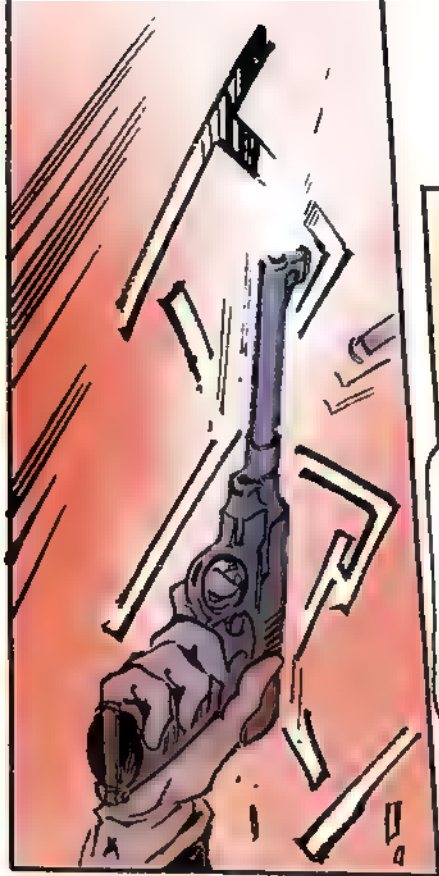




えらく  
お困りの  
ようね

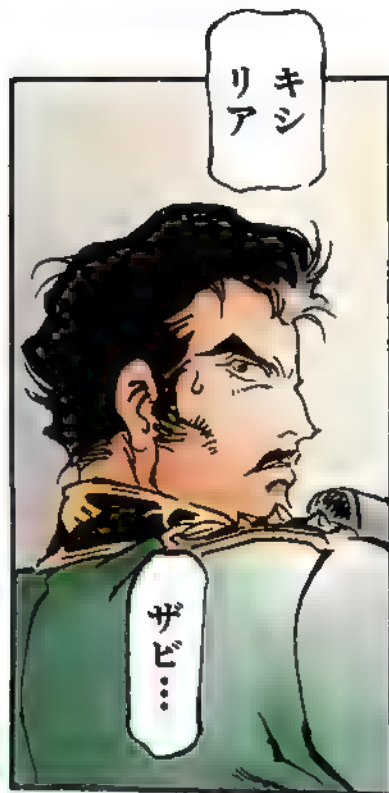
ランバ・ラル大尉  
たいい





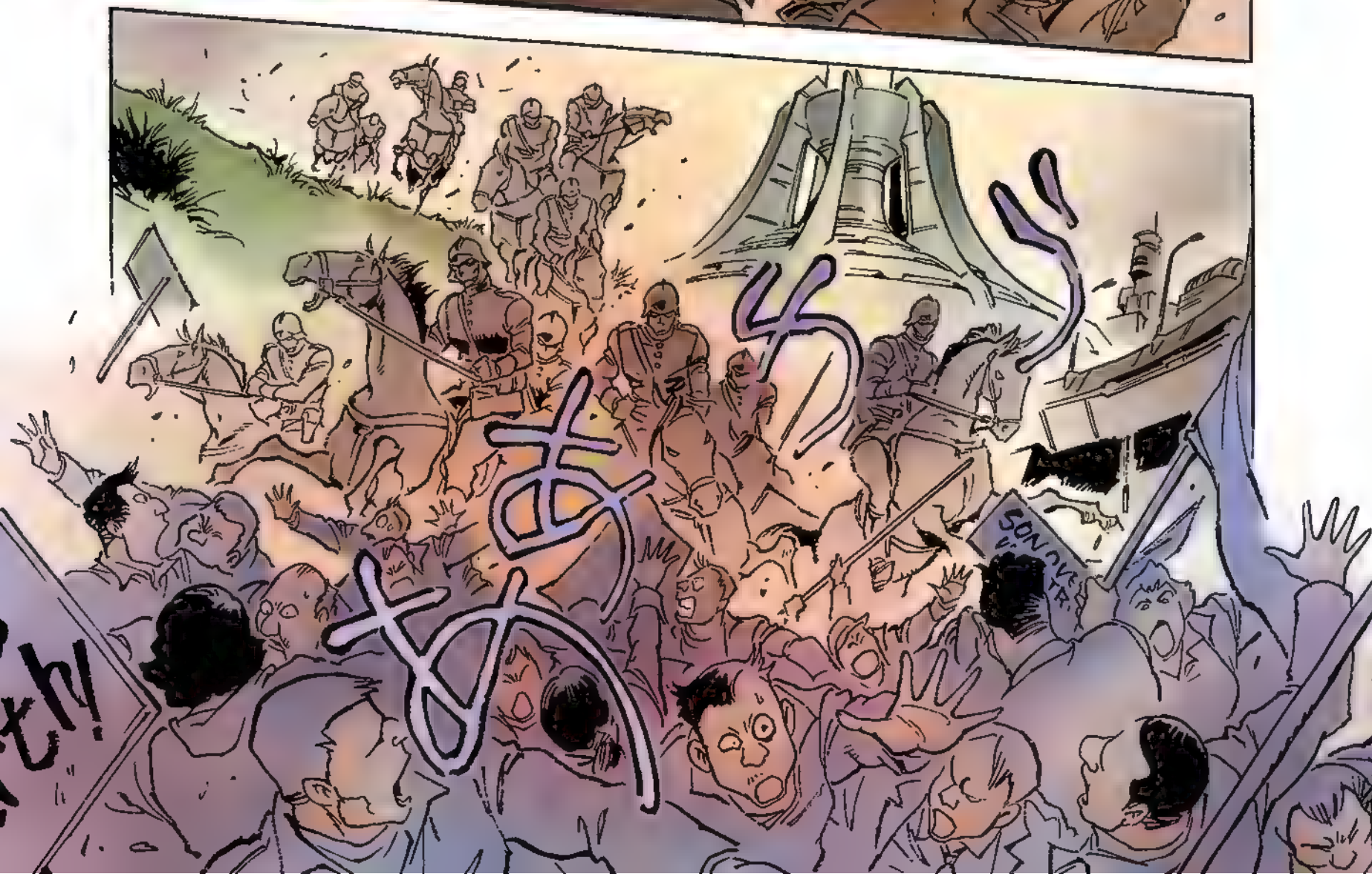
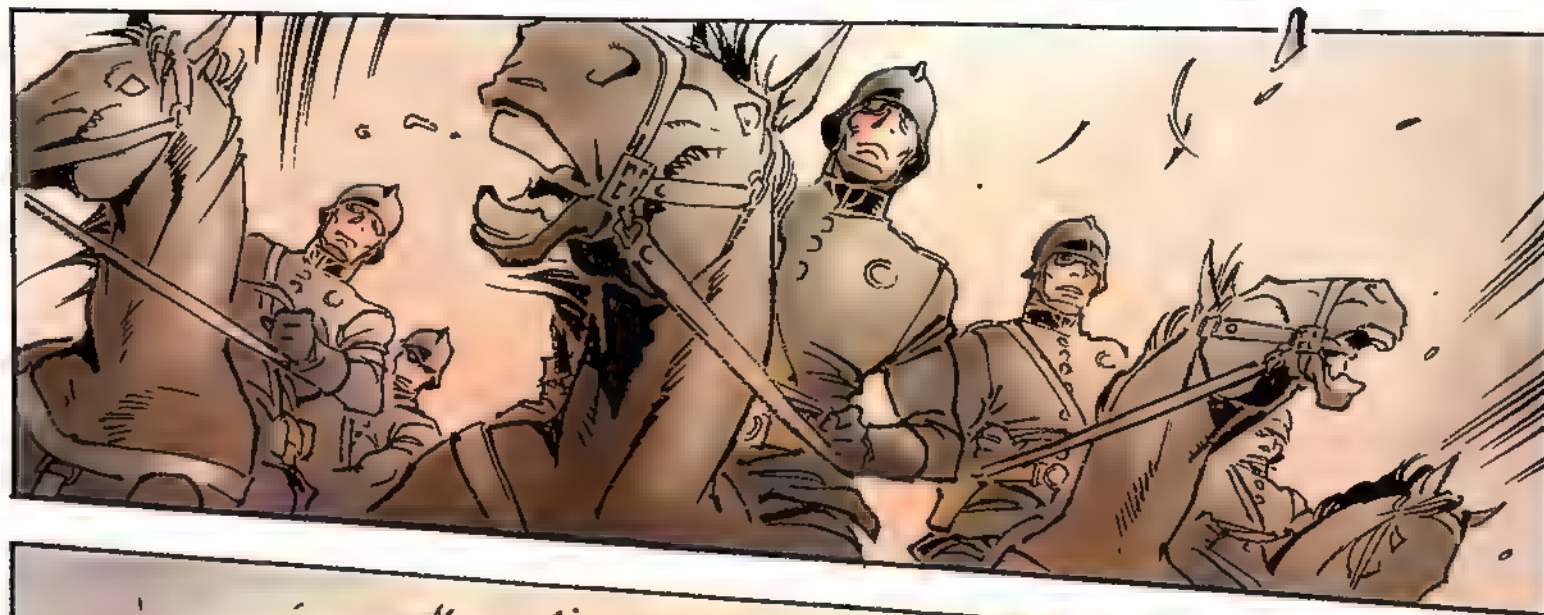
ダイクン家の  
皆さんのために  
ここは  
貸し借り  
なしで

お手伝い  
しましょう

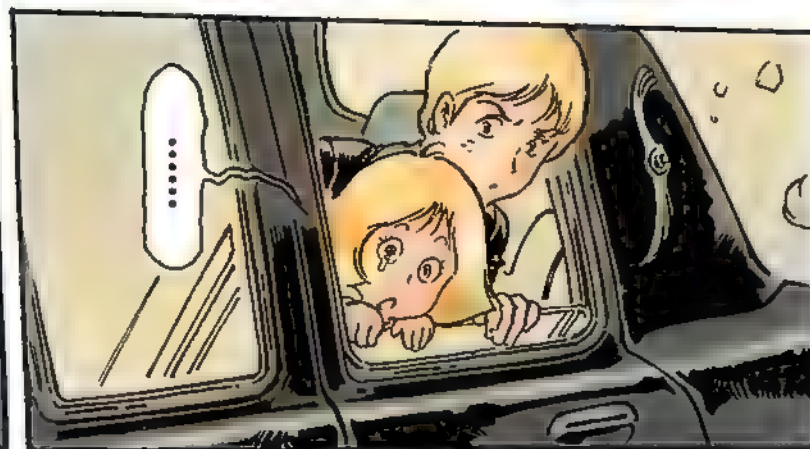
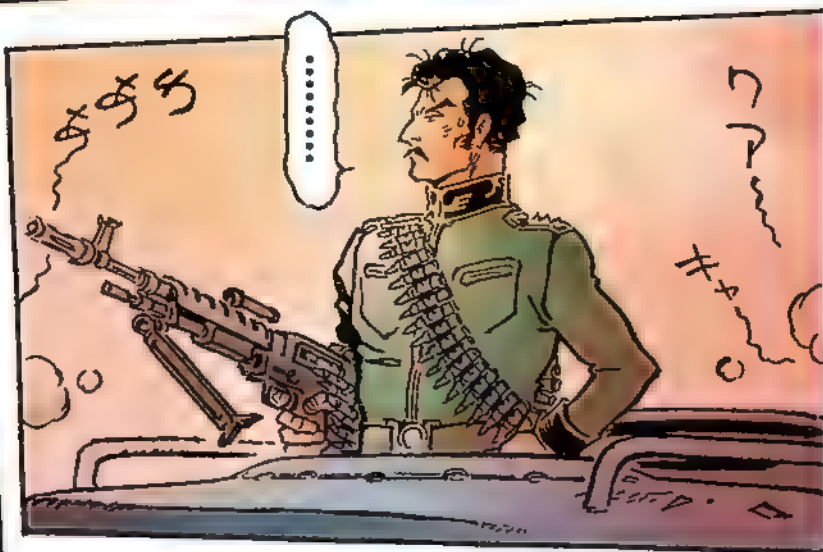
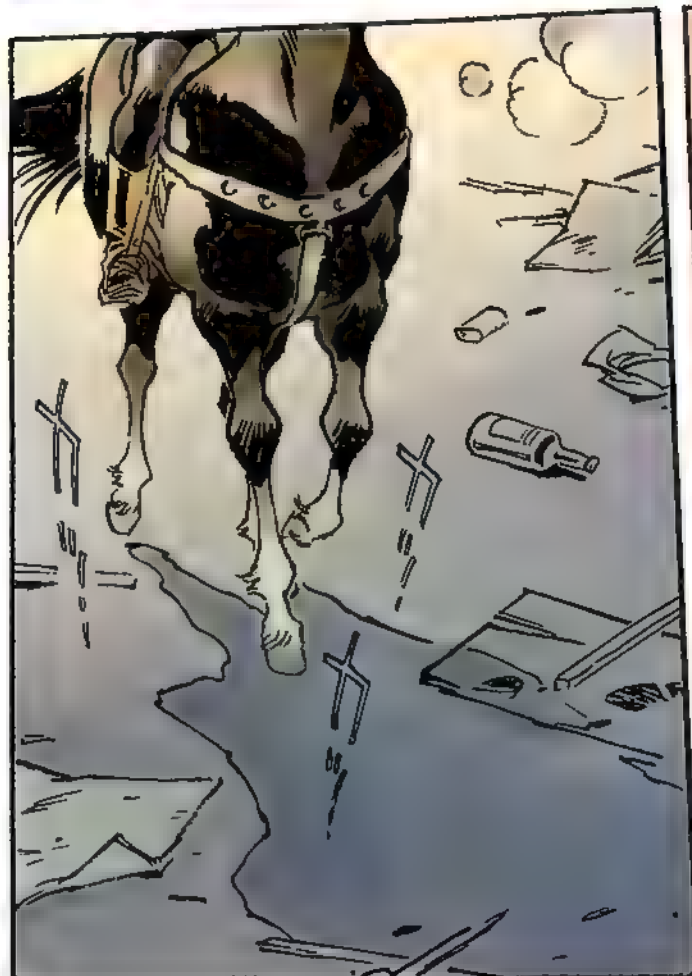


キシ  
リア

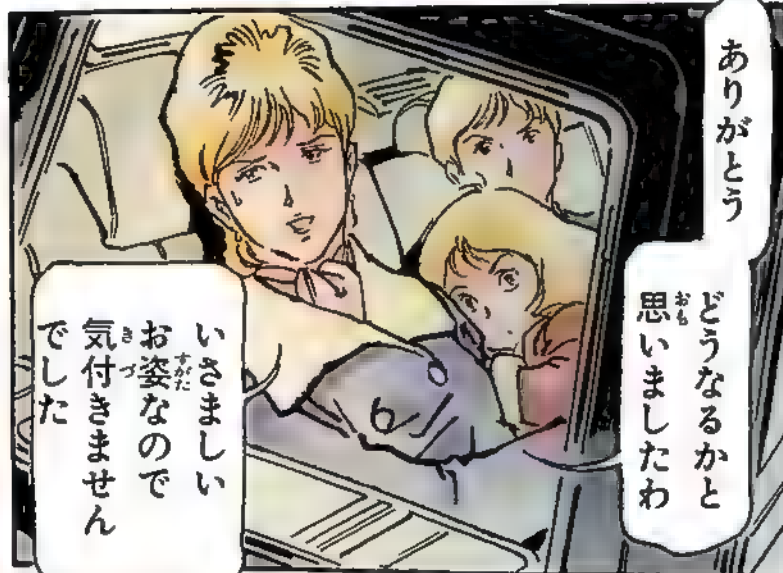
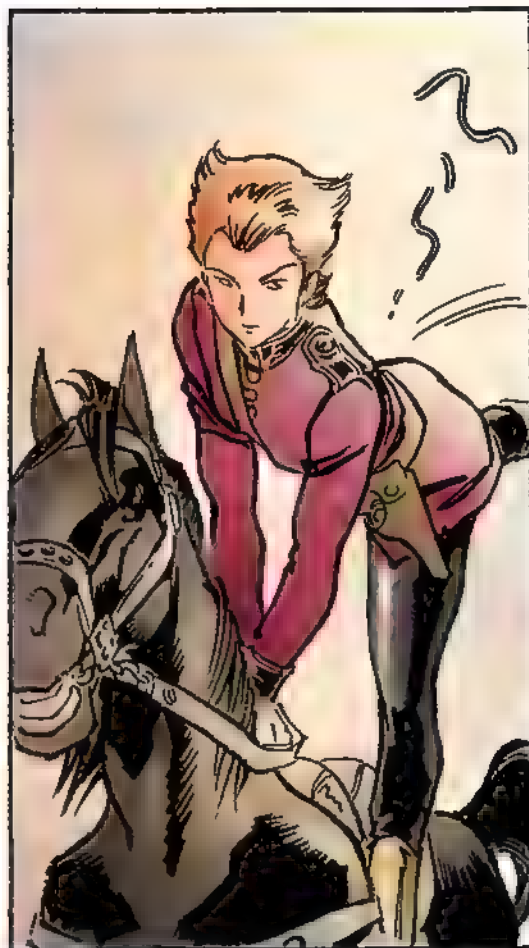
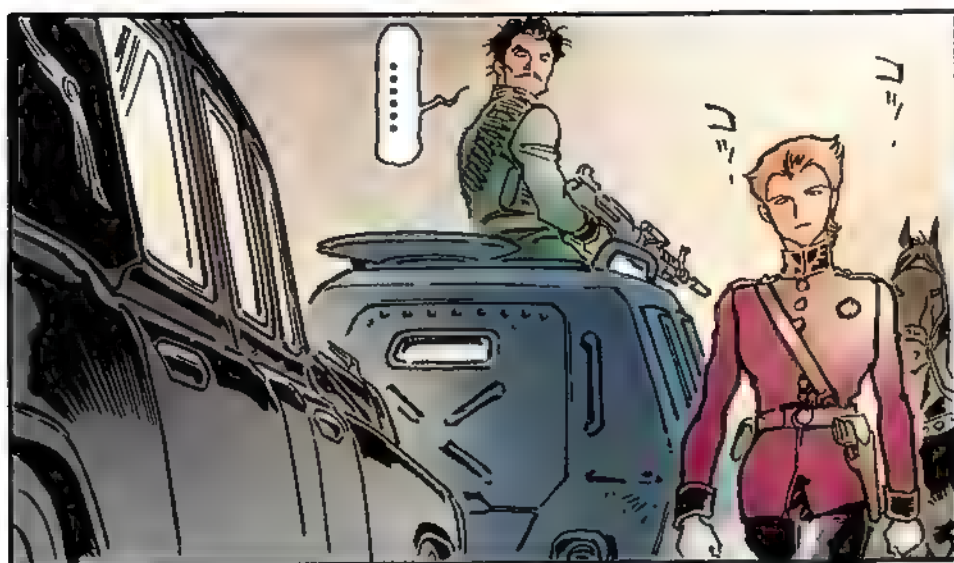
ザビ...



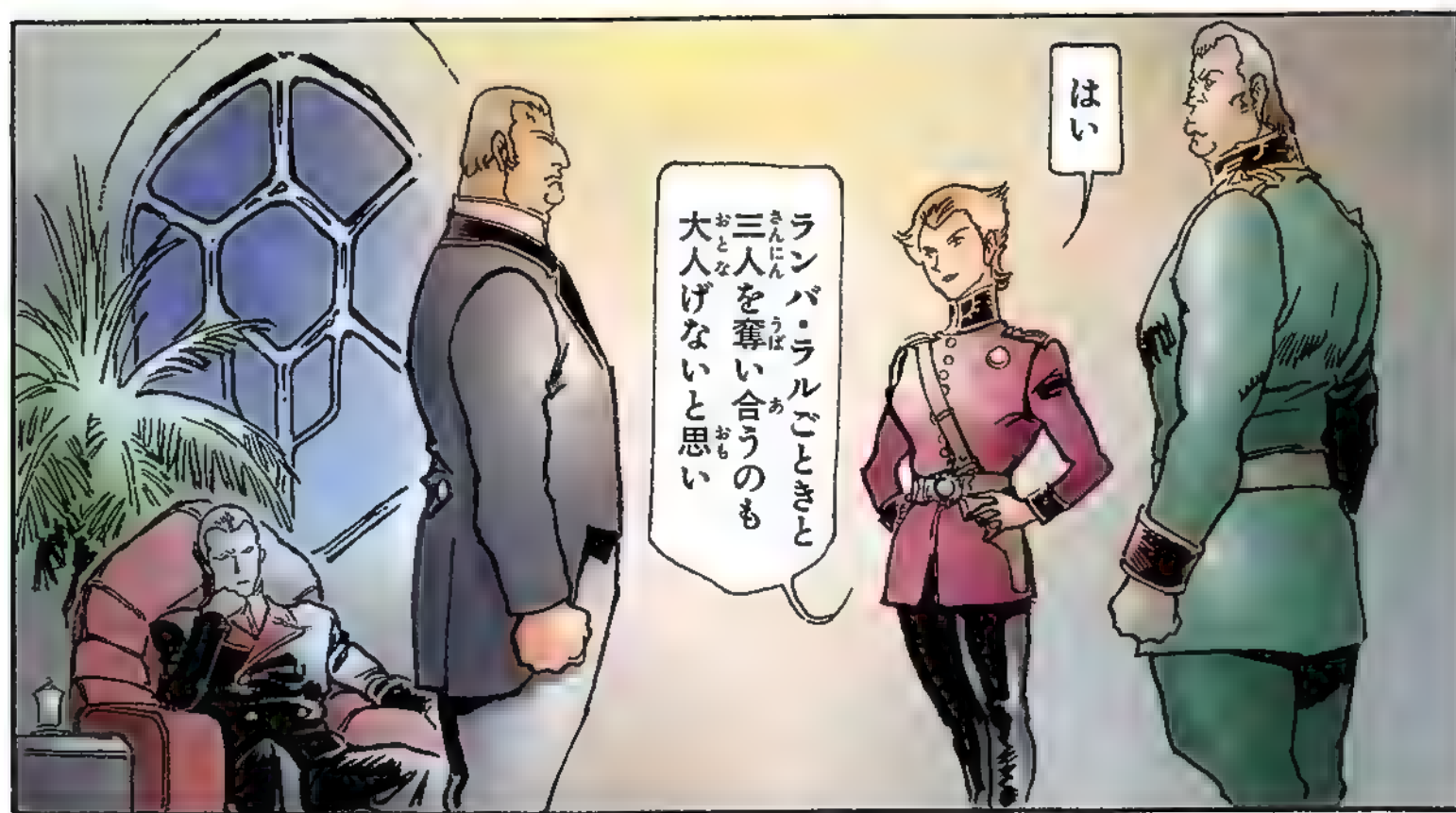
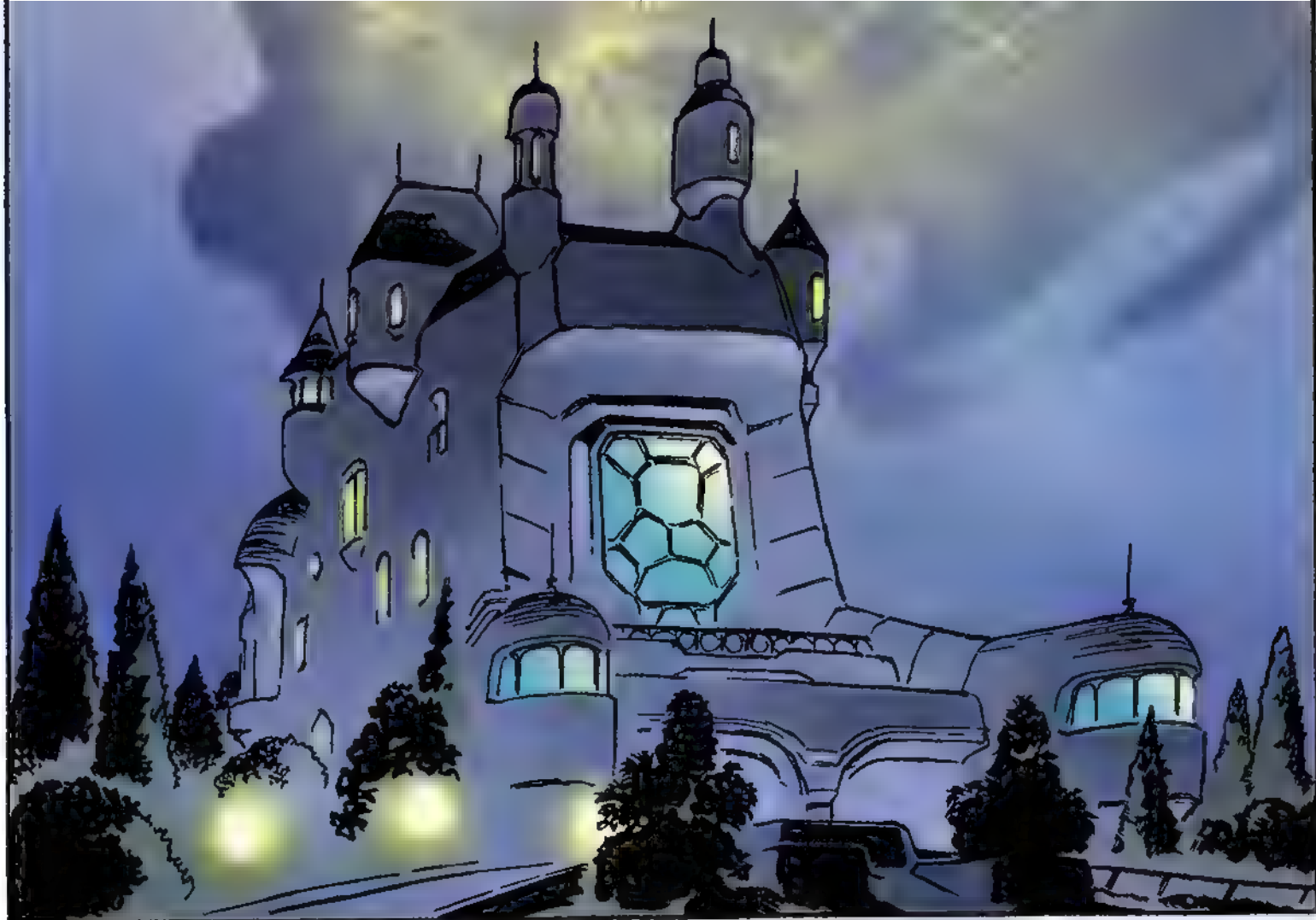




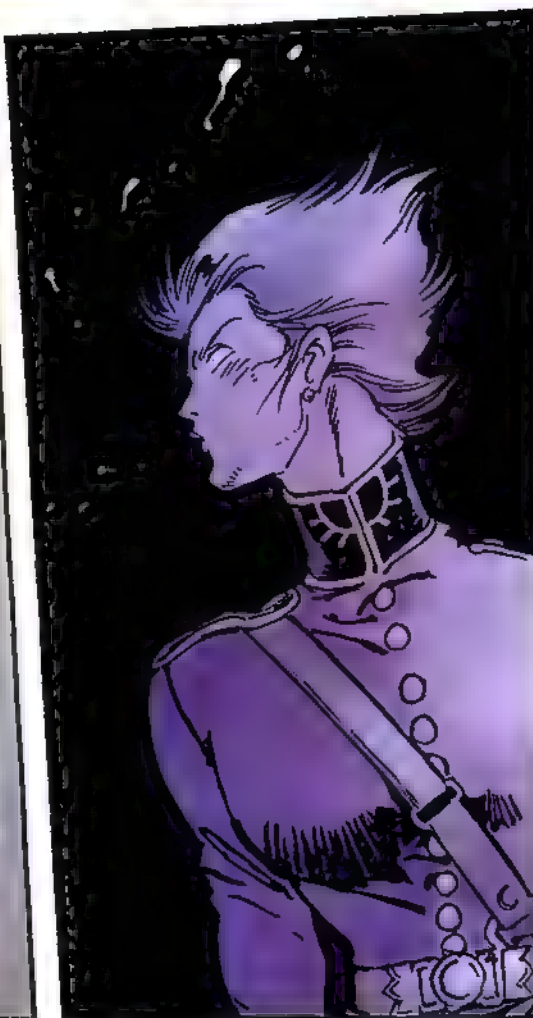
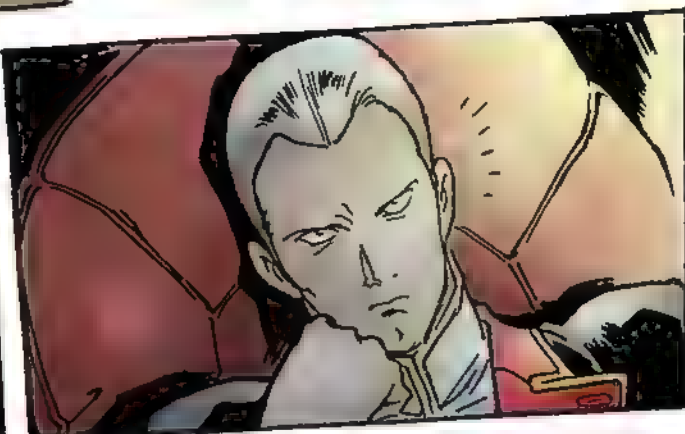
















でもたとえ  
ダイクン家を盾に  
とったところで  
ジンバ・ラルが  
いまさら我々に

できるものか!  
あんな老いぼれに!!

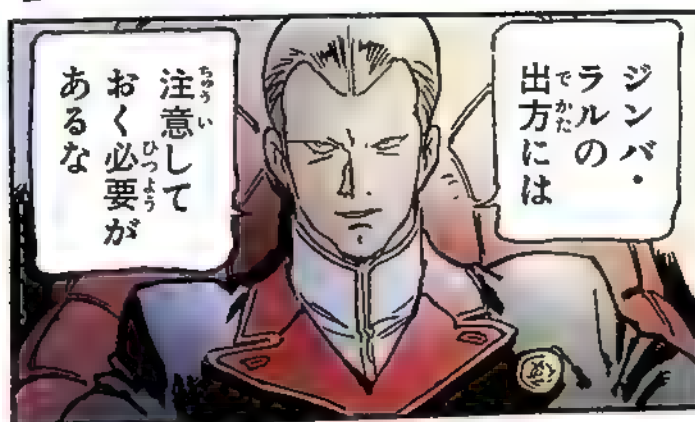
正面きつて  
ケンカを売って  
くるとも  
思えんが...



せっかく  
苦労  
して

ダイクンの死を  
連邦の暗殺と  
思わせる世論操作が  
うまくいきかけている  
というのに余計な  
手出しをさせて!

どんな邪魔を  
してくるか  
知れないぞ!!



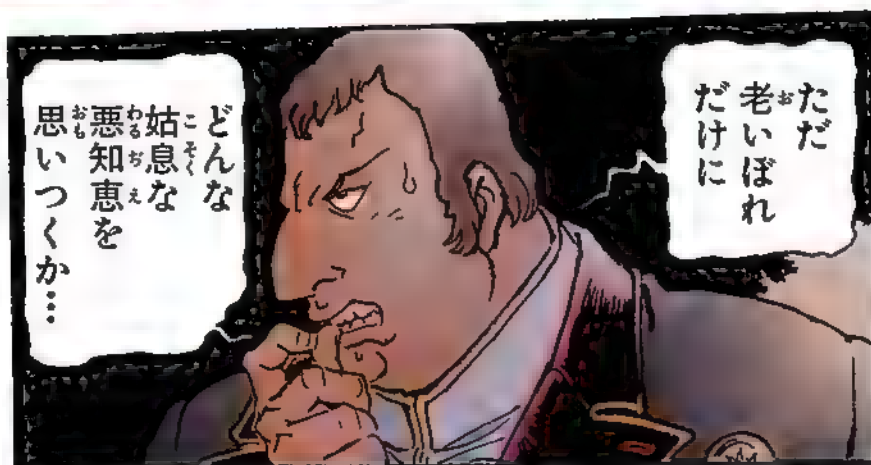
ジンバ・  
ラルの  
出方には

注意して  
おく必要が  
あるな



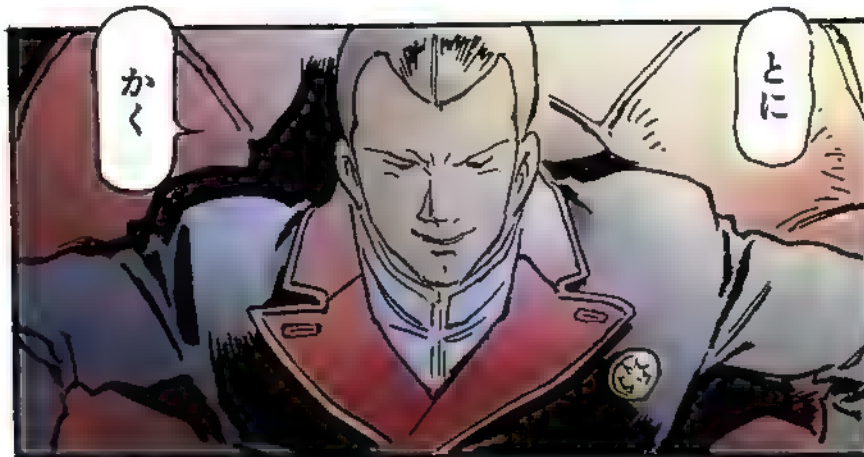
加速  
する

時の流れは  
いつきに



ただ  
老いぼれ  
だけに

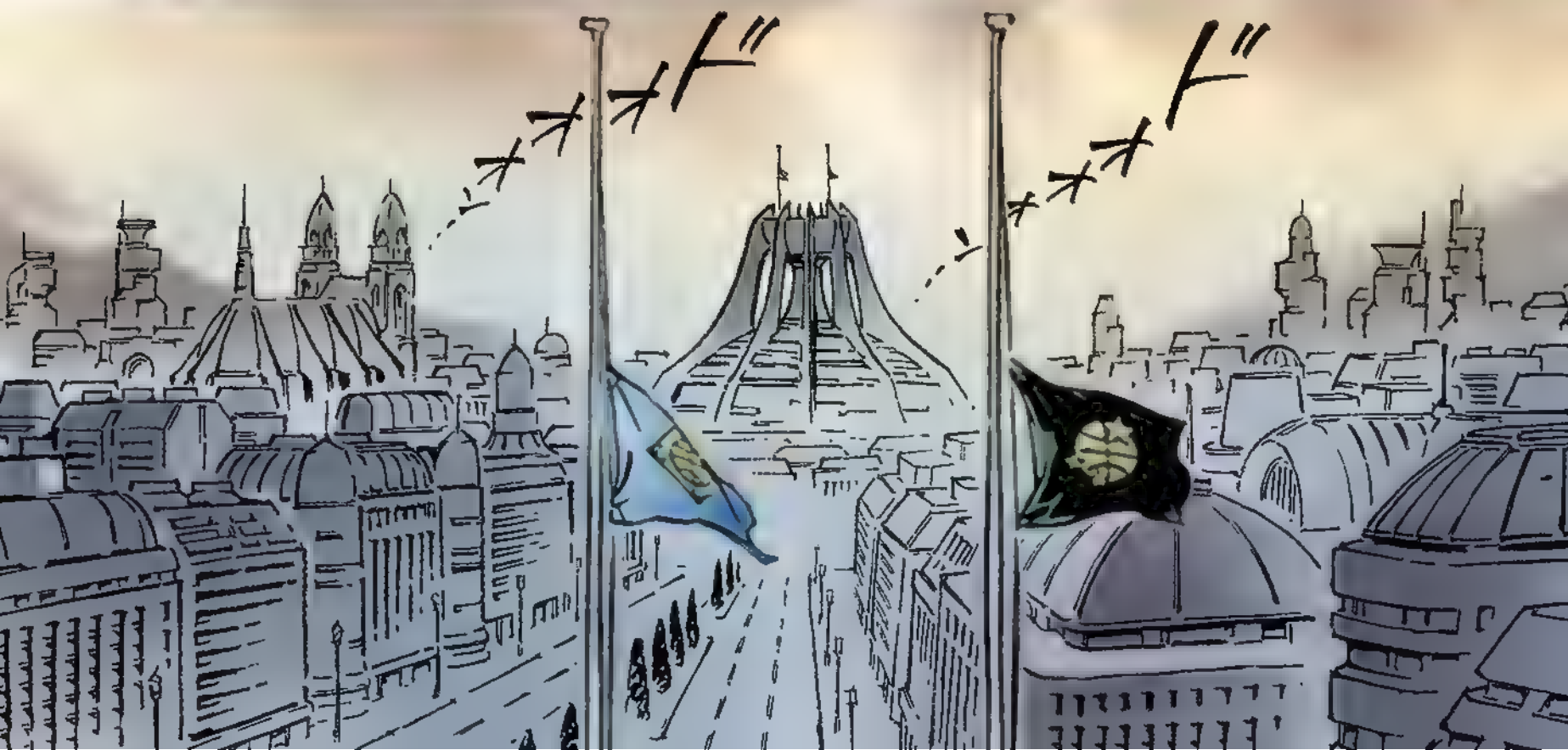
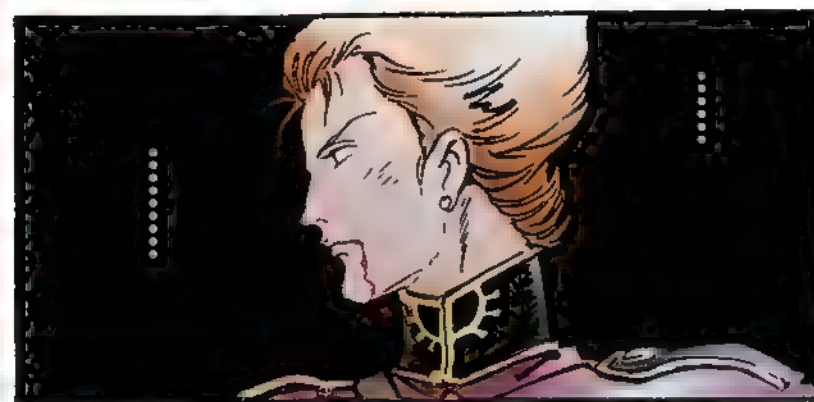
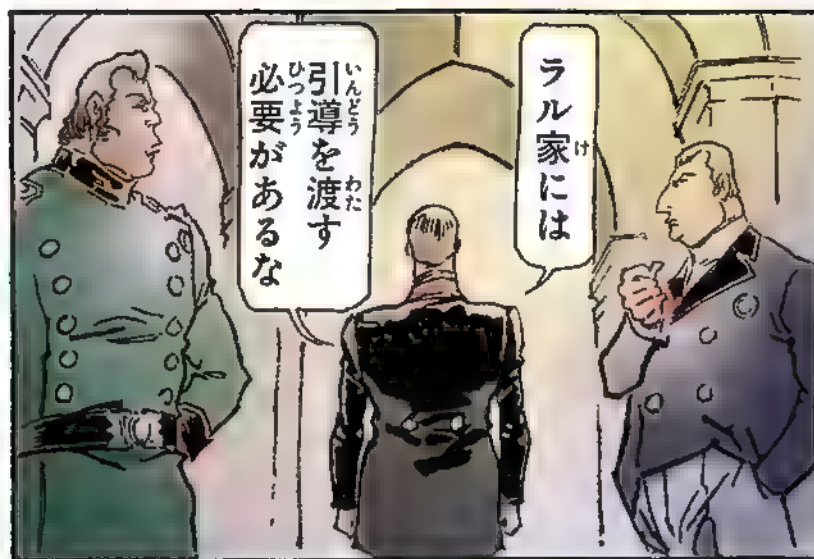
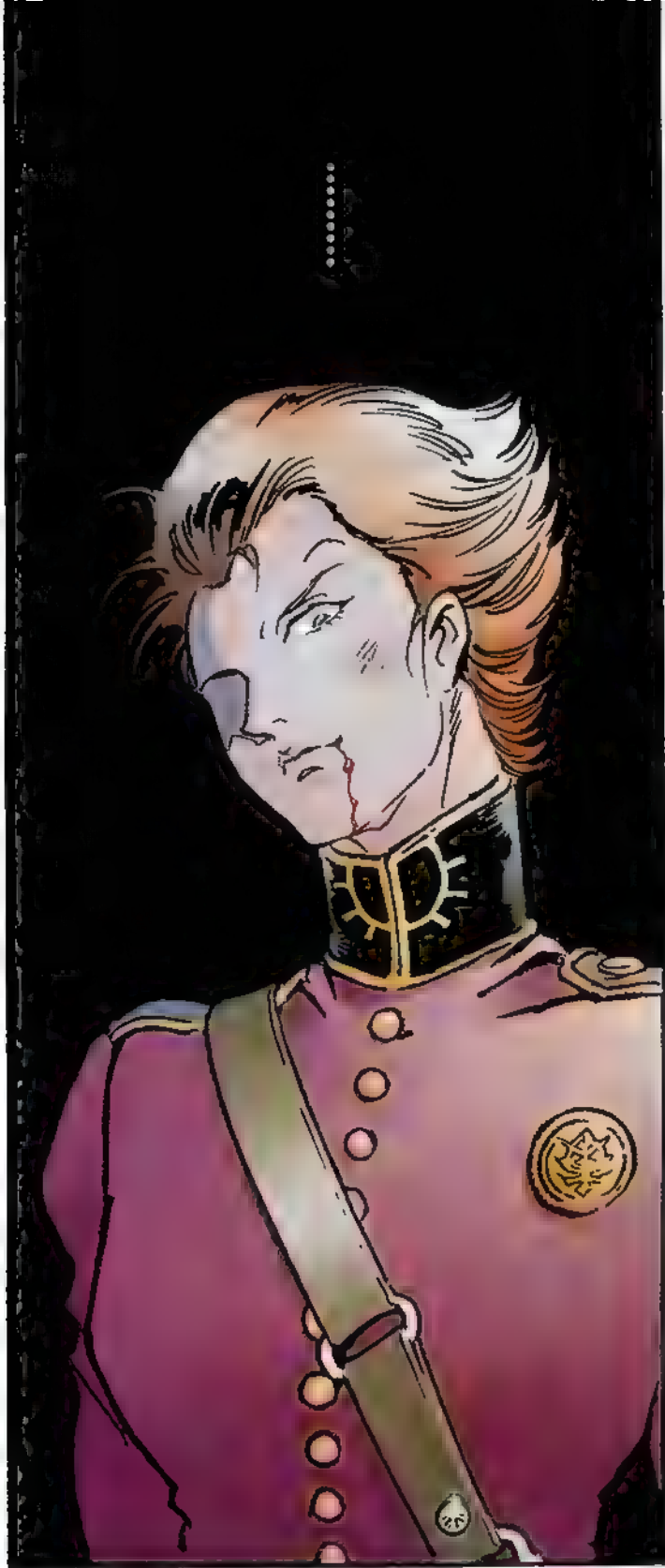
どんな  
姑息な  
悪知恵を  
思いつくか...



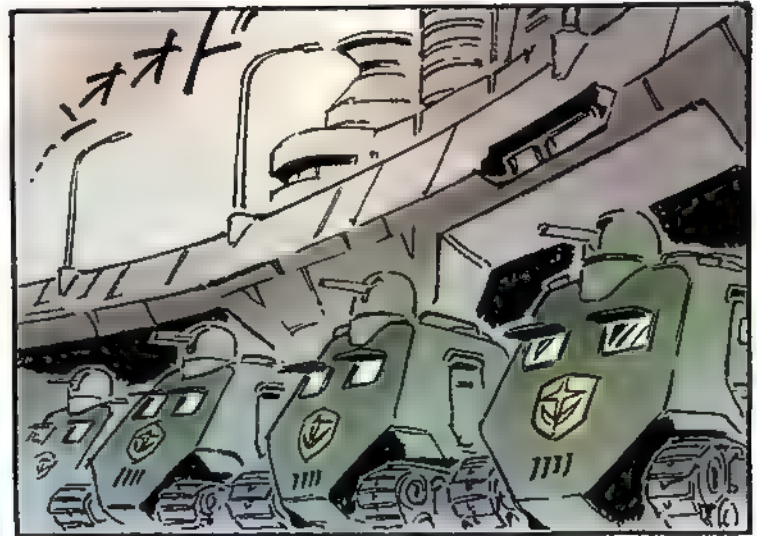
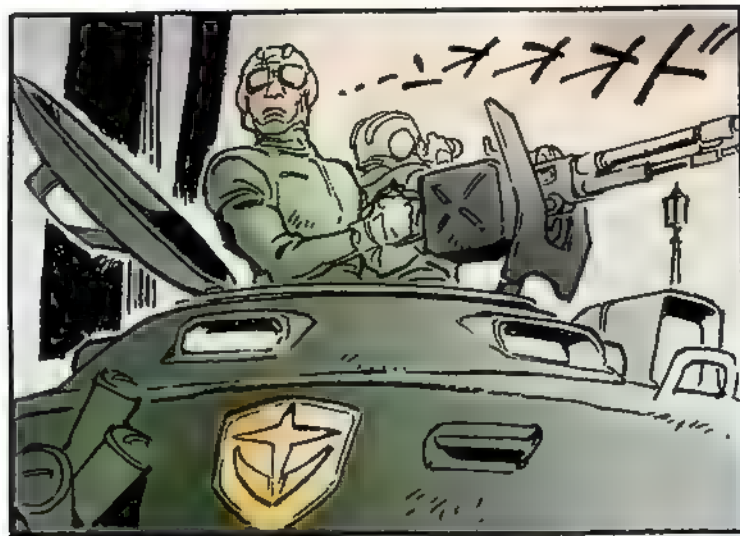
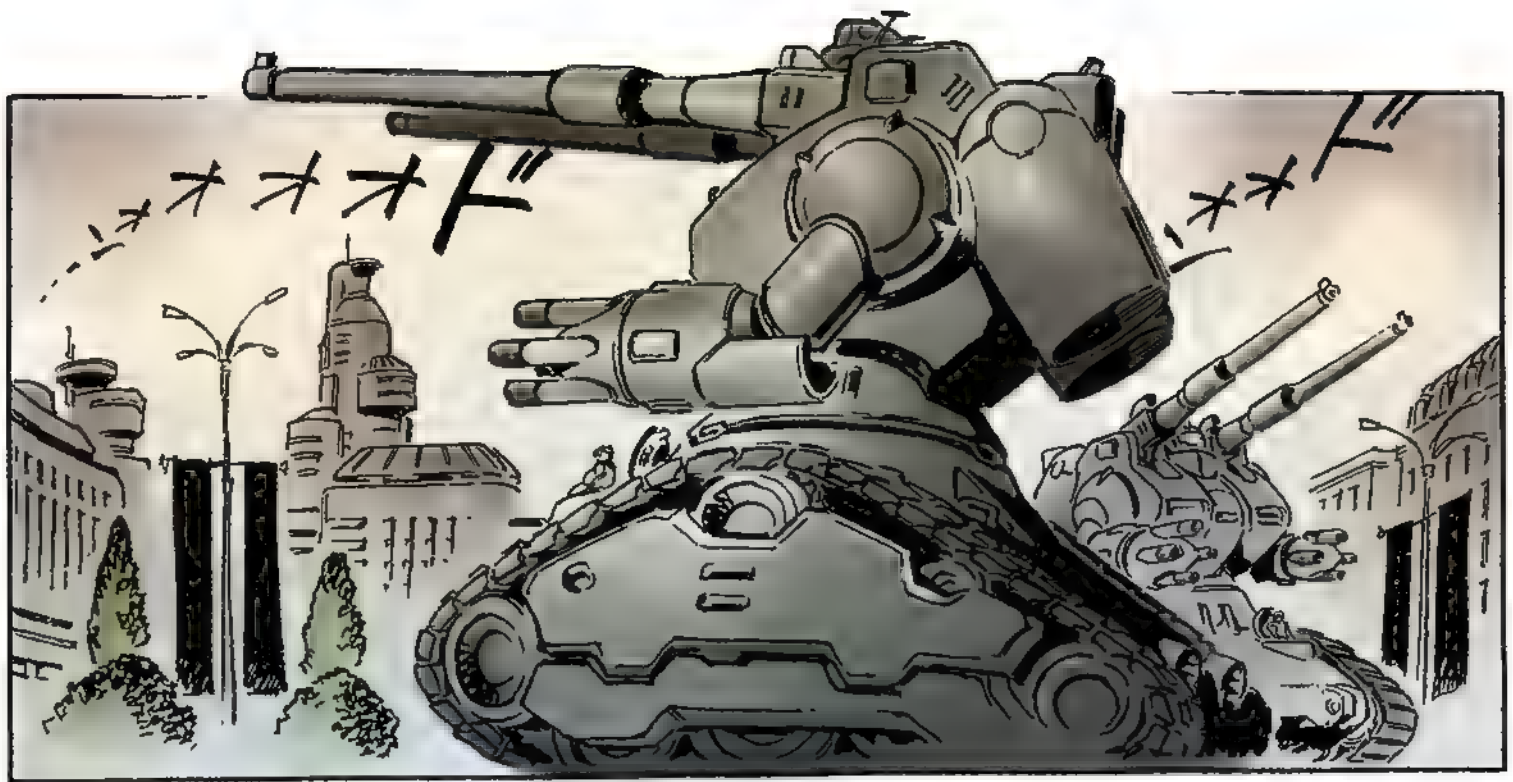
とに

かく

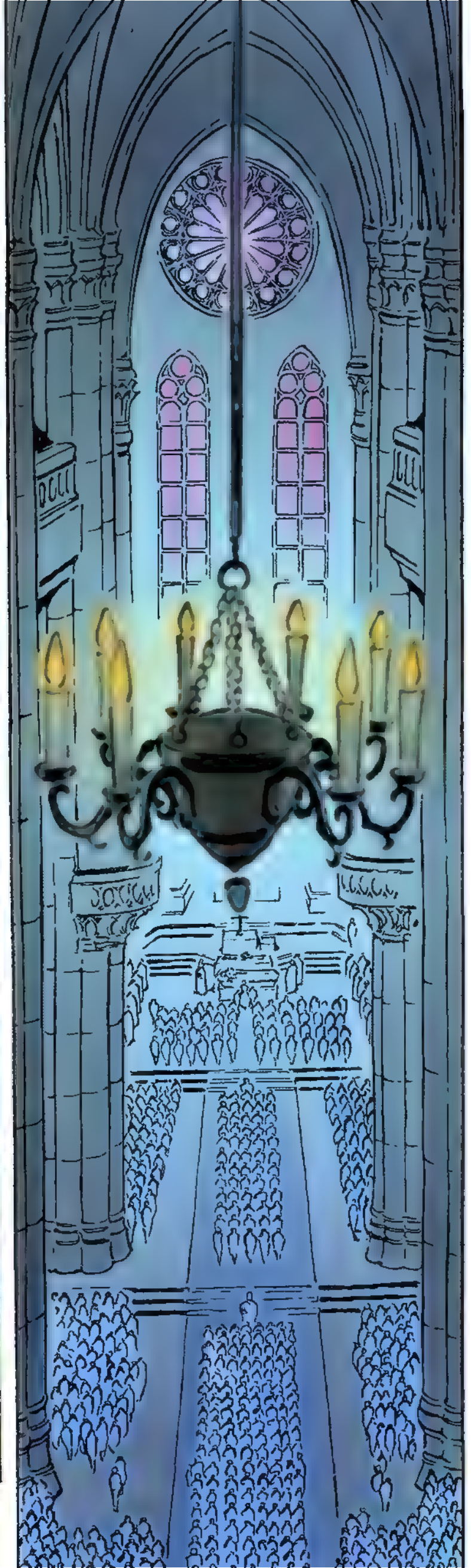
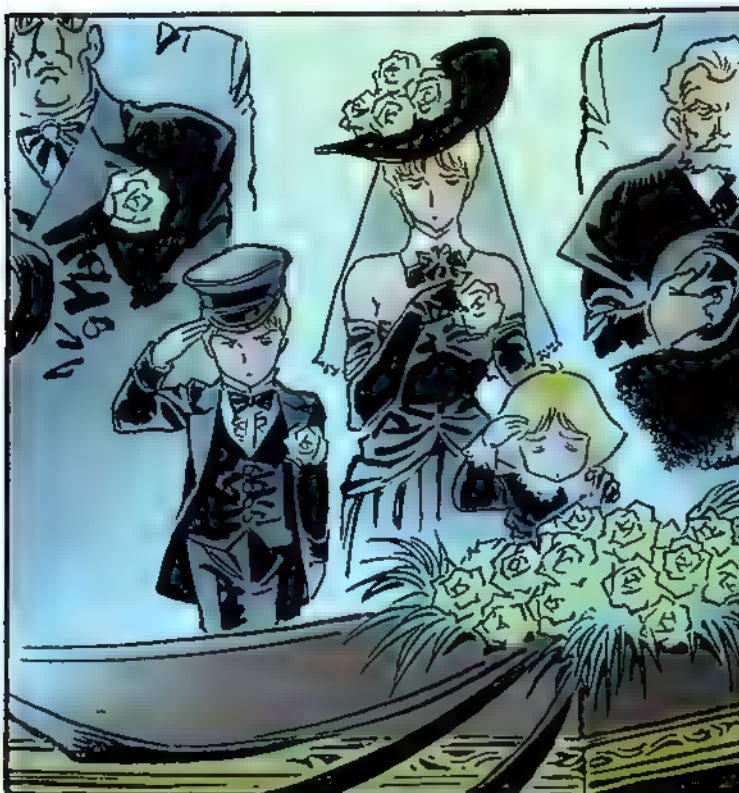
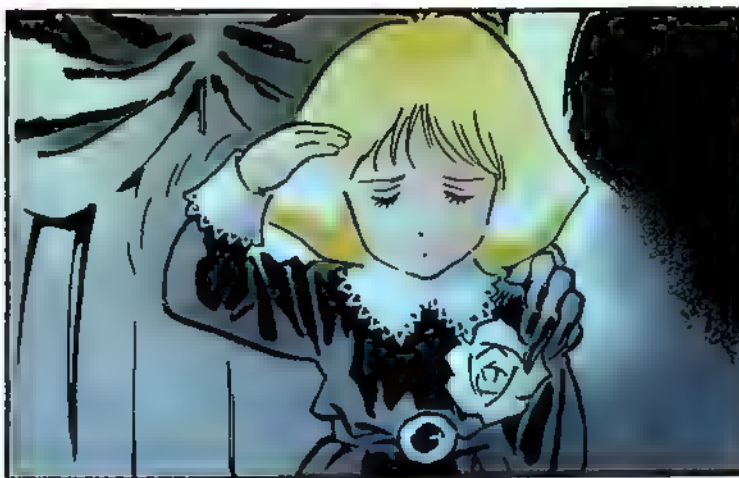
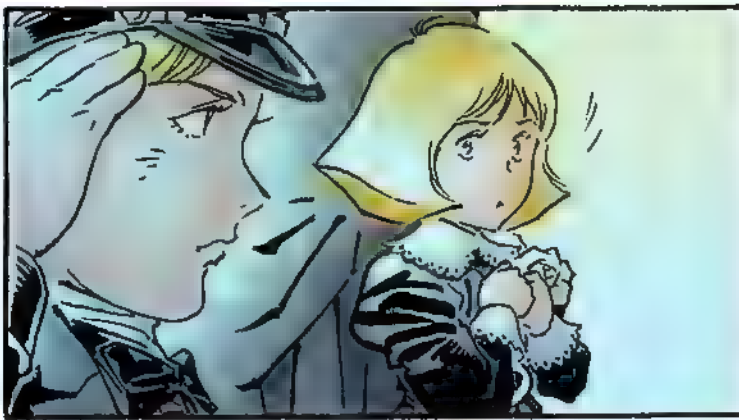
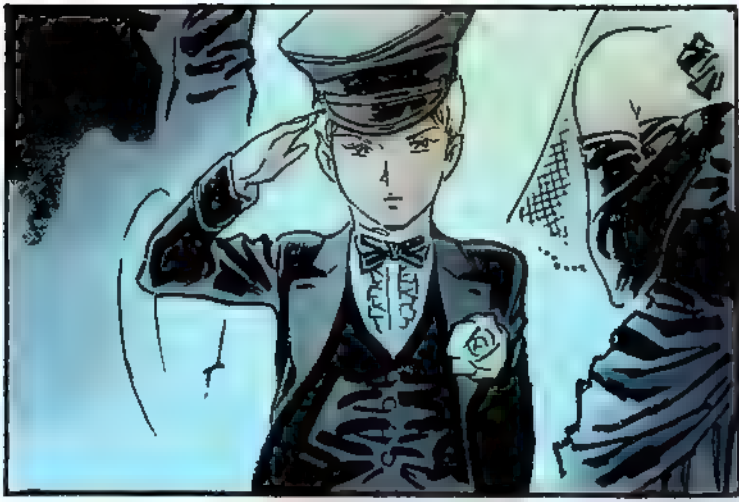




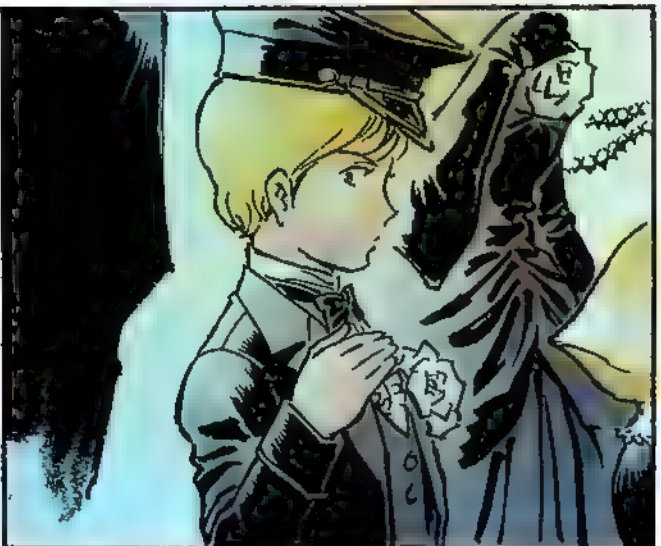
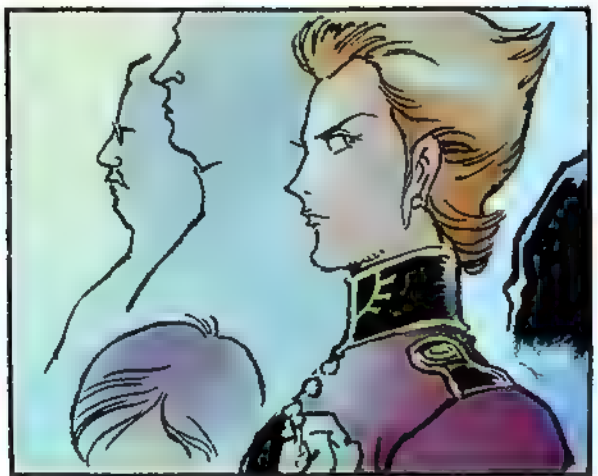
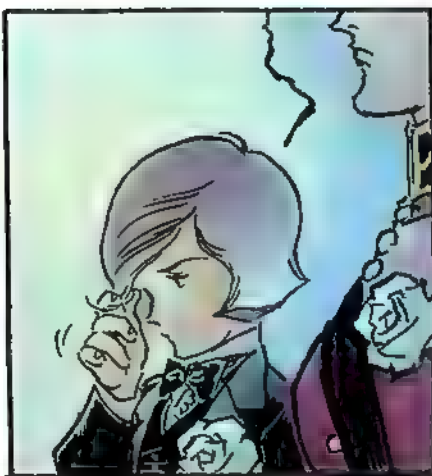
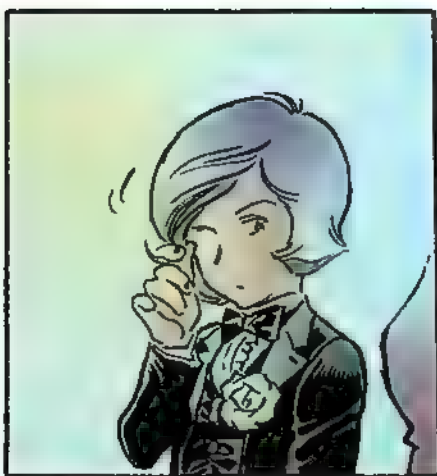
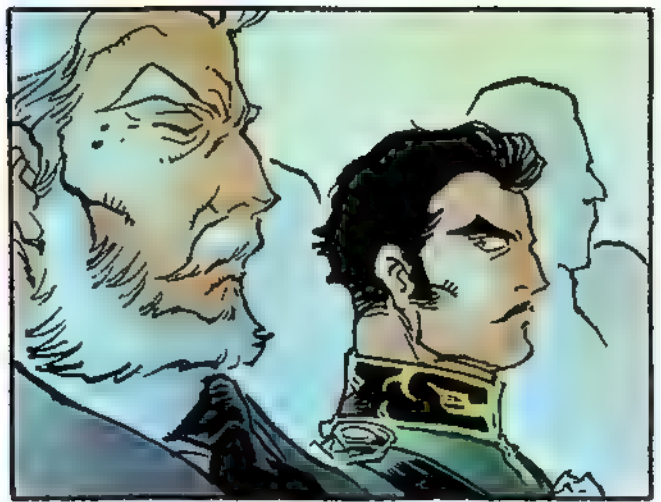
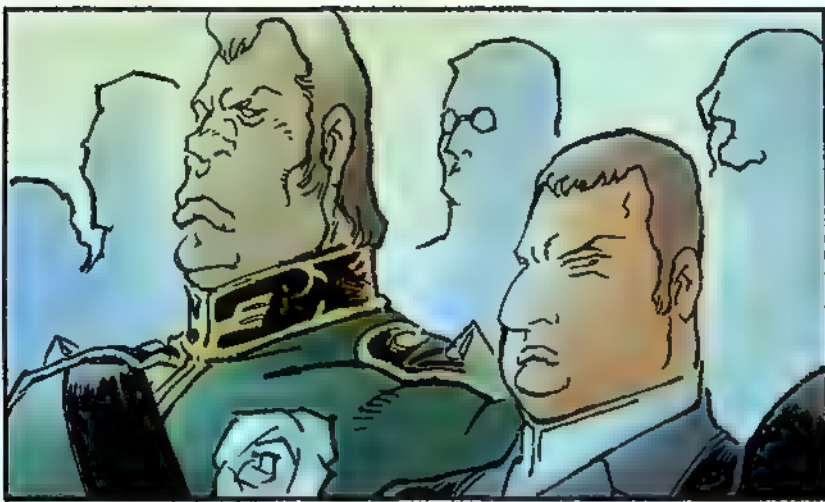
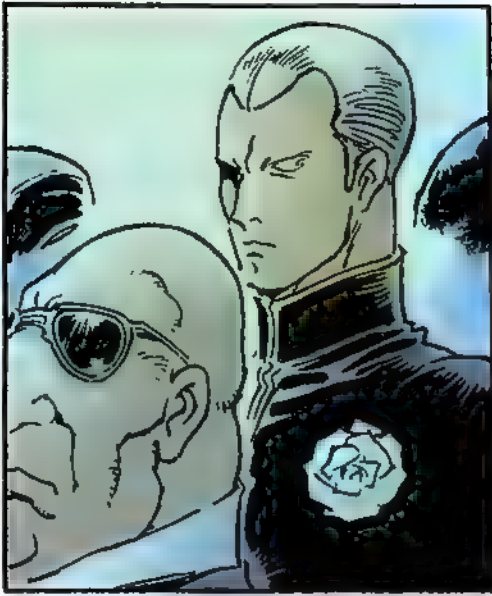




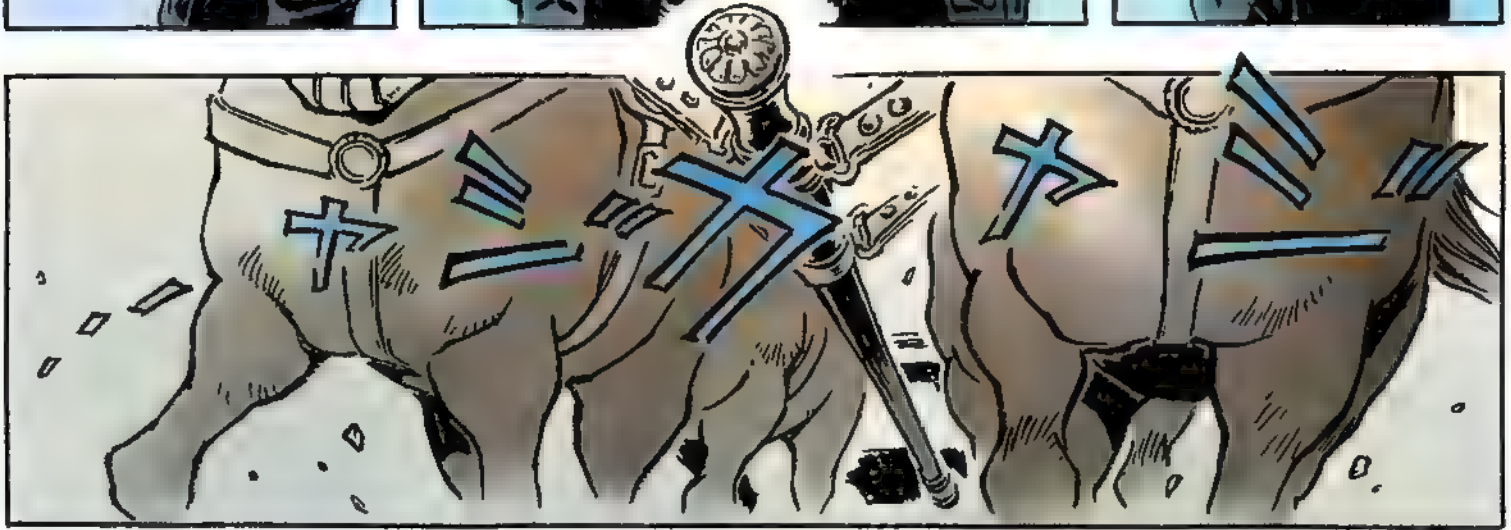
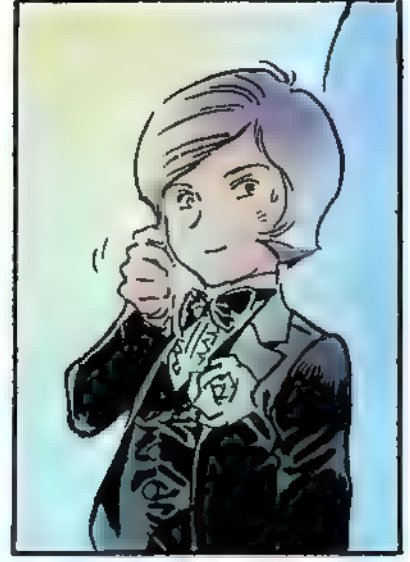
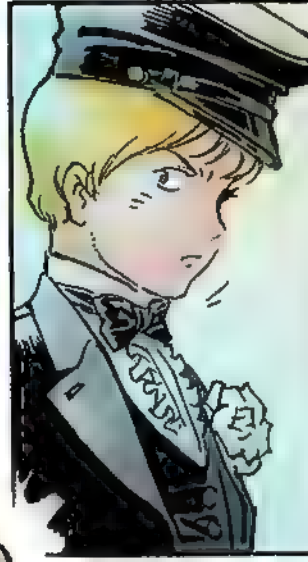
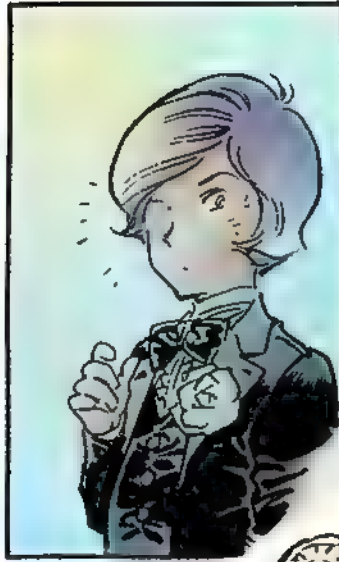
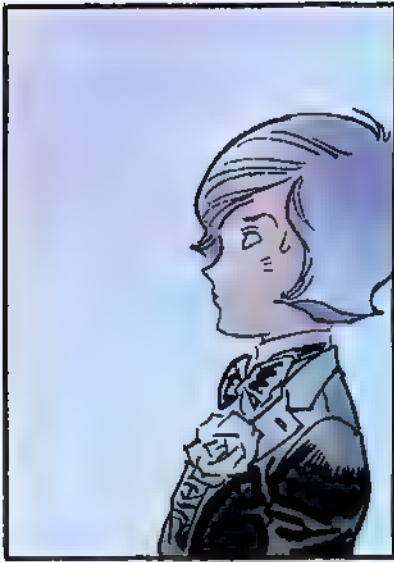




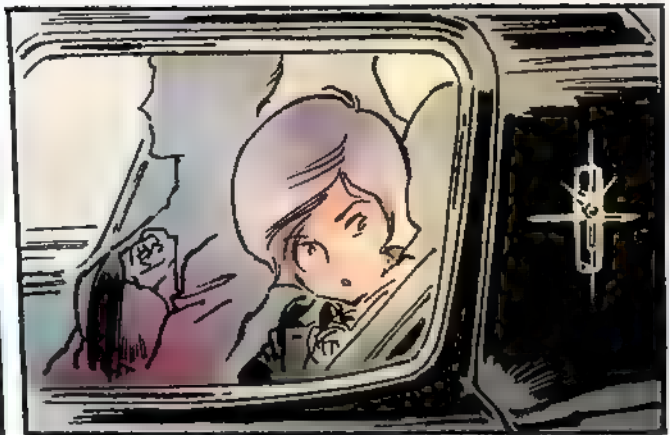
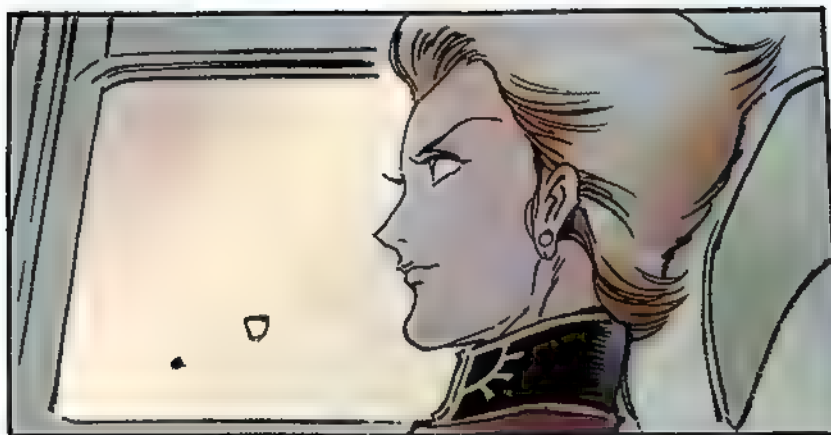
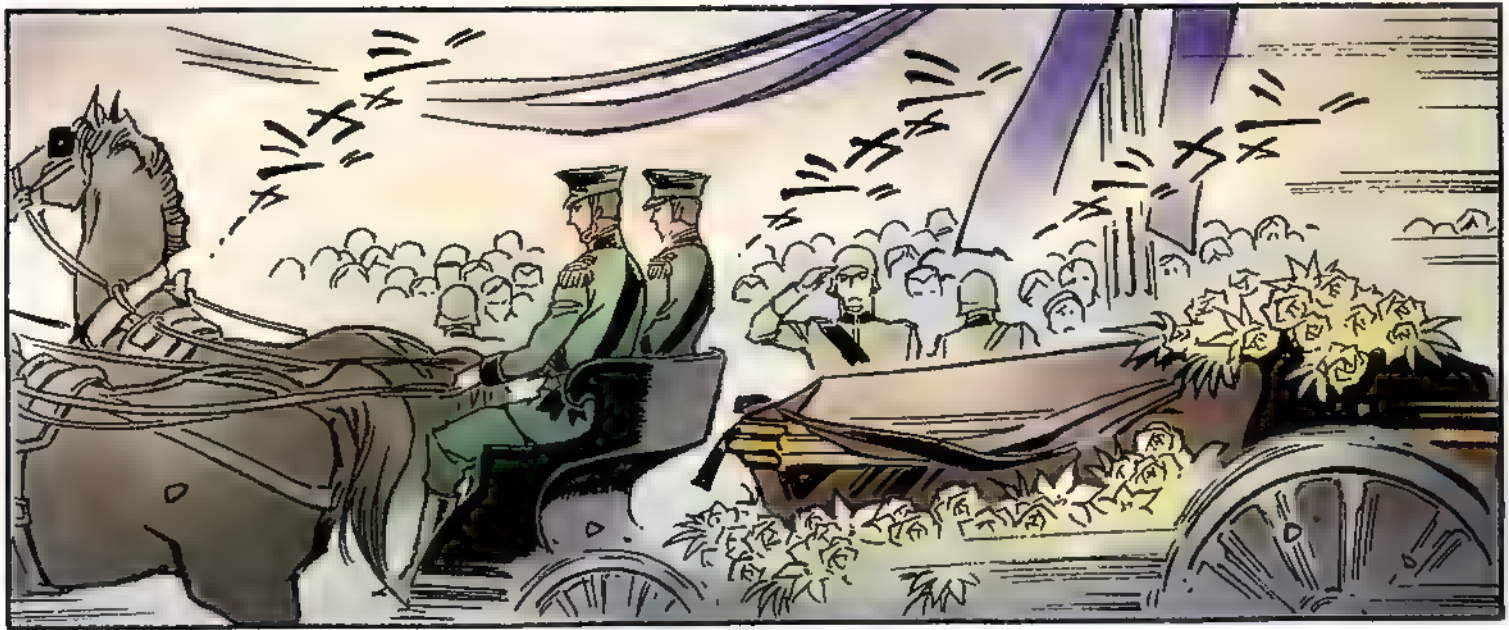
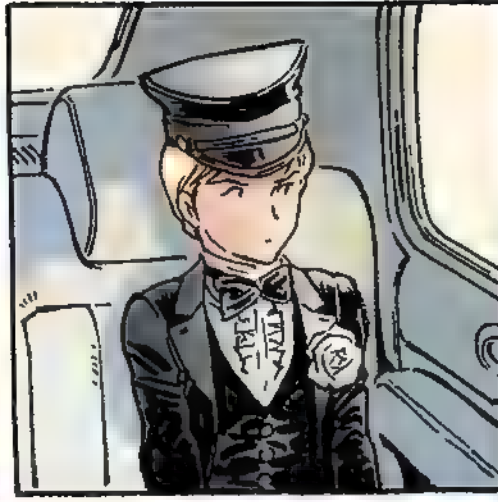
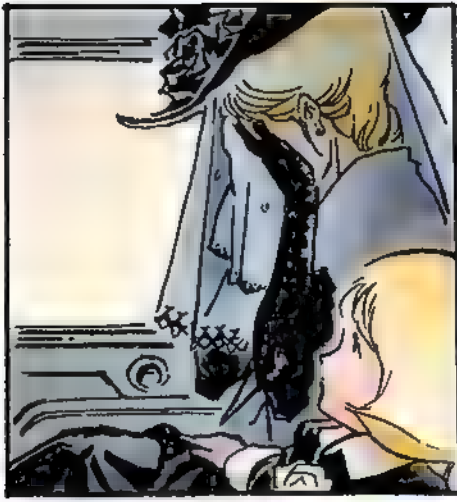




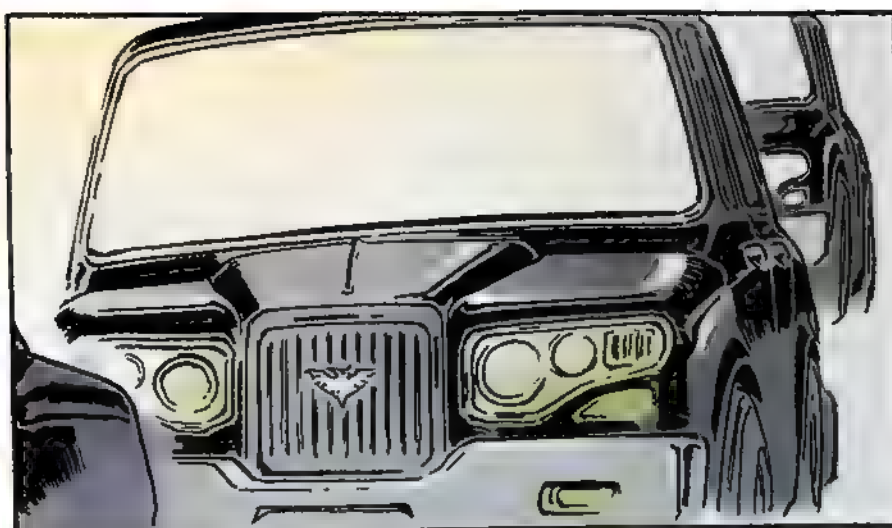




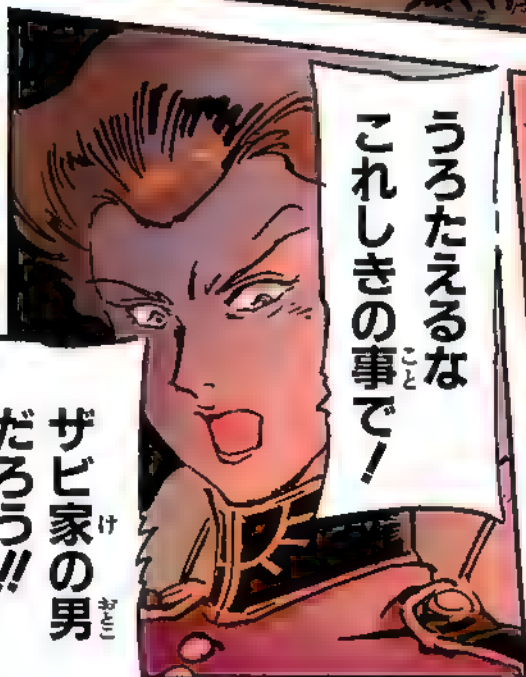
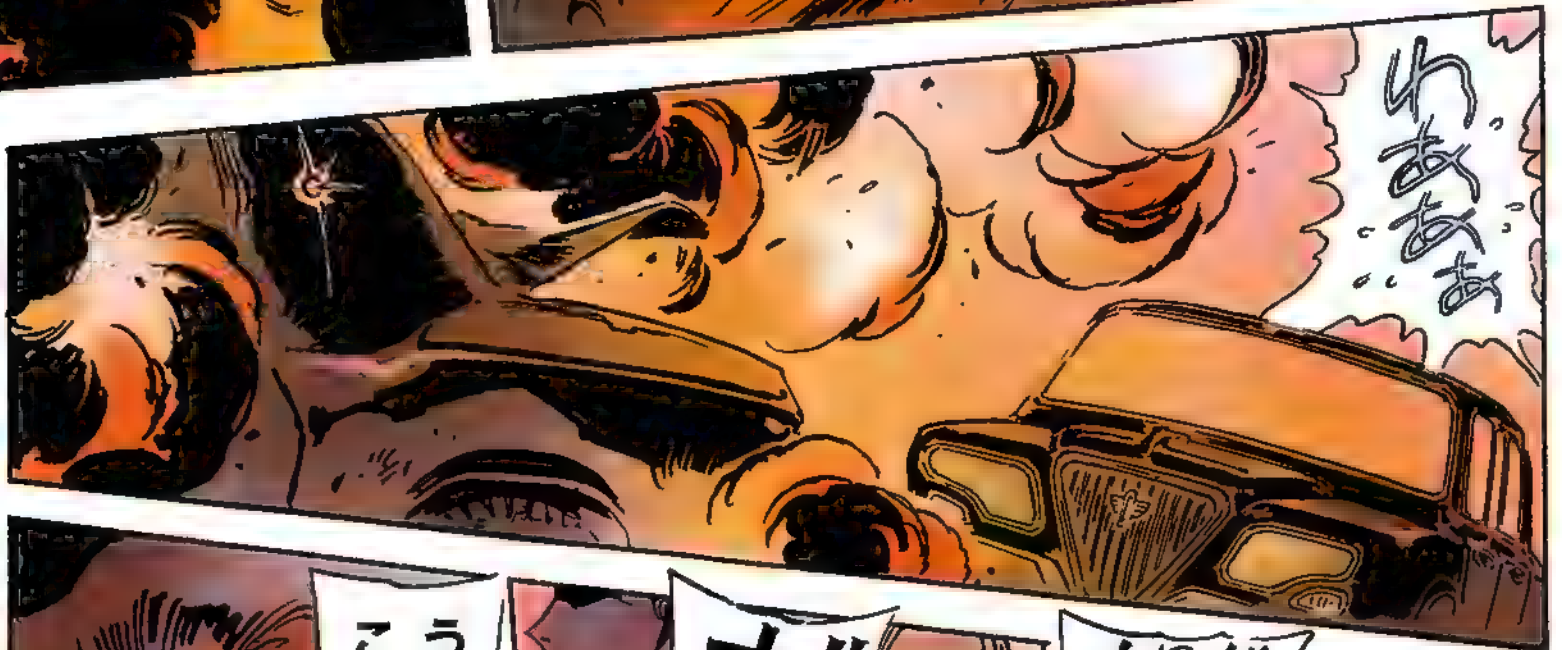
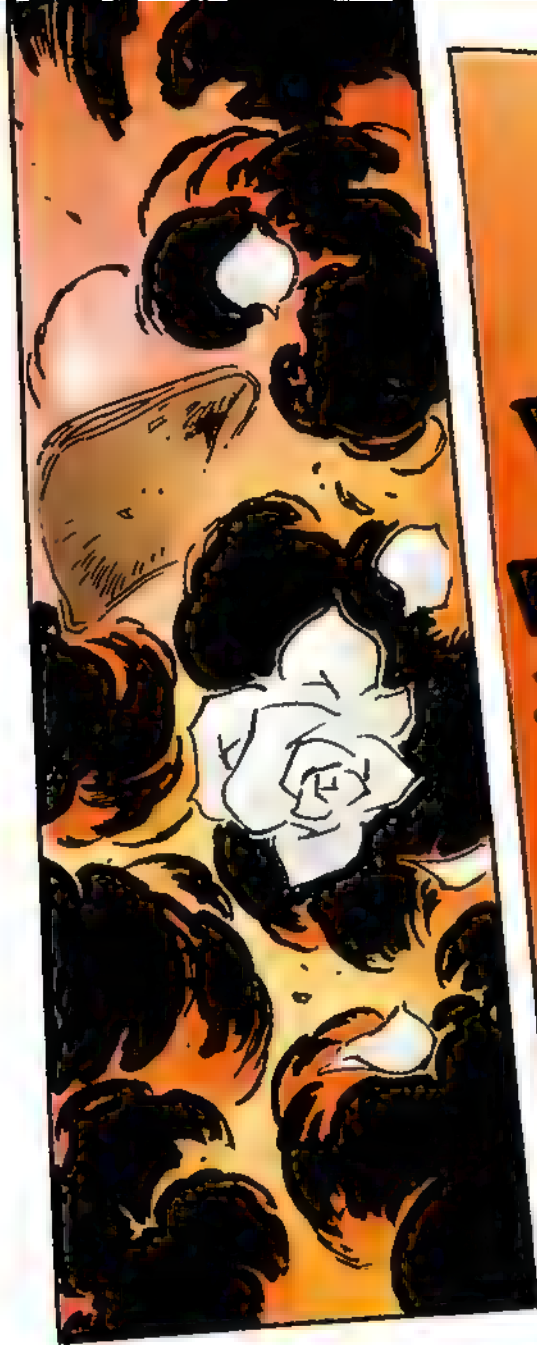




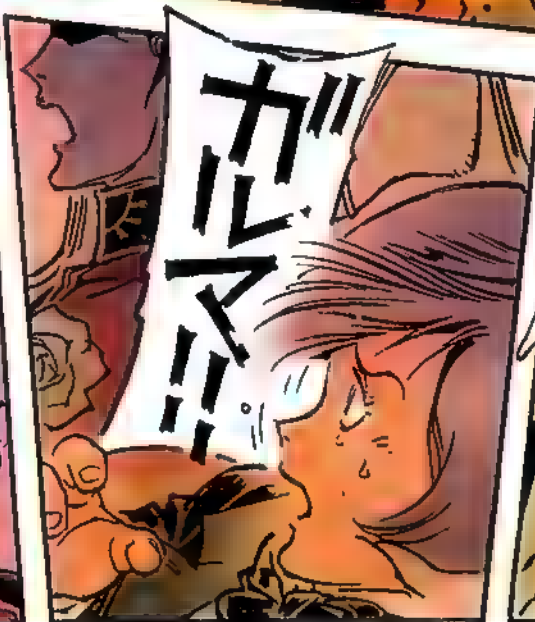




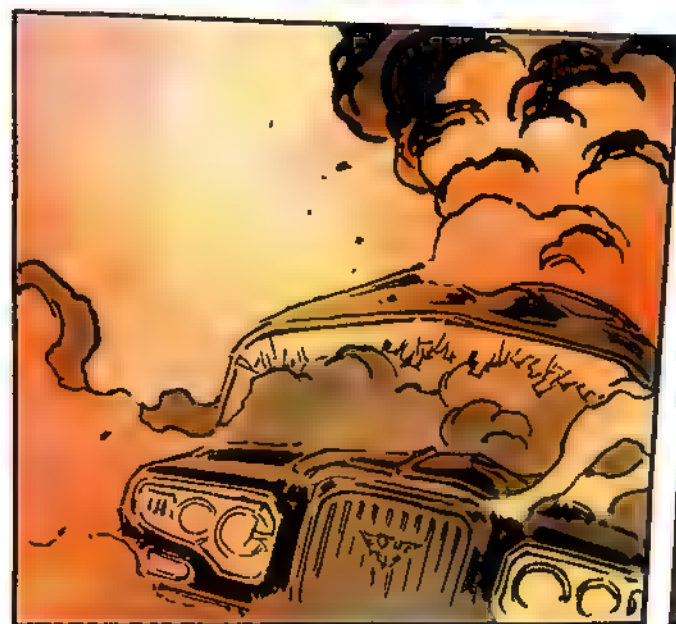
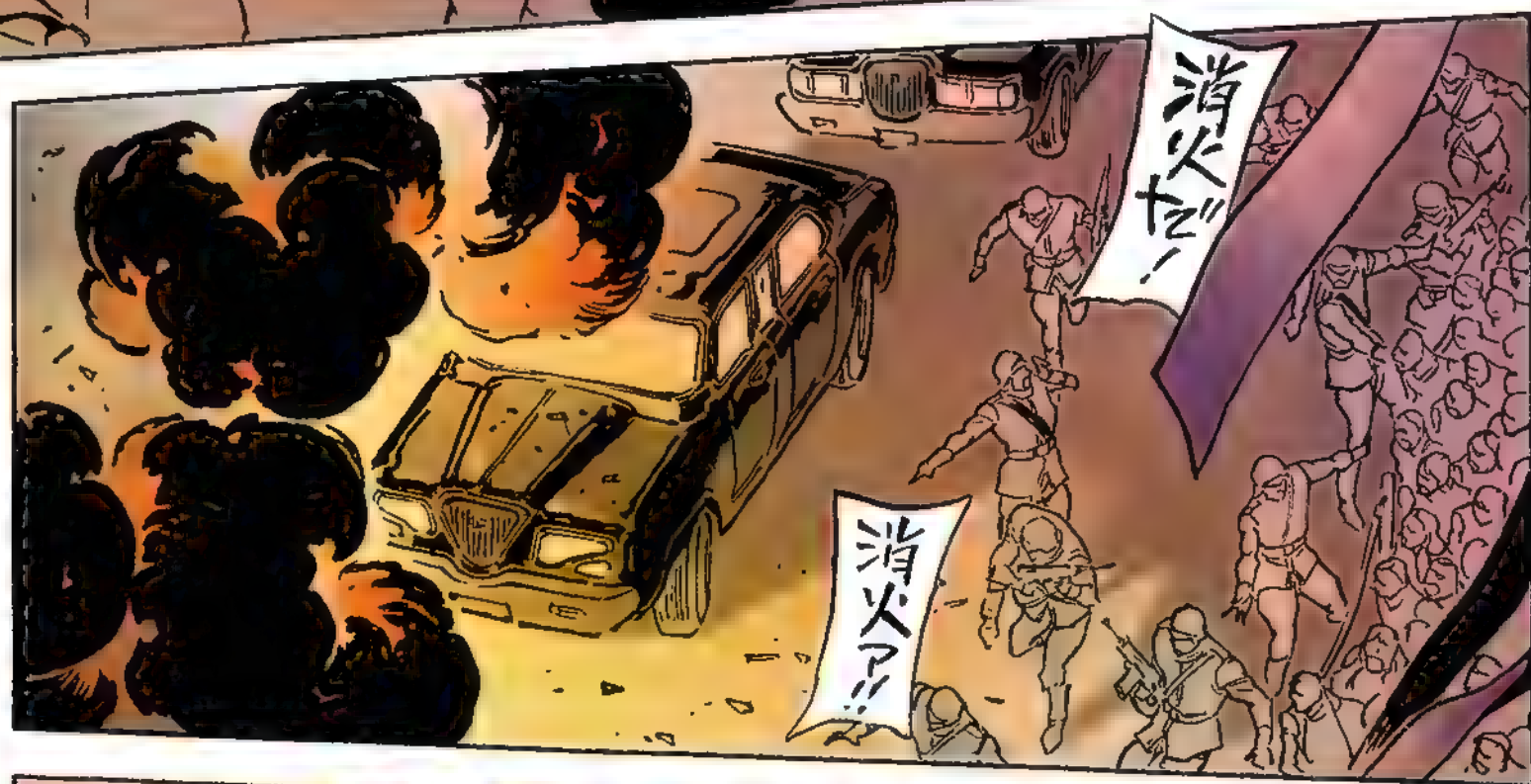
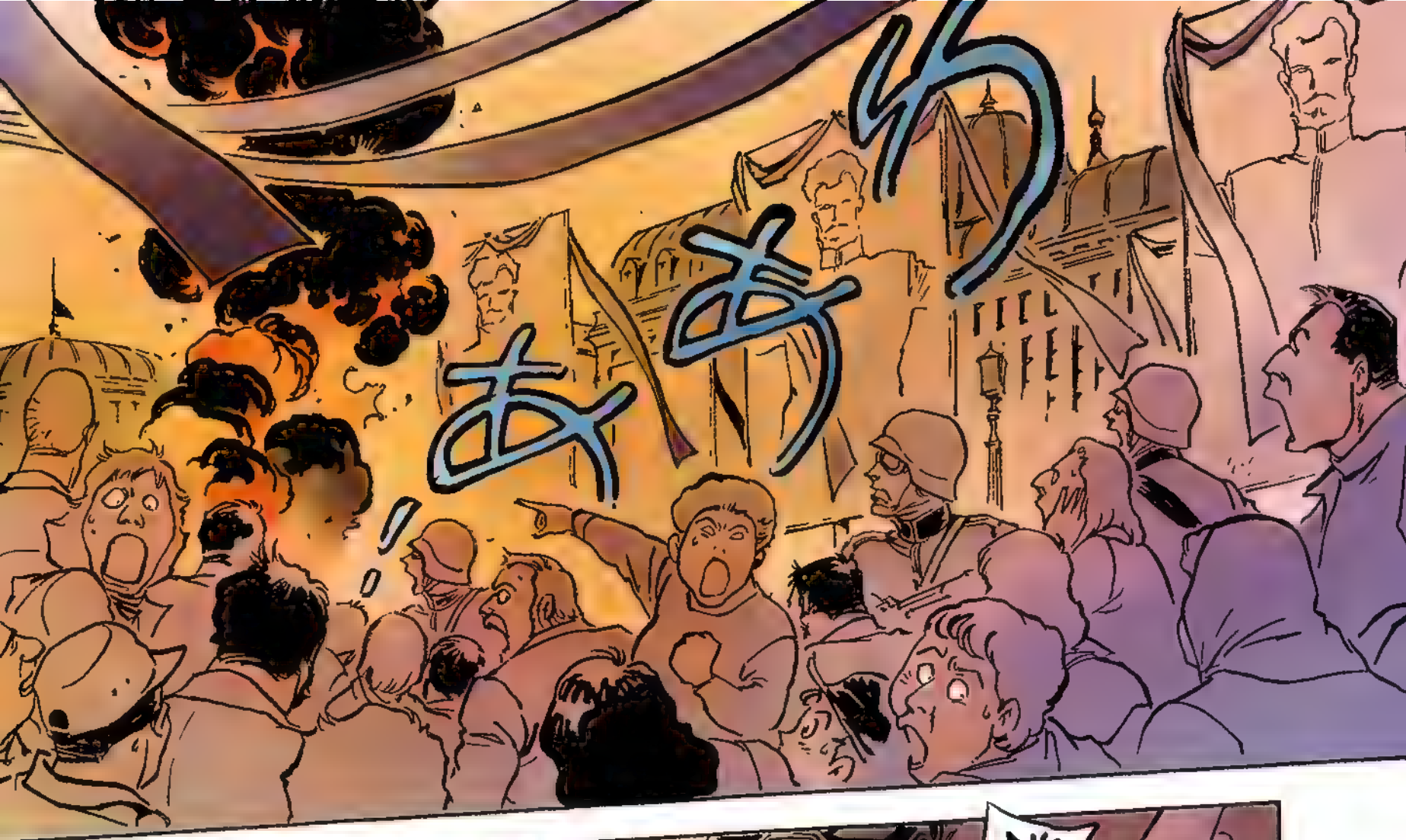




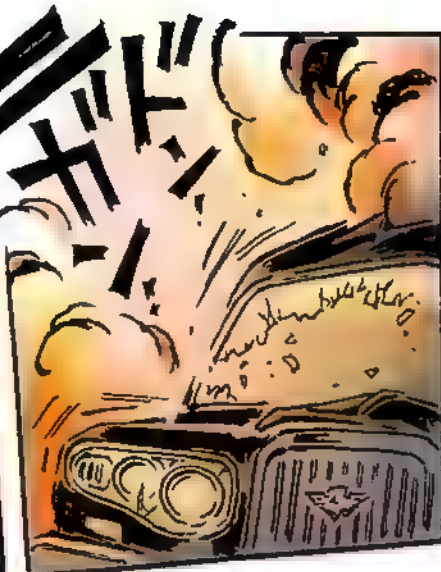
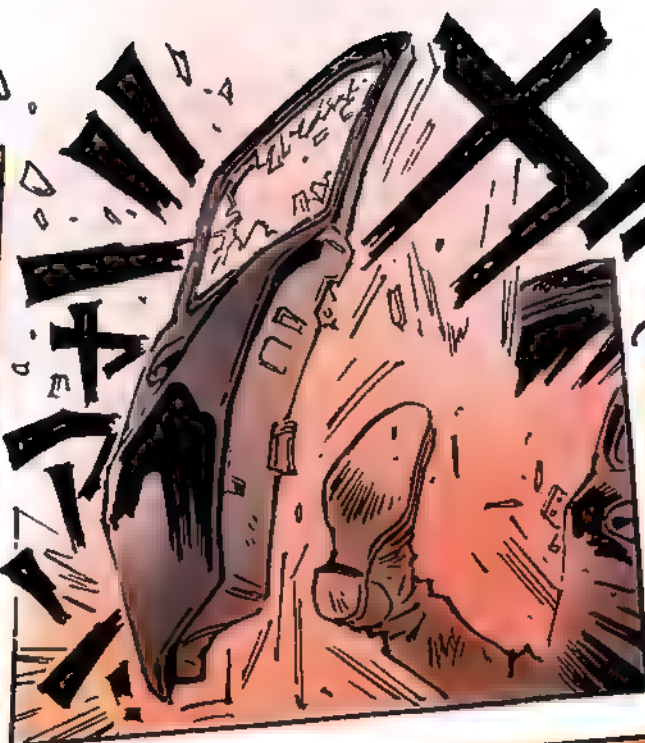
ザビ家けの男おとこ だろう!!











誰<sup>だれ</sup>がやっただんだああっ

サスロ兄<sup>あに</sup>が  
殺<sup>や</sup>られたあ!!

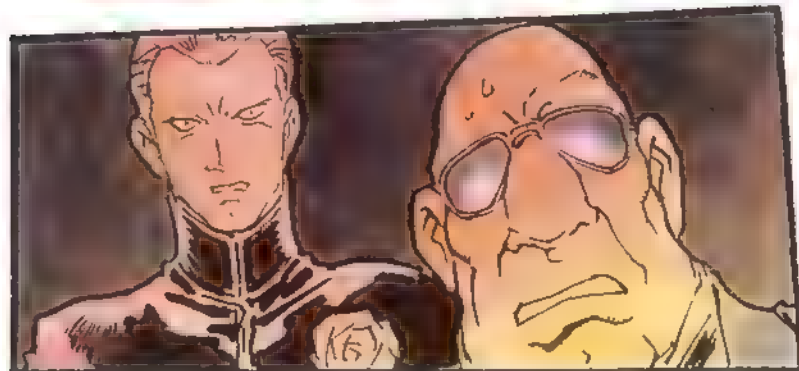
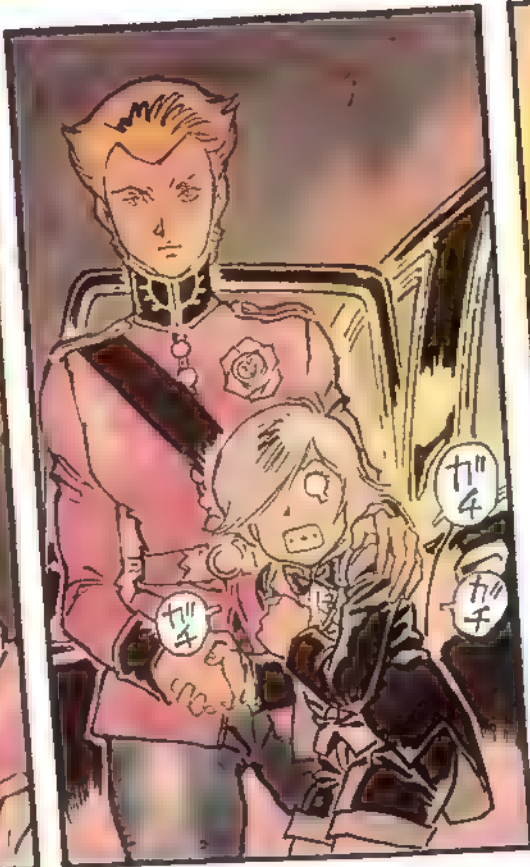
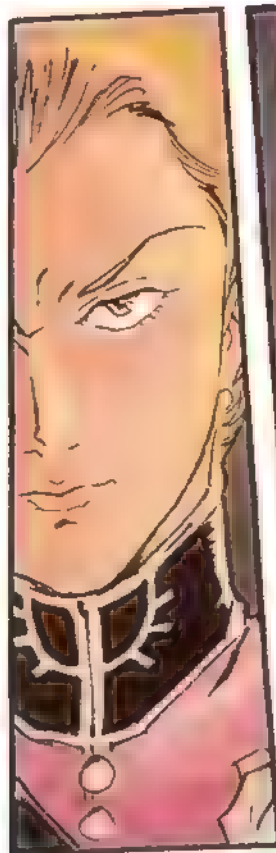
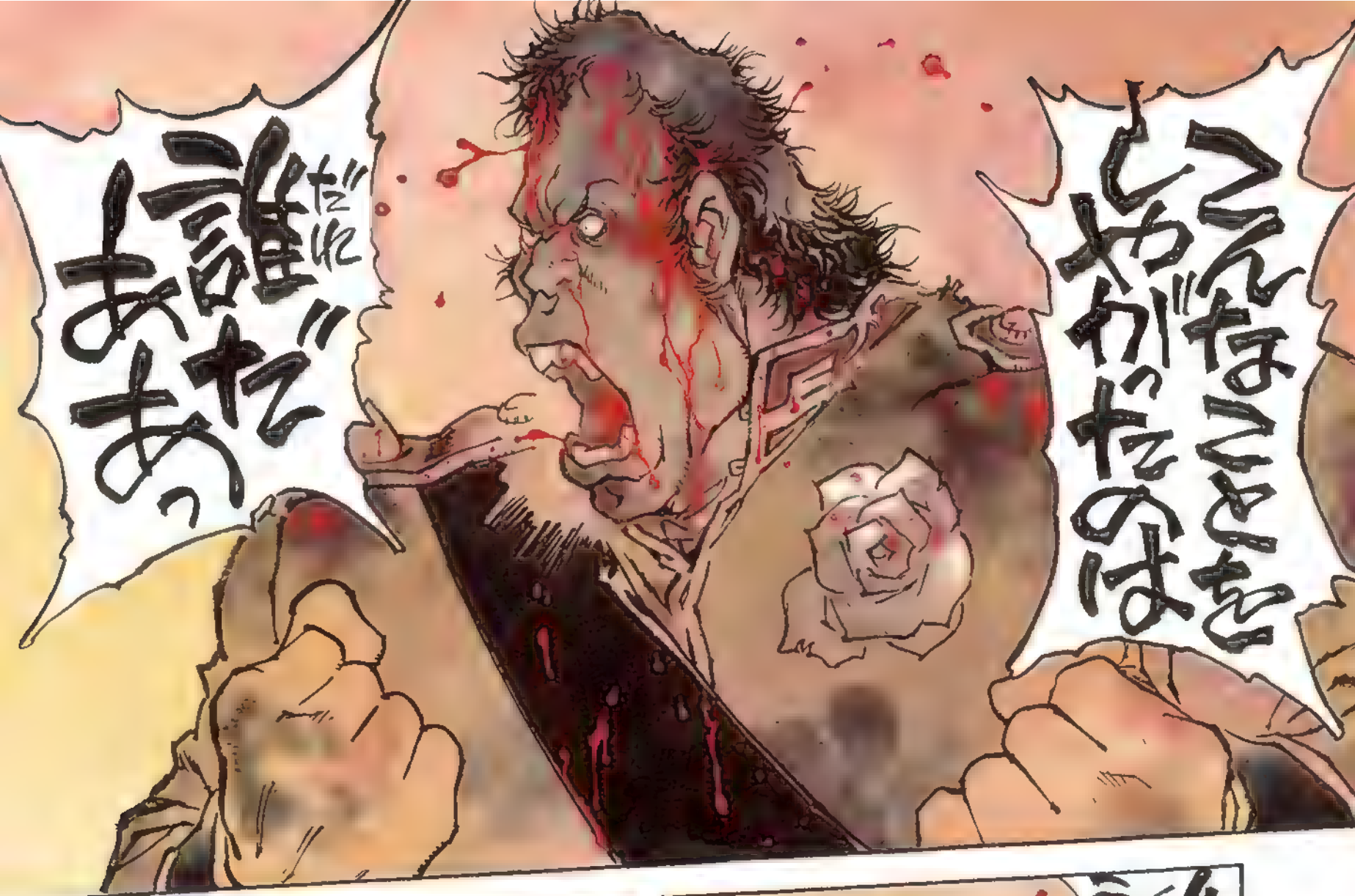


—シャア・セイラ編・前—

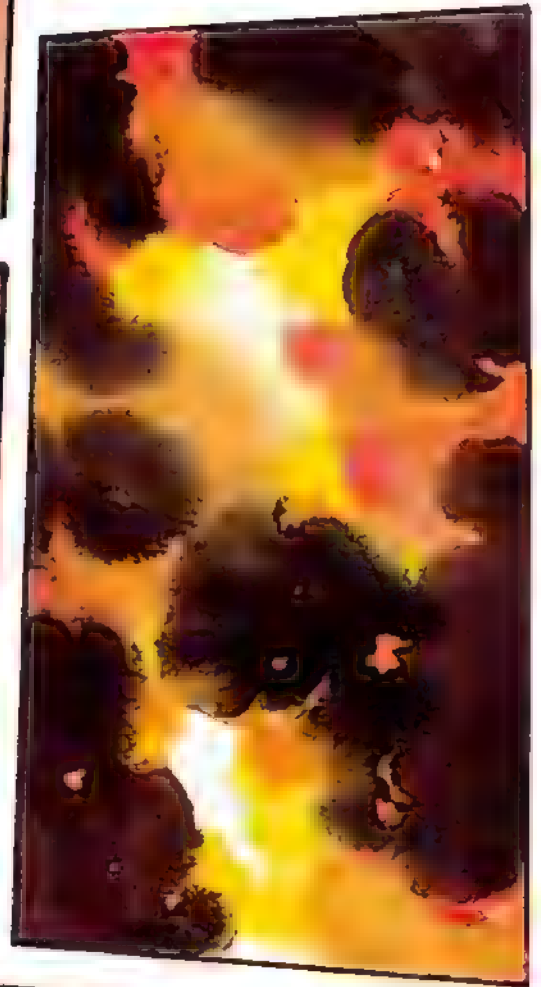
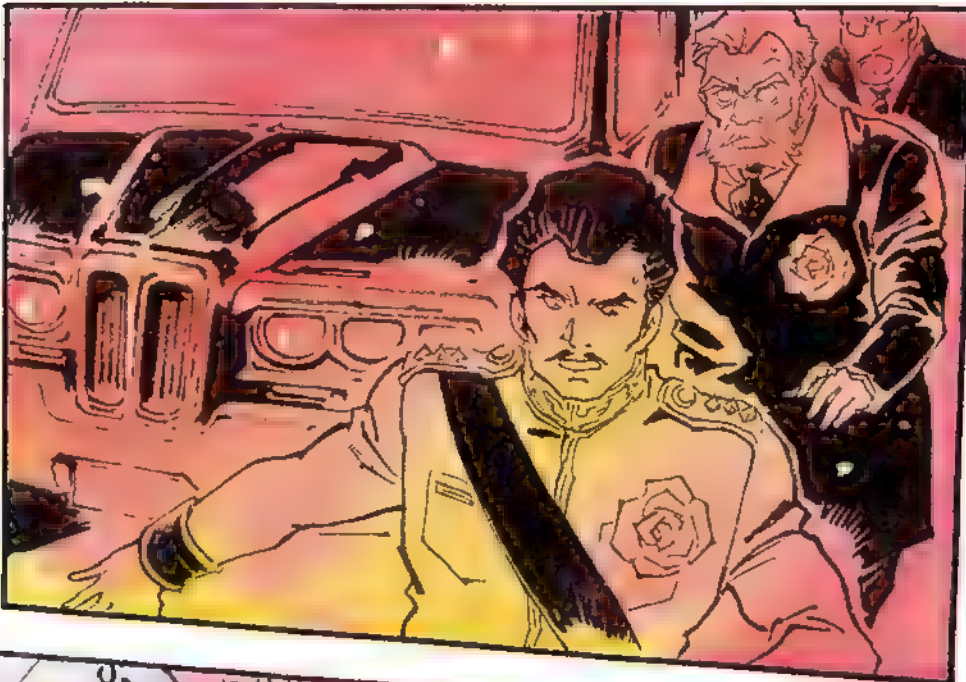
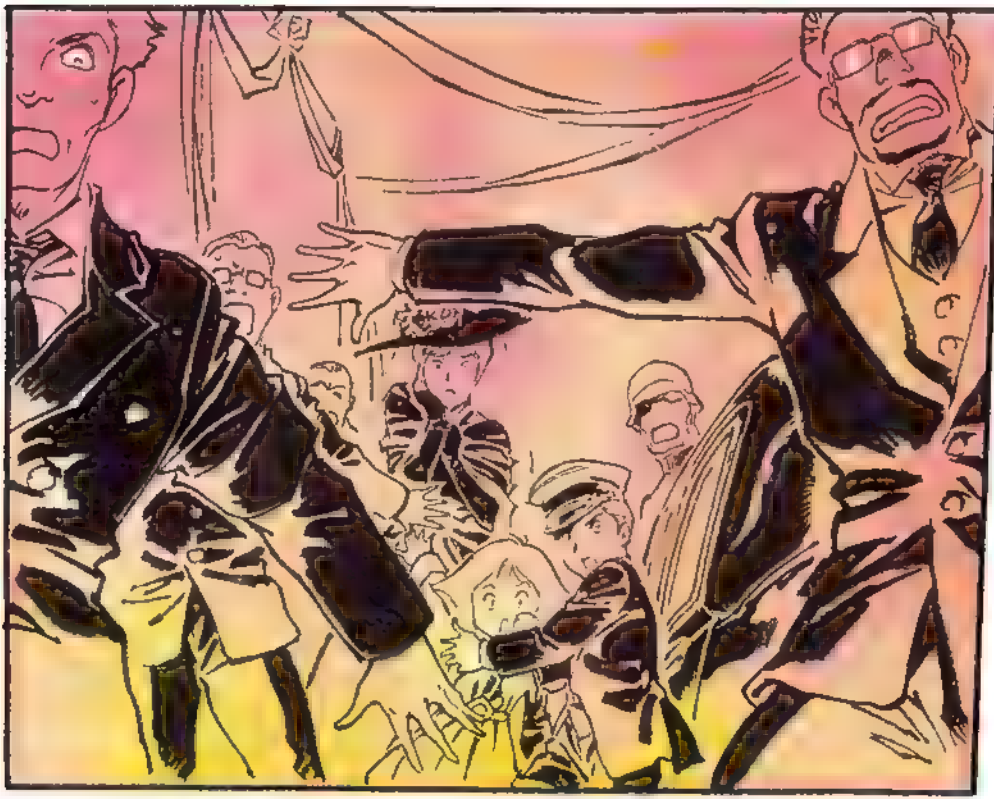
# SECTION III



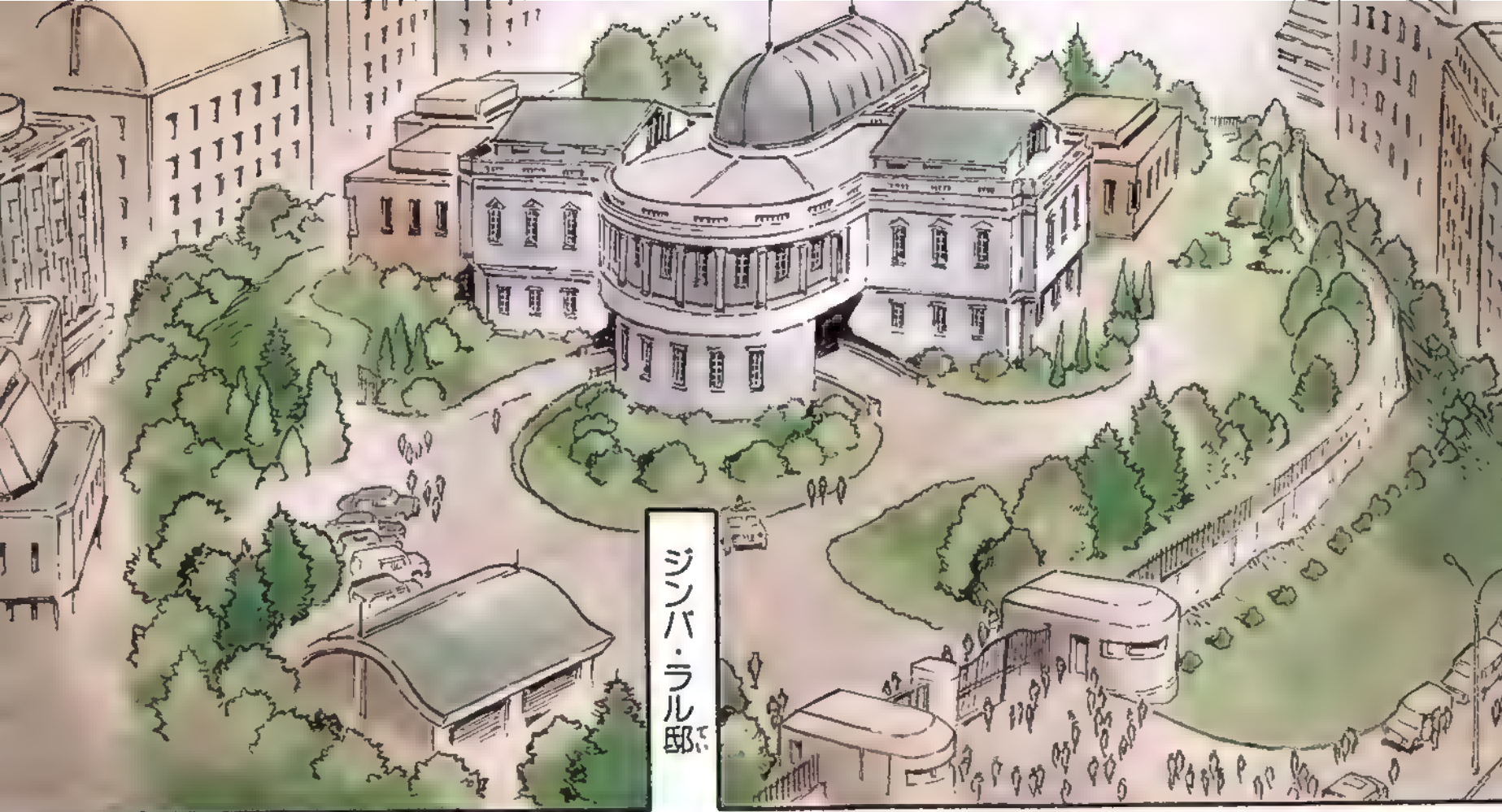




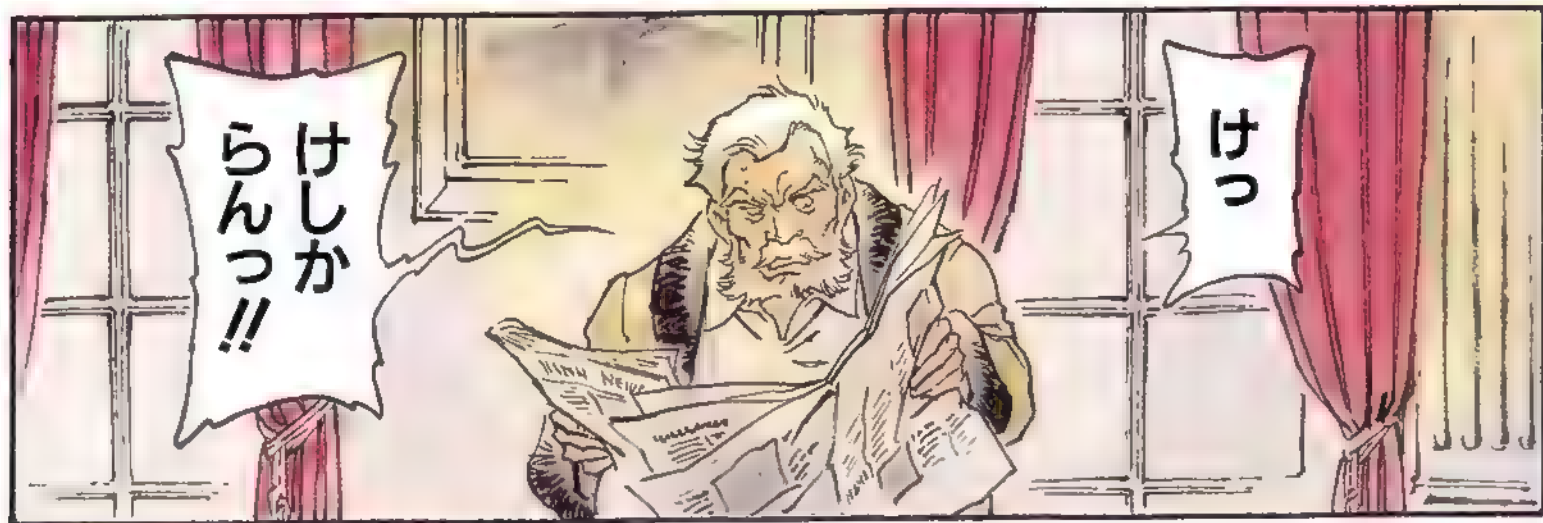






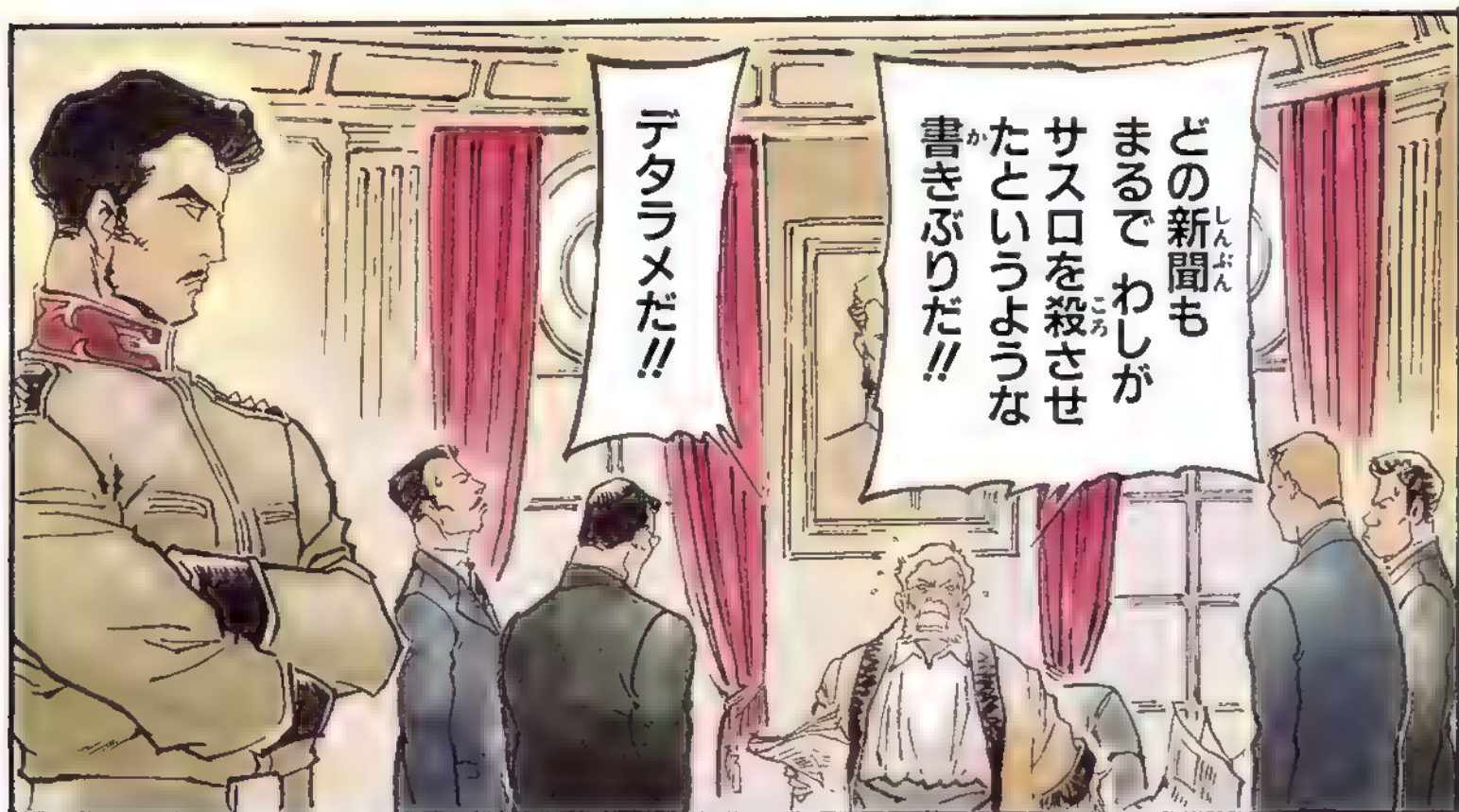


ジンバラル邸



けしか  
らんっ!!

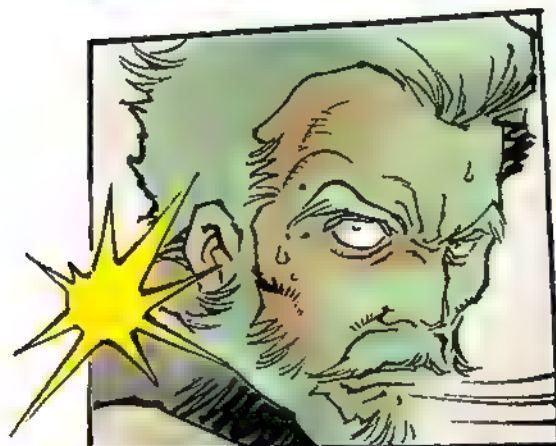
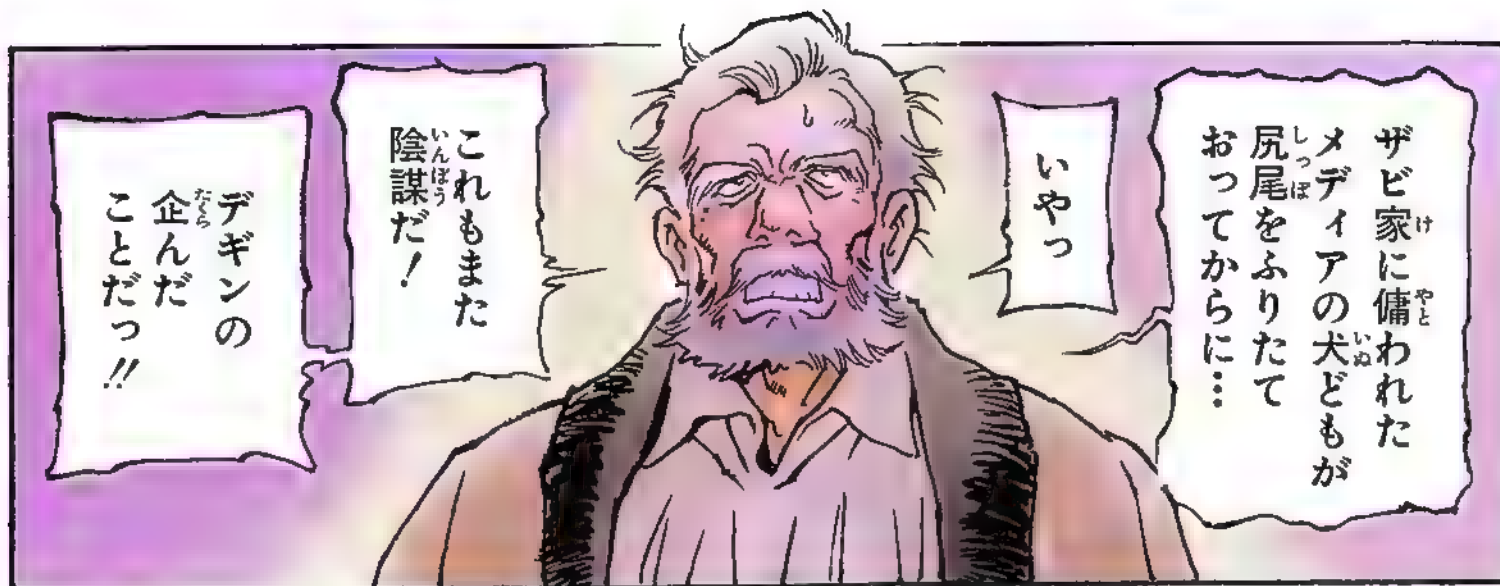
けっ



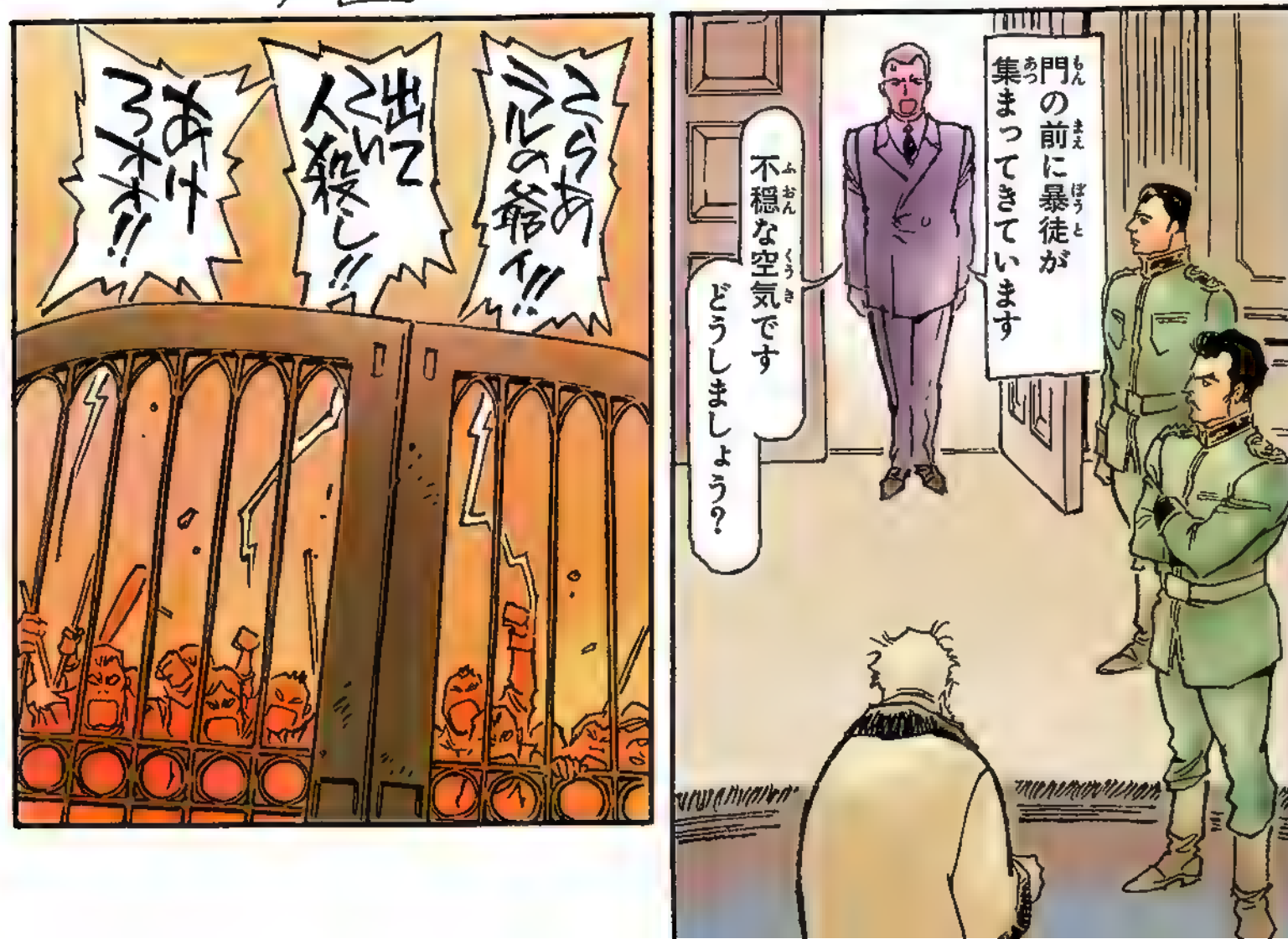
デタラメだ!!

どの新聞も  
まるでわしが  
サスロを殺させ  
たというような  
書きぶりだ!!

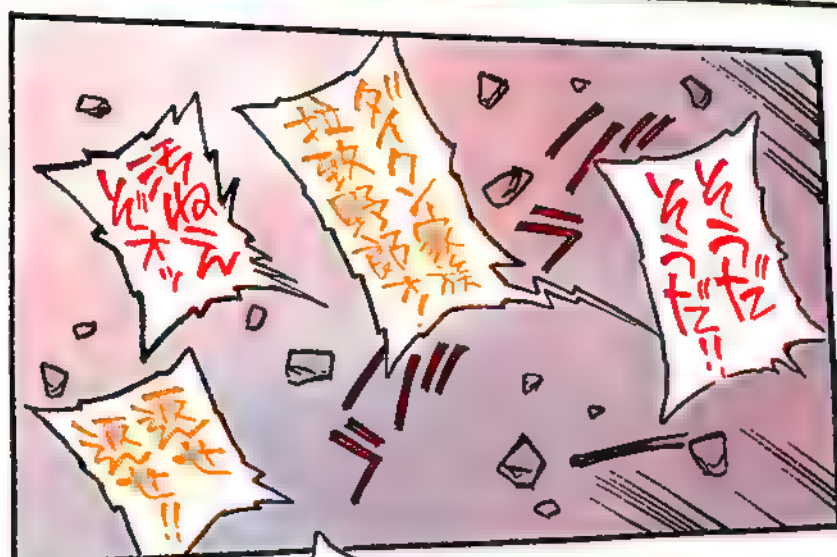
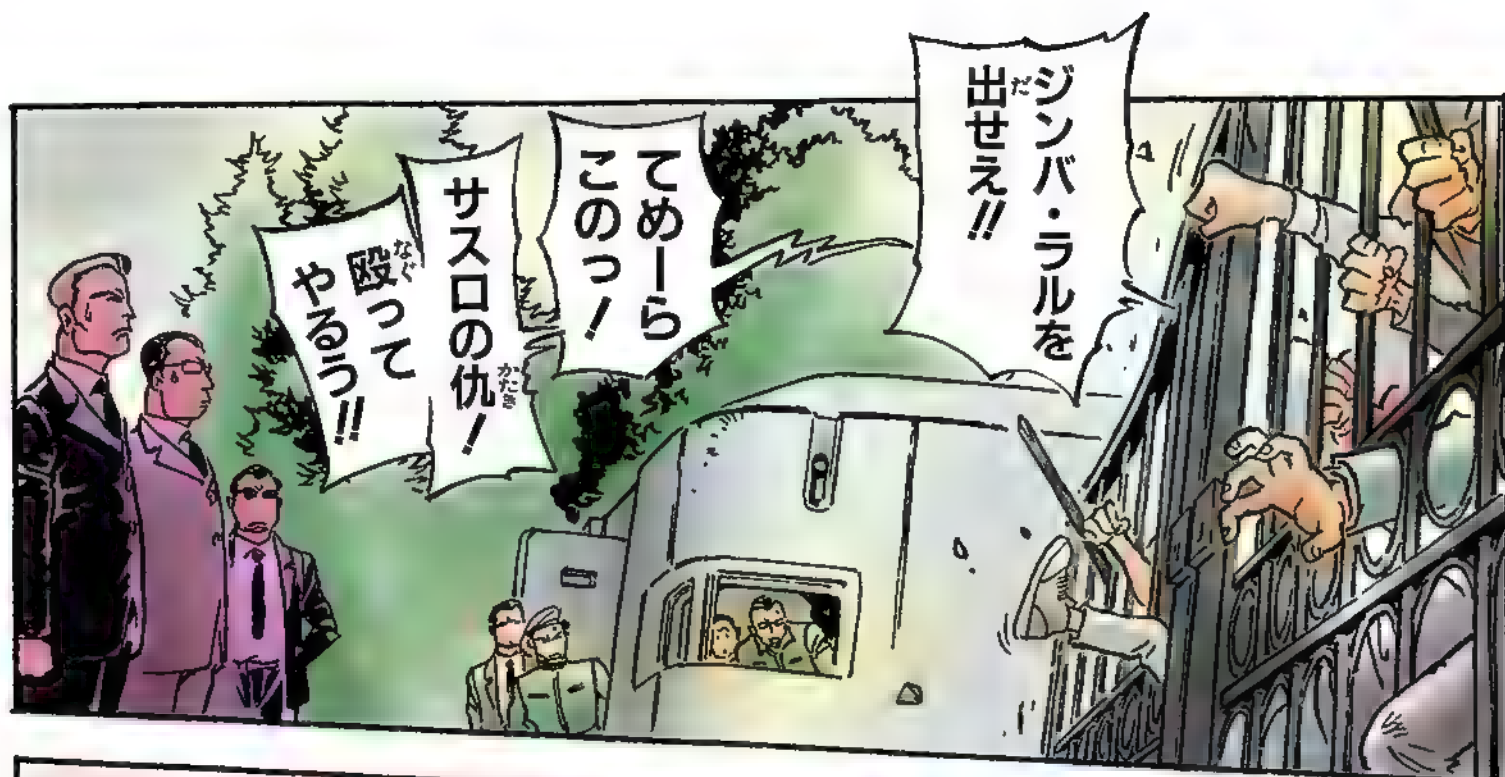




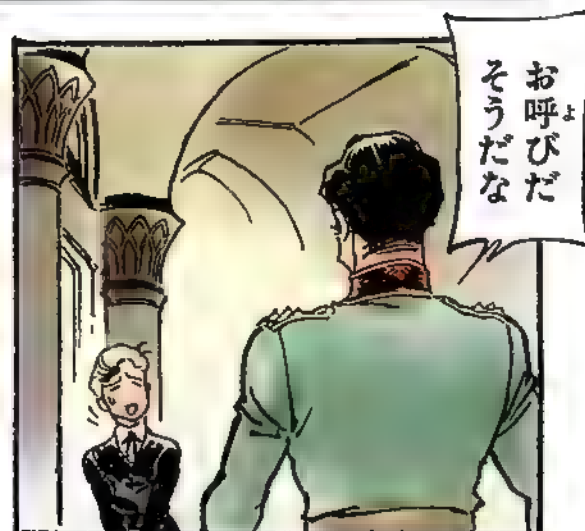
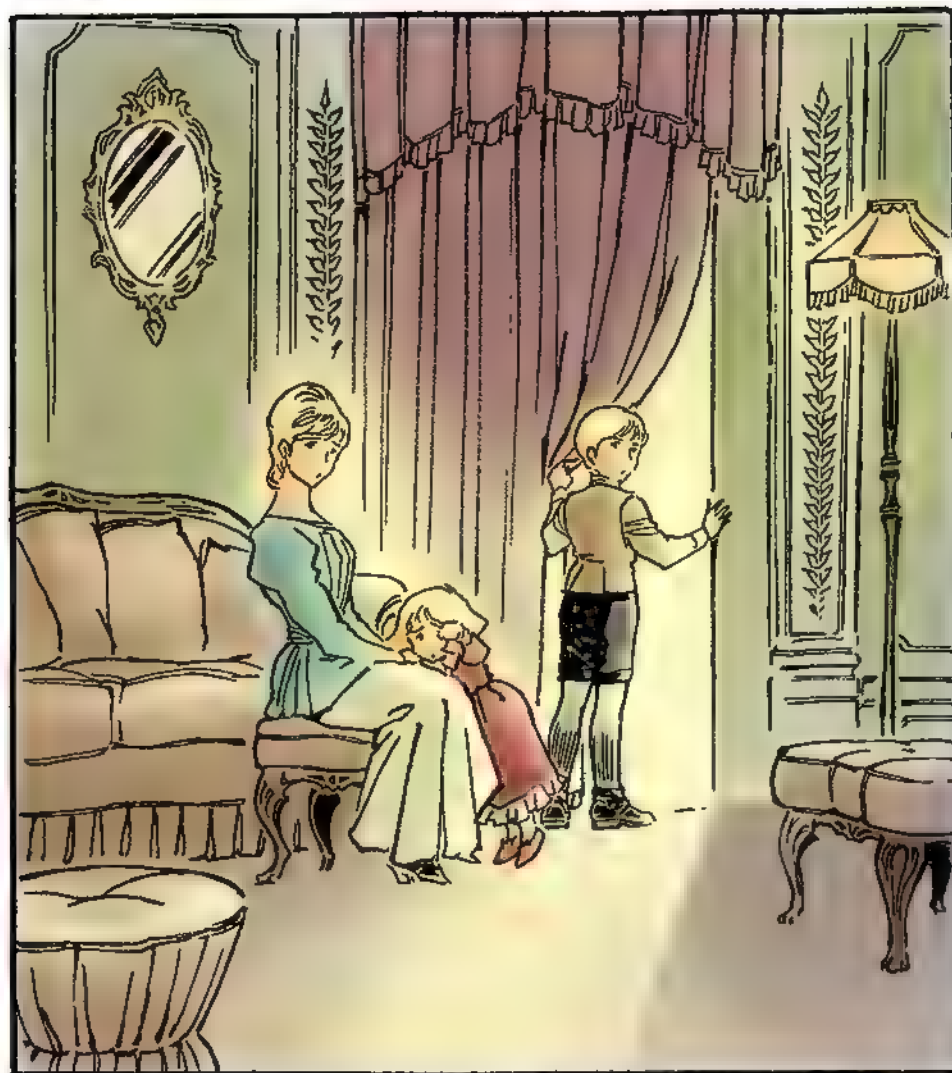












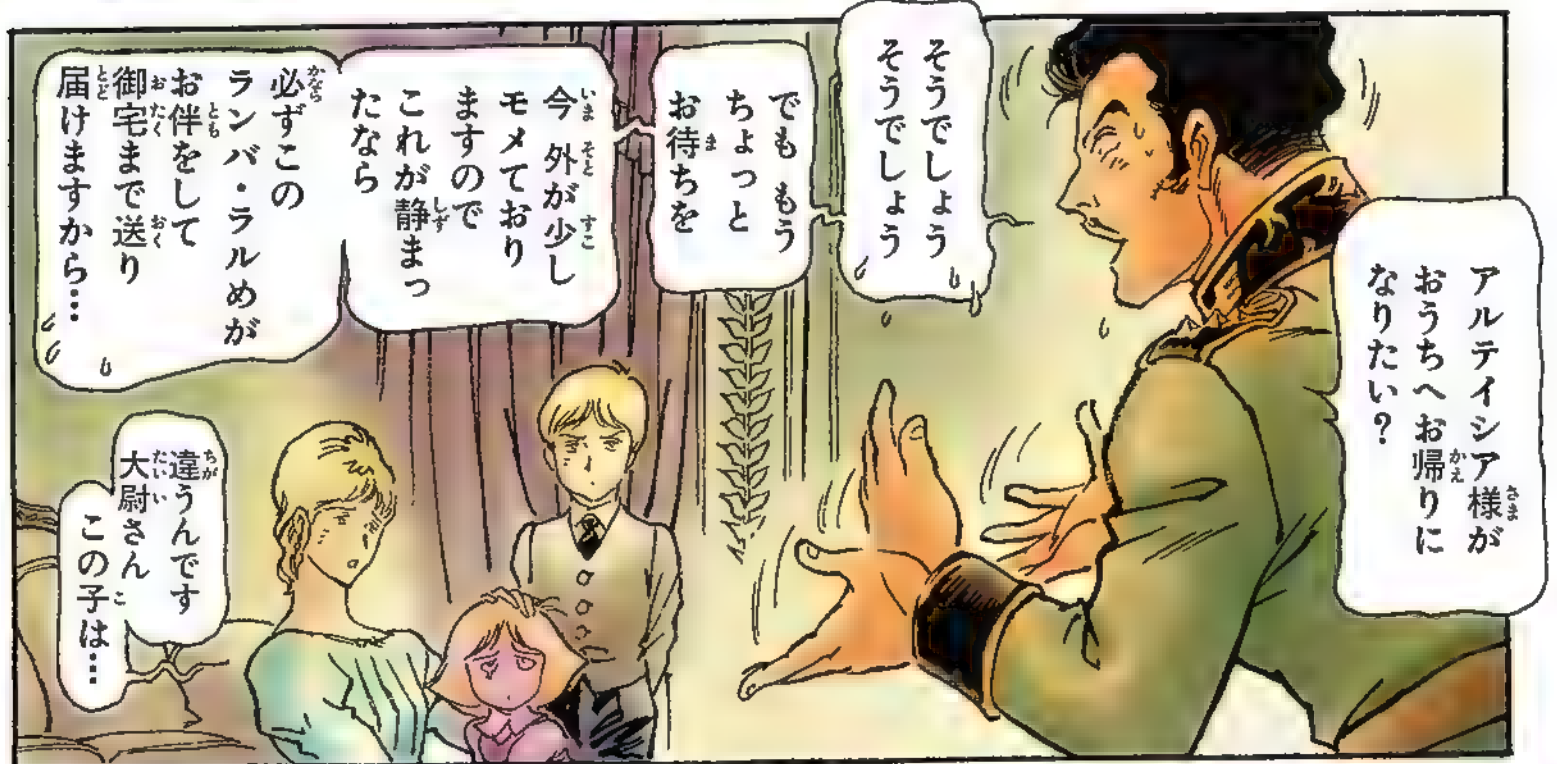
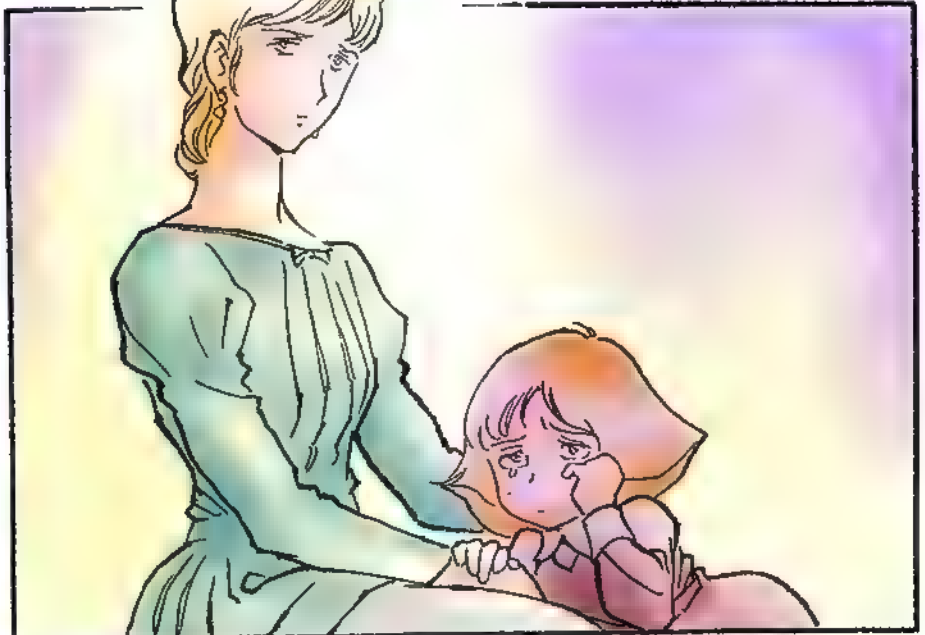




よおつく  
わかります！

あ…

あの



アルティシア様が  
おうちへお帰りに  
なりたい？

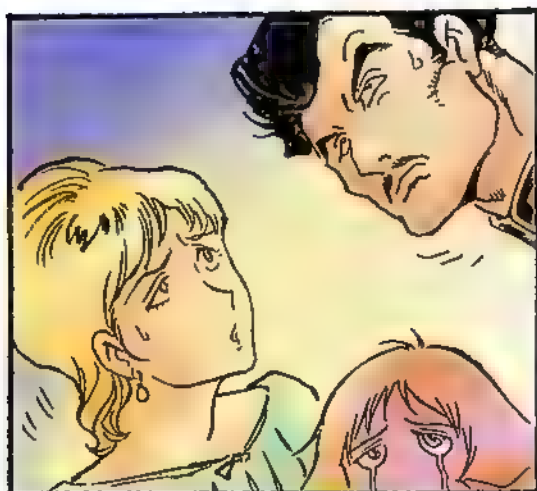
そうでしょう  
そうでしょう

でももう  
ちよっと  
お待ちを

今外が少し  
モメており  
ますので  
これが静まっ  
たなら

必ずこの  
ランバ・ラルめが  
お伴をして  
御宅まで送り  
届けますから…

違うんです  
大尉さん  
この子は…



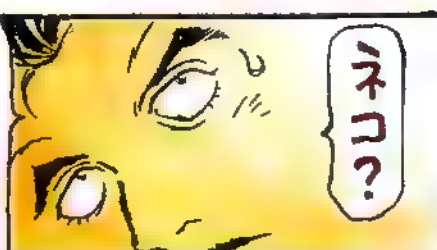
ルシ

ファ？



ルシファが  
ひとりぼっち  
だから…

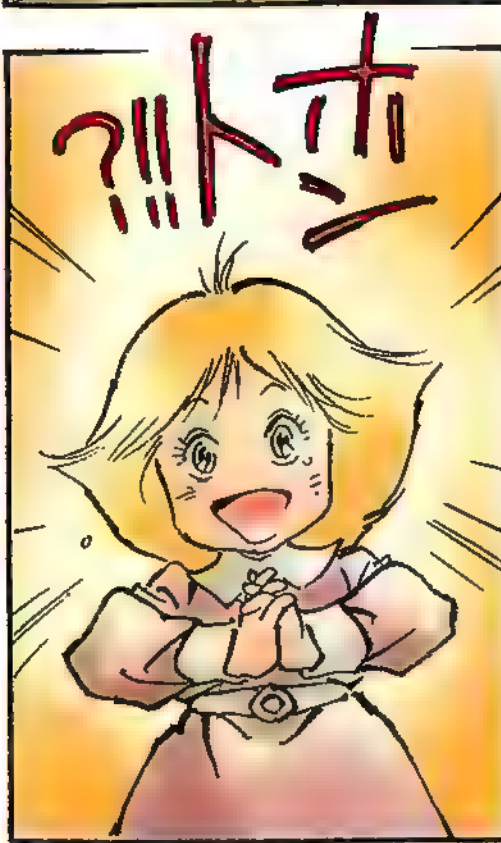
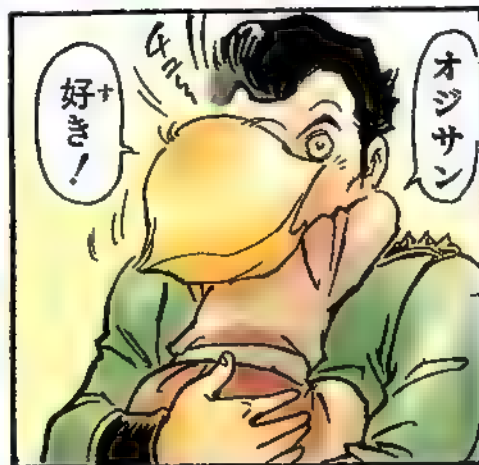
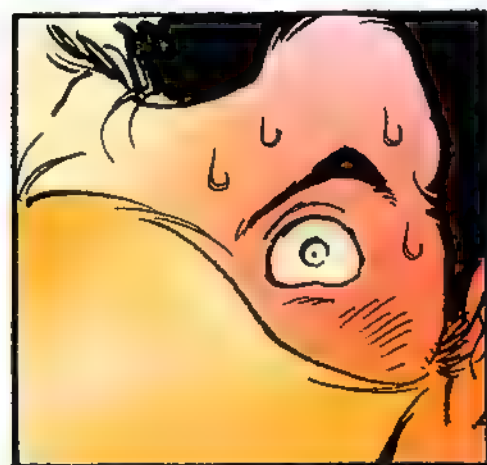
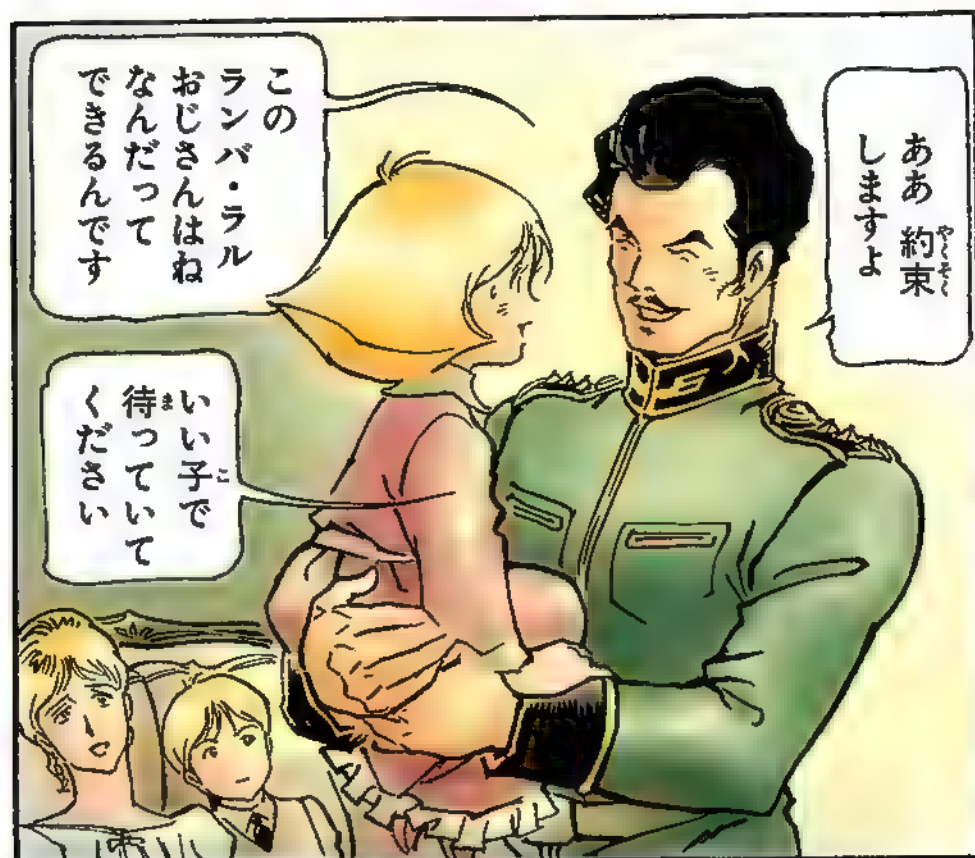
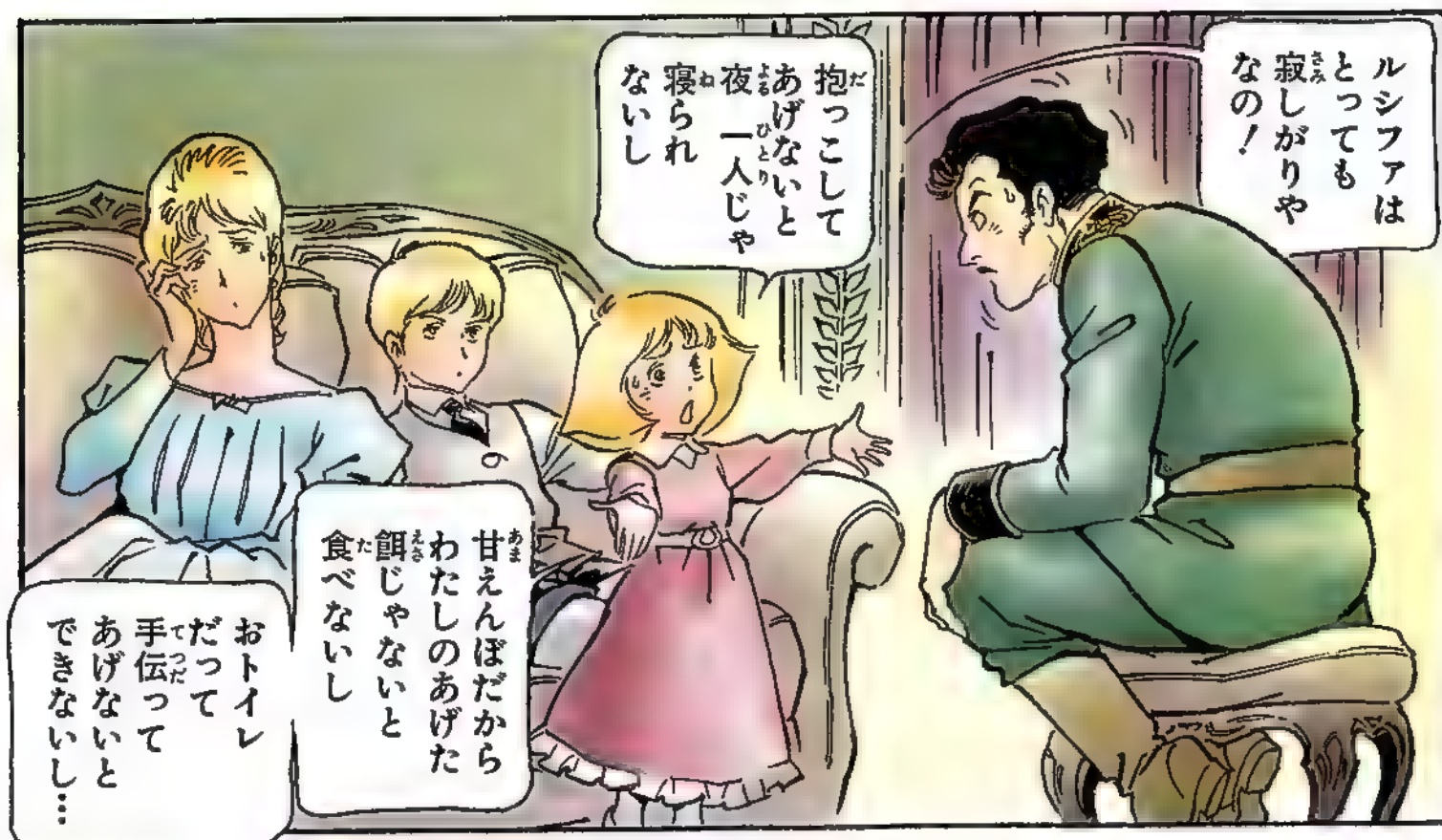
心配なの



ネコ？

で  
ありますか？







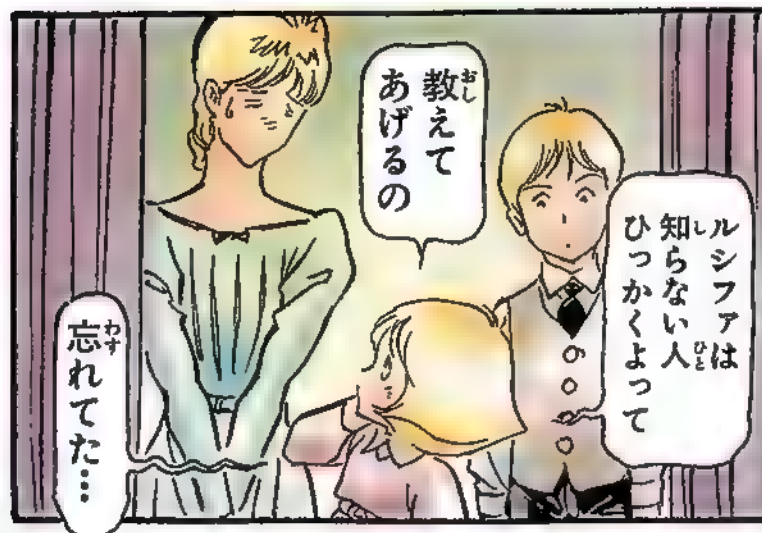
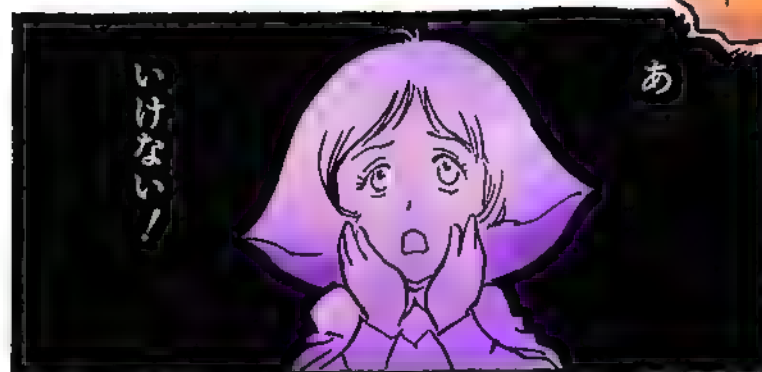
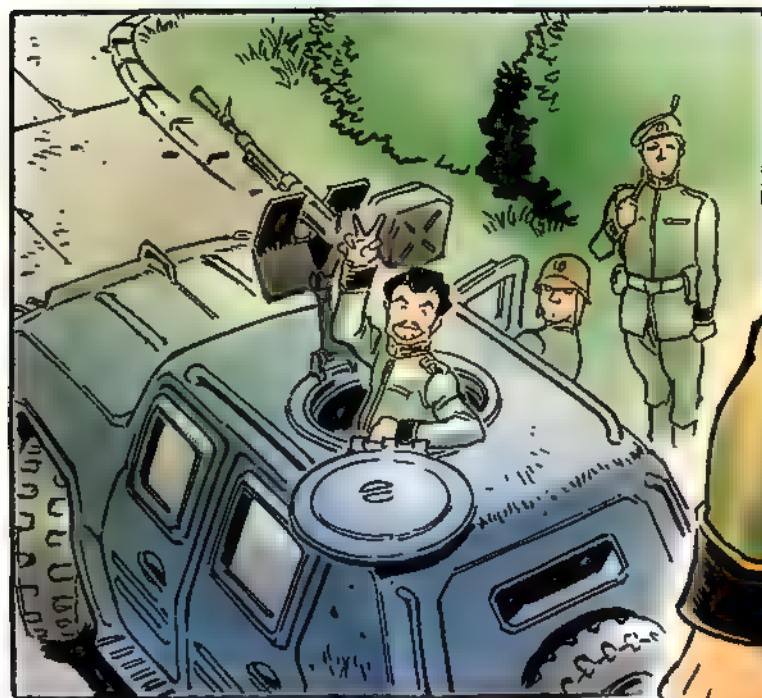
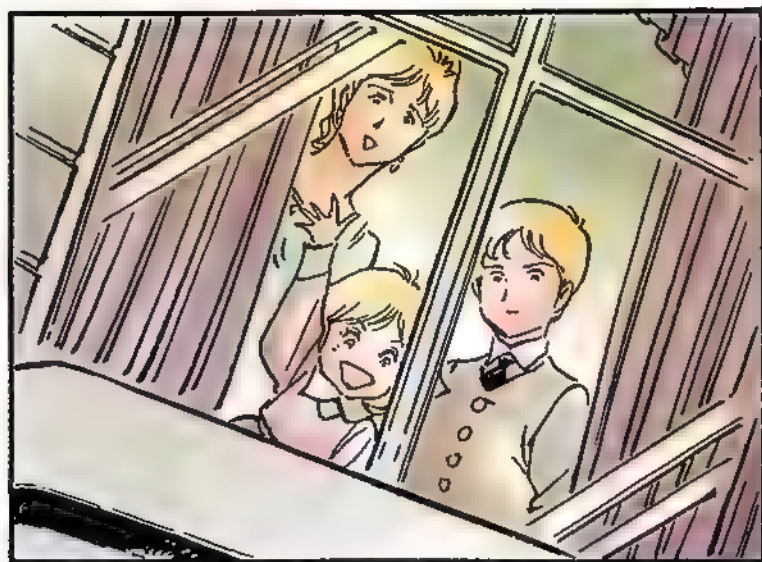
いっしょに  
一個小隊  
ほどついて  
来オいっ!!

ルシファ―救出作戦を  
やるぞオ~~~~っ!!

周囲のビルから  
発砲している  
者がおります  
から

窓をあけたり  
バルコニーに出たり  
なさらないでください!

ルシファ―?

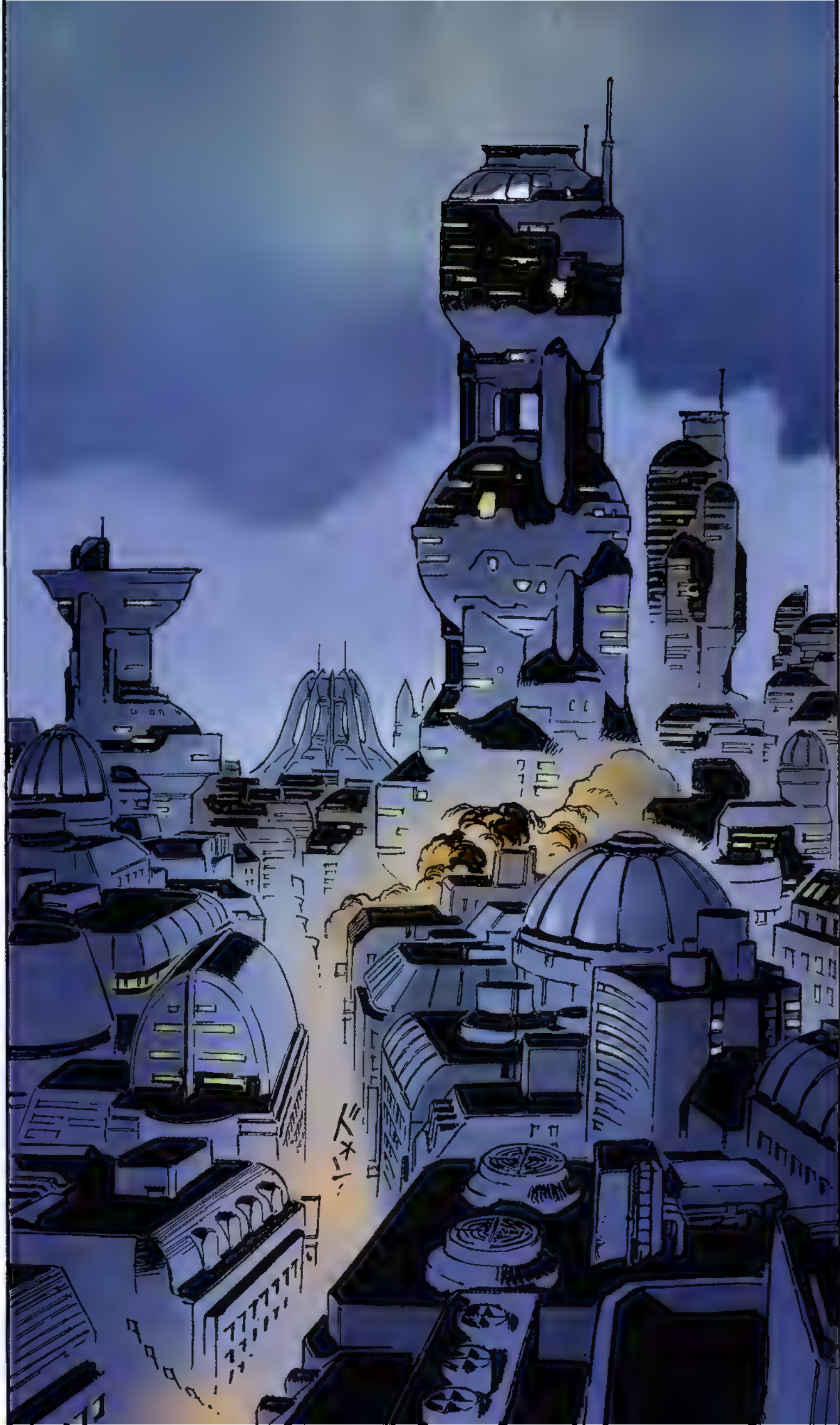


忘れてた...

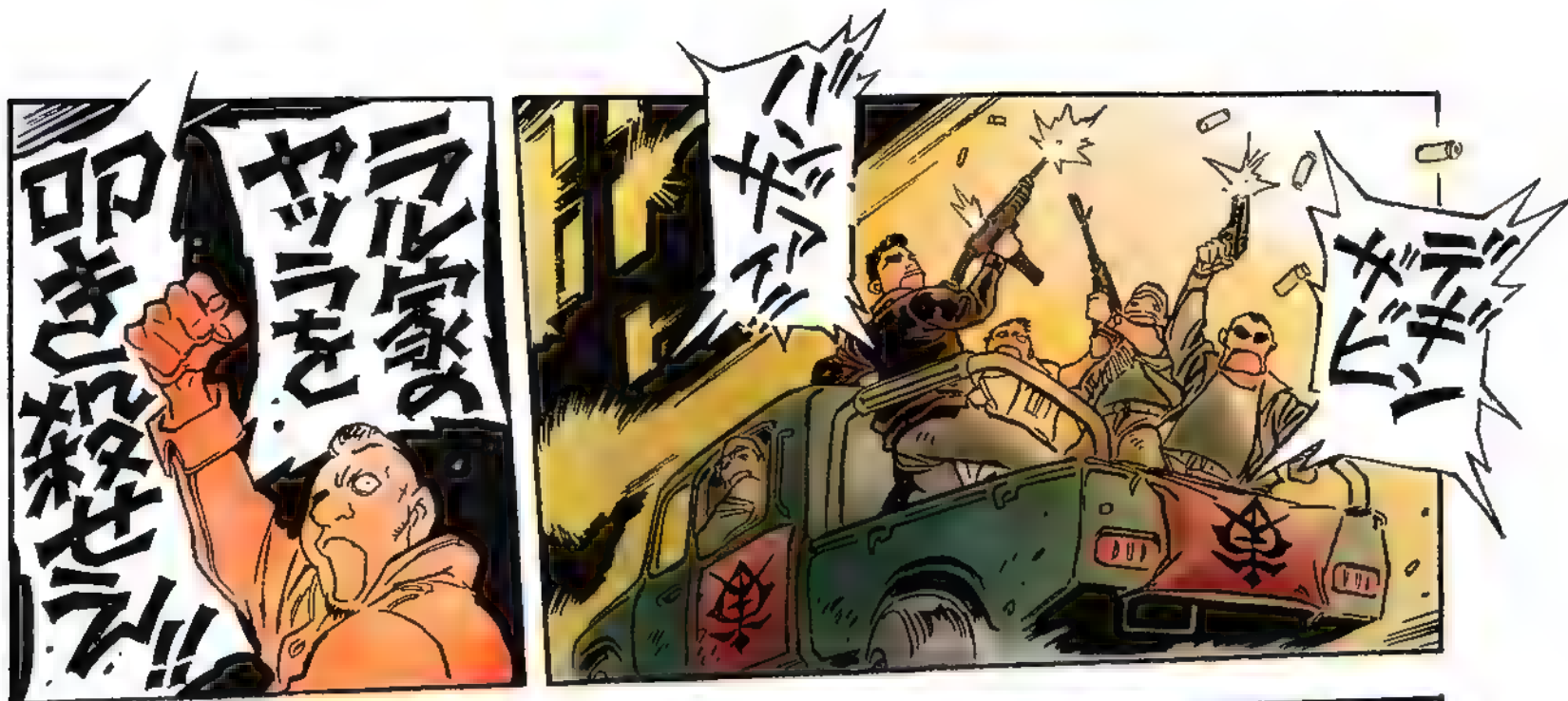
教えて  
あげるの

ルシファ―は  
知らない人  
ひっかくよって













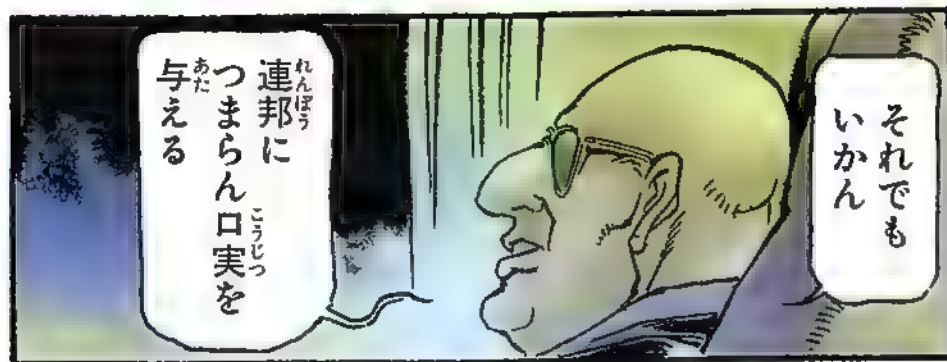
そろそろ  
鎮めねば

たきつける  
だけでは  
いかん



無政の  
府です

街は



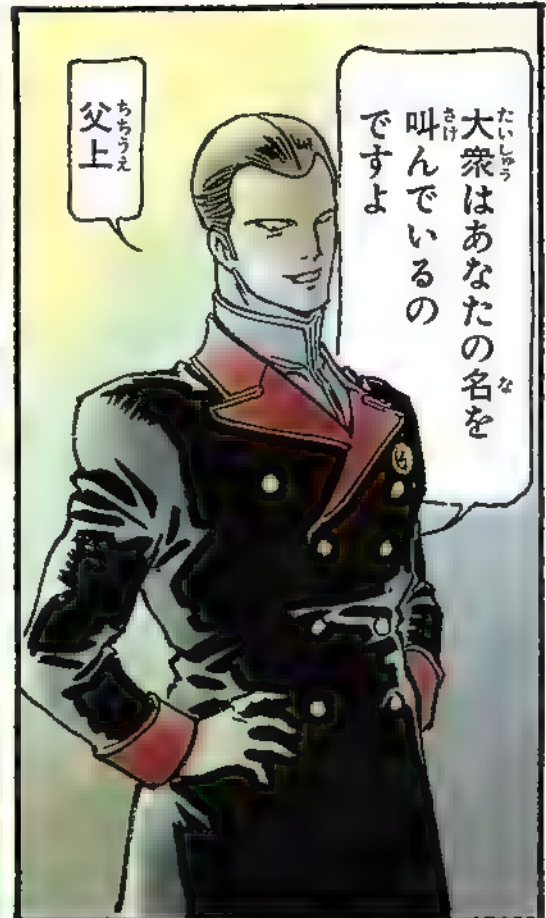
連邦に  
つまらん口実を  
与える

それでも  
いかん



ギレン兄！  
父上！

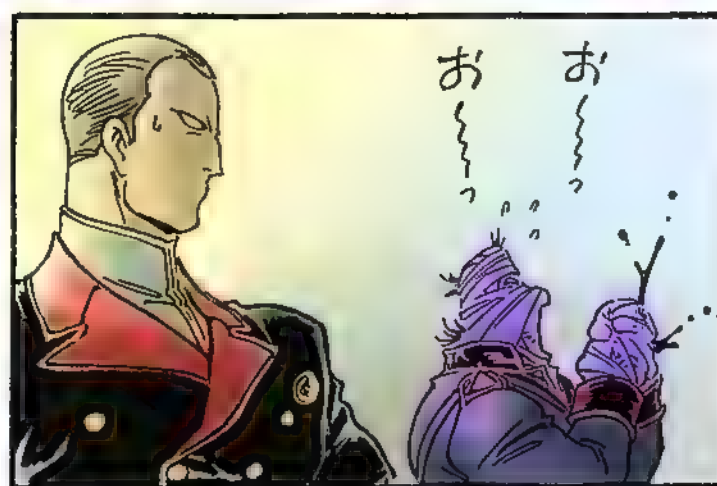
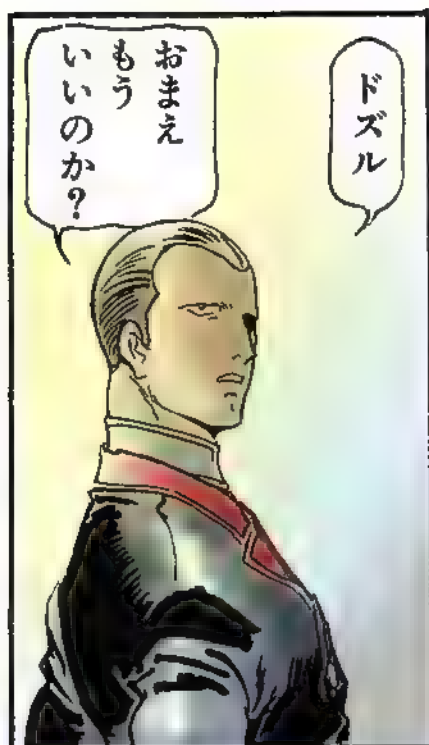
ここに  
いたか！！



大衆はあなたの名を  
叫んでいるの  
ですよ

父上







たしかに  
ジン・バラルは  
もう死に体だが  
息子のランバ  
ラルがいる

ムンゾ防衛隊  
若手将校や  
兵士にはなかなか  
人望があるようだ

処置を誤ると  
禍根を残す  
内戦の火種に  
なるやもしれん

ギレンよ

おまえも  
将来の  
大政治家を  
こころざすなら

腹芸を身に  
つけんと  
な

たしかに

ランバ・ラルは  
いいヤツだ

ラル家の  
人間でなければ  
部下に欲しい  
くらいだ...

つくって  
やれ

逃げ  
道を

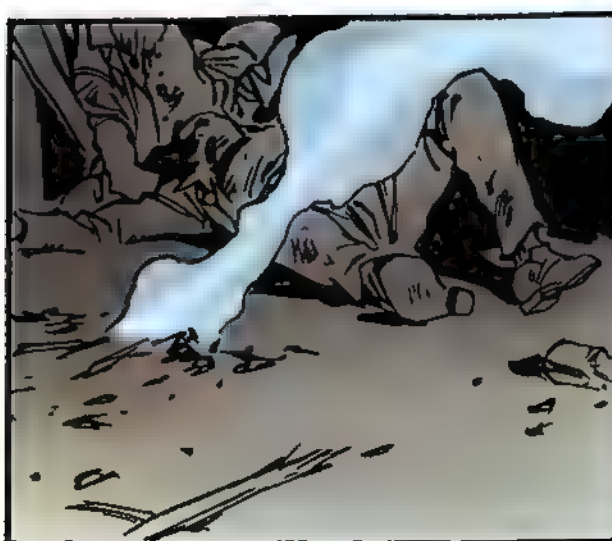
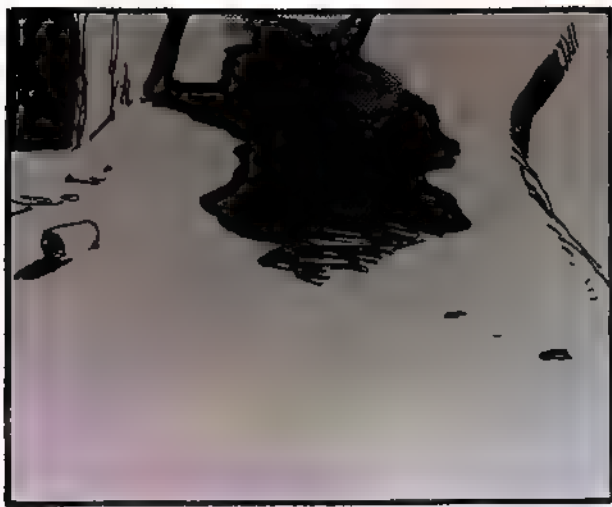
寛容に  
なれるのは  
勝者の  
特権だ

なが  
長かった歴史の  
一章が終った

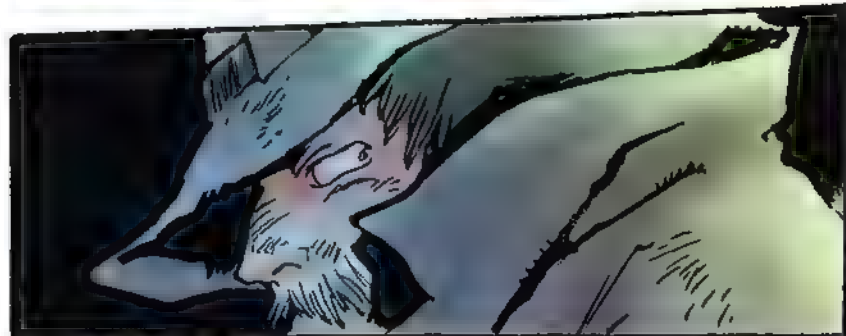
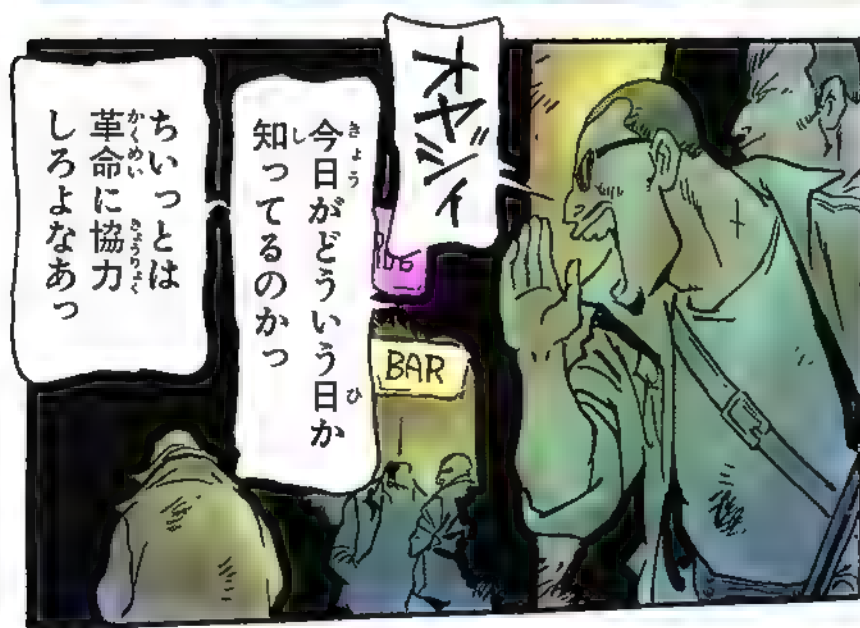
ダイクンも  
ジン・バラルも  
過去の人にな  
った

ザビ家のみが  
これからの  
歴史に責任を  
負うのだ

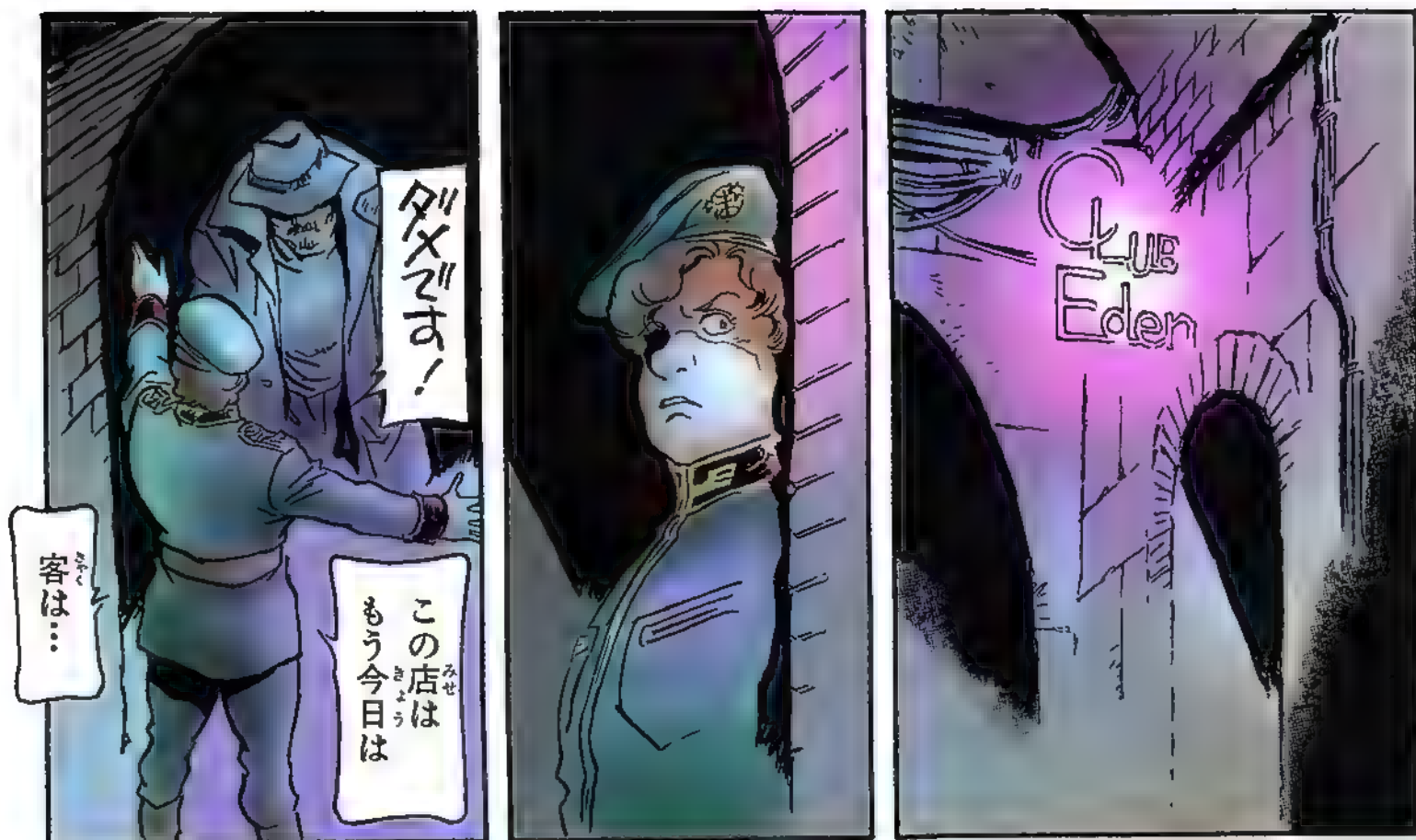








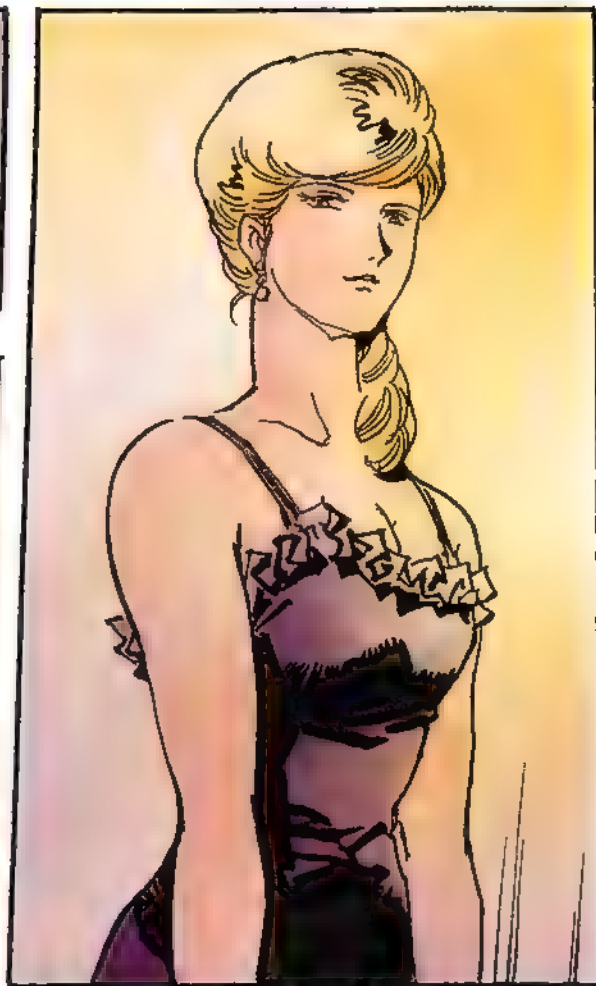
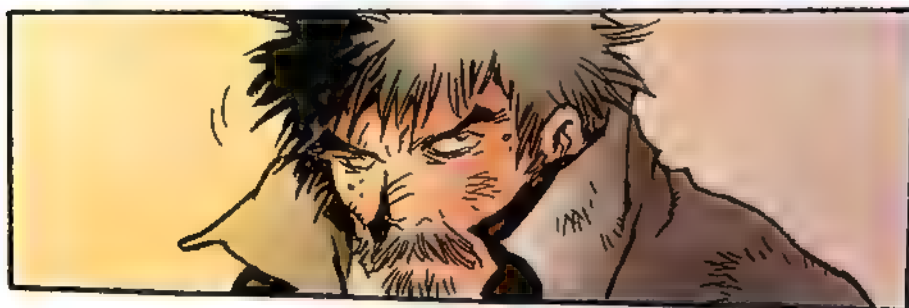
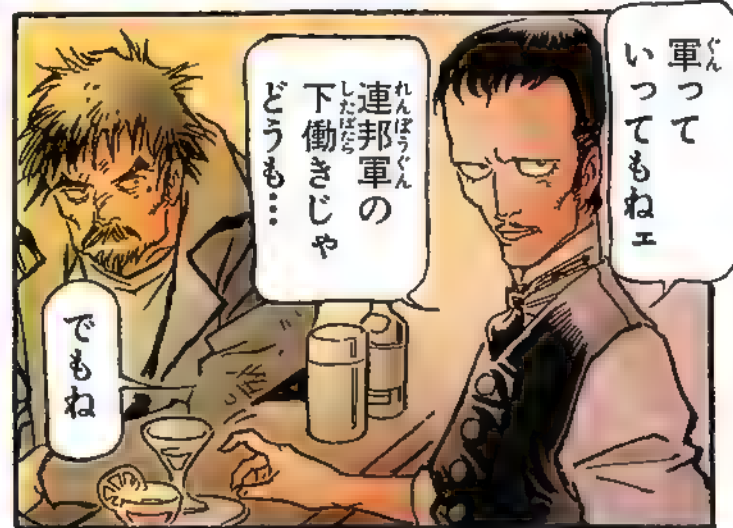




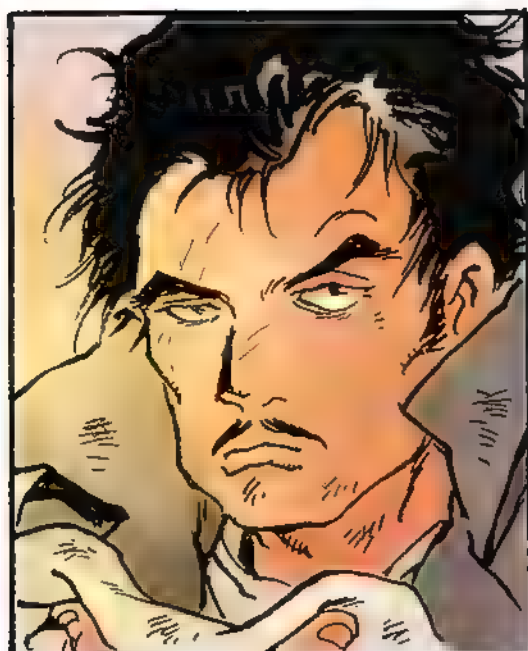












まだ残っているわ



今日はまたとても念入りな変装ですこと



今度はどうなにかしら?

こんな時にも火あそび?



これはメイクじゃない

チビの悪魔にやられた



黒毛の

すばしっこいヤツだ!



ある人間を地球に逃がしたい

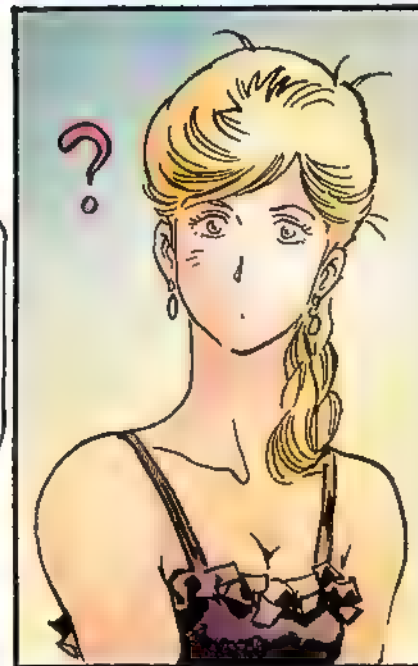
できれば一日も早く



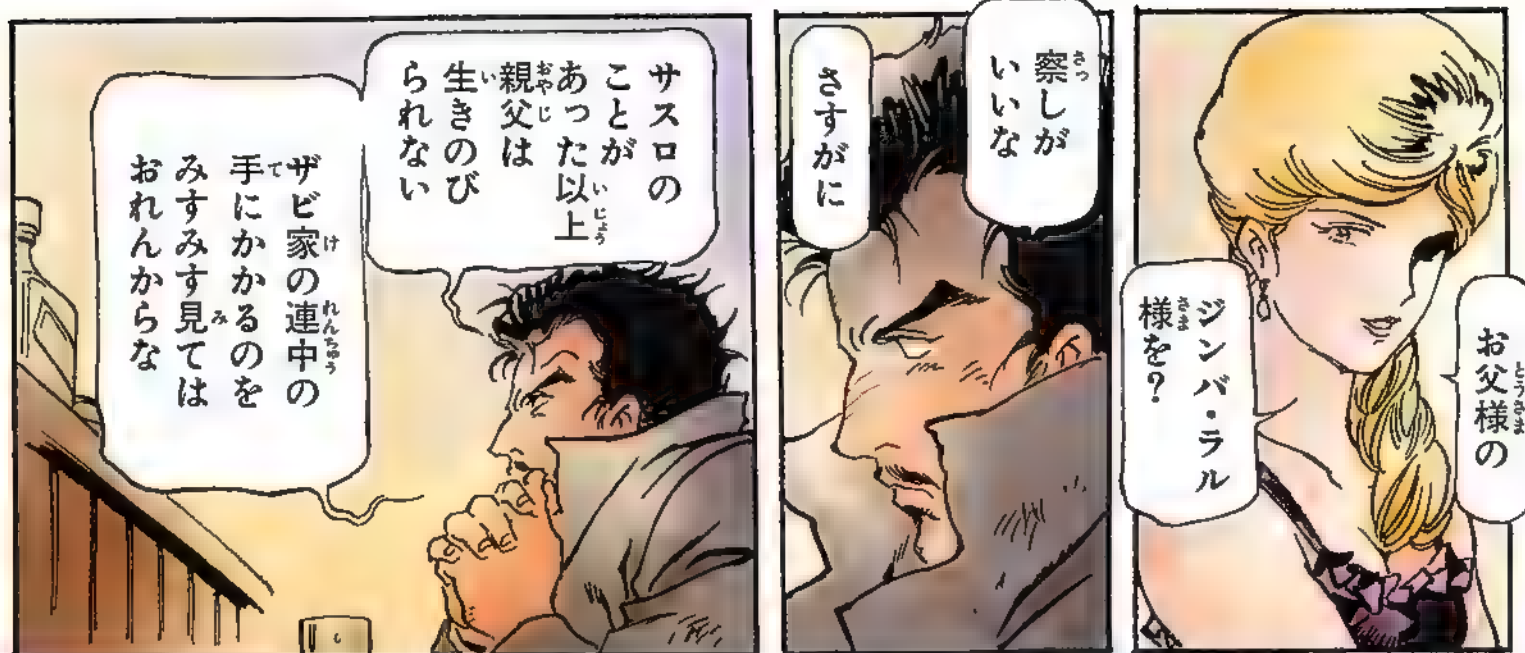
また頼まれてくれ

ハモン

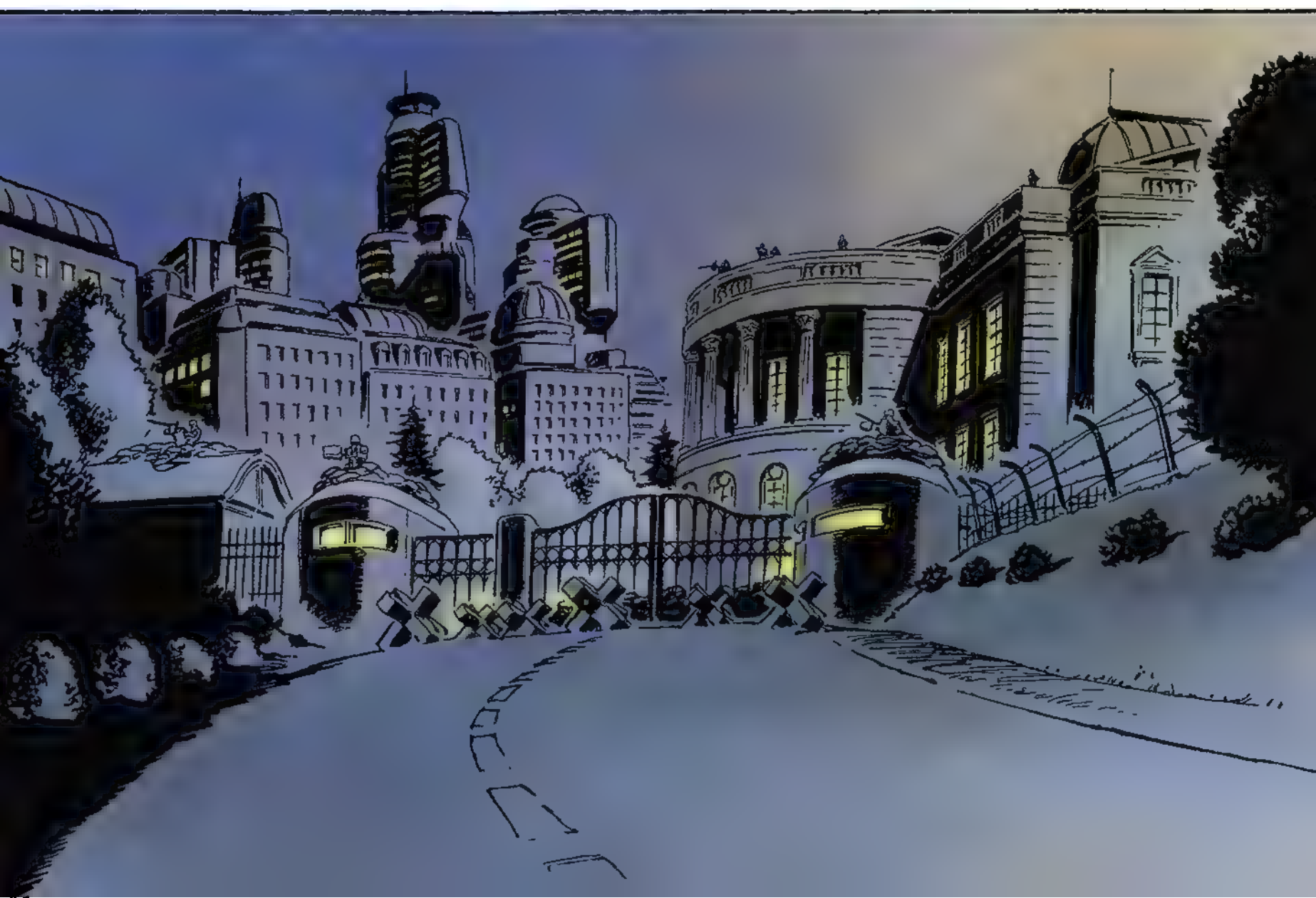
度々すまんが



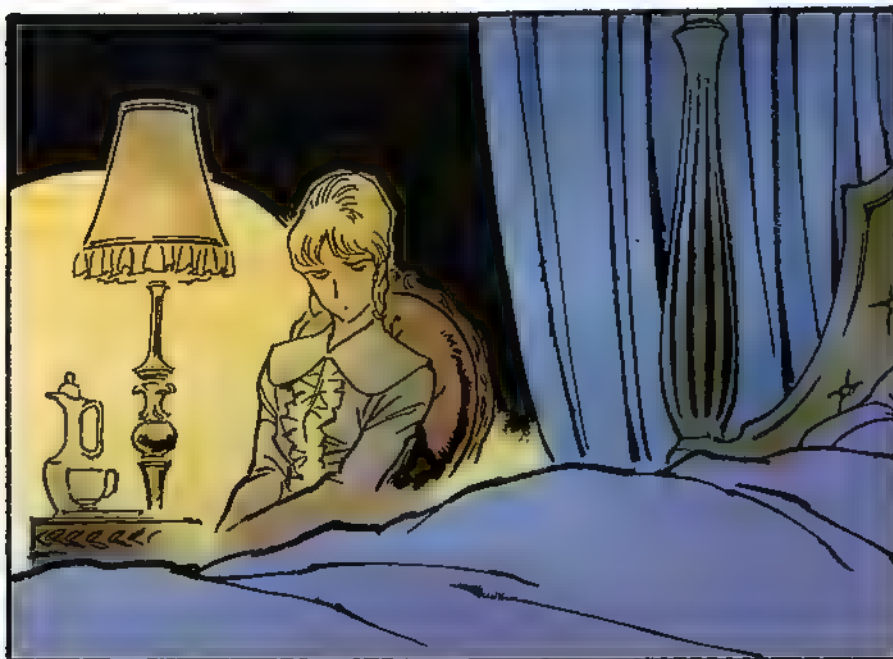
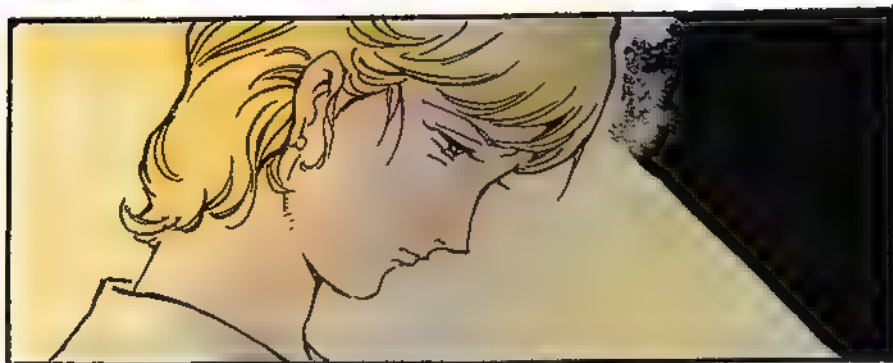
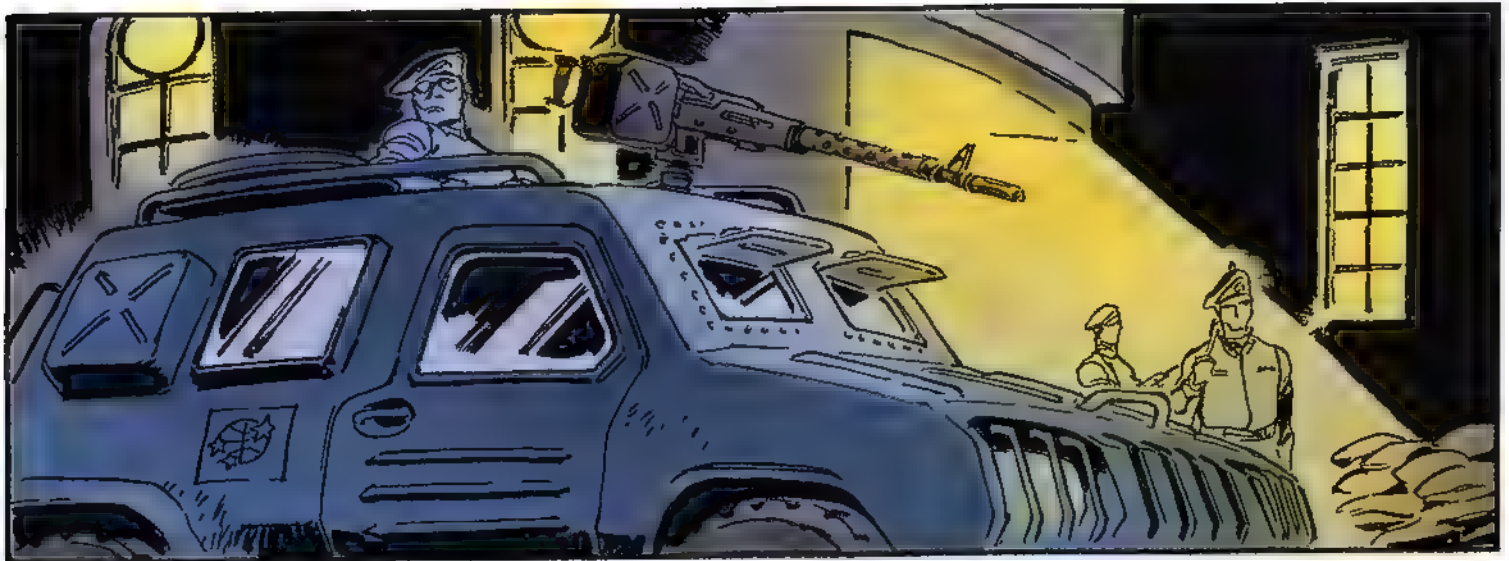
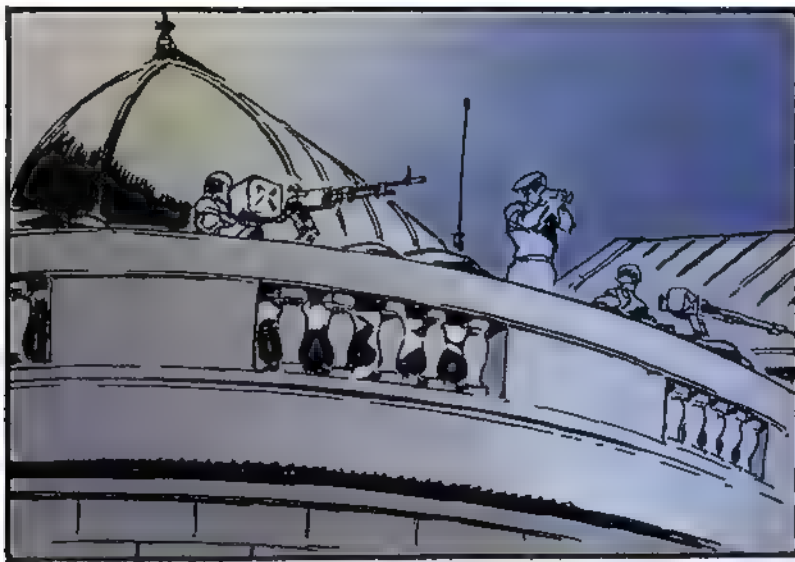




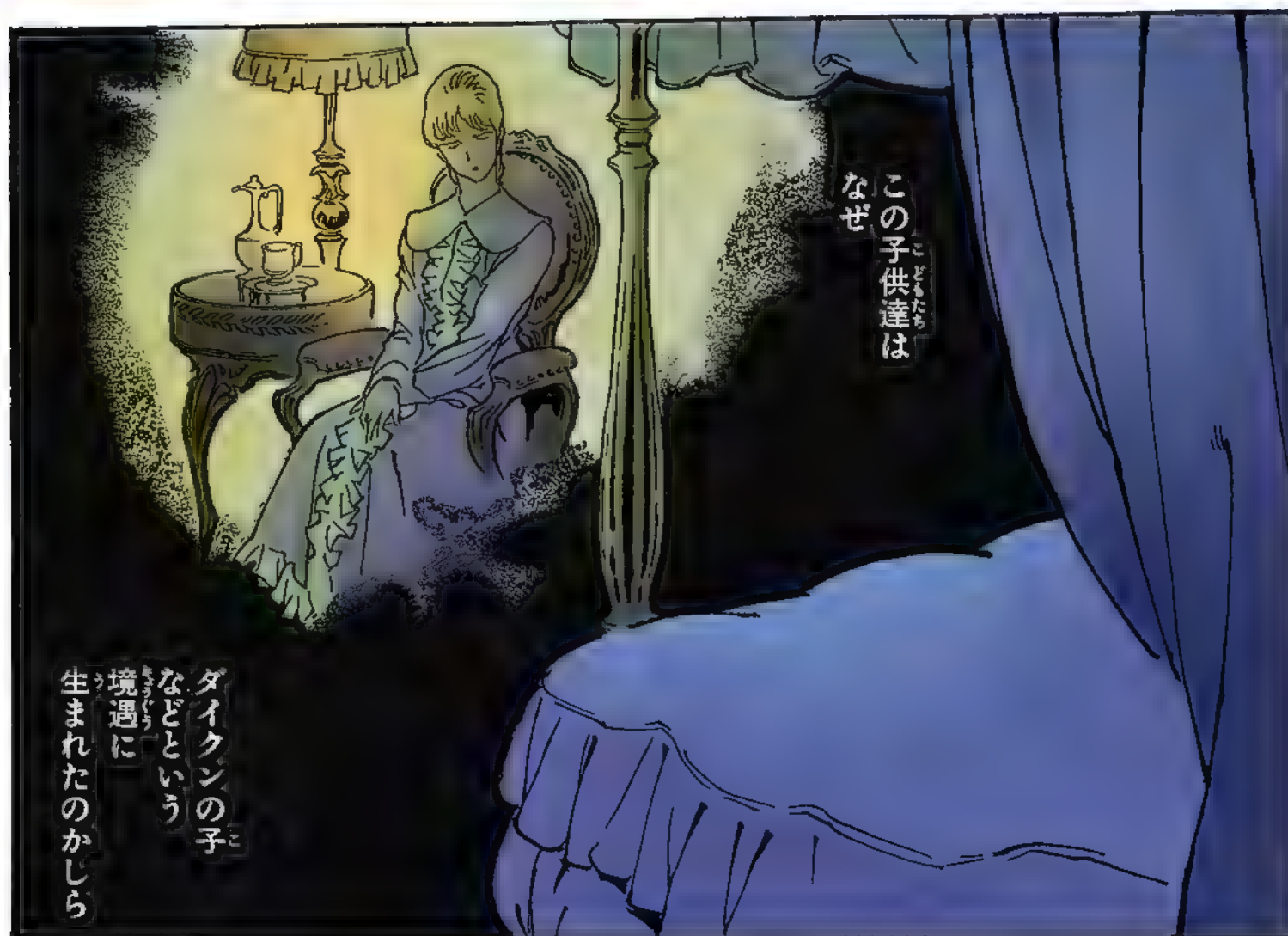
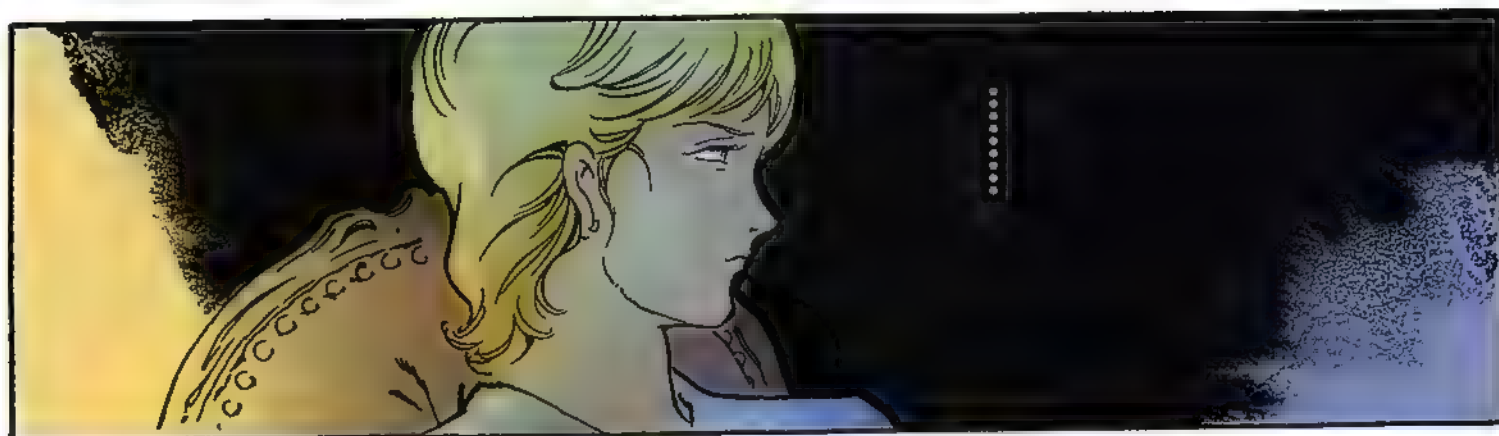
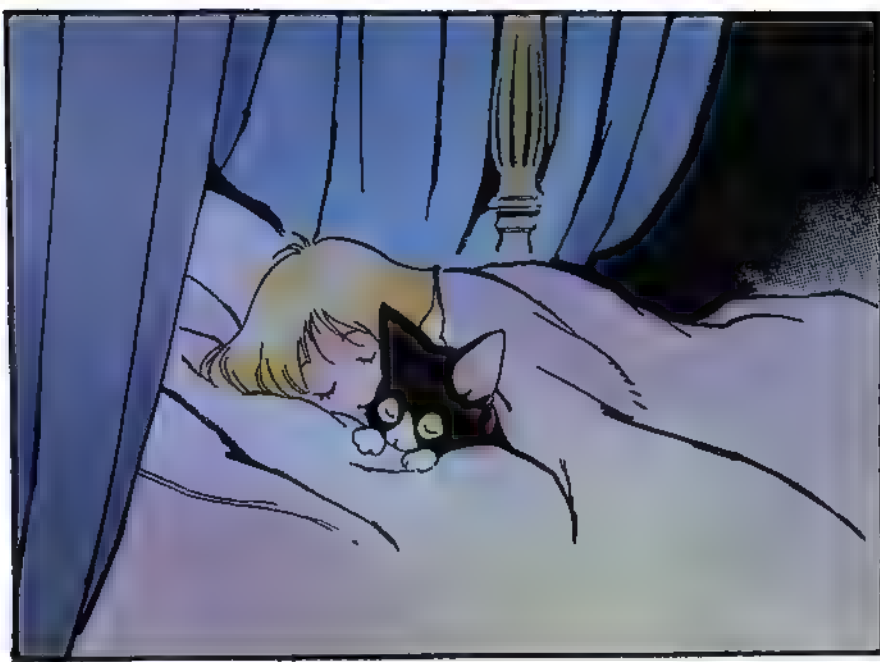




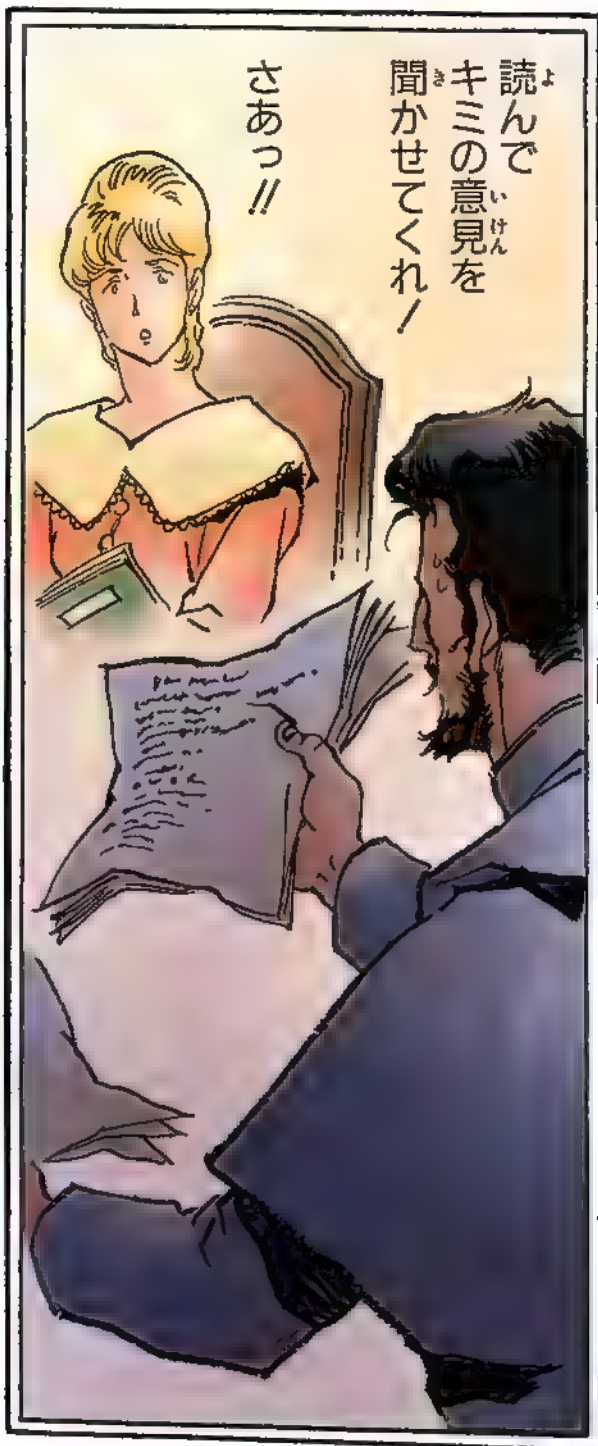
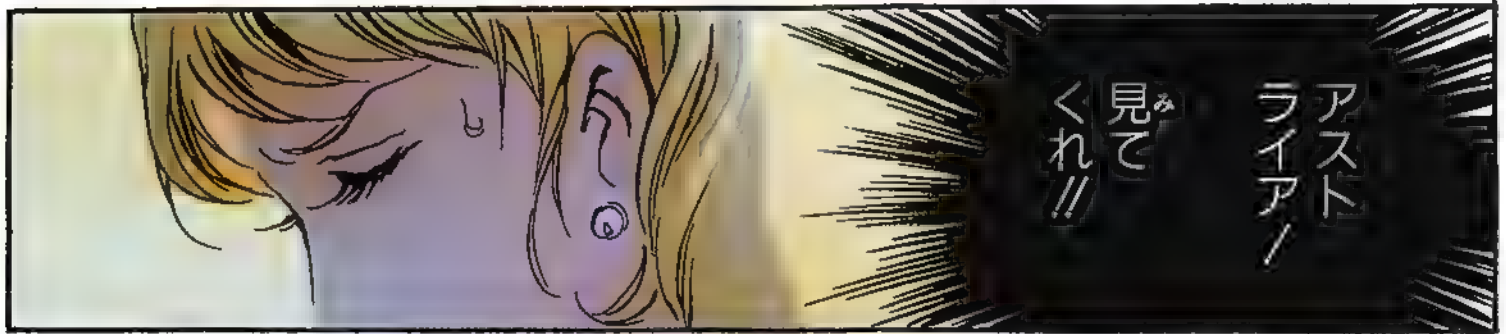
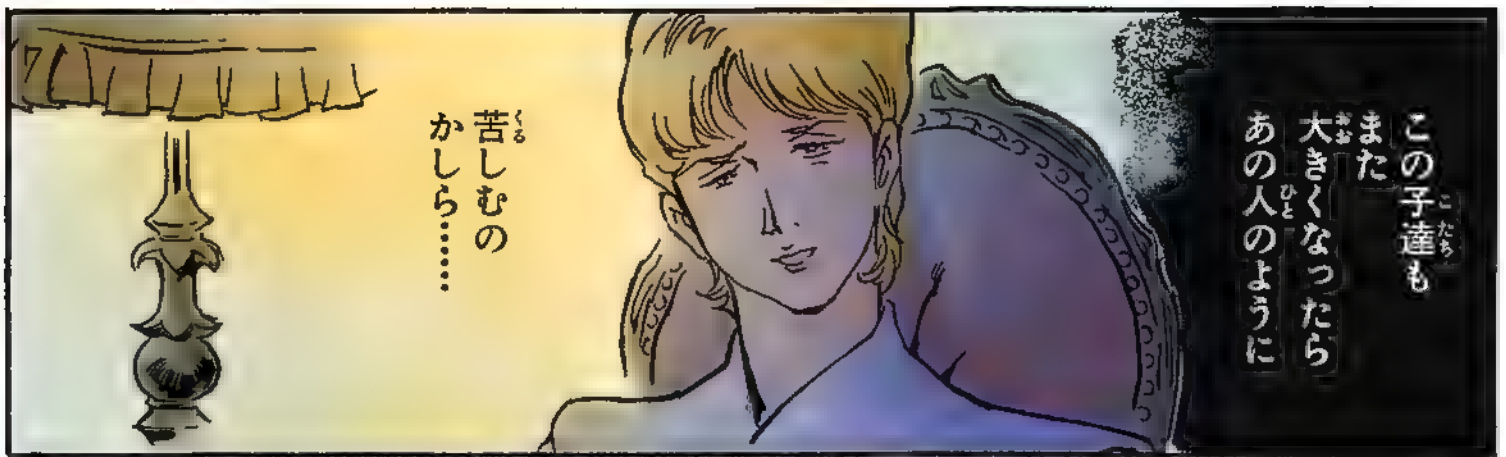




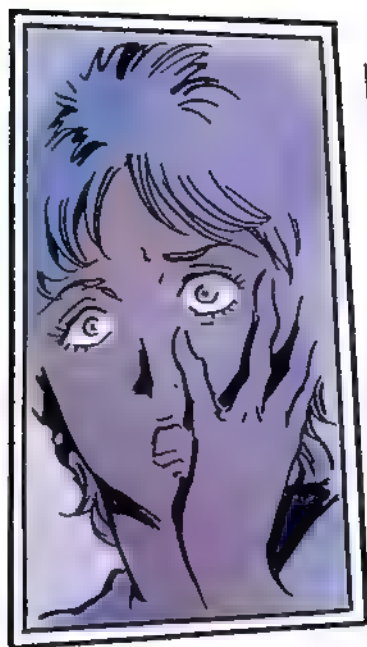








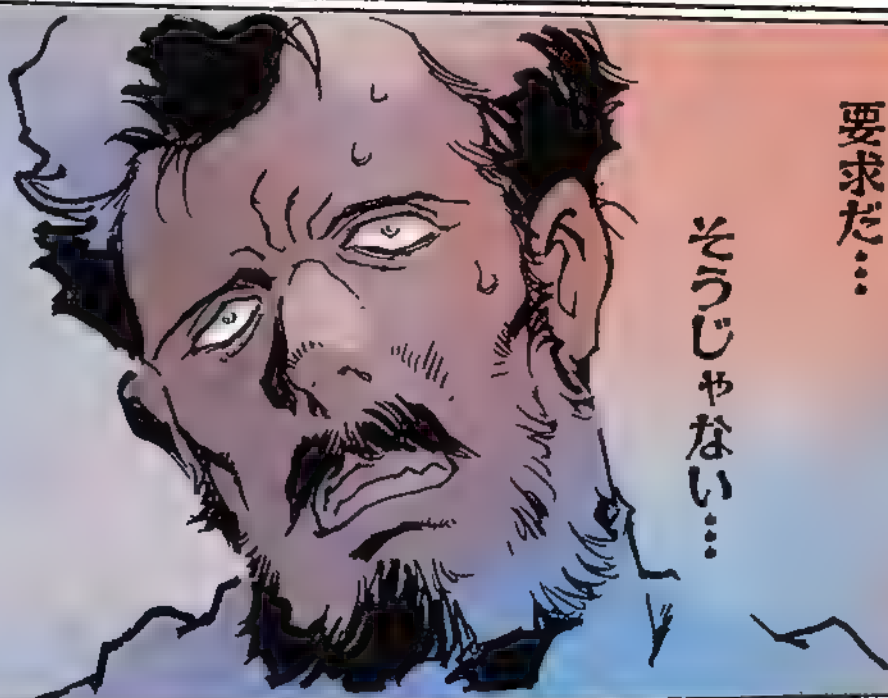






これではただの  
自治権拡大の  
要求だ…

そうじゃない…



この演説は  
地球圏に住む者達への  
宣戦布告に  
ならないの！

それを  
言葉に  
することが  
できない…



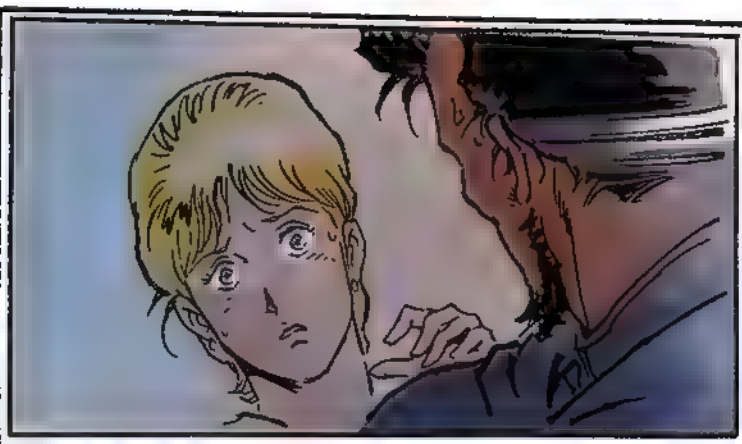
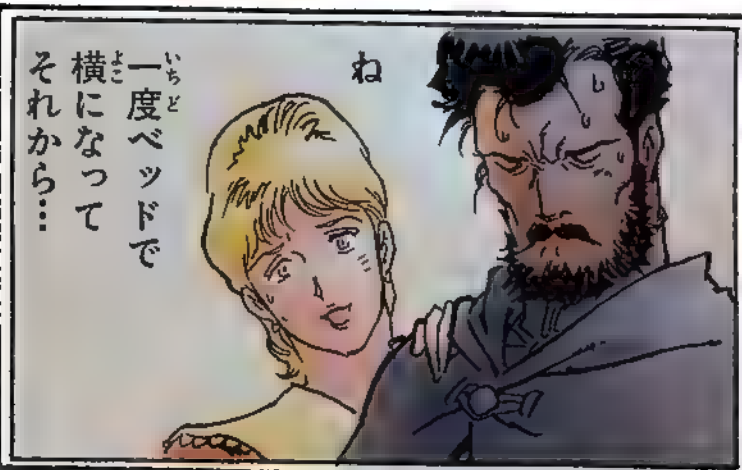
天の裁きを  
くだすことが  
できない…

お疲れだわ

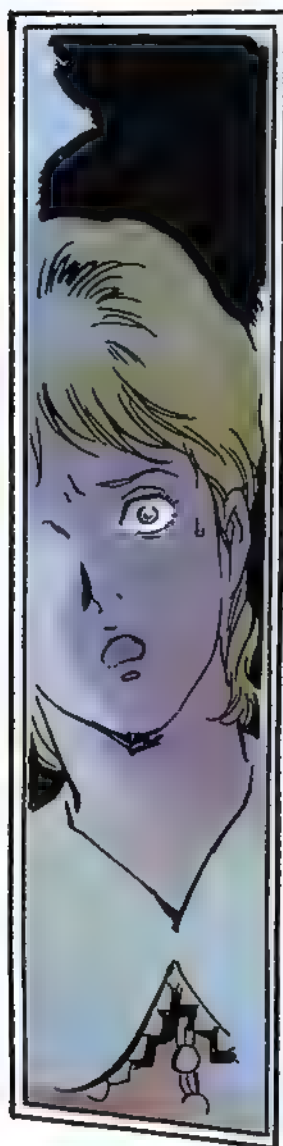
少し  
お休みに  
なつて



ね  
一度ベッドで  
横になつて  
それから…









そして  
十字架の上から  
世界に告げ  
知らせるんだ

地球生命体の  
怒りにふれた  
罪深い者達は

間もなく  
天から降る  
業火に灼かれ

死滅する  
運命に  
あるという  
ことを!!

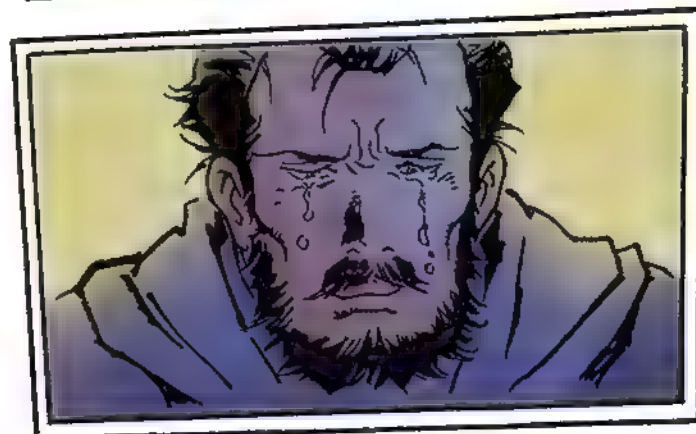
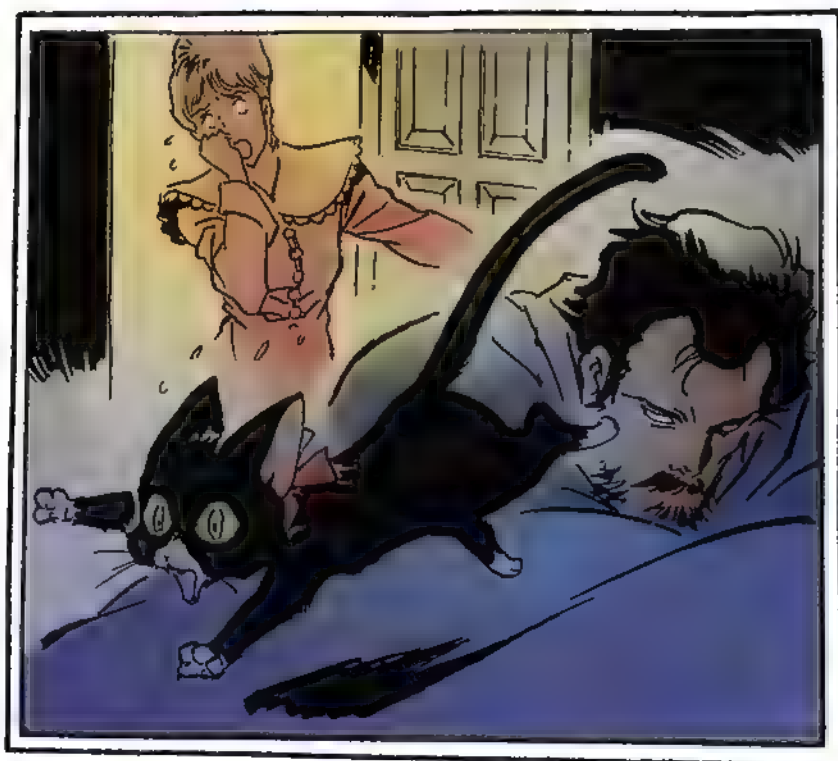
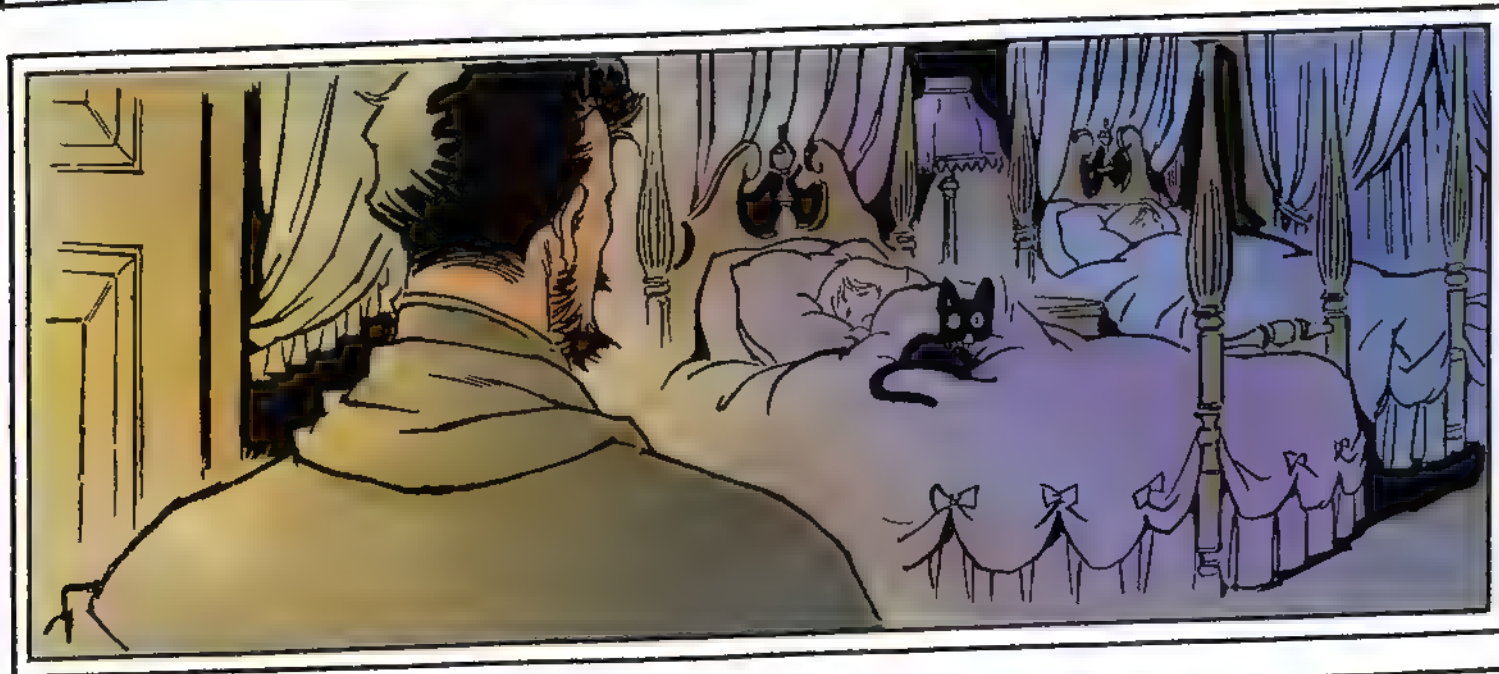
お休みに  
なつて!  
本当に

少し  
でも!

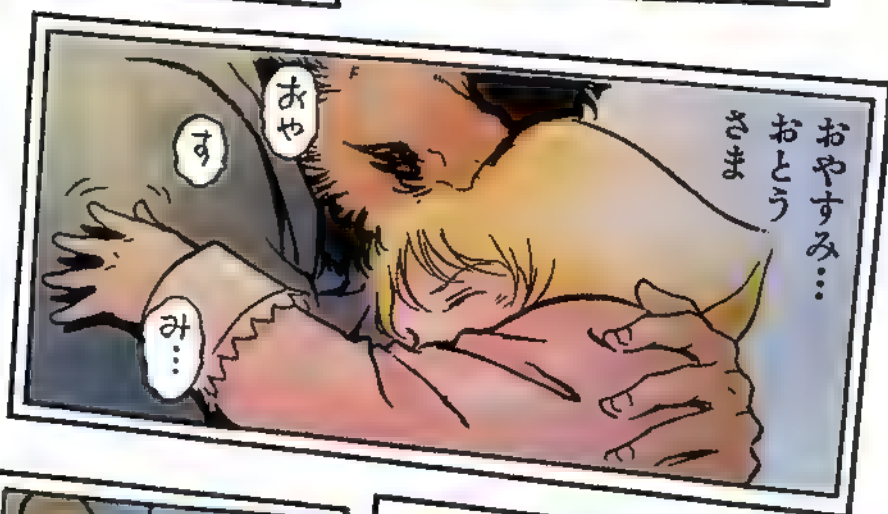
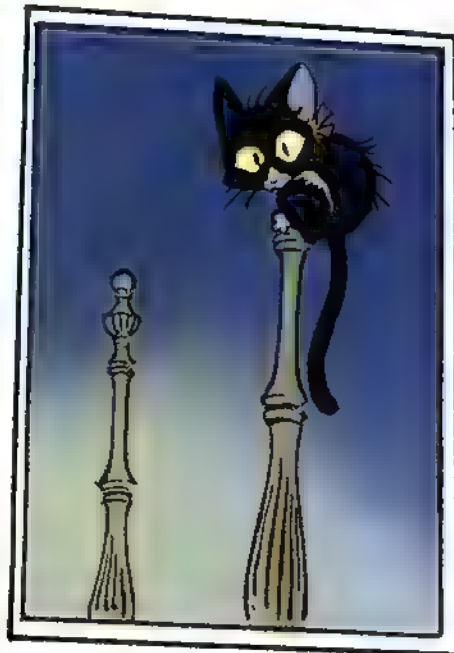
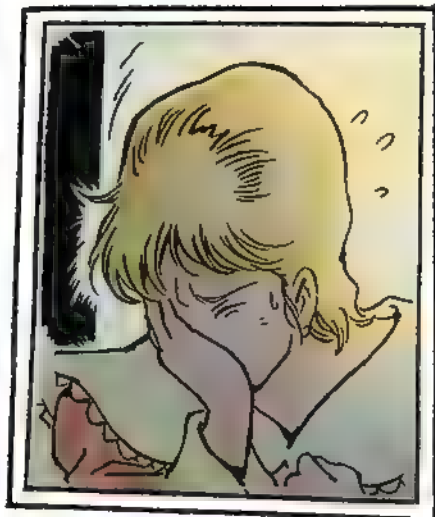
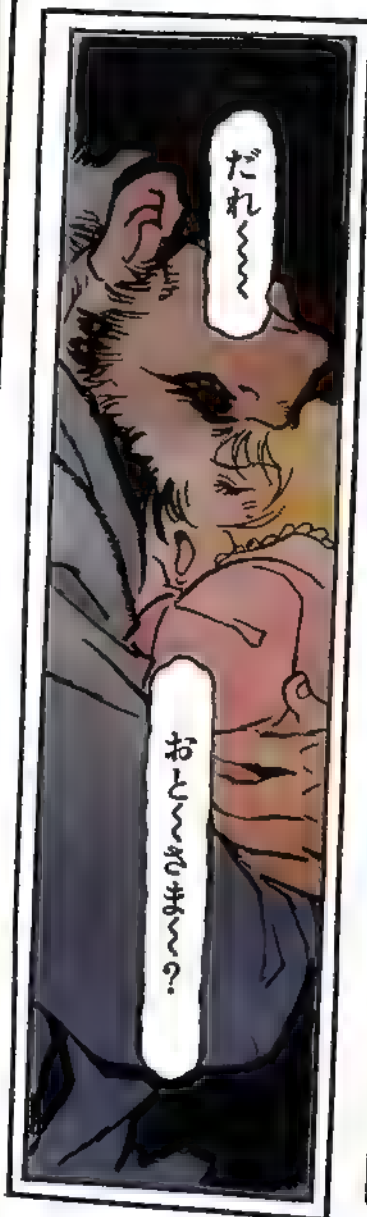
子供たちは?

よく眠って  
います  
こんな夜更けですから

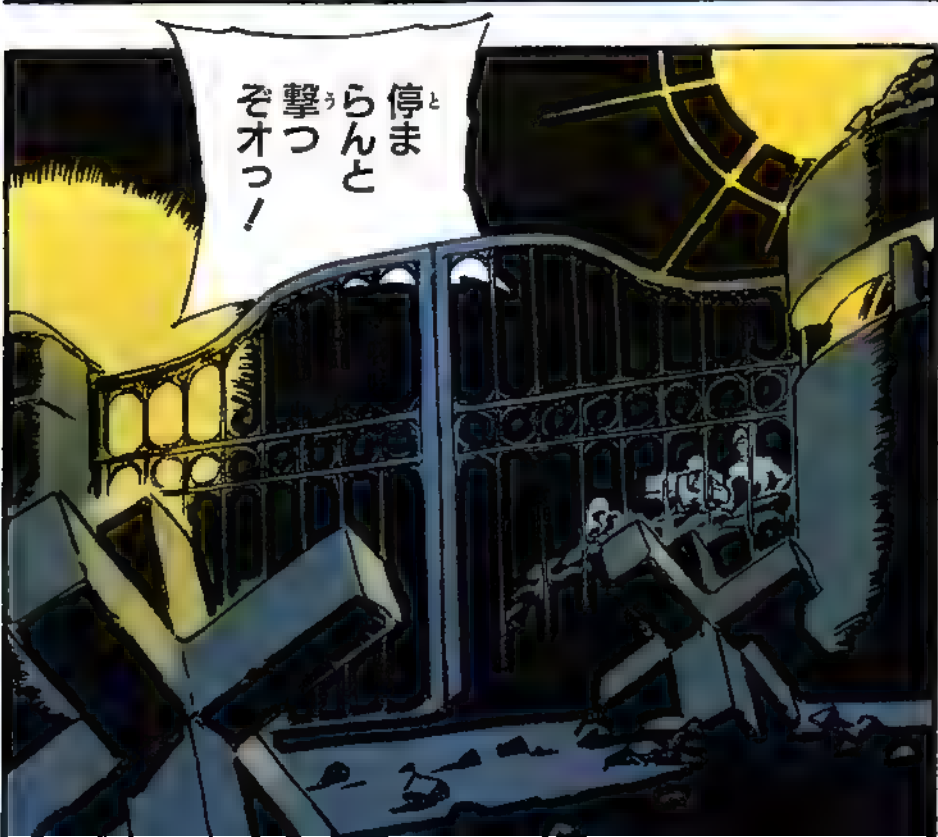
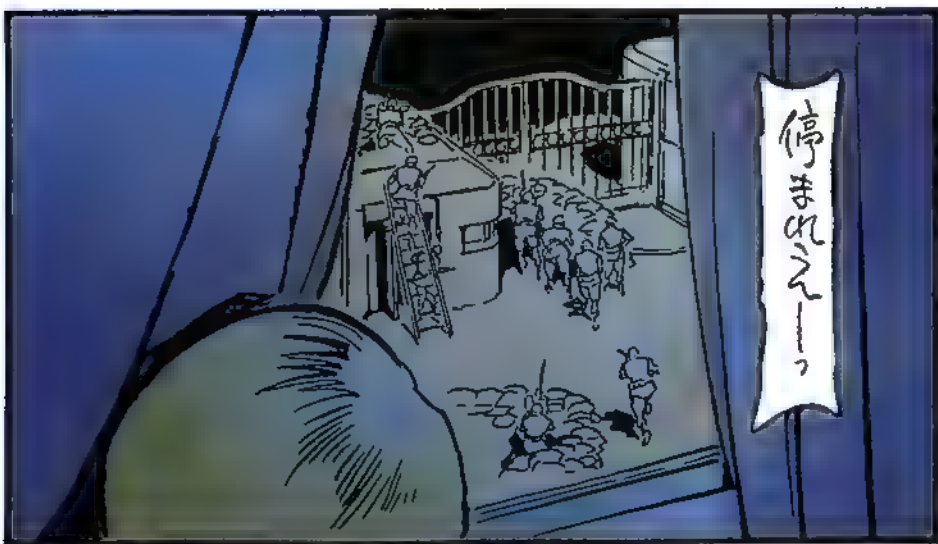
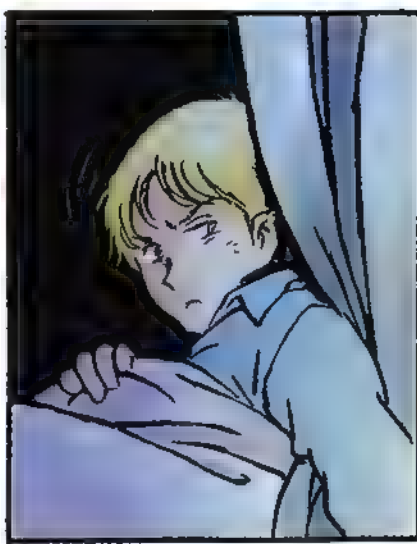
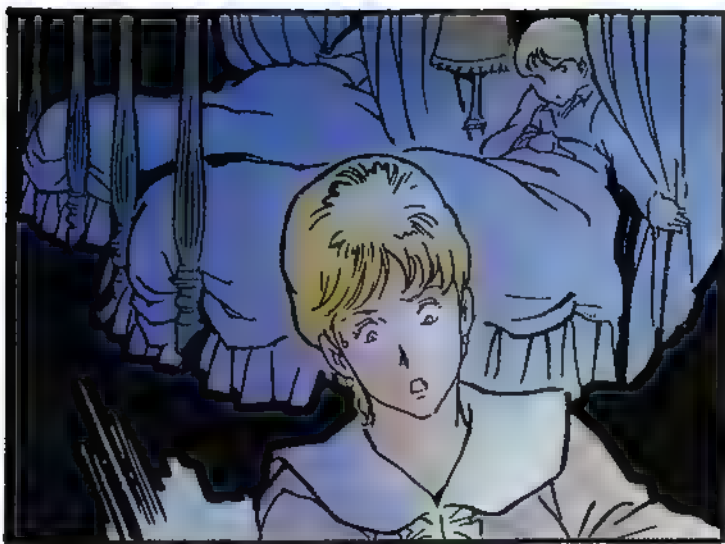
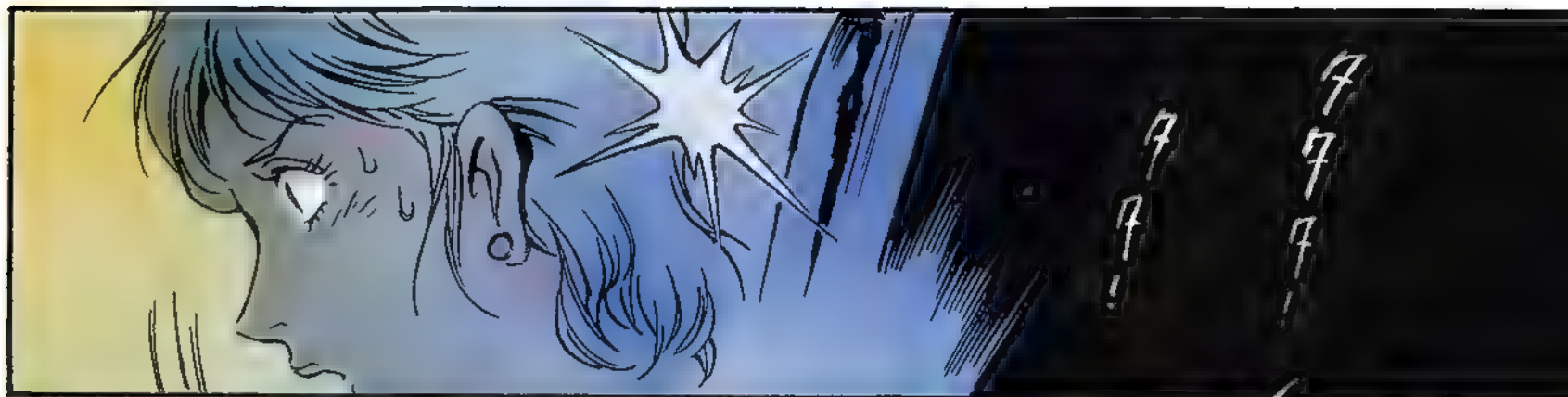




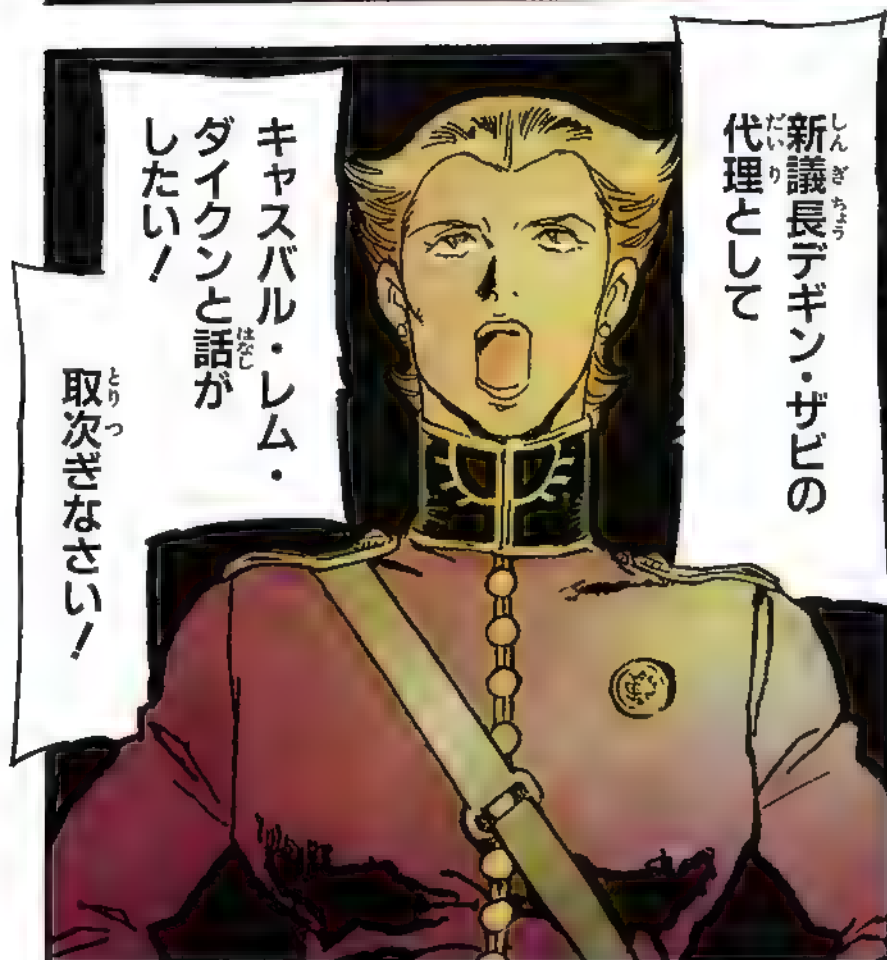
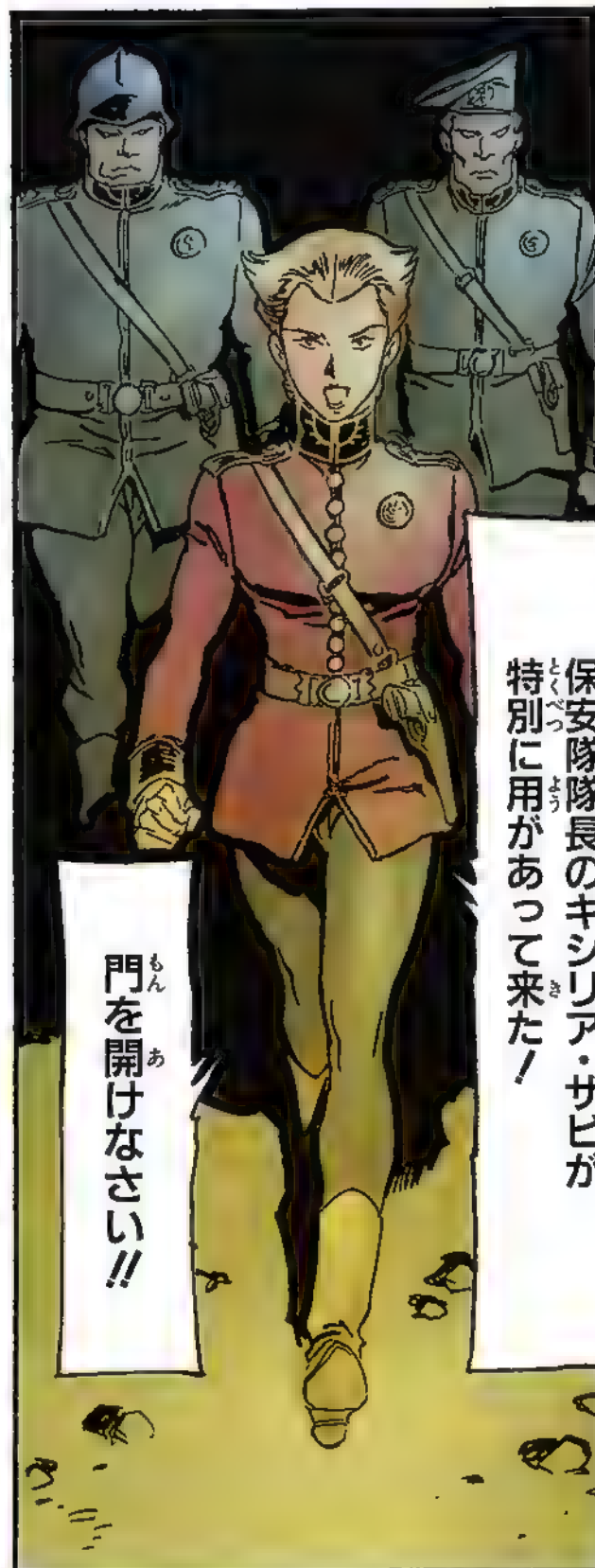
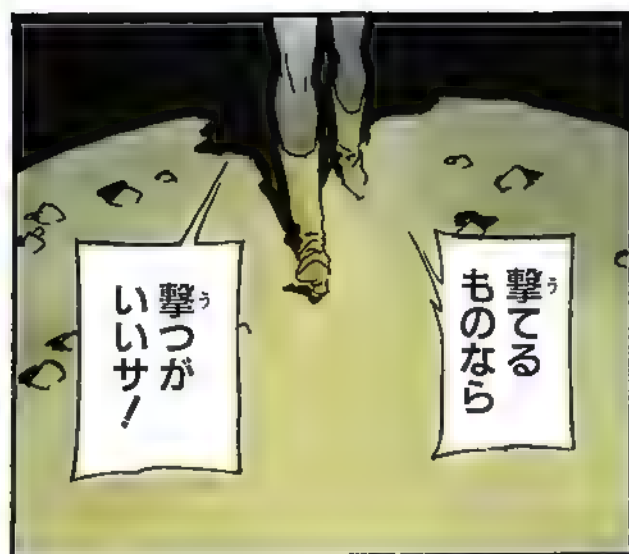
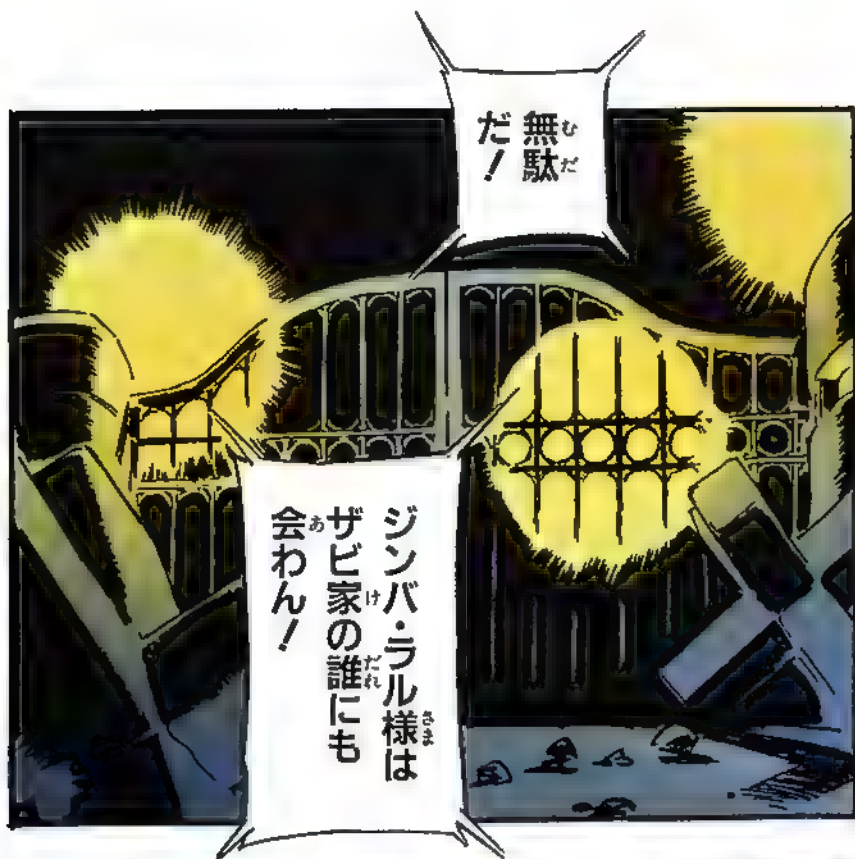




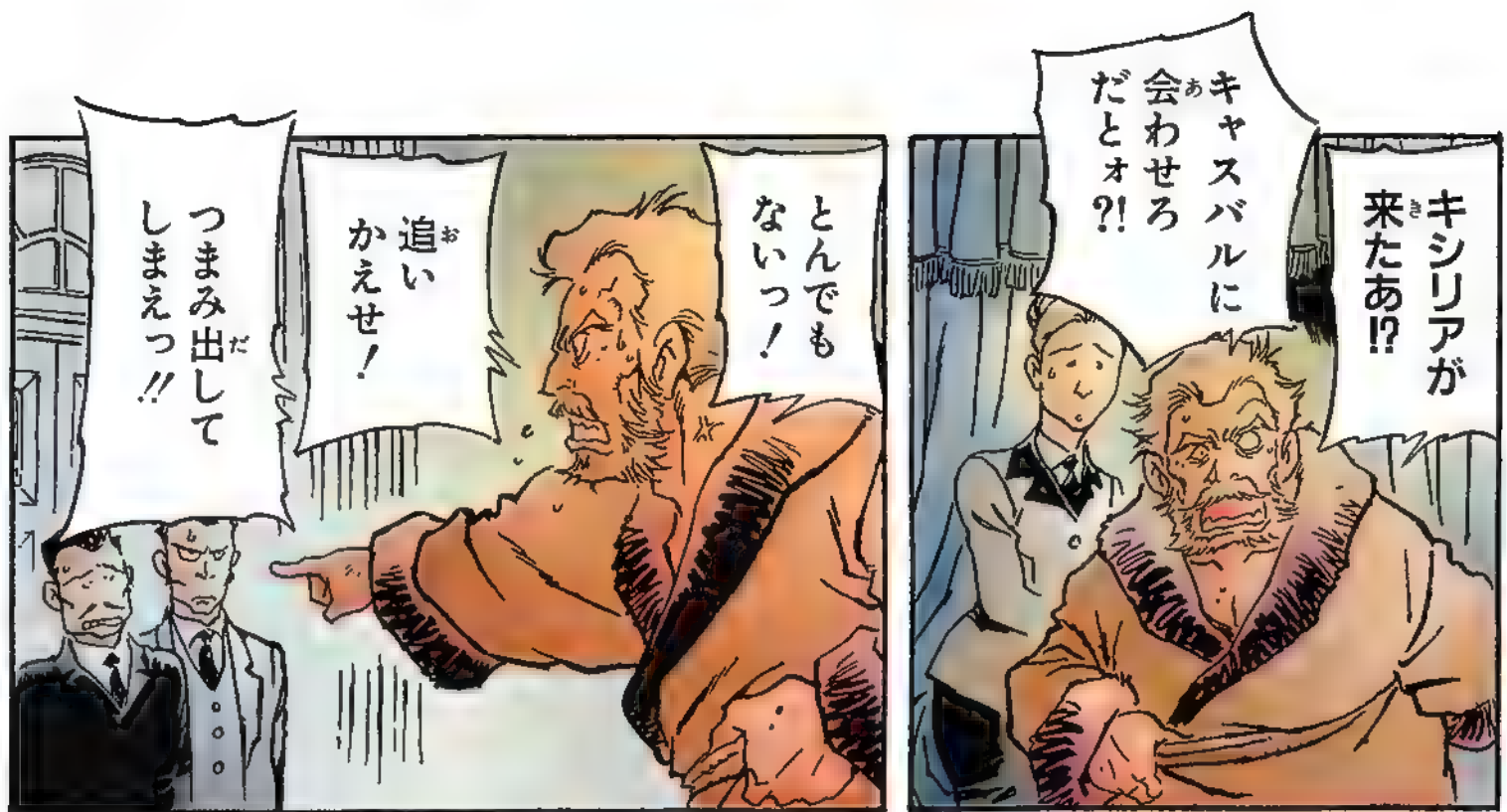




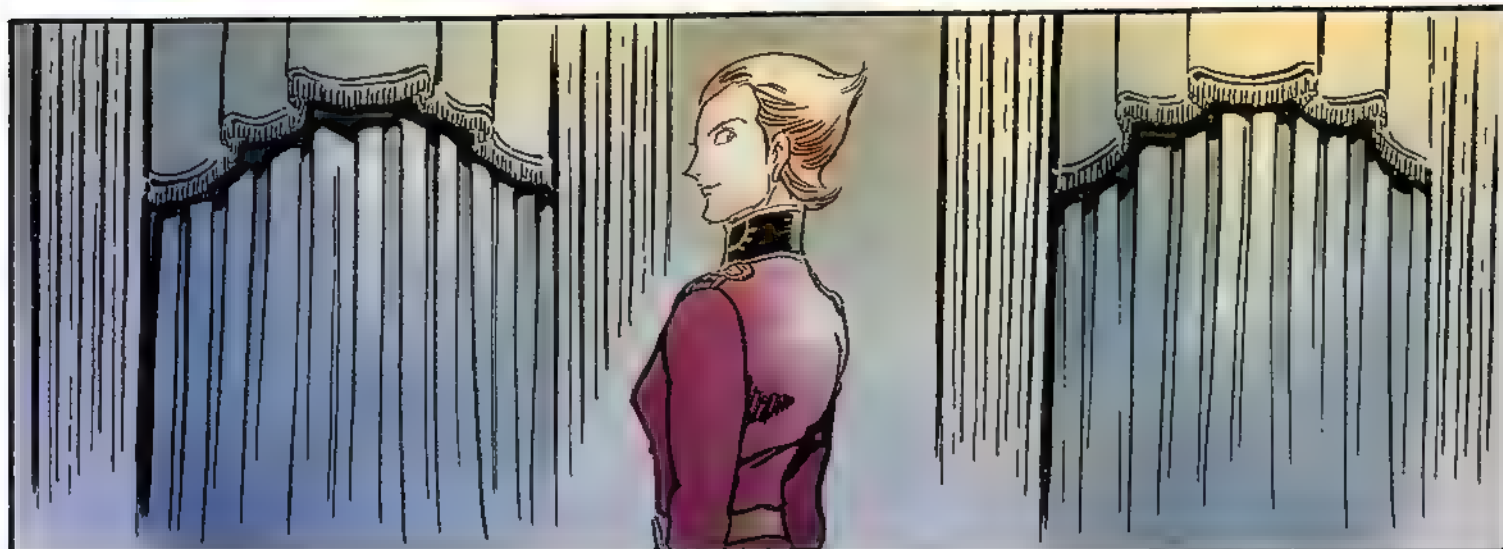
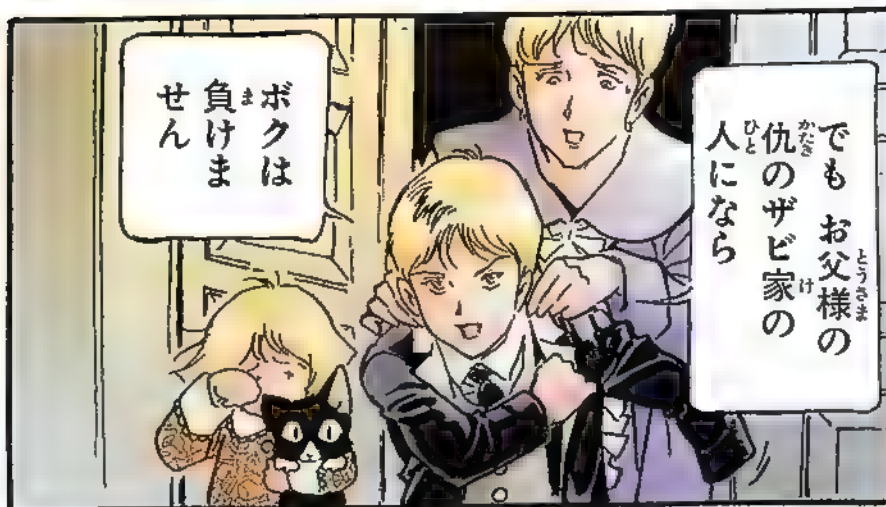
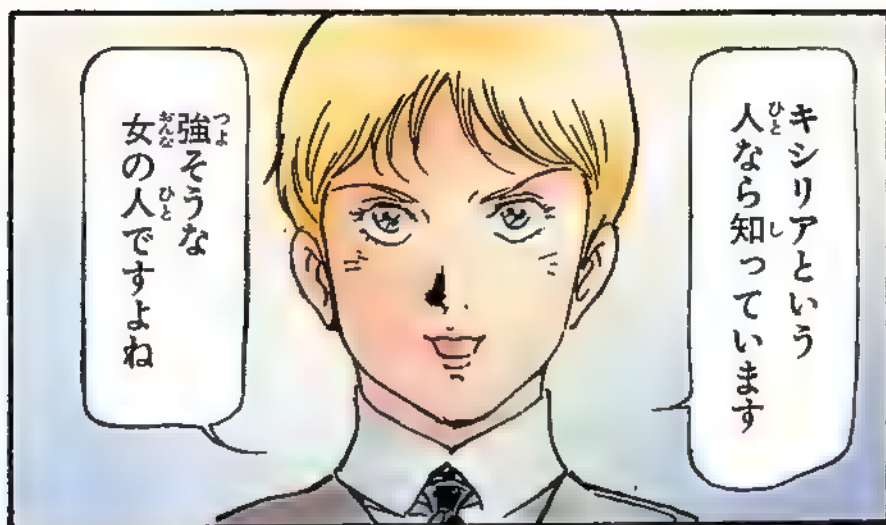




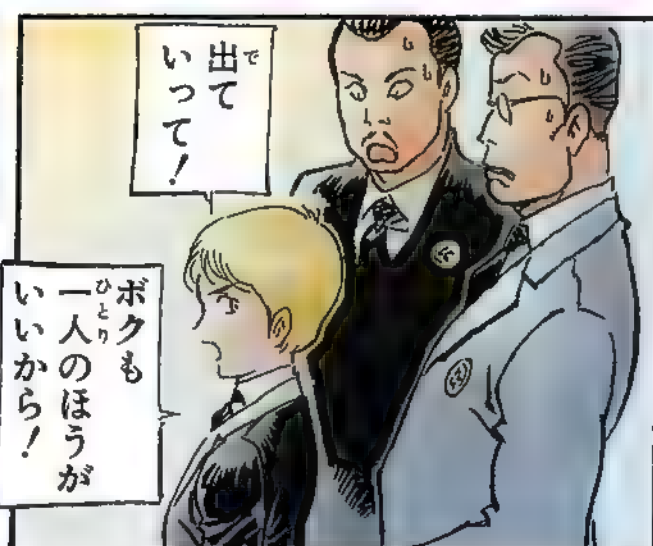
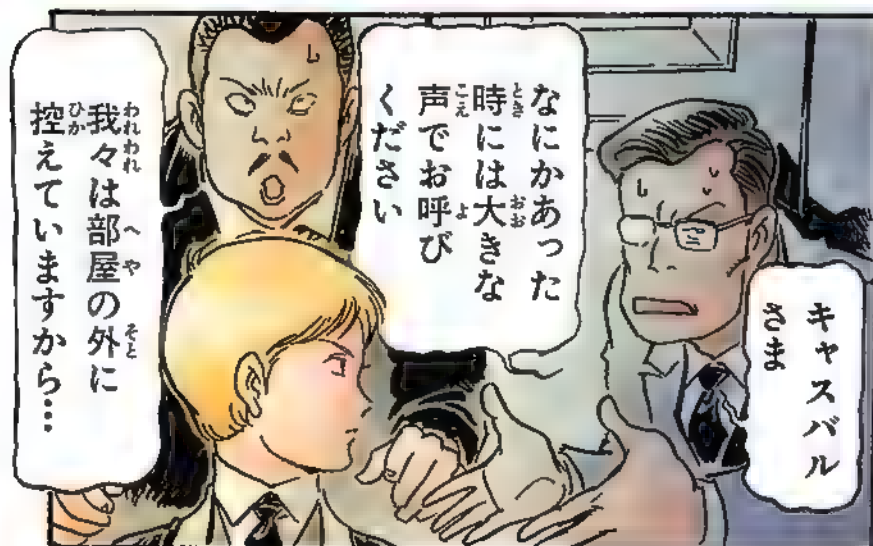
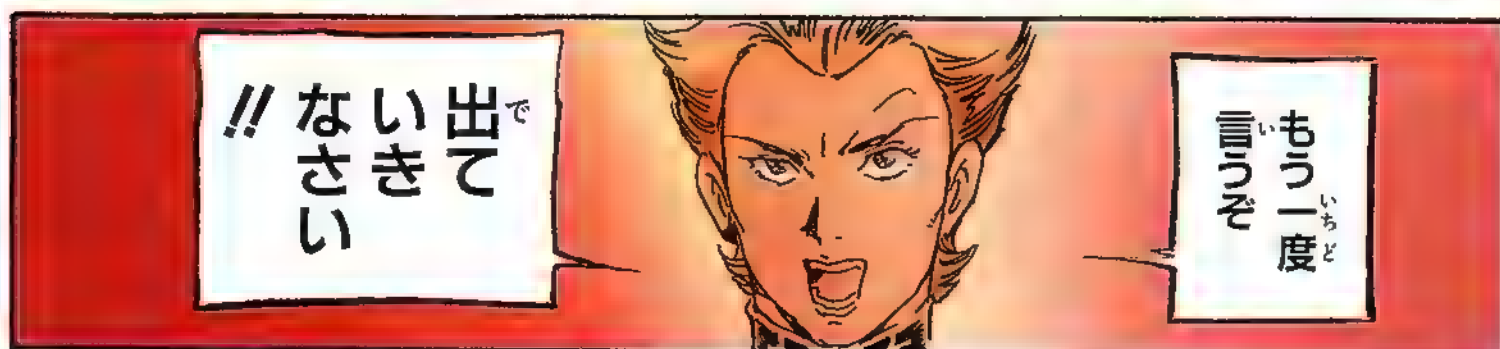
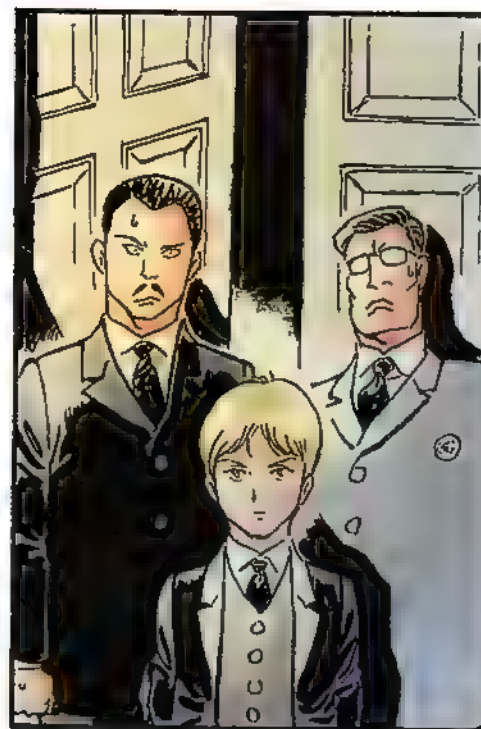
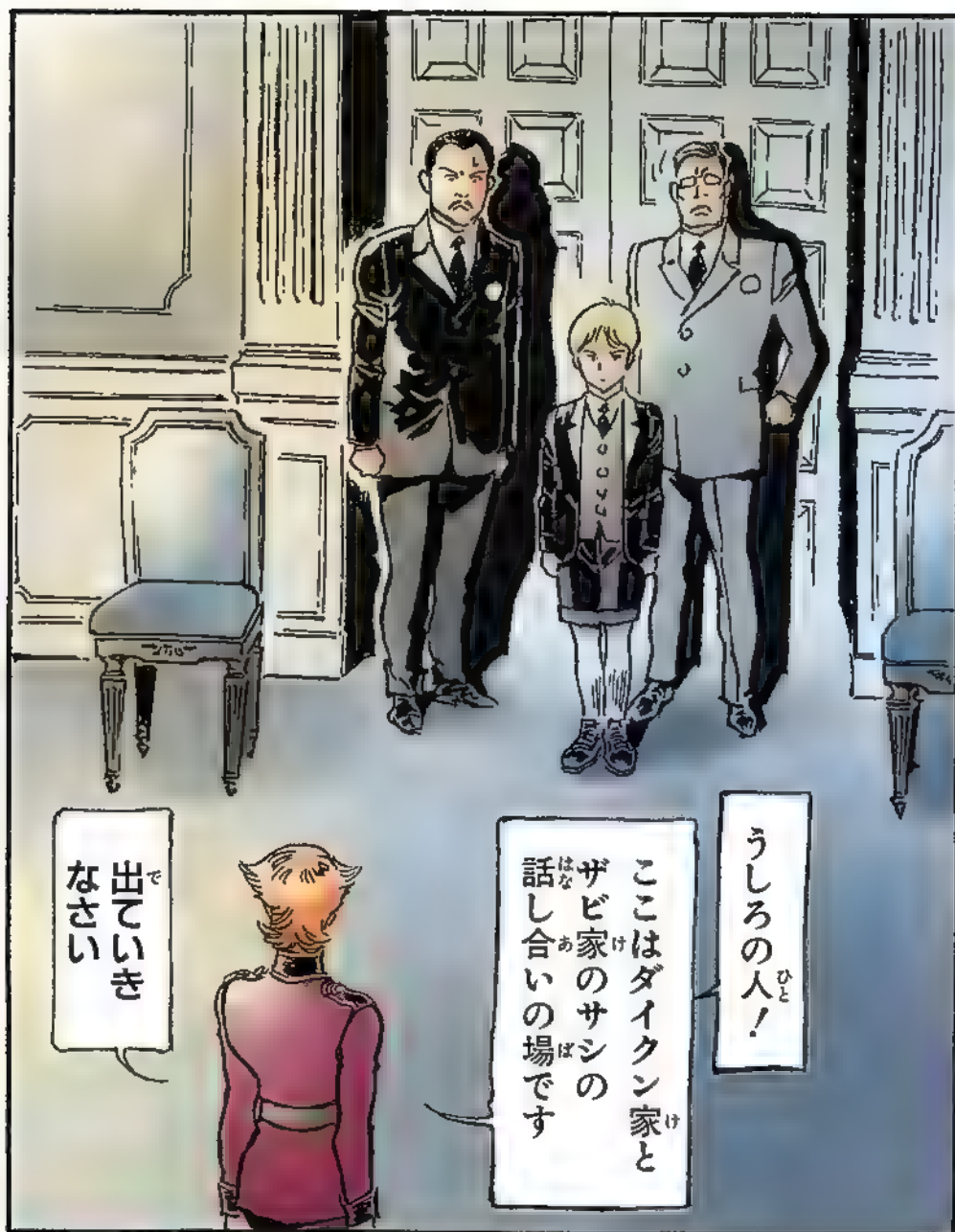




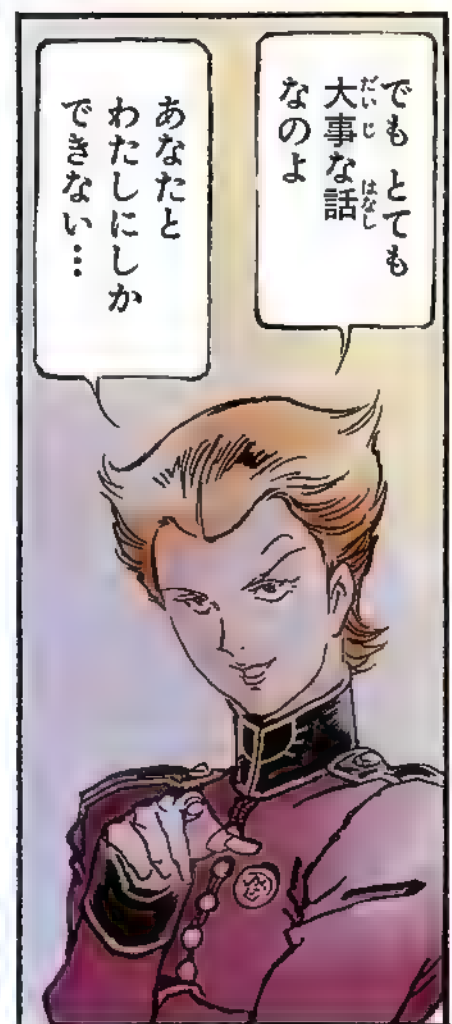
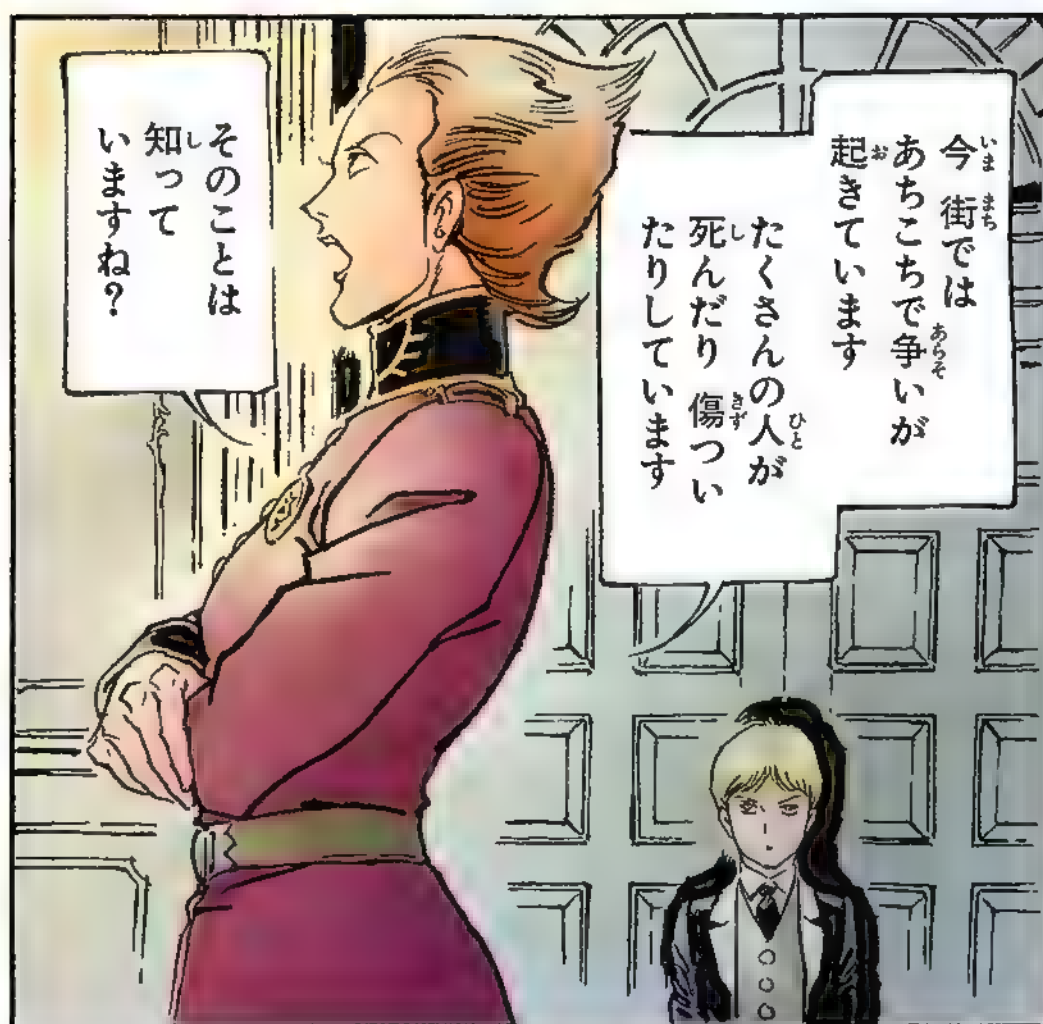
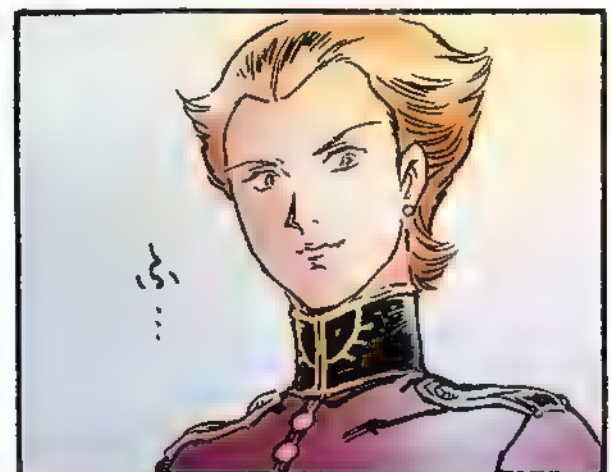
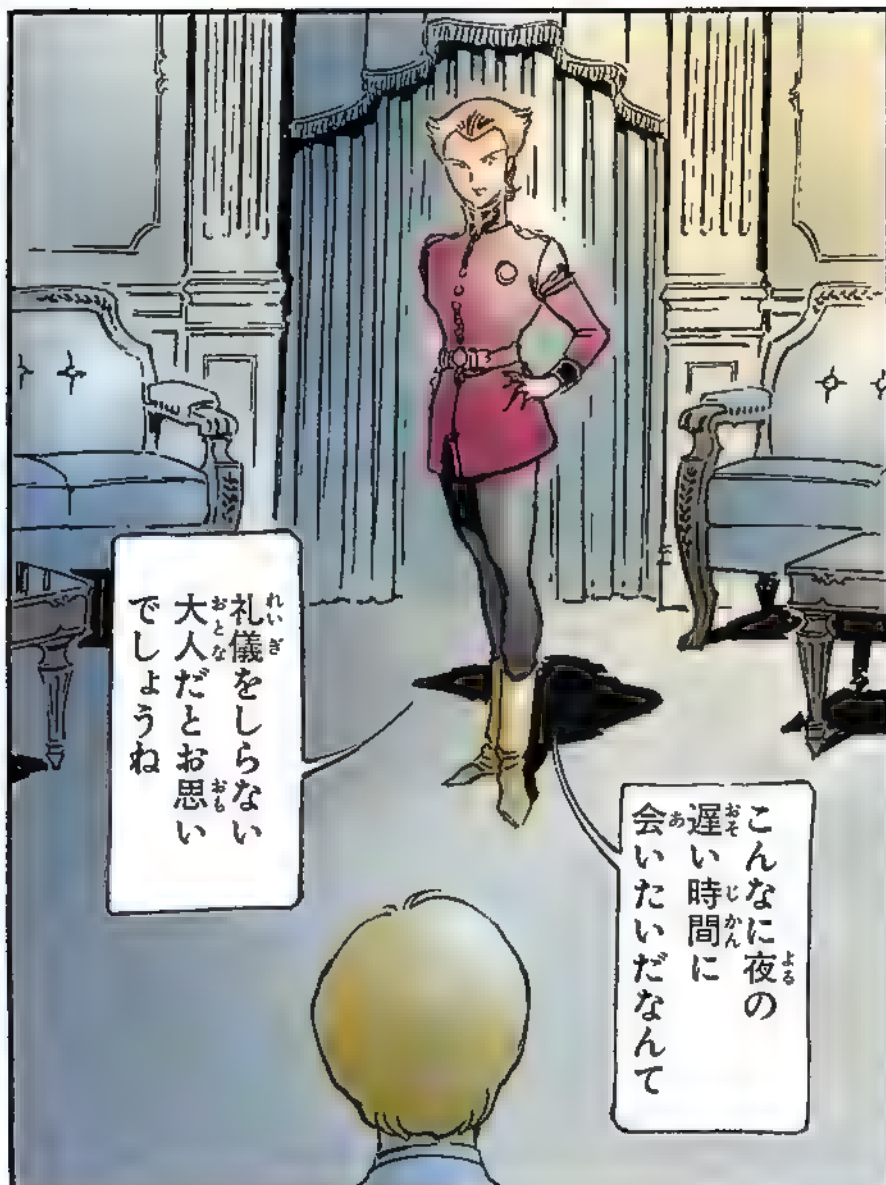




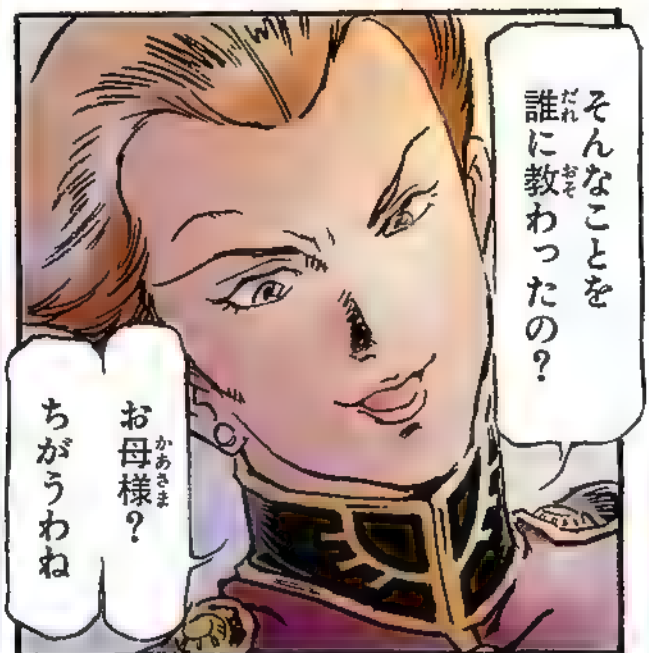
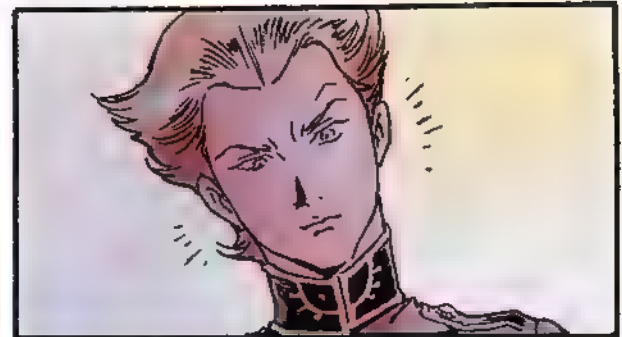
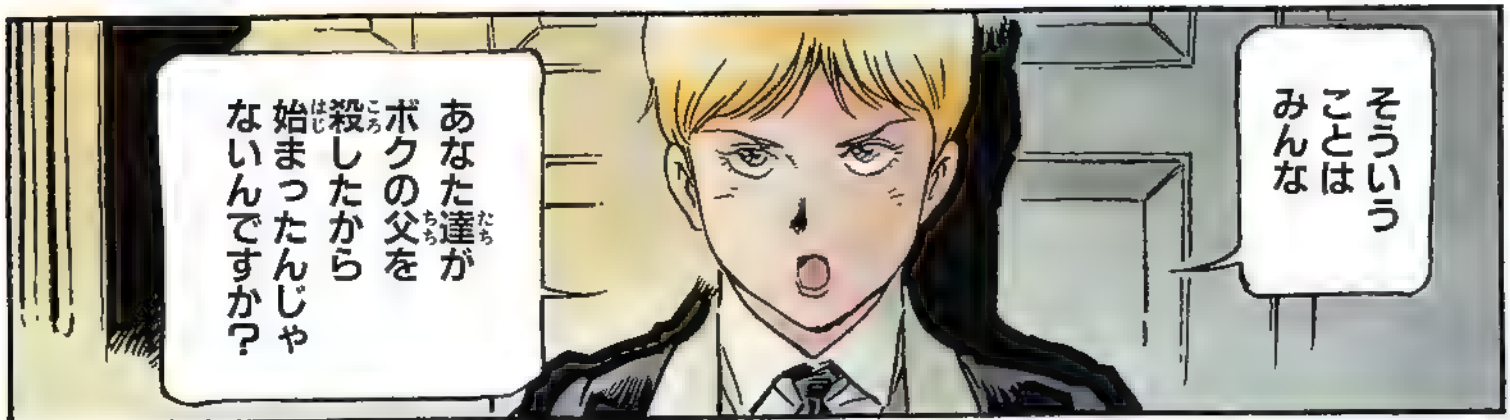














キシリアさん  
あなたは

ボクと話し合い  
をしたんじゃない  
の？

そんなふう  
に子供を叱るよう  
な口をききたい  
んだったら

ボクは  
ごめんだ！  
もう部屋へ  
帰るよ！

.....

.....

なるほど

私が  
悪かった

じゃあ  
首脳会談に  
戻りましょう

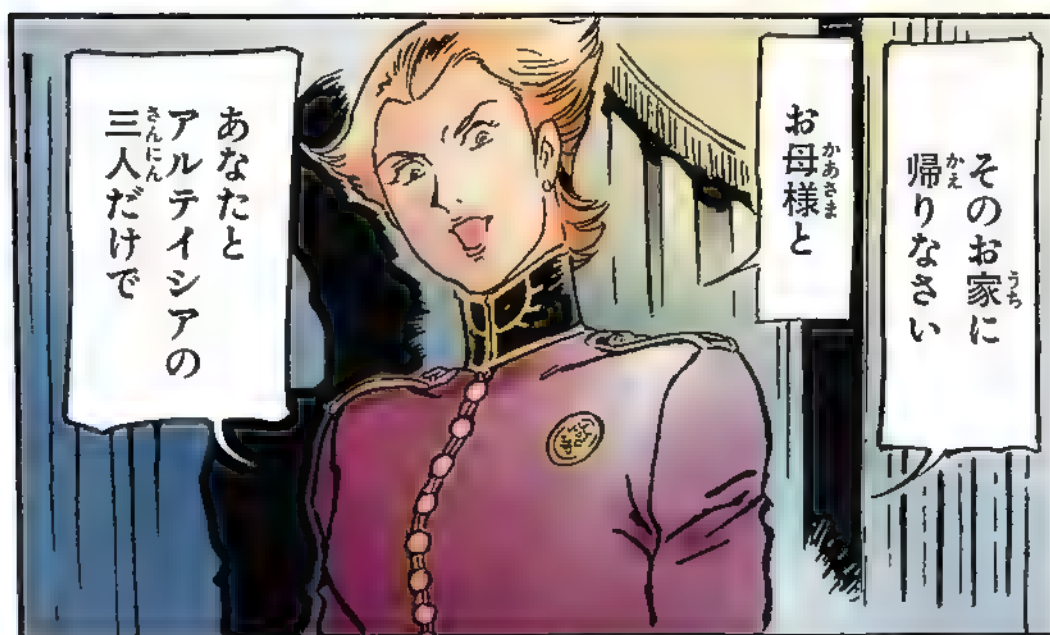
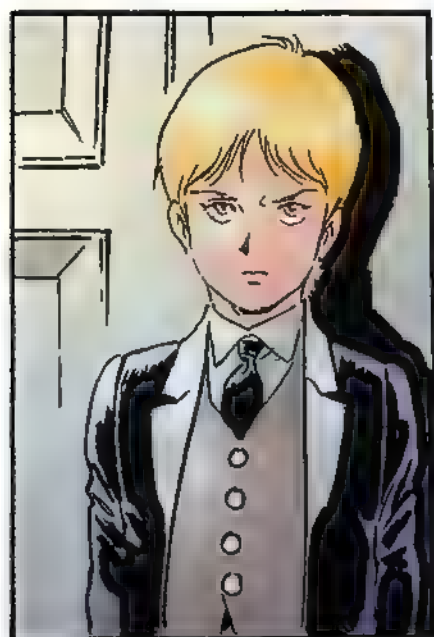
私からの  
提案に  
入ります！

あなた達には  
家がある

ここよりも  
もっと  
広くて  
立派な

ダイクン家の  
ために用意された  
お屋敷がある

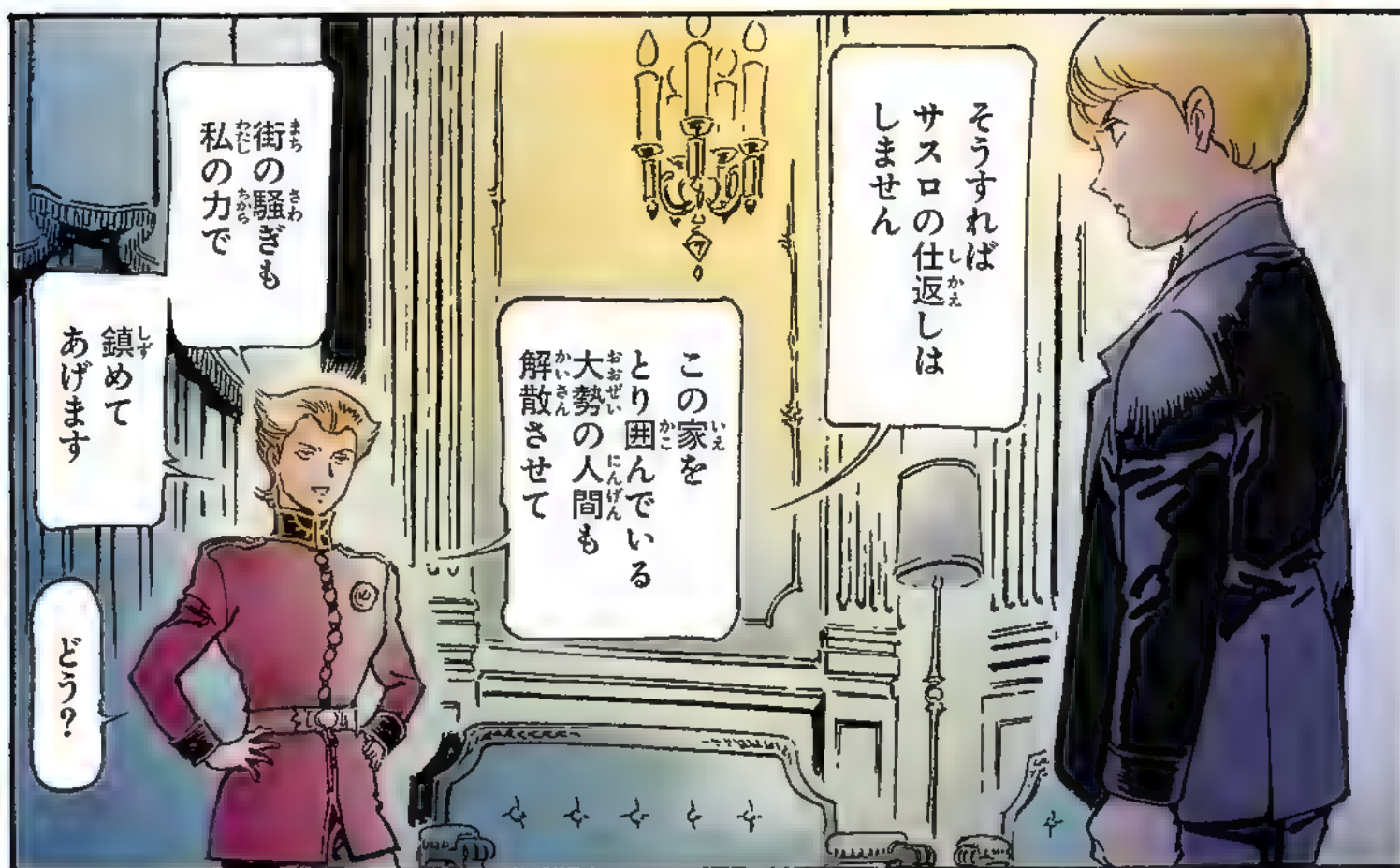




そのお家に  
帰んなさい

お母様と

あなたと  
アルテイシアの  
三人だけで



そうすれば  
サスロの仕返しは  
しません

この家を  
とり囲んでいる  
大勢の人間も  
解散させて

私の力で  
街の騒ぎも

鎮めて  
あげます

どう?



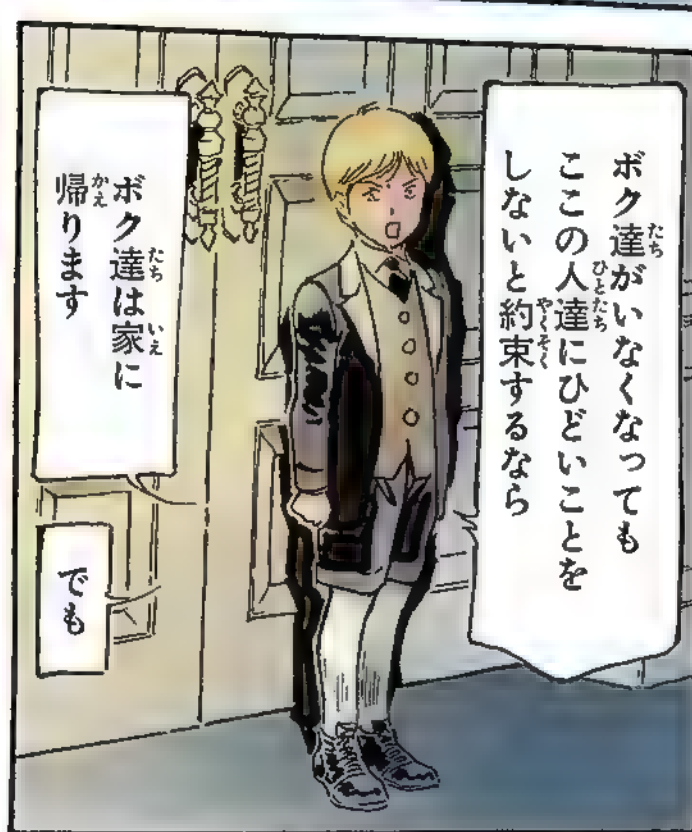
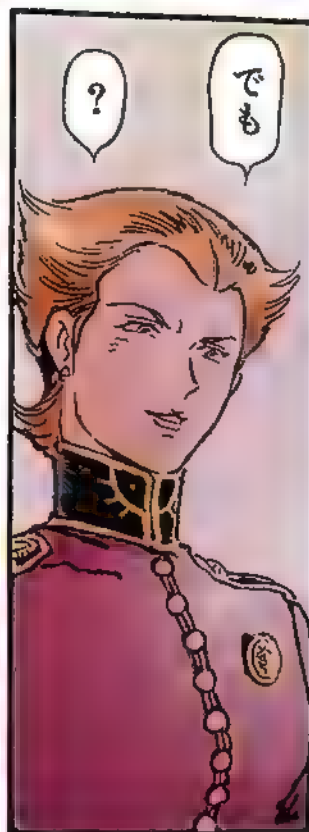
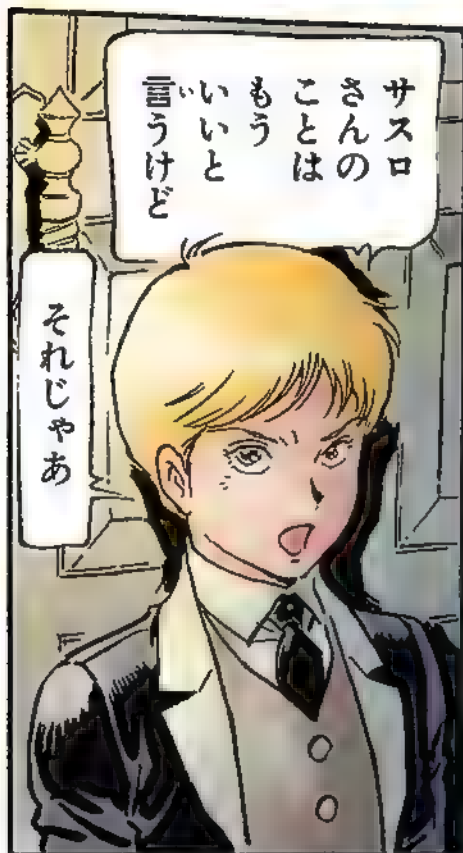
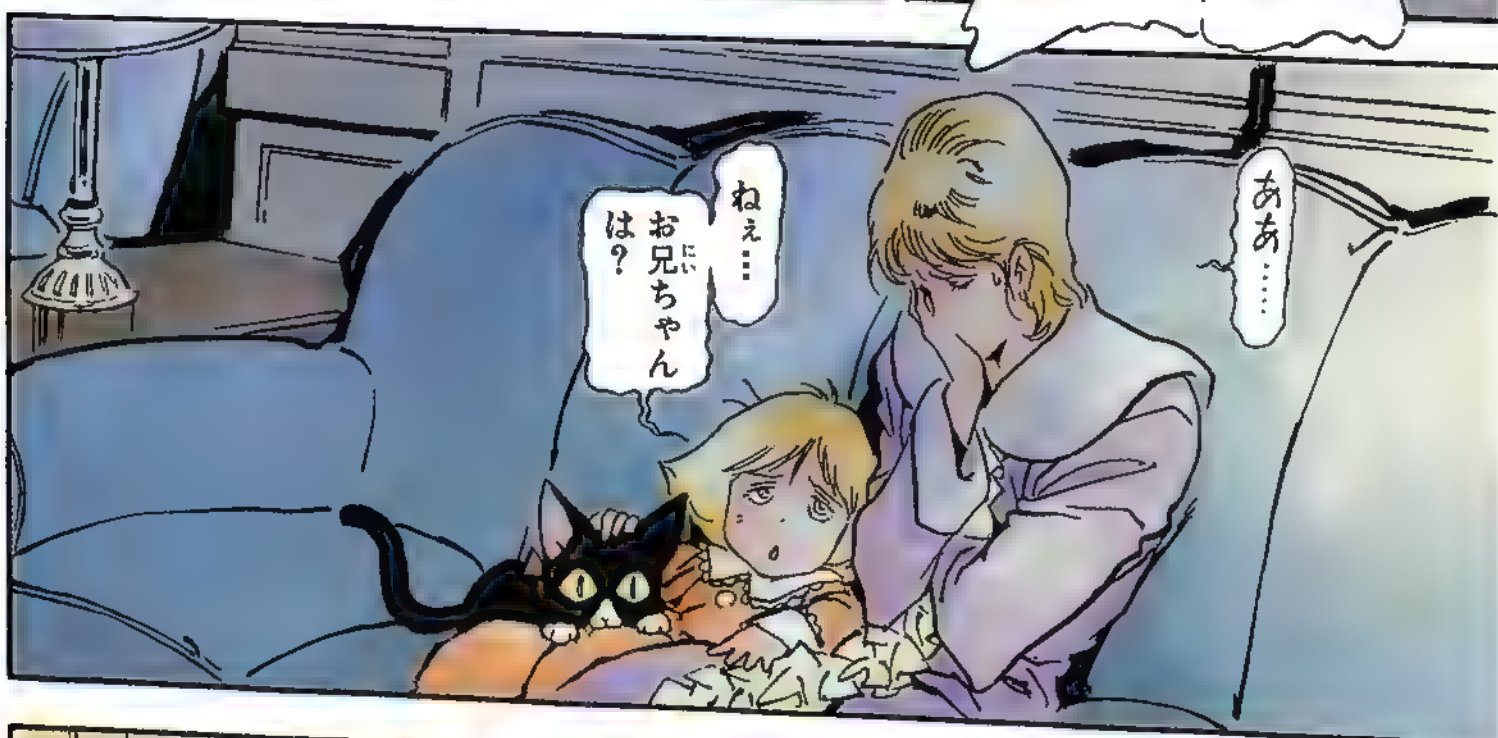
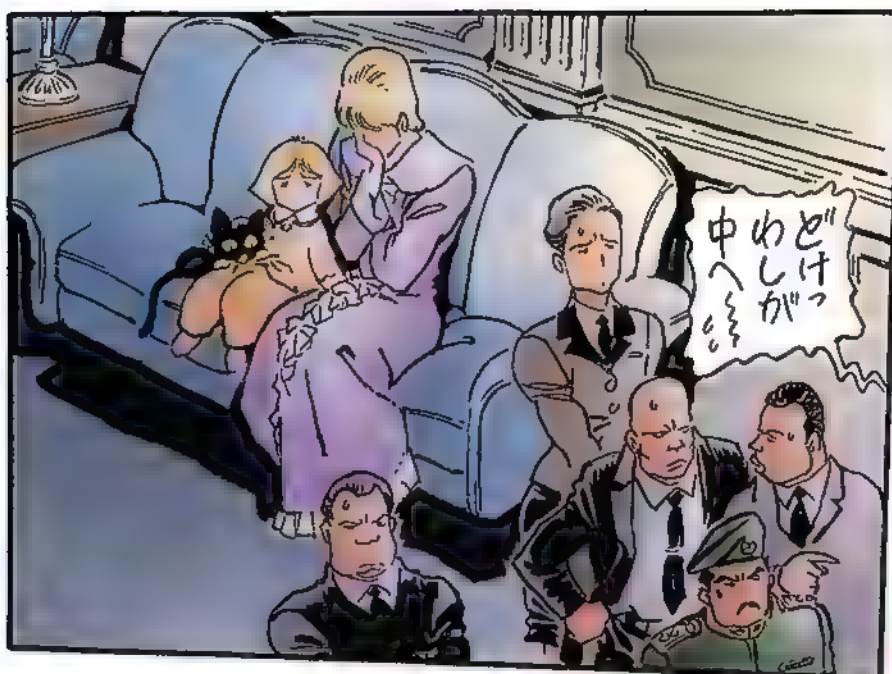
だめだ!

畏に  
きまつとる!

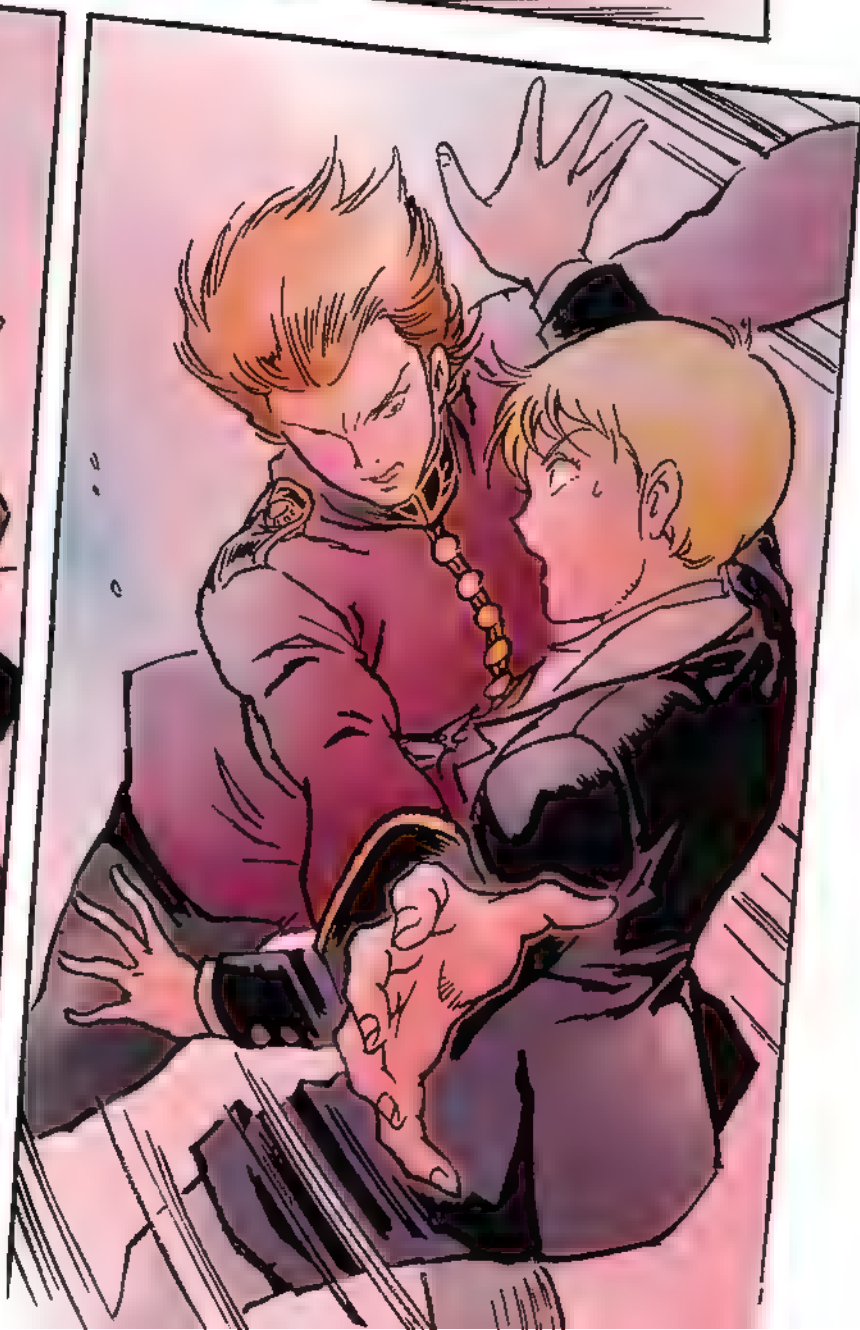
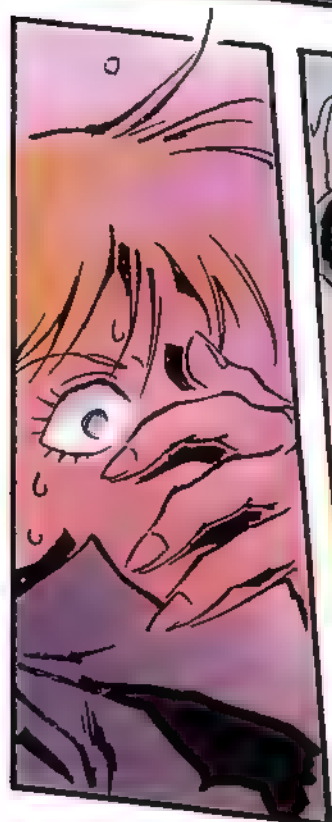
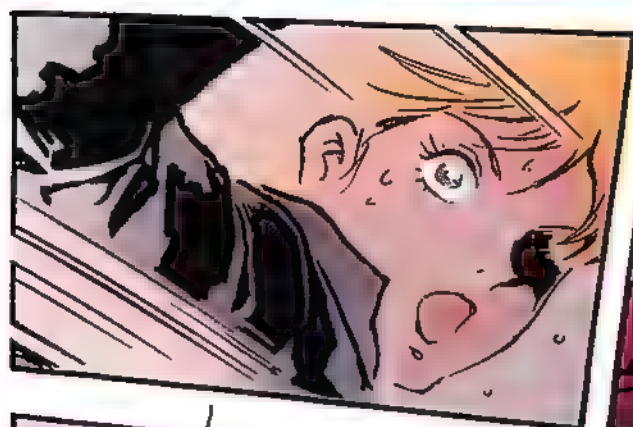
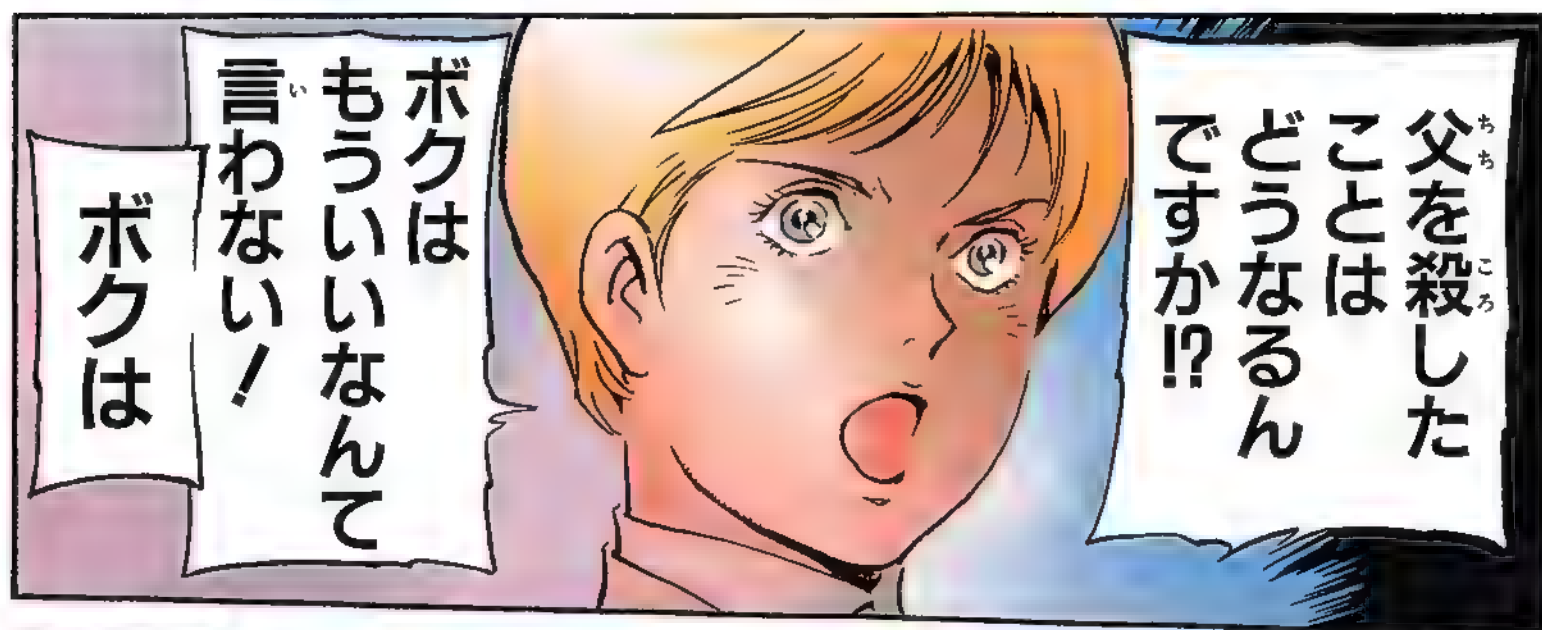
そんなことは  
いかん!



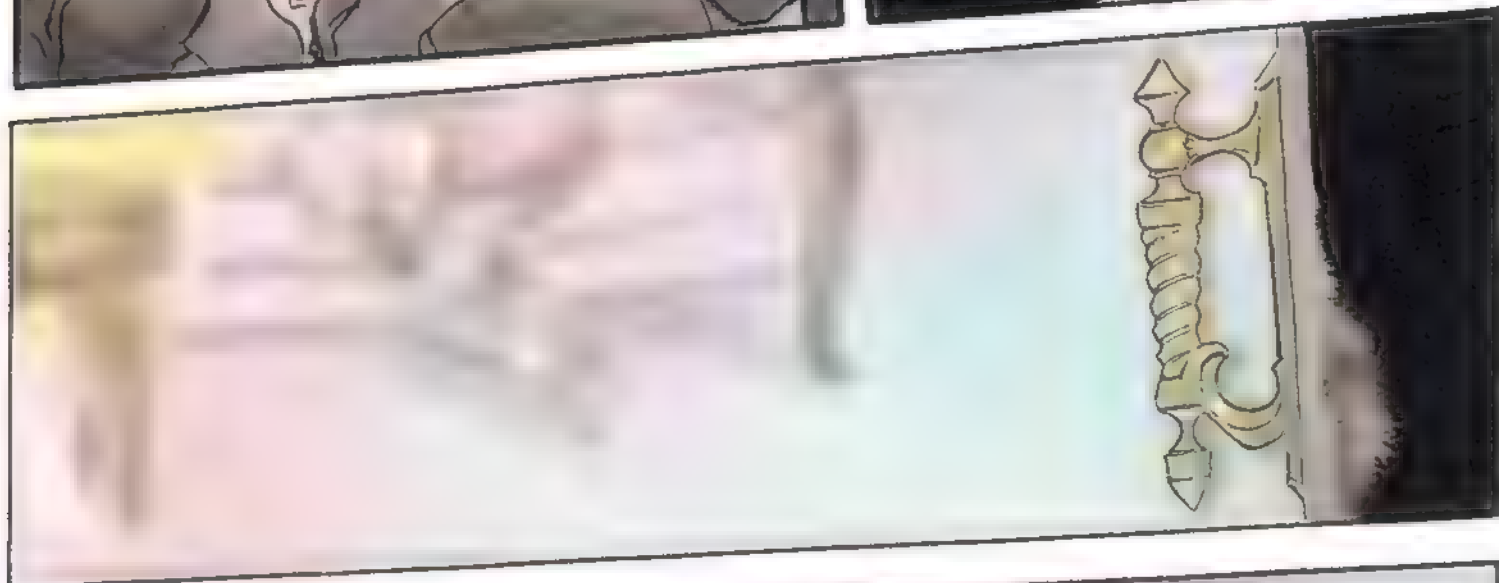
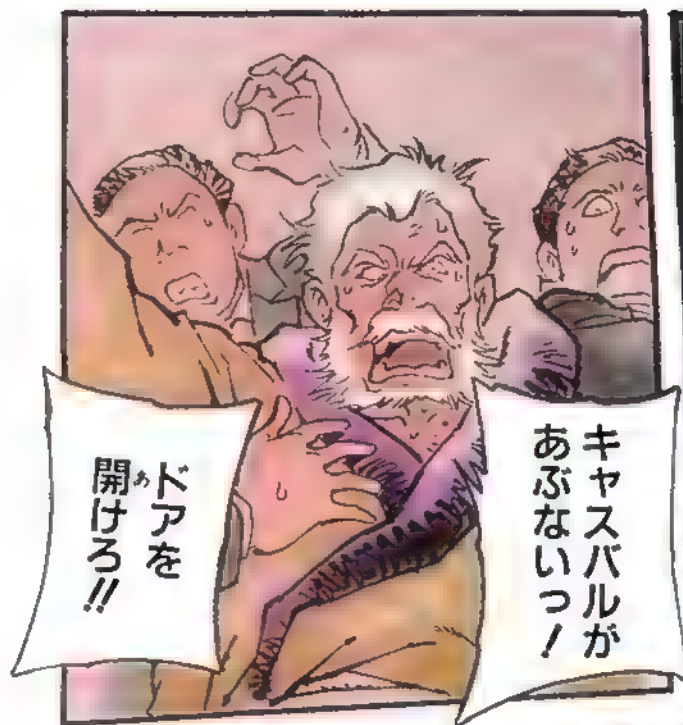










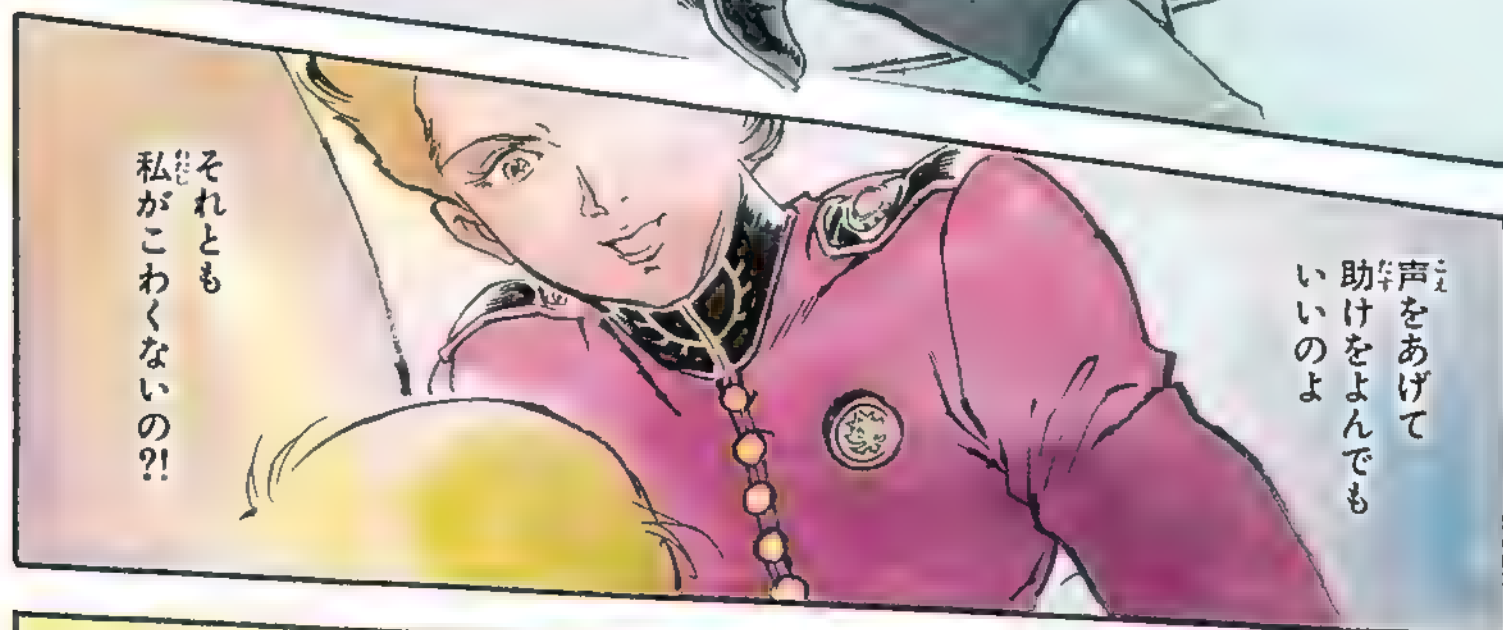






なぜ今  
声をあげな  
かったの?!

声をあげる  
だろうと  
思った…



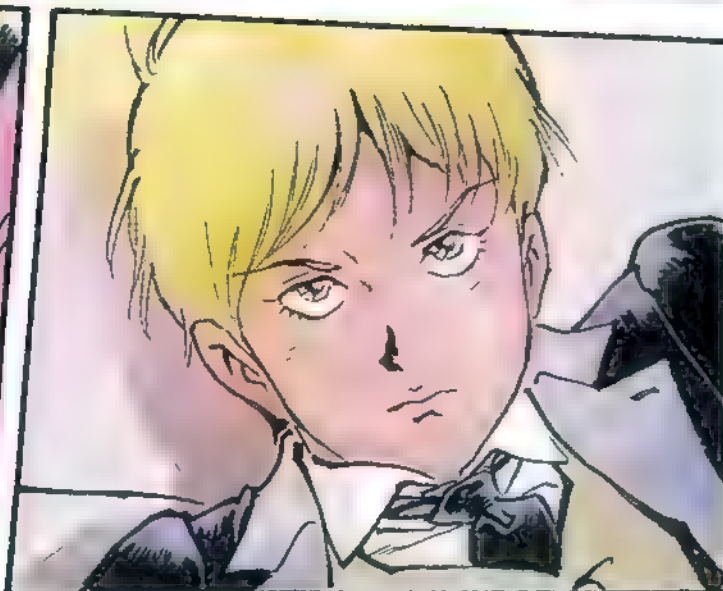
声をあげて  
助けをよんでも  
いいのよ

それとも  
私がこわくないの?!

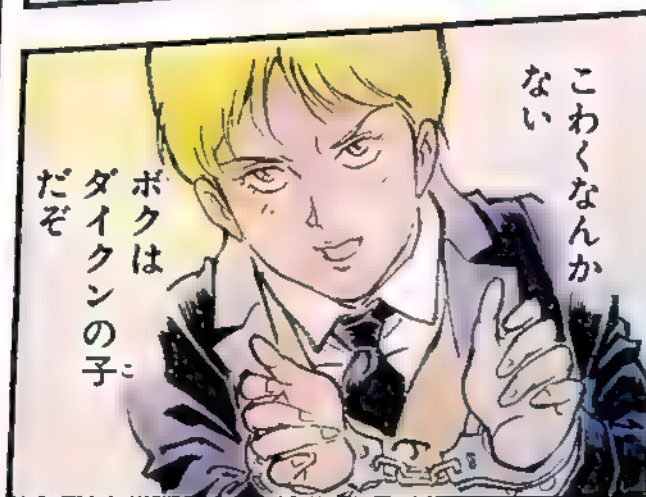
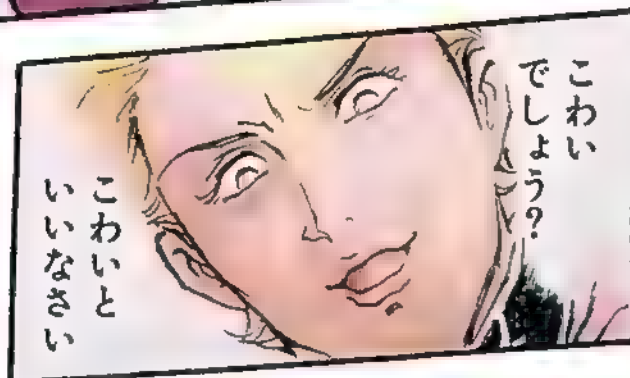
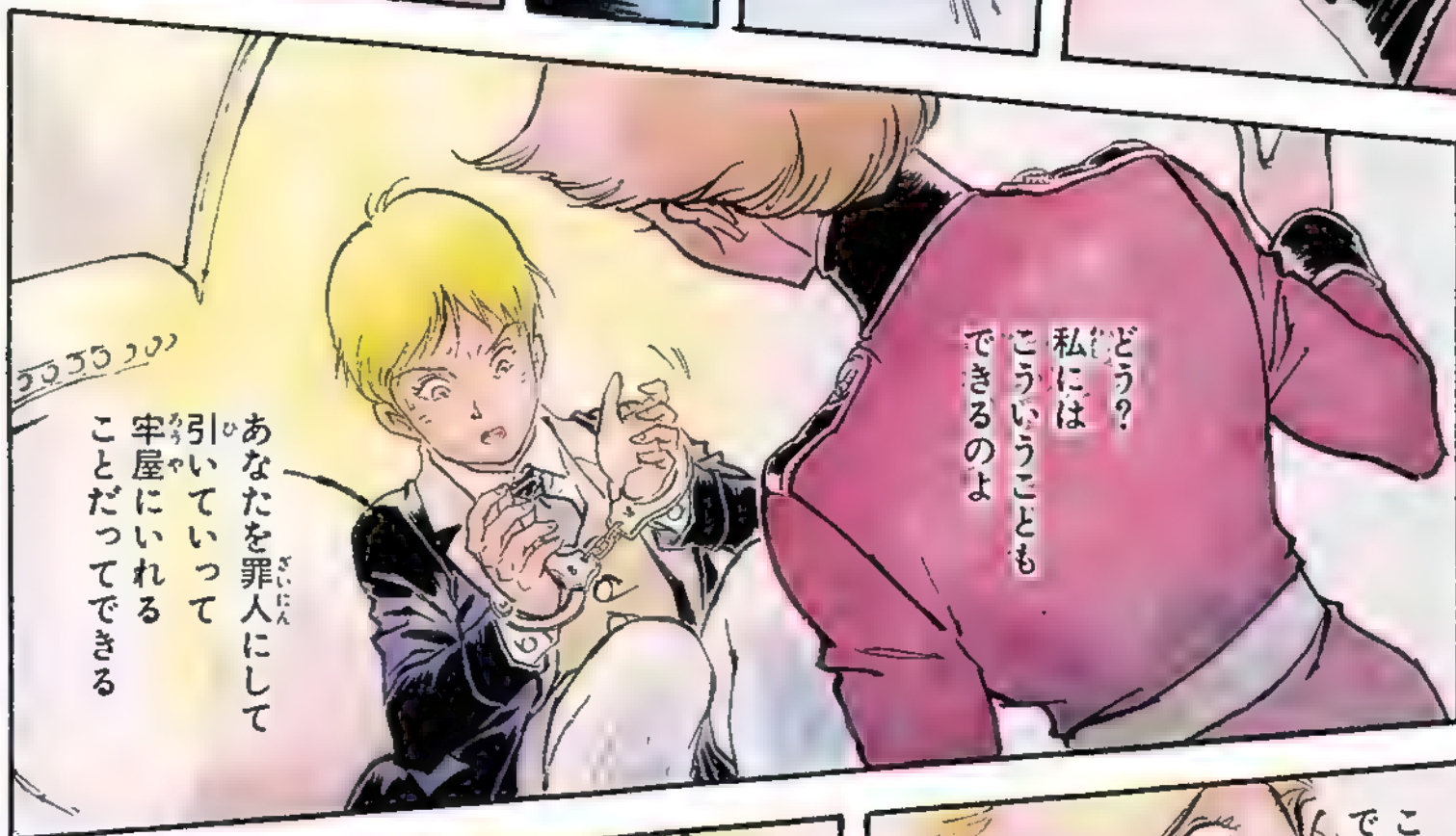
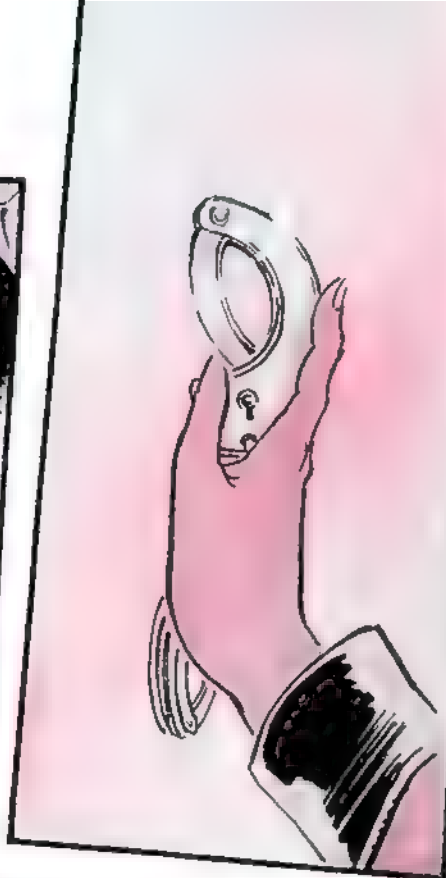
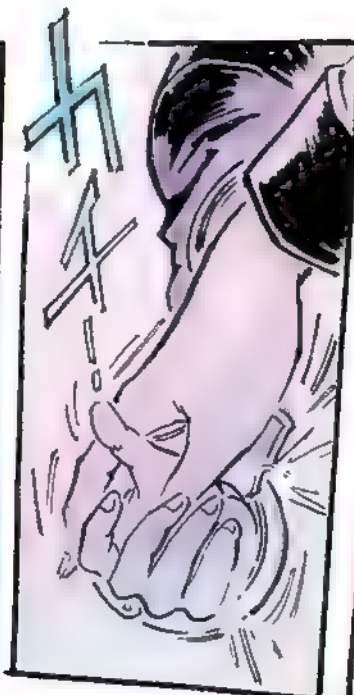
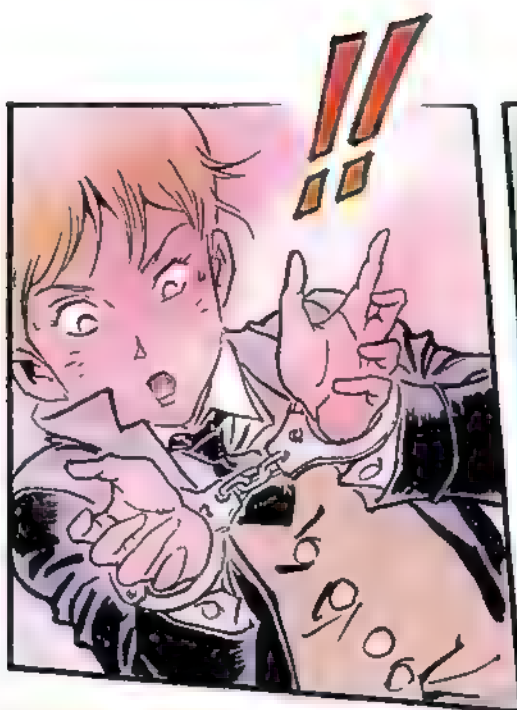


それは  
ちがうのよ  
キャスバル坊や

誰も  
自分には  
ひどいことを  
しないと  
思っ  
てるのなら









……  
でもボクは

ジオン・ズム・  
ダイクンの子だ

おび  
大きくなって  
すぐにまた

デギンや  
あなたたちを  
従<sup>したが</sup>えるんだ！

キャスバル・レム・  
ダイクンが命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>する！

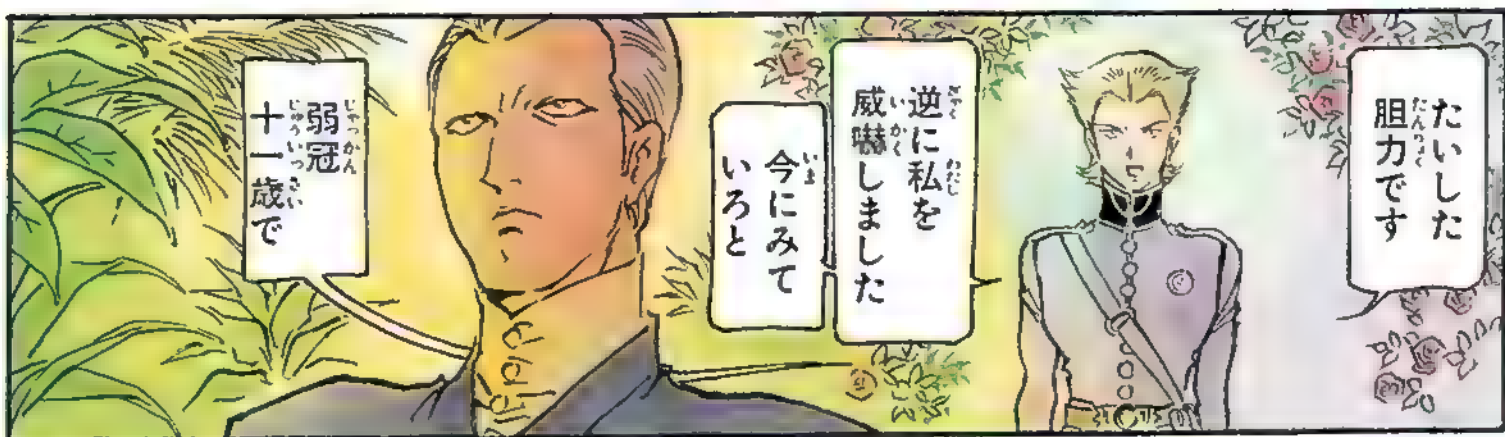
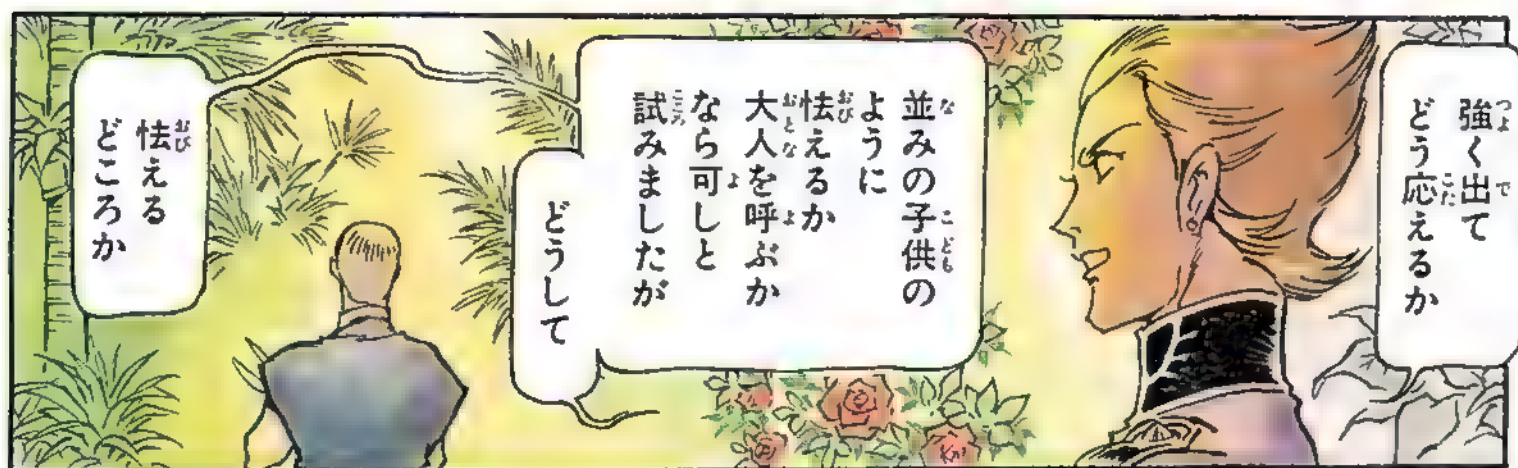
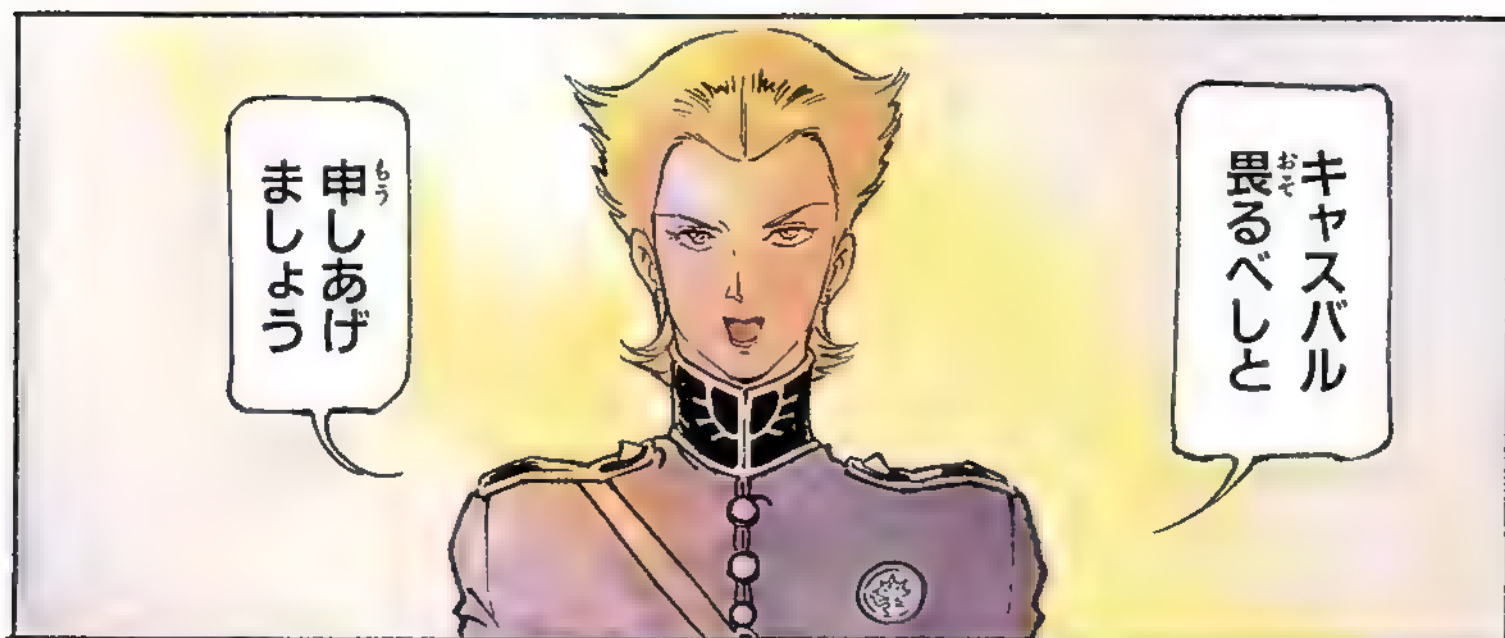
これを  
はずせ！！



シャア・セイラ編・前

SECTION  
III









まるで

この私に命令  
するようない  
物言いだな

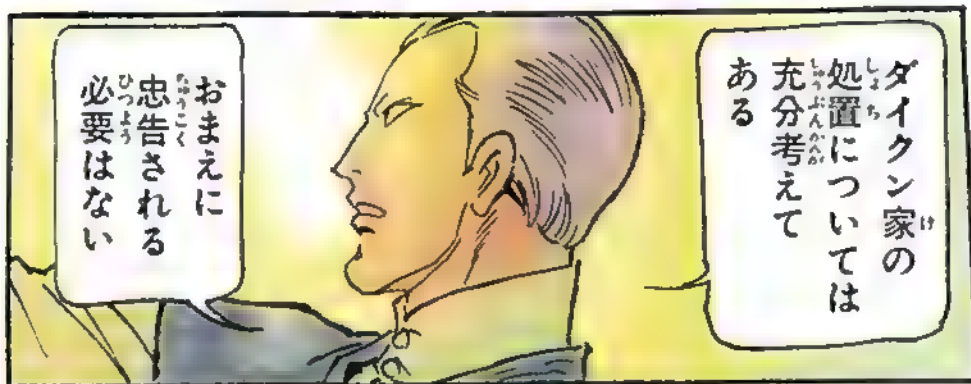
キシリア



早めに亡き者に  
するか

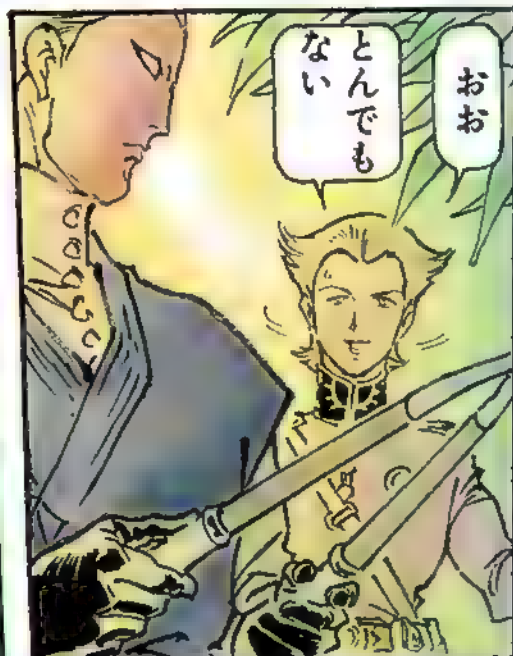
それとも

永久にこの  
サイド3から  
放逐するか



おまえに  
忠告される  
必要はない

ダイクン家の  
処置については  
充分考えて  
ある



おお

とんでも  
ない



余計なことを  
するな

とりわけ今は  
世の中全体が  
我々の出方を  
注視している時だ



あの子らの  
ことでは一度

しくじり  
しました  
もの

サスロ兄に  
しかられました  
ものね

せめてもの  
失点回復の  
提案のつもり  
ですわ



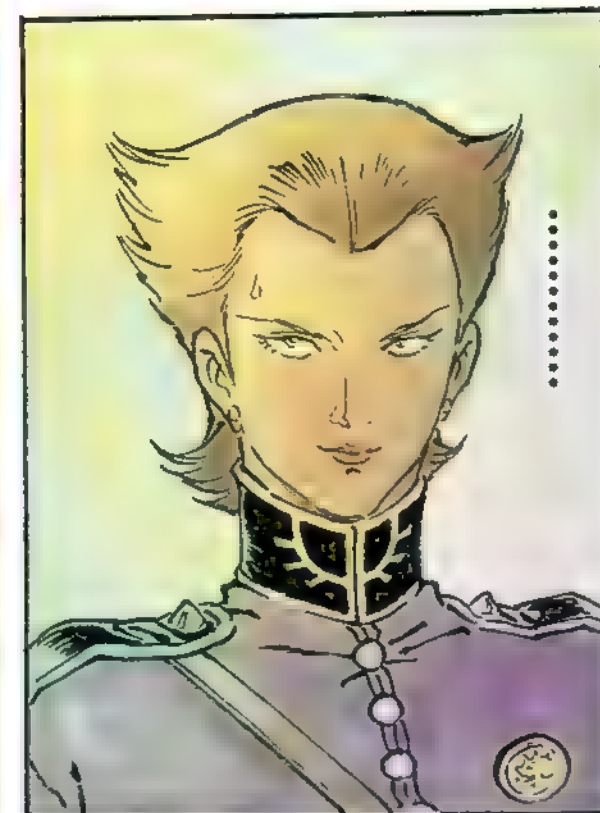
ダイクン邸



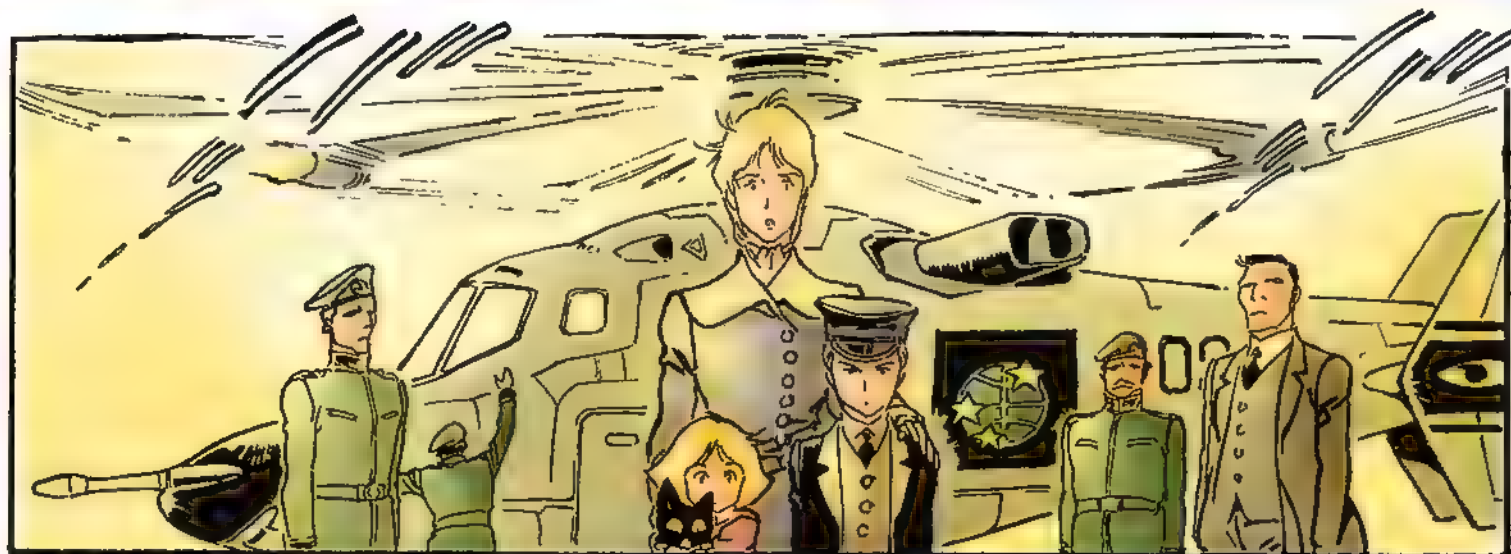
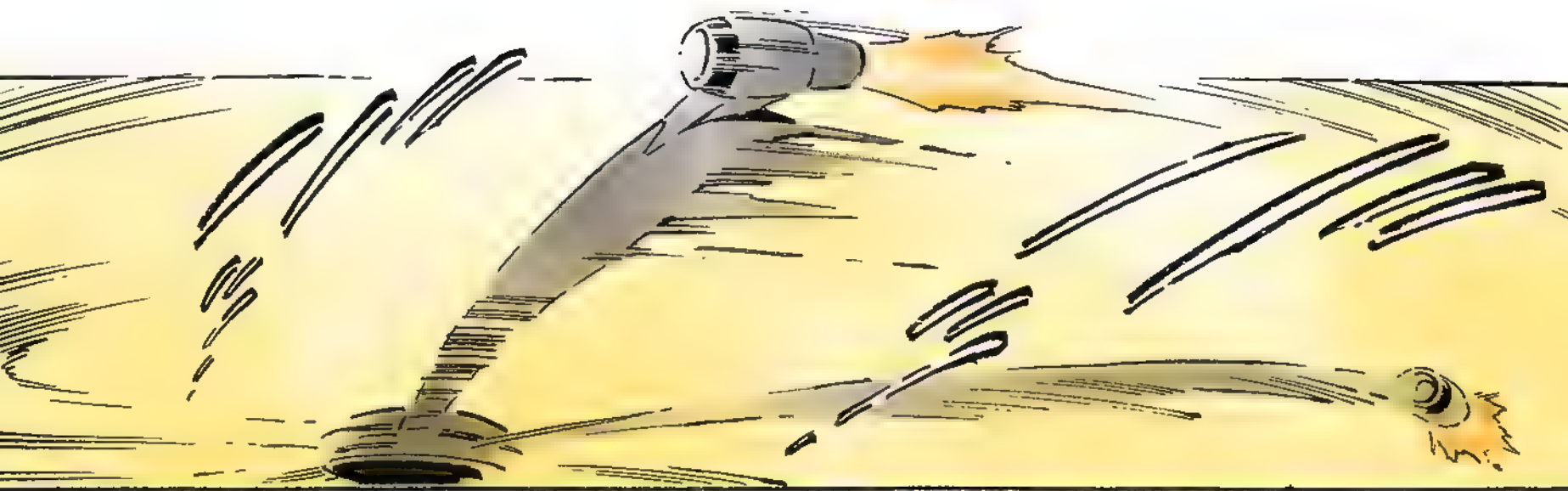
あらぬ噂を  
たてられる

それよりも

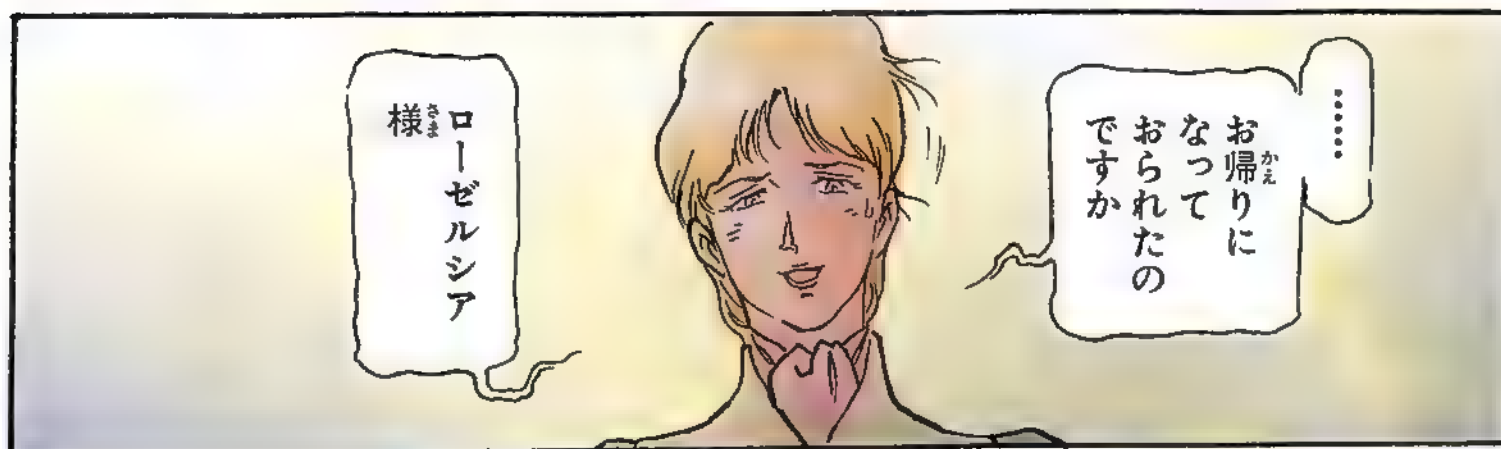
サスロの冥福でも  
祈ってやれ



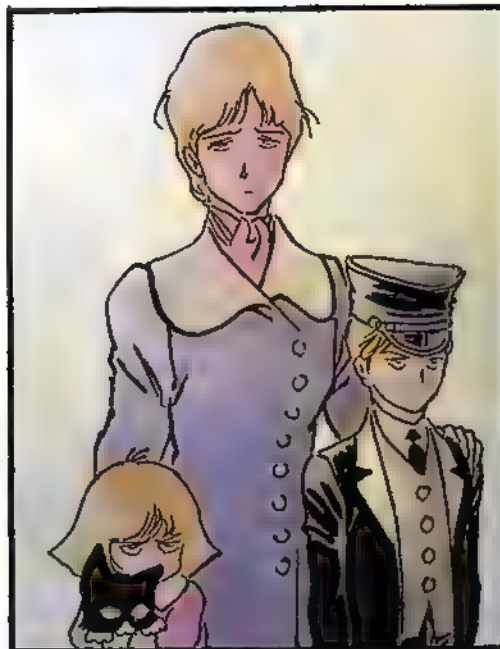
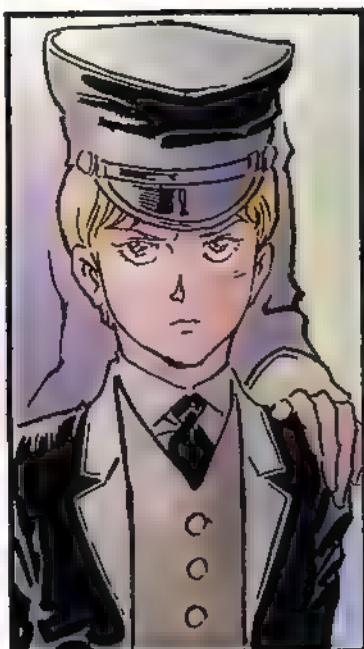
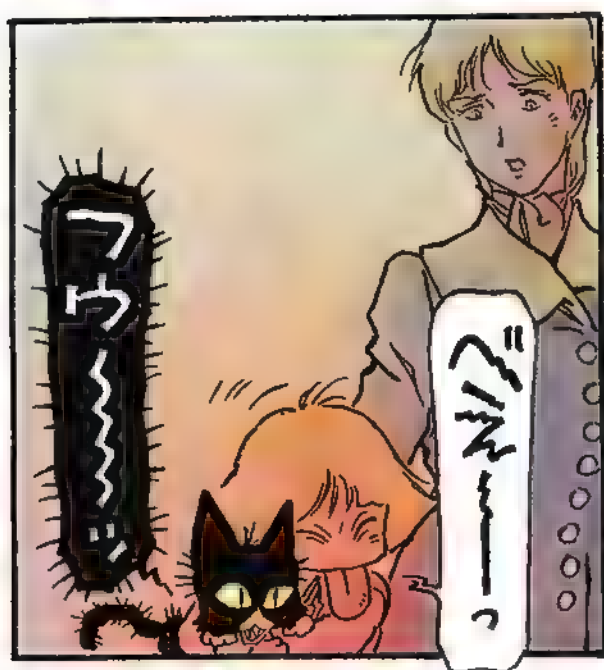
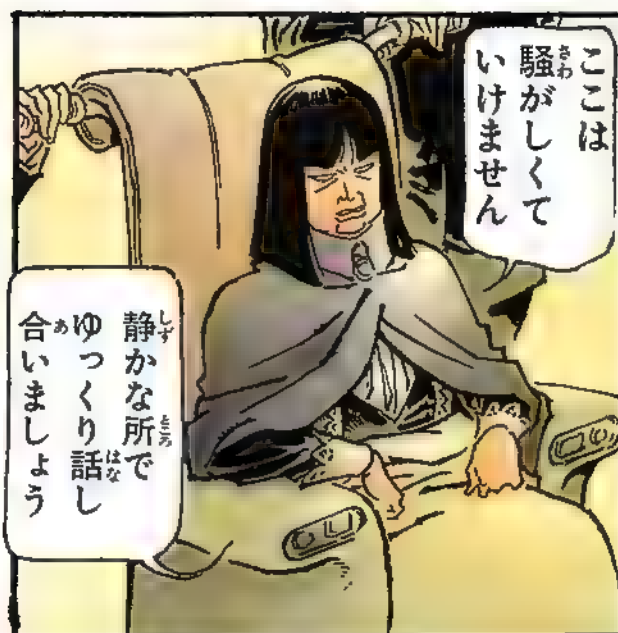




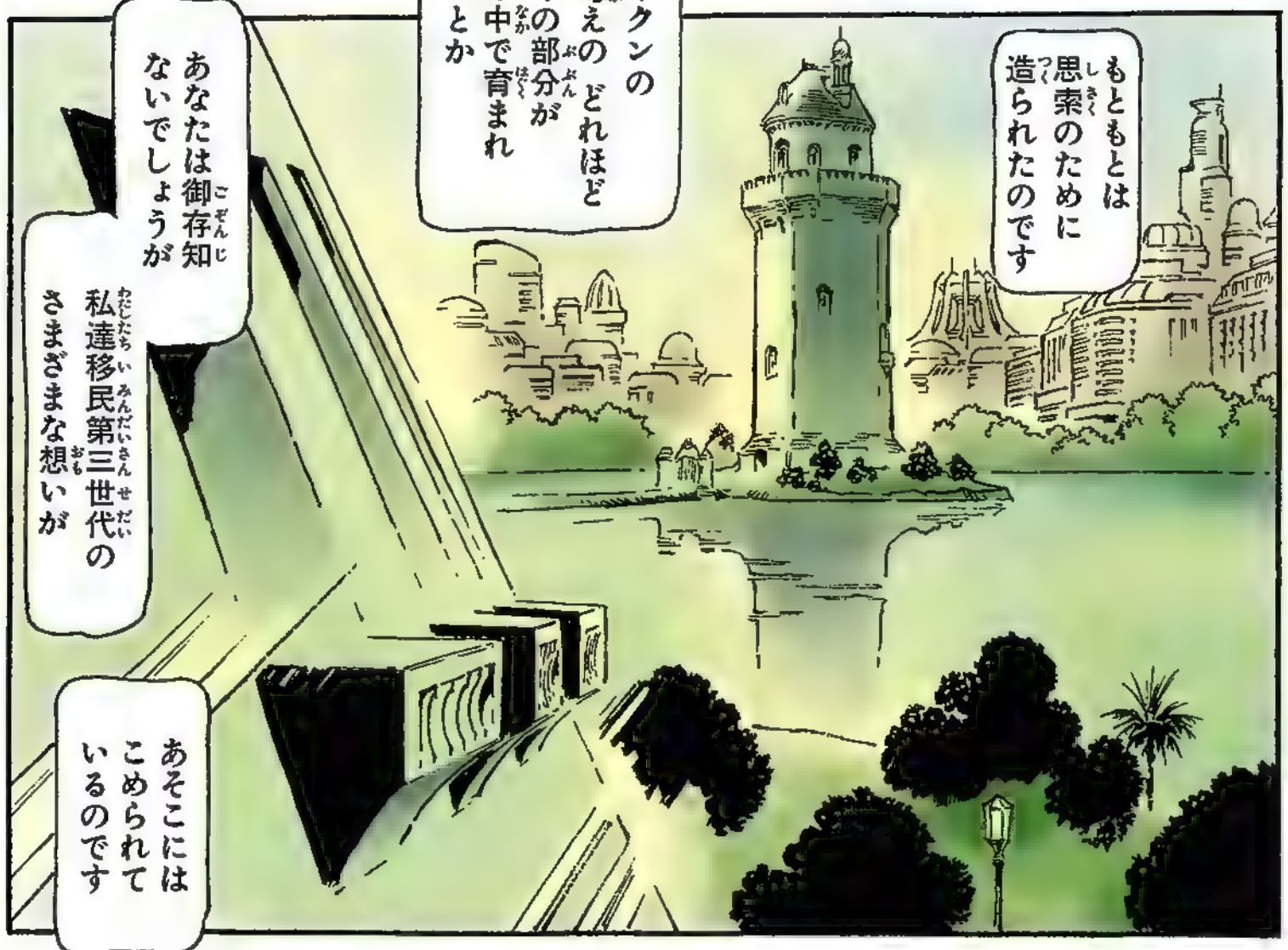
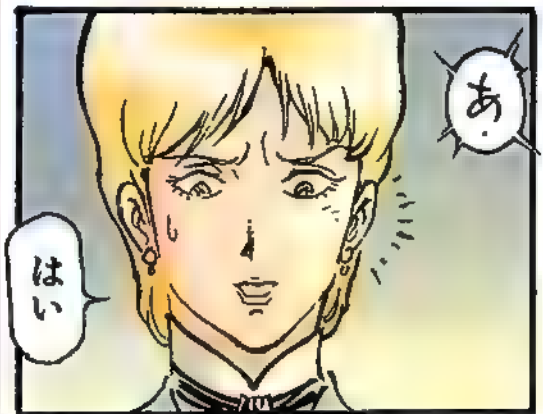
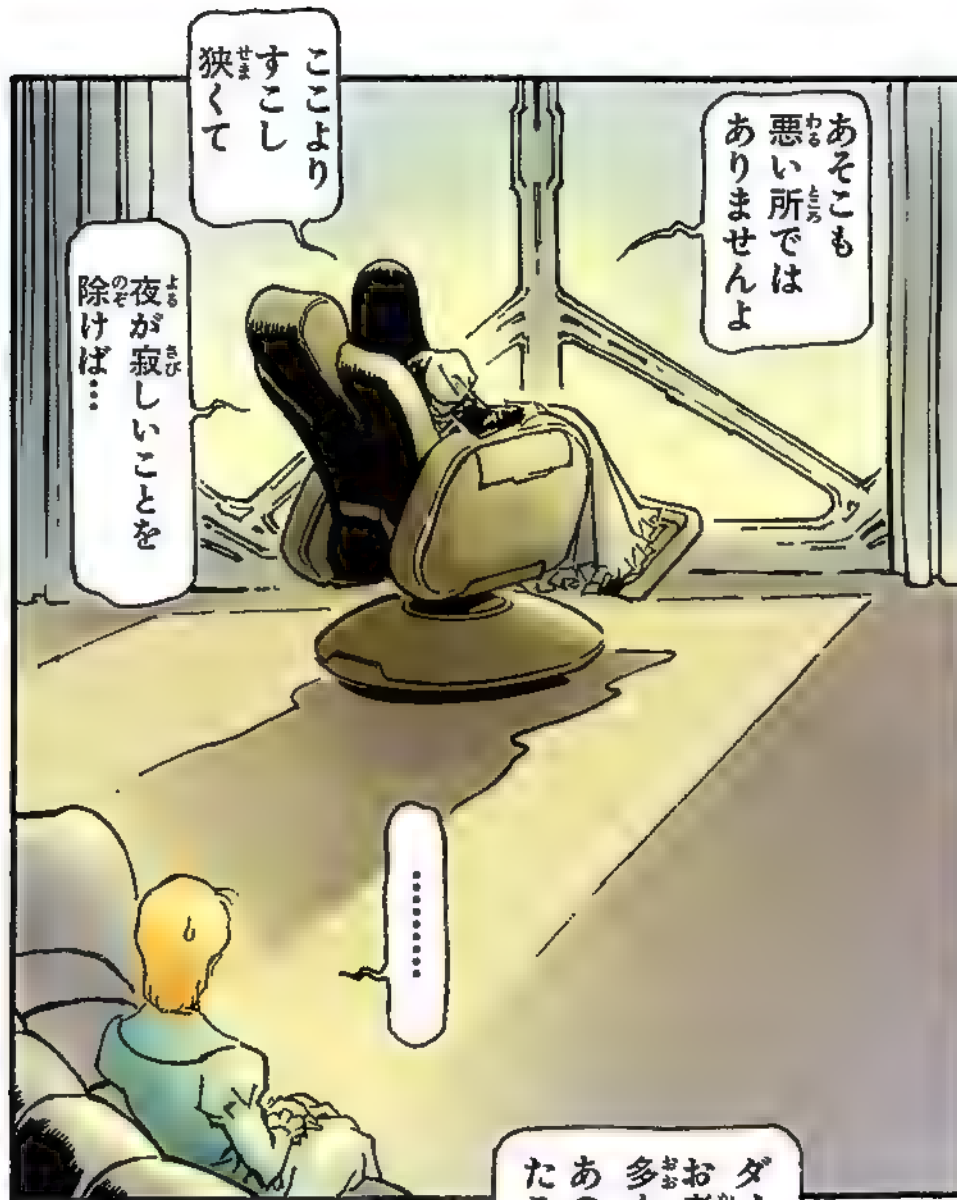








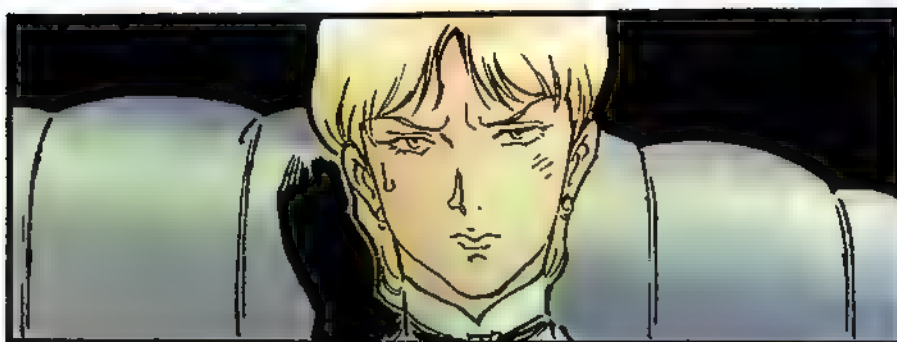
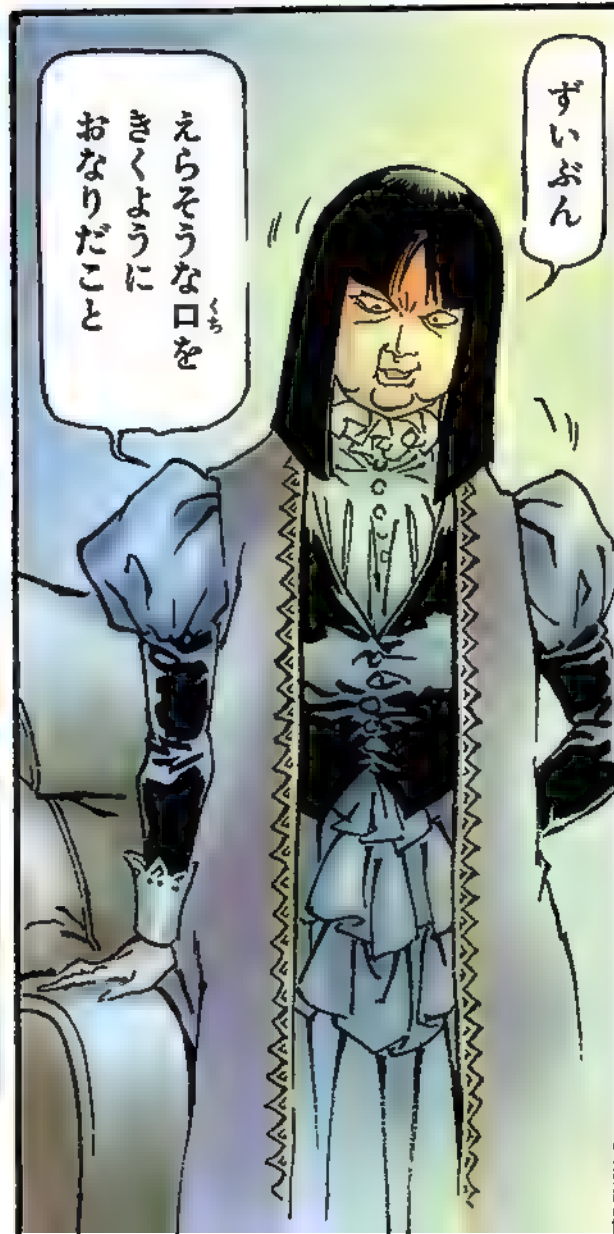
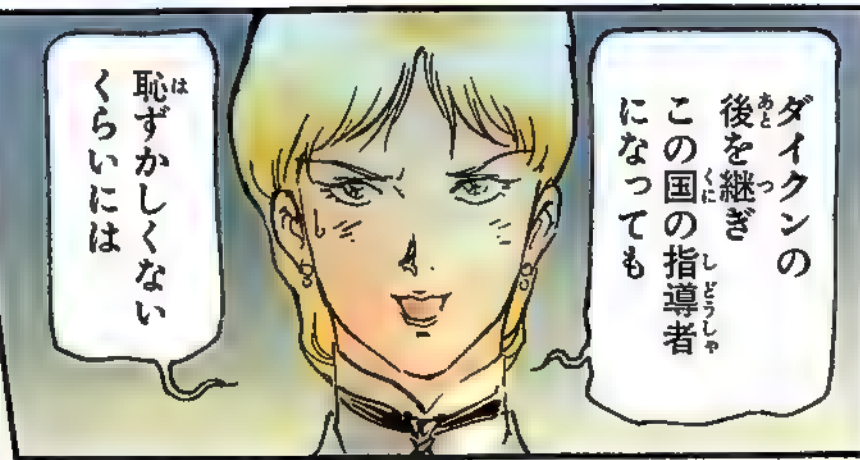
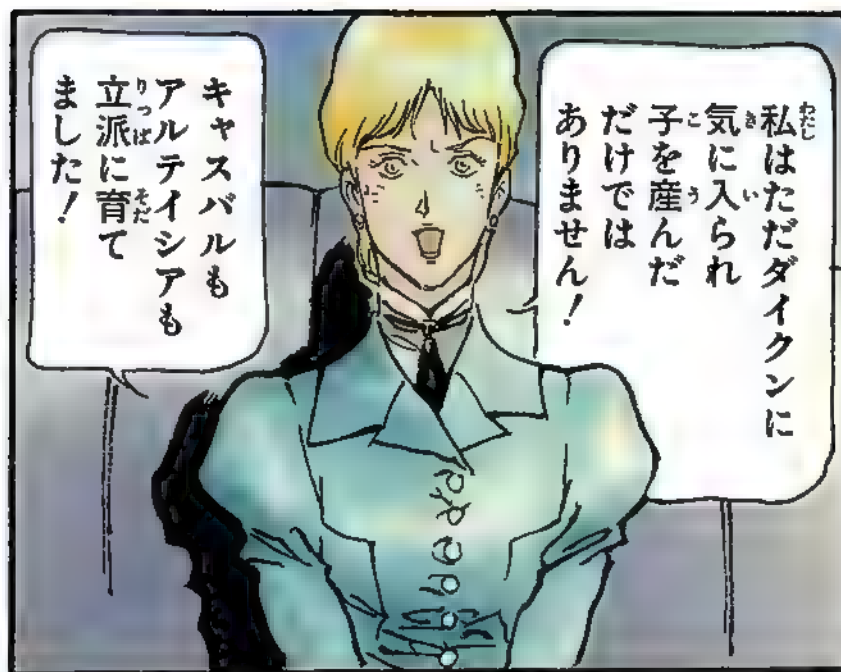












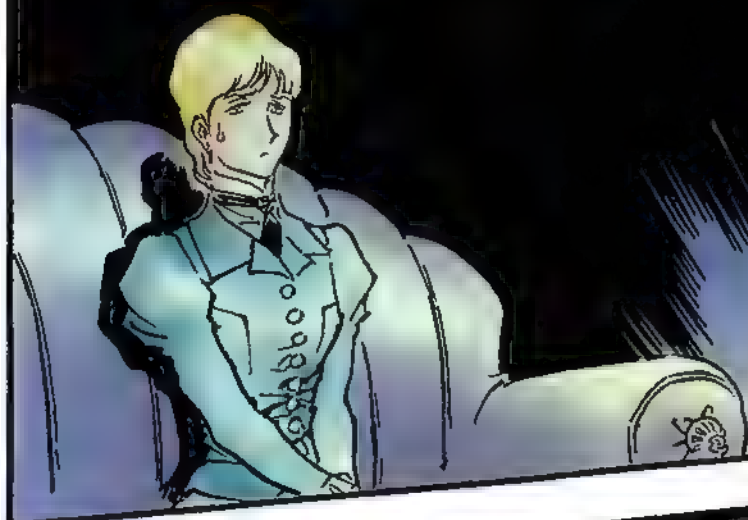


言ってごらん  
なさいよっ！

スペースノイドは  
どう変わって  
きたか！

アースノイド  
地球人と  
どこがどう  
ちがうか！

ひと  
人はなぜ  
地球に住み  
続けては  
いけないのか！



答えられ  
まいさ…

あんたに  
なんか  
判るわけが  
ない…

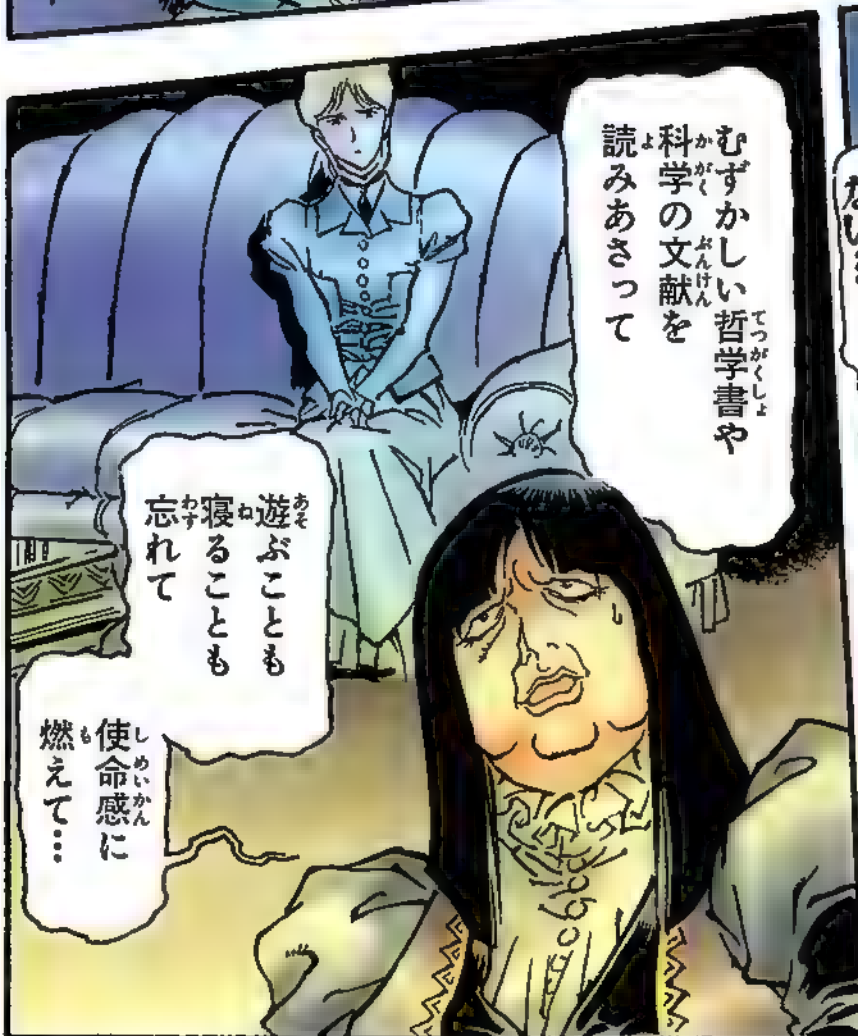
むずかしい哲学書や  
科学の文献を  
読みあさって

遊ぶことも  
寝ることも  
忘れて

使命感に  
燃えて…

若かったころ  
ダイクンを囲んで  
私や仲間達は  
よく議論したわ

あの頃が  
なつかしい…







ダイクンに

私のできることは  
なんでもしてあげた  
……

ただひとつ  
できなかったのは  
子供をつくる  
ことだけ……



でも

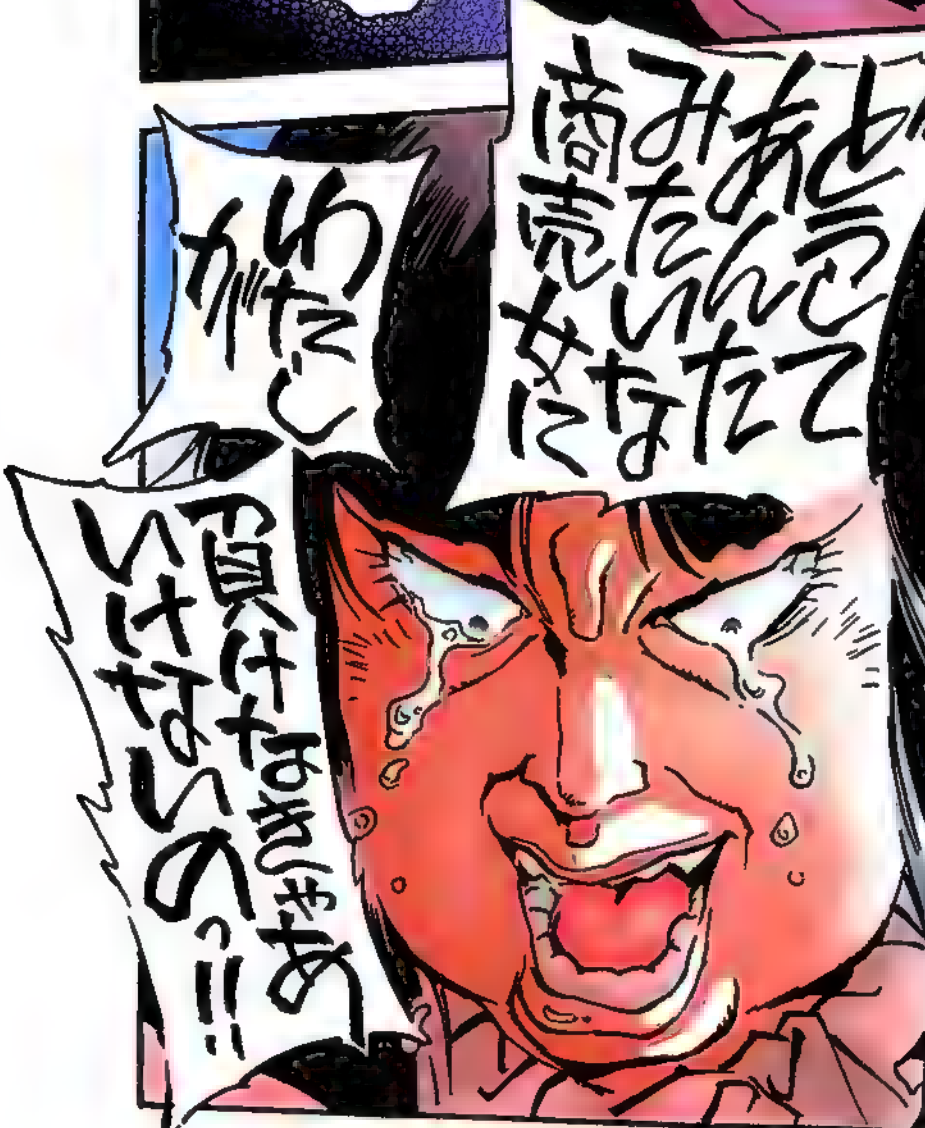
それが  
なんなのっ！

子供ぐらい！！



子供が

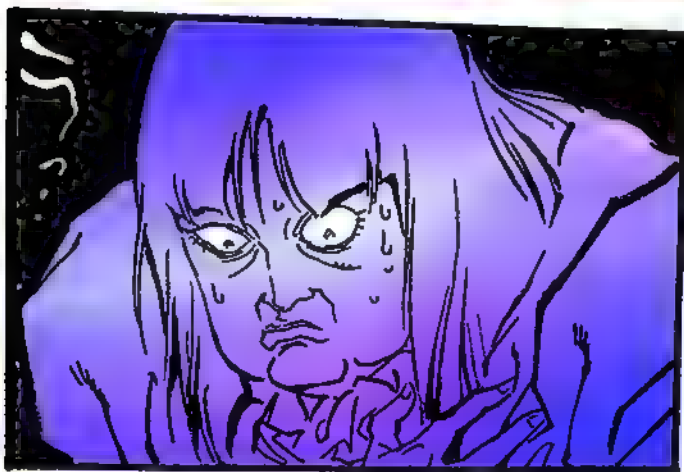
出来な  
かったこと  
ぐらいでっ



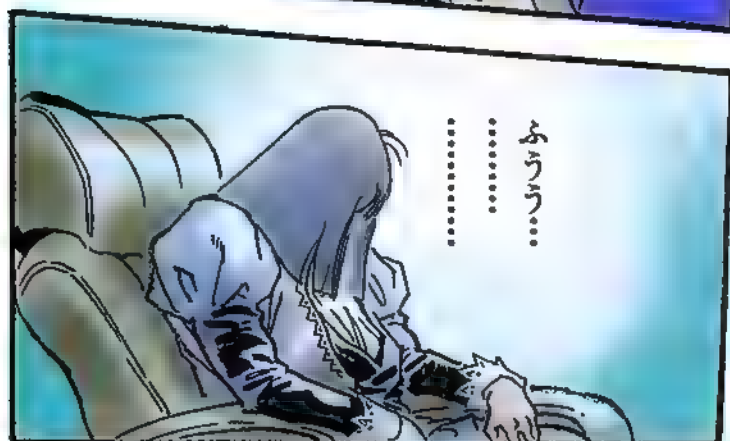
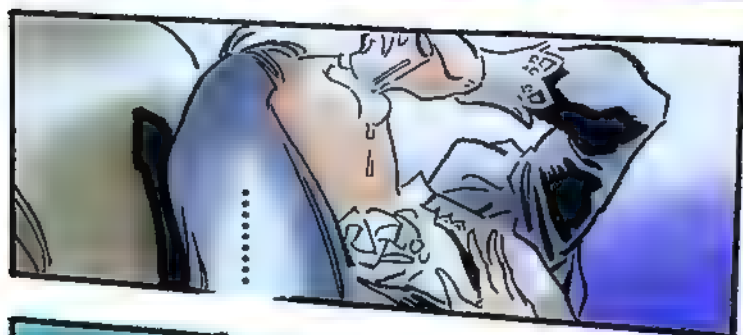
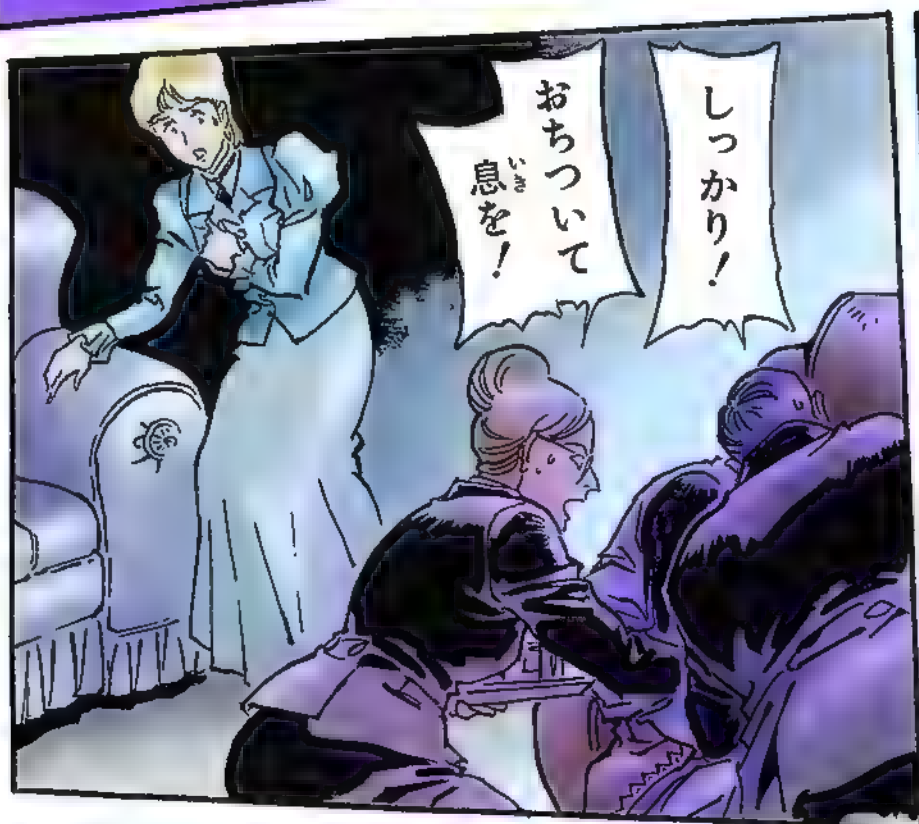
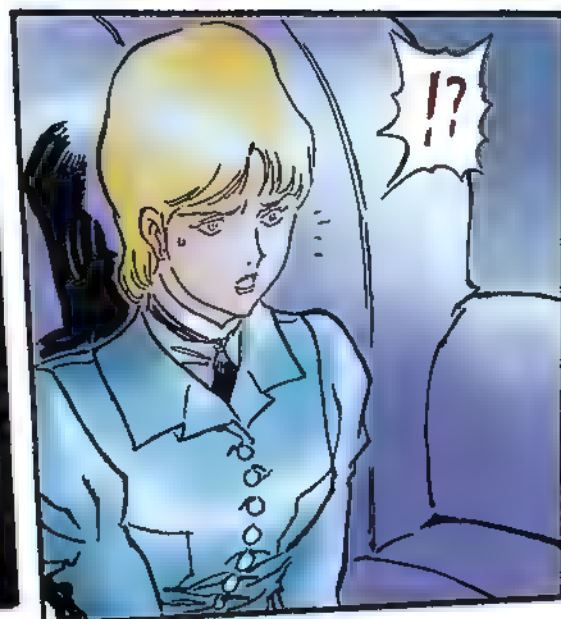
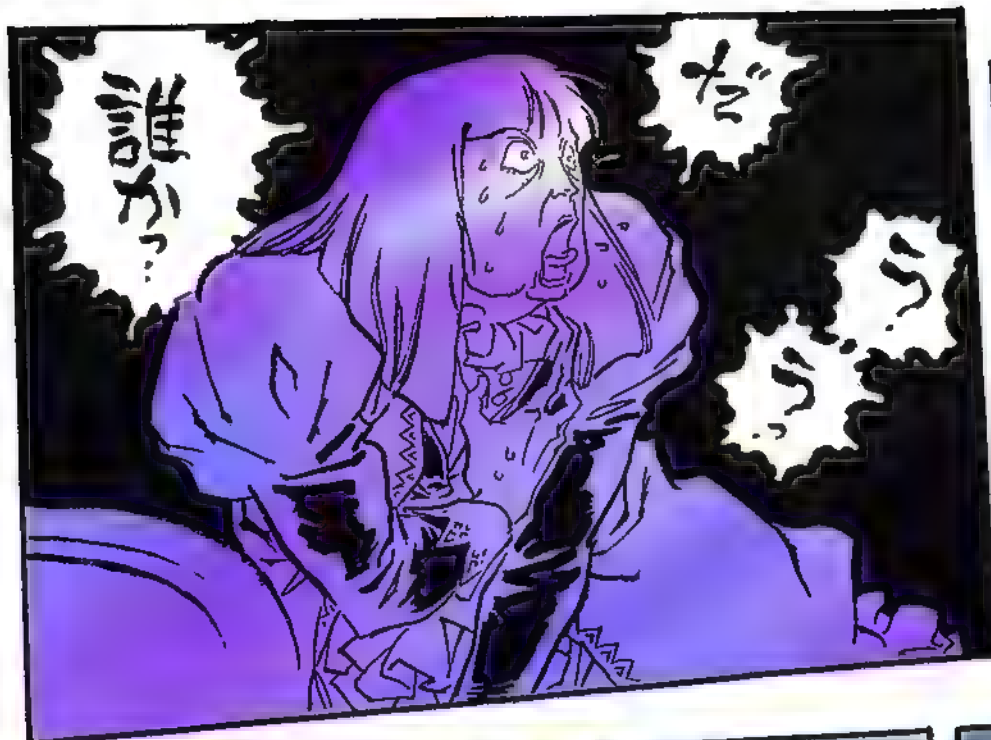
みあんて  
売たいな  
売女に

めたし  
かたし

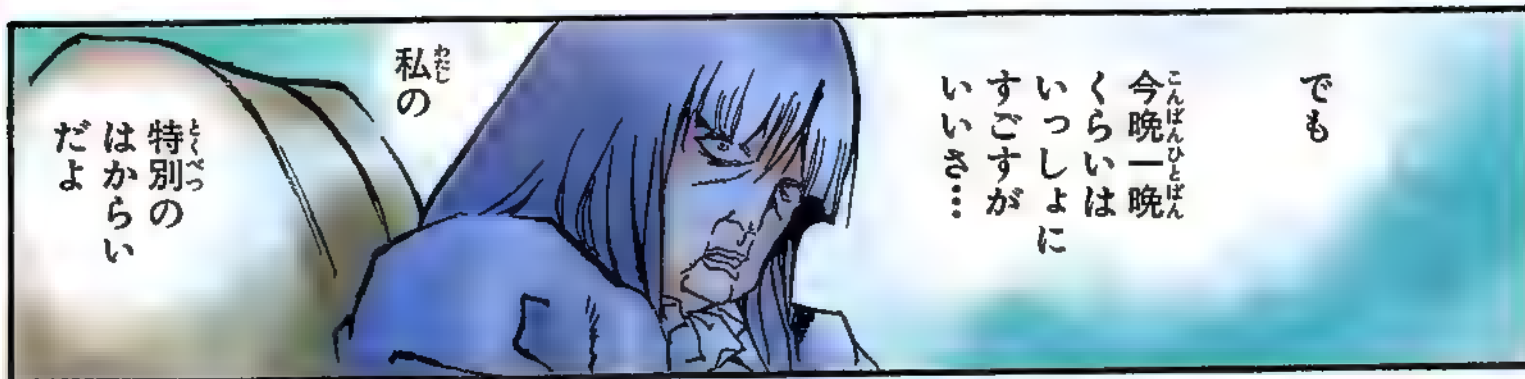
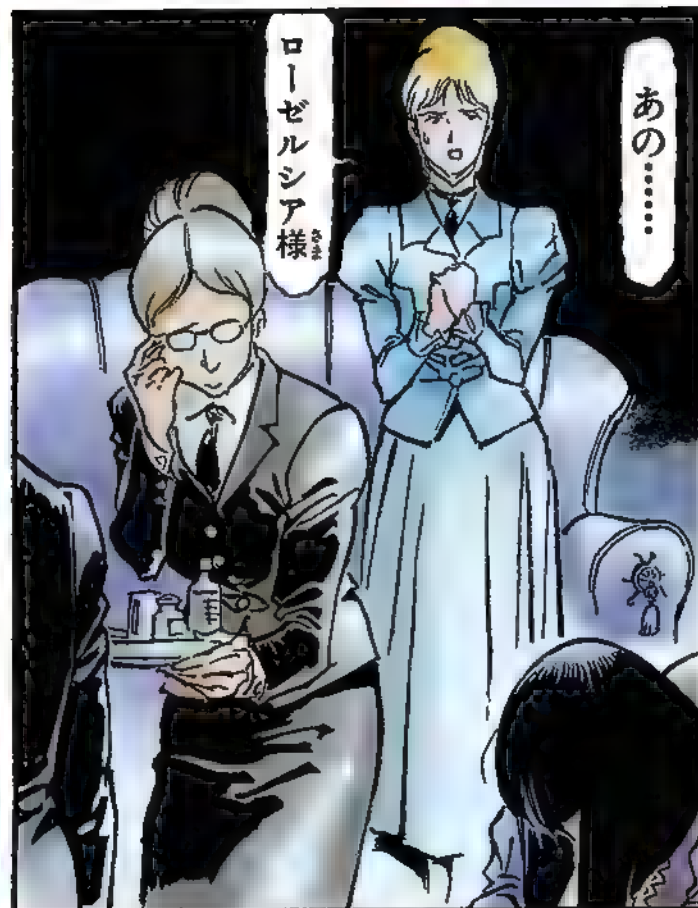
いふたの  
いふたの  
いふたの



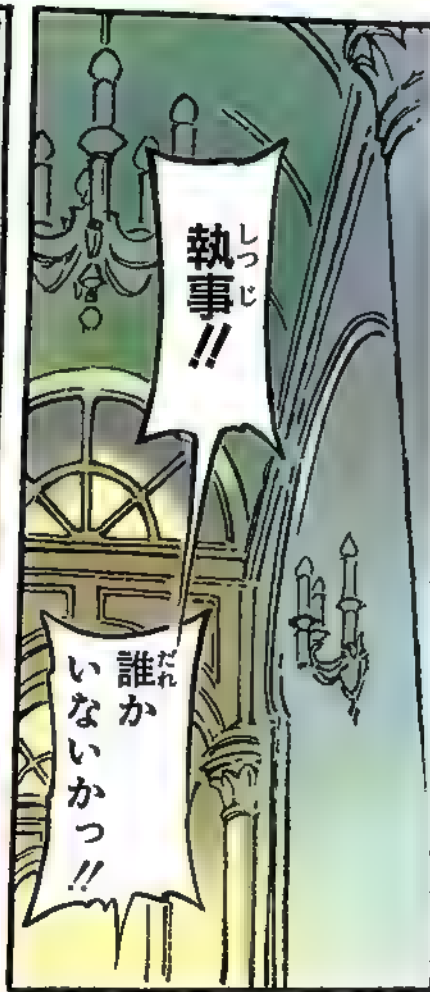
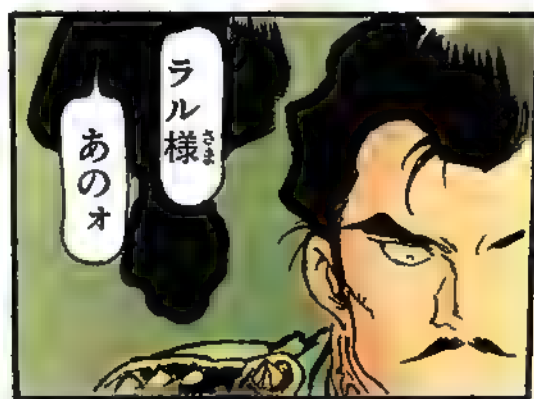
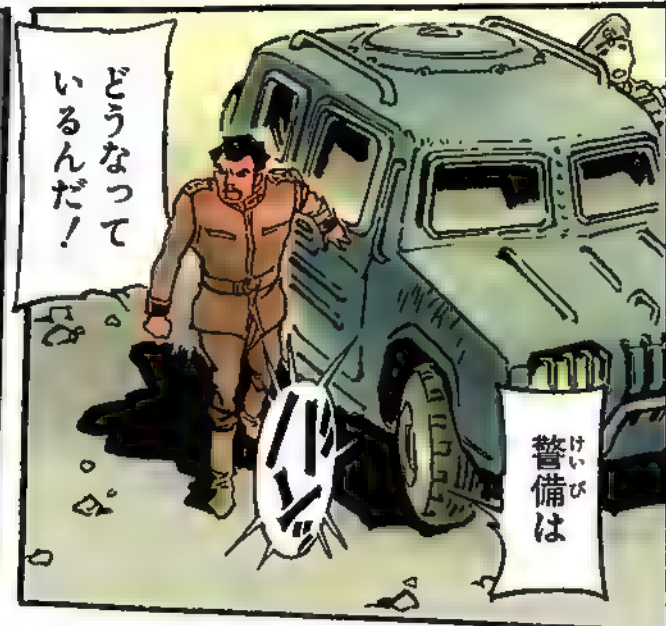
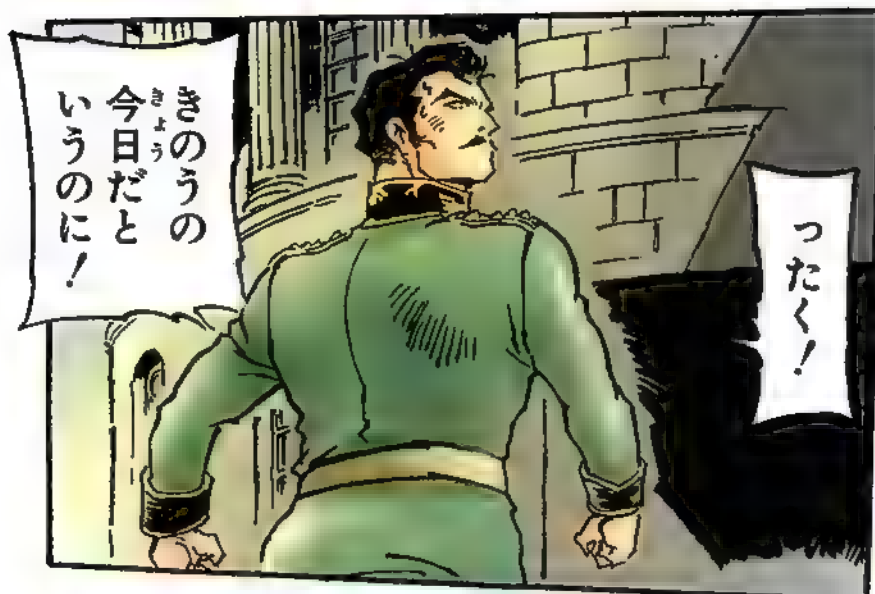
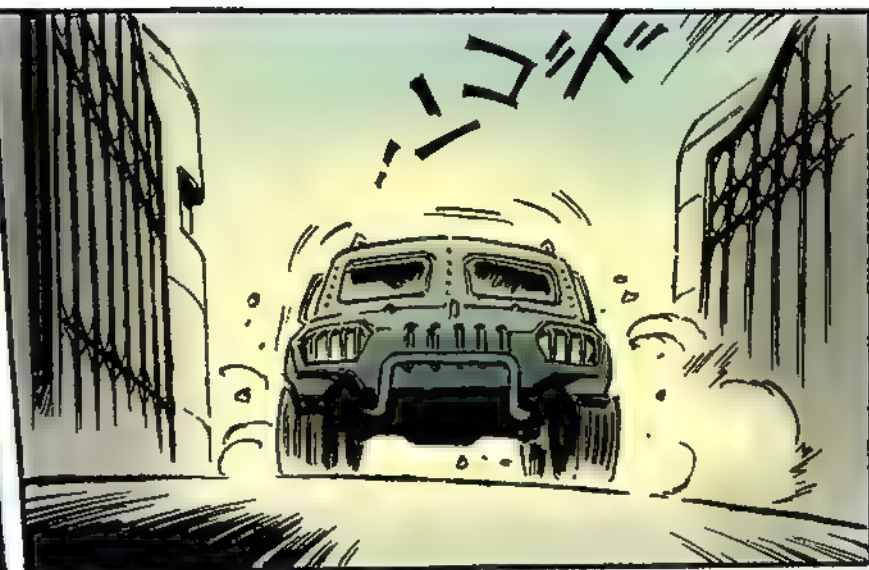










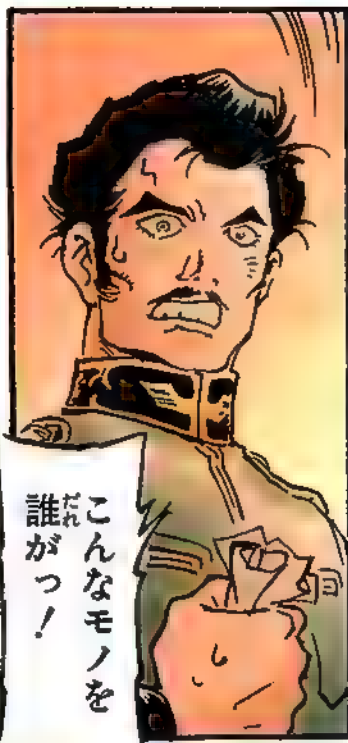






私に

託し  
ましようや?



こんなモノを  
誰がっ!



なにいい

母子が一緒  
なのは今宵  
限り...

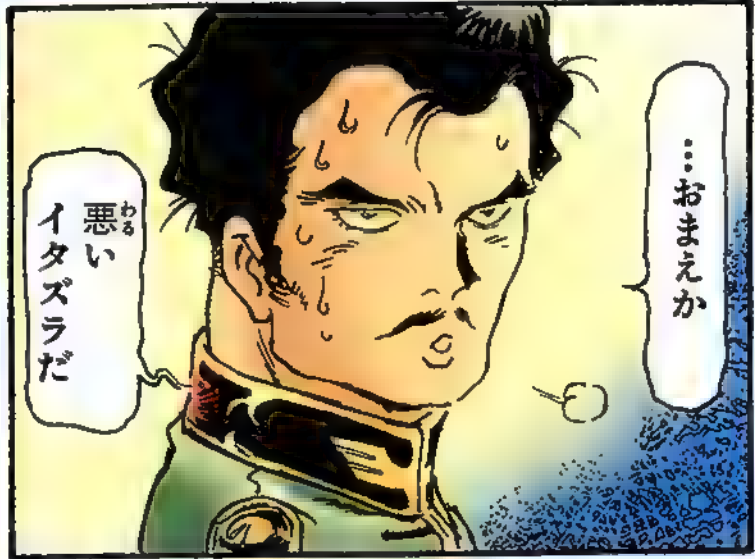
「アストライアが  
塔に入った」

決行する  
なら今...



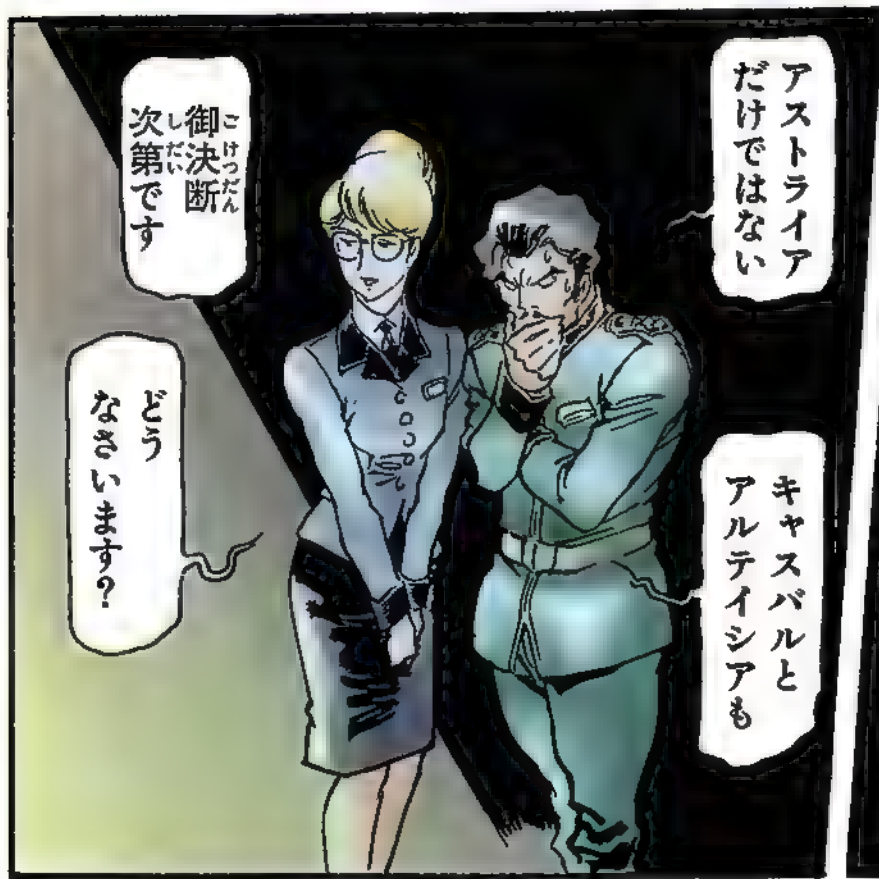
変装は私の  
ほうが

少し上手の  
ようですわネ



...おまえか

悪い  
イタズラだ



アストライア  
だけではない

キヤスバルと  
アルテイシアも

御決断  
次第です

どう  
なさいます?



情報はイタズラでは  
ございませんことよ

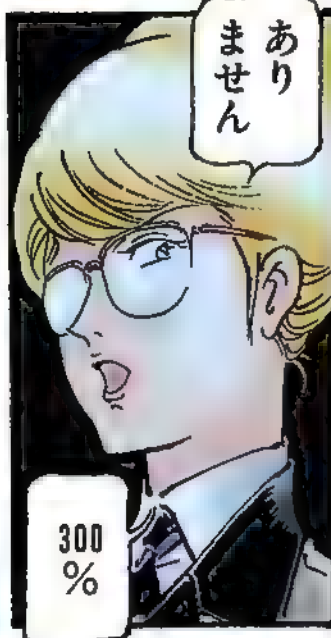
今夜が母子の  
別れです

連れ出すのは  
まず  
無理でしょう



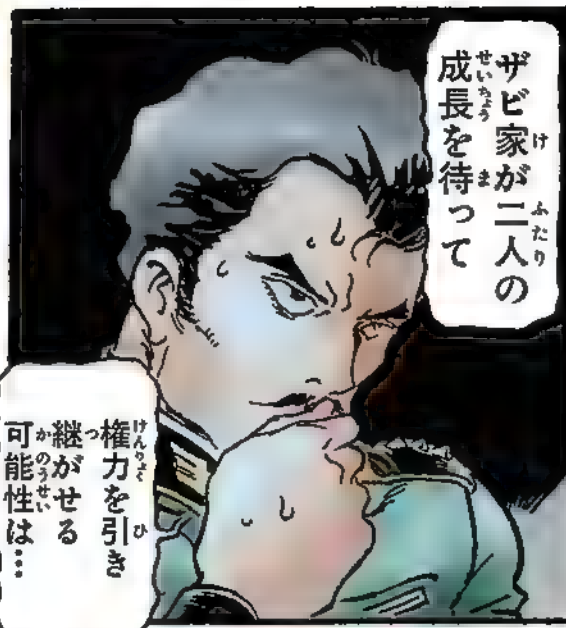


おなじように三百パーセントの成功の確率がなくてはやれぬことだが...



ありません

300%



ザビ家が二人の成長を待って

権力を引き継がせる可能性は...

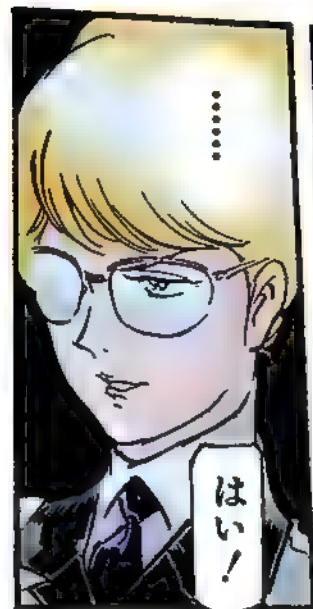


できるか?

ドッキングベイまで確実に運ぶことが...

大丈夫です

無敵の運搬手段があります



.....

はい!



問題はアストライアだが...

残酷なようですがそれがそれは

彼女自身が決めることです

確かめられるのか? それを



確か

だな?



なさいます?

ならばすぐに...



.....

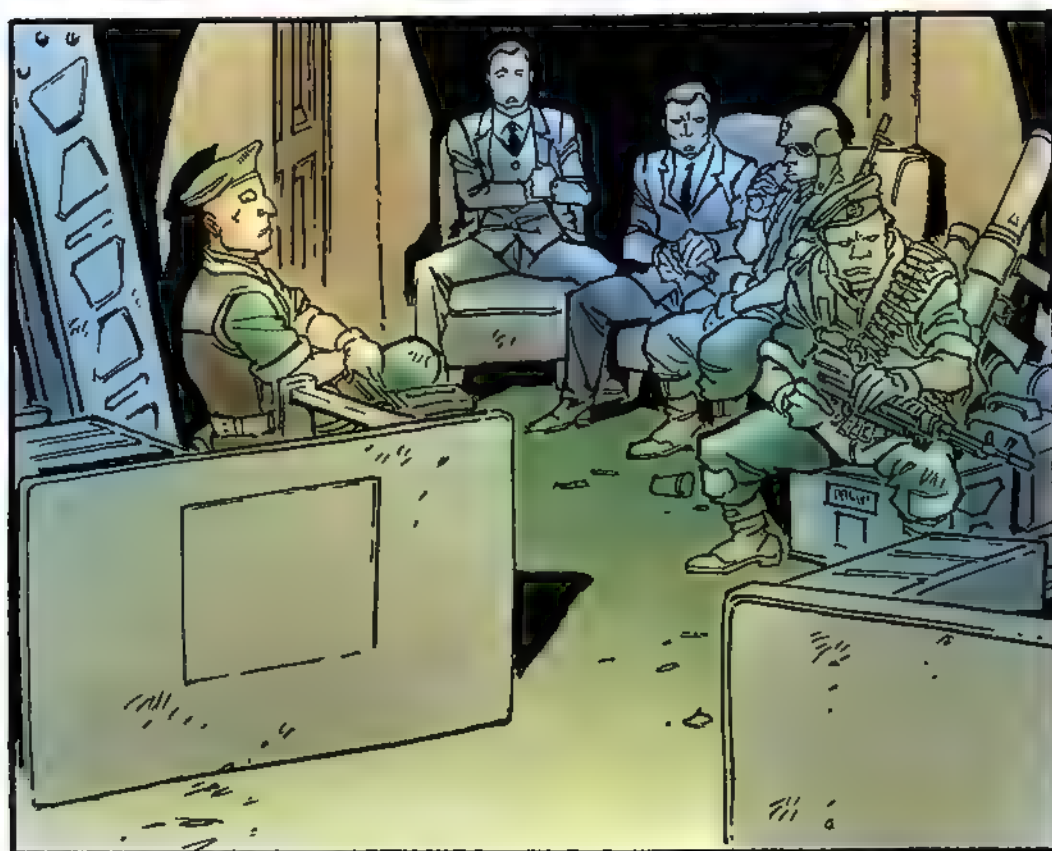
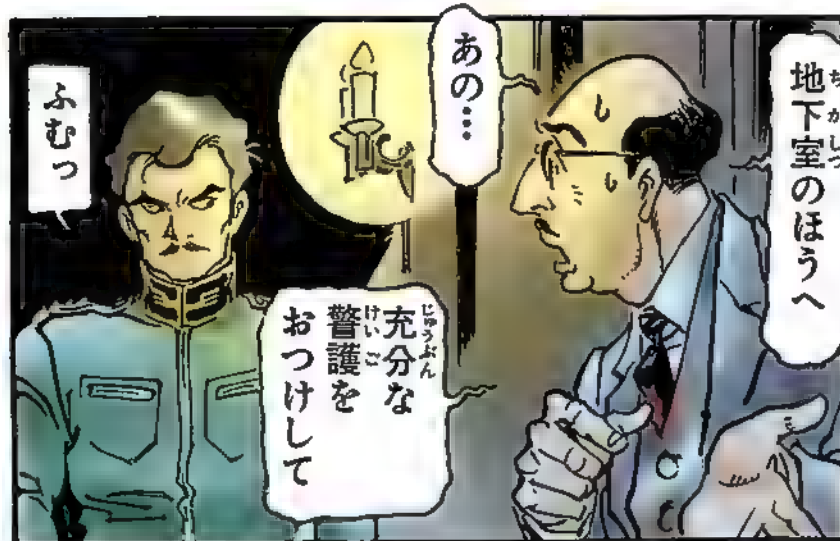
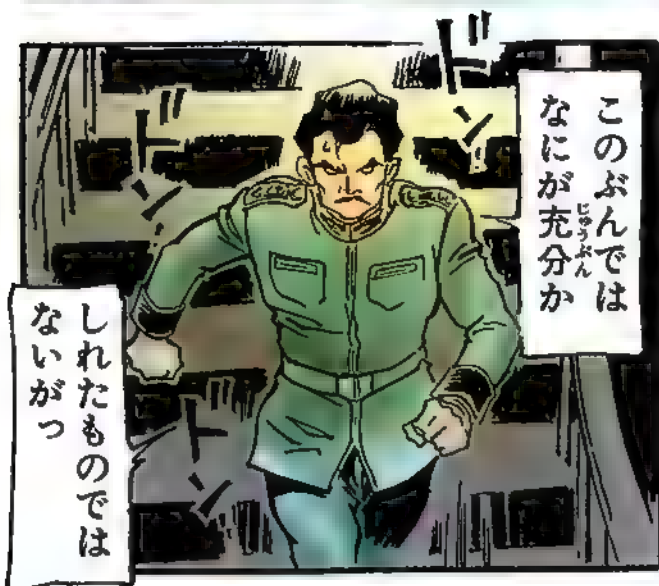
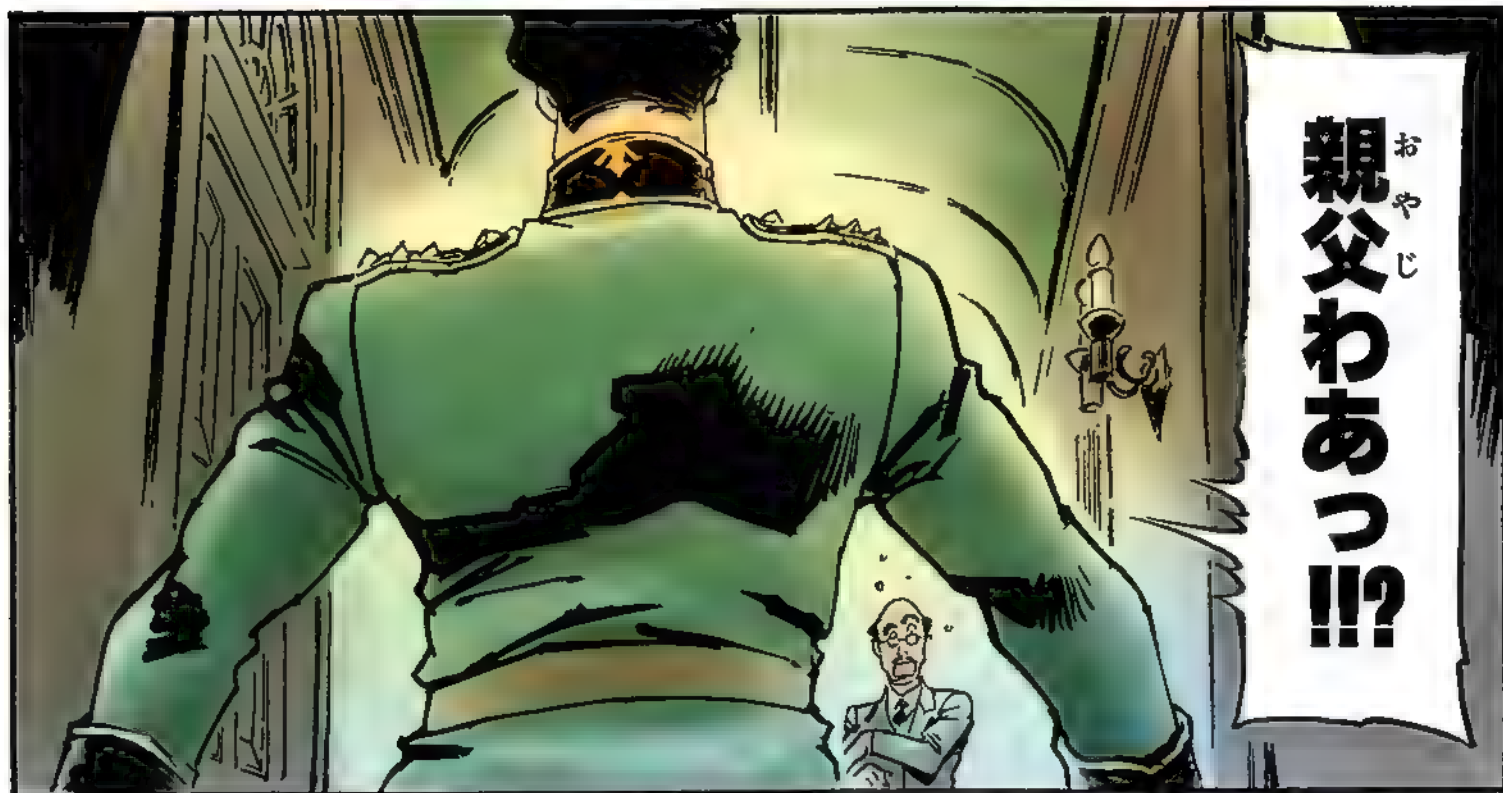
決めた...



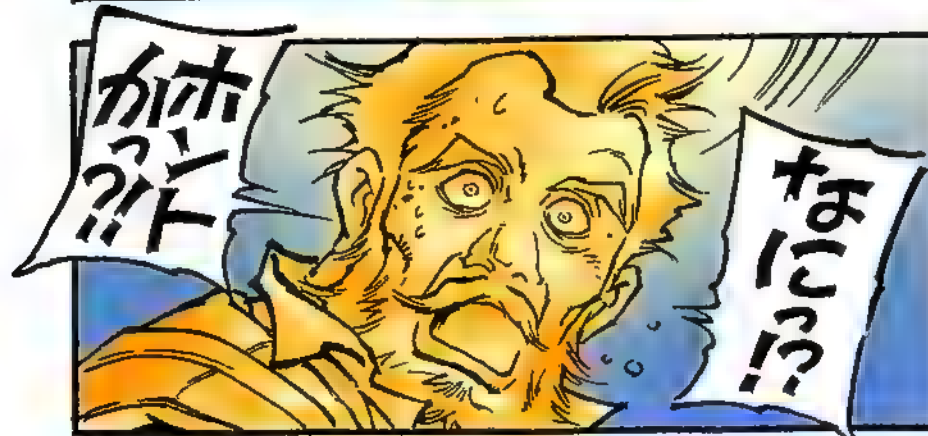
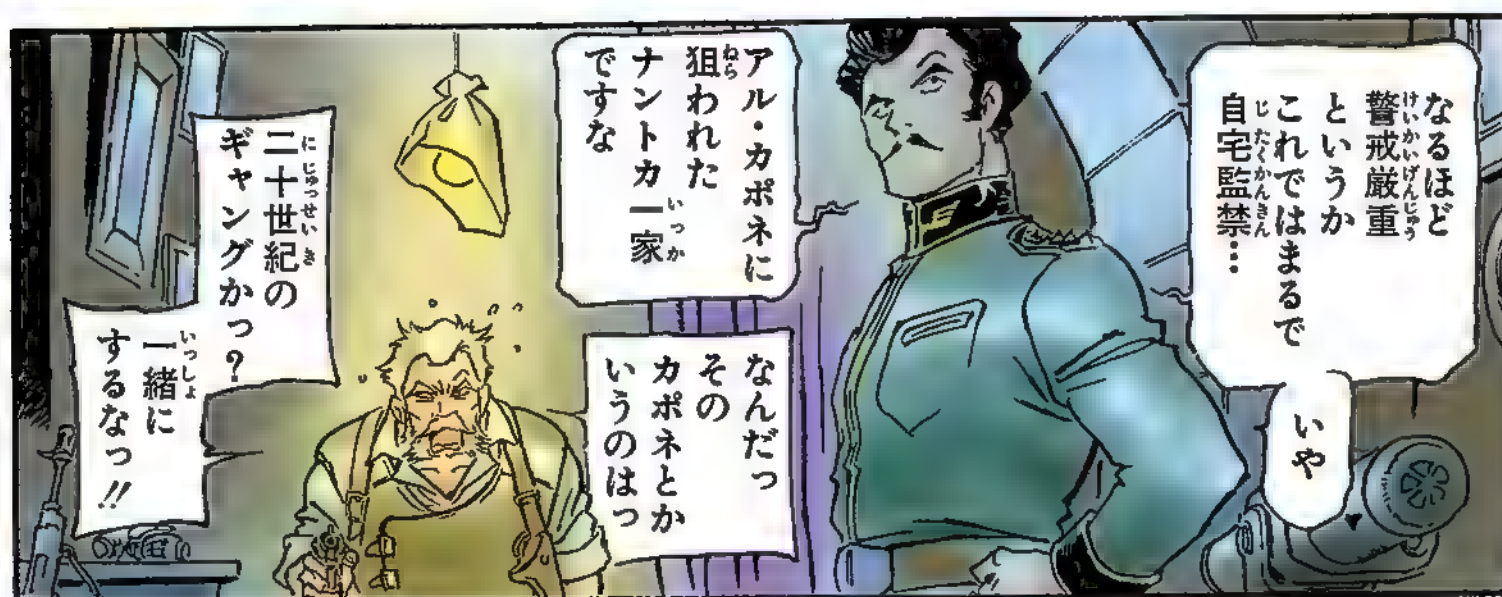
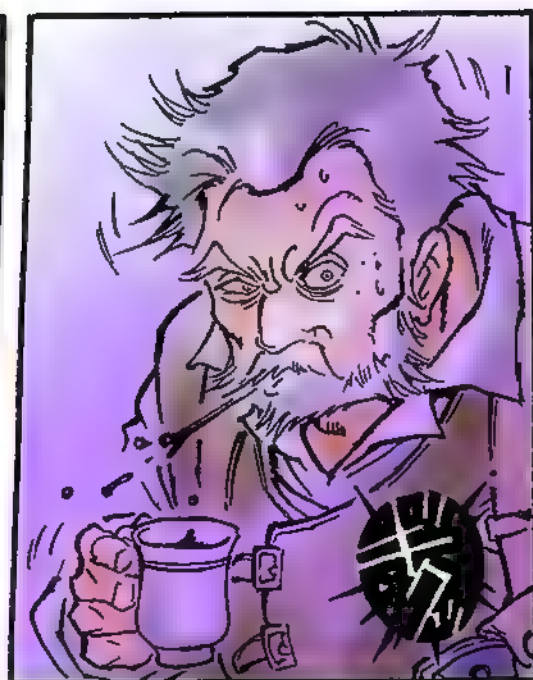
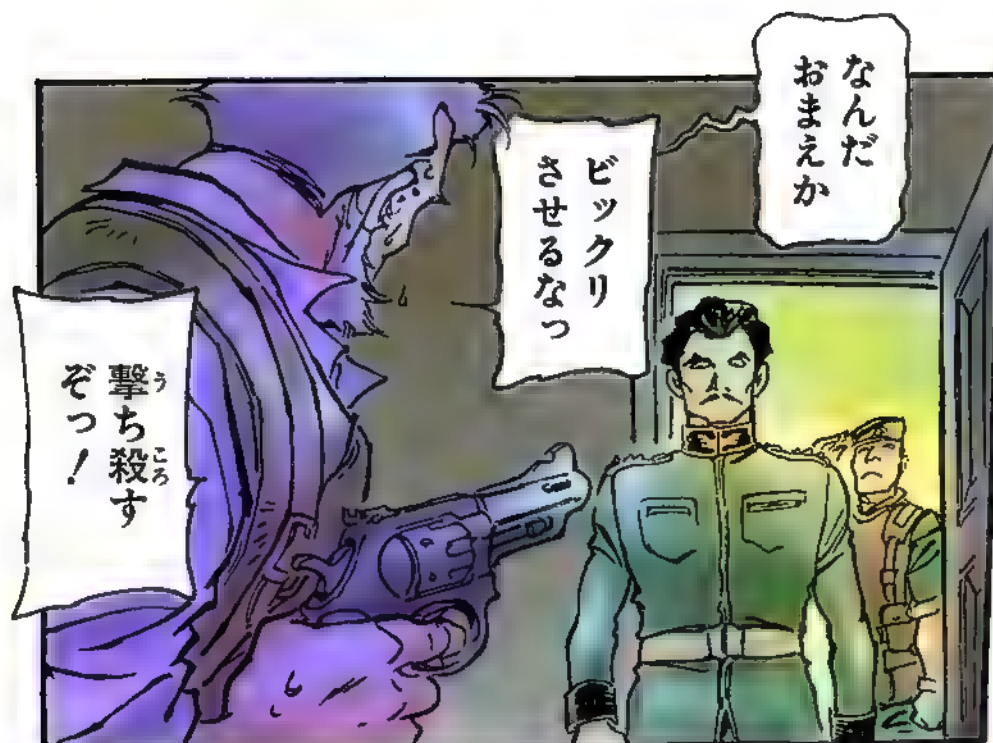
たいしたやつだよ

おまえは





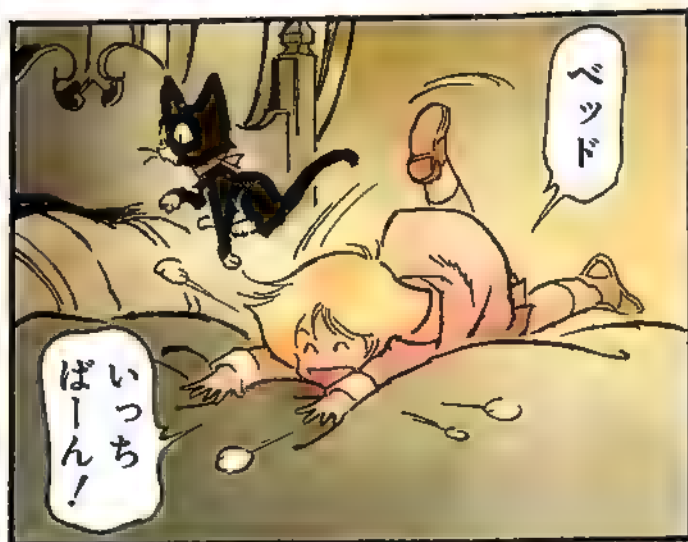
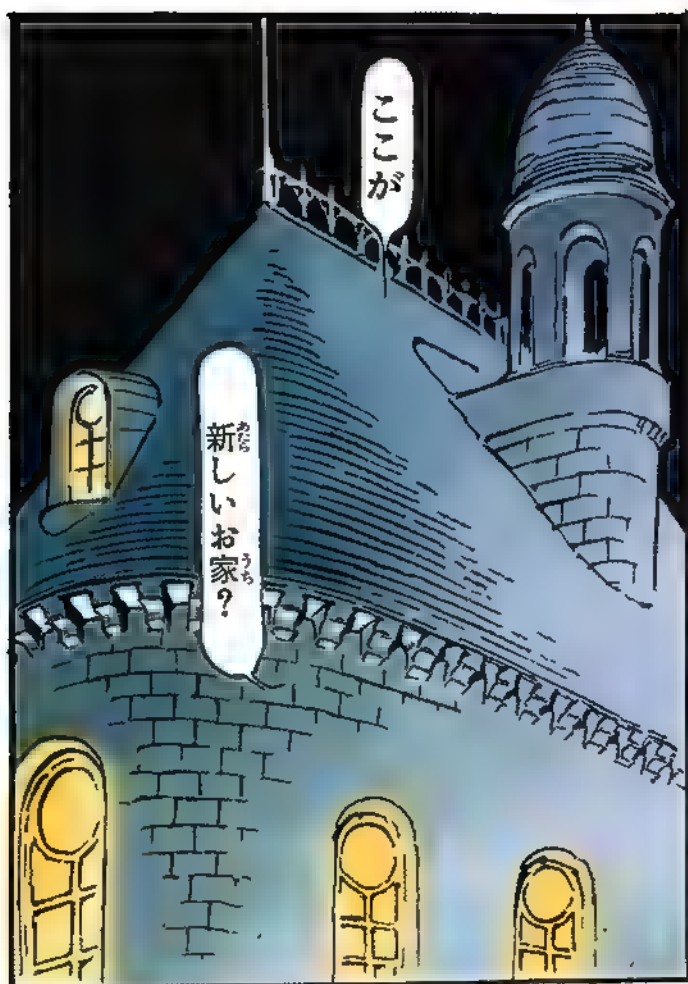




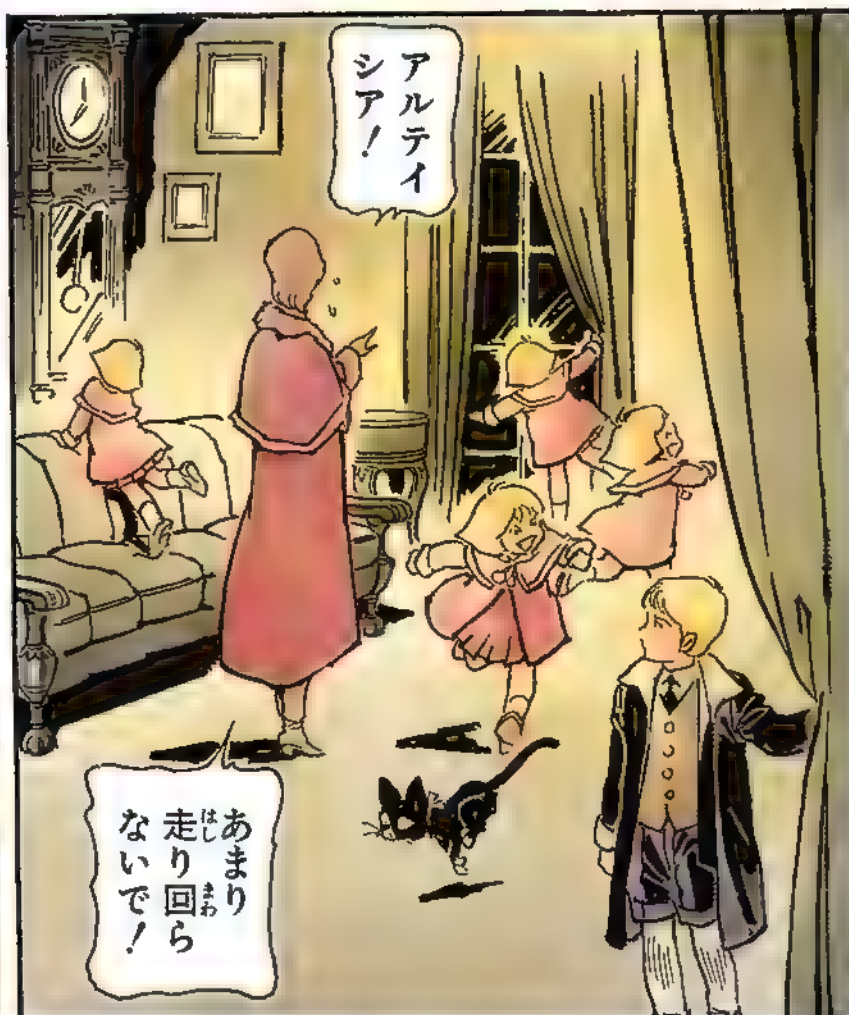
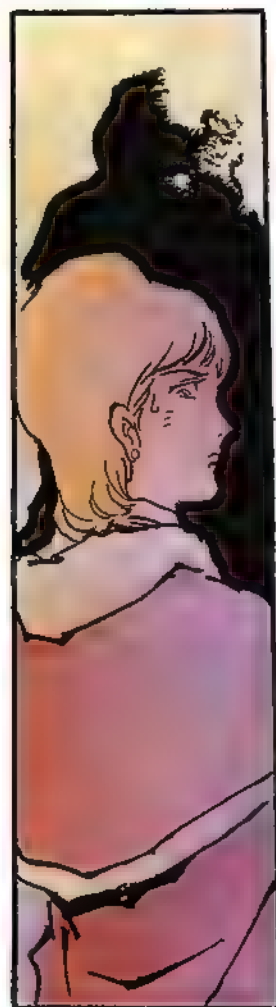
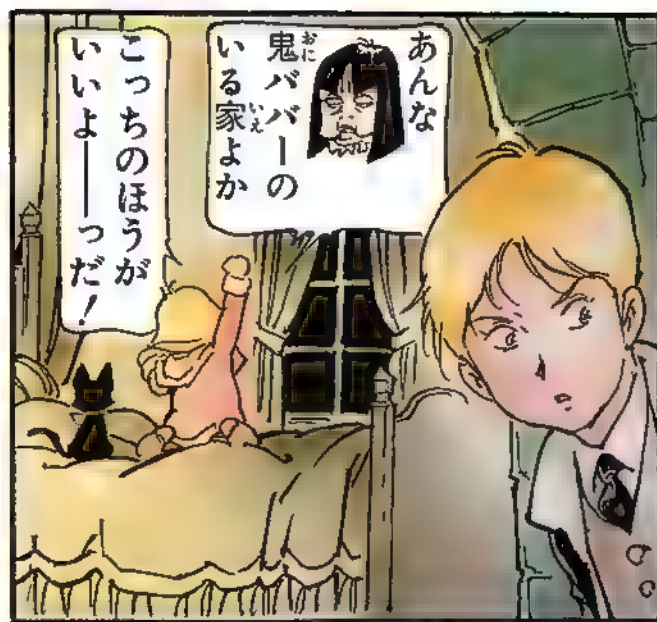




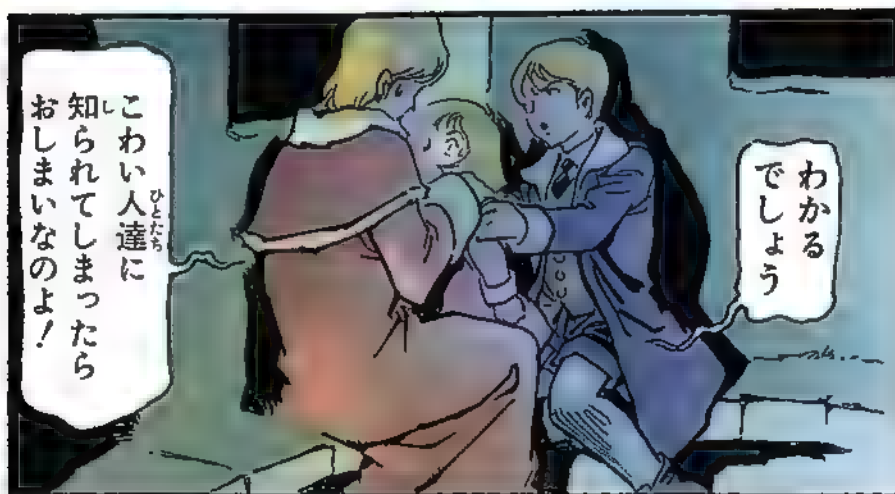
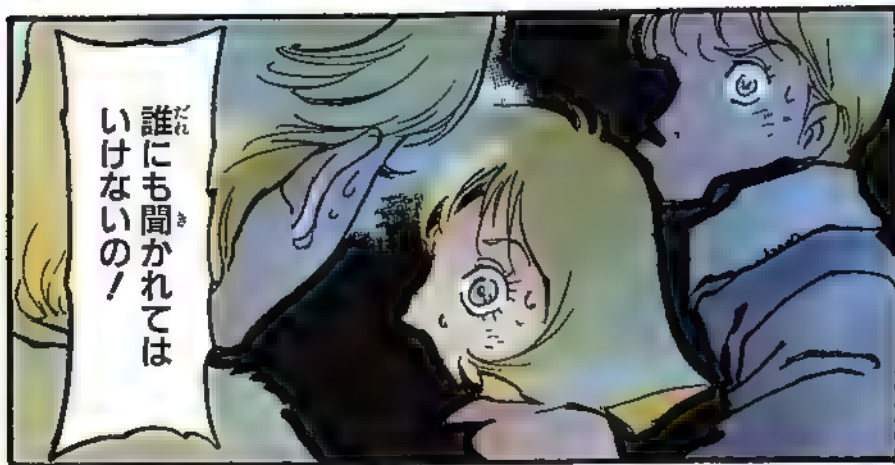
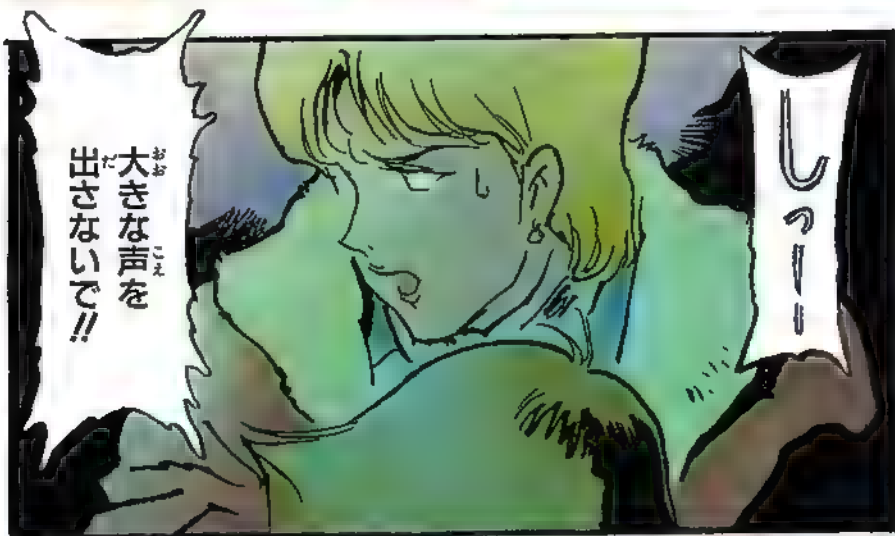
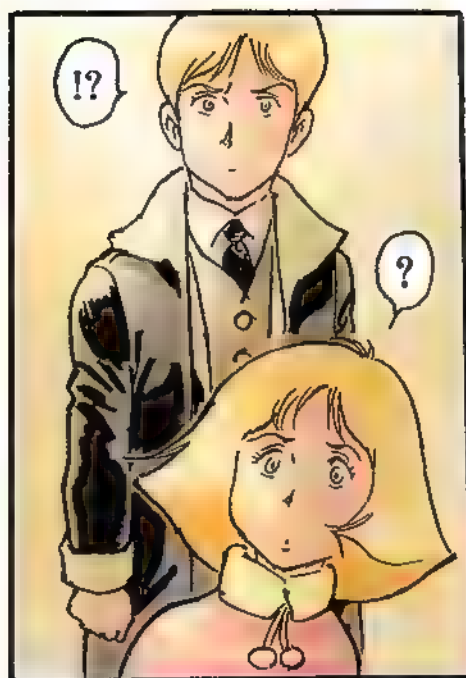




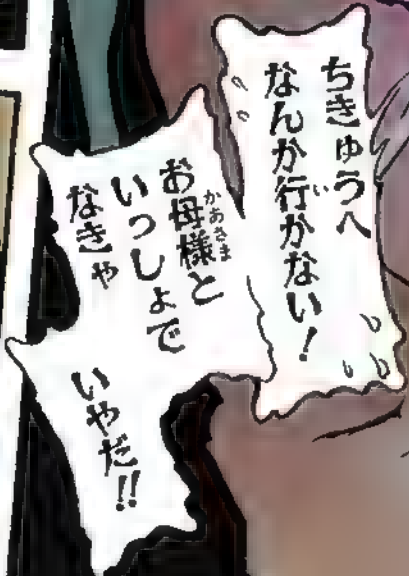
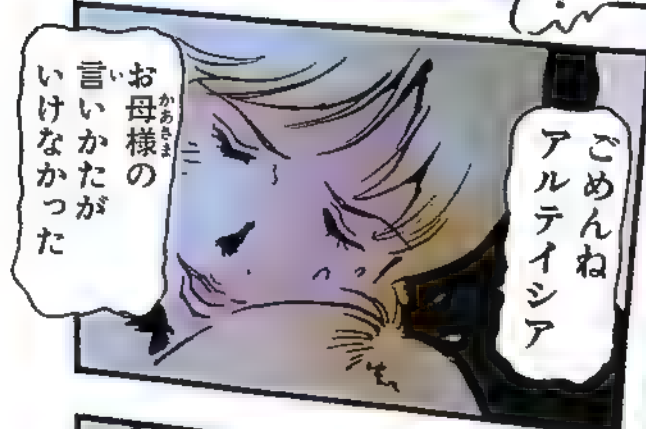
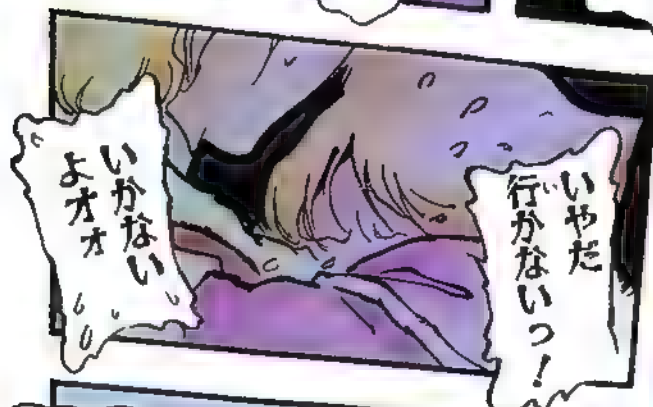
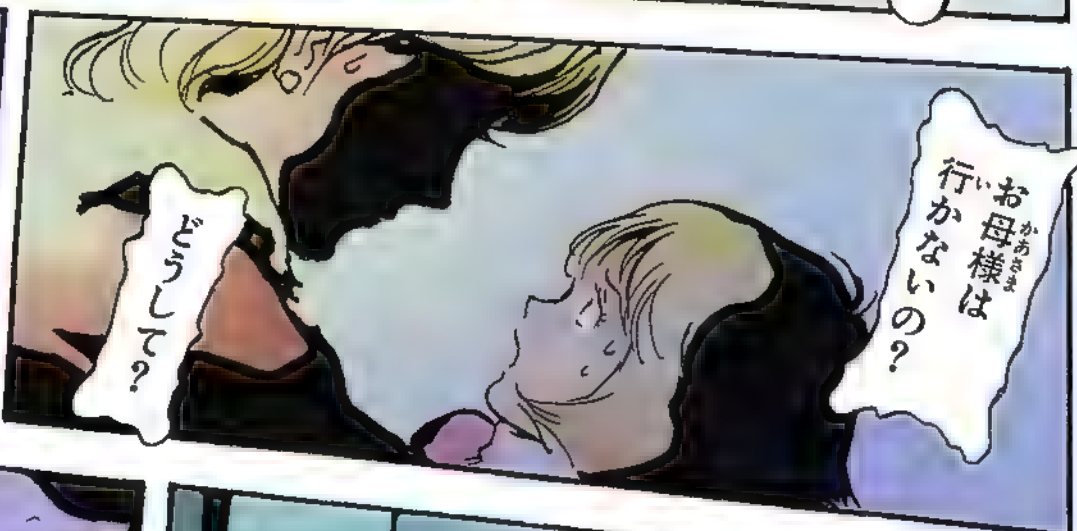
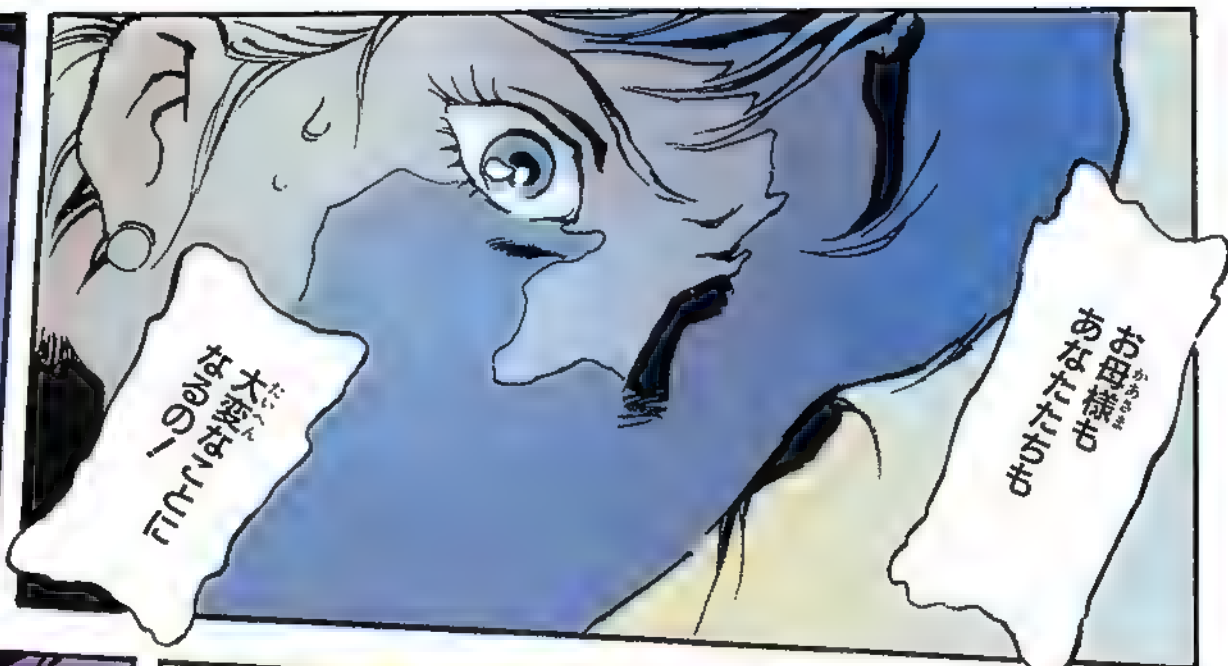




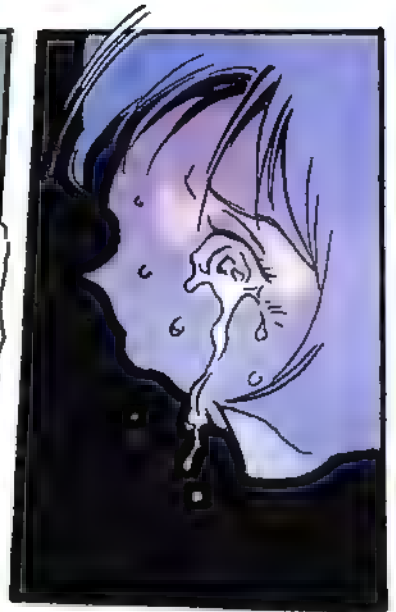












じゃあ  
いつ!?



いつ  
来るの?

ねえ  
いつ!!?



あなたが

良い地球の子に  
なったころ...



いや  
そんなのっ!

ちゃんと  
約束して

じゃないと  
待たない!

いい子に  
なんか  
ならない!!

あら

あらあら  
ごめんなさい



じゃあ  
こうしま  
しょう

地球では空に  
星が見えるの

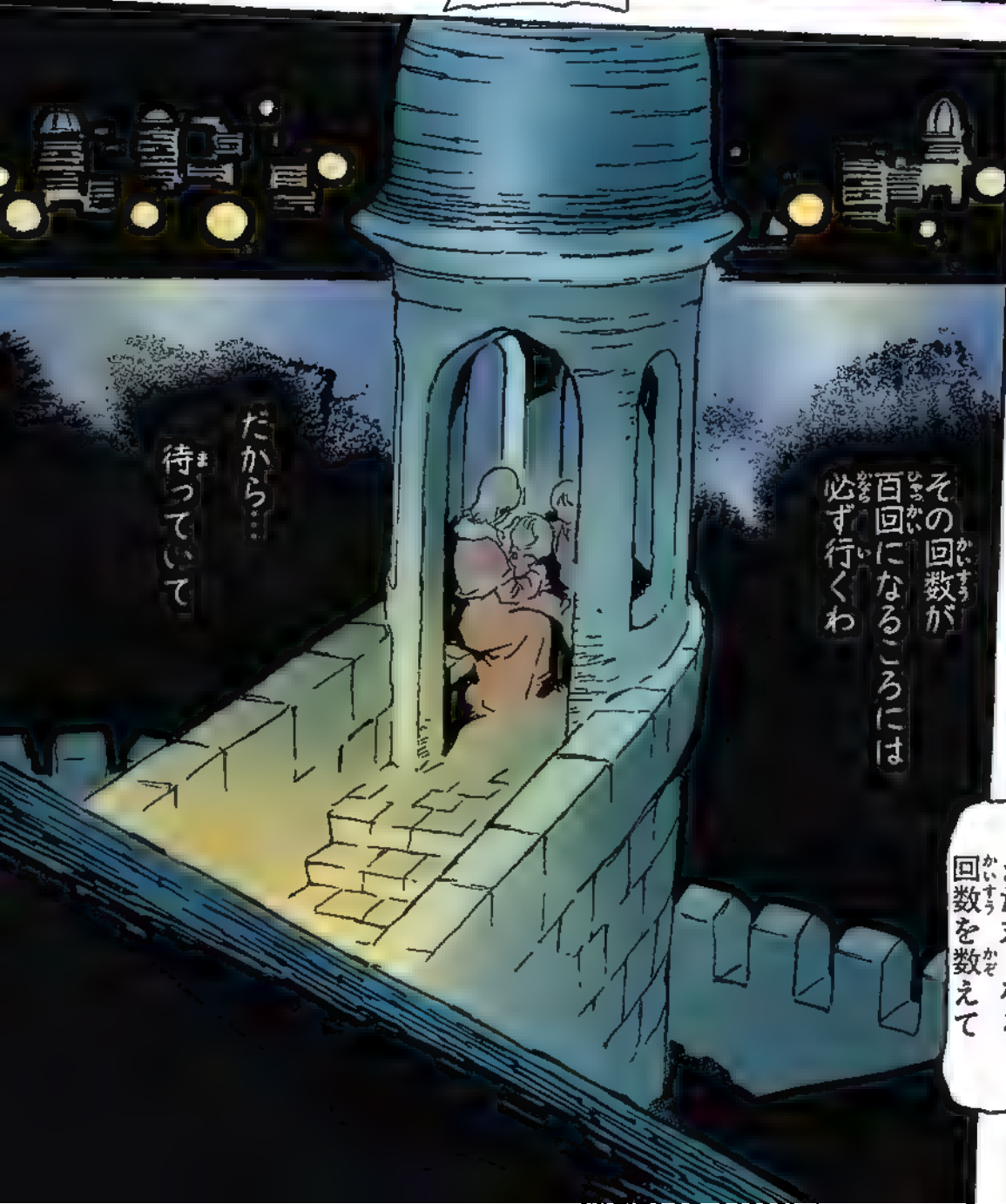


一番大きくて  
まあいるのが

お月様

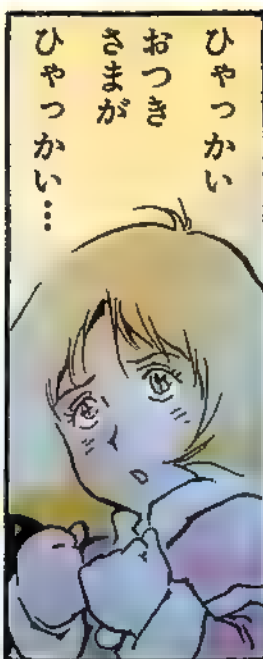
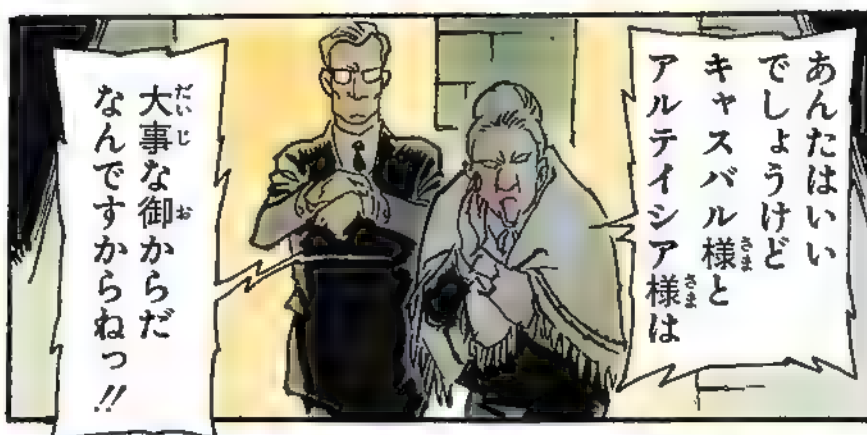
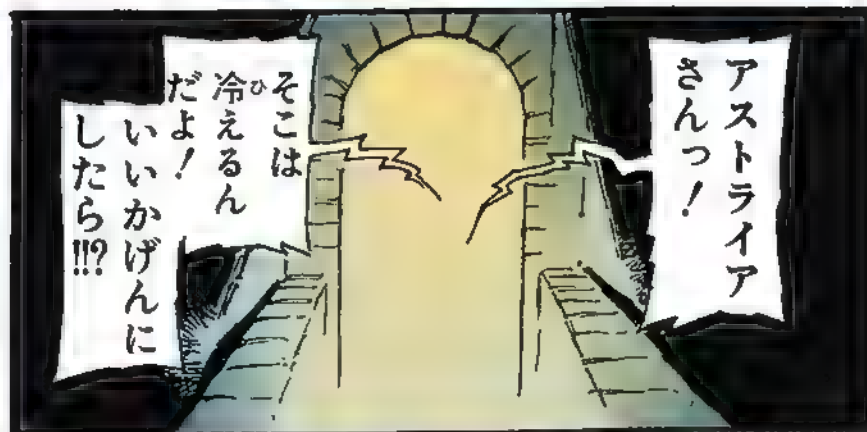
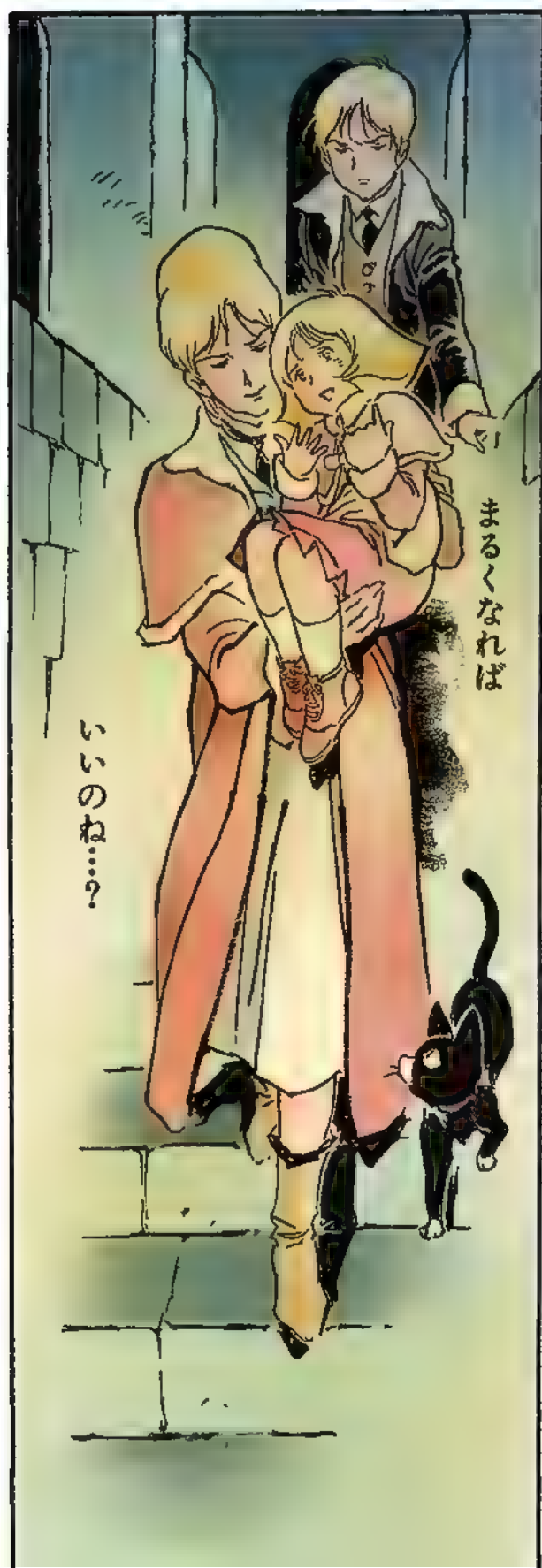
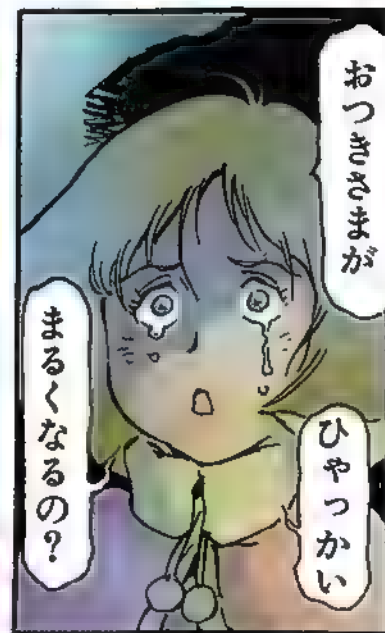
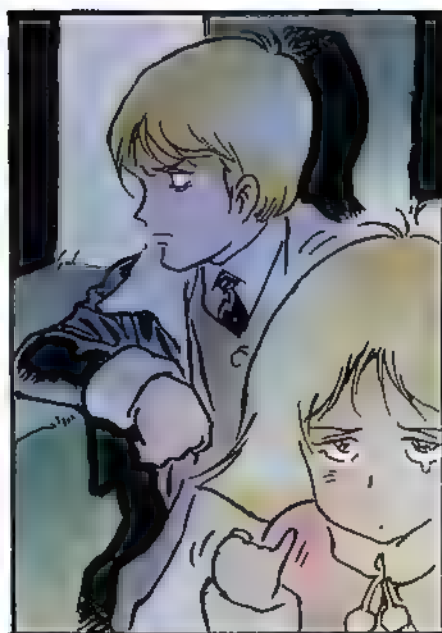
そのお月様が  
半分になって  
細くなって  
また丸くなる  
回数を数えて

その回数  
百回になるころには  
必ず行くわ



だから...  
待っていて











眠りたくない

どうして?

だって  
眠っちゃっ  
たら:

すぐ朝に  
なっちゃう  
もの:

朝なんか  
きらい

朝なんか  
来なければ  
いい

ずっと  
このまま

夜だったら  
いいのに:

それ  
じゃあ

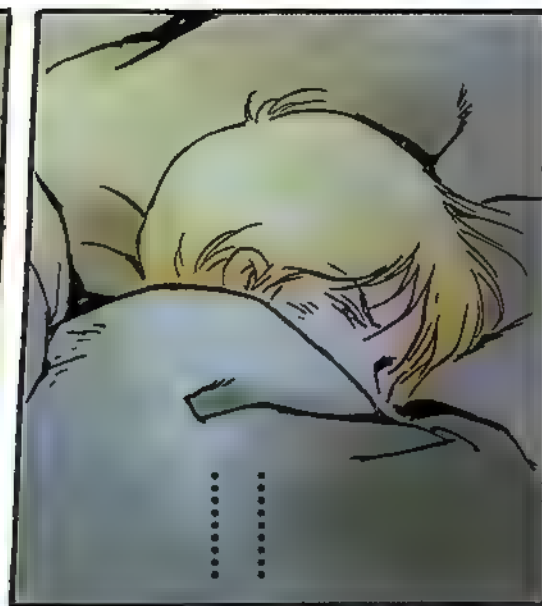
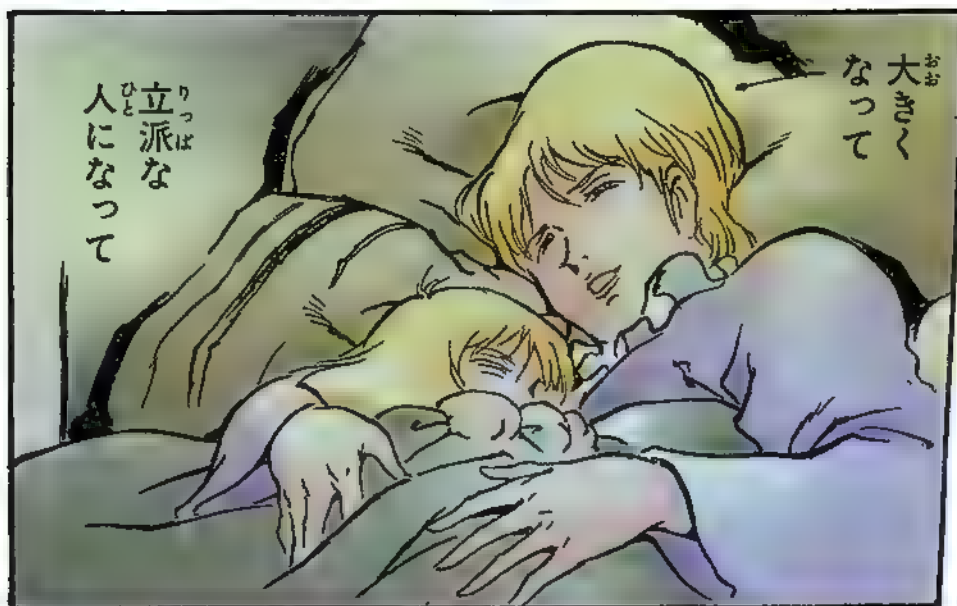
お月様を  
数え  
られないわ

そう  
だけど.....

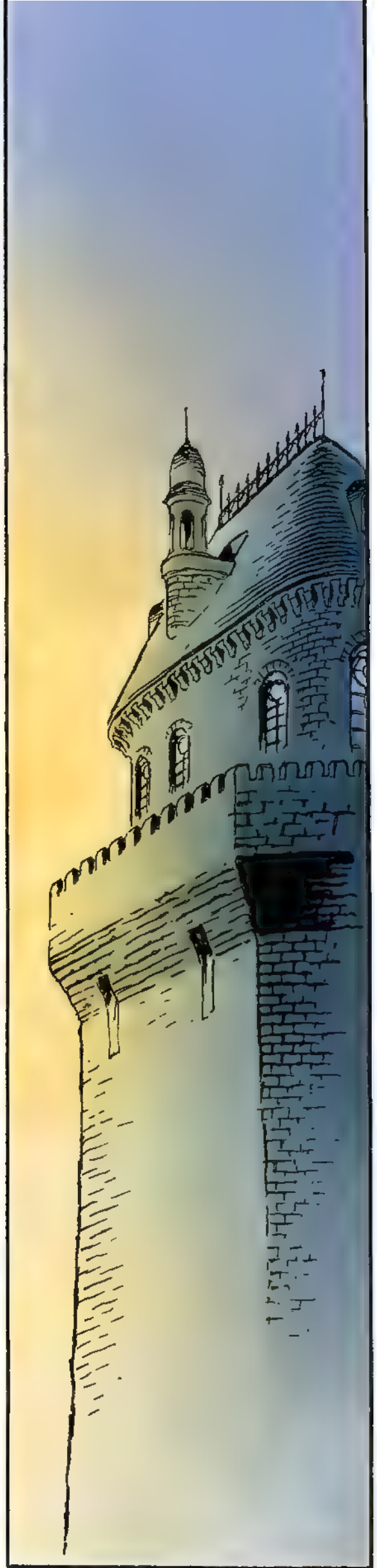
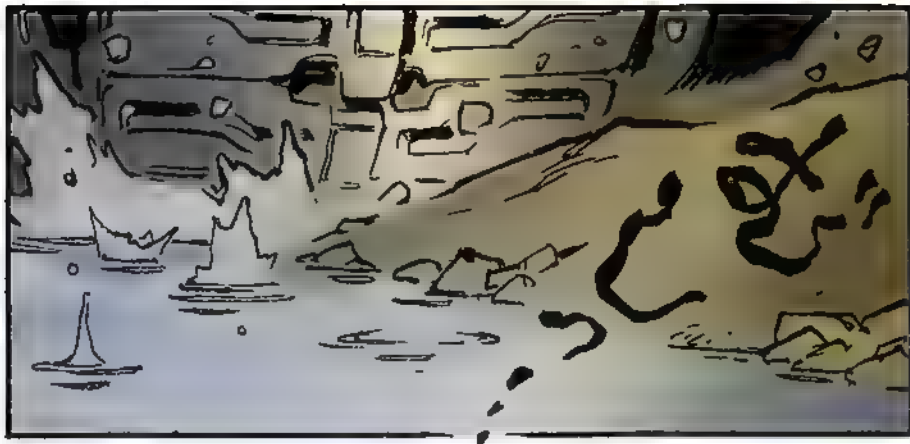
朝には  
いいことが  
待っているのよ

ずっと  
今のままなんて  
だめ  
アルティシアは  
大きくなるでしょう?

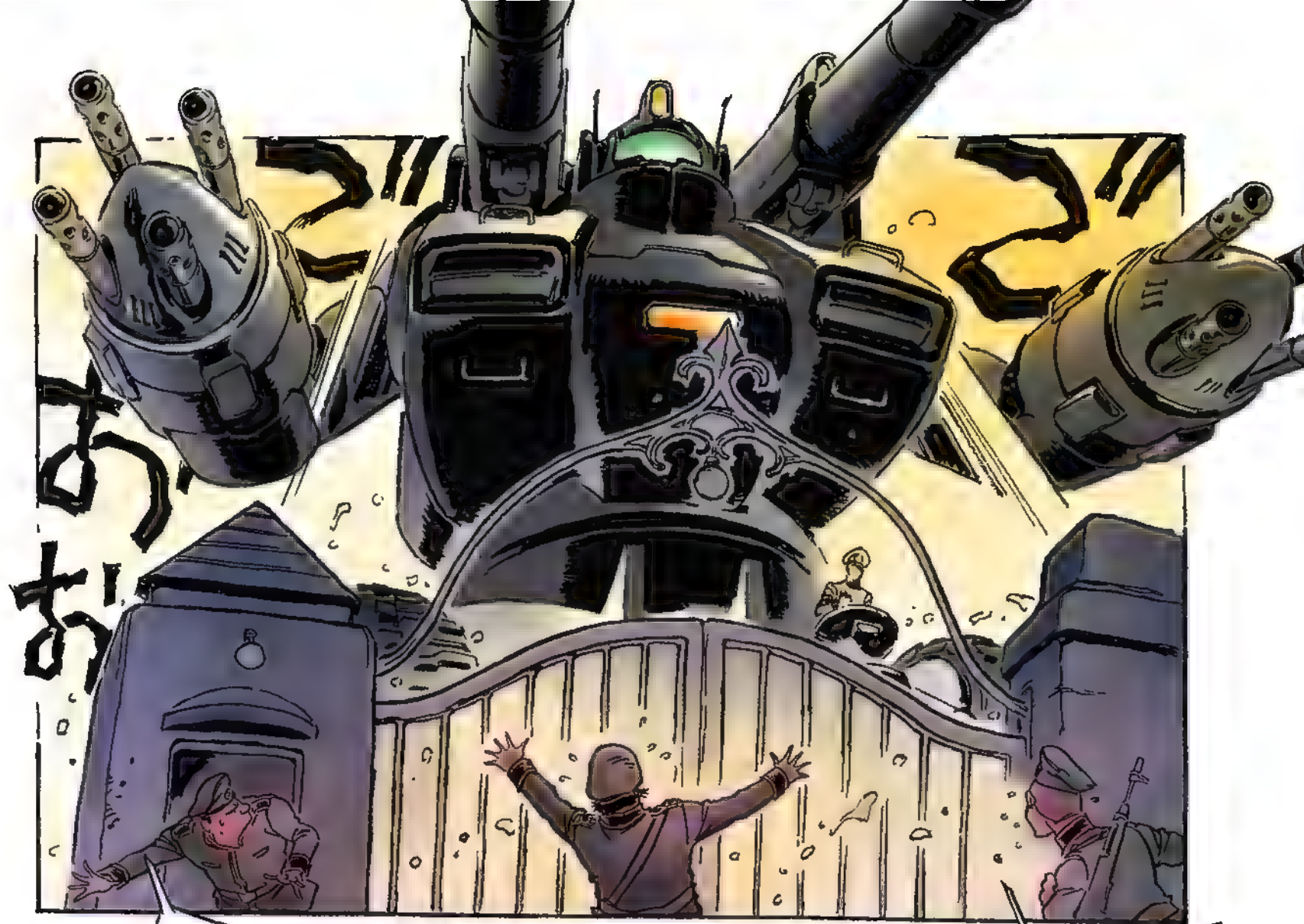




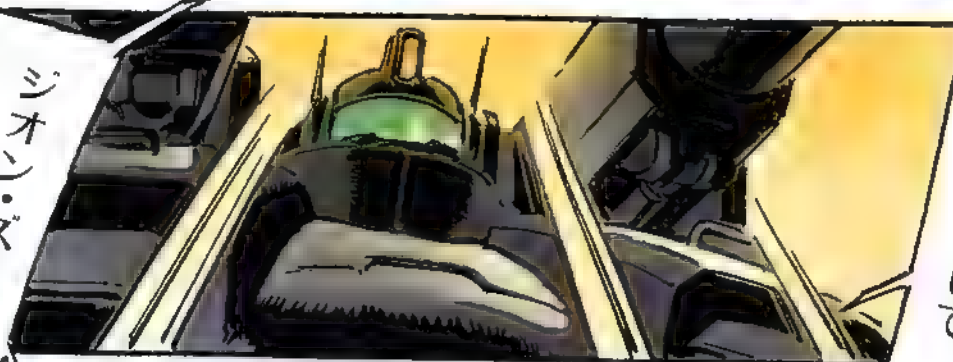








ジオン・ズム・ダイクンの遺児二名を受領しに来た!



連邦駐屯軍特別任務として



すみやかに

身柄を  
引き渡し  
なさい!



聞いて  
いたか?

そんな  
こと

さあ

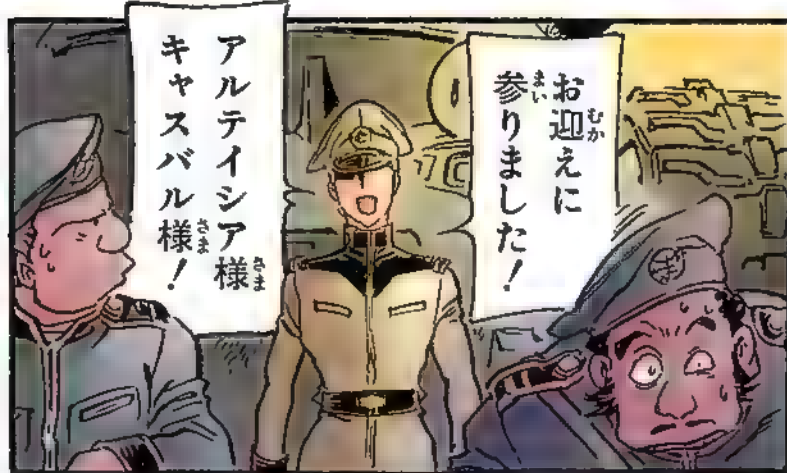




聞いて  
いようと  
いまいと  
かまわん!

連邦軍命令を  
拒否するの!?

軍法会議  
ものだぞ!!



アルテイシア様  
キャスバル様!

お迎えに  
参りました!



今問い  
合わせ  
ますから

まって  
ください



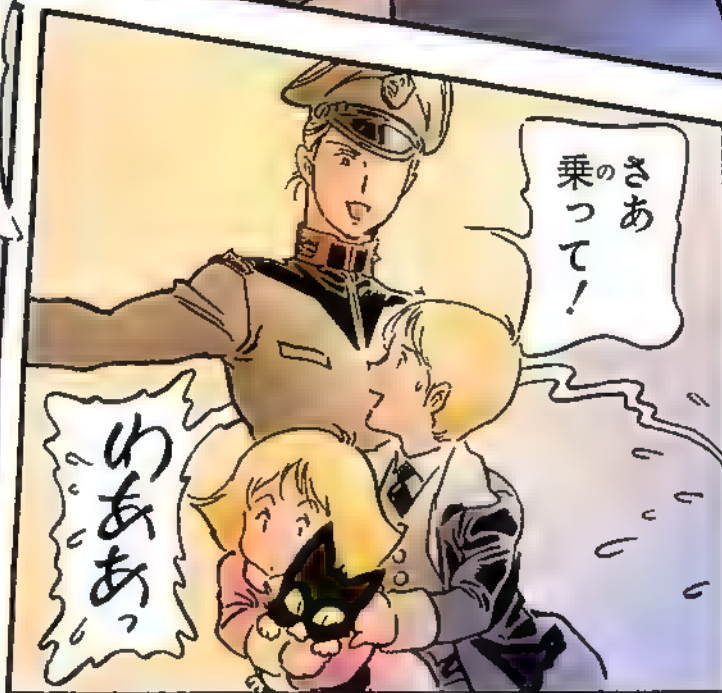
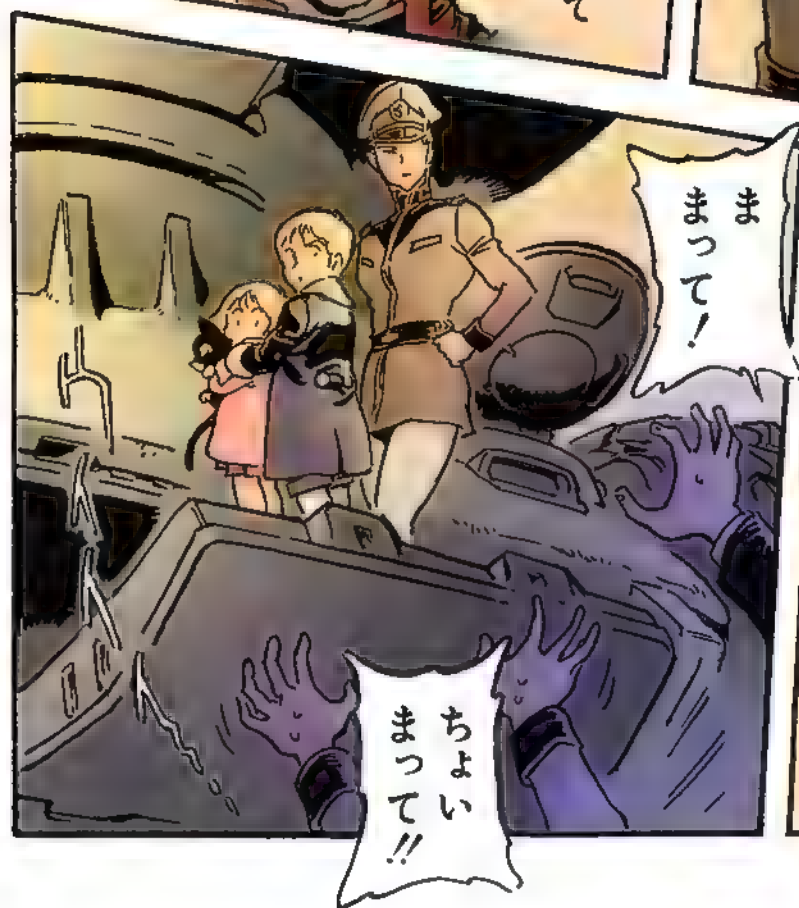
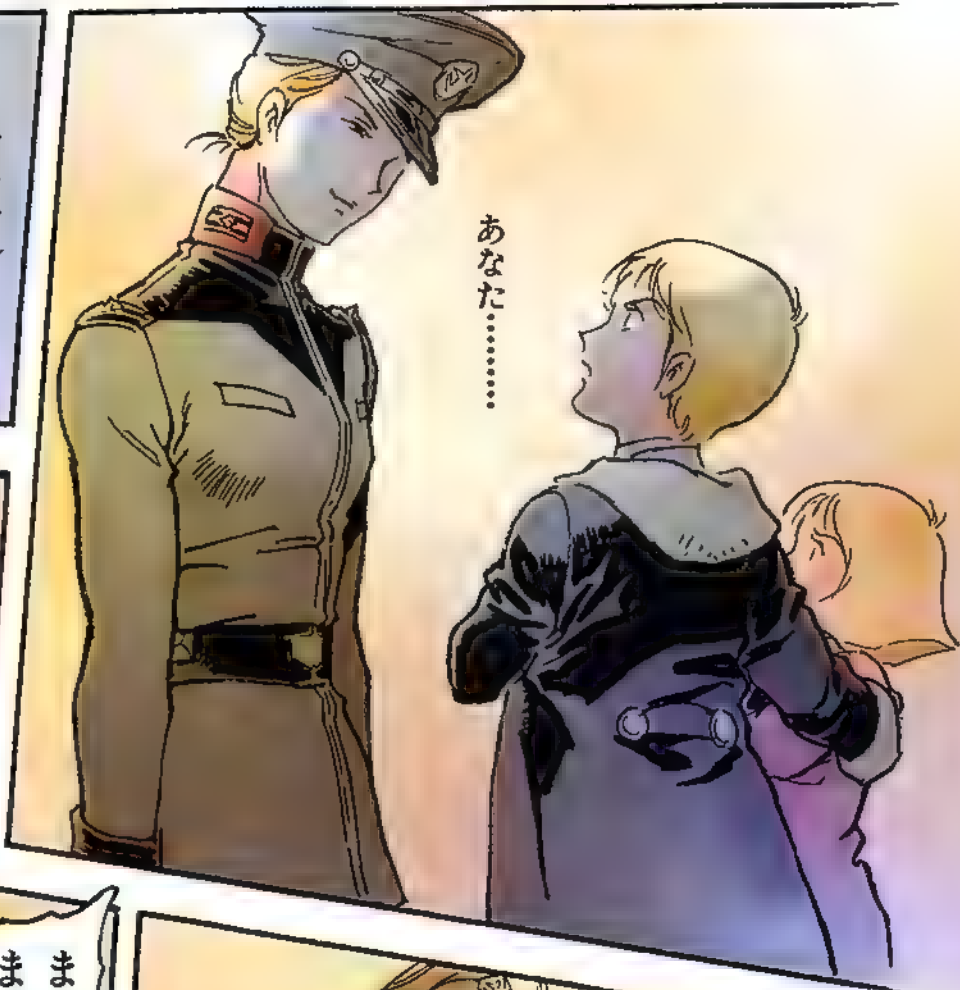
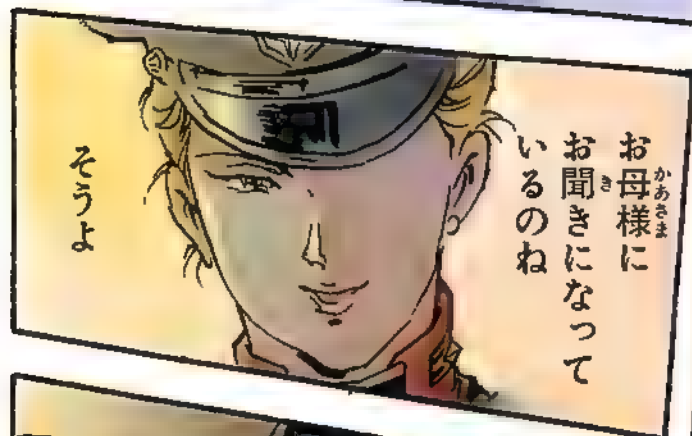
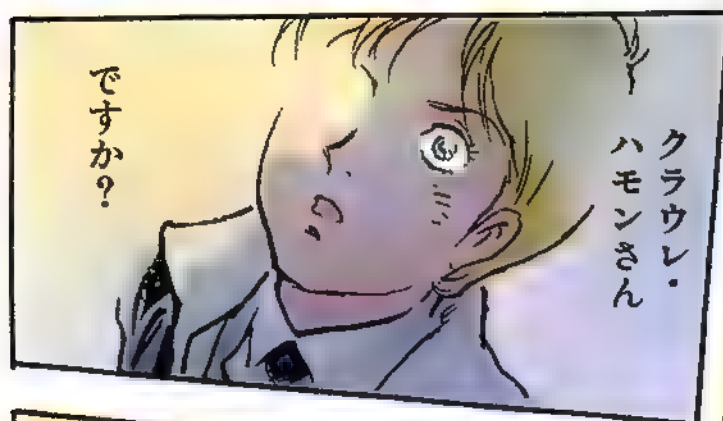
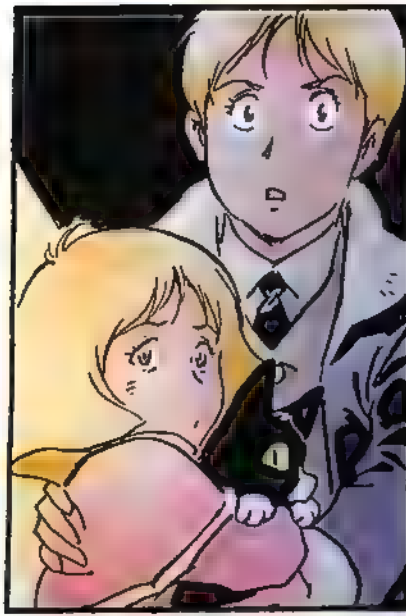
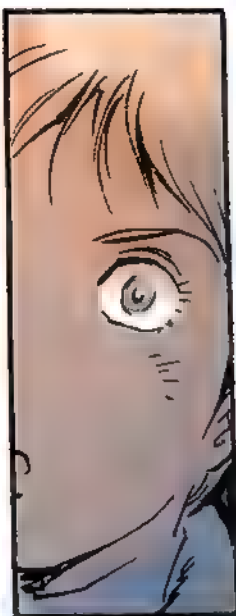
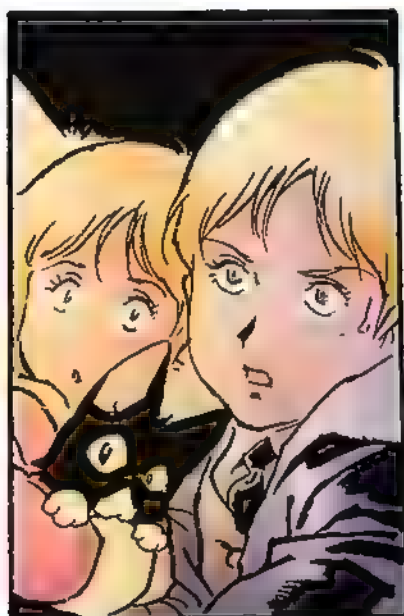
破壊活動により  
きわめて危険な  
状況のため

防衛隊に代わって

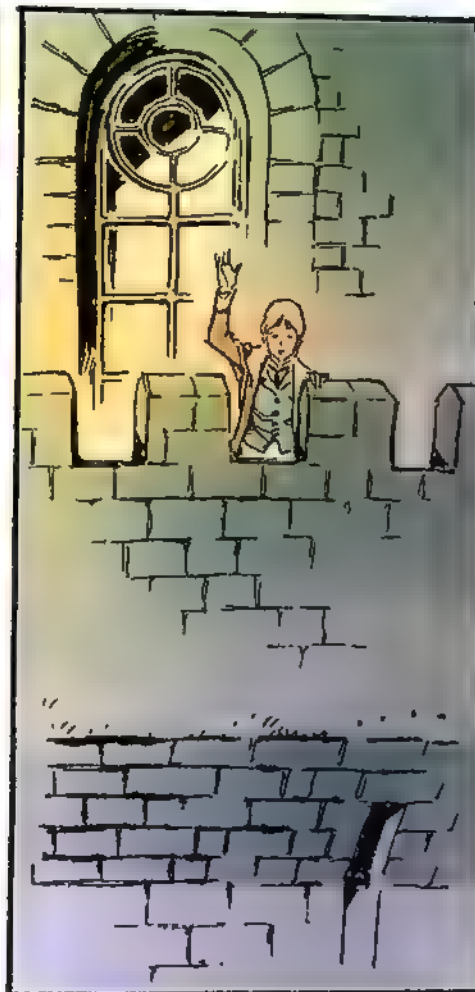
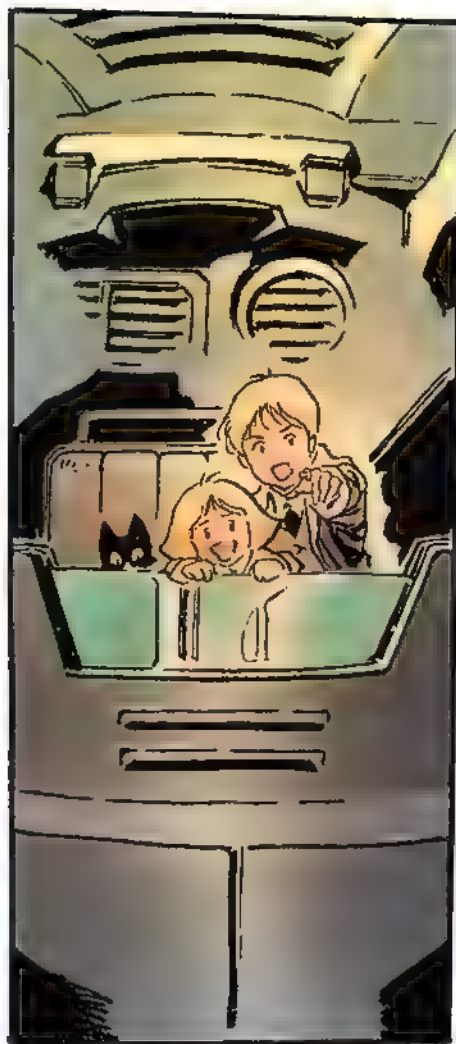
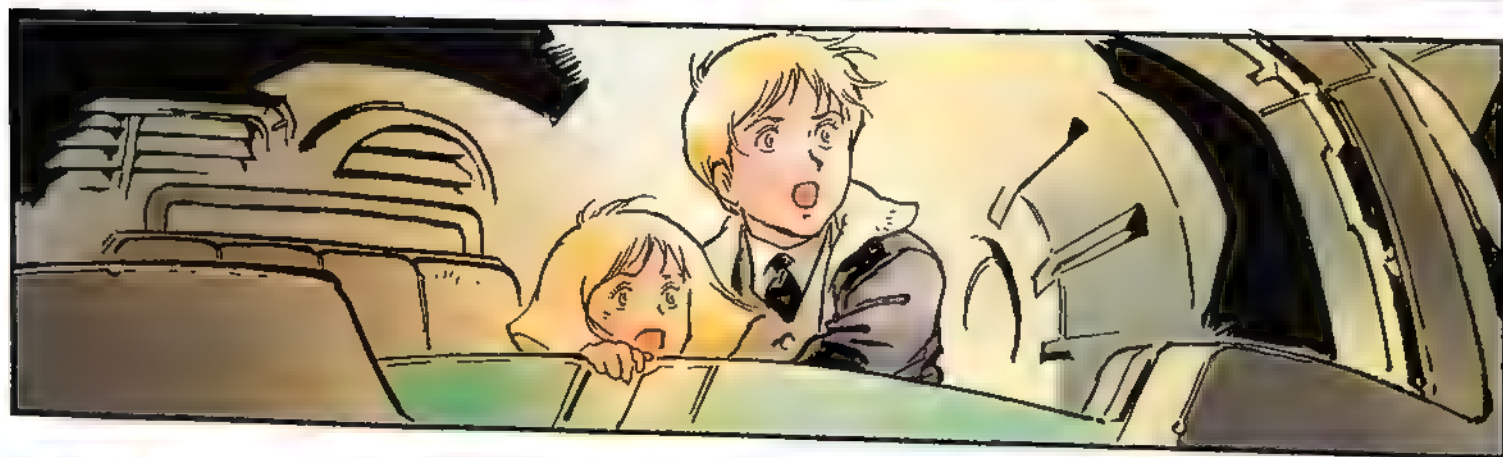
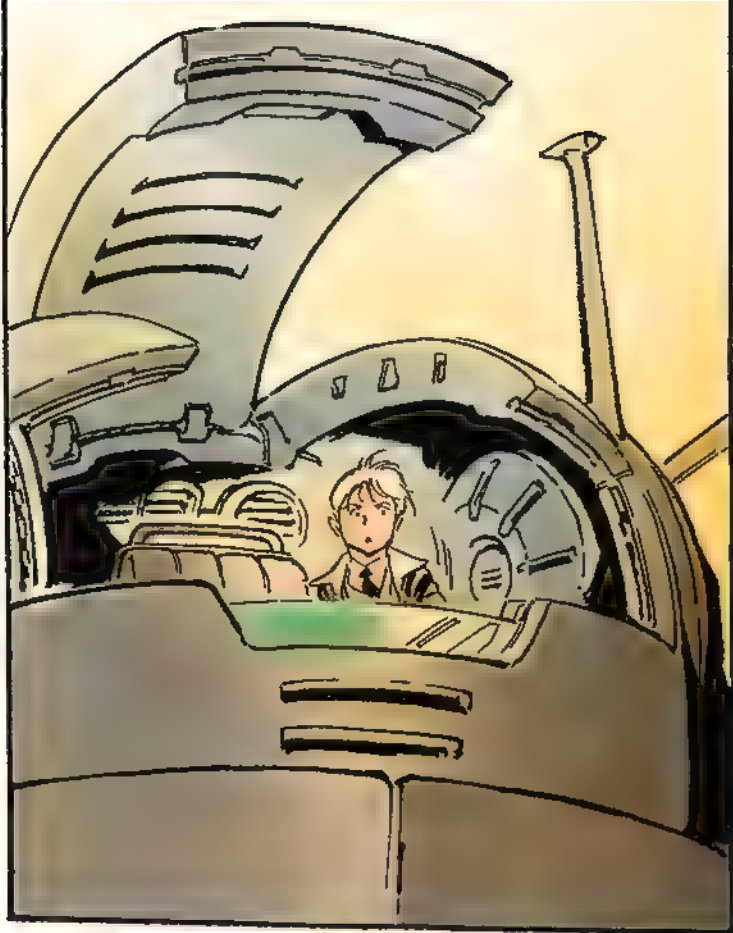
御邸宅まで  
お送りいたし  
ます



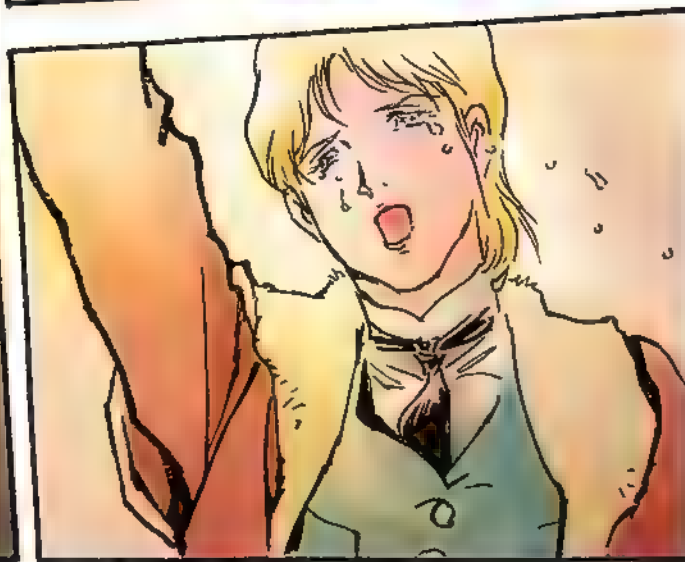
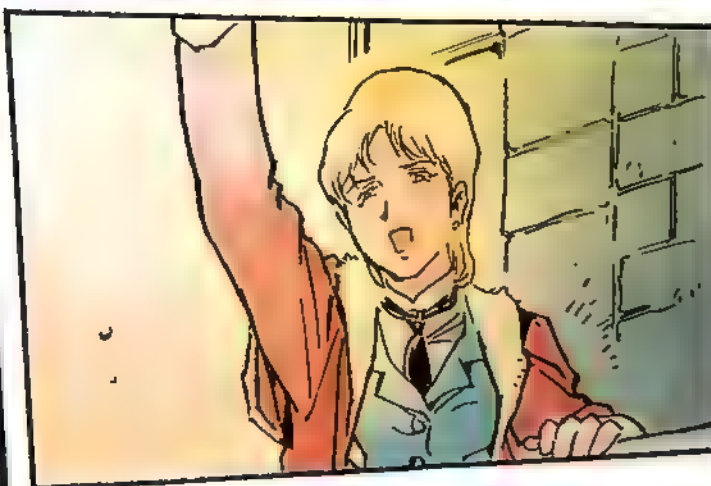
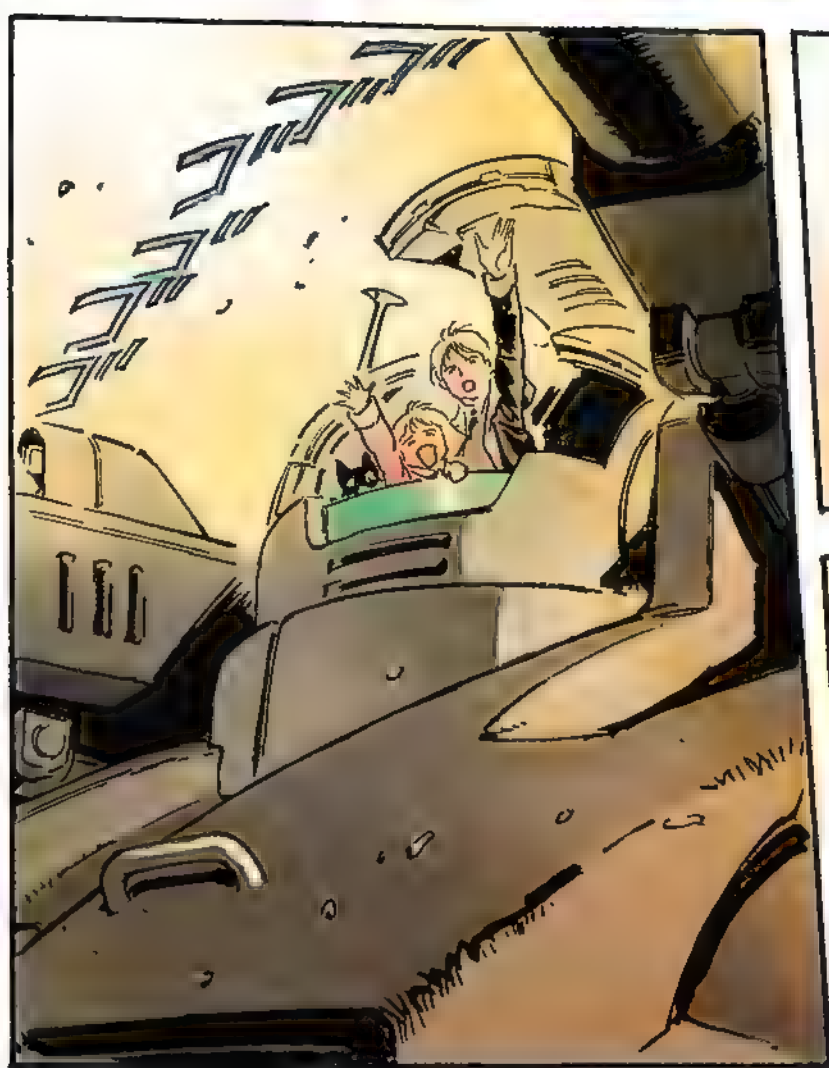
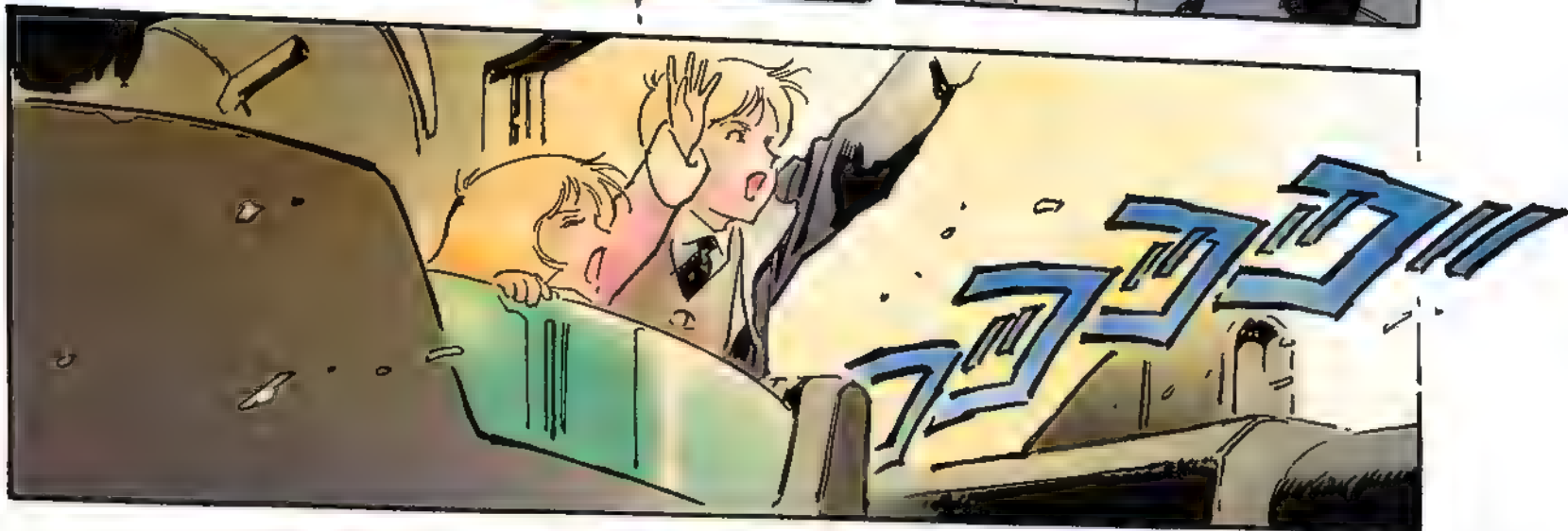
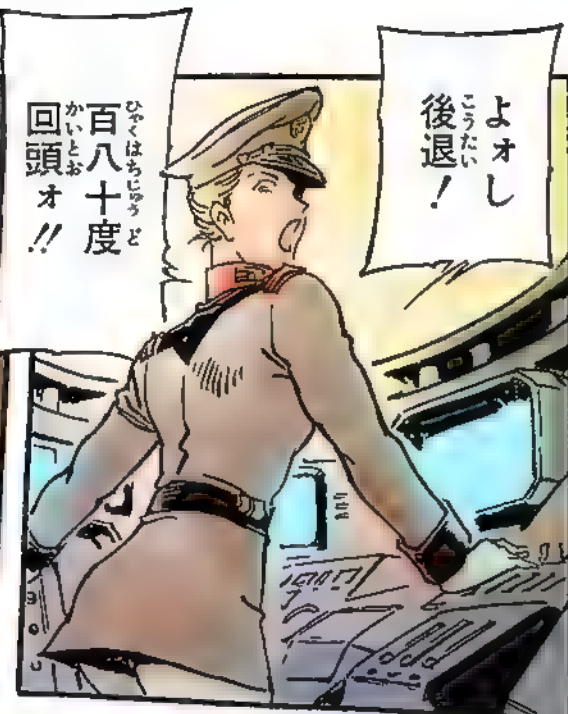
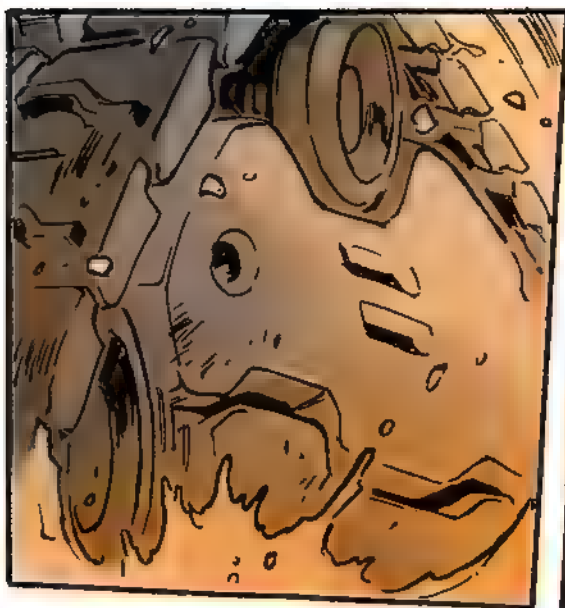




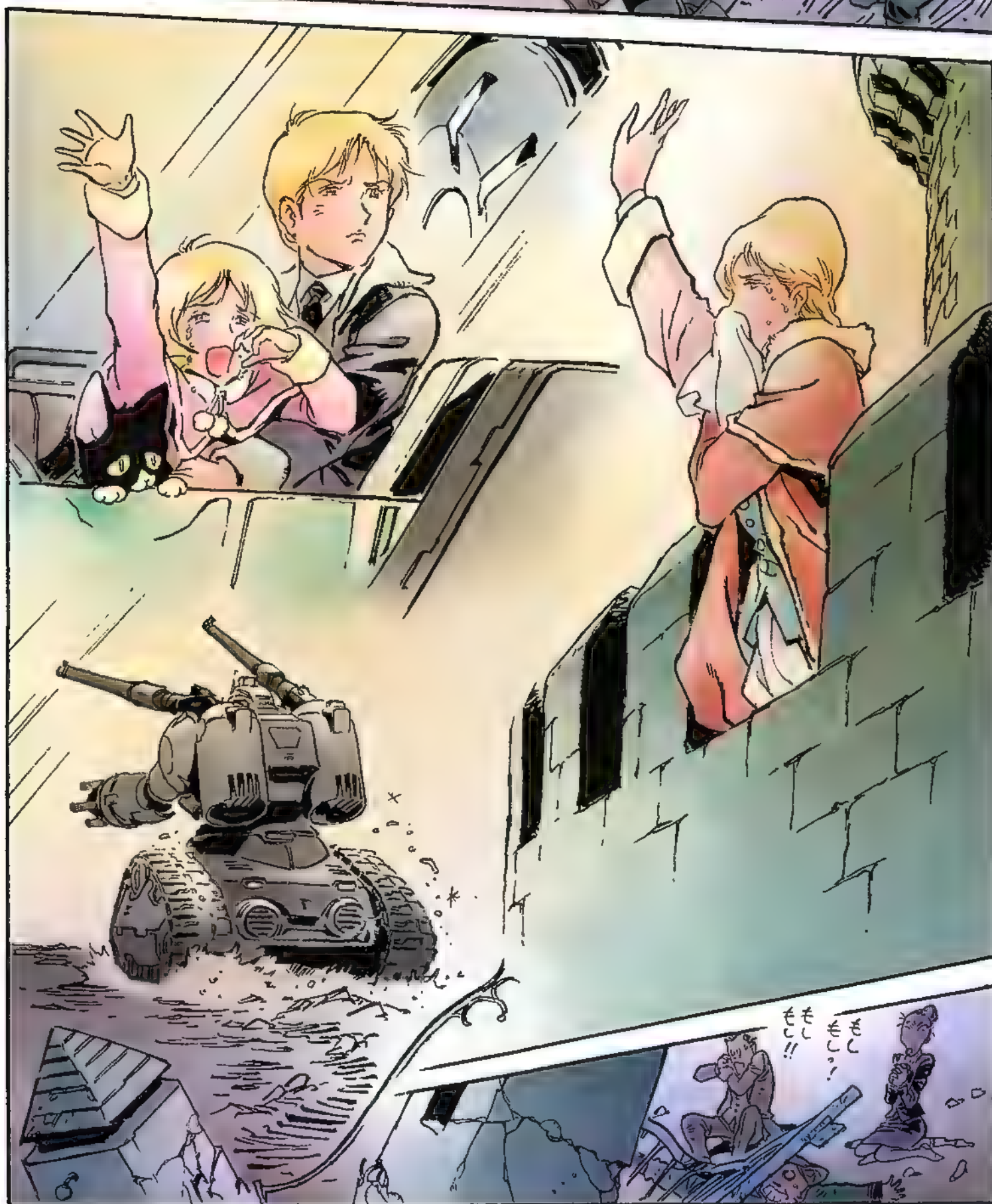
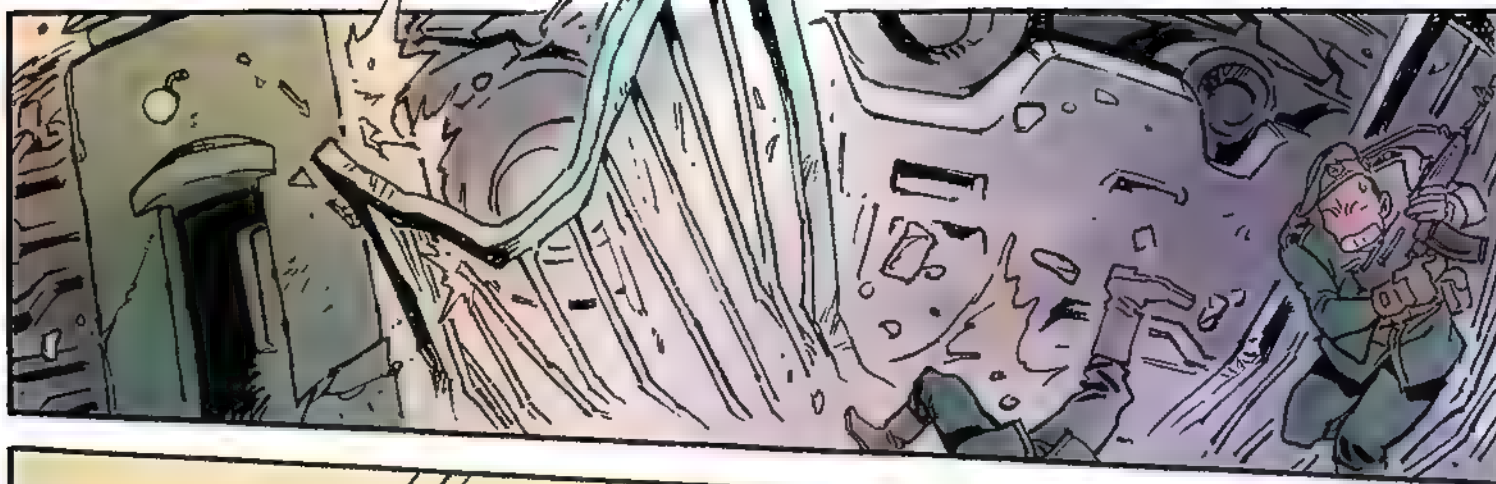




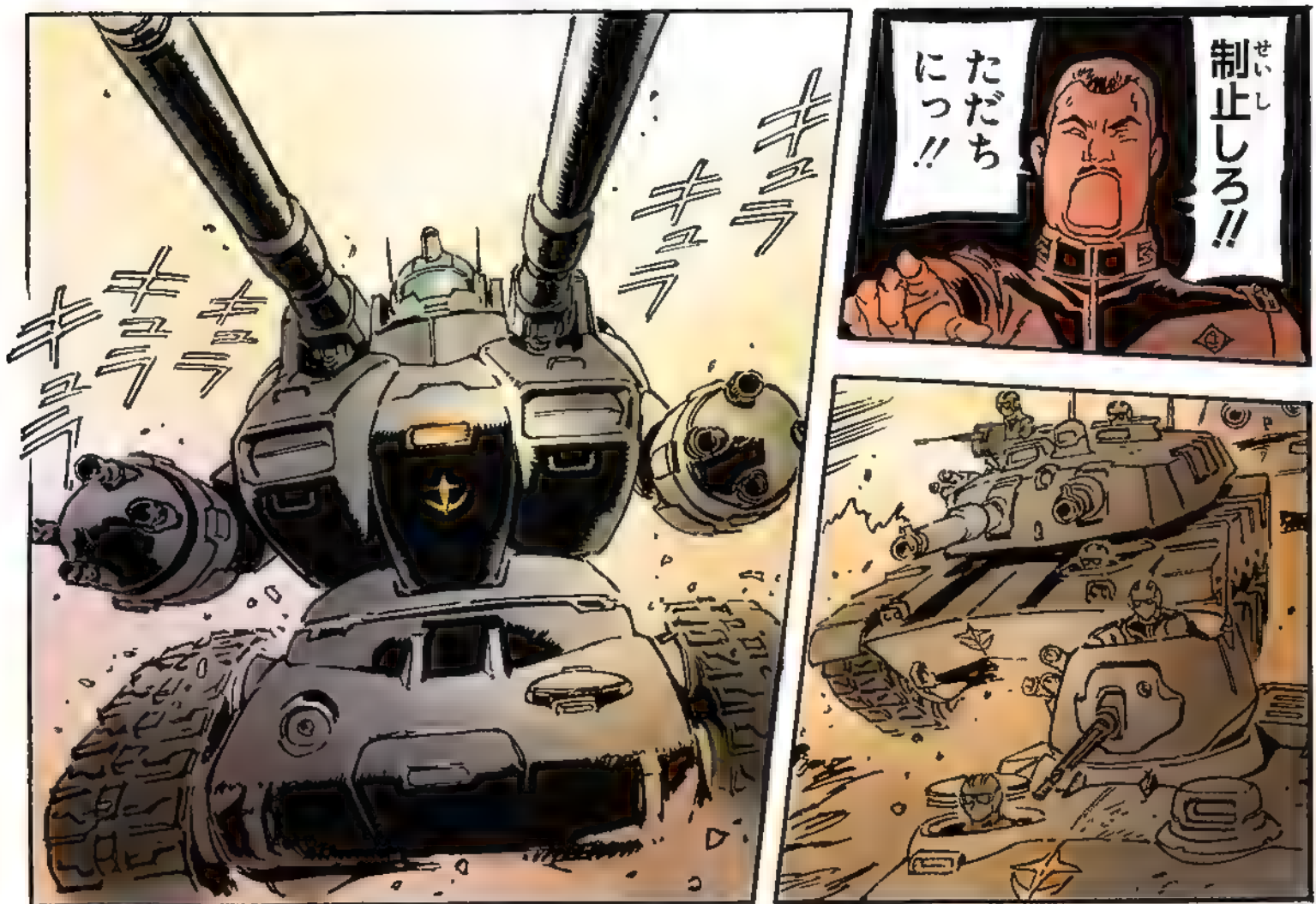
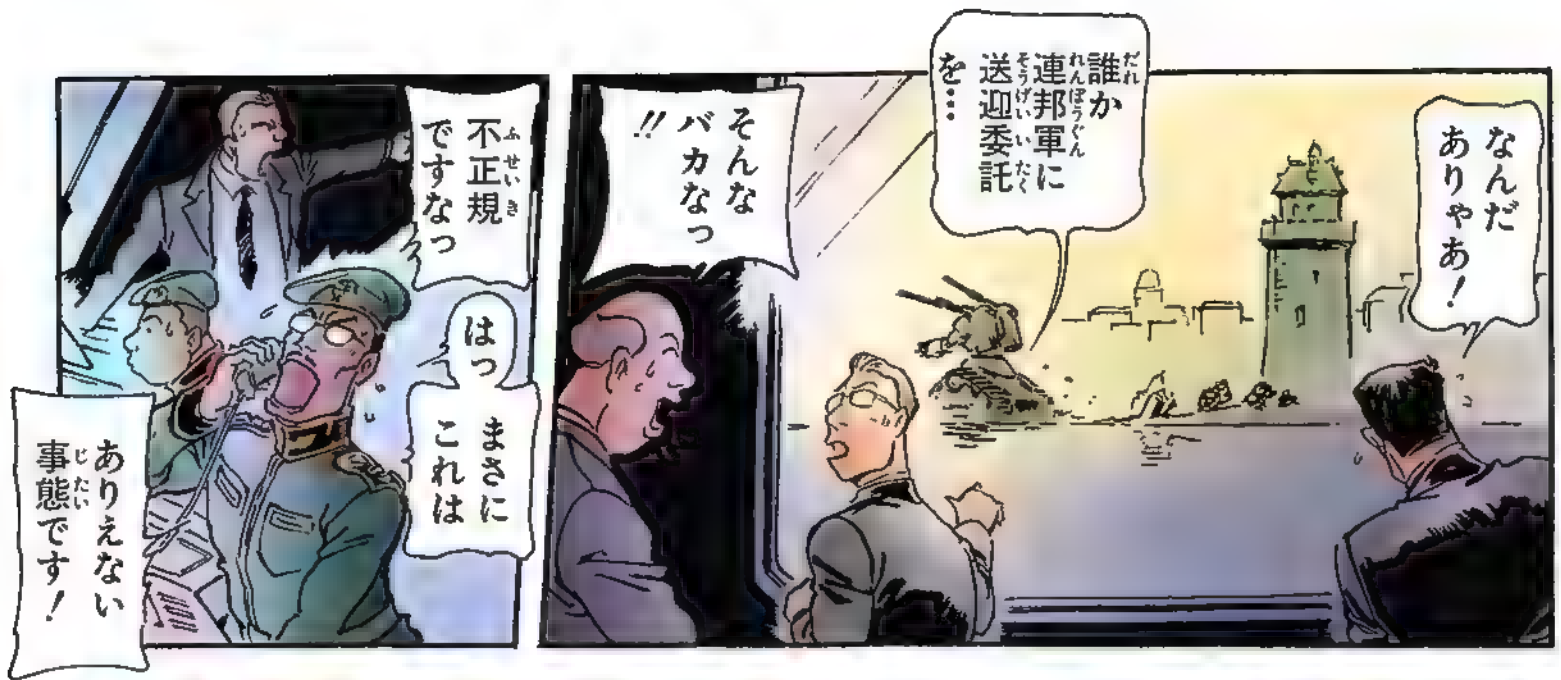




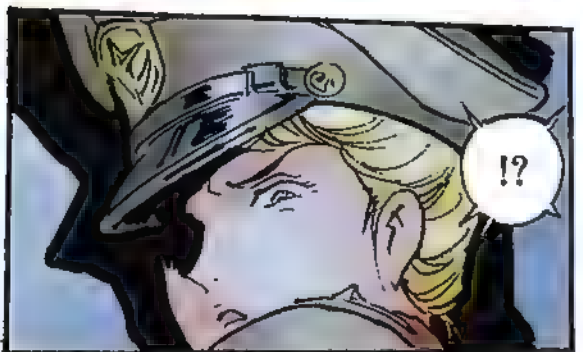
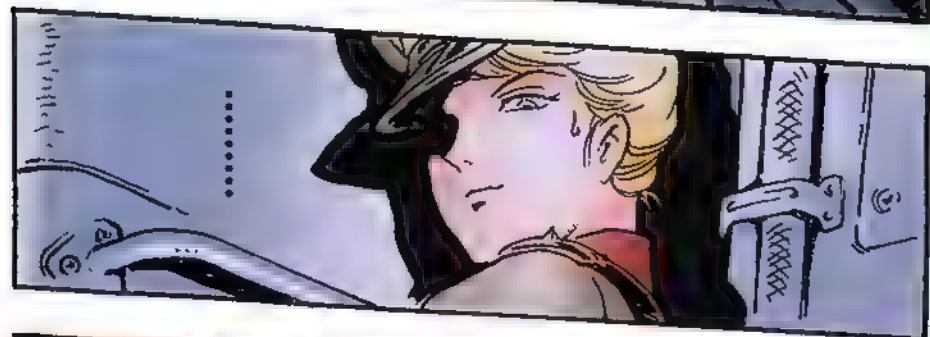




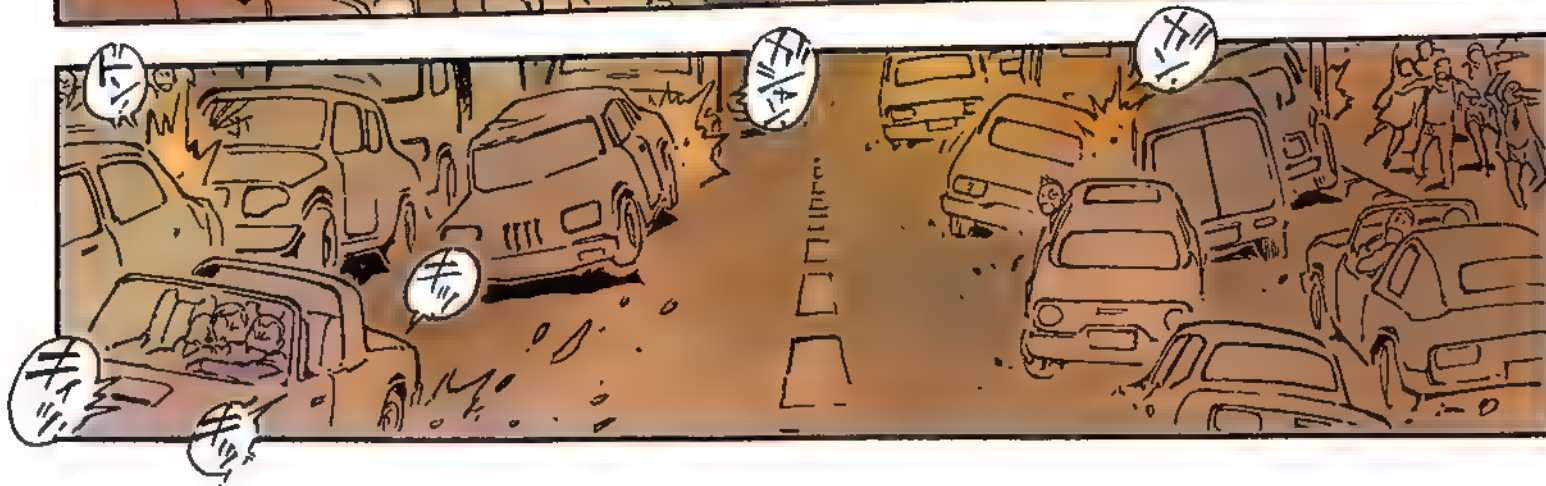
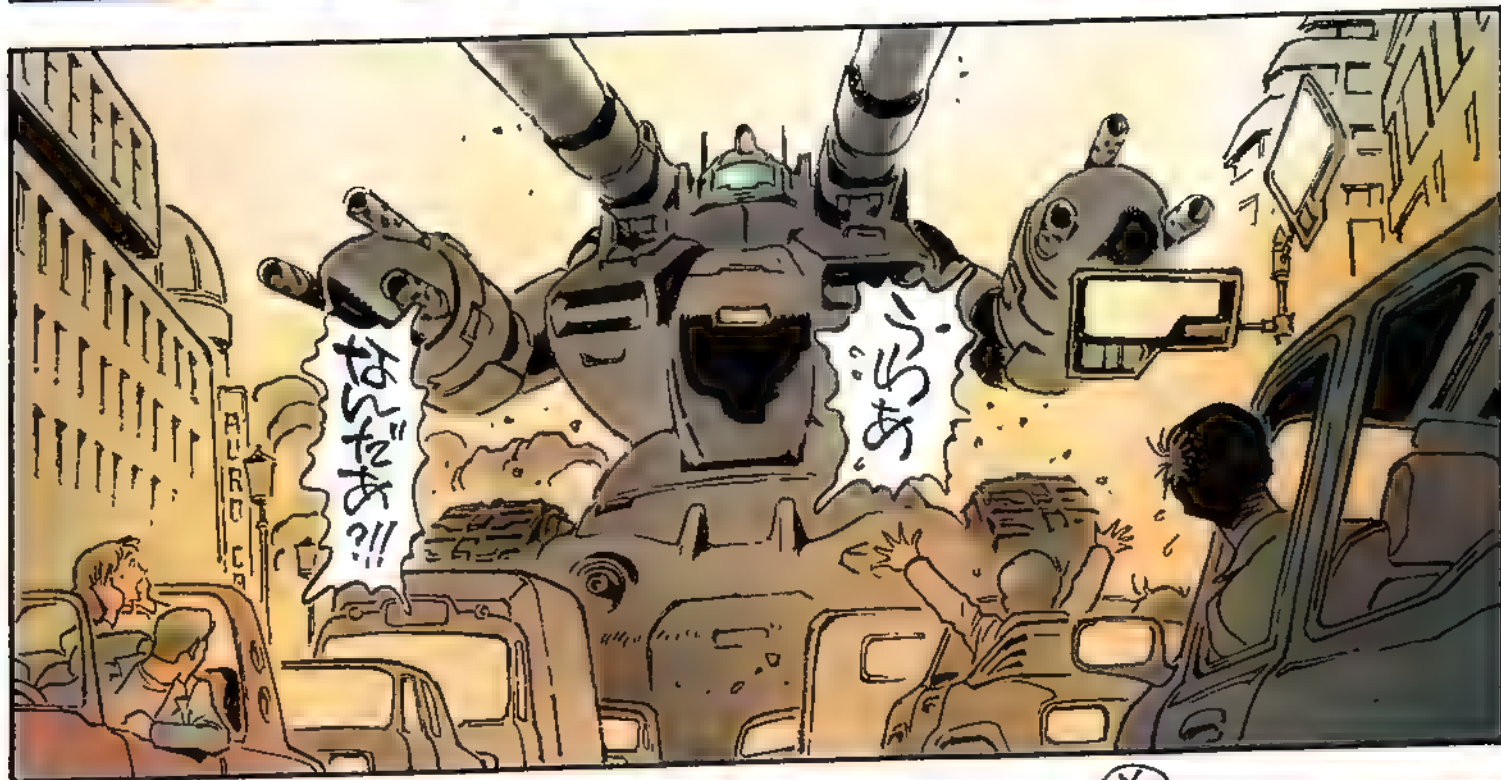
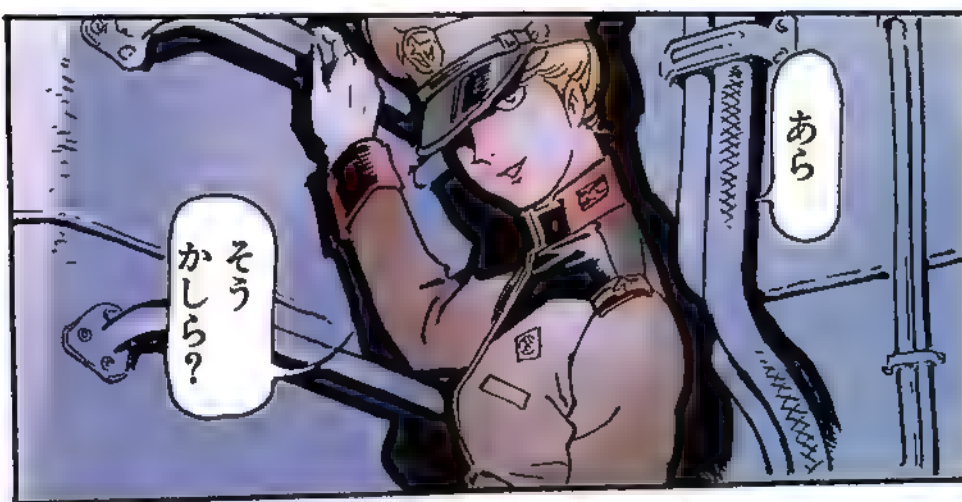














じゃああ

プラス一万  
いちまん

フルスピード  
じゅうけん  
が条件!

それで  
いかが!?

二倍より  
にばい  
下つて  
した  
いう話  
はなは  
ねえだ  
ろうよ

ねえちゃん

カネが  
それつきりしか  
ないって  
いうん  
なら

しかたない  
けどネ

その  
場合は

ばあい  
場合

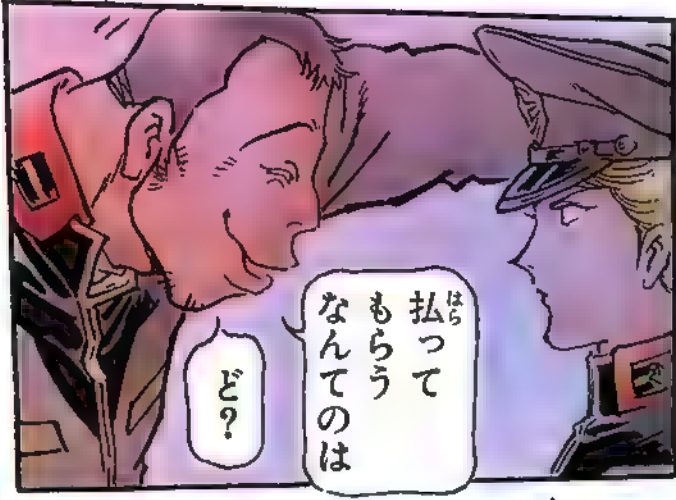
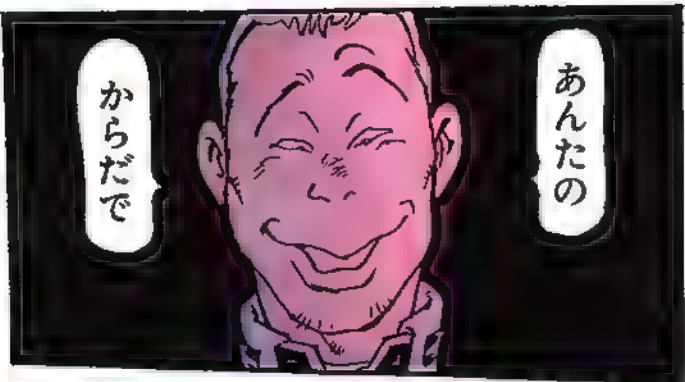
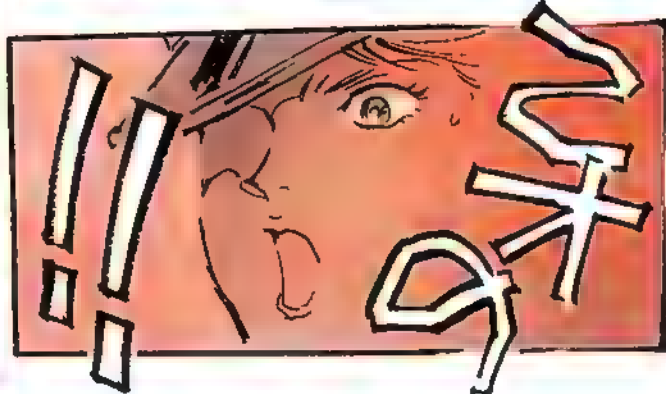
は?

あんたの

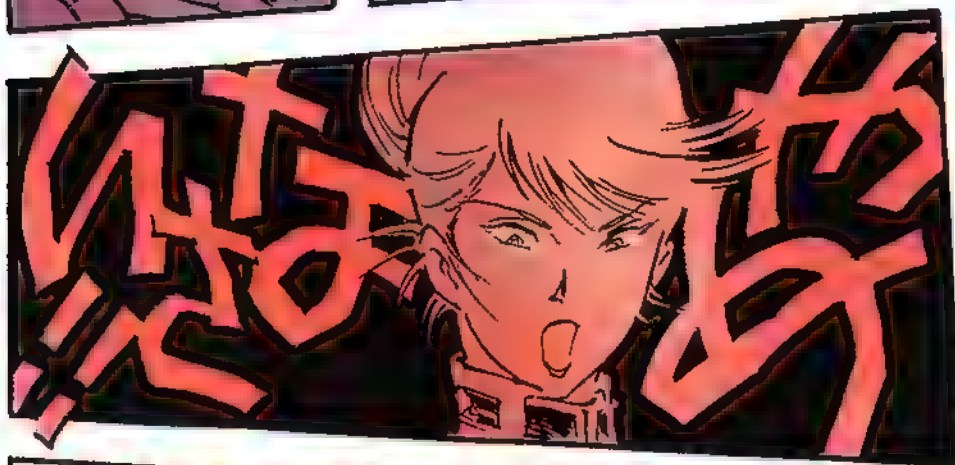
からだで

払って  
もらう  
なんてのは

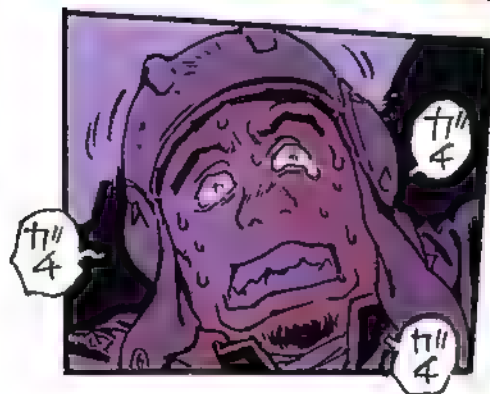
ど?



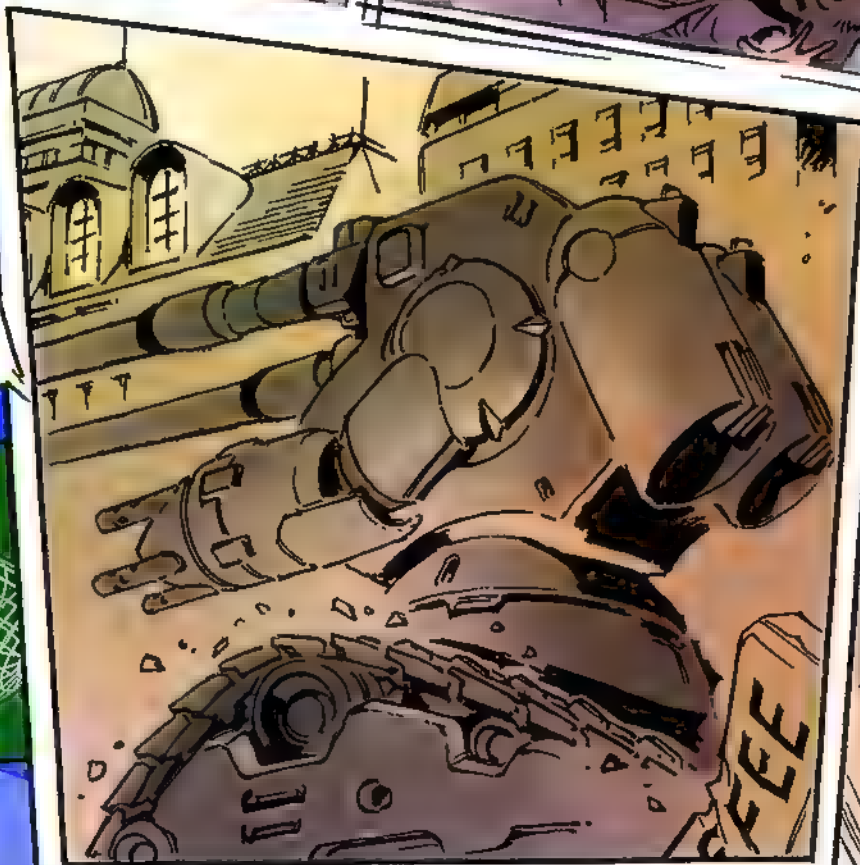
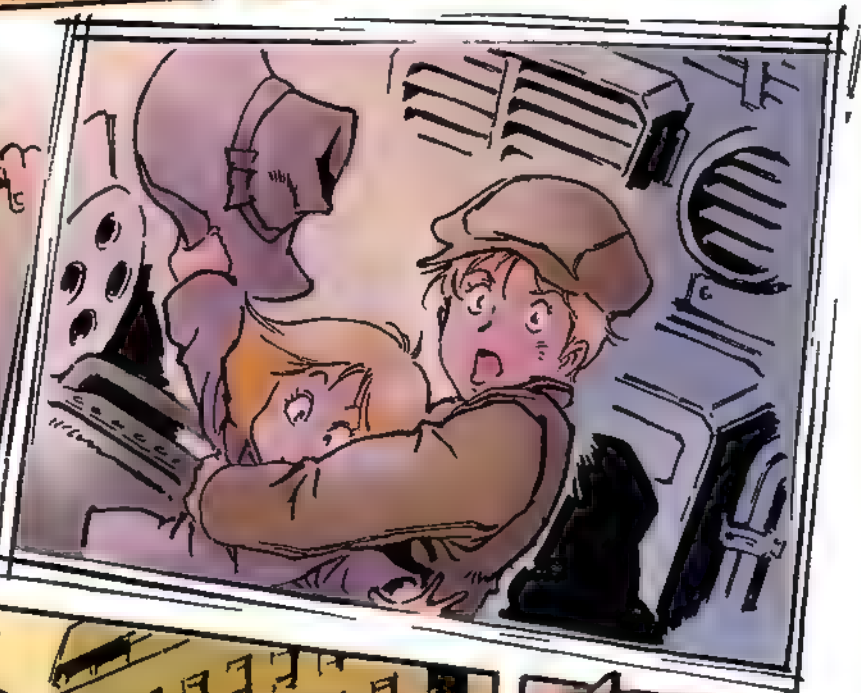
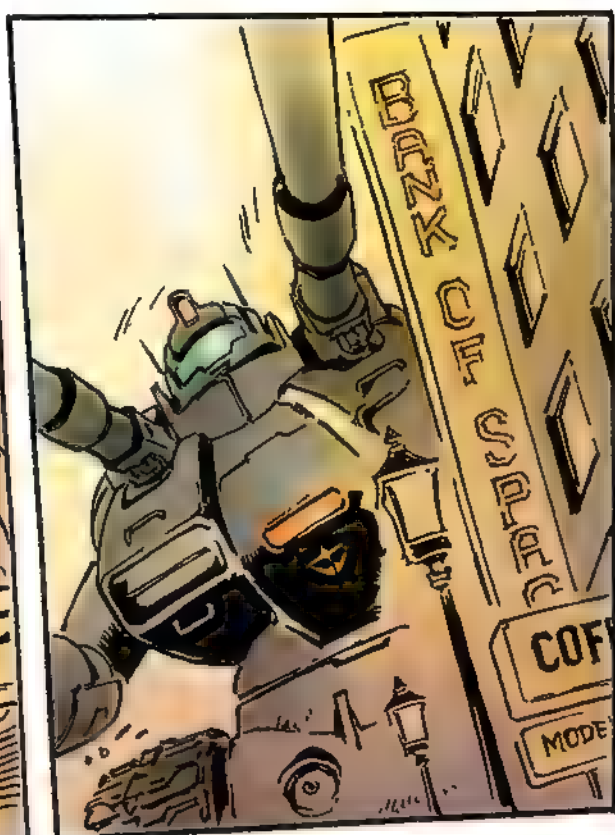
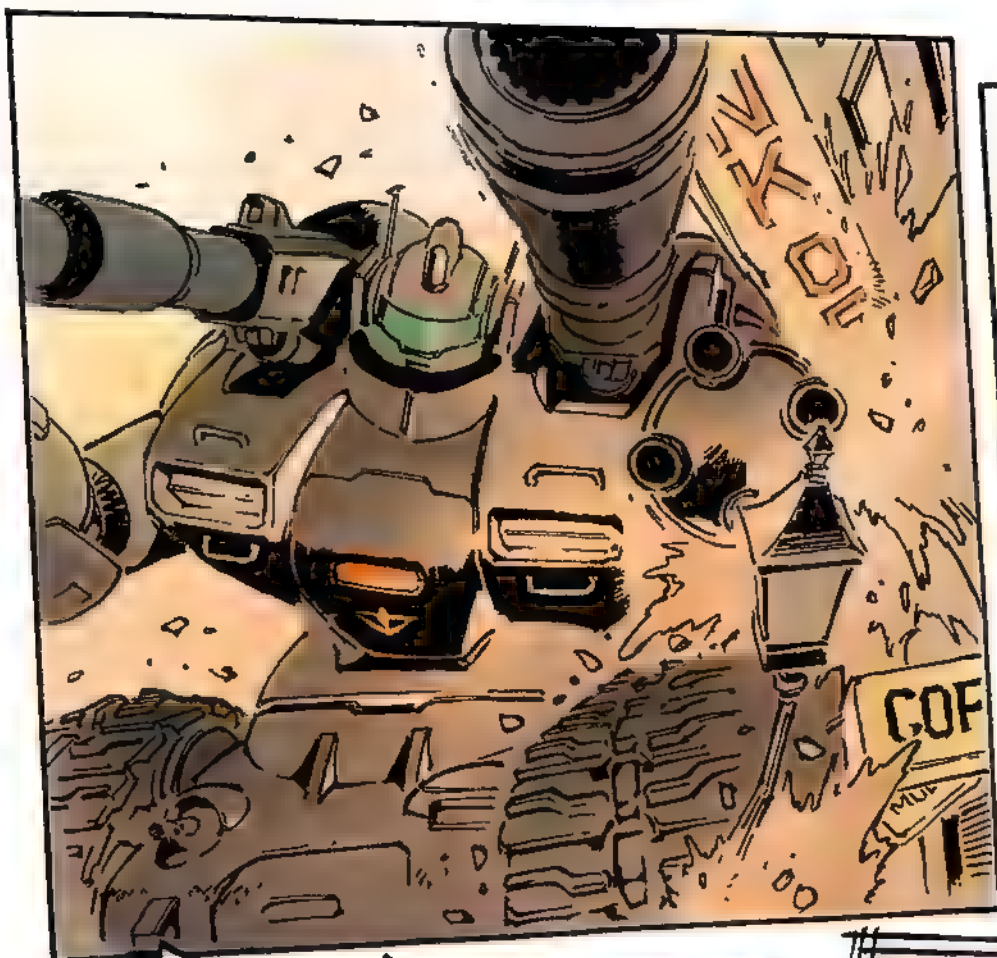




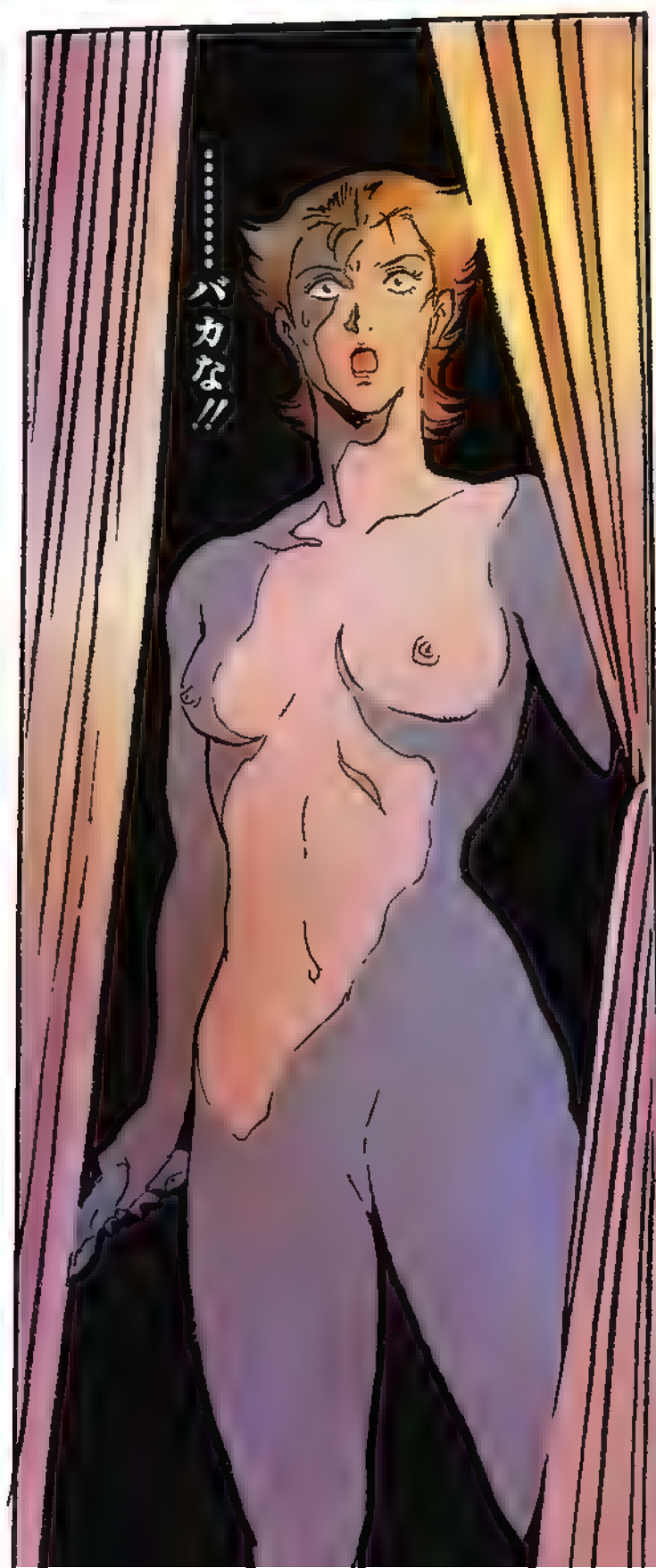
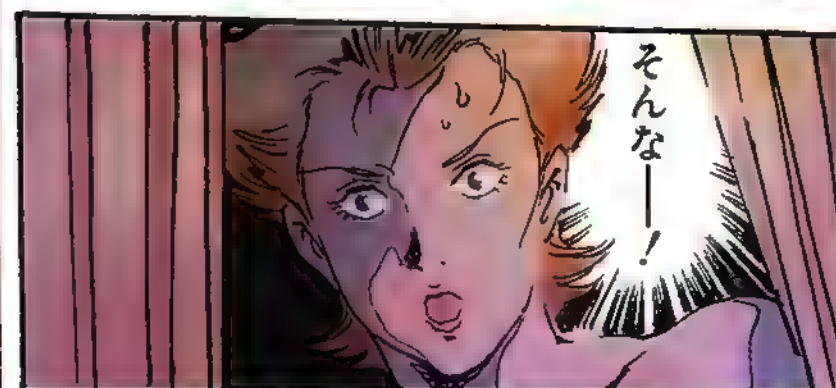
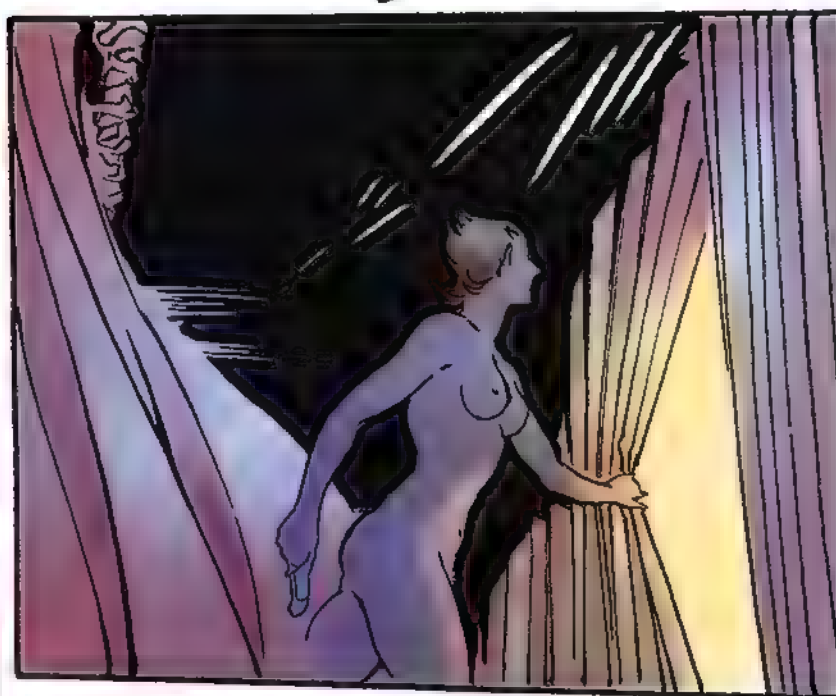
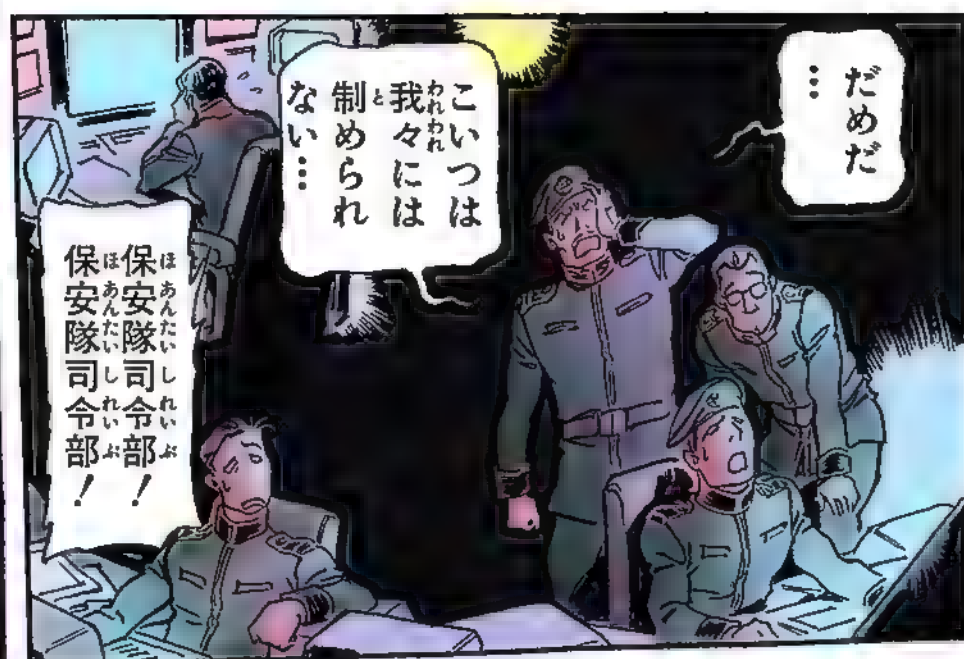
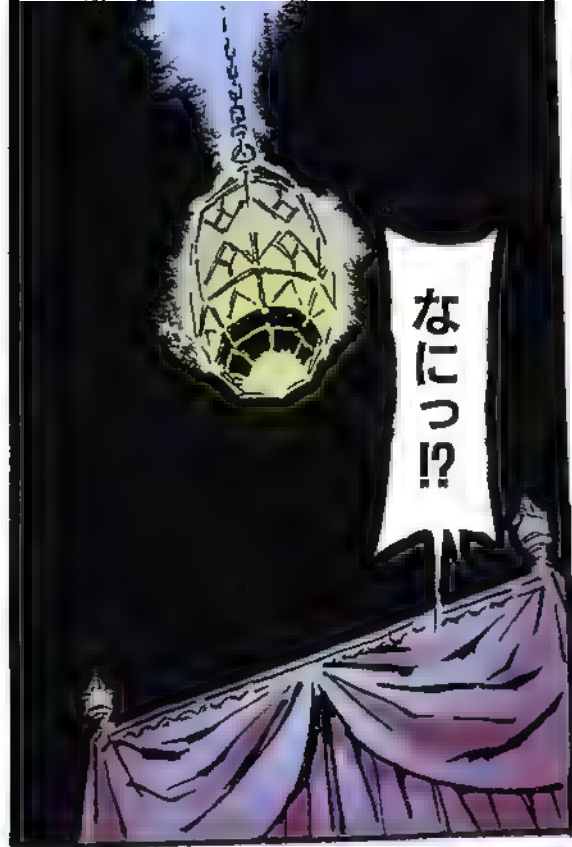
こんな所で銃を  
撃つたらどんな  
ことになるか



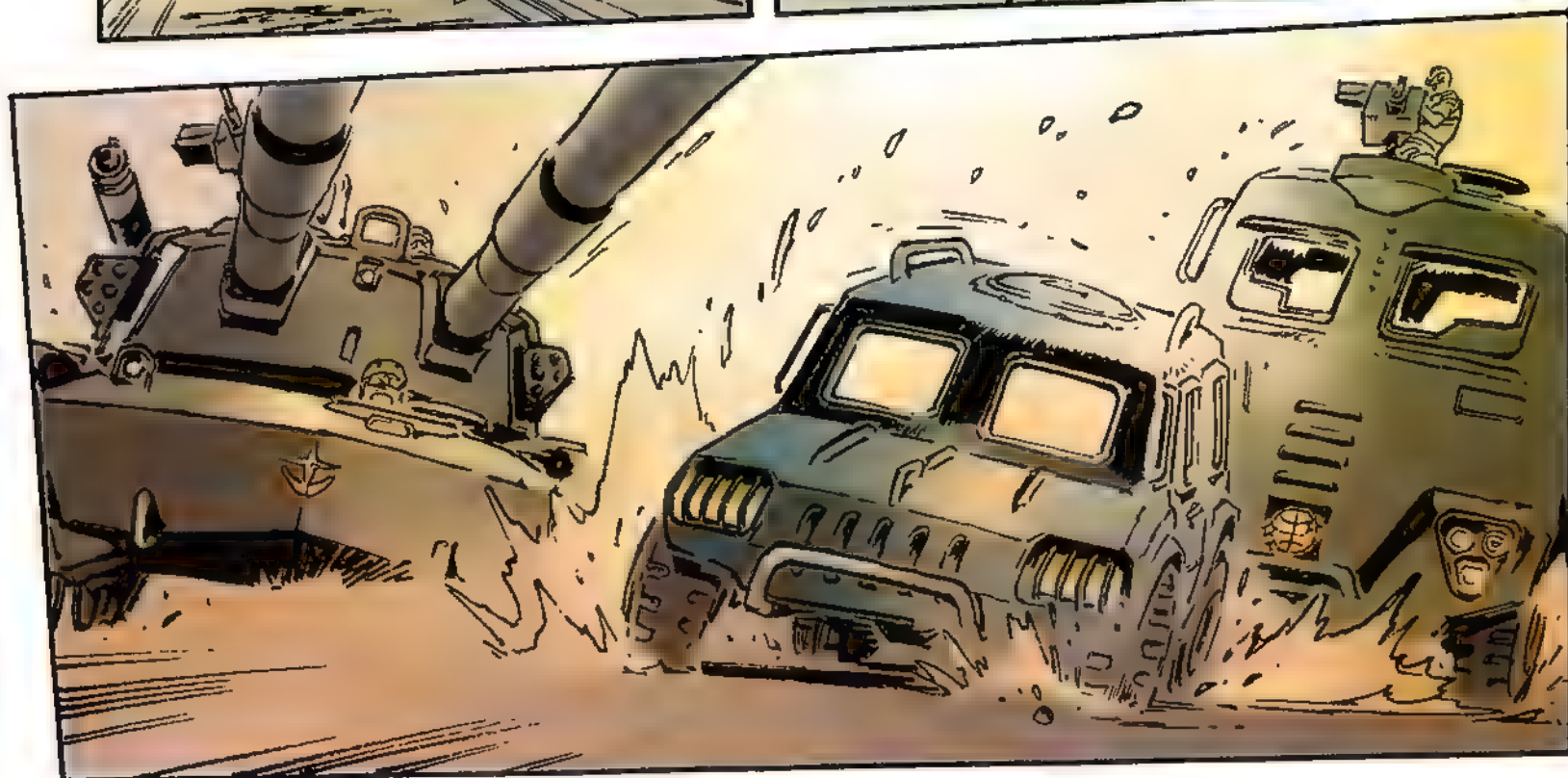
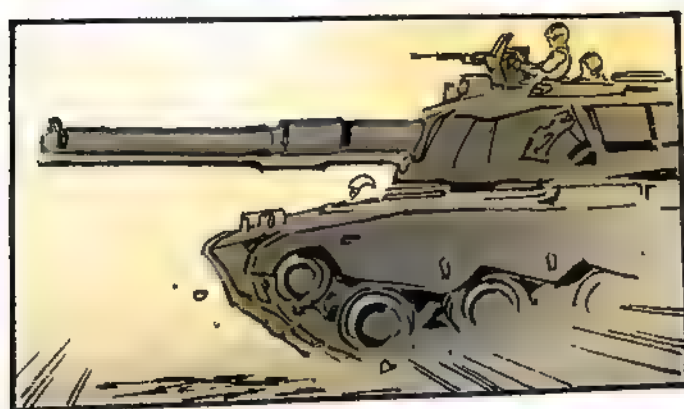
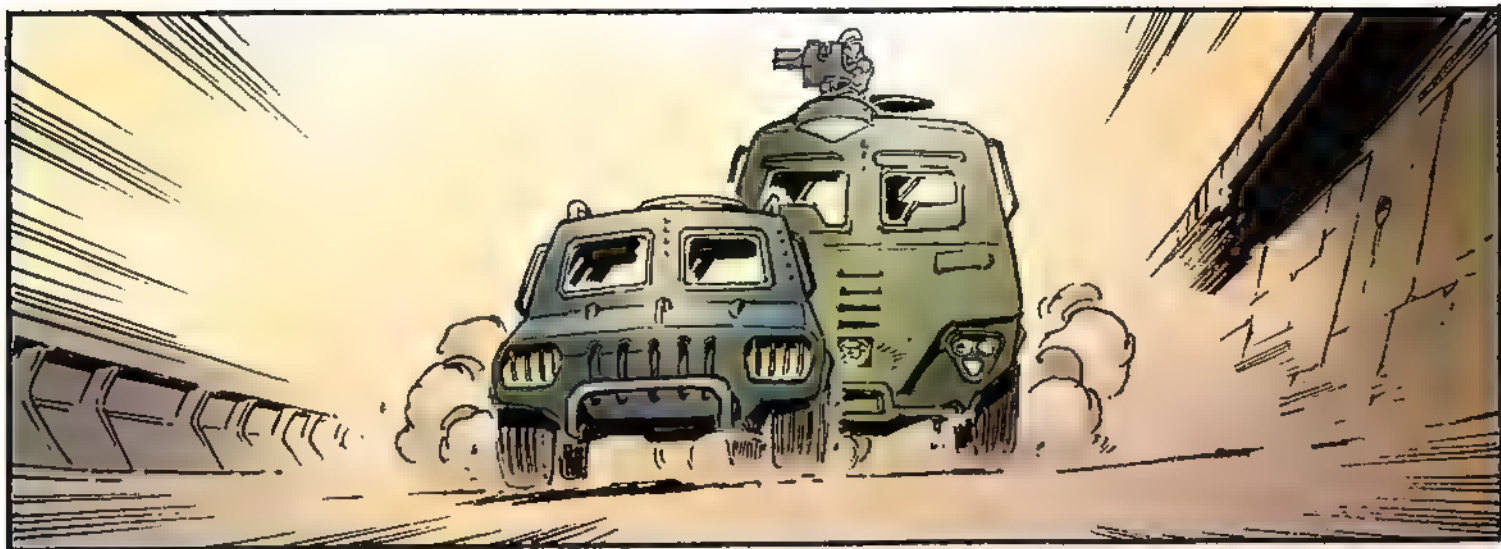








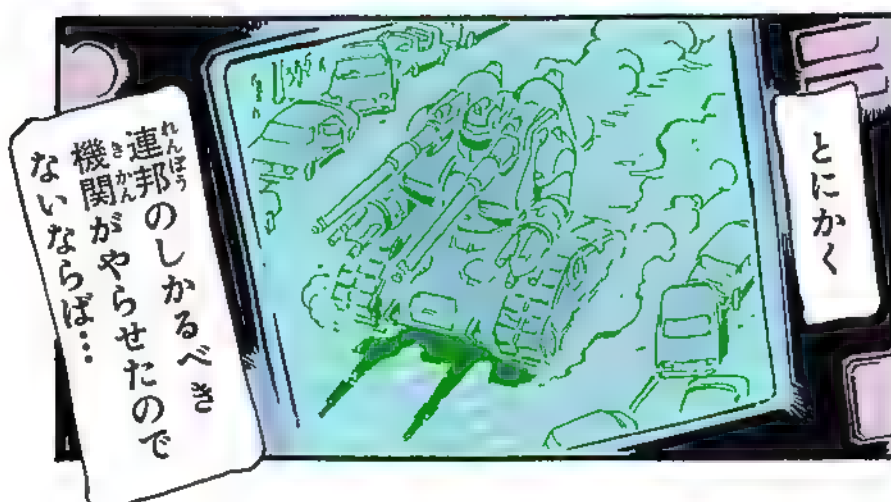
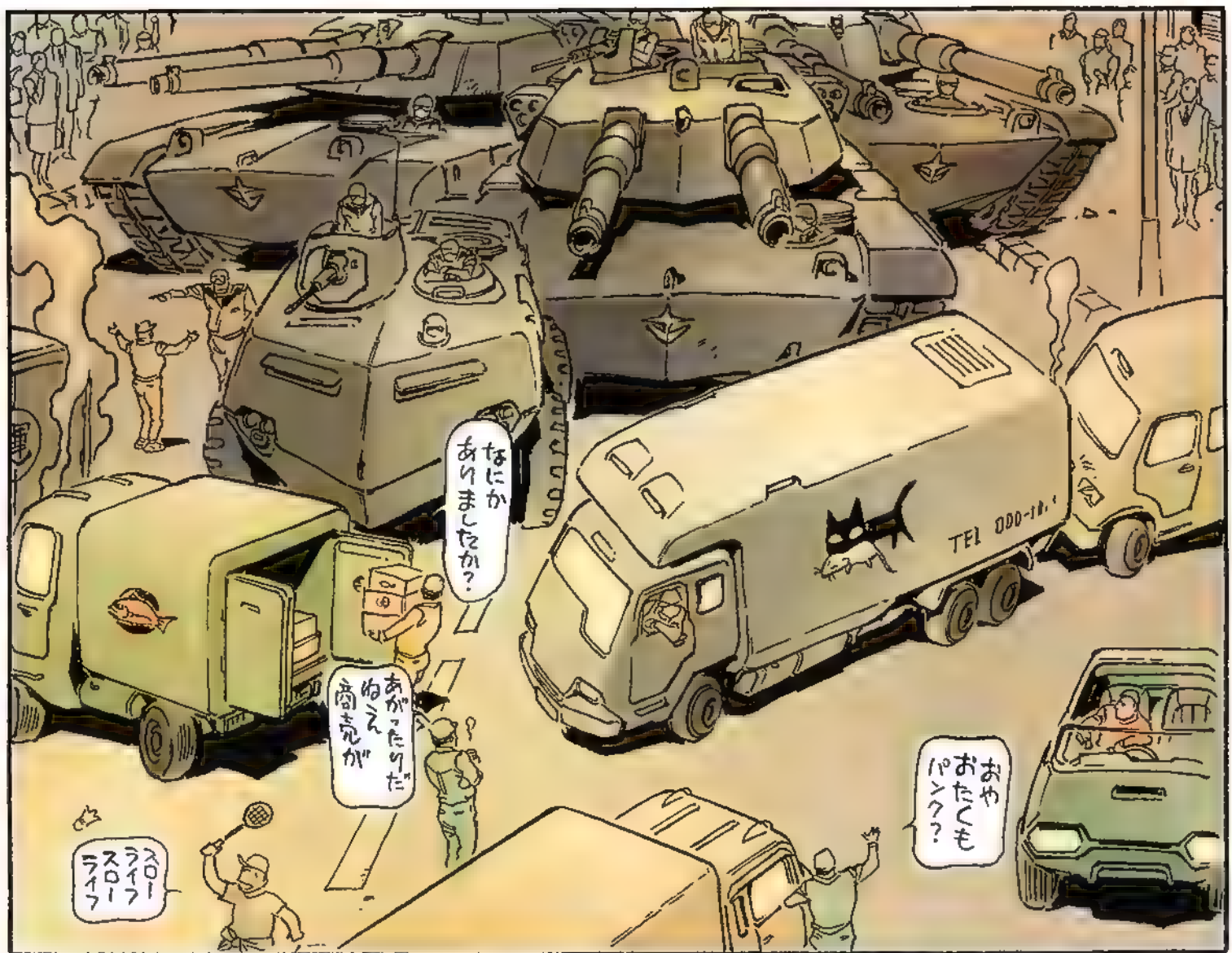




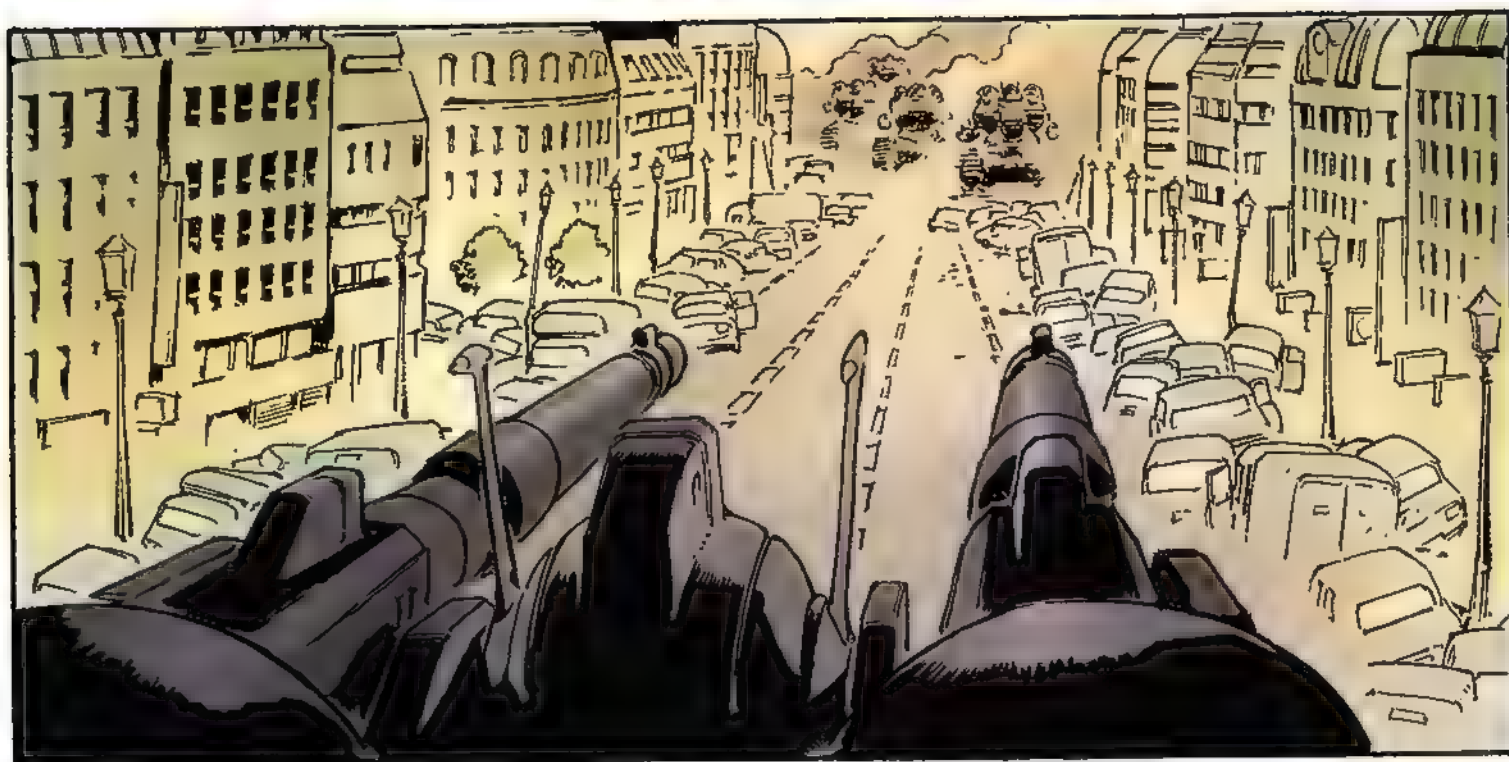
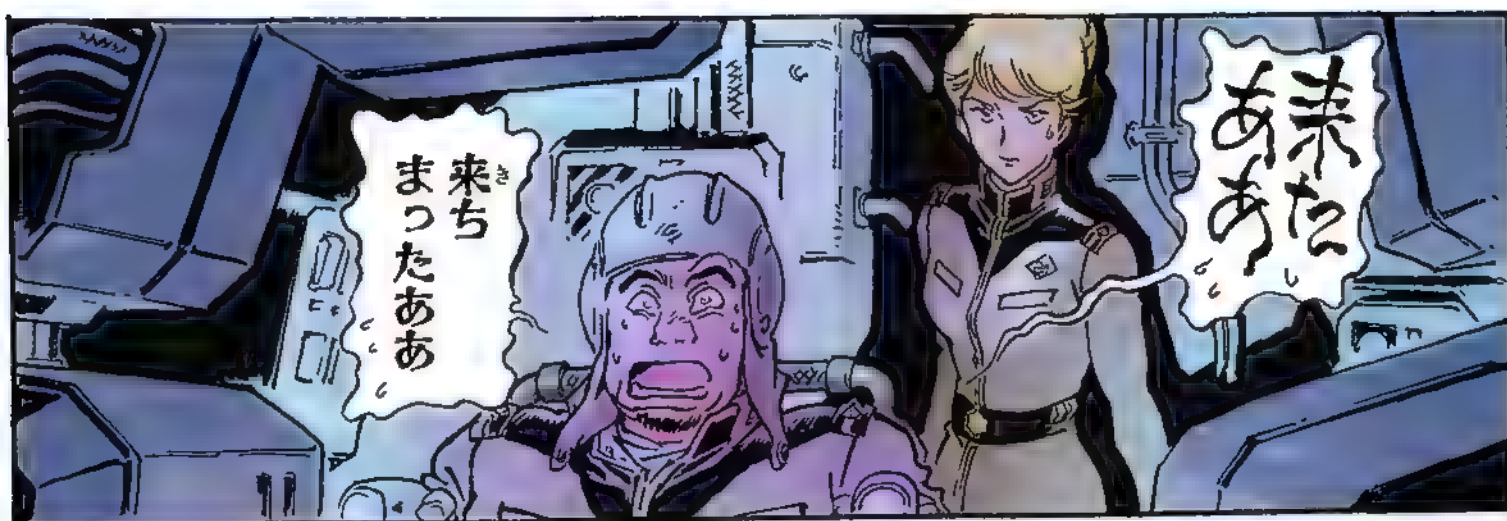
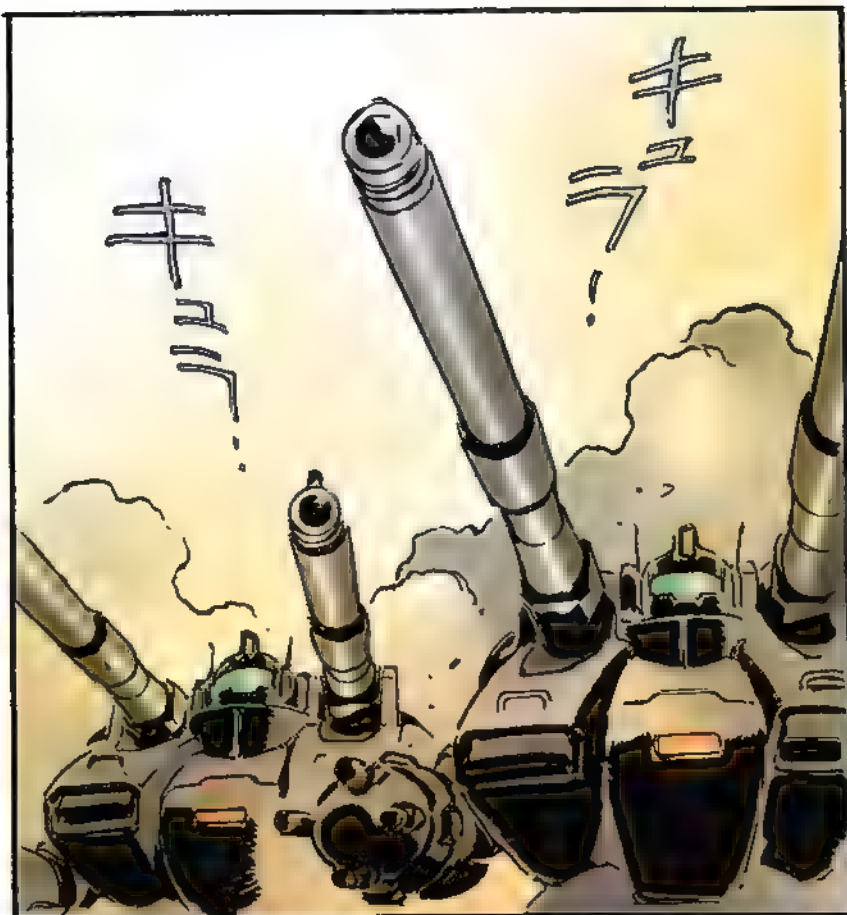




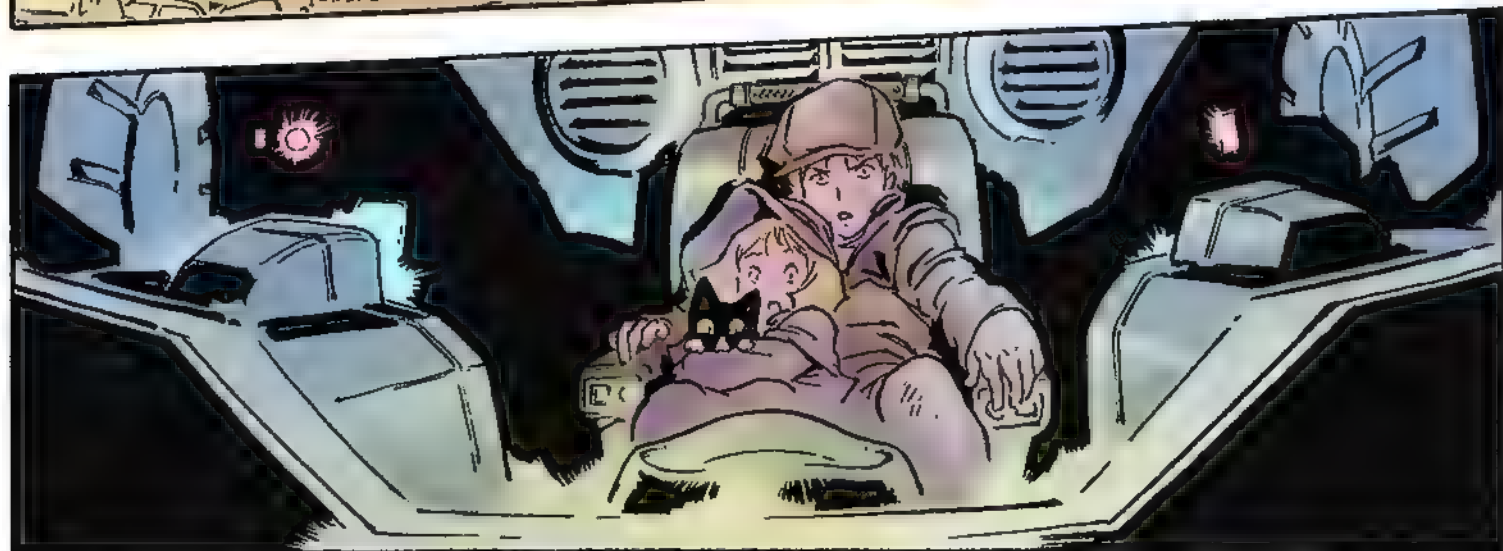
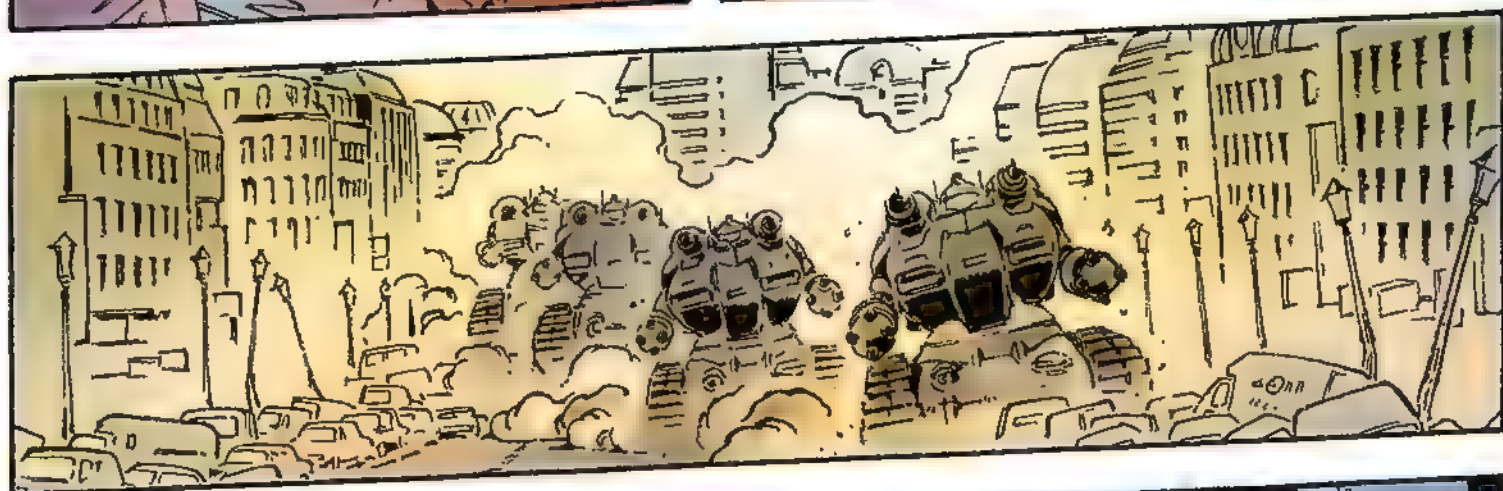
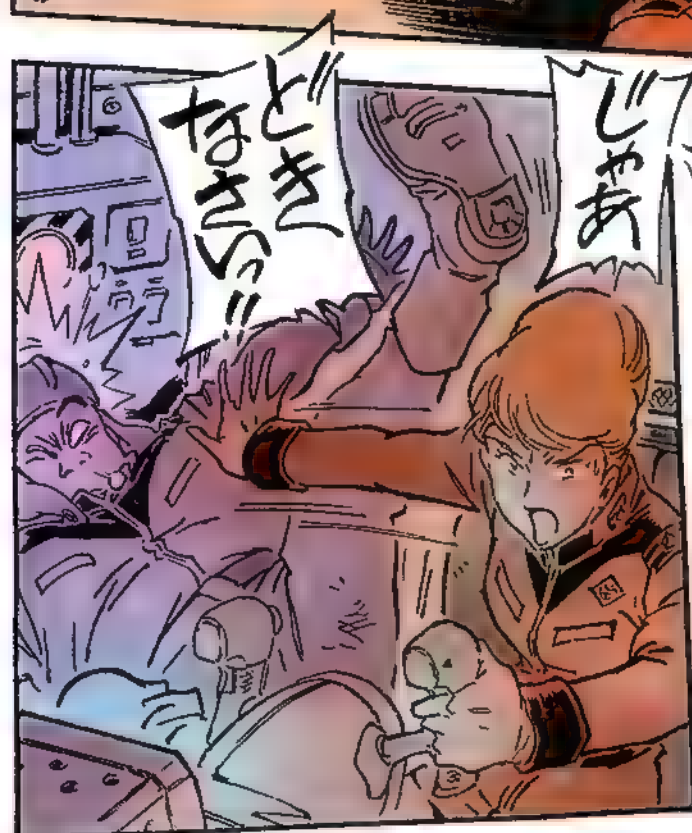
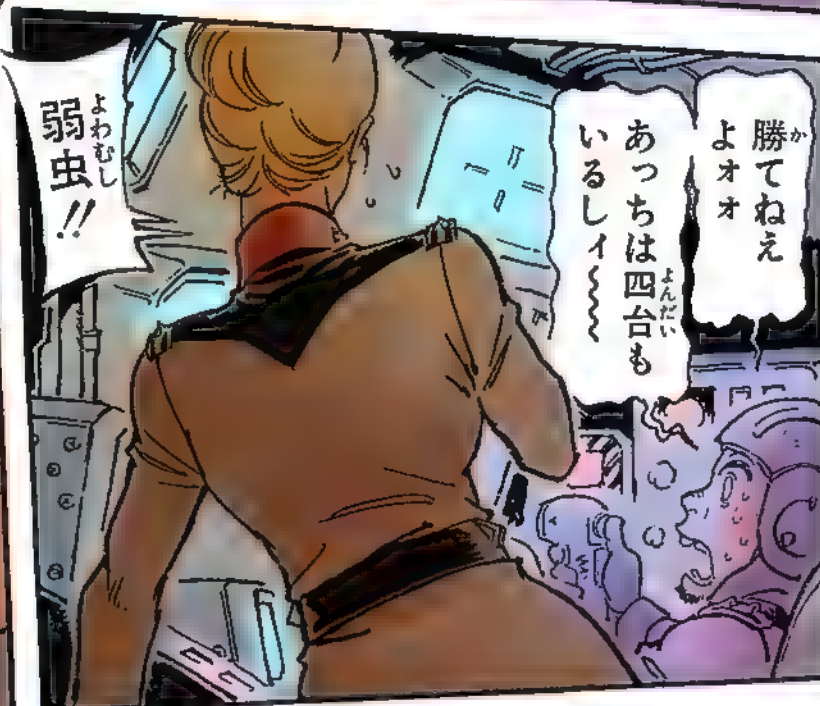
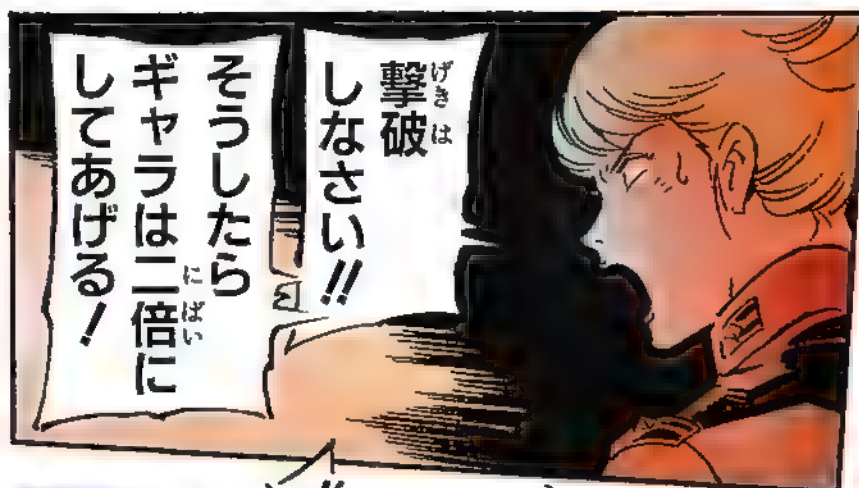




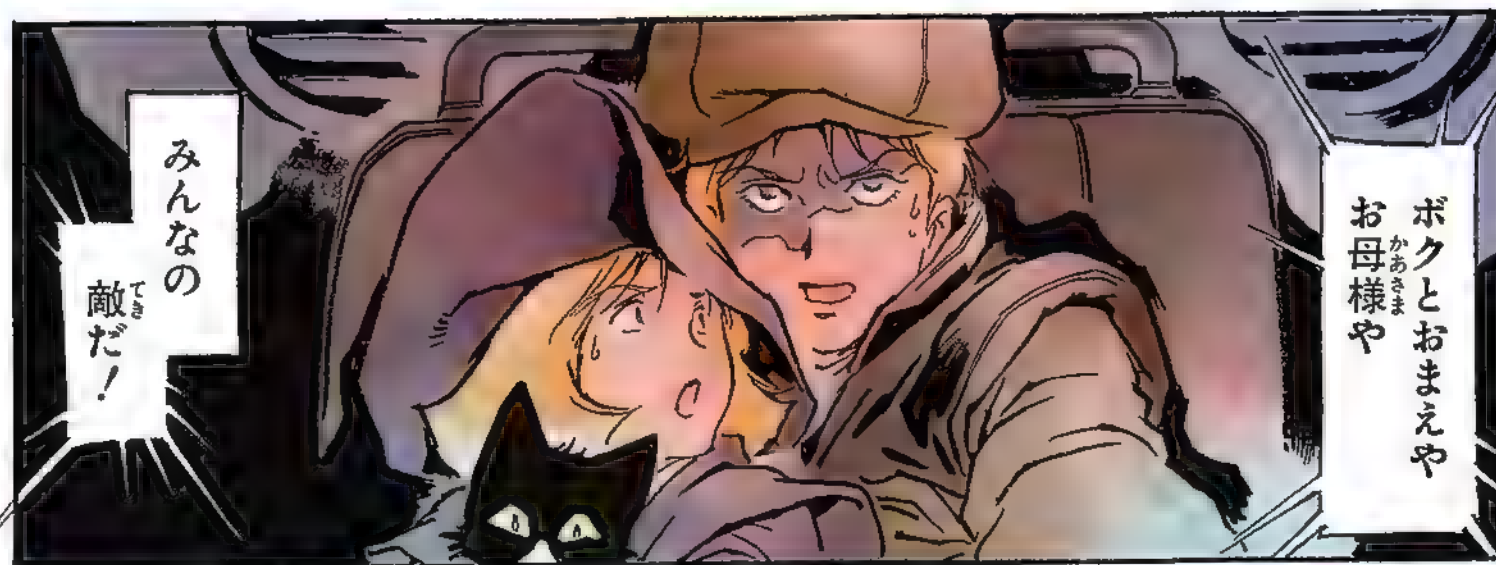
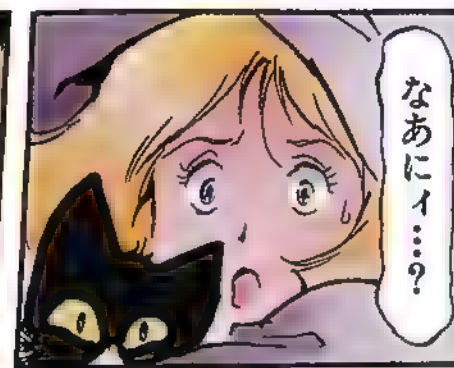
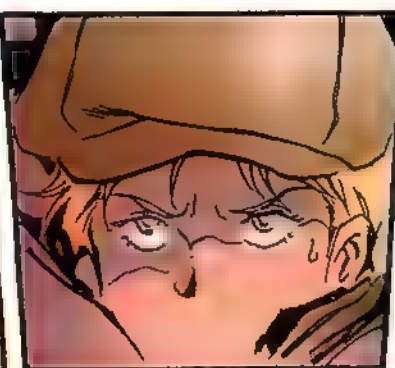
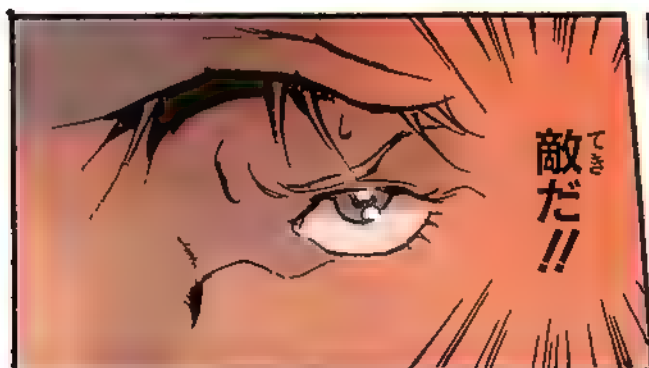
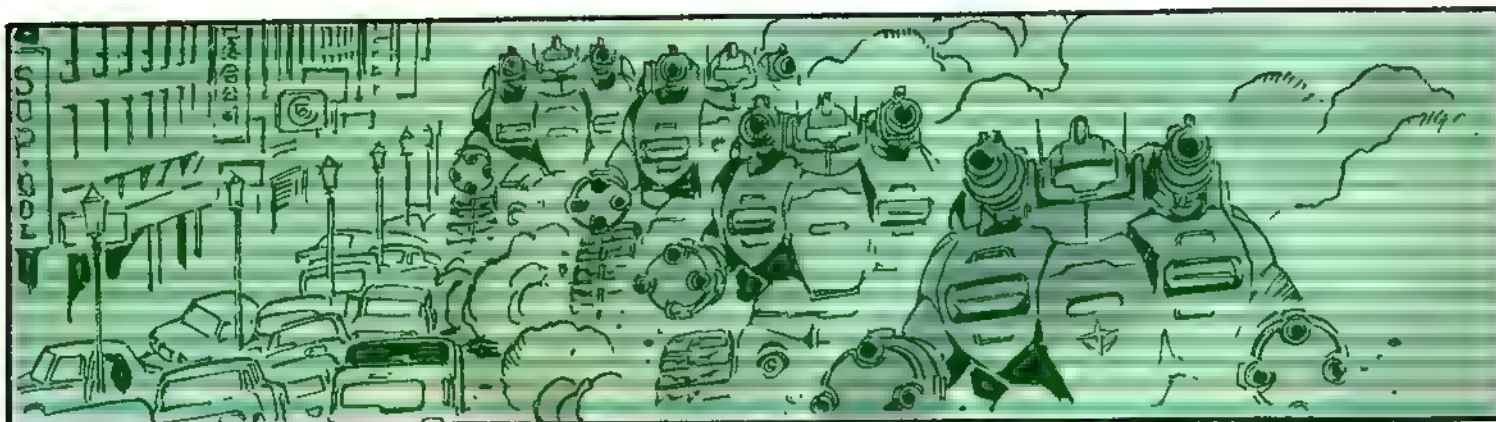
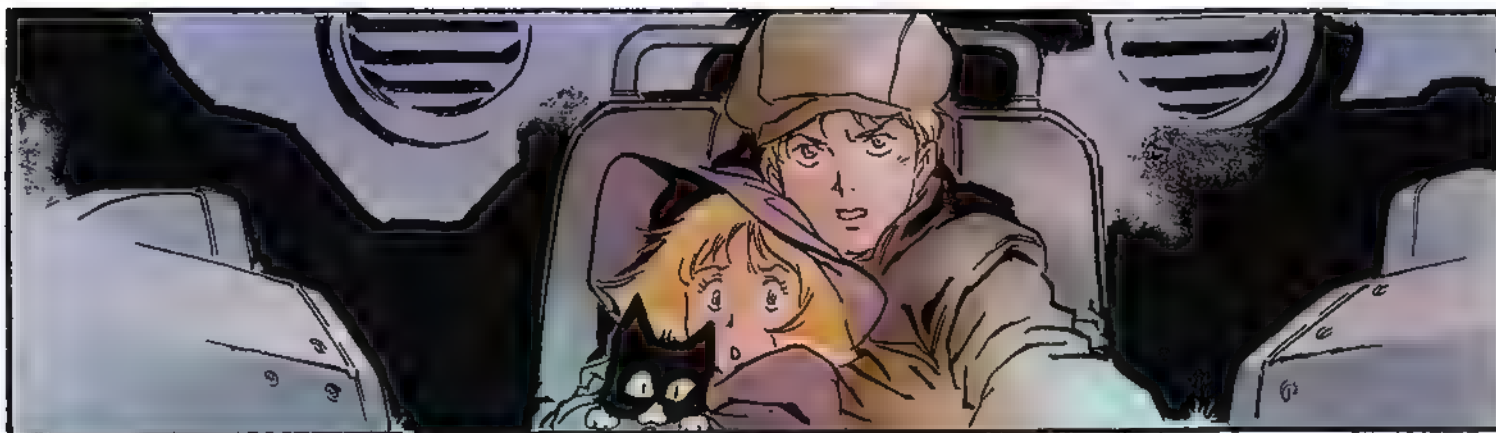






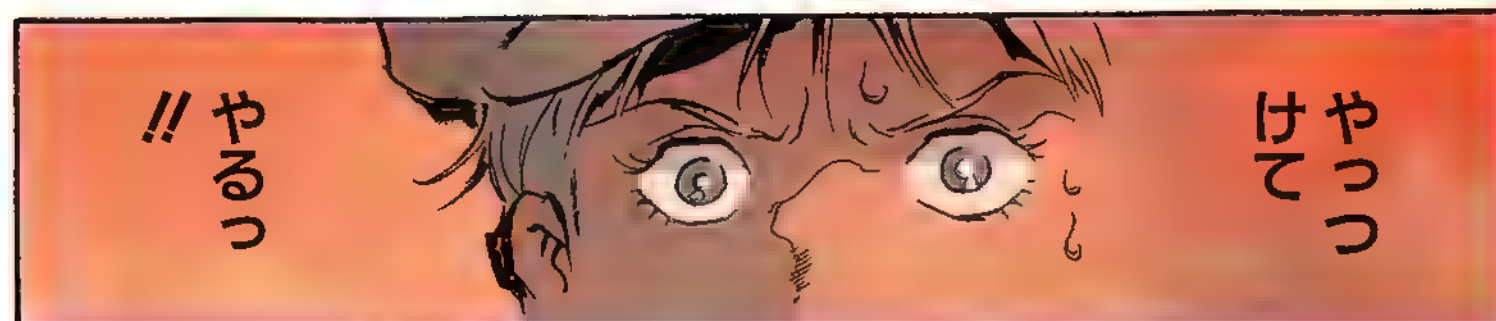




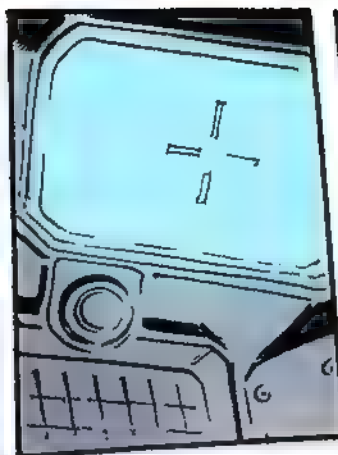
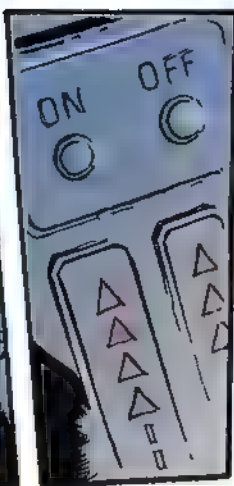


みんなの  
敵だ!

ボクとおまえや  
お母様や



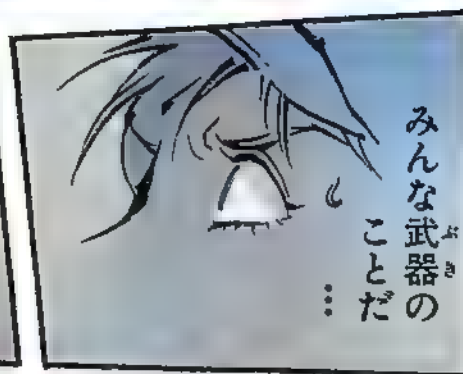




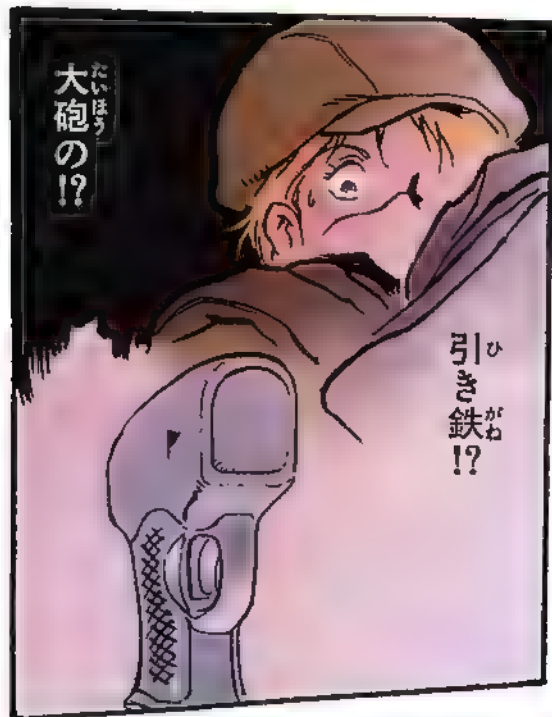
ここから  
でも!



撃てるんだ

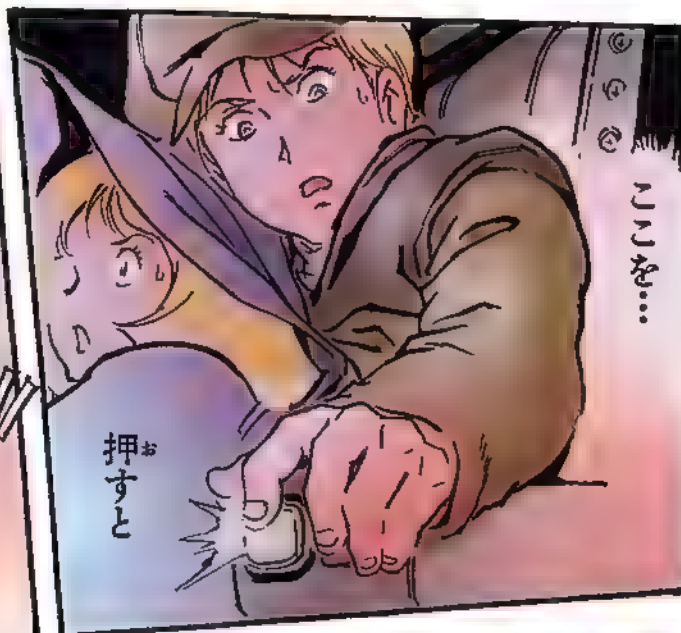
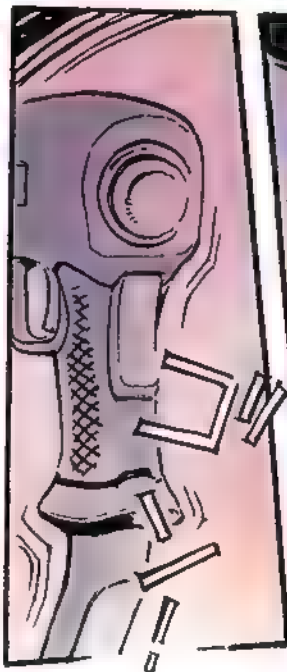


みんな武器の  
ことだ



大砲の!?

引き鉄!?

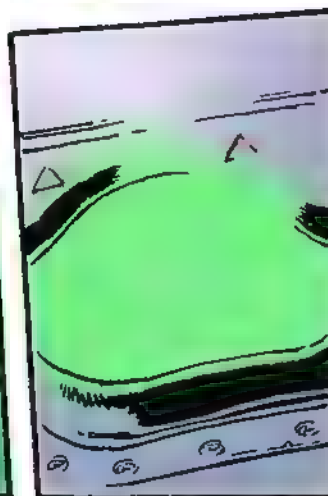
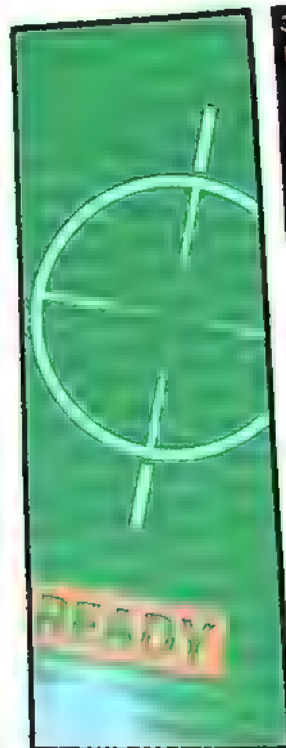


ここを...

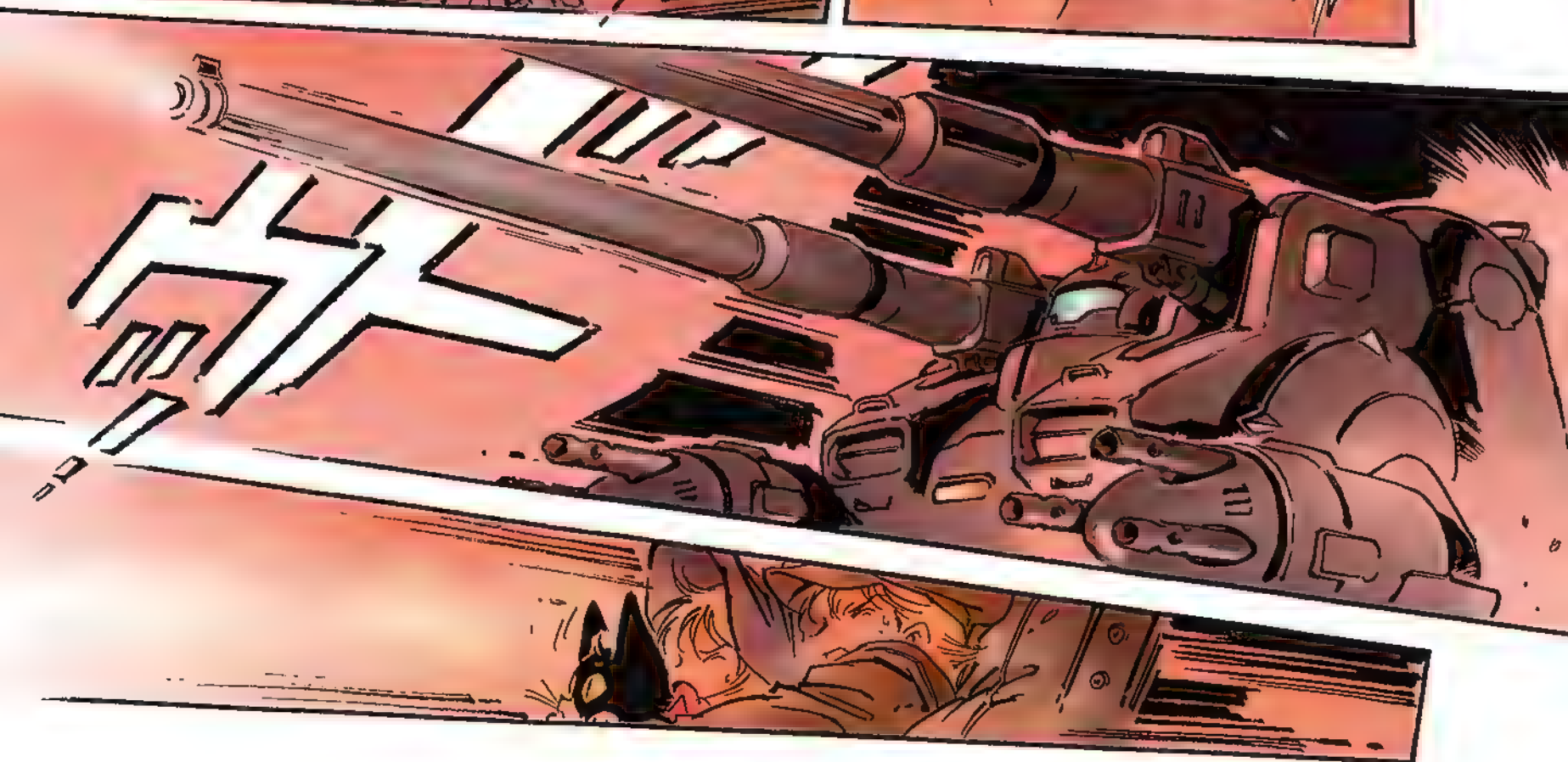
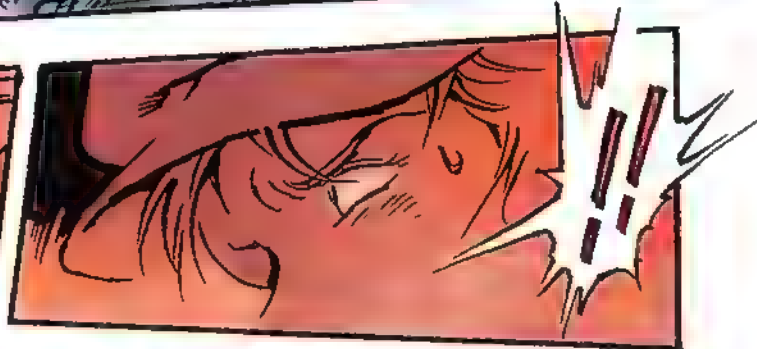
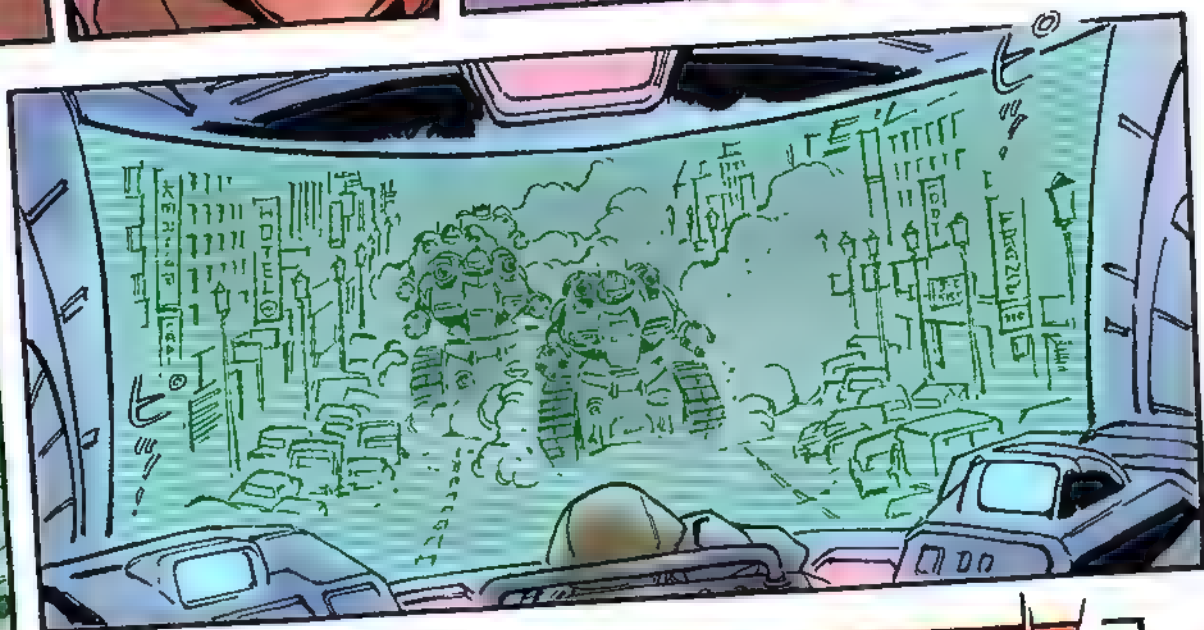
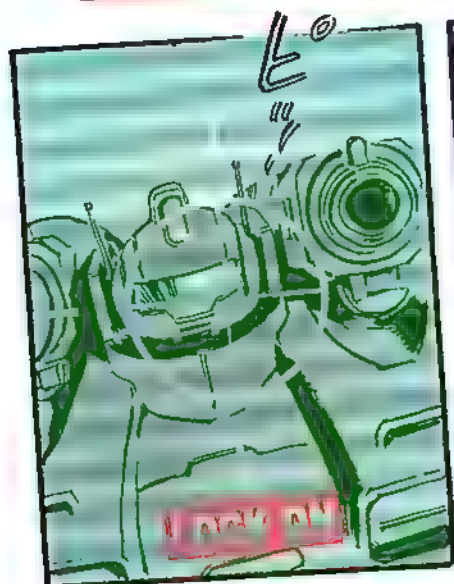
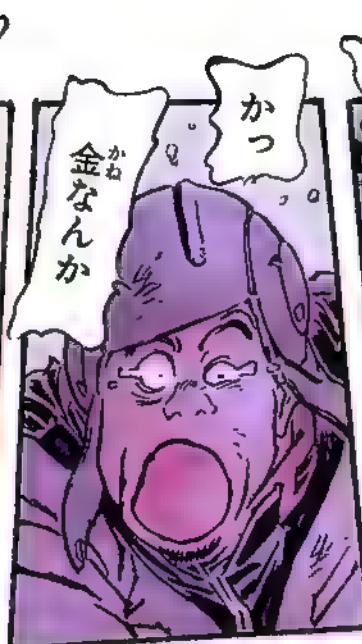
押すと



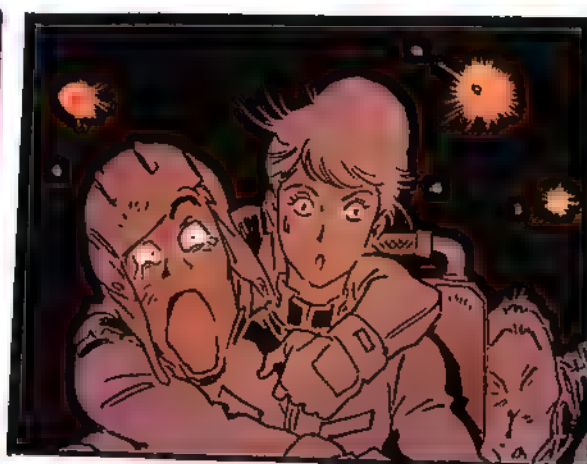
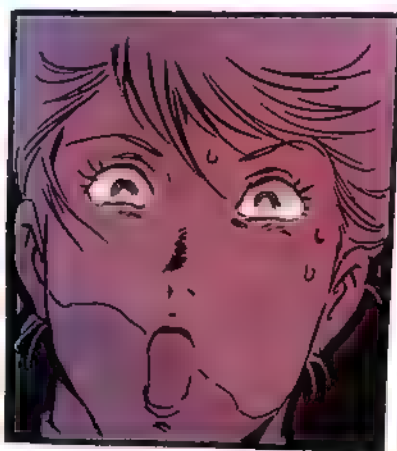
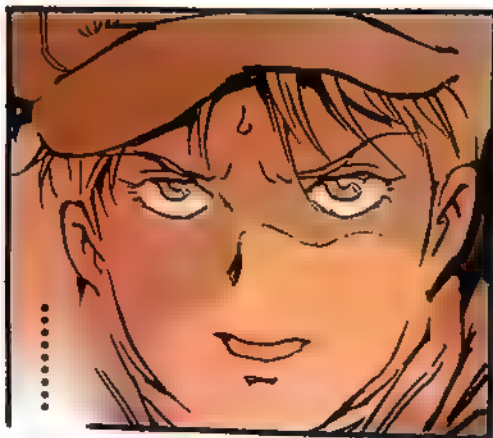
やめて  
くれ!











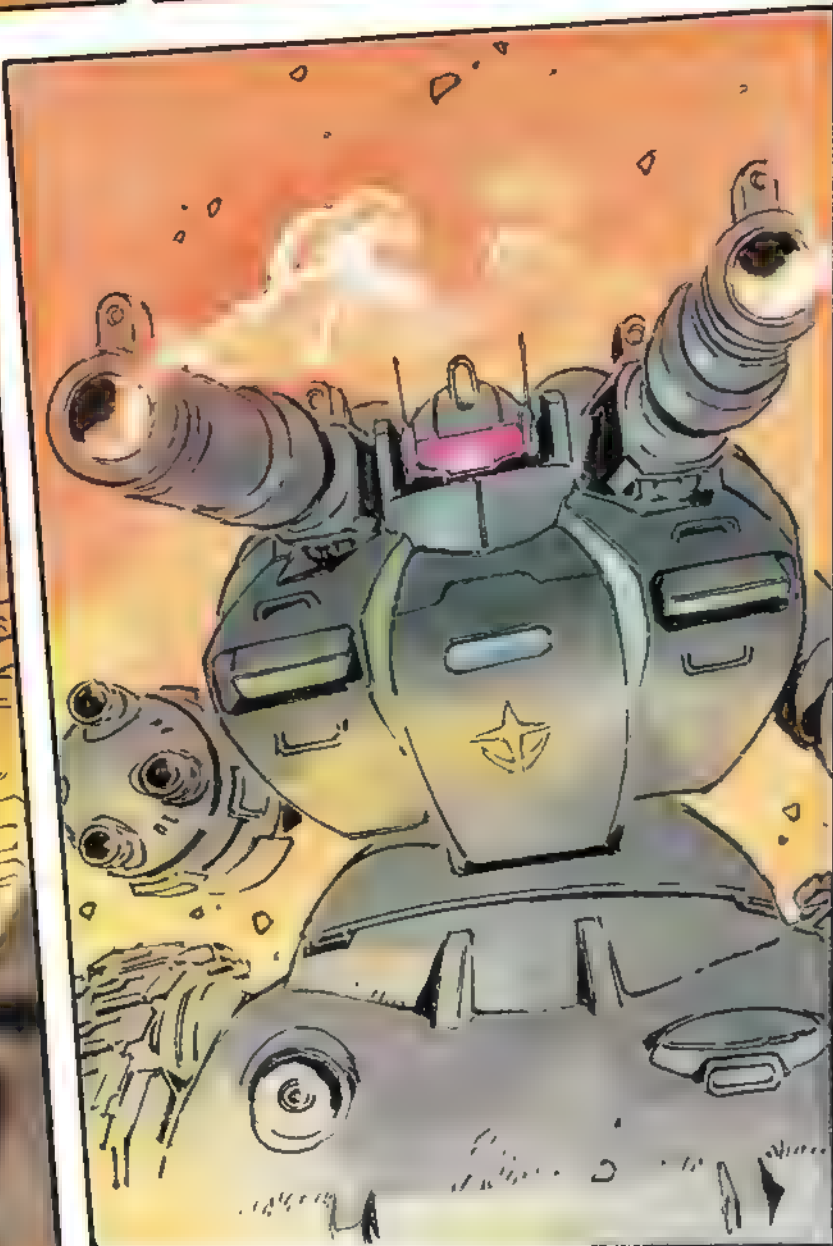
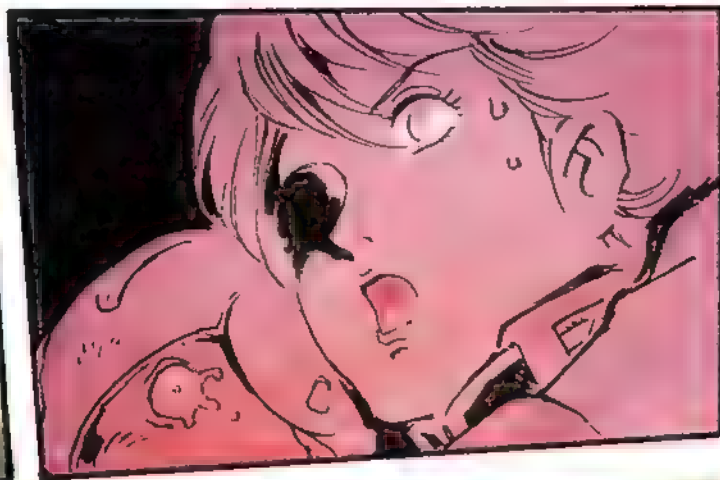
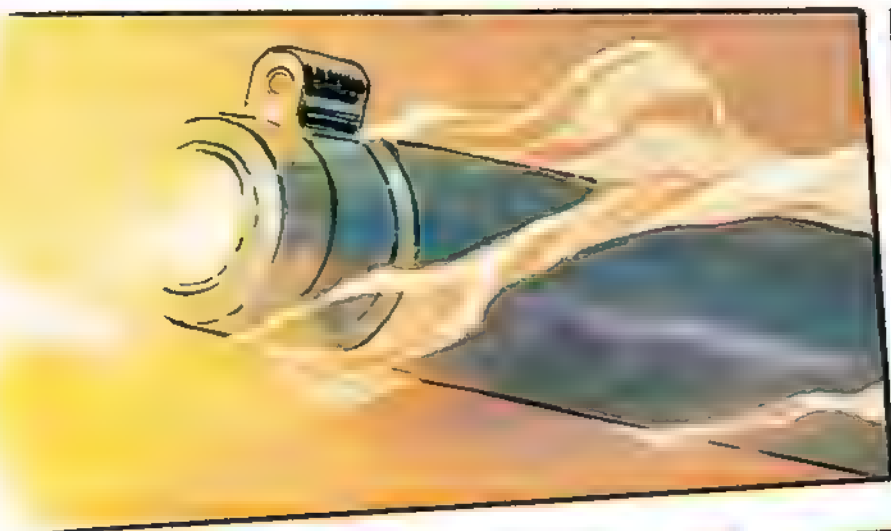
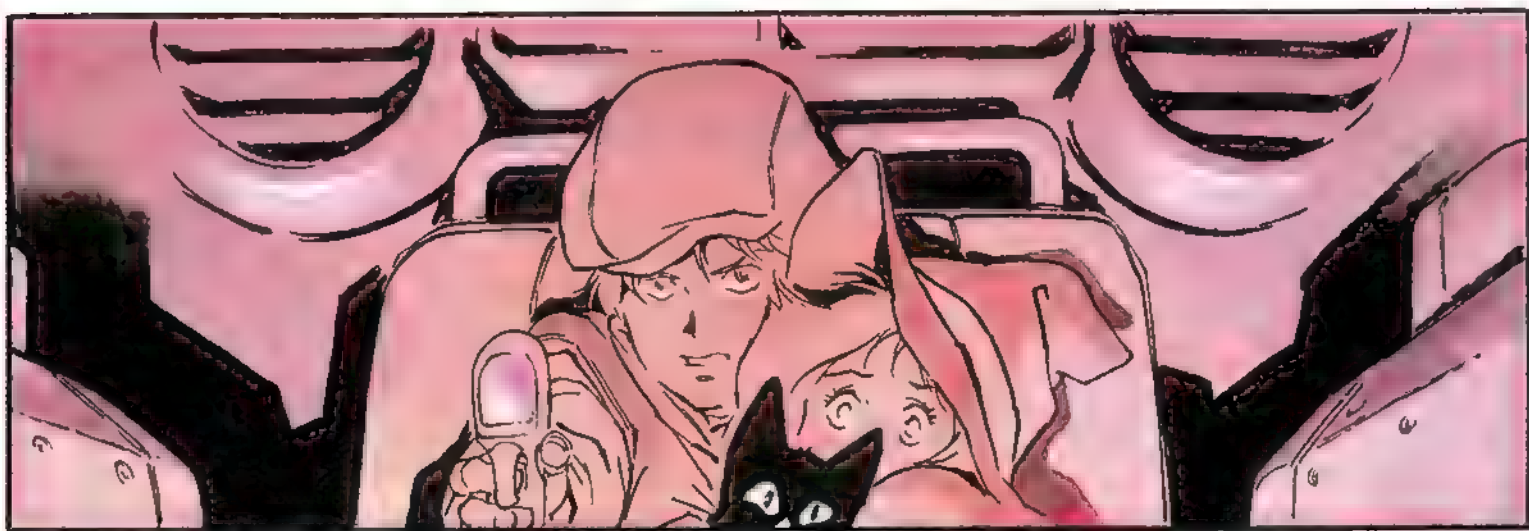


—シャア・セイラ編・前—

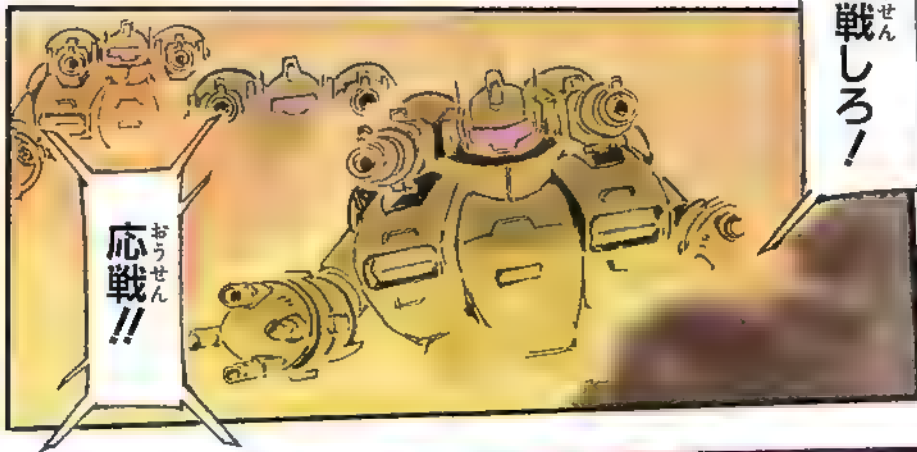
# SECTION IV



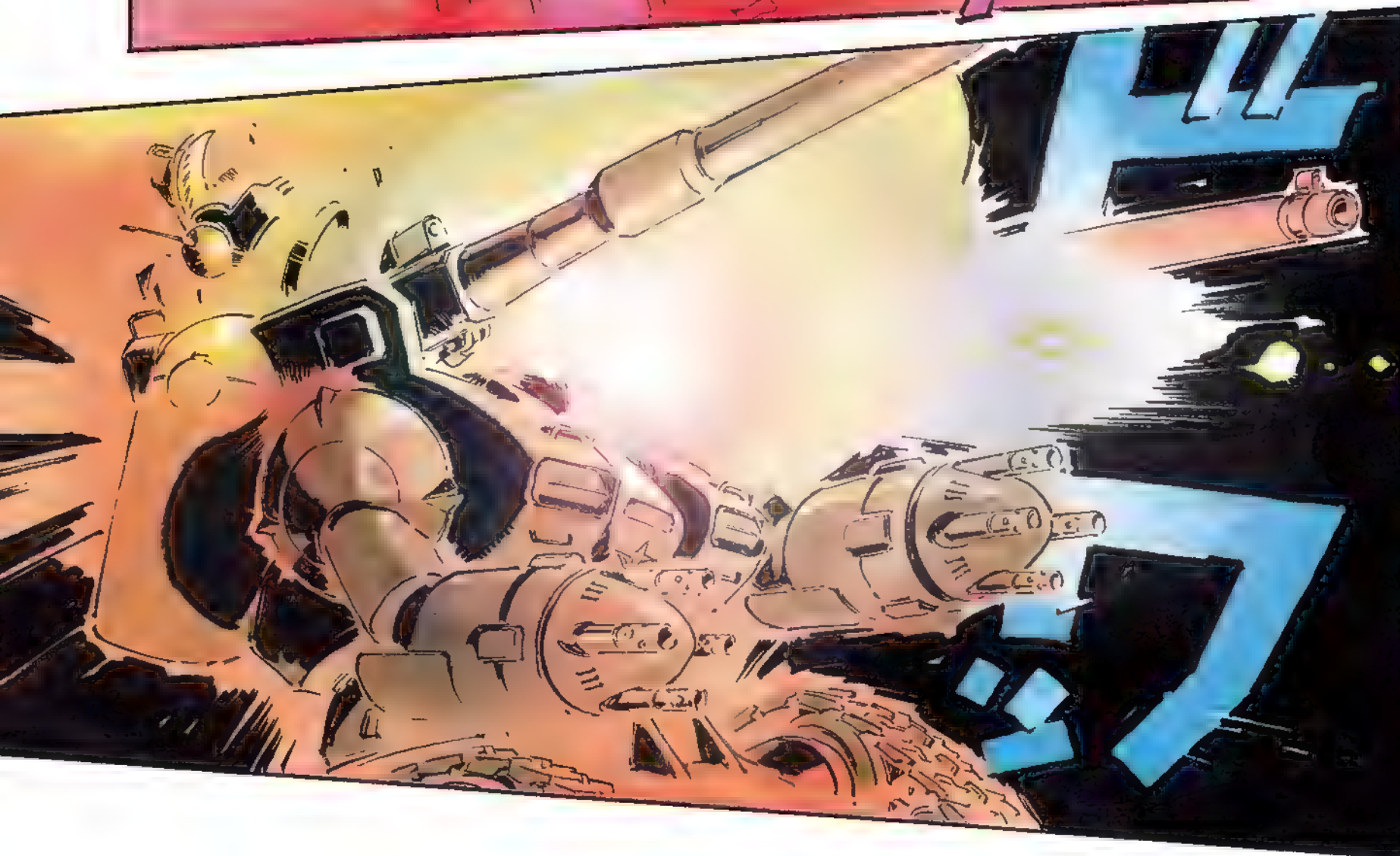
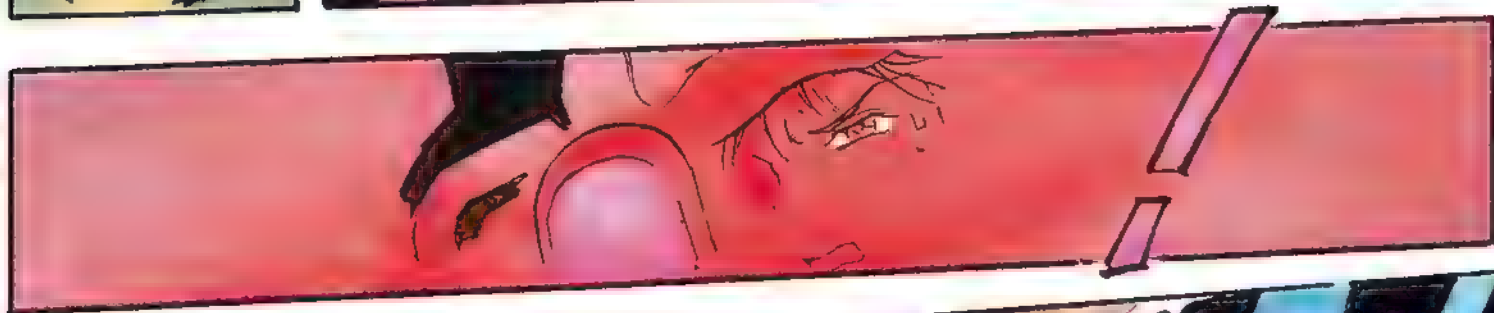
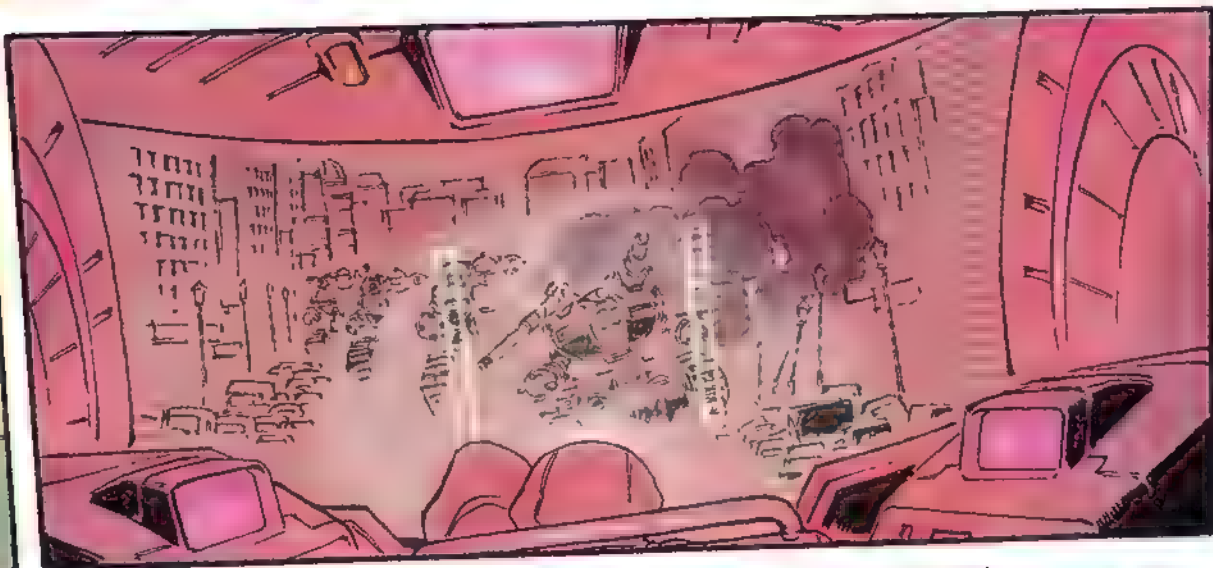
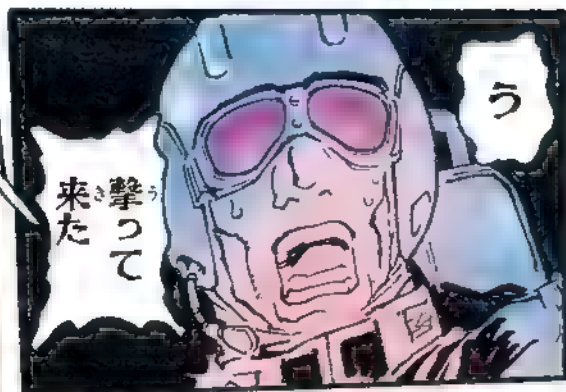




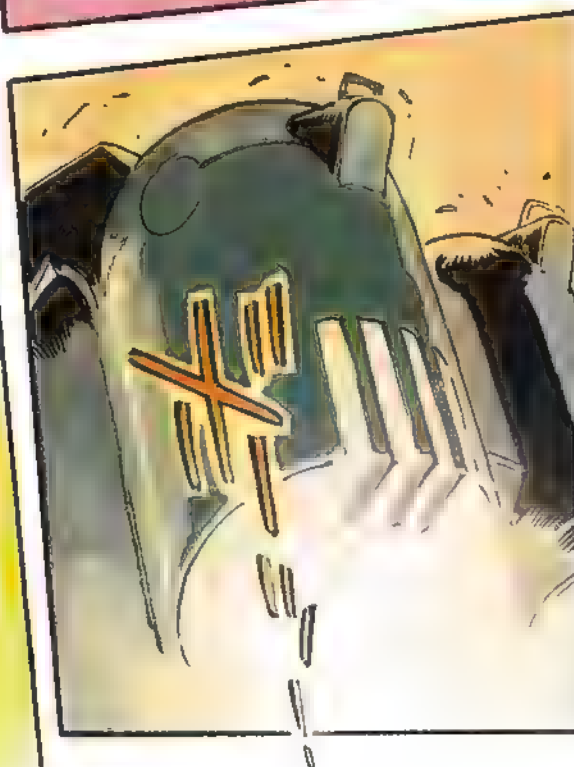
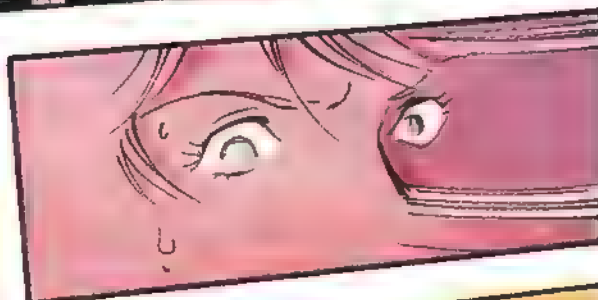
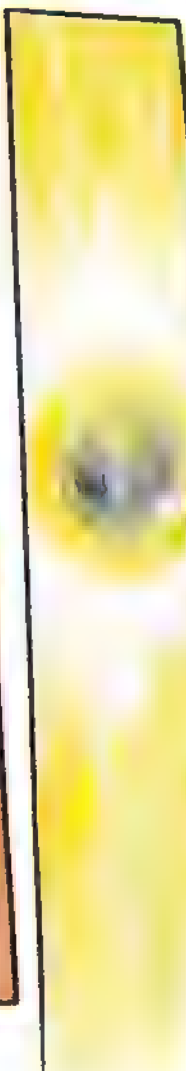
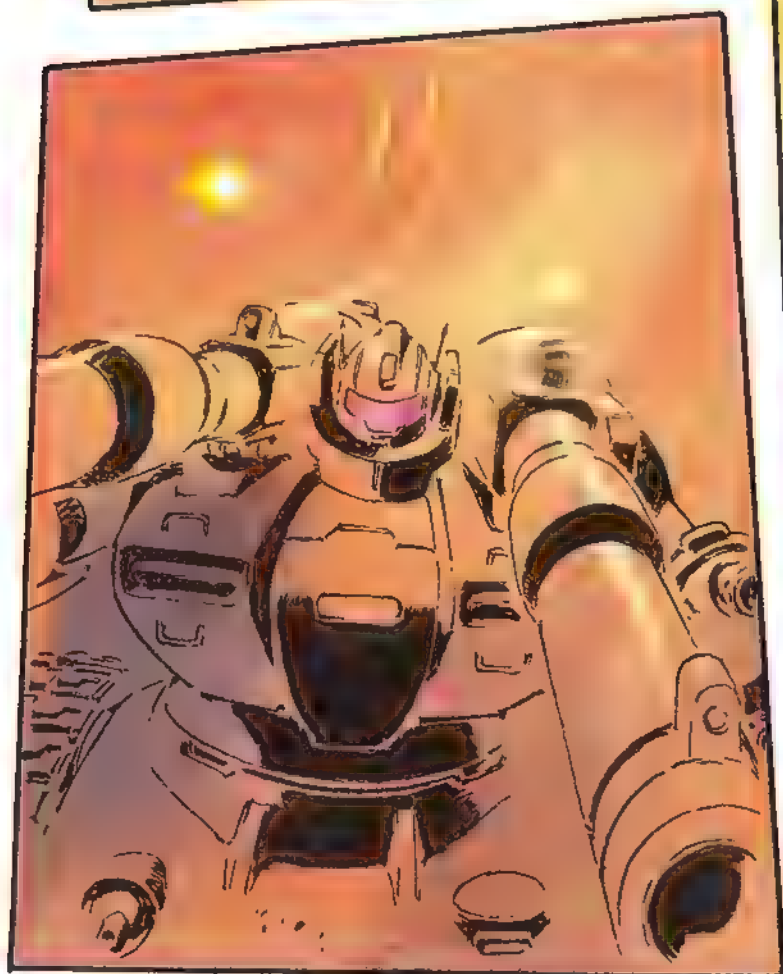
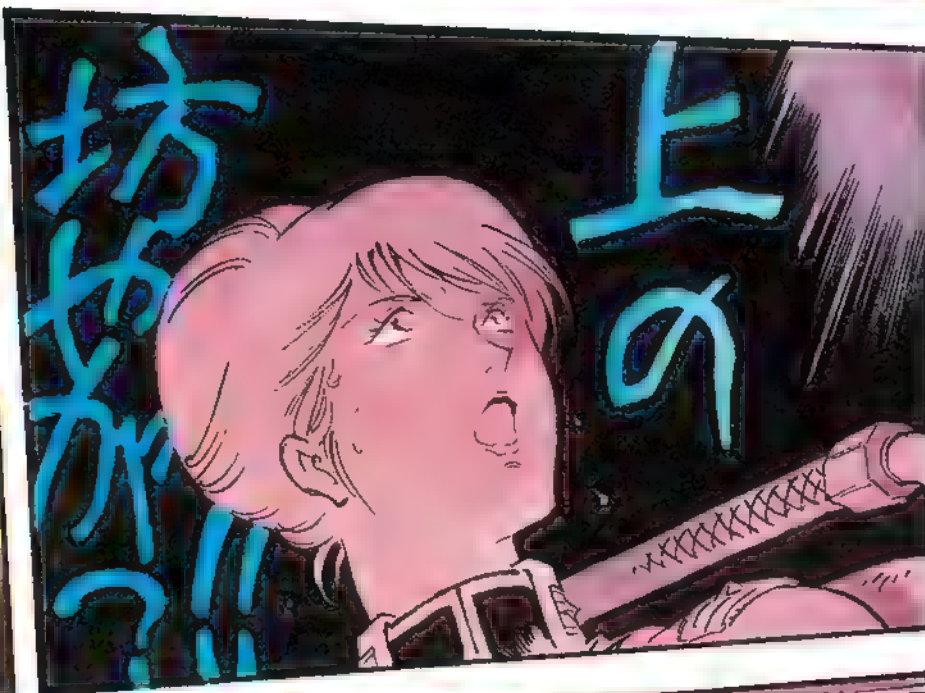
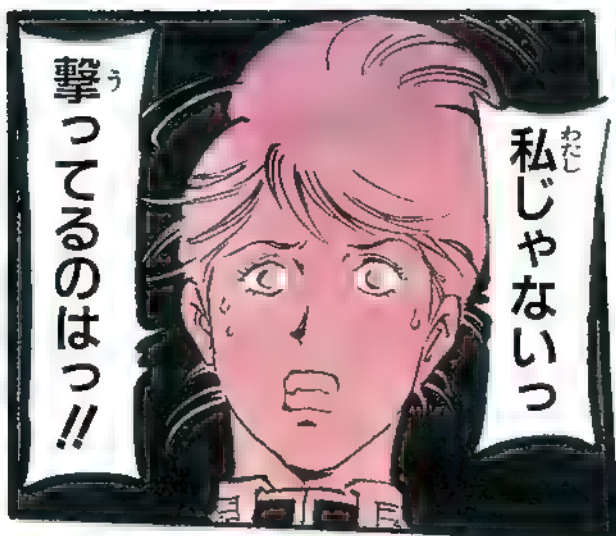




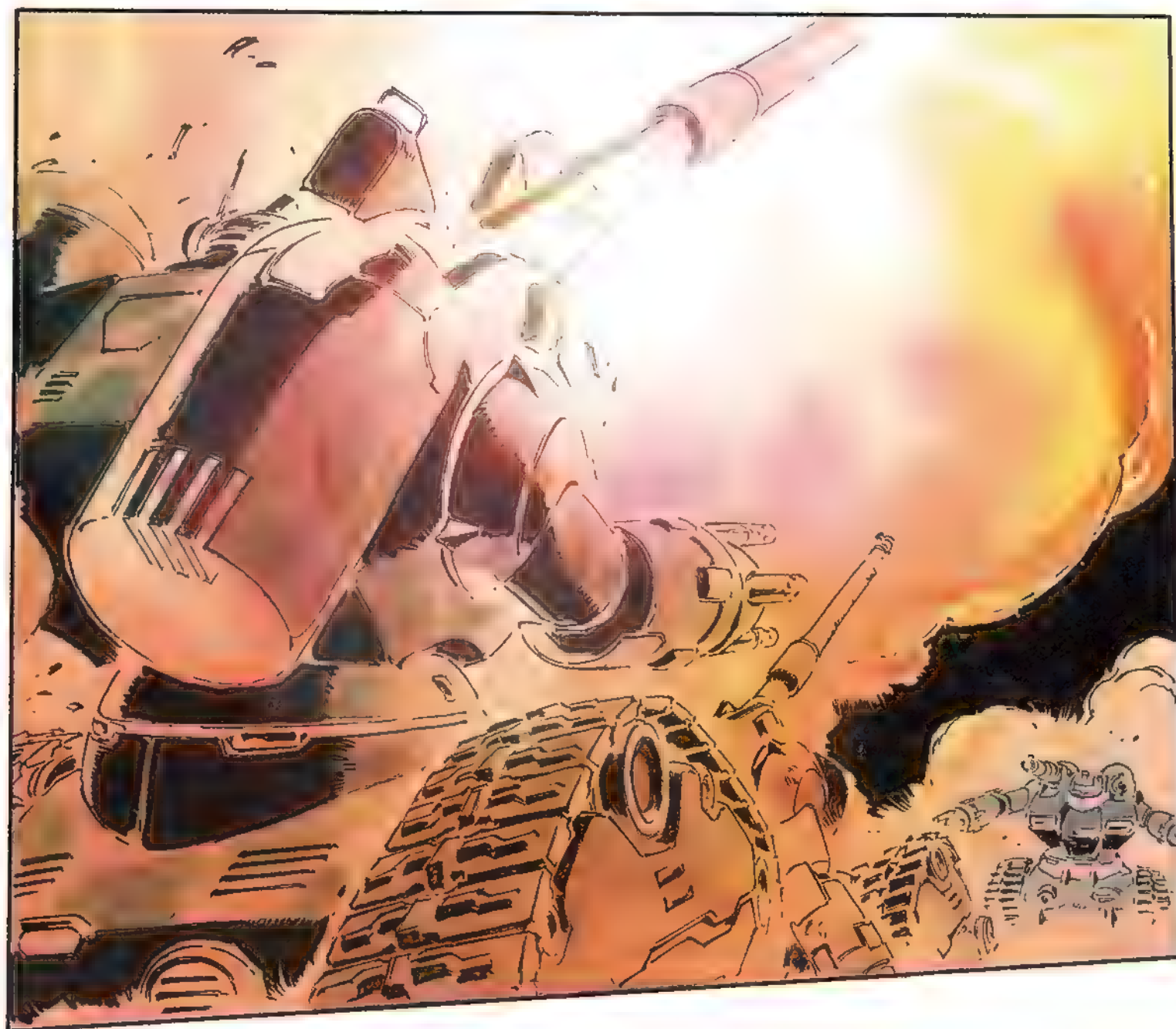
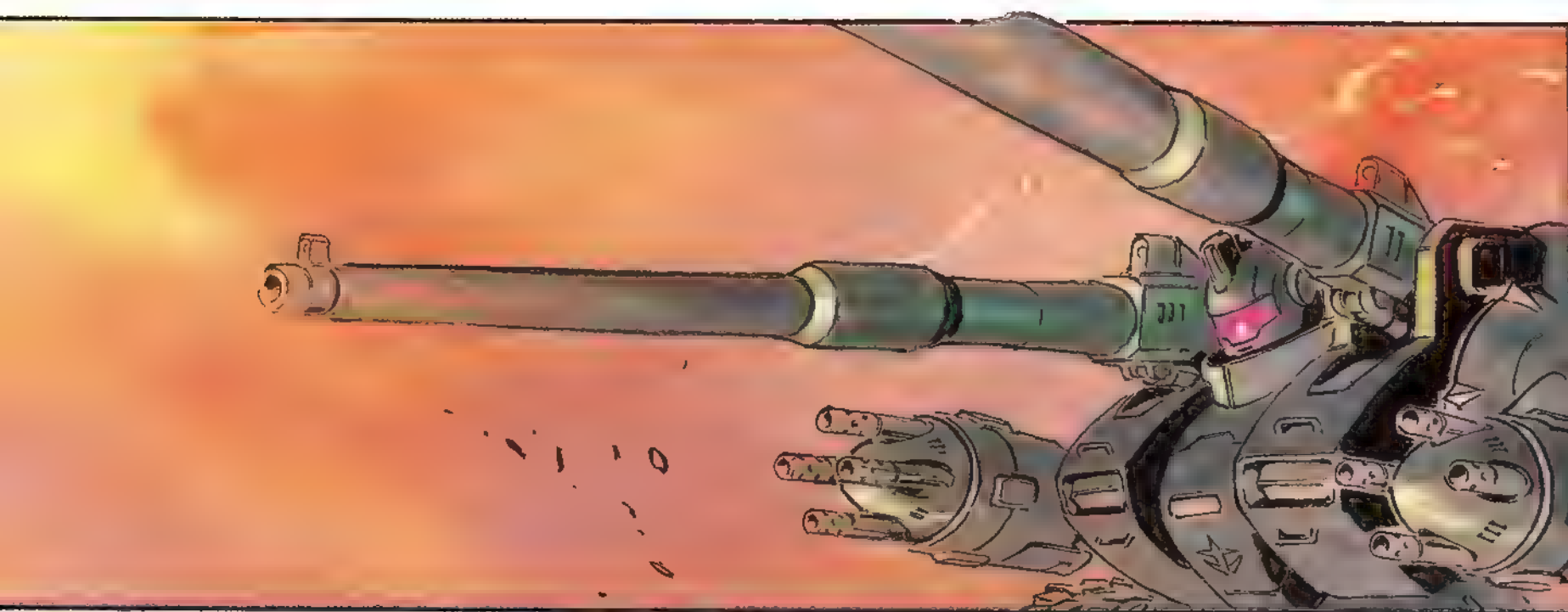
おうせん  
応戦しろ!



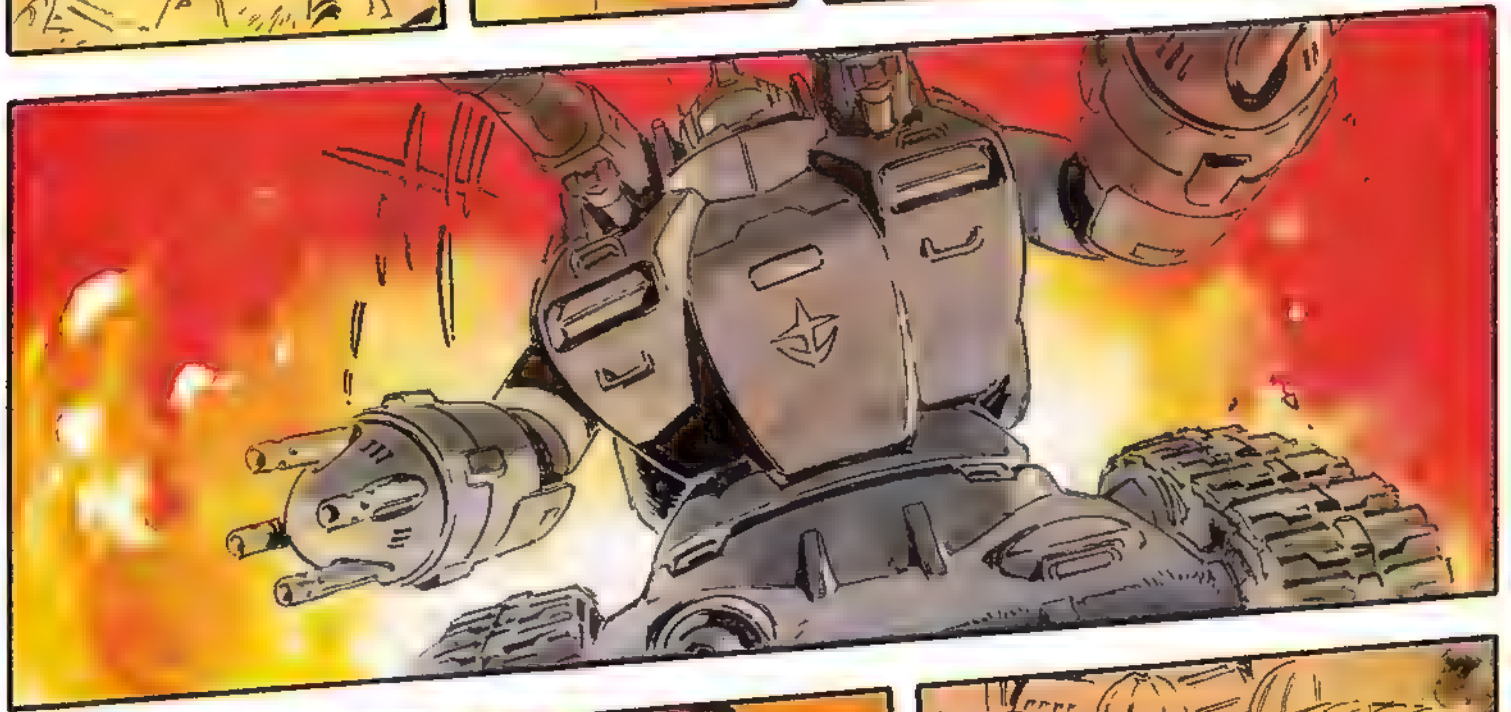
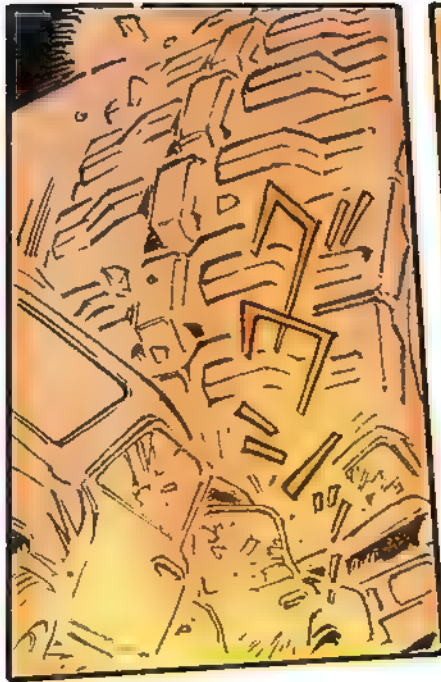




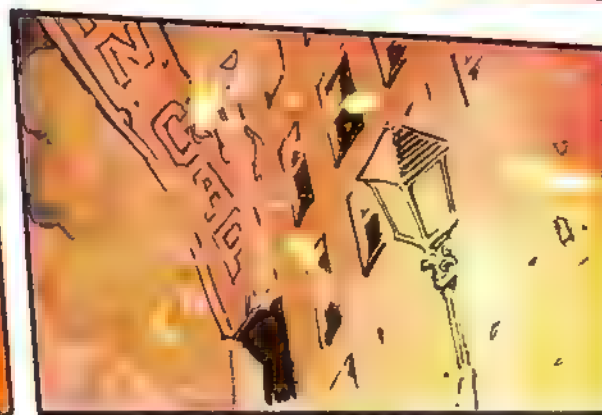
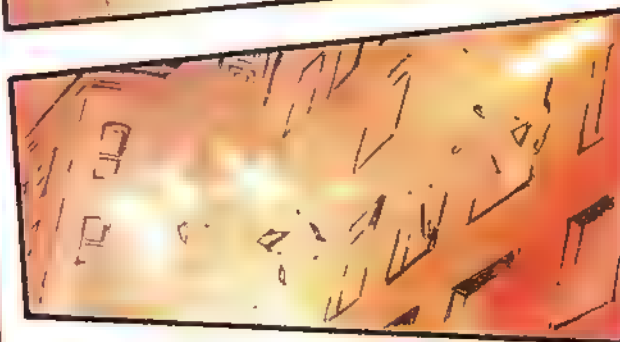
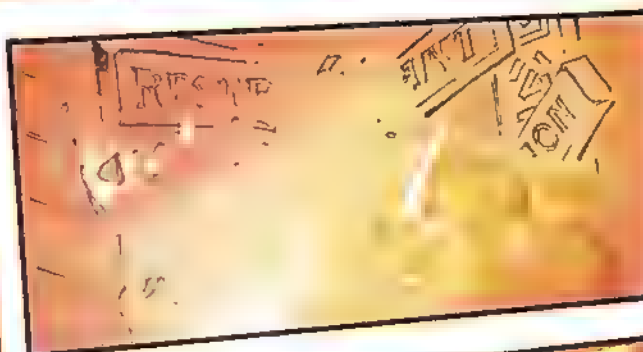
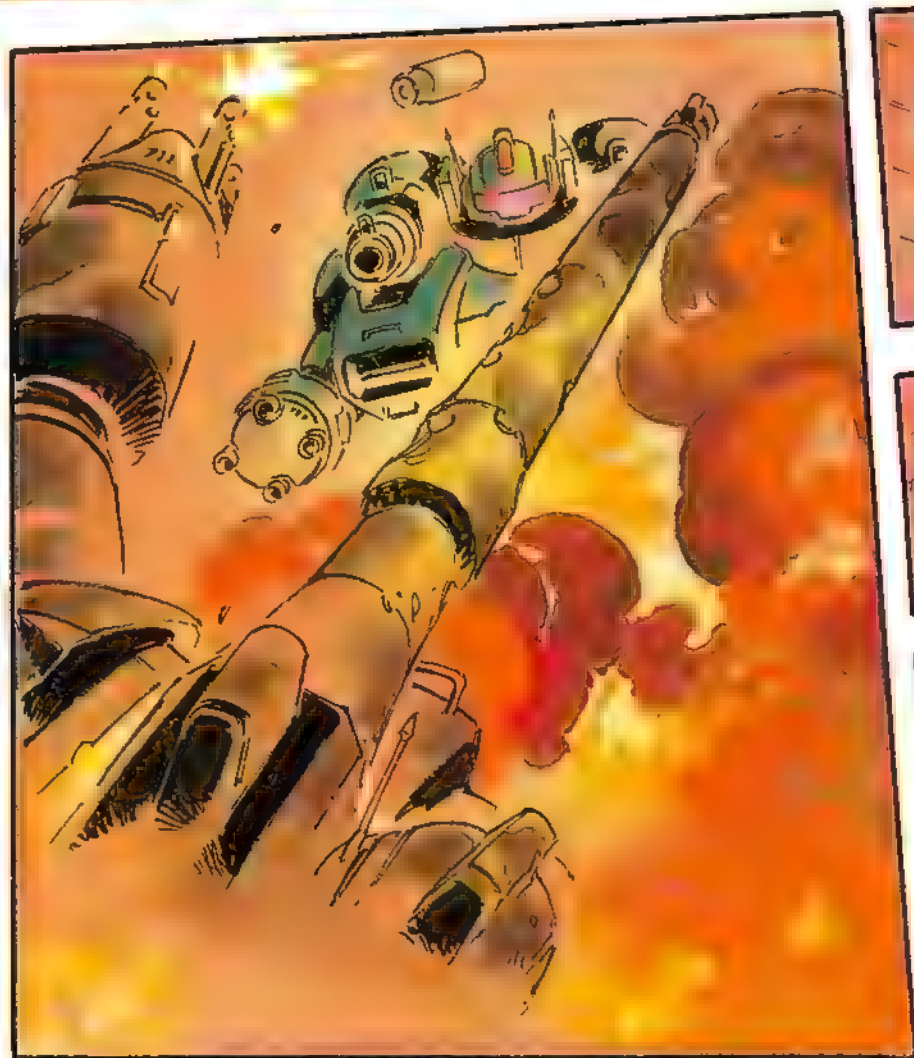
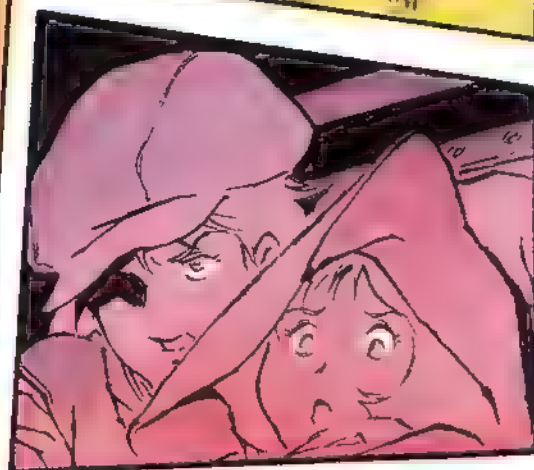
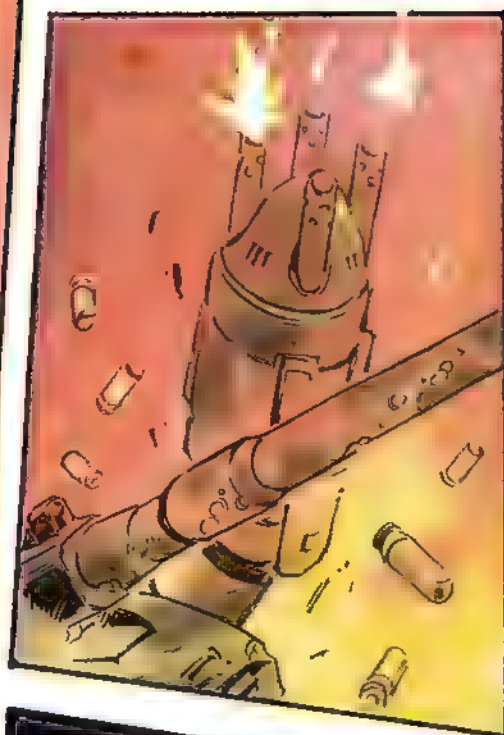




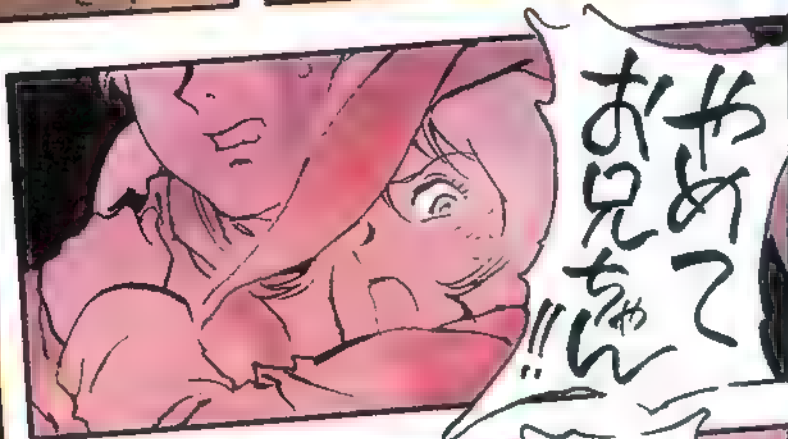
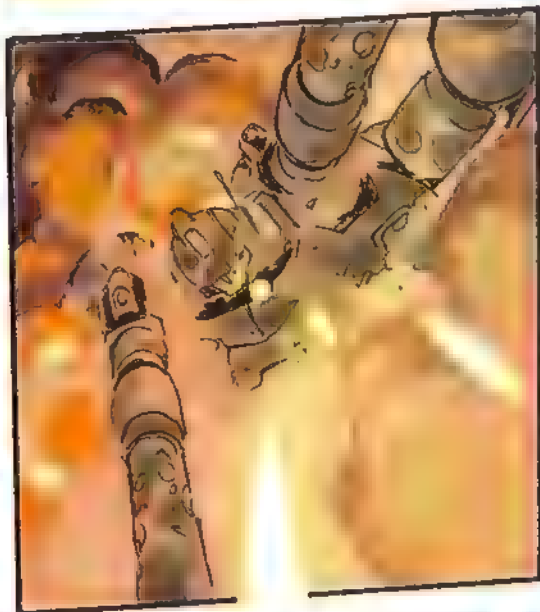
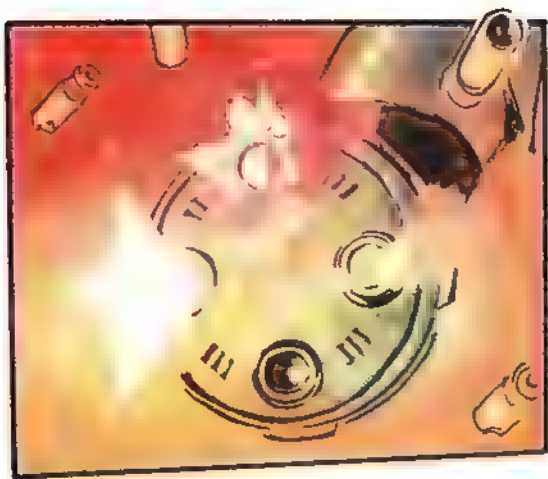




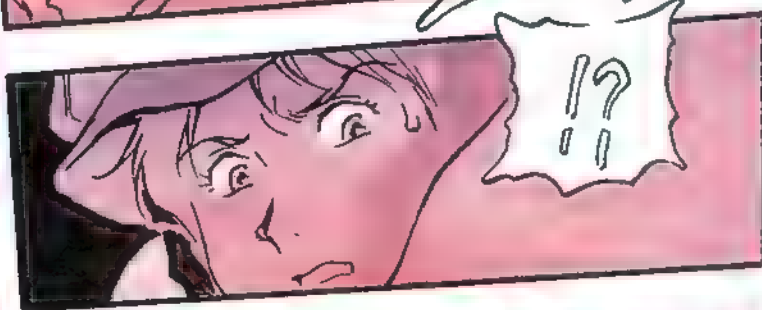




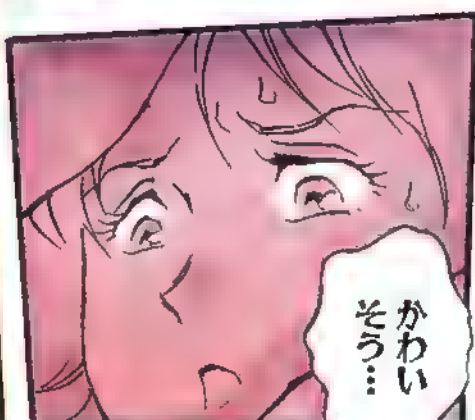




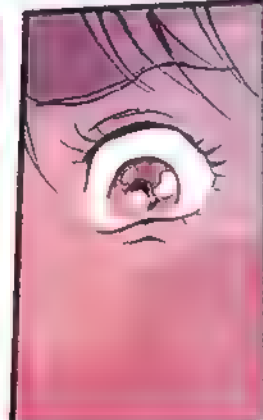
おめで  
お兄ちゃん!!



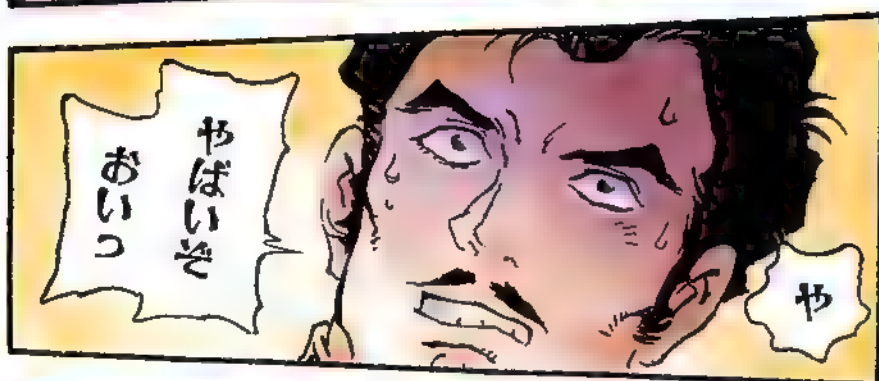
!?



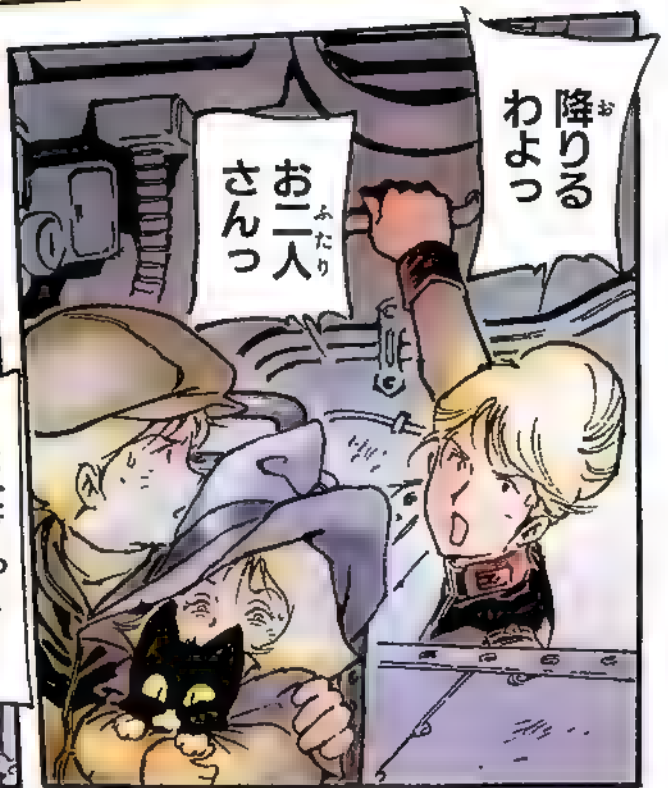
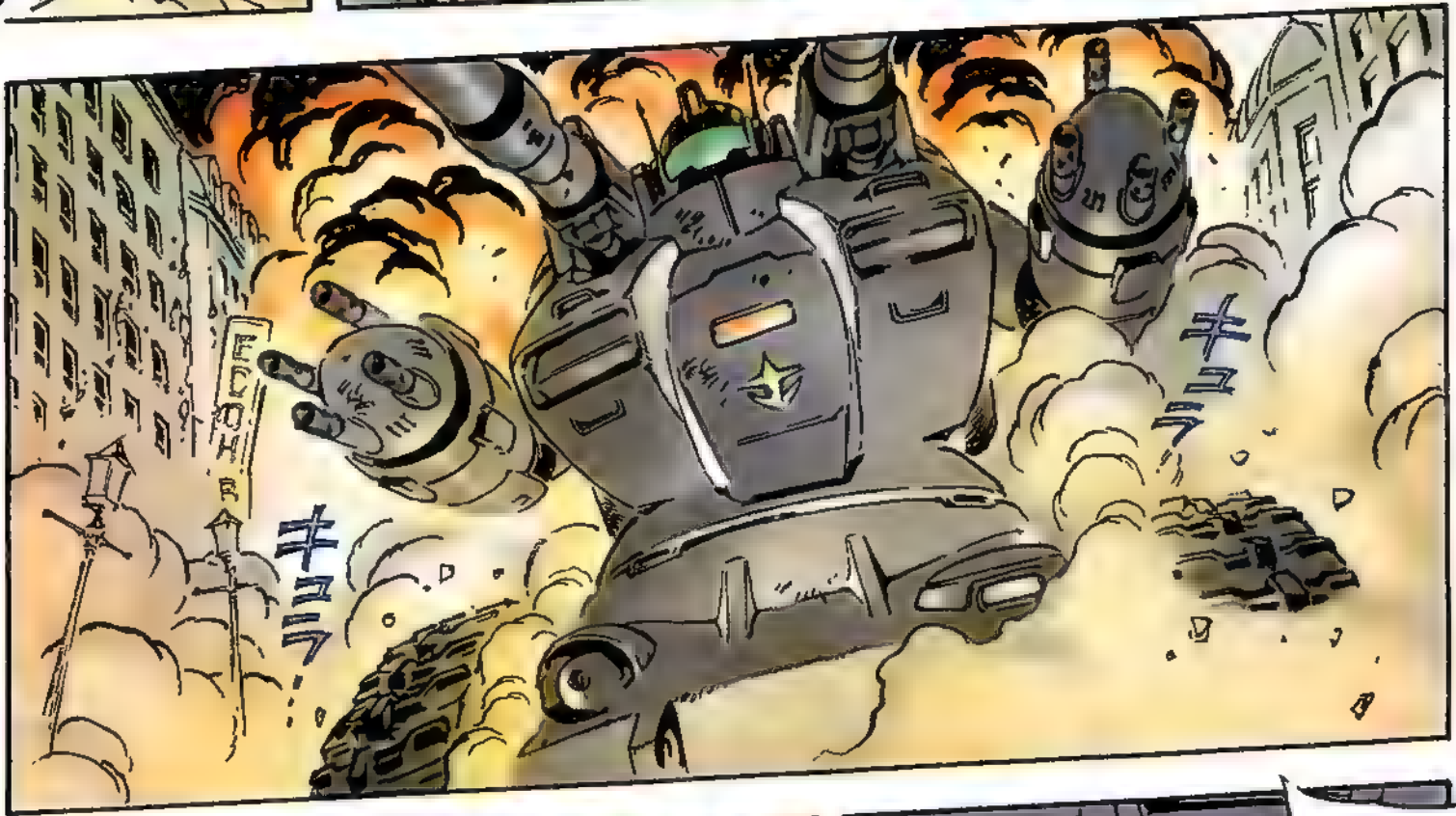
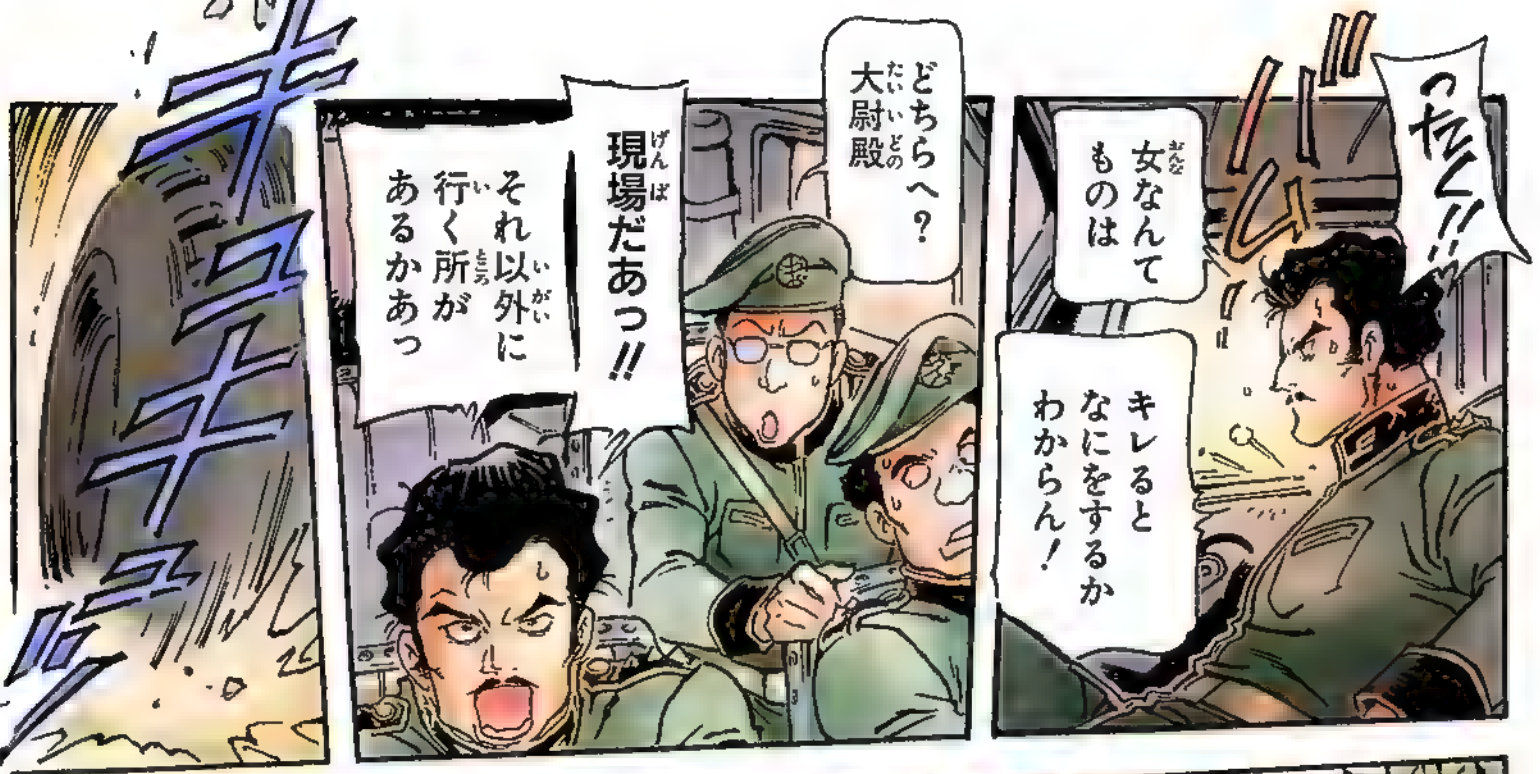
かわい  
そう...









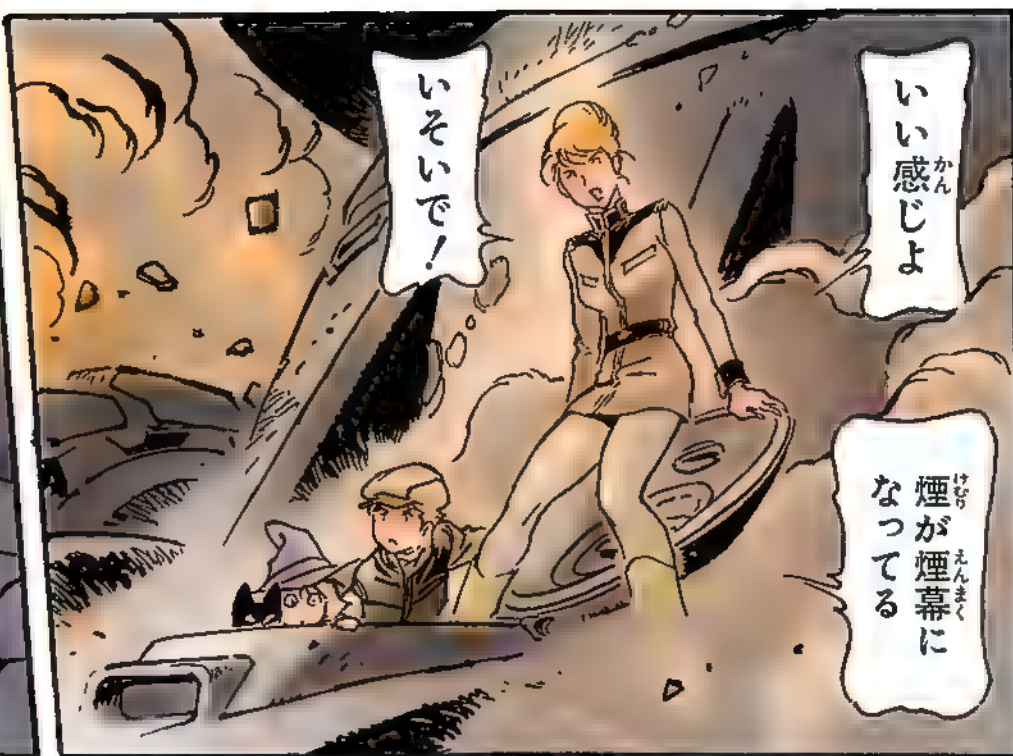






オレ達

あうあう



いそいで!

いい感じよ

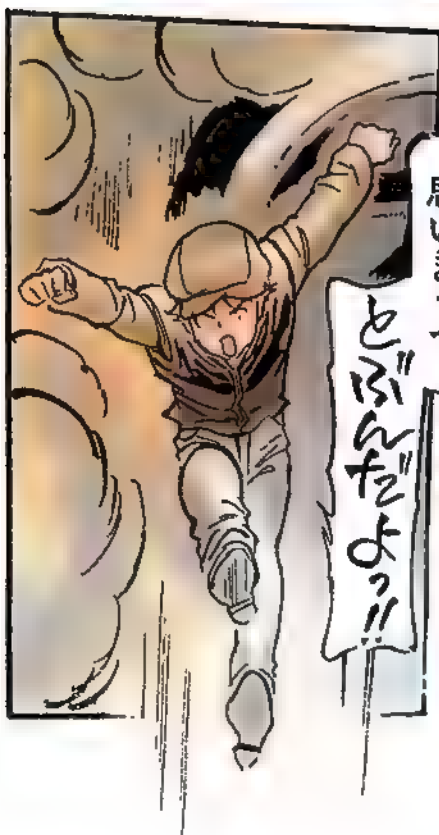
煙が煙幕になってる



連れてってくれえ

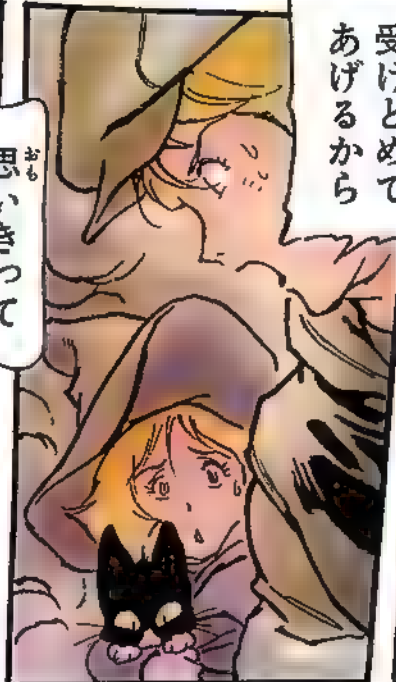
操縦はオートになっ  
ていてから  
当分はこのまま

通りを  
直進する  
はず!



思いきって

とぶんだよう!!



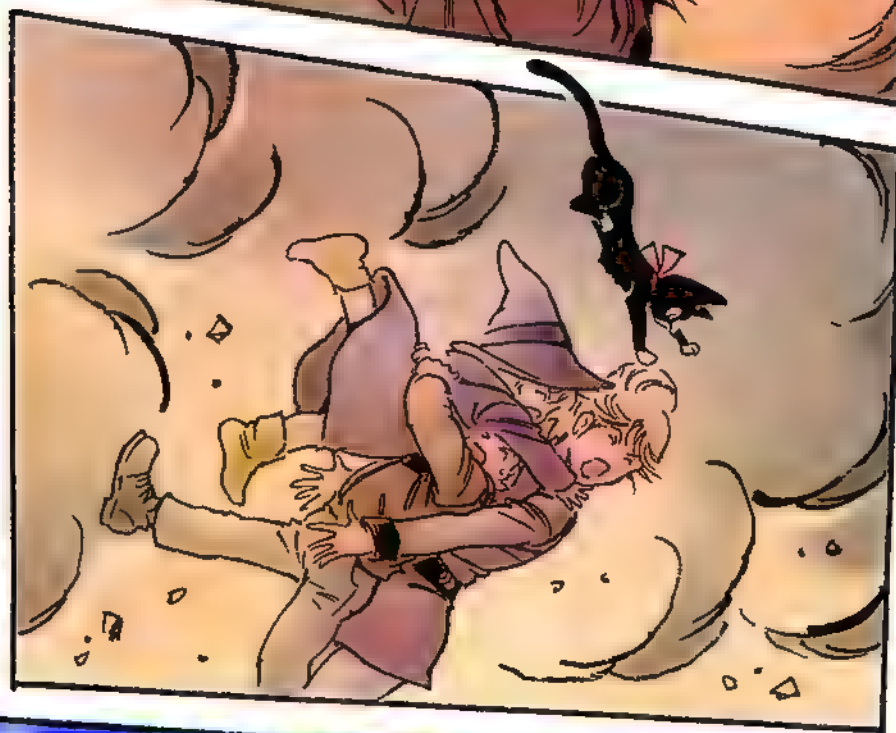
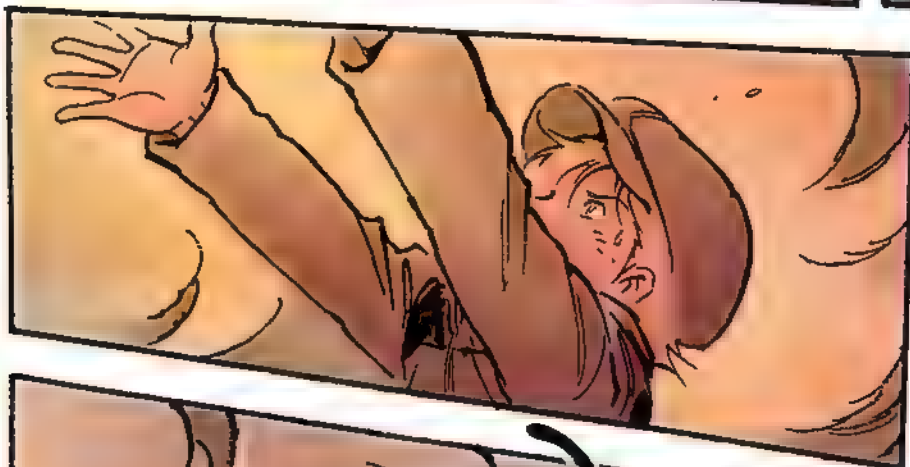
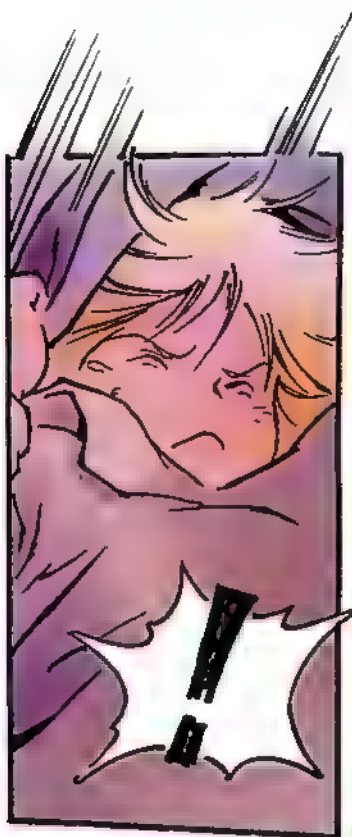
受けとめて  
あげるから



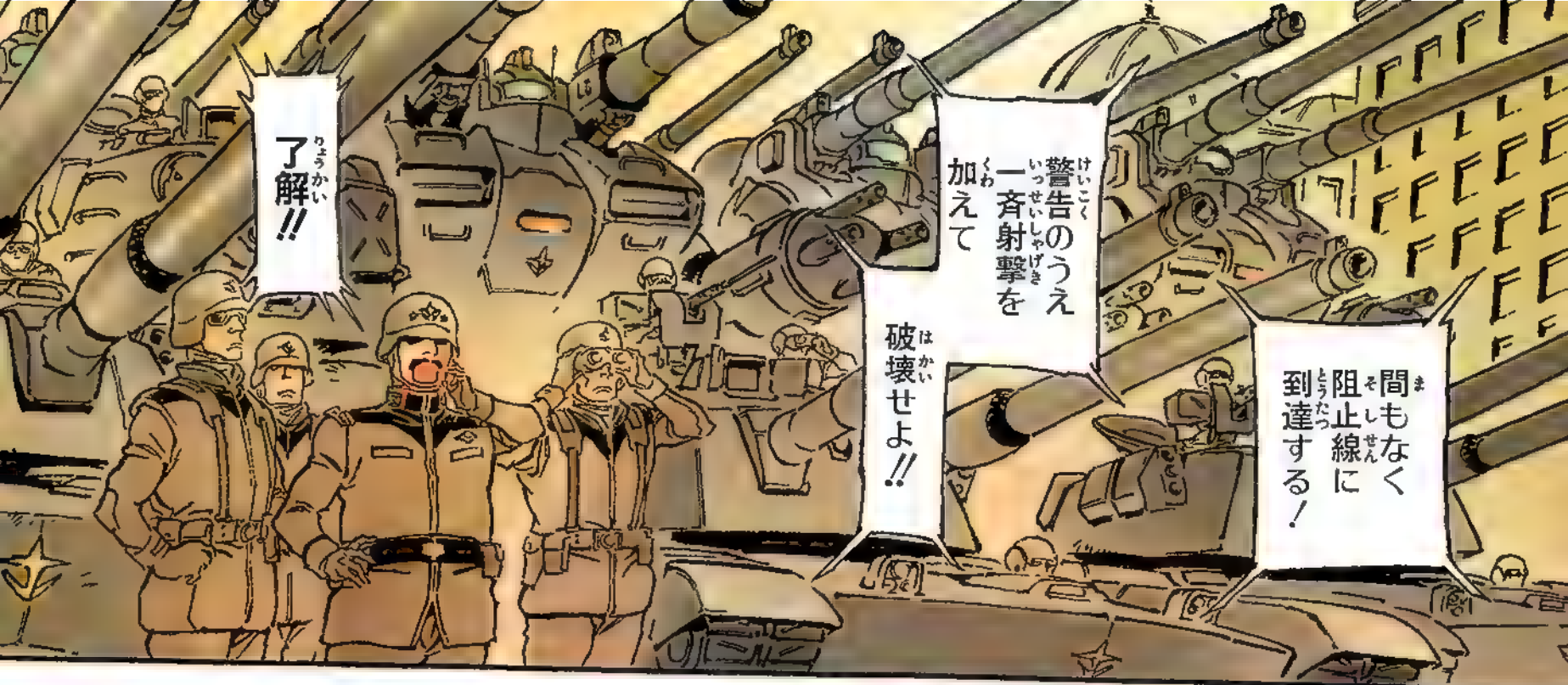
とびおる  
わよっ

少し高い  
けど  
いい!?







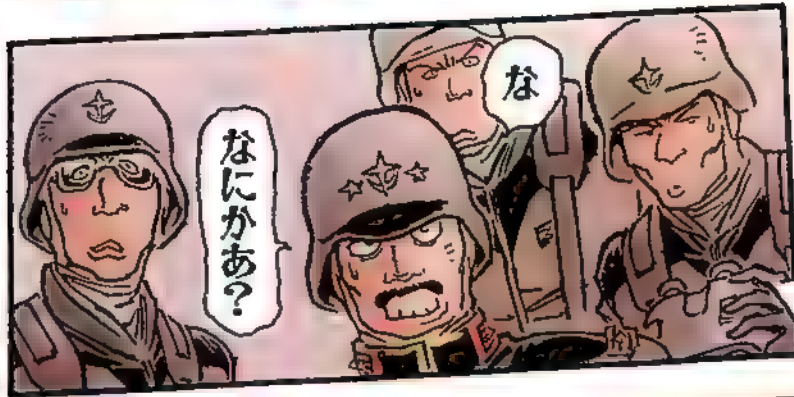


了解!!

警告のうえ  
一斉射撃を  
加えて

破壊せよ!!

間もなく  
阻止線に  
到達する!



なにかあ?

な



ドズル・ザビ  
少佐だあつ!!

ムンゾ防衛隊  
首都バンチ  
司令部の

責任者は  
誰かあつ!?



攻撃は  
まじり  
い





共和国前議長の  
御子息の御令嬢が  
あれに乗せられている!!

攻撃は  
ならん!!

御二人を救出  
したその後で  
なければっ!!



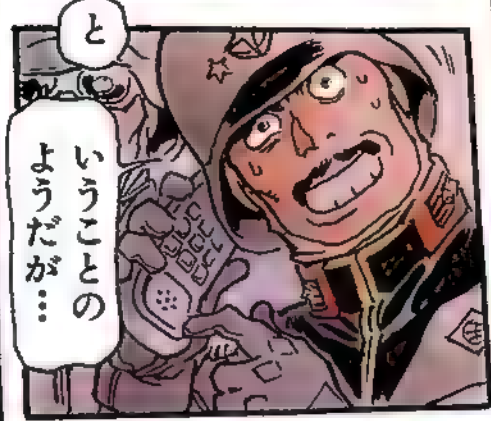
わかった  
わかった

今指令部に  
問い合わせ  
……



連邦の知った  
ことではない?  
すみやかに?

反乱車輛を  
制圧破壊……



と  
いうことの  
ようだが……



——と  
かように申して  
おりますがあつ

は?

そのような  
ことは?



なあああ

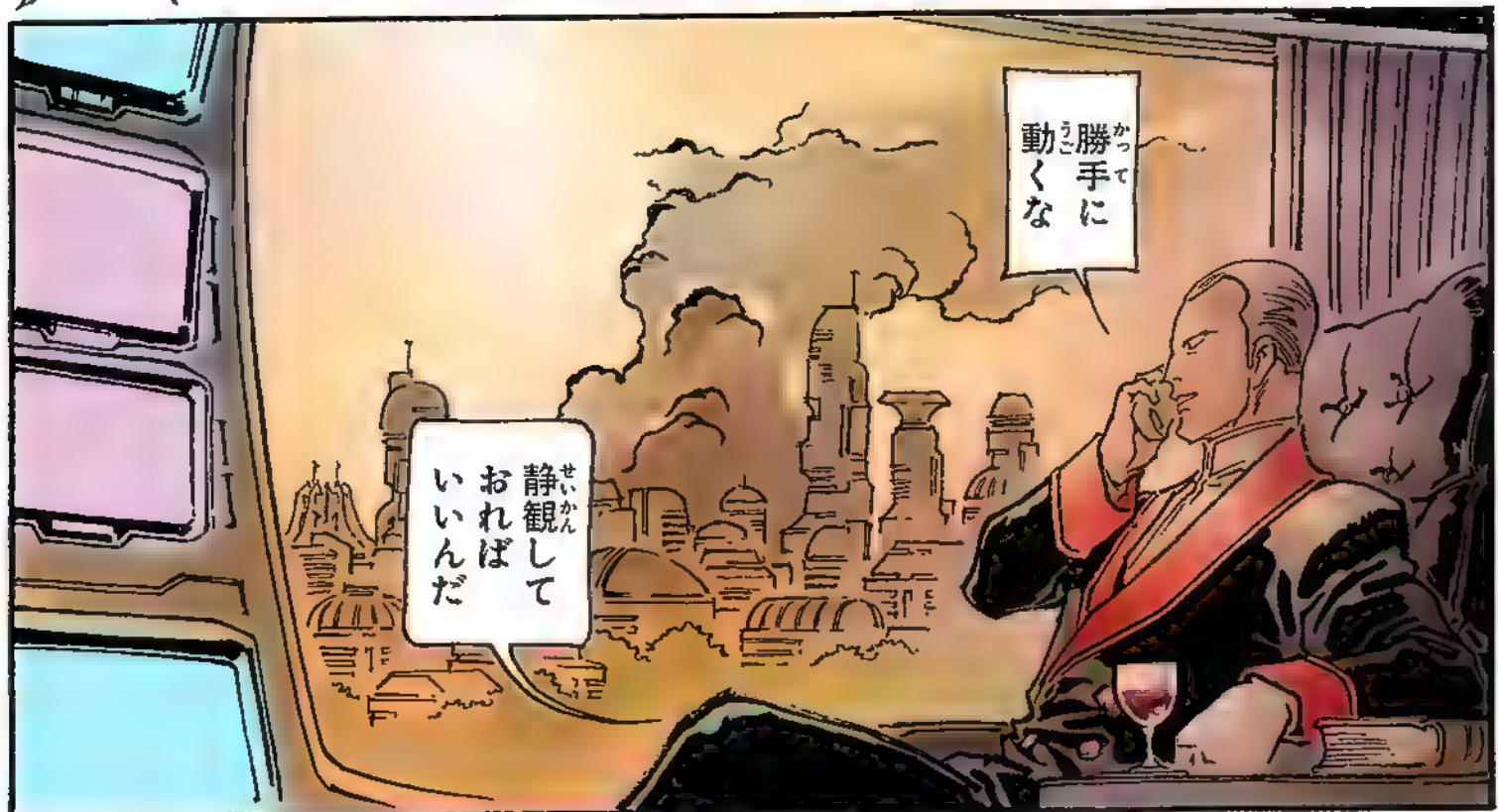
ううう



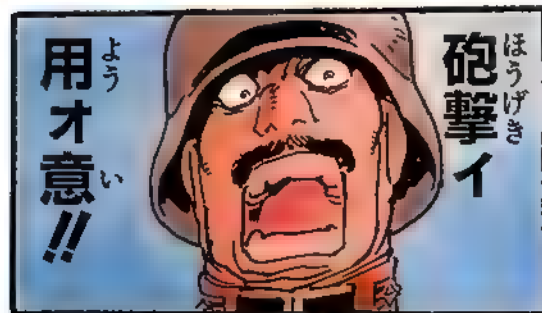
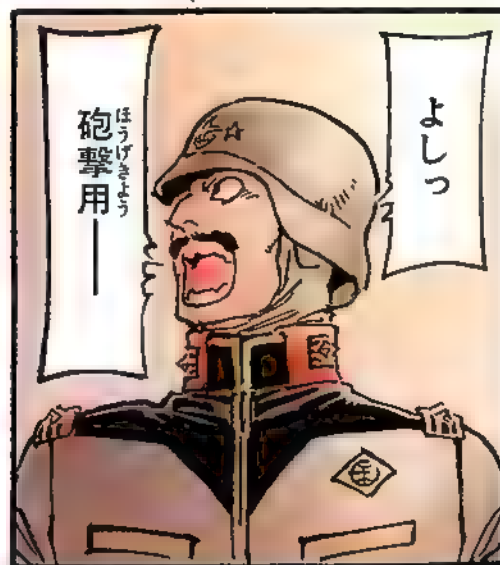
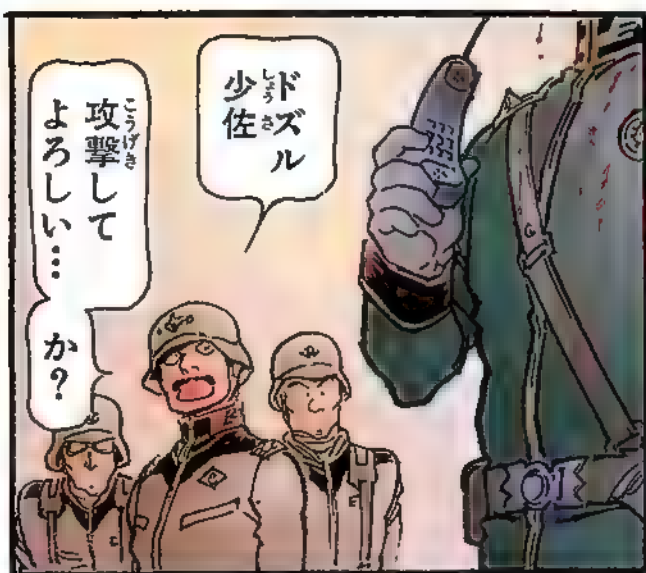
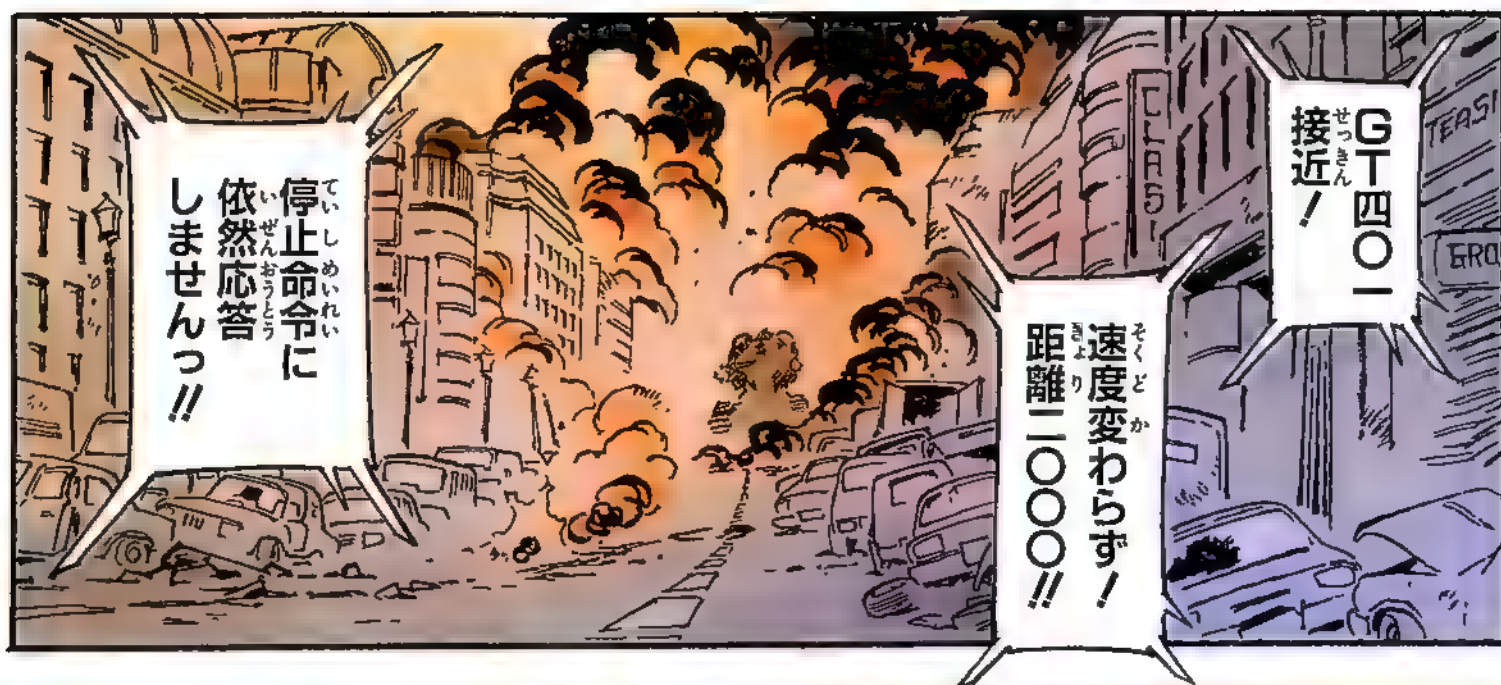




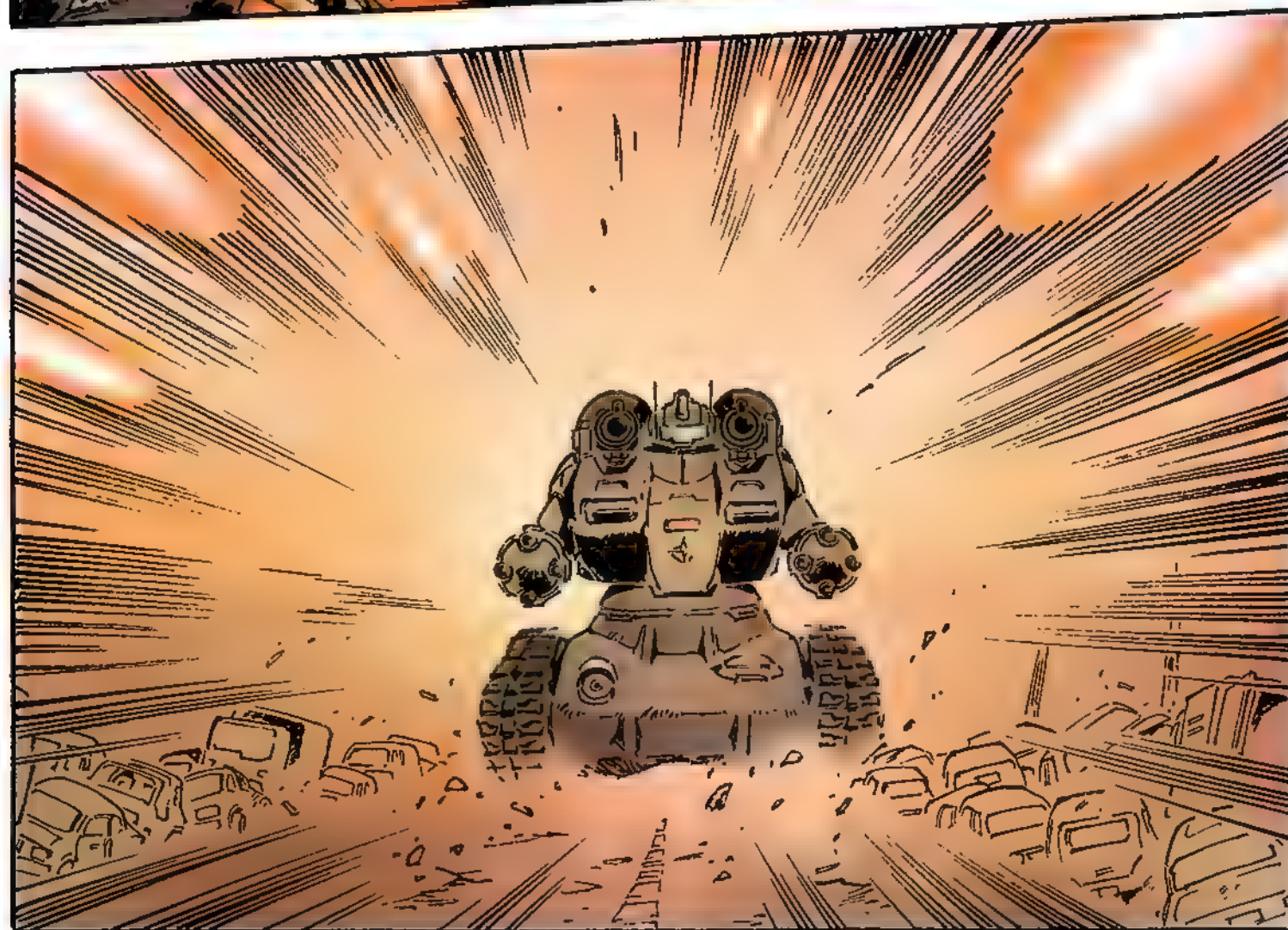
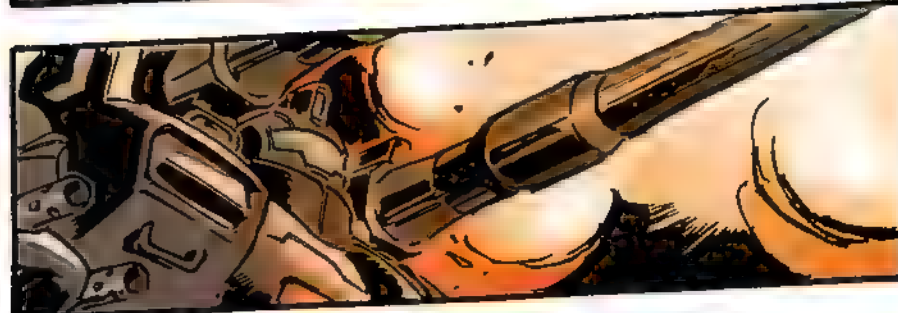
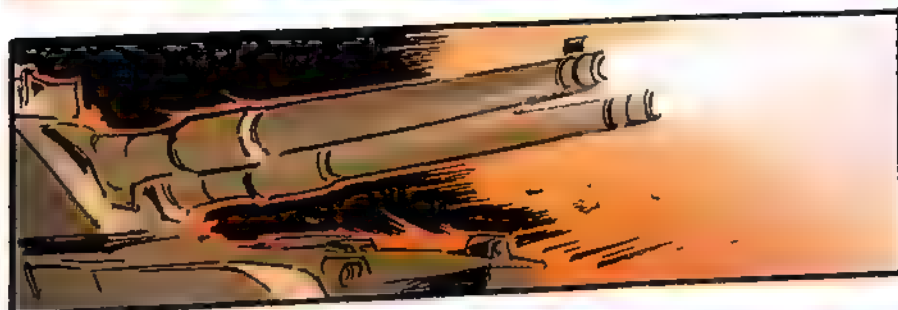
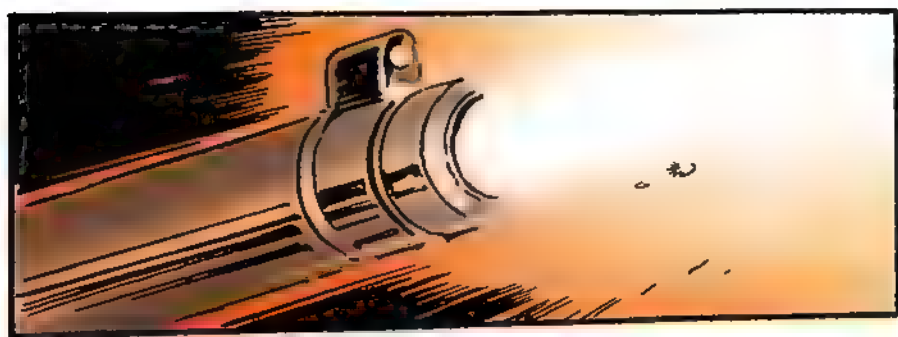




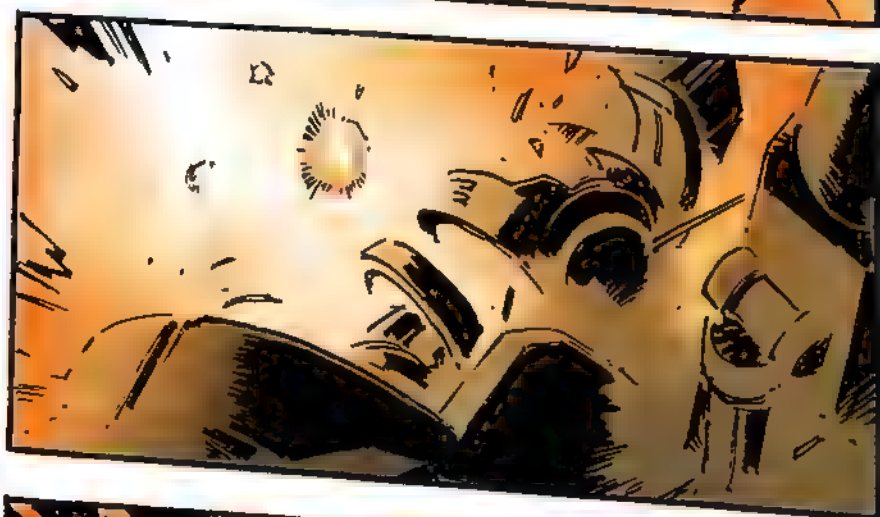
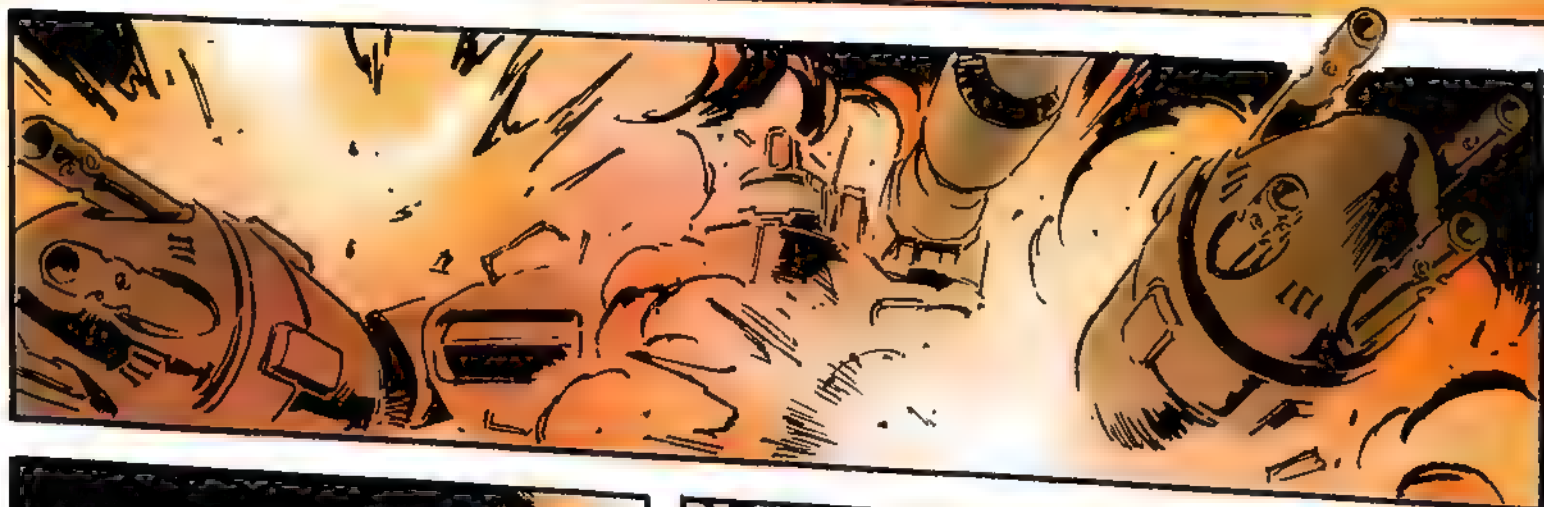
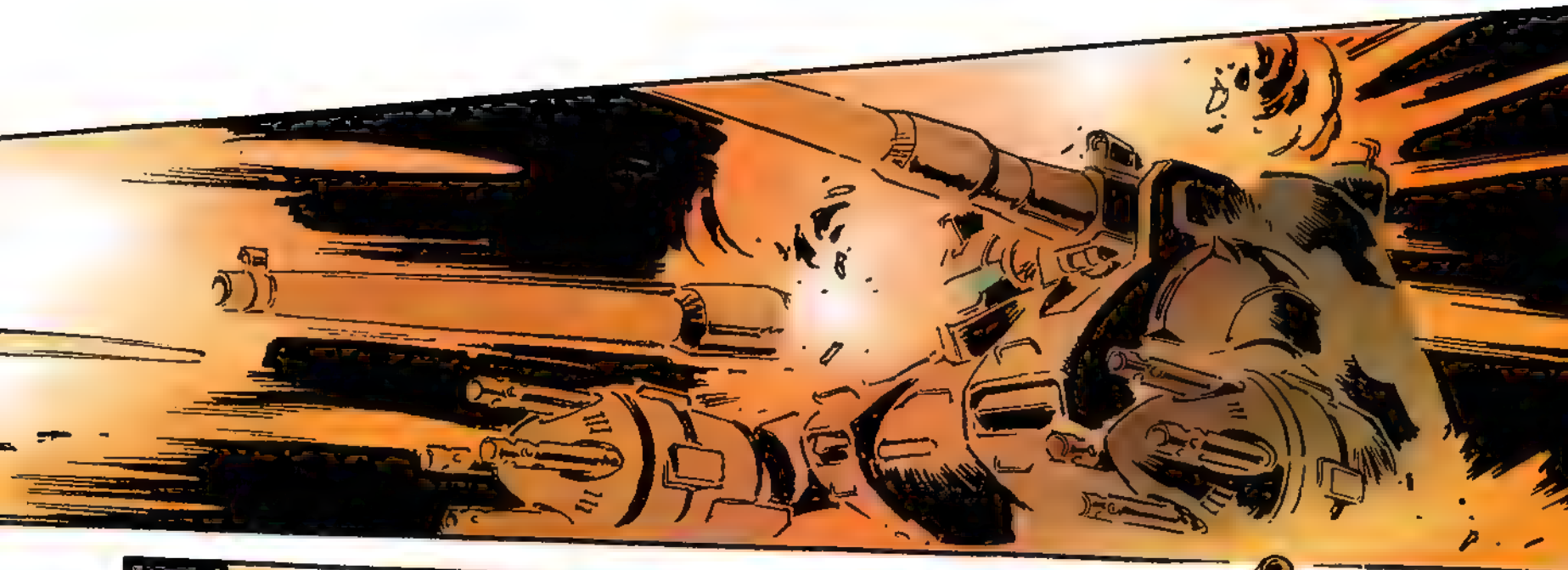




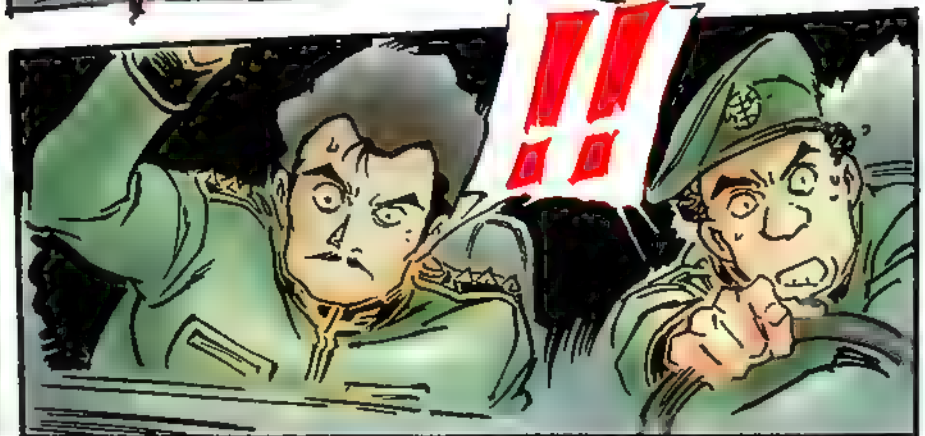
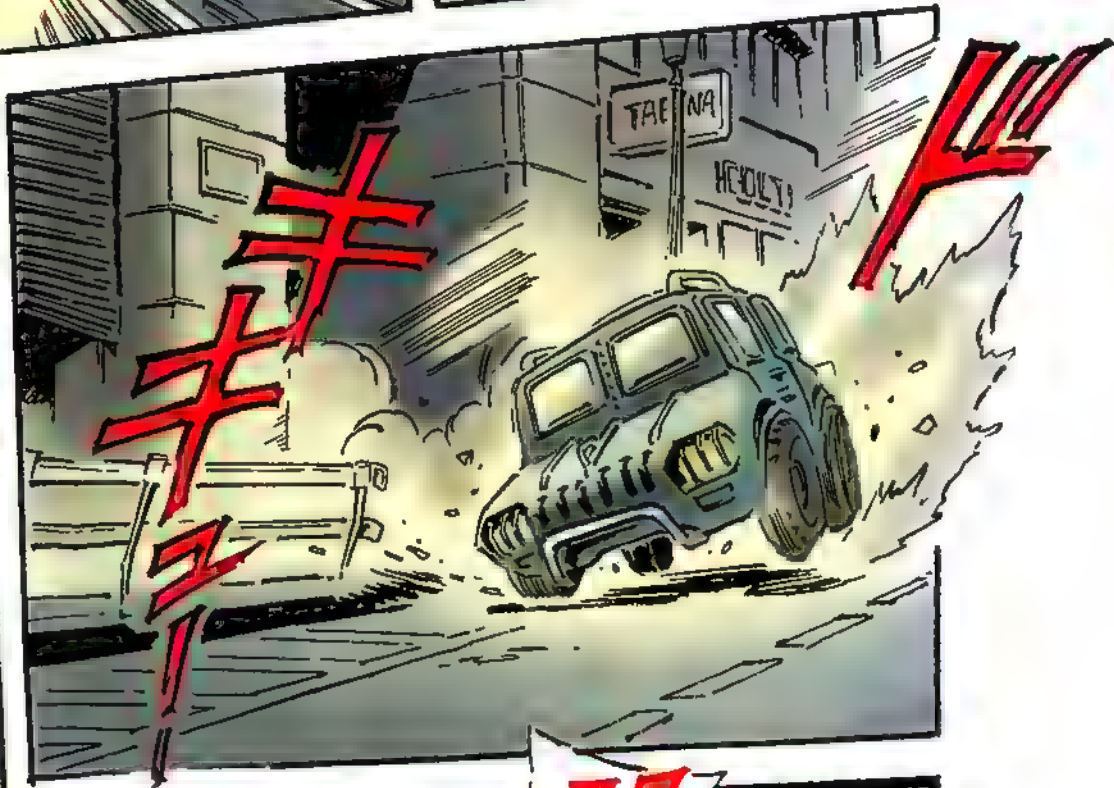
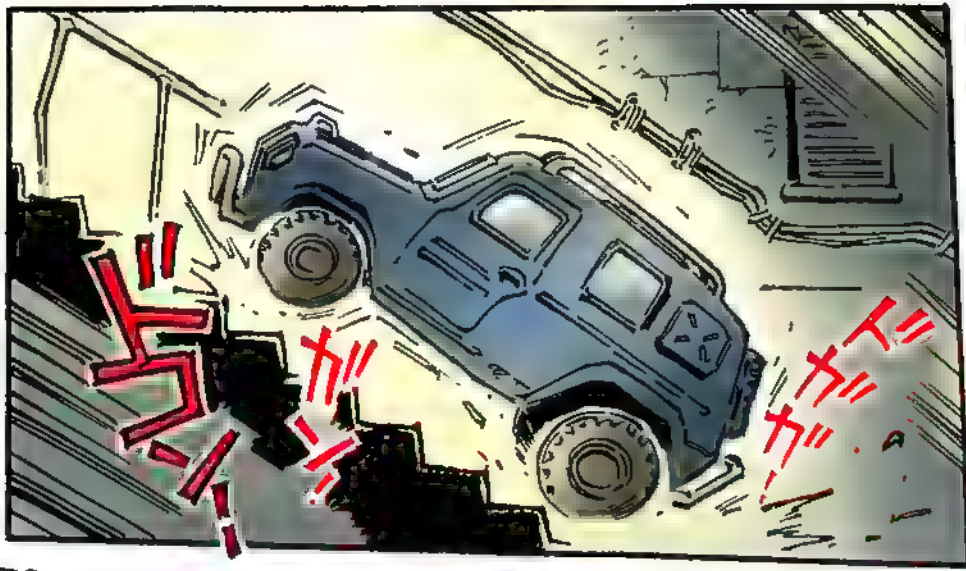




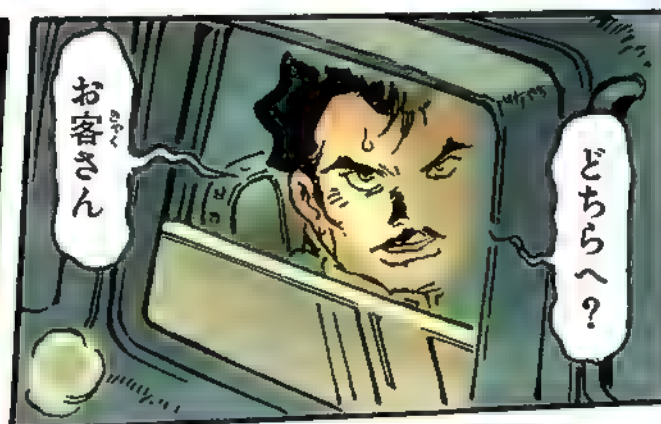
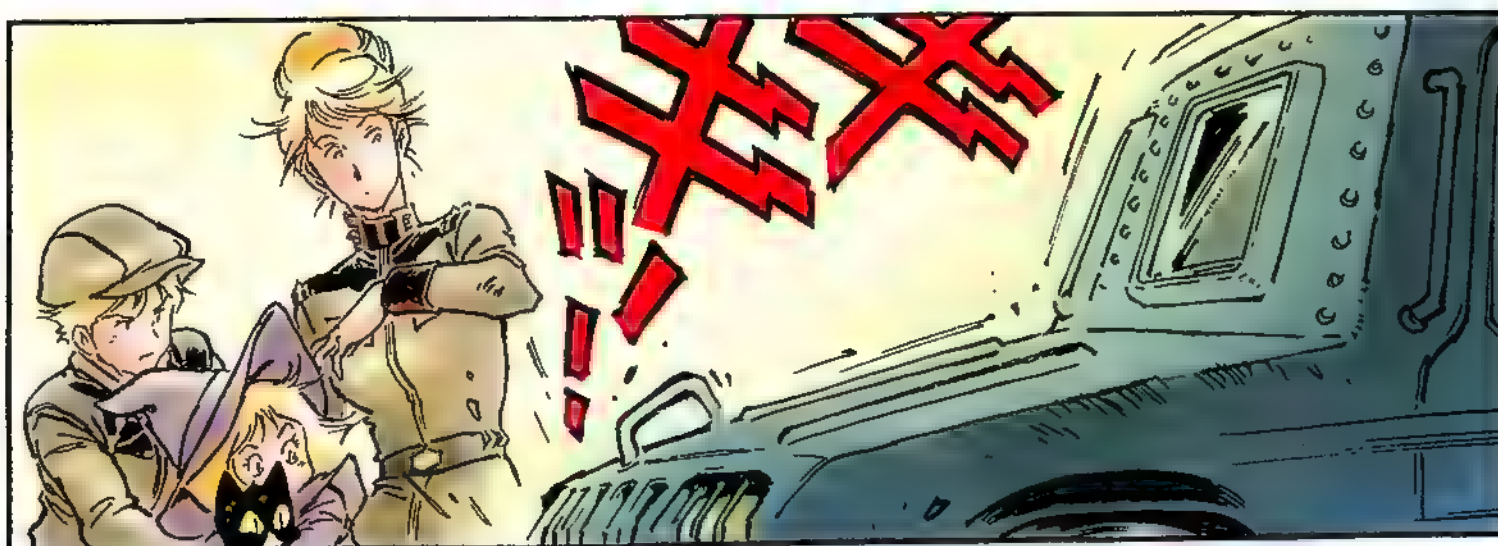
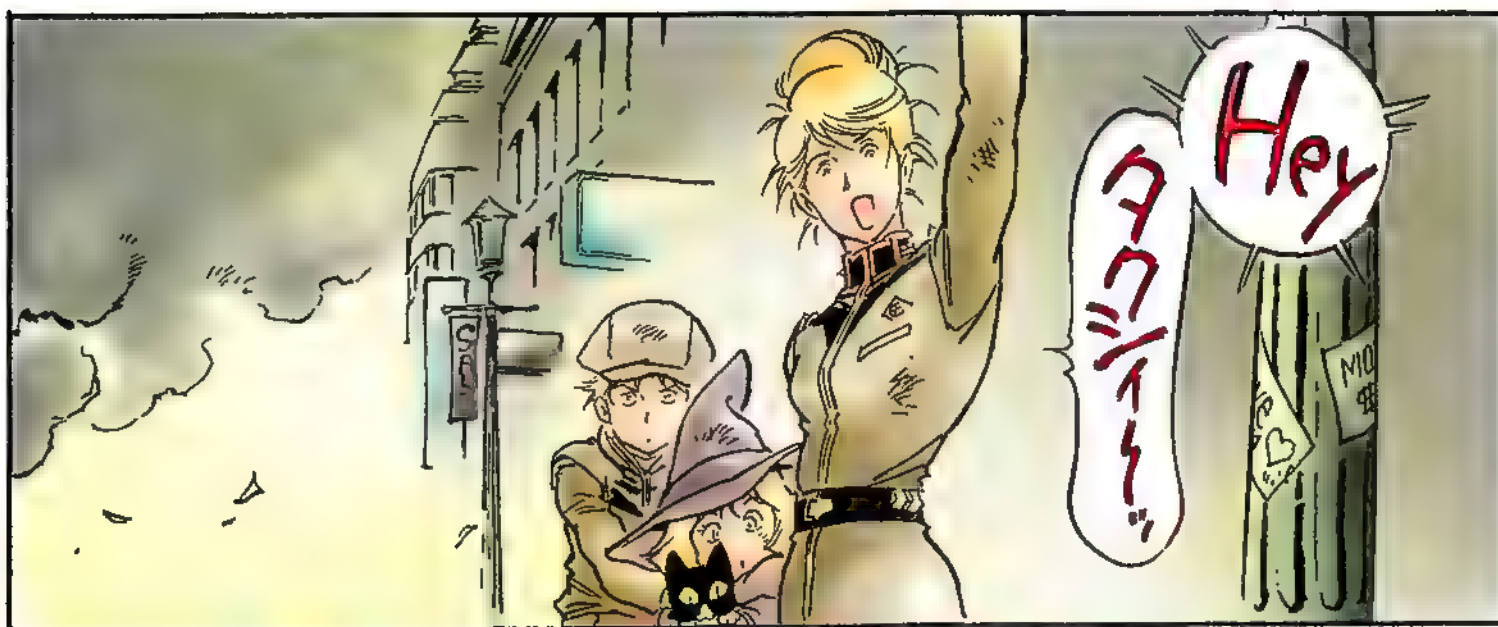




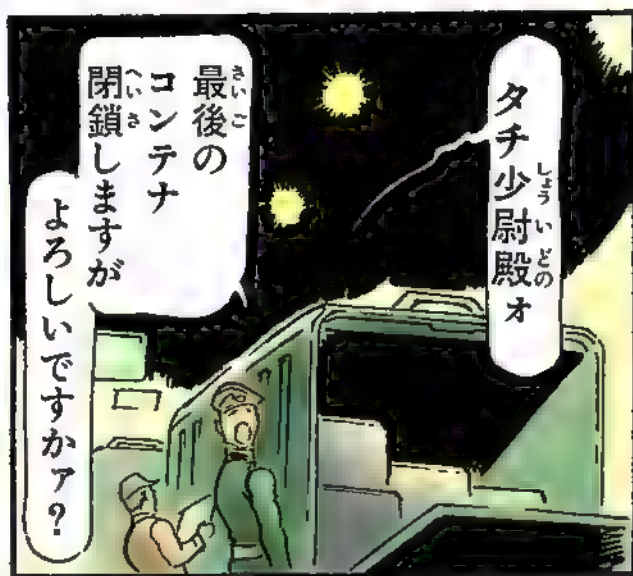
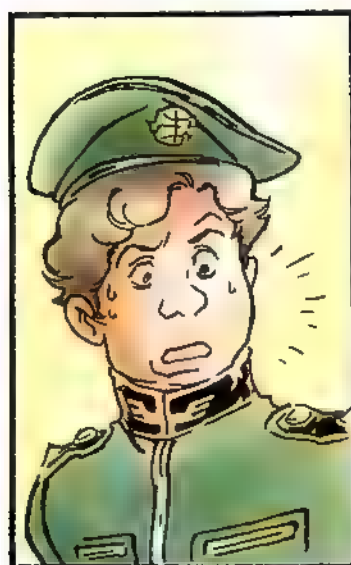
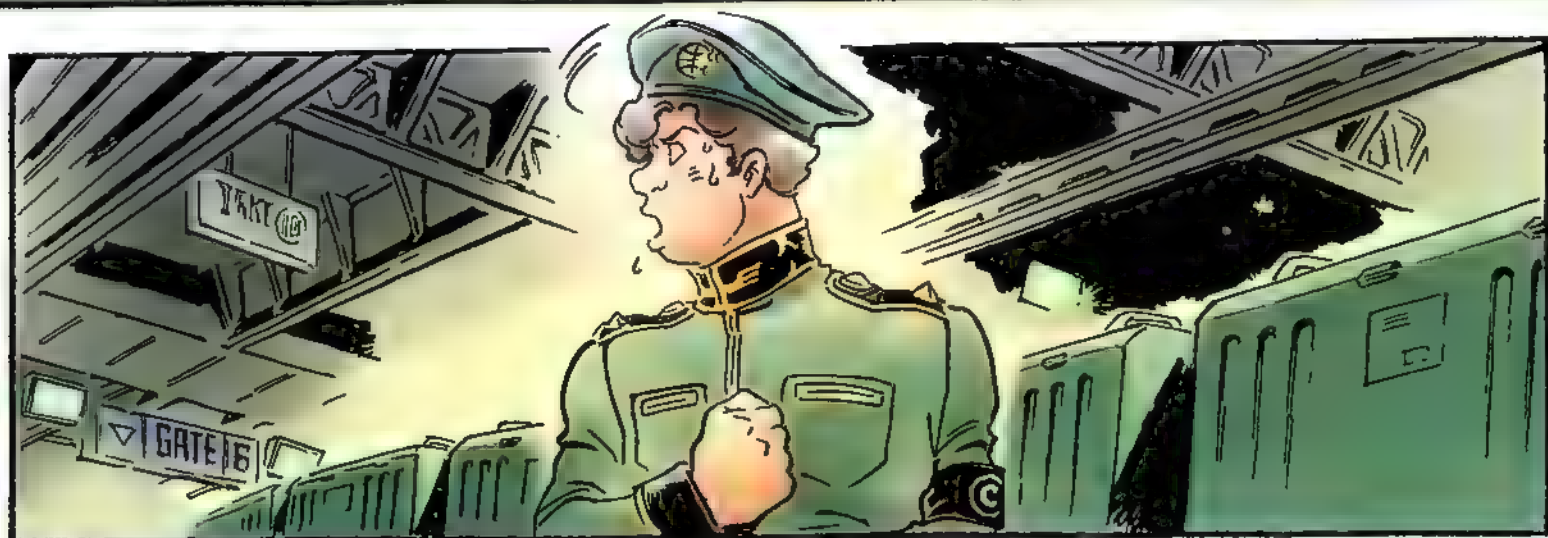
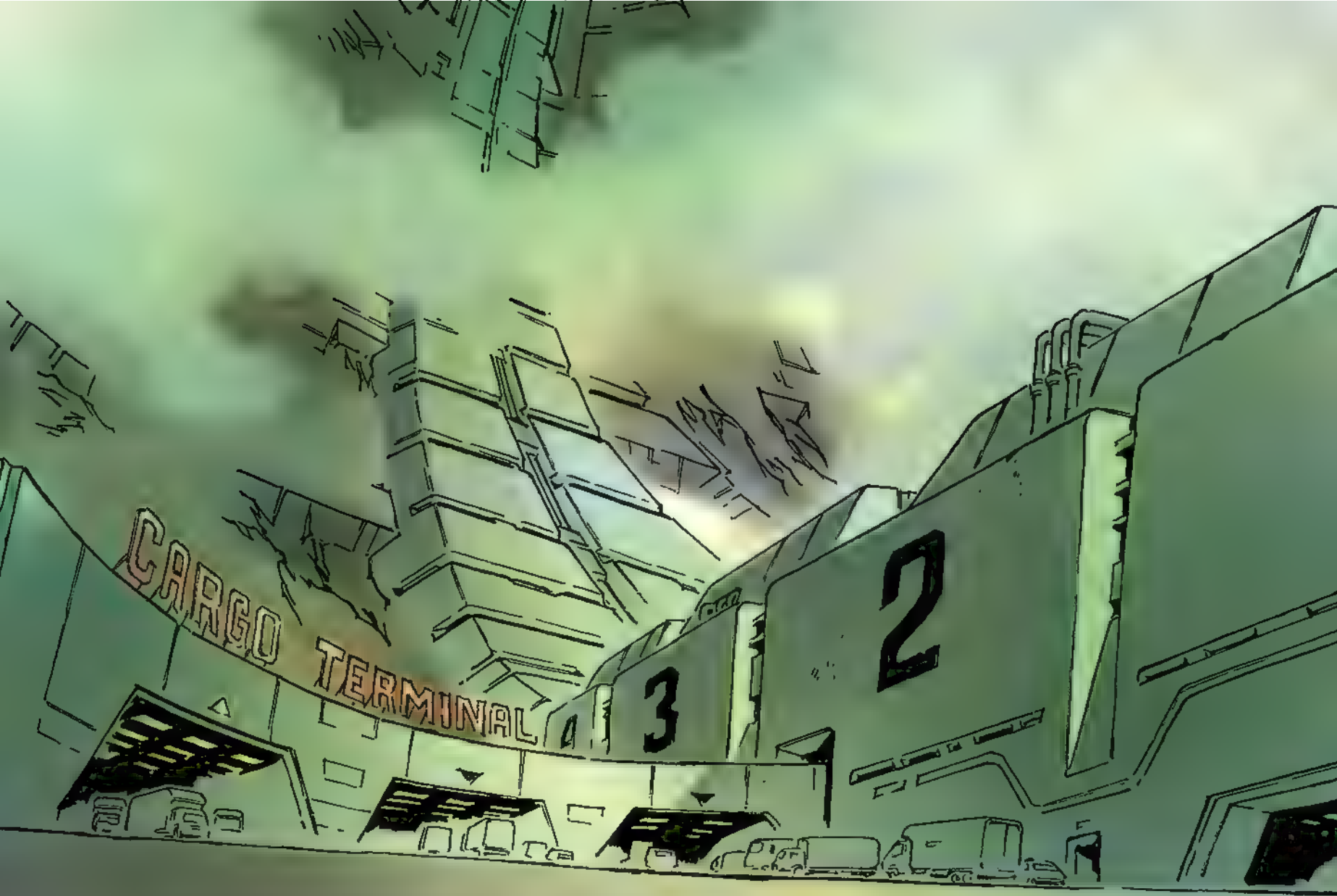




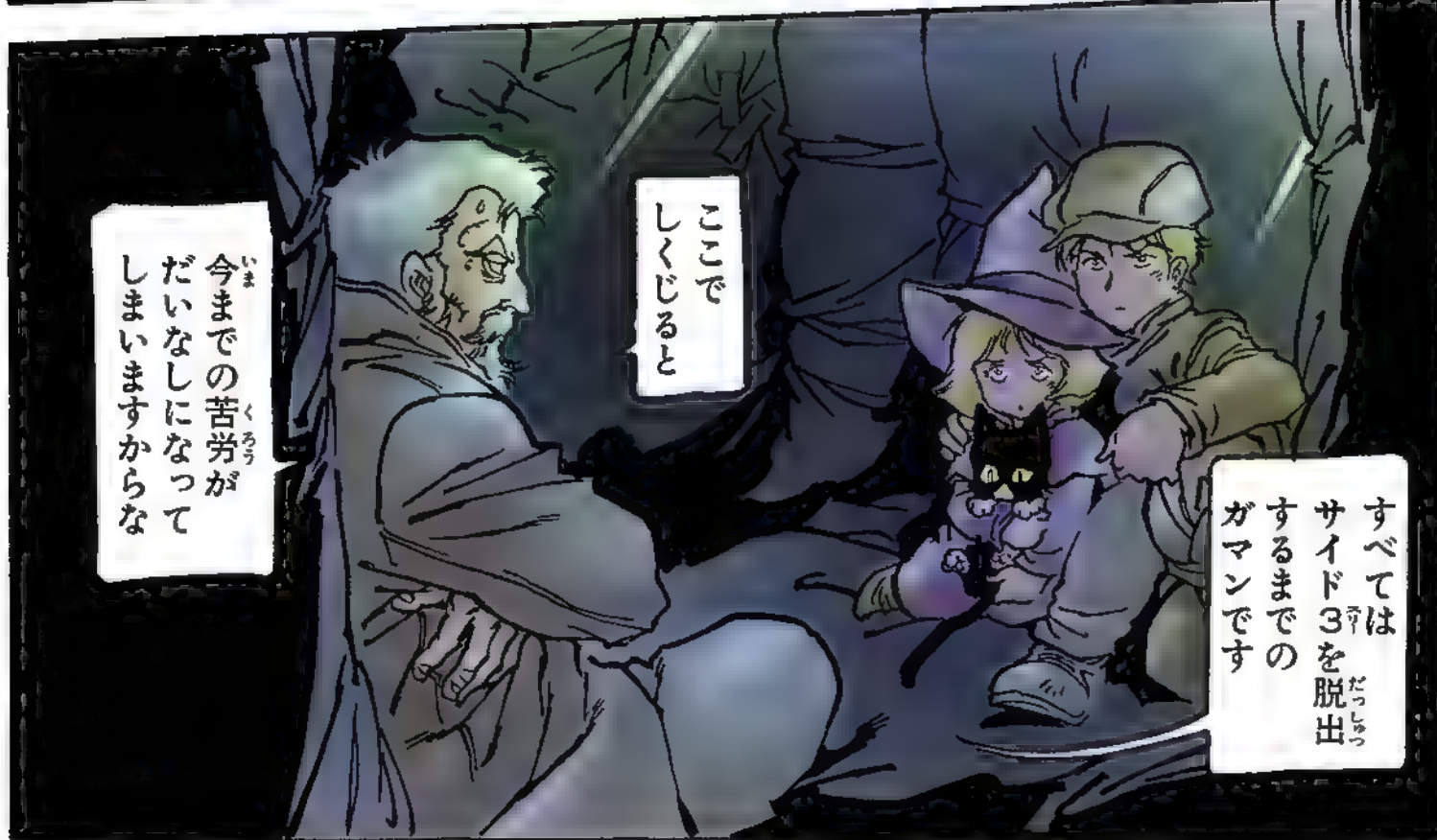
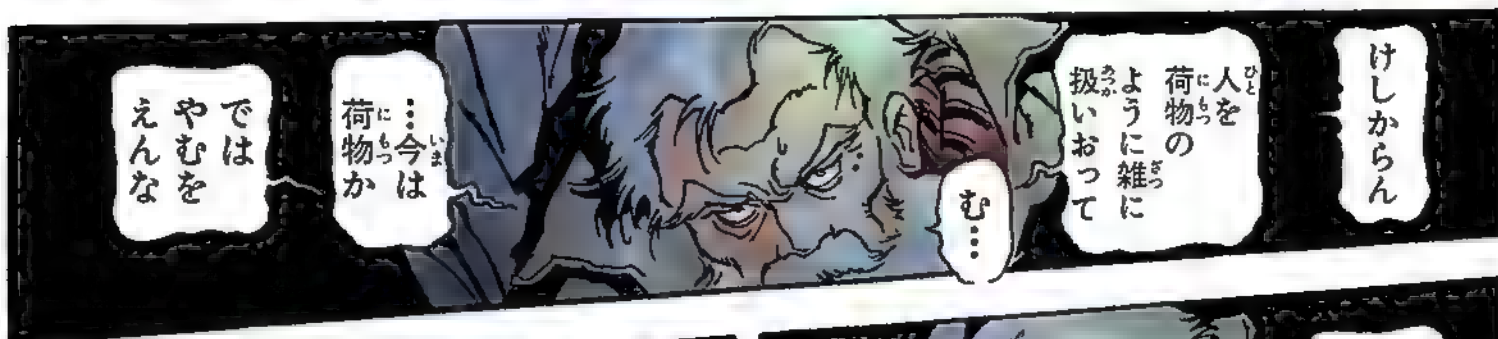
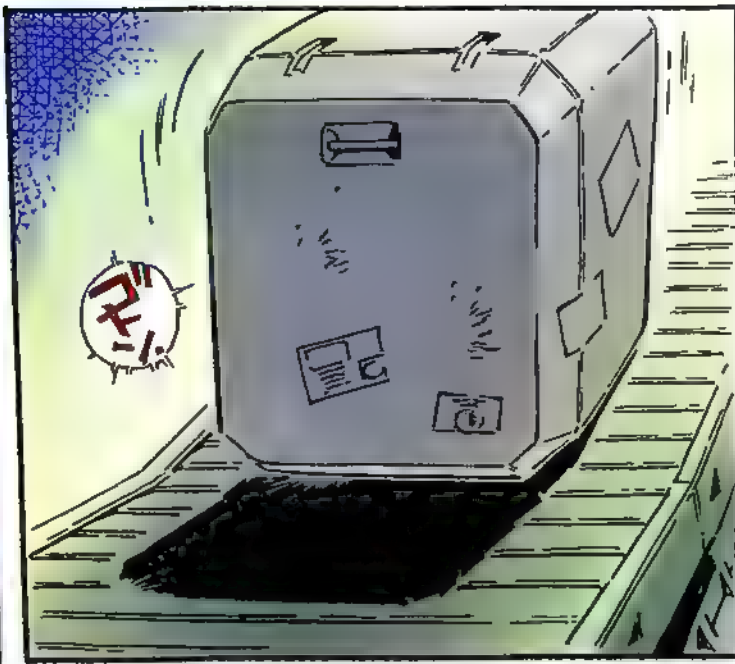
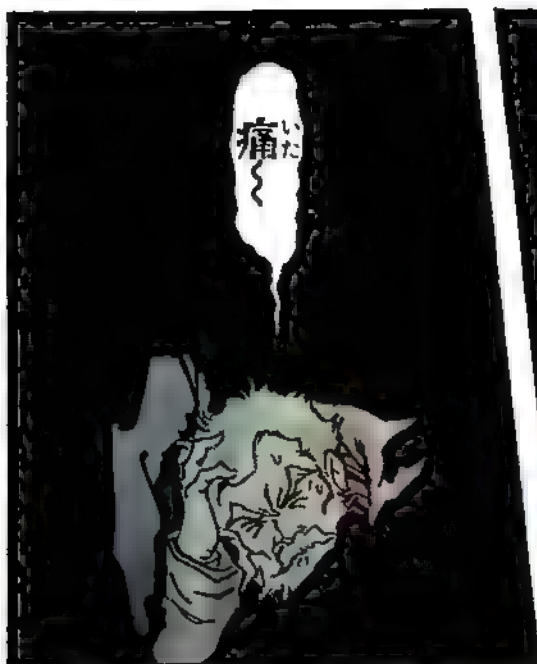




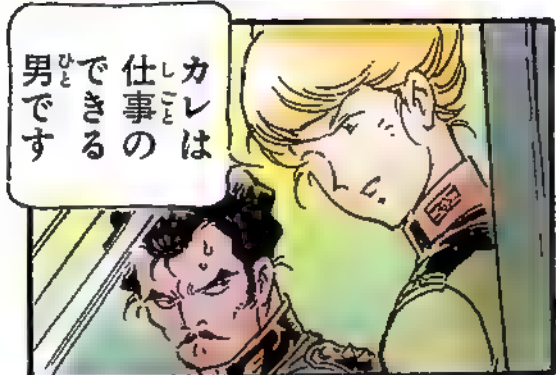
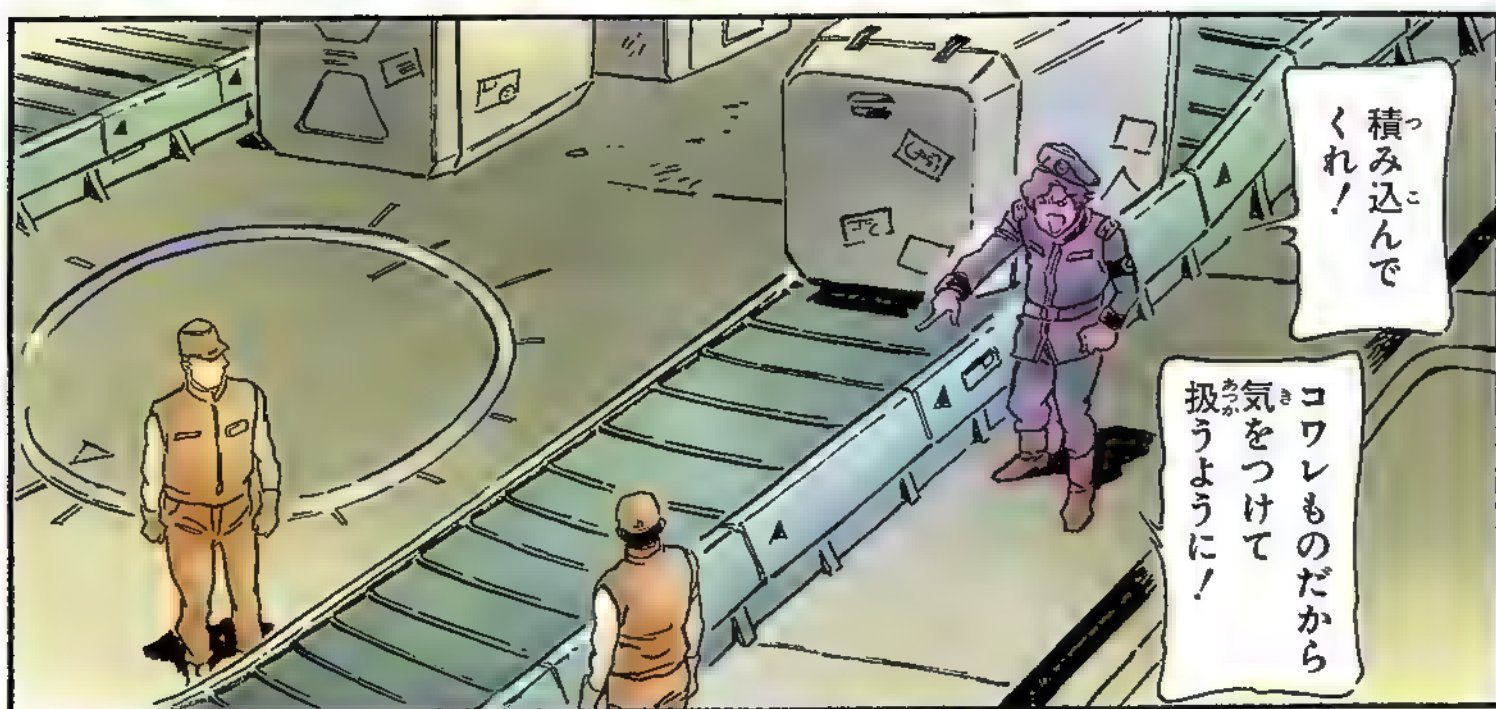
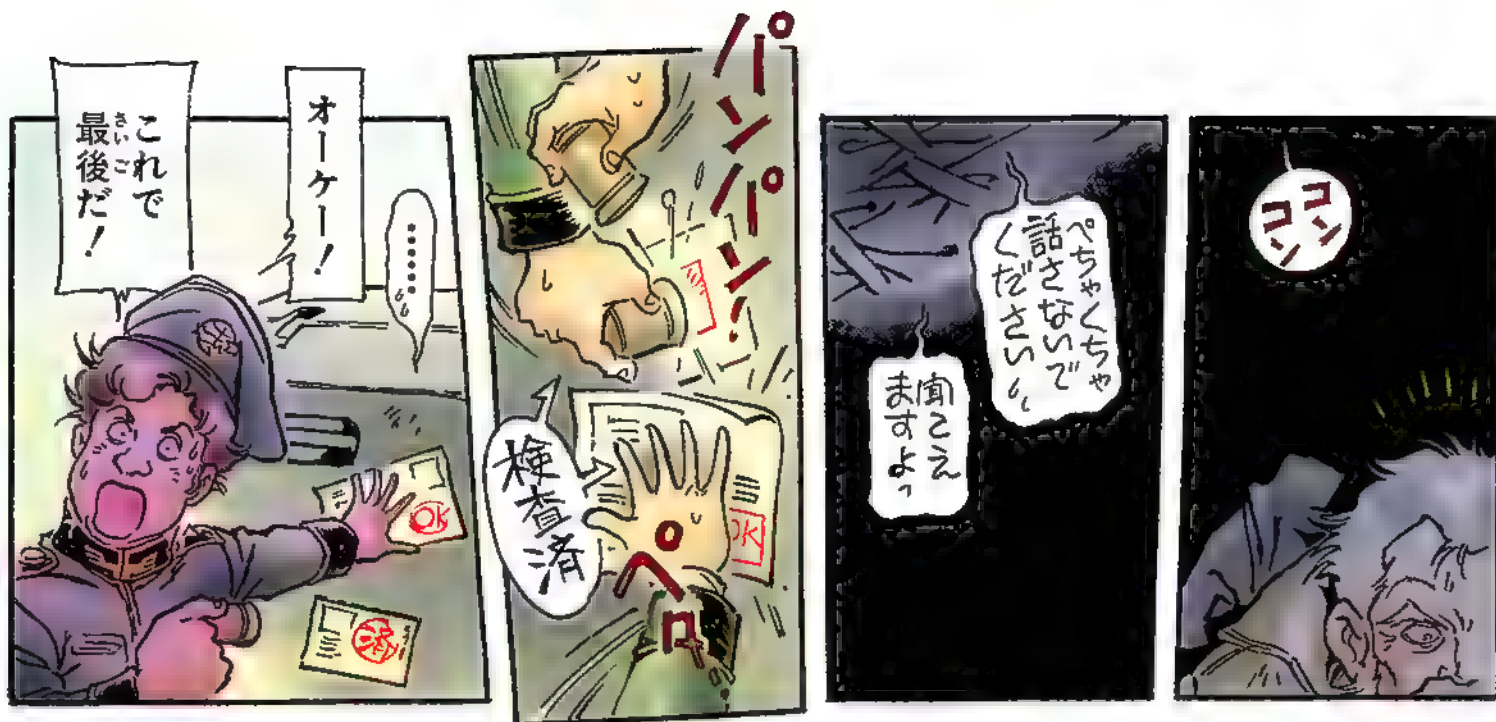




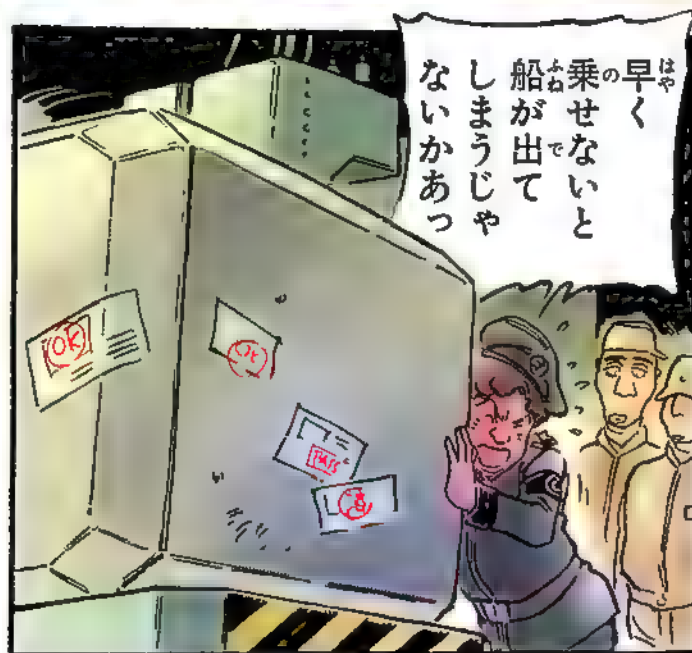
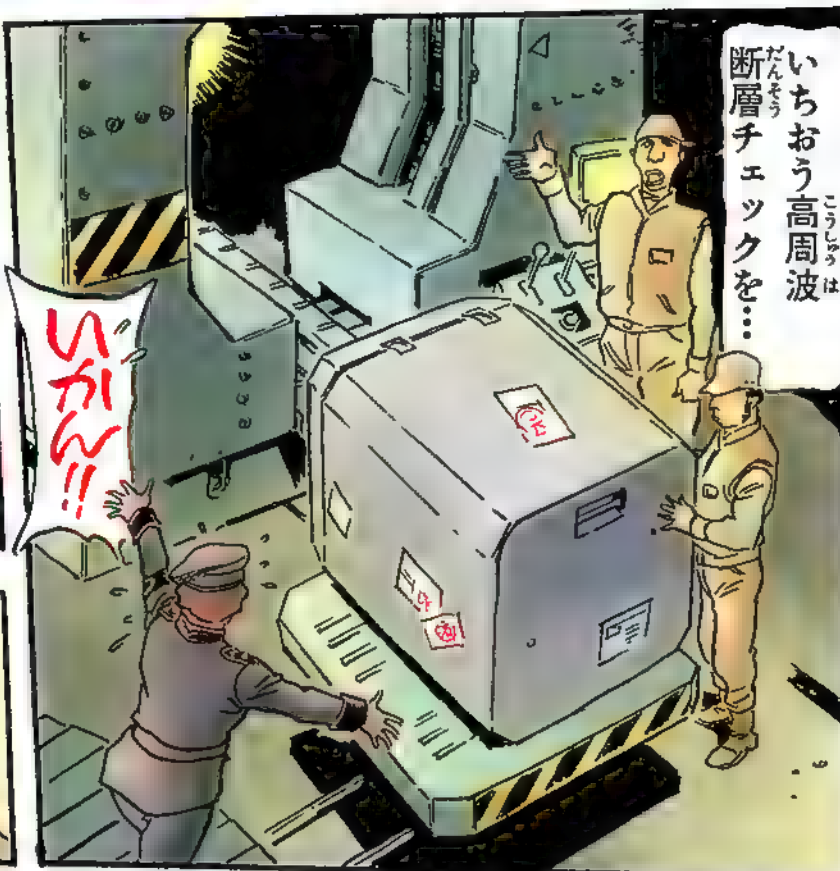
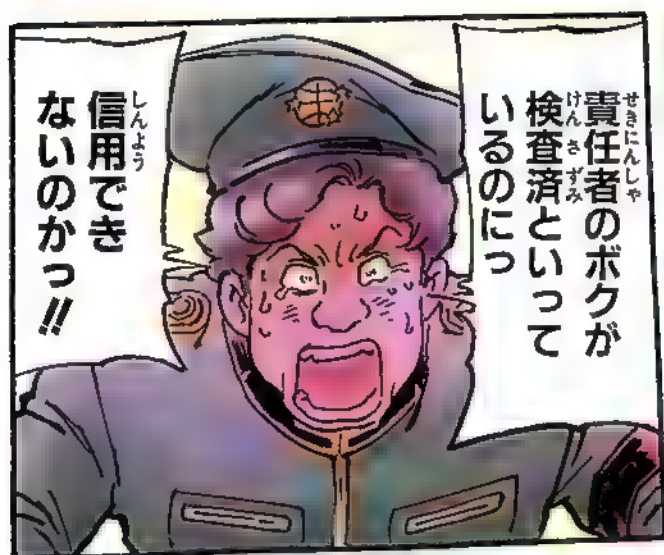
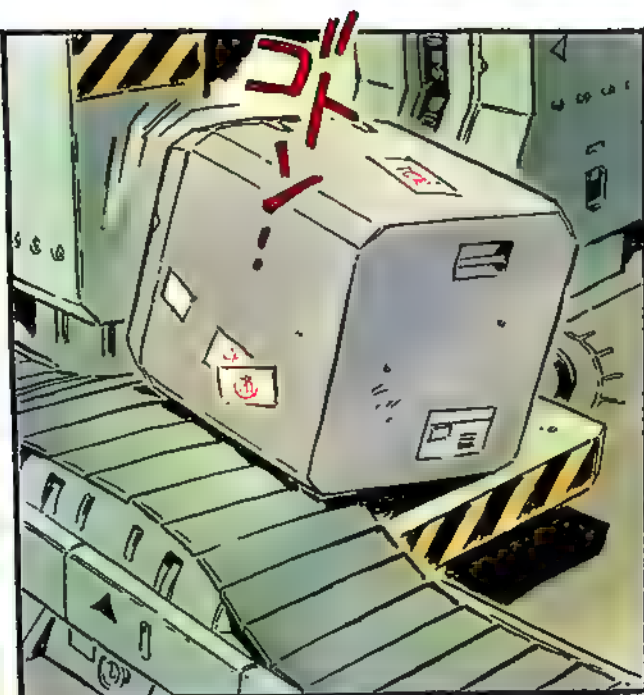




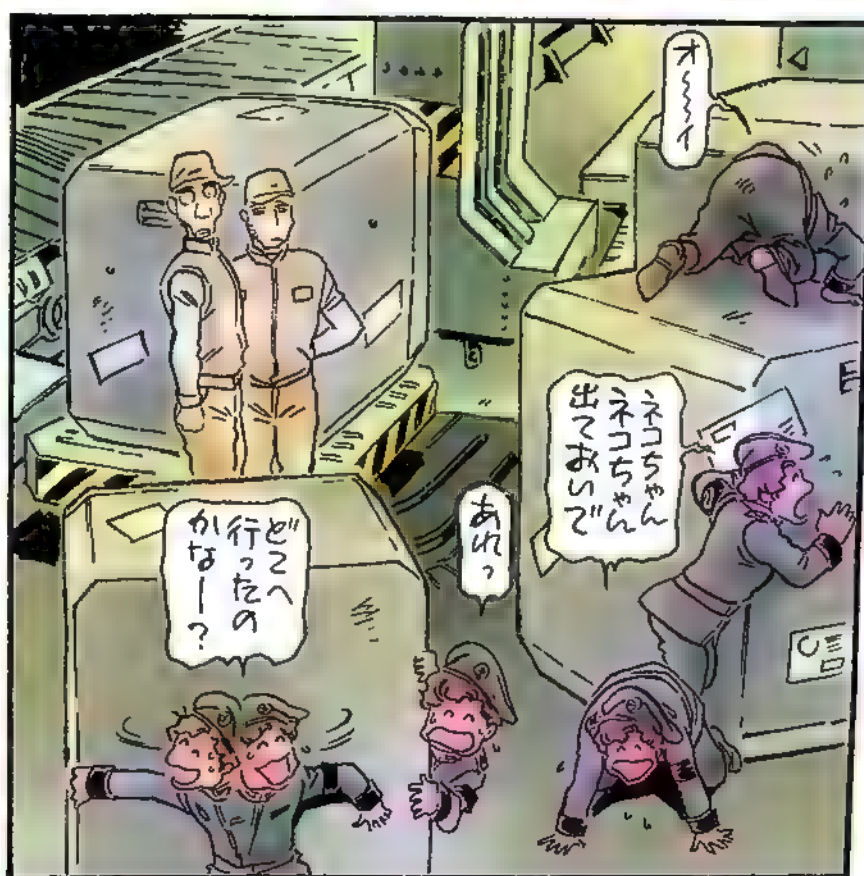
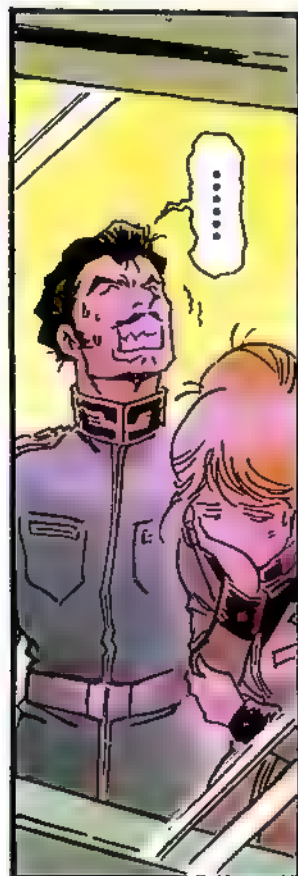
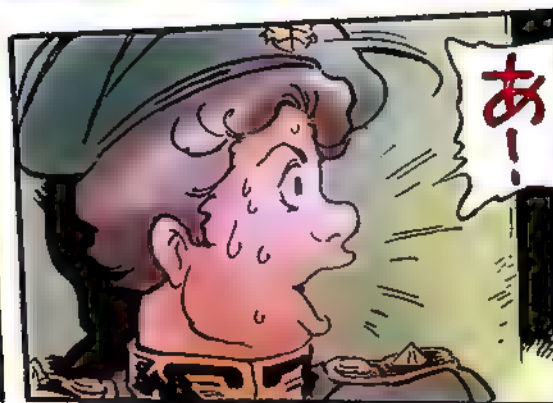
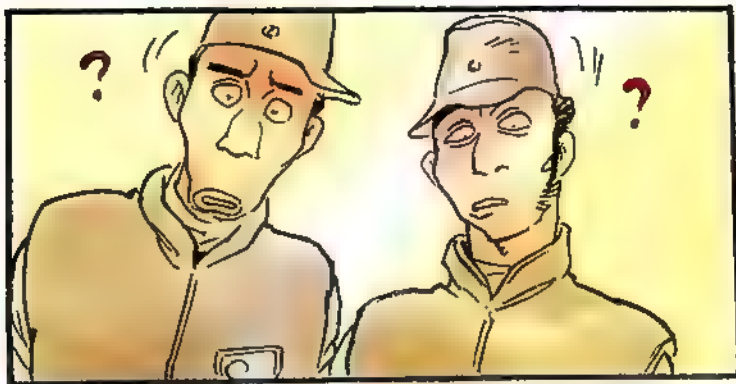




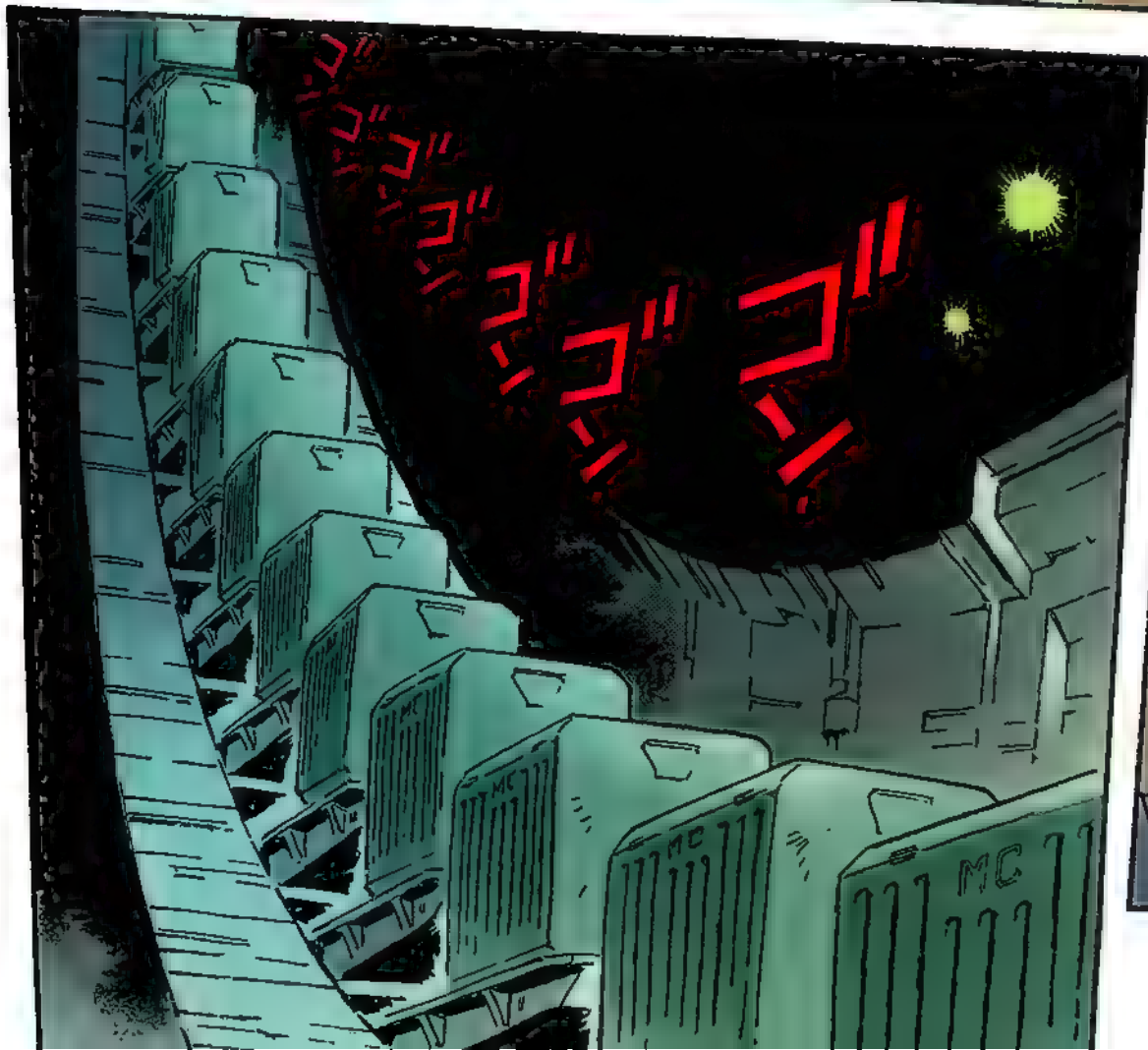
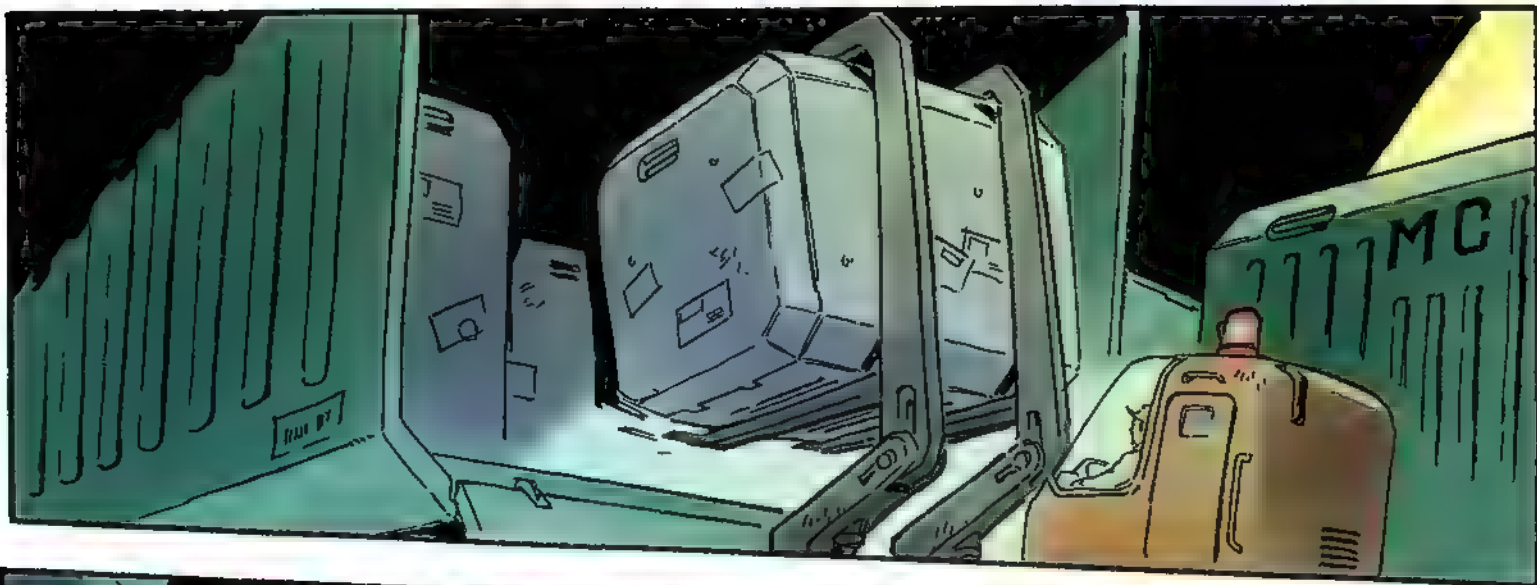
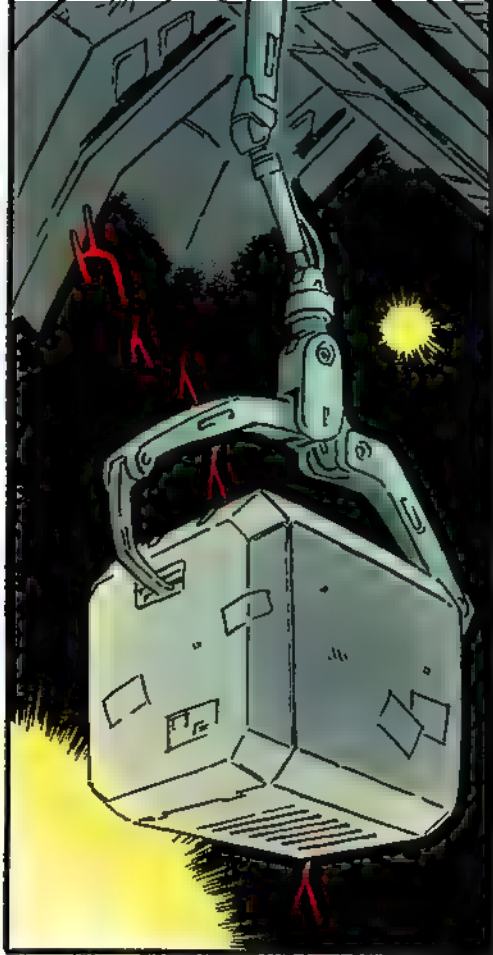
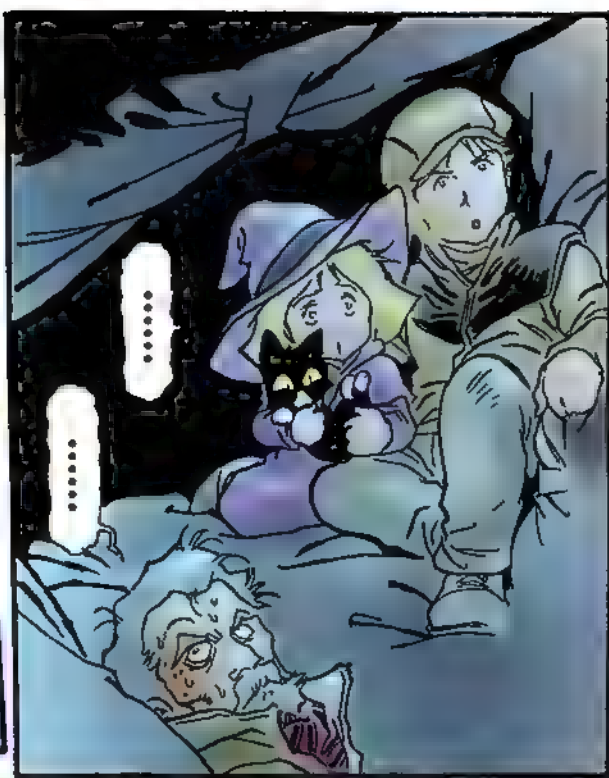
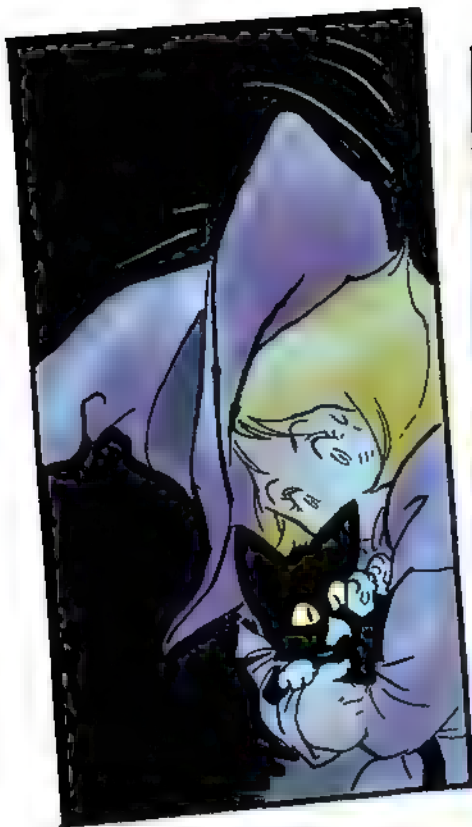




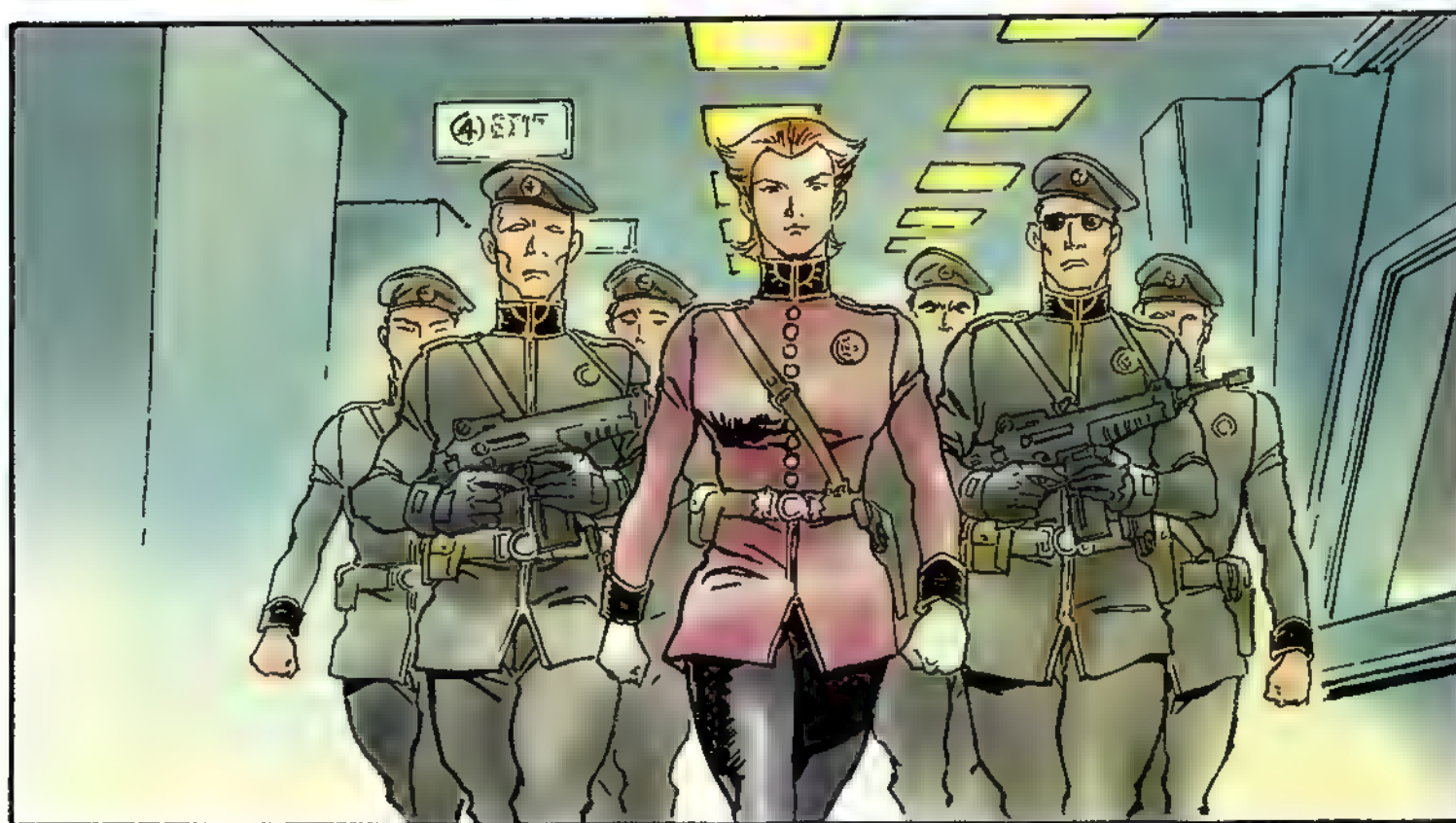










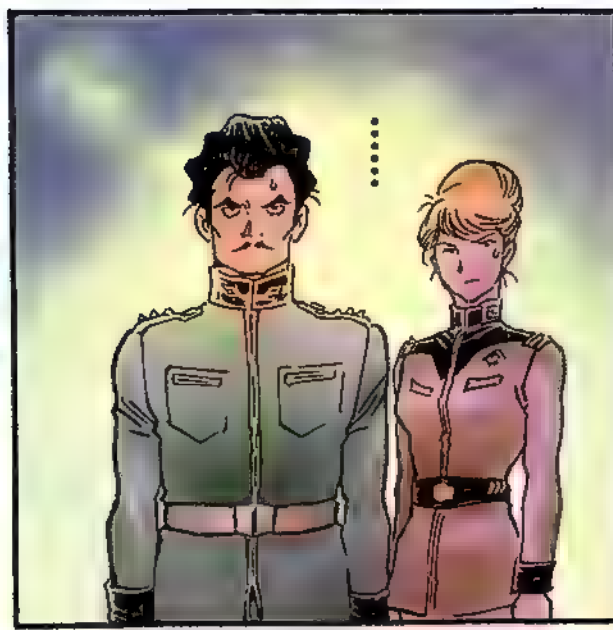




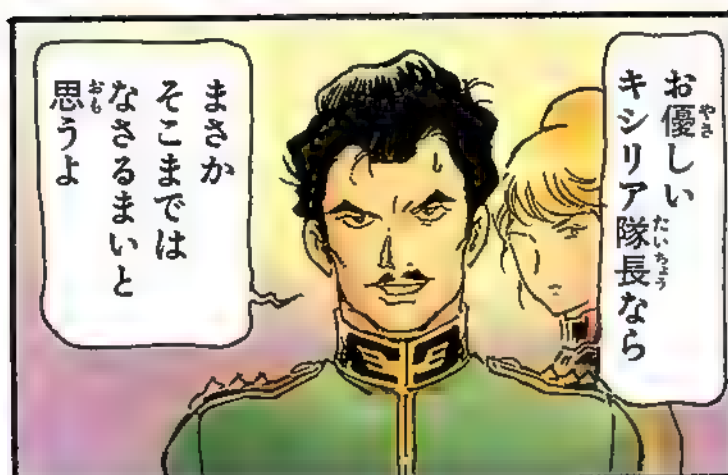


勝ったとお  
お思い？  
ラル大尉

なかなかの  
手際だった  
けれど

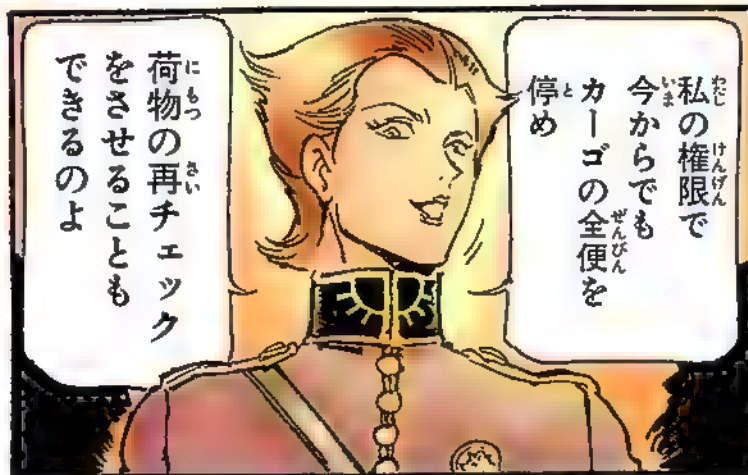


.....



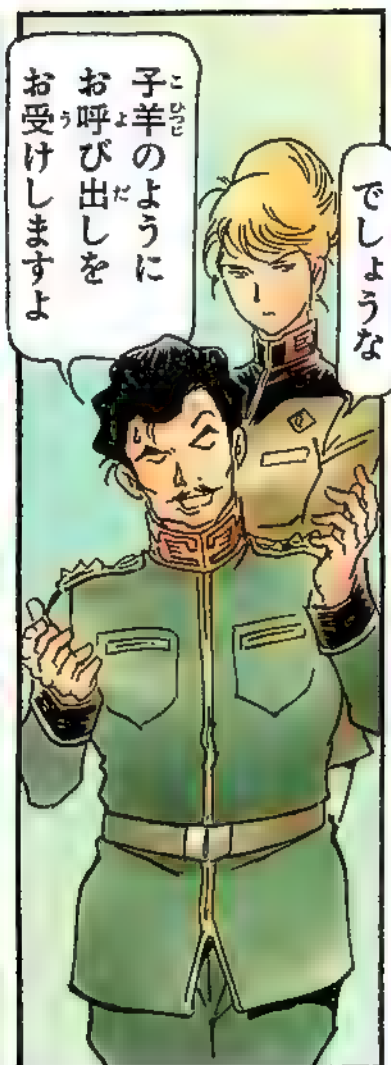
まさか  
そこまでは  
なさるまいと  
思うよ

お優しい  
キシリア隊長なら



私の権限で  
今からでも  
カーゴの全便を  
止め

荷物の再チェック  
をさせることも  
できるのよ



子羊のように  
お呼び出しを  
お受けしますよ

でしような



ありがとう  
大尉

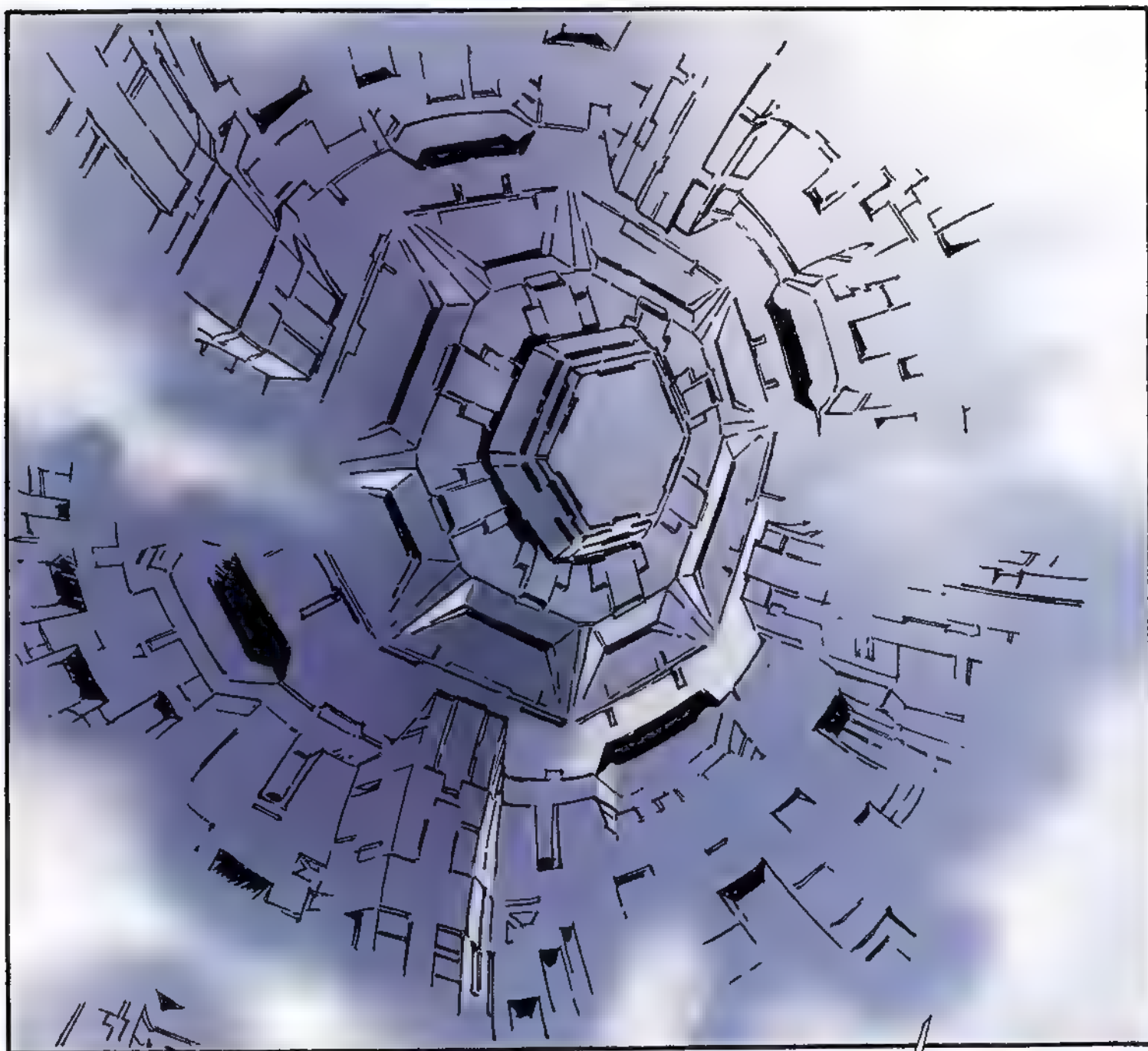
あなたには  
人を見る目が  
おありのようね



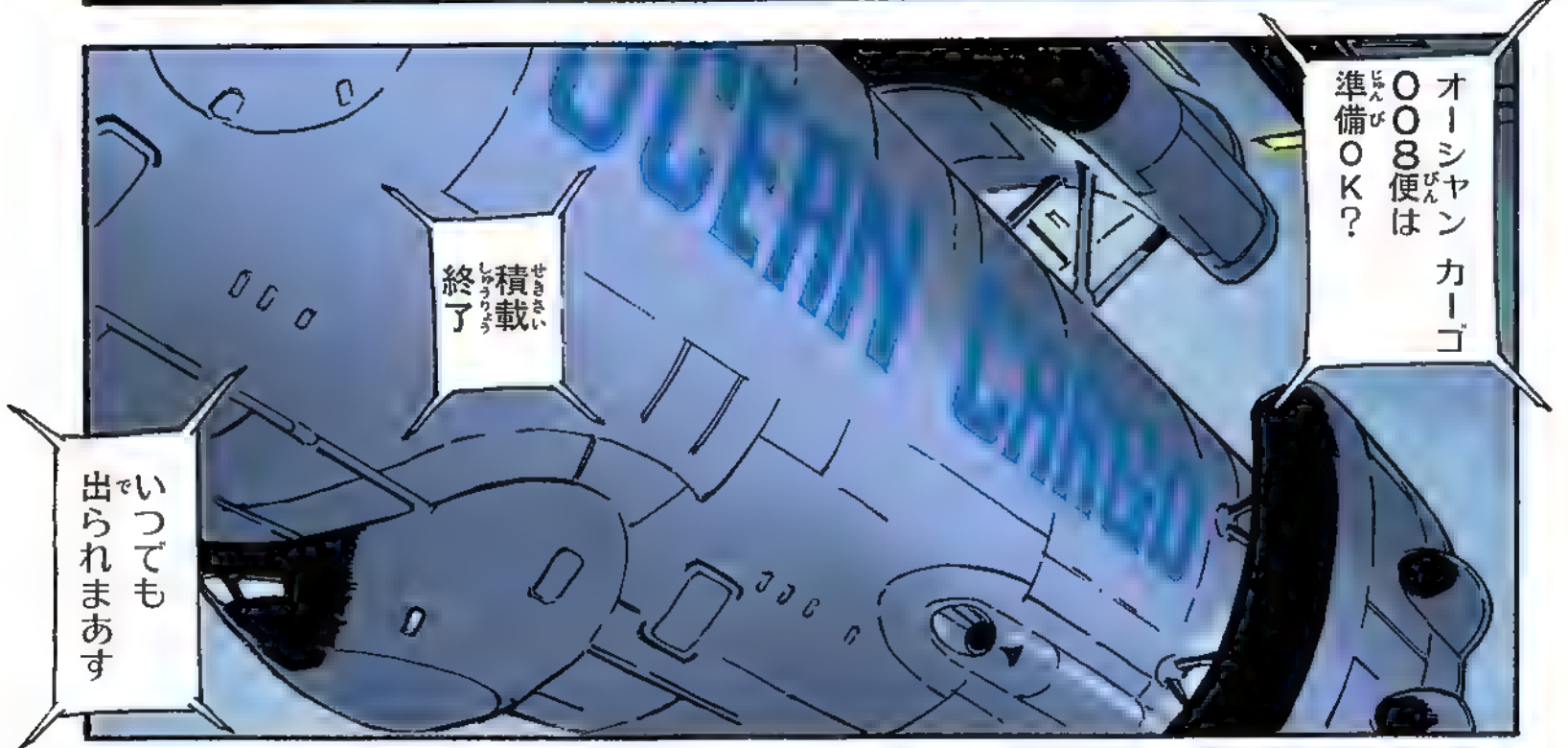
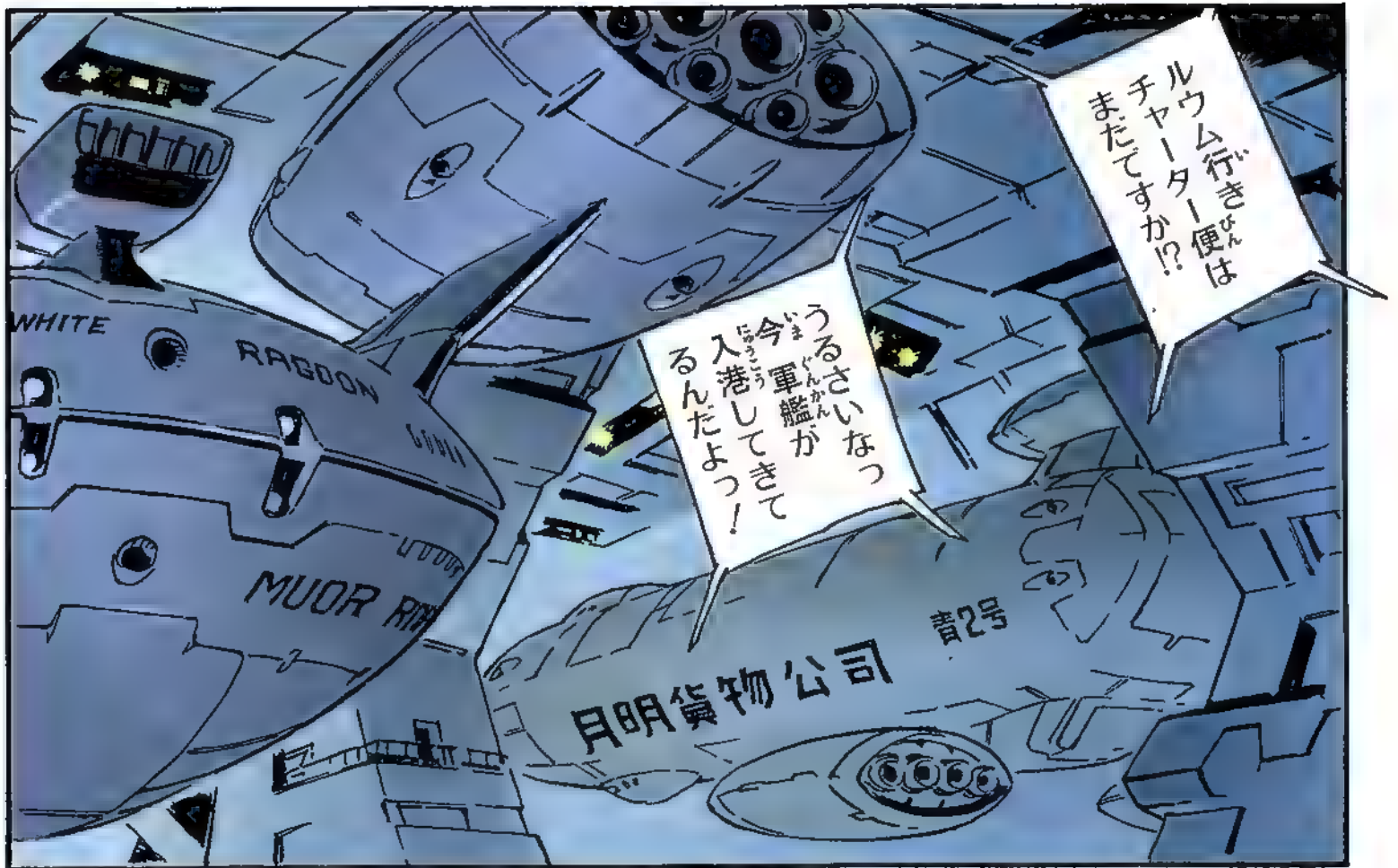
でも  
お二人には  
当然

出る所へ  
出ていただくわ

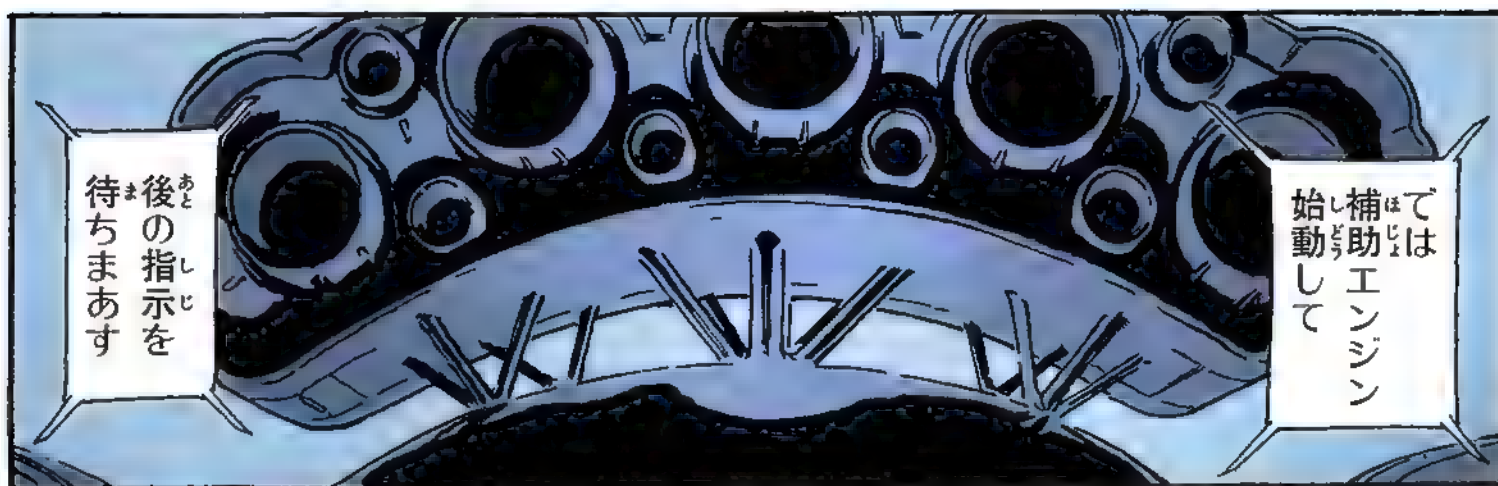




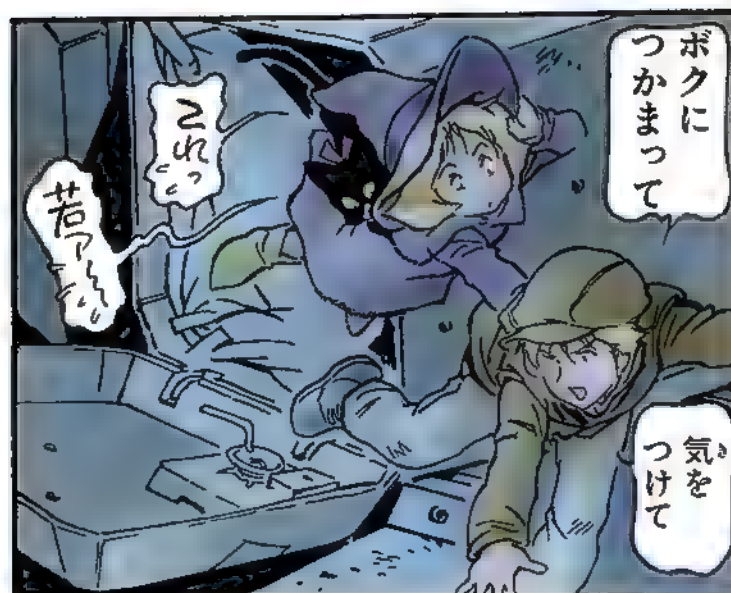
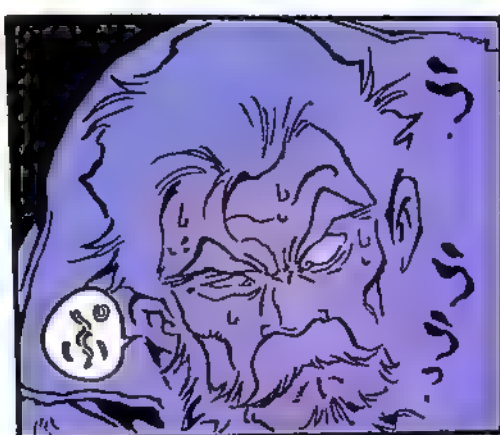
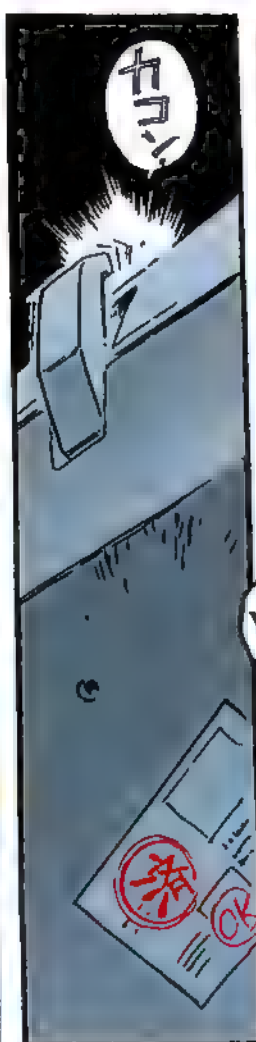
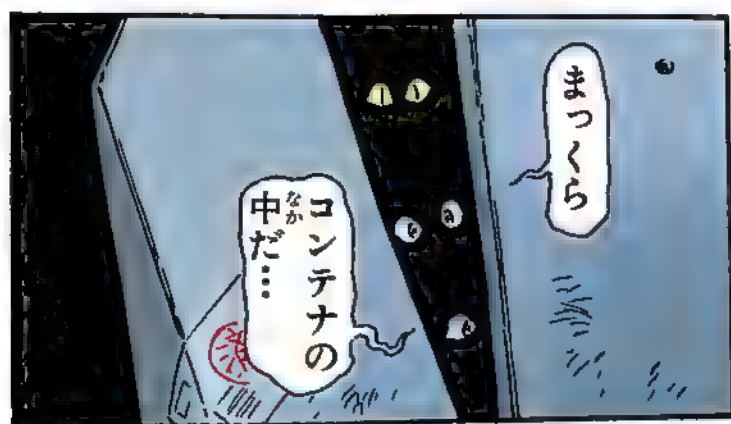
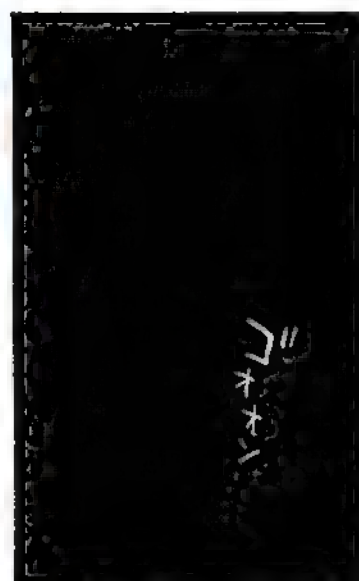




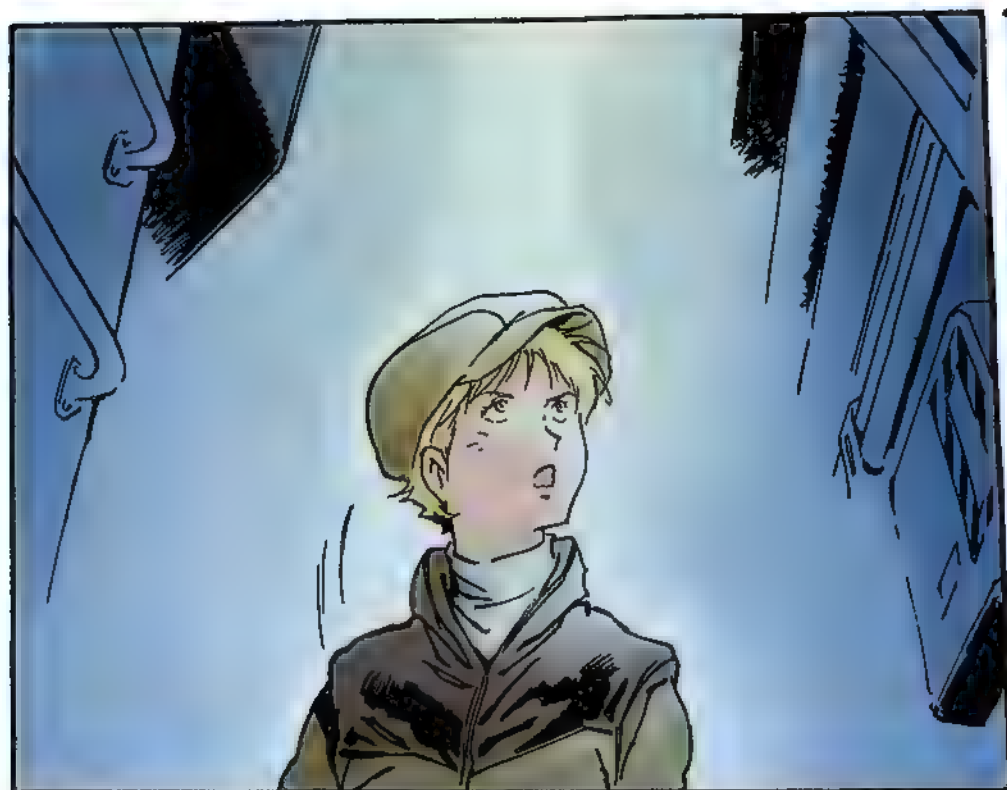
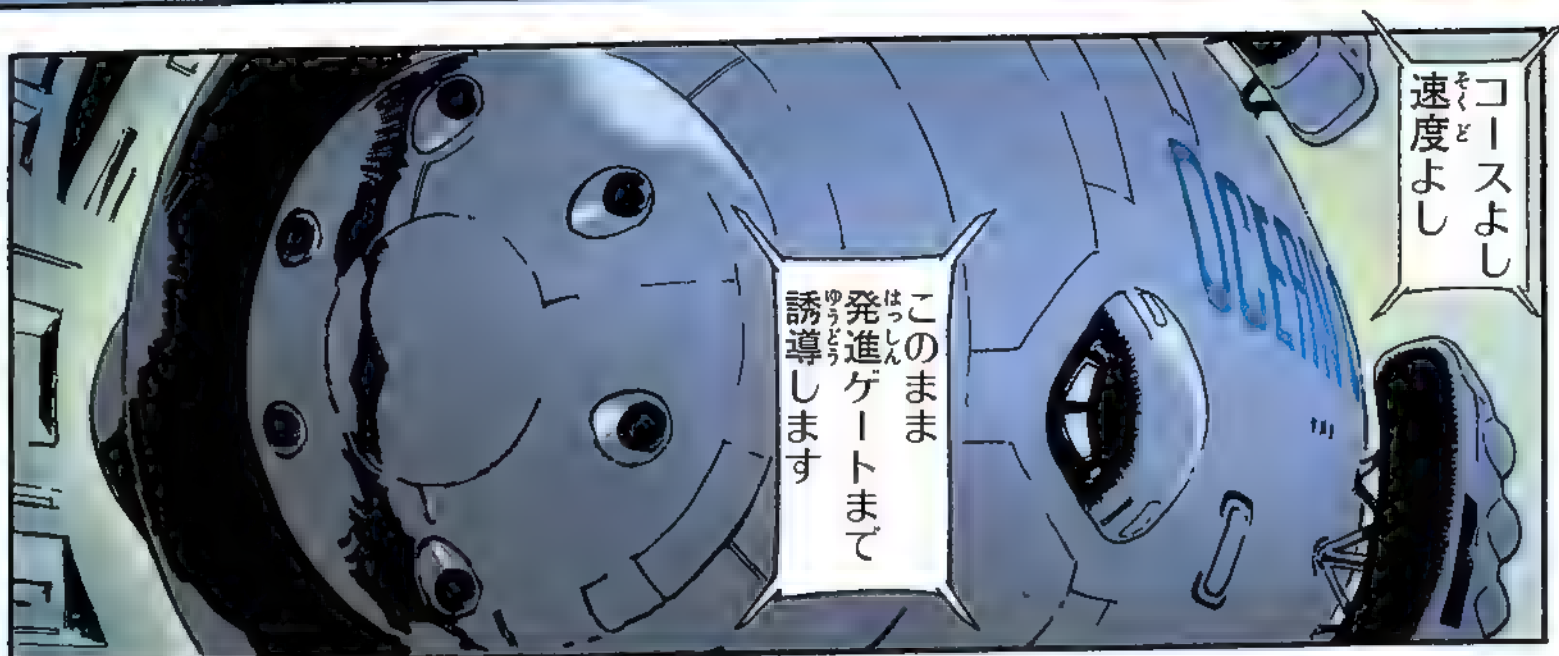
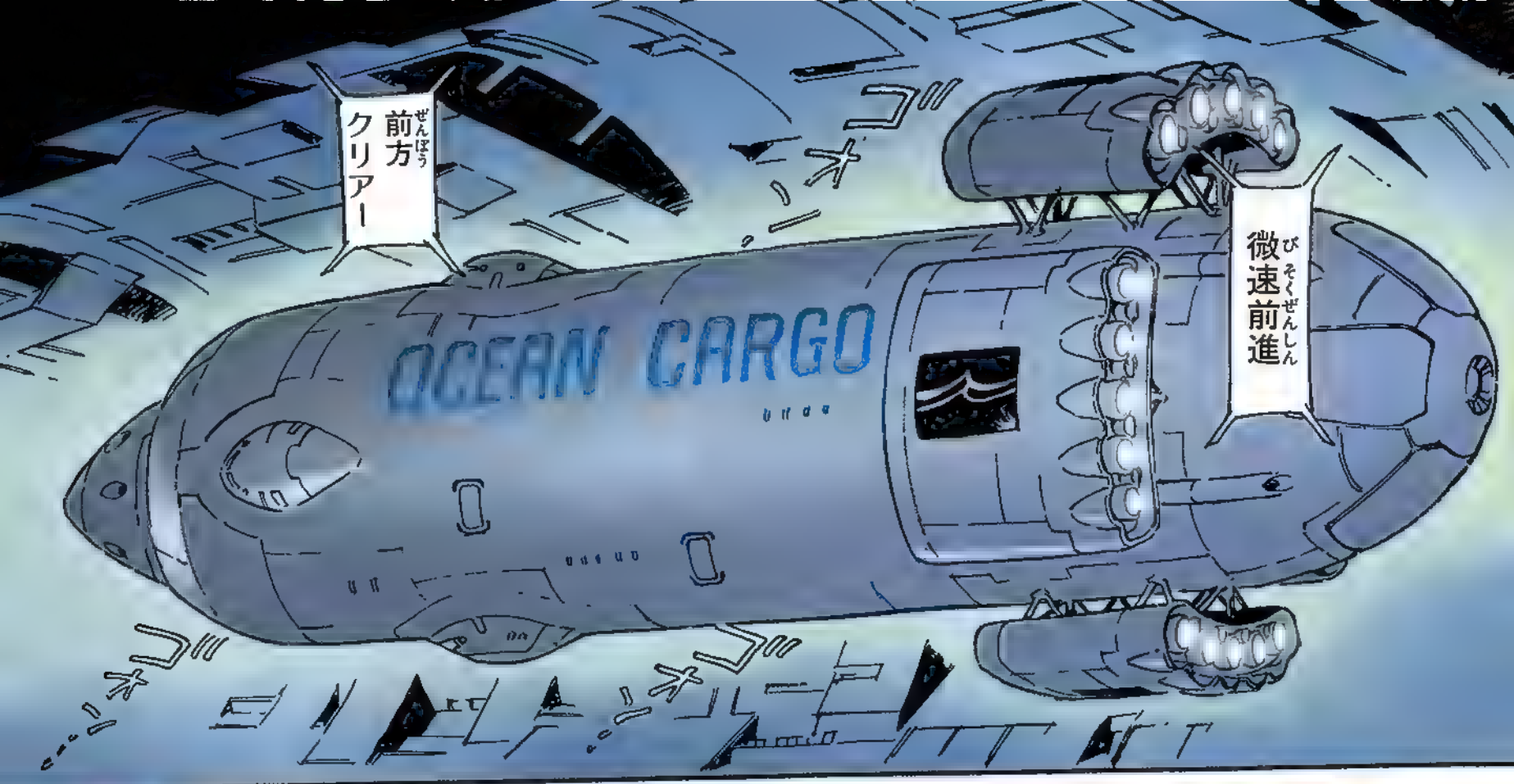




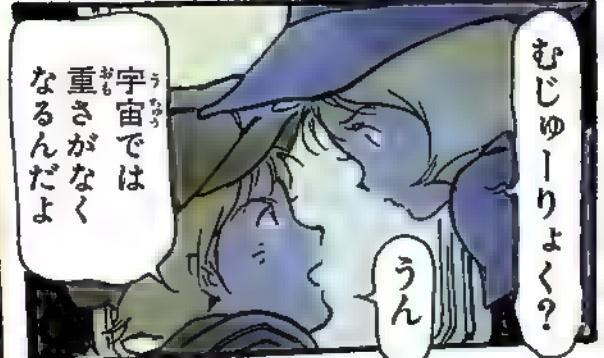
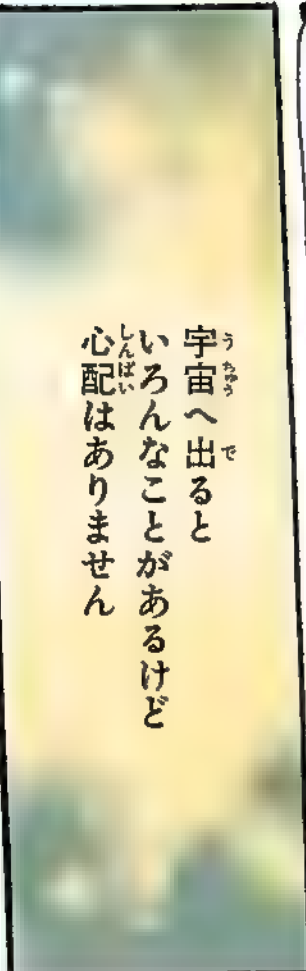
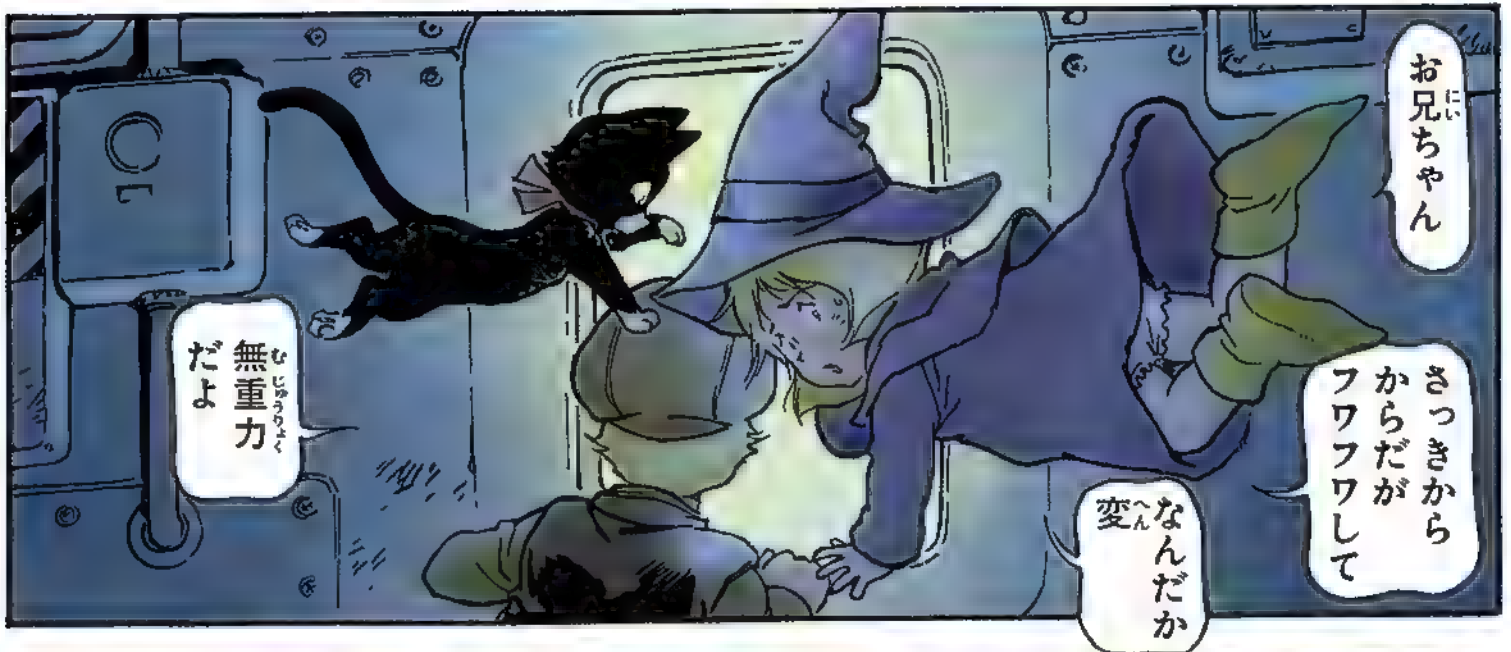
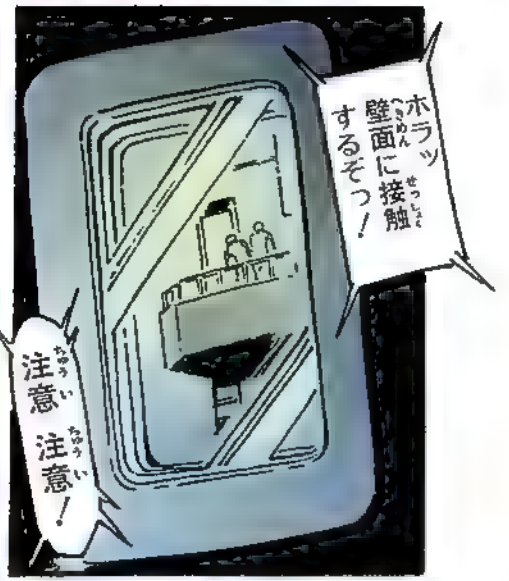














お星様の  
海が  
見えるわ

お船が港を出たら  
窓から外を見て  
ごらんなさい

それに  
これから  
行く  
地球や  
お月様が

ハモンさん

お母様と  
おんなじ

ニオイがする...

ハモンさんて...



ハモンさん

お母様<sup>かあさま</sup>に言<sup>い</sup>ってね

ちきゅうで

いい子<sup>こ</sup>でいて

お月様<sup>つきさま</sup>がまるくなるのを

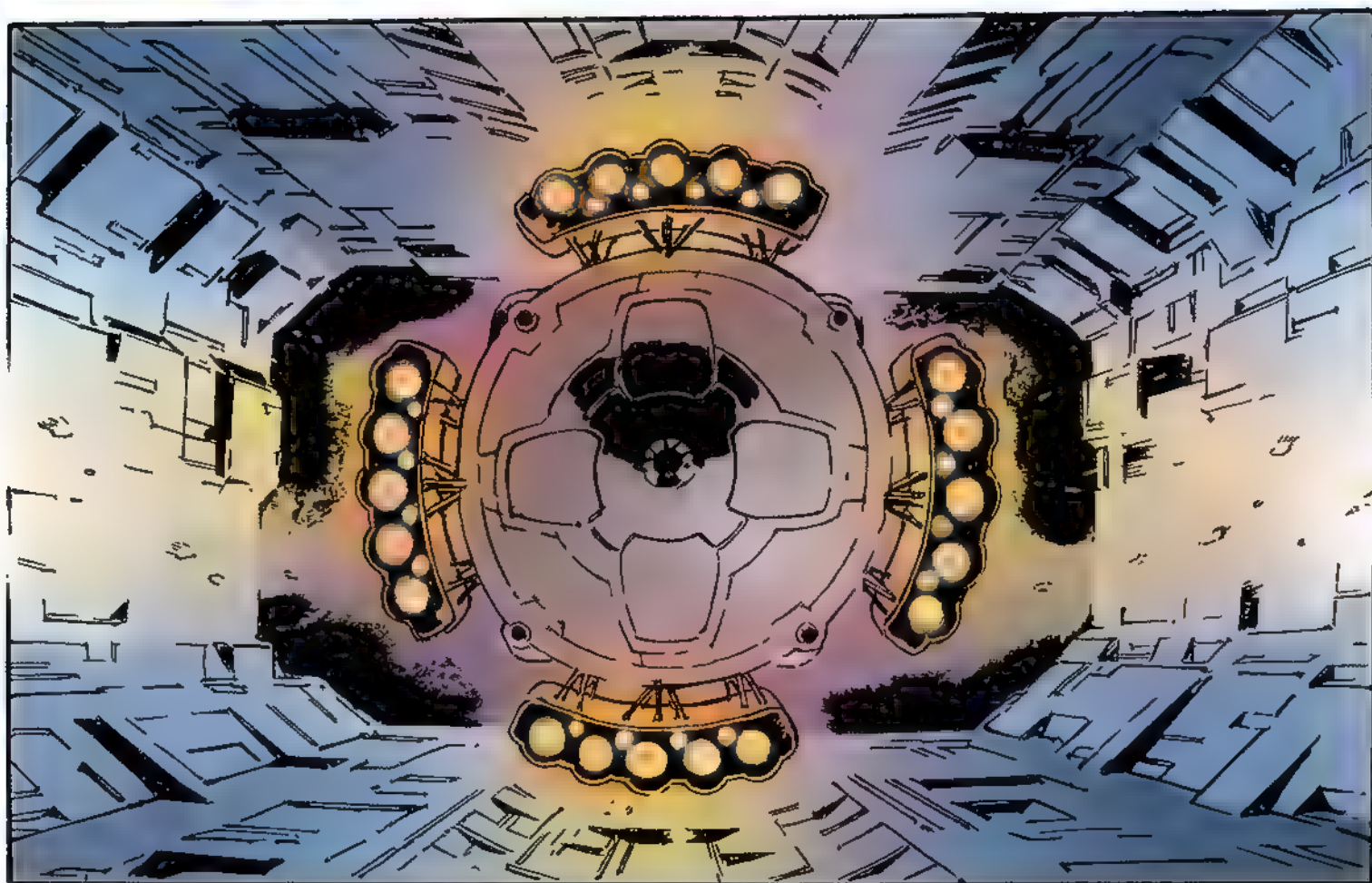
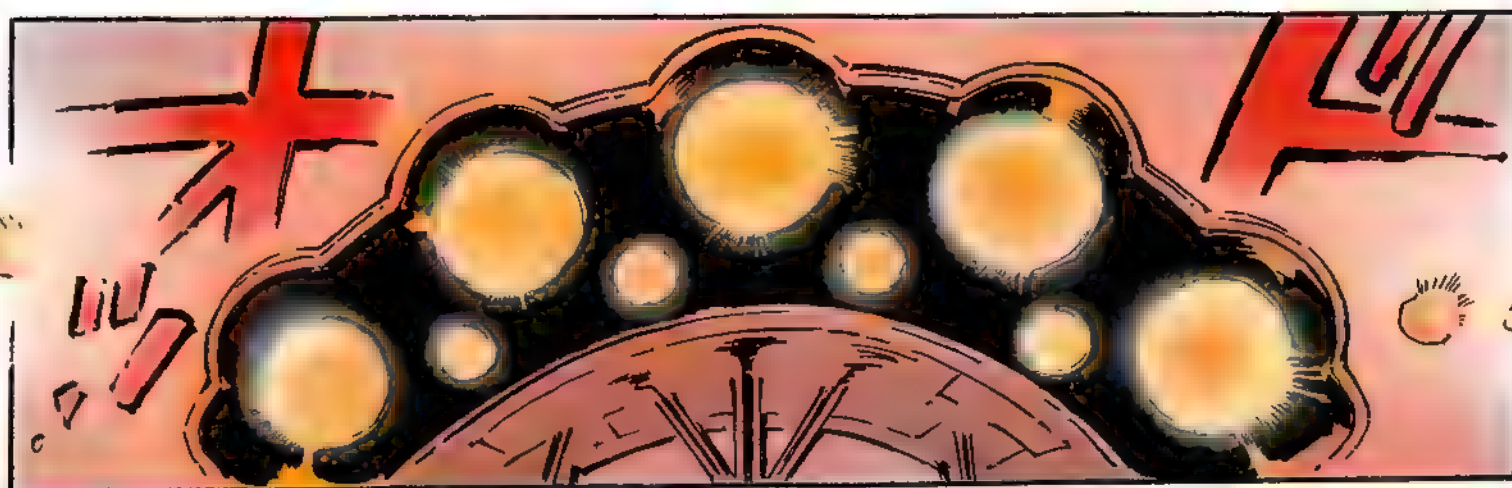
ちゃんと  
百回<sup>ひゃっかい</sup>数<sup>かず</sup>えるから

そうしたらきつと  
来<sup>き</sup>てねって

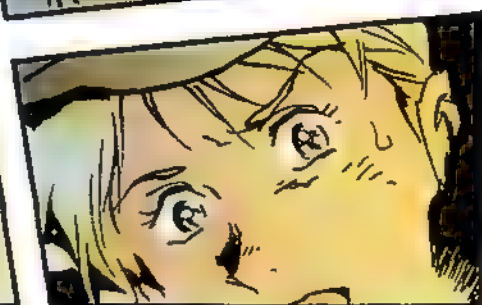
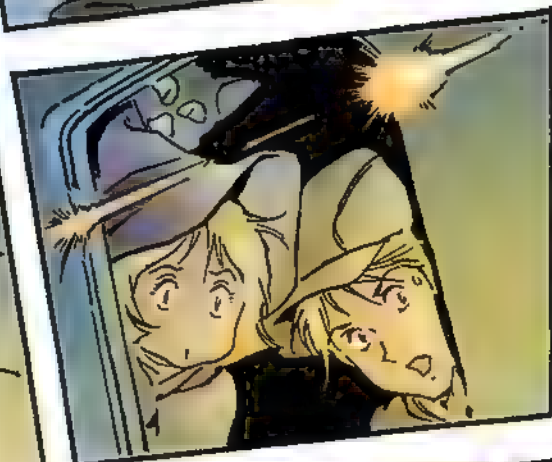
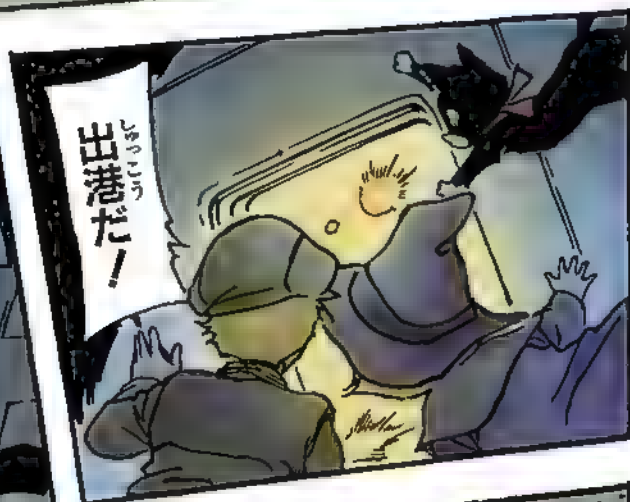
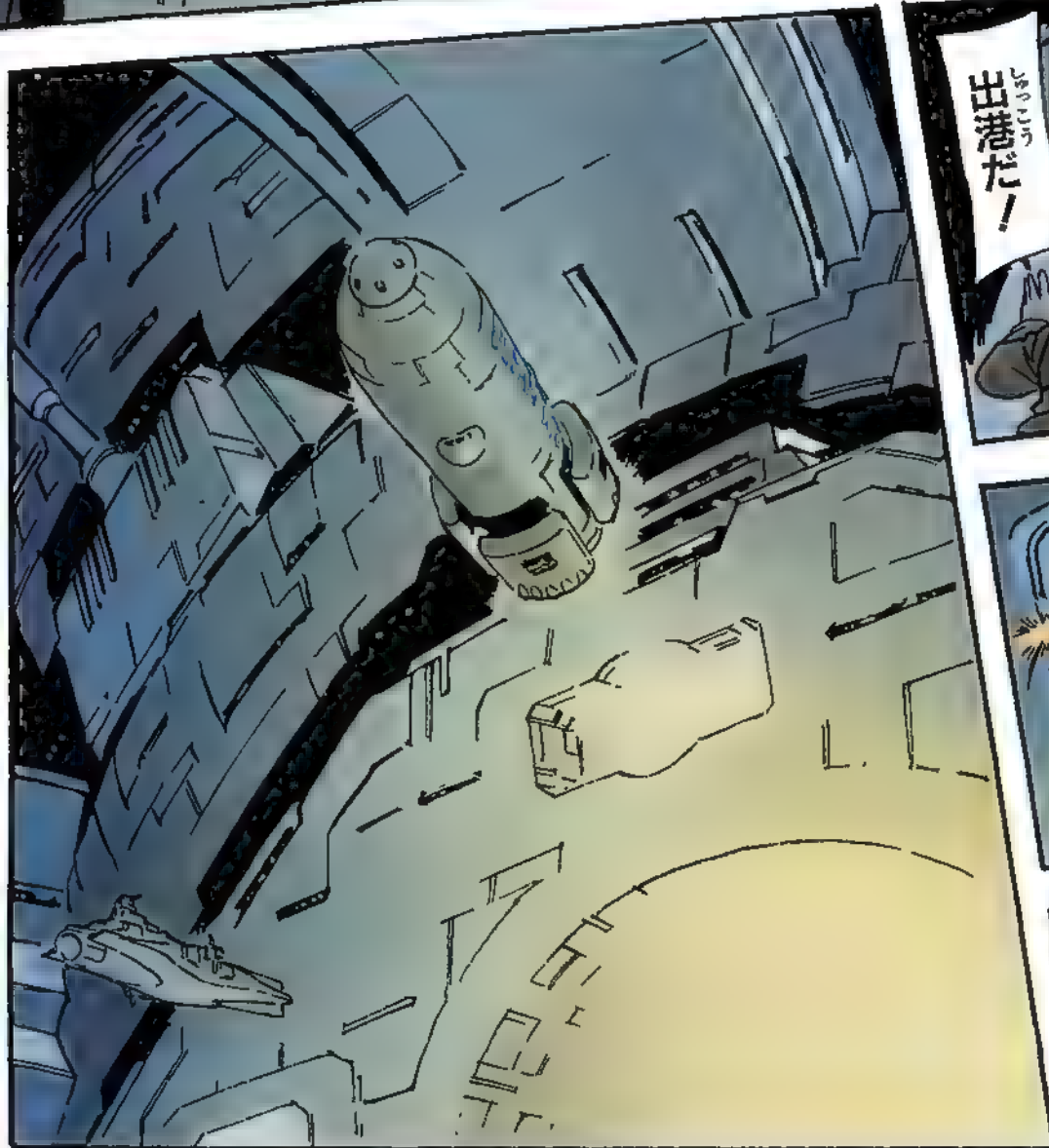
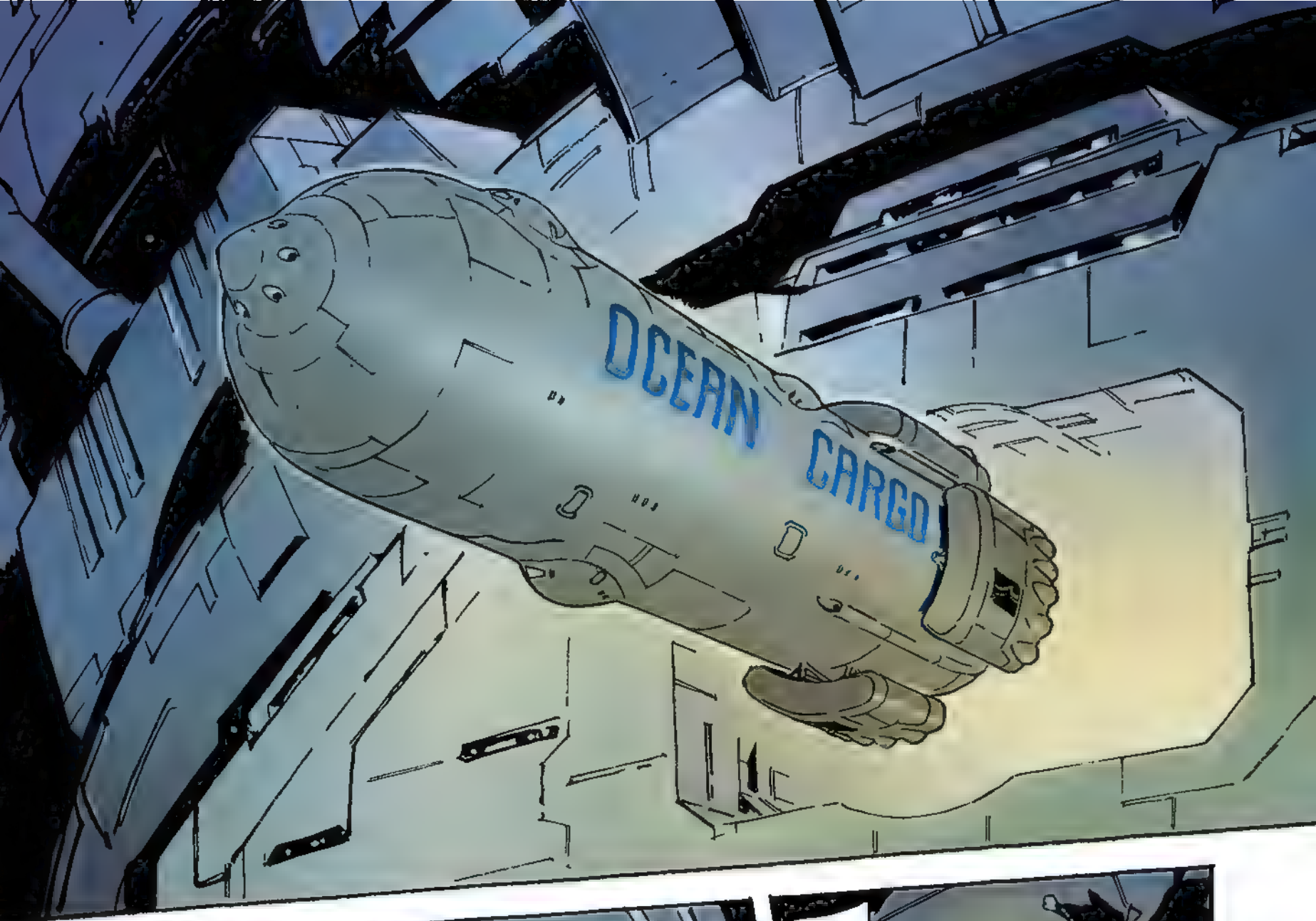
待<sup>ま</sup>ってるからねって

そう言<sup>い</sup>って

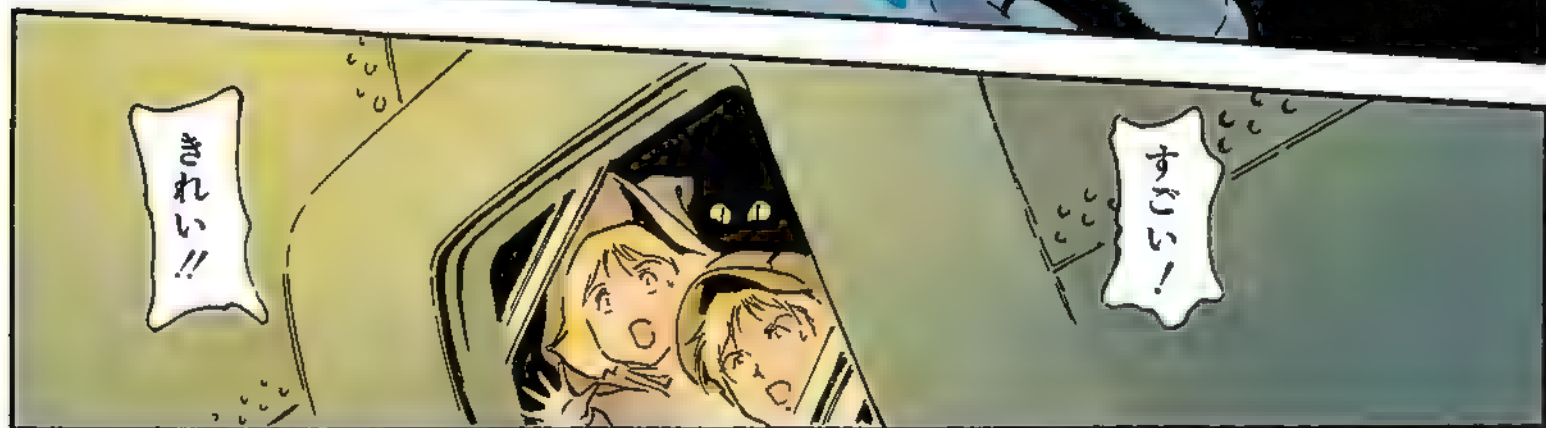
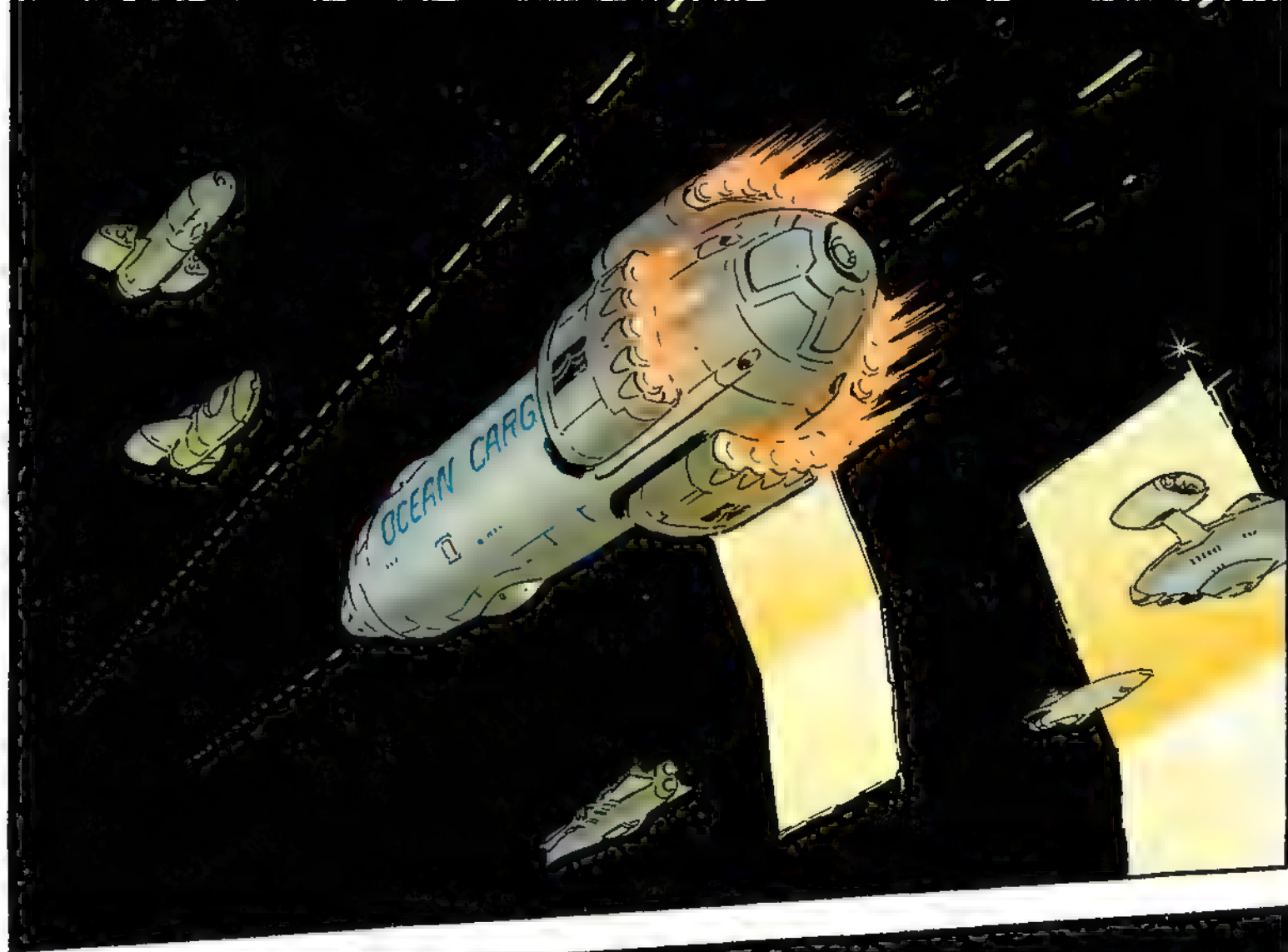
ね







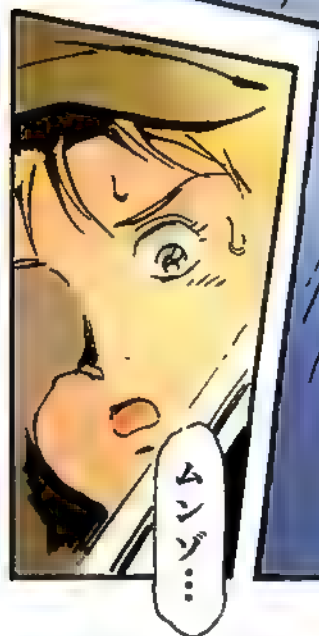
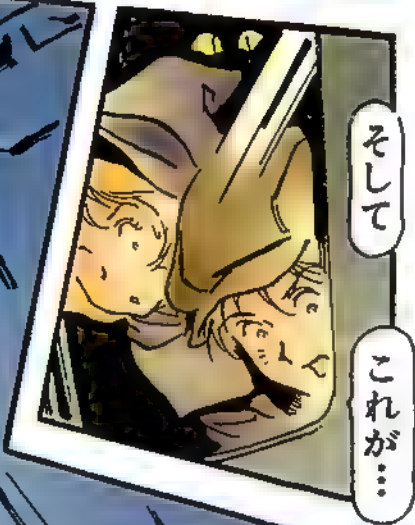
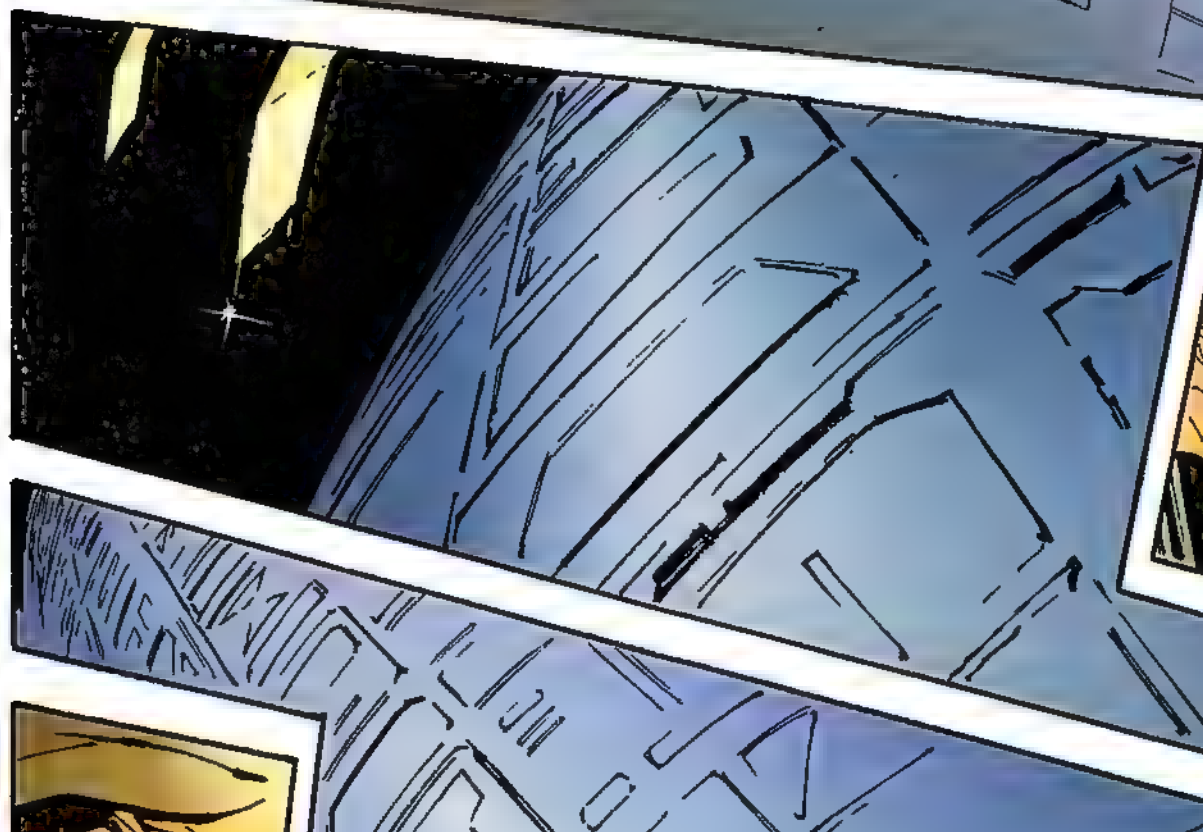
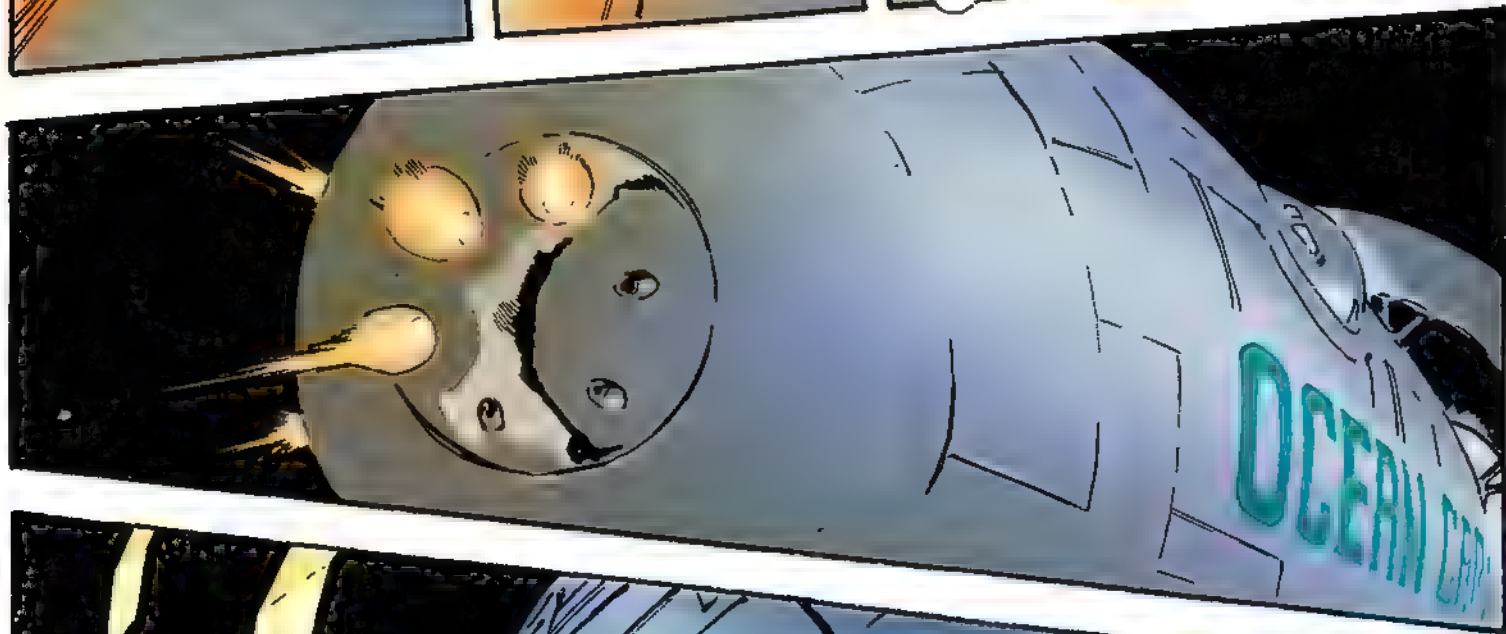
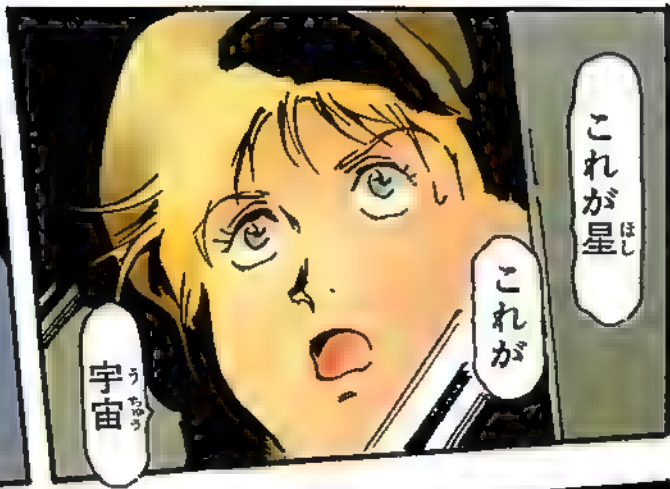
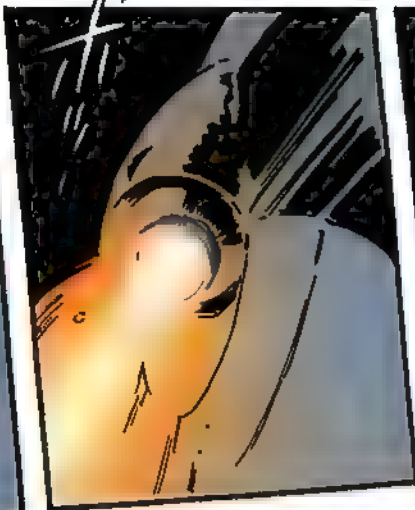
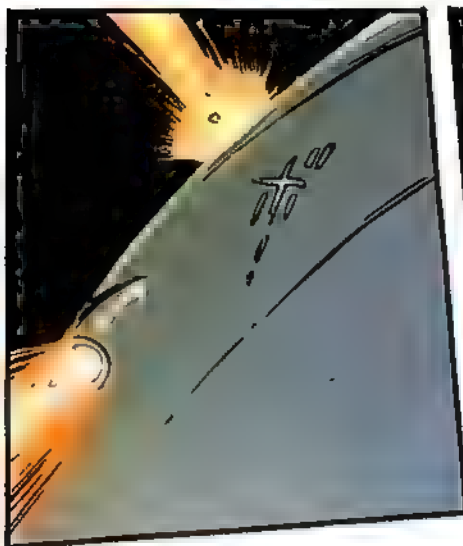




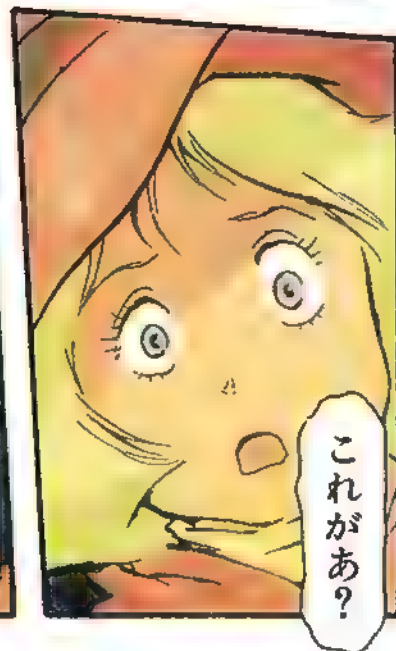
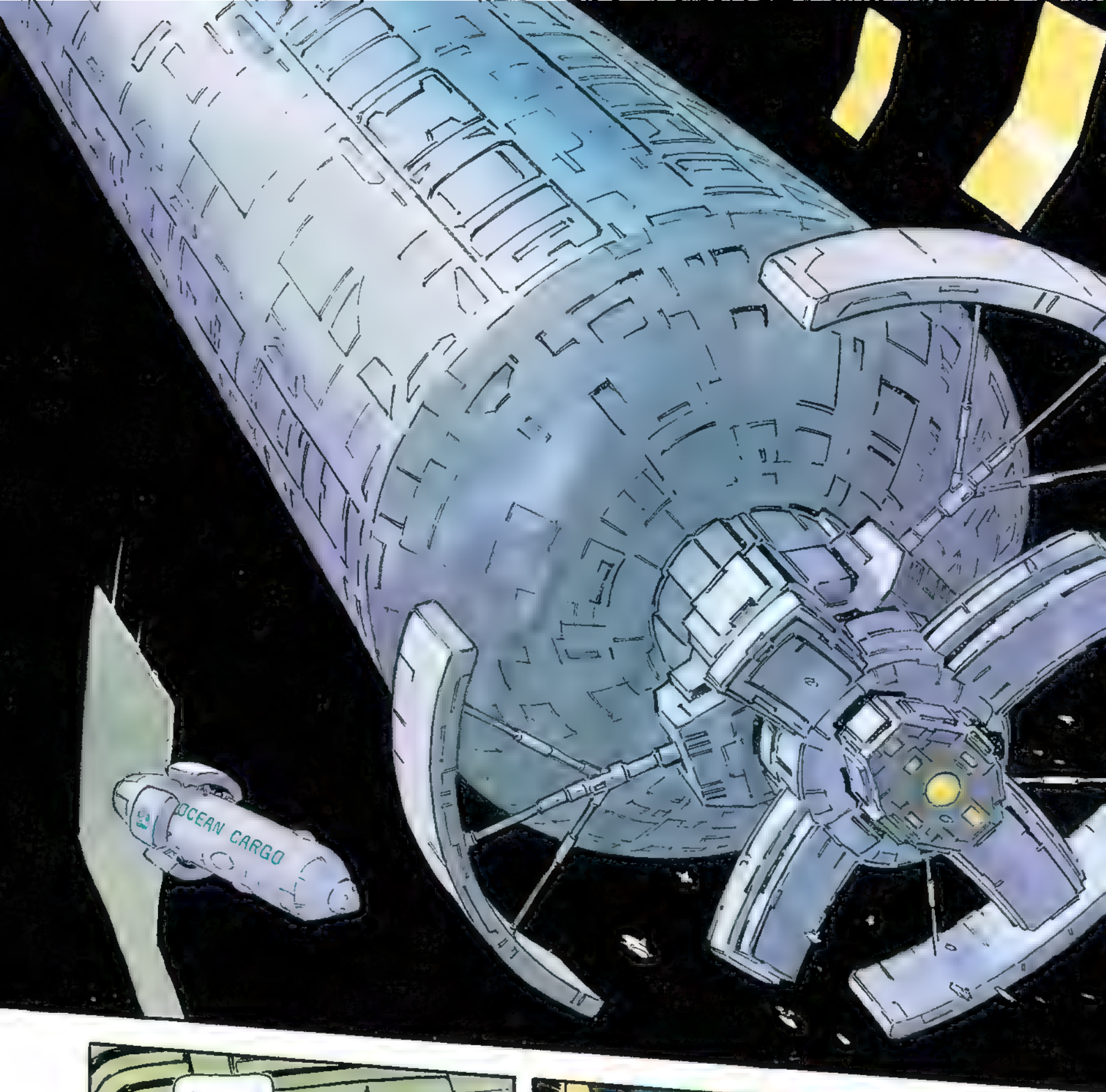
きれい!!

すごい!

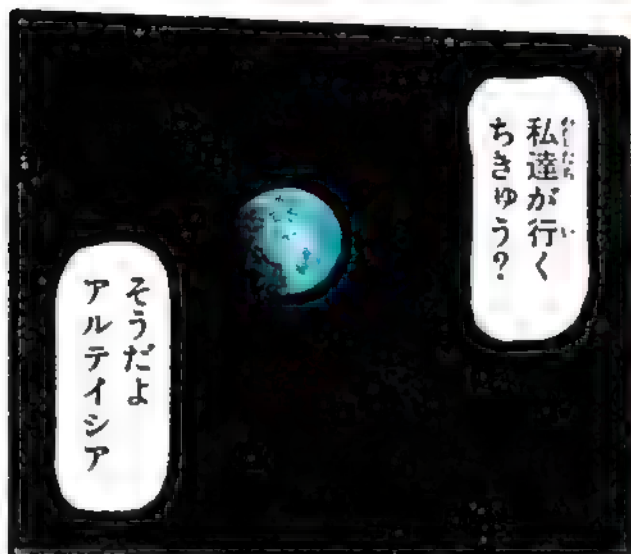
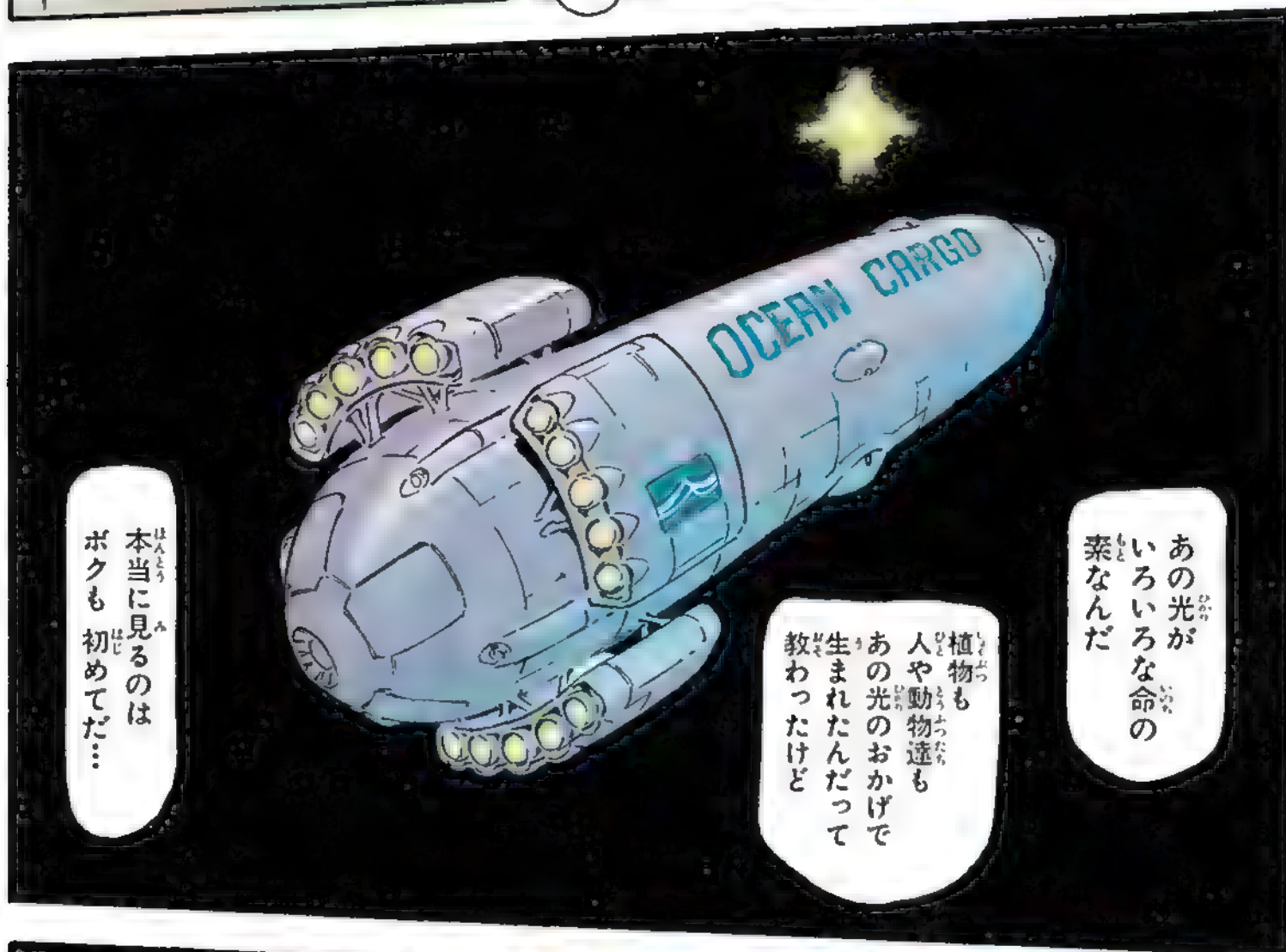
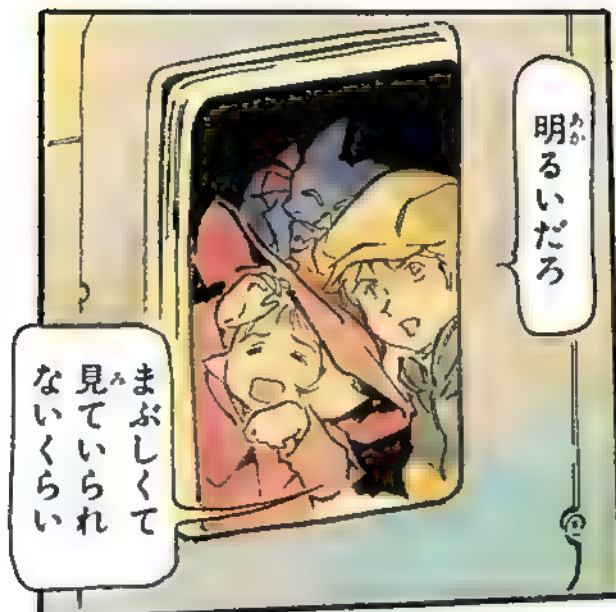
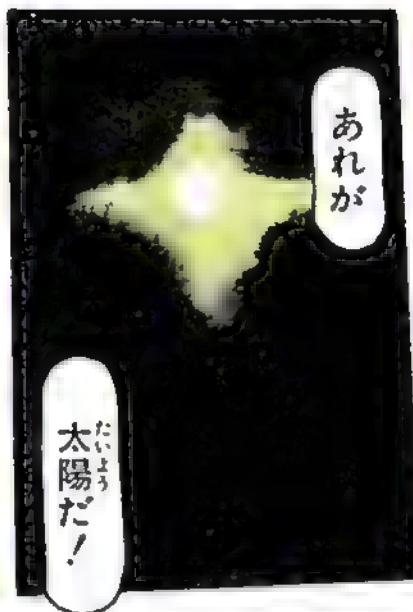
















ふううん…



あ

わああっ

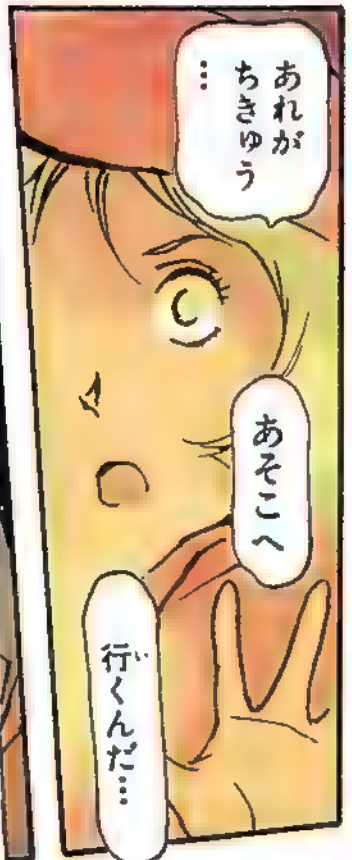


だから

育<sup>か</sup>くてきれいだけど  
人間<sup>にんげん</sup>達はあれを汚<sup>よご</sup>して  
しまったんだ

スペースソイドは  
あそこを追われ

お父<sup>とうふ</sup>様はあれを  
甦<sup>よみがえ</sup>らせようと  
戦<sup>いくさ</sup>ってきた…



あれが  
ちきゅう  
…

あそこへ

行くんだ…



なにあれ!?

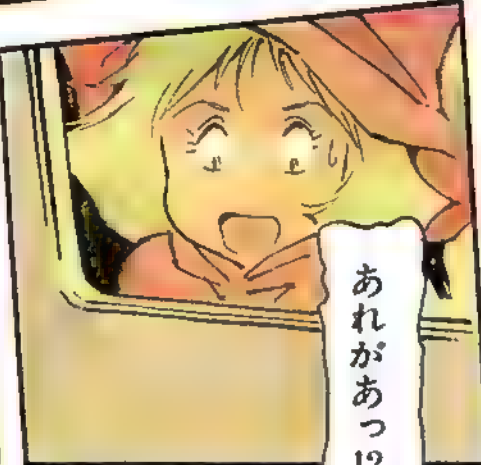
おっきいの!



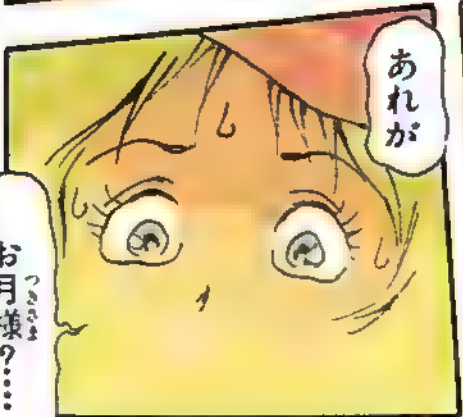
ああ  
あれ?

月<sup>つき</sup>だ

お月<sup>つき</sup>様  
だよ



あれがあつ!?



あれが

お月<sup>つき</sup>様?…







to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?



角川コミックス・エース

# フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN⑨

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

2022年2月26日 発行  
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022  
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました  
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』  
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行  
発行 株式会社KADOKAWA  
<https://www.kadokawa.co.jp/>

## ●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、  
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。  
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず  
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。  
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。  
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に  
予告なく変更される場合があります。  
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)  
カラーリスト 凸版印刷株式会社





BOOK★WALKER